ミニ聖書

概要

これは、イエスの教えと、イエスが教え、引用し、成就した書物を最もよく捉えることを目的として、慎重に選定された古代ギリシャ語テキストのコレクションです。私たちの目標は、原典のギリシャ語をできる限り正確に、現代的で読みやすい形式で提供することです。

免責事項

この翻訳は、元のギリシャ語七十人訳聖書とビザンティン写本から大規模言語モデルを使用して作成されました。このため、原語の文化や文法の特徴が多く含まれていますが、誤りも含まれている可能性があります。何か奇妙に見える箇所があれば、元のギリシャ語を確認してください。誤りを見つけた場合は、jesusislord@joshuabible.comまでメールでお知らせください。

ライセンス

この翻訳の全部または一部を複製および配布する許可が与えられています。ただし、修正または販売することは許可されていません。誤りを見つけた場合は、jesusislord@joshuabible.comまでメールをお送りください。修正を行い、更新版を提供いたします。

マタイによる福音書

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28

マルコによる福音書

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16

ヨハネによる福音書

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21

ヨハネの手紙

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5

創世記

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28
| 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 | 41 | 42 | 43 | 44 | 45 | 46 | 47 | 48 | 49 | 50

出エジプト記

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28
| 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40

民数記

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28
| 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36

申命記

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28
| 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34

ヨシュア記

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24

マタイによる福音書

1

アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図の書。 アブラハムはイサクを生み、イサクはヤコブを生み、ヤコブはユダと彼の兄弟たちを生み、ユダはタマルからペレツとゼラを生み、ペレツはヘツロンを生み、ヘツロンはアラムを生み、アラムはアミナダブを生み、アミナダブはナフソンを生み、ナフソンはサルモンを生み、サルモンはラハブからボアズを生み、ボアズはルツからオベデを生み、オベデはエッサイを生み、エッサイは王ダビデを生んだ。王ダビデはウリヤの妻からソロモンを生んだ。そしてソロモンはレハブアムを生んだ。そしてレハブアムはアビヤを生んだ。そしてアビヤはアサを生んだ。そしてアサはヨシャパテを生んだ。そしてヨシャパテはヨラムを生んだ。そしてヨラムはウジヤを生んだ。そしてウジヤはヨタムを生んだ。そしてヨタムはアハズを生んだ。そしてアハズはヒゼキヤを生んだ。そしてヒゼキヤはマナセを生んだ。そしてマナセはアモンを生んだ。そしてアモンはヨシヤを生んだ。そしてヨシヤはバビロンへの捕囚の時にエコニヤと彼の兄弟たちを生んだ。 バビロンへの捕囚の後、エコニヤはシャルティエルを生

み、シャルティエルはゼルバベルを生み、ゼルバベルはアビフドを生み、アビフドはエリアキムを生み、エリアキムはアゾルを生み、アゾルはサドクを生み、サドクはアキムを生み、アキムはエリウドを生み、エリウドはエレアザルを生み、エレアザルはマタンを生み、マタンはヤコブを生み、ヤコブはマリアの夫ヨセフを生んだ。彼女からキリストと呼ばれるイエスが生まれた。 したがって、すべての世代は、アブラハムからダビデまでが十四世代、そしてダビデからバビロンへの捕囚までが十四世代、そしてバビロンへの捕囚からキリストまでが十四世代である。 イエス・キリストの誕生はこのようであった。 彼の母マリアがヨセフと婚約していたので、彼らが一緒になる前に、彼女は聖霊によって身ごもっていることがわかった。 ヨセフは彼女の夫で、正しい人であり、彼女を公に辱めることを望まず、密かに彼女を離縁しようと思った。 彼がこれらのことを考えていたが、見よ、主の使いが夢で彼に現れて言った。ヨセフ、ダビデの息子よ、あなたの妻マリアを迎えることを恐れるな。なぜなら彼女の中に生まれたものは聖霊からのものであるから。 彼女は息子を産むだろう。そしてあなたは彼の名をイエスと呼ぶだろう。なぜなら彼が自分の民を彼らの罪から救うからである。 このこと全体が起こったのは、主によって預言者を通して語られたことが成就されるためである、と言っている。見よ、処女が胎内に宿し、そして息子を産むであろう、そして彼らは彼の名をエマヌエルと呼ぶであろう。それは訳されると私たちと共にいる神である。 眠りから目覚めたヨセフは、主の使いが彼に命じた通りに行い、彼の妻を迎え入れた。そして彼女が長子である息子を産むまで、彼は彼女を知らなかった。そして彼はその子の名をイエスと呼んだ。

2

イエスがユダヤのベツレヘムでヘロデ王の時代に生まれた時、見よ、東から博士たちがエルサレムに到着して言った、生まれたユダヤ人の王はどこにいるのですか。 私たちは彼の星を東で見たので、彼を礼拝するために来ました。 聞いて、ヘロデ王は動揺した、そして全エルサレムが彼と共に。そして全ての祭司長たちと民の律法学者たちを集めて、彼は彼らに、キリストがどこで生まれるのかを尋ねた。 彼らは彼に言った、ユダヤのベツレヘムです。このように預言者を通して書かれているからです。そしてあなたベツレヘム、ユダの地よ、決して最も小さくはないユダの指導者たちの中で。あなたから出て来るだろう指導者が、その者が私の民イスラエルを羊飼いするだろう。 その時ヘロデは密かに博士たちを呼んで、彼らから現れた星の時を正確に確かめた。そして彼らをベツレヘムへ送って言った。行って、その子供について正確に調べなさい。そして見つけたら、私に報告しなさい。私も来て彼を拝めるように。 彼らは王の言葉を聞いて出発した。そして見よ、彼らが東方で見た星が彼らを先導し、幼子がいる場所の上に来て止まった。そして星を見て、彼らは非常に大きな喜びを喜んだ。そして家に来て、彼らは幼子を彼の母マリアと共に見た。そしてひれ伏して彼を拝んだ。そして彼らの宝箱を開けて、彼に贈り物を捧げた、金と乳香と没薬を。そして夢で神のお告げを受けてヘロデのところに戻らないようにと言われ、別の道を通って彼らの国へ帰って行った。 彼らが立ち去ったが、見よ、主の使いが夢でヨセフに現れて言った。起きて、その子供とその母親を連れて、エジプトへ逃げよ、そして私があなたに言うまでそこにいよ。というのはヘロデがその子供を滅ぼすために探

そうとしているからだ。 そして彼は起き上がって、その子供とその母を夜に連れて行き、エジプトへ退いた。そして彼はそこにヘロデの死まで居た。それは主によって預言者を通して語られたことが満たされるためであった、エジプトから私は私の息子を呼んだと。 その時ヘロデは魔術師たちによって欺かれたことを知って、非常に怒り、人を遣わして、ベツレヘムとその全ての境界にいる全ての子供たちで二歳以下の者を、魔術師たちから正確に確かめた時に従って、殺した。 その時、預言者エレミヤによって語られた言葉が成就した。声がラマで聞かれた。嘆きと泣き声と大いなる悲しみが。ラケルが自分の子供たちのために泣いている。そして彼女は慰められることを望まなかった。なぜなら彼らはもういないからである。 ヘロデが死んだが、見よ、主の使いが夢でエジプトにいるヨセフに現れて言った。起きて、その子供とその母を連れて、イスラエルの地へ行け。なぜなら、その子供の魂を求めていた者たちは死んだからだ。 そして彼は起きて、その子供と彼の母を連れて、イスラエルの地に来た。 アルケラオスが彼の父ヘロデの代わりにユダヤを統治していると聞いたが、そこへ行くことを恐れた。しかし夢で神の警告を受けて、ガリラヤの地方へ退いた。そして来てナザレと呼ばれる町に住んだ、預言者たちを通して語られたナザレ人と呼ばれるであろうということが成就されるために。

3

あの日々において、バプテスマのヨハネがユダヤの荒野で宣べ伝えながら来て、そして言った、悔い改めなさい。天の王国が近づいたのだから。 この者は預言者イザヤによって語られた者である、こう

言っている、荒野で叫ぶ者の声、主の道を備えよ、彼の小道をまっすぐにせよ。 ヨハネ自身は、らくだの毛の衣と腰に革の帯を身につけていた。そして彼の食べ物はいなごと野生の蜜であった。 その時、エルサレムと全てのユダヤと全てのヨルダンの周辺地域が彼のところへ出て来ていた、そして彼らは彼らの罪を告白しながら彼によってヨルダンで洗礼を受けていた。 多くのパリサイ人とサドカイ人が彼の洗礼を受けに来るのを見て、彼は彼らに言った。蝮の子らよ、誰があなたがたに来ようとしている怒りから逃れることを教えたのか。 だから、悔い改めにふさわしい実を結びなさい、そして自分たちの中で私たちの父はアブラハムだと言おうと思ってはいけない。 というのも私はあなたたちに言う、神はこれらの石からアブラハムのために子らを起こすことができるのだ。 すでに斧は木々の根元に置かれている。だから良い実を結ばない木はすべて切り倒されて火の中に投げ込まれる。 私は確かにあなたがたを水で悔い改めのためにバプテスマする。しかし私の後に来る者は私より強い者である、その者の履物を運ぶのに私は相応しくない。その者自身があなたがたを聖霊と火でバプテスマするだろう。 手に箕を持つ者、彼は自分の脱穀場を徹底的に清め、自分の穀物を倉に集め、もみ殻を消えない火で焼き尽くす。 その時イエスはガリラヤからヨルダンへ来た、ヨハネのところへ、彼によってバプテスマを受けるために。 しかしヨハネは彼を止めて言った、私はあなたによってバプテスマを受ける必要があるのに、あなたが私のところに来るのですか。 答えてイエスは彼に言った、今は許しなさい。このようにすることが私たちにとってふさわしいのです、すべての義を満たすことは。 その時彼は彼を許した。そしてバプテスマを受けたイエスはすぐに水から上がった。そして見よ、天が彼に開かれた。そして彼は神の霊が鳩のように降りて来て彼の上に来るのを見た。そして見よ、天から

の声が言った、これは私の息子、愛された者、彼において私は喜んだ。

4

その時イエスは、悪魔によって試されるために、御霊によって荒野へ導かれた。そして四十日と四十夜断食して、後に空腹になった。そして試す者が彼に近づいて言った。もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように言いなさい。 彼は答えて言った、書かれている、人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉で生きる。 その時、悪魔は彼を聖なる都へ連れて行き、そして彼を神殿の頂に立たせ、そして彼に言う。もしお前が神の息子であるなら、お前自身を下へ投げよ。なぜなら書かれているからだ、彼の使者たちに彼はお前について命じる、そして手の上で彼らはお前を持ち上げる、お前がお前の足を石に向かって打ちつけることがないように。 イエスは彼に言った、また書かれている、あなたはあなたの神、主を試してはならない。 再び悪魔は彼を非常に高い山へ連れて行き、そして彼に世界のすべての王国とそれらの栄光を見せ、そして彼に言った、これらすべてのものをあなたに私は与えよう、もしひれ伏して私を礼拝するなら。 その時イエスは彼に言う、私の後ろに下がれ、サタンよ。なぜなら書かれているからだ、あなたの神である主を礼拝し、彼だけに仕えよと。 その時、悪魔は彼を放した。そして見よ、使者たちが近づいて来て、彼に仕えた。 イエスはヨハネが引き渡されたと聞いて、ガリラヤに退いた。そしてナザレを去って来て、海沿いのカペルナウムに住んだ。それはゼブルンとナフタリの境界にあった。これは預言者イザヤを通し

て語られたことが成就されるためであった。彼は言っている、ゼブルンの地とナフタリの地、海の道、ヨルダンの向こう、異邦人のガリラヤ、暗闇に座っている民は大いなる光を見た、そして死の地と影に座っている者たちに光が昇った。 その時からイエスは宣べ伝え、そして言い始めた。悔い改めなさい。天の王国が近づいたのだから。 ガリラヤの海のそばを歩いていて、二人の兄弟、ペトロと呼ばれるシモンと彼の兄弟アンデレが海に網を投げているのを見た。彼らは漁師だったからである。そして彼らに言う、私の後に来なさい、そしてあなたがたを人間の漁師にしよう。 彼らは直ちに網を置いて彼に従った。 そしてそこから進んで、彼は他の二人の兄弟、ゼベダイの息子ヤコブと彼の兄弟ヨハネが、彼らの父ゼベダイと共に船の中で網を繕っているのを見て、彼らを呼んだ。 彼らはすぐに船と彼らの父を残して、彼について行った。 そしてイエスはガリラヤ全体を巡り歩いていた、彼らの集会で教えながら、王国の良い知らせを宣べ伝えながら、民の中のすべての病気とすべての衰弱に仕えながら。 そして彼の噂は全シリアに広まった、そして人々は彼のもとに、様々な病気と苦痛に苦しむ全ての病人たち、悪霊に憑かれた者たち、てんかんの者たち、中風の者たちを連れて来た、そして彼は彼らを癒した。そして多くの群衆が彼に従った、ガリラヤとデカポリスとエルサレムとユダヤとヨルダンの向こうから。

5

群衆を見て、彼は山へ登った。そして彼が座った時、彼の弟子たちが彼に近づいた。そして彼は口を開いて彼らを教えて言った、幸いなるかな、霊において貧しい者たちは、なぜなら天の王国は彼らの

ものだからである。 嘆き悲しんでいる人々は祝福されている、なぜなら彼らは慰められるだろうから。 穏やかな者たちは祝福されている、なぜなら彼らが地を相続するだろうから。 義に飢え渇く者たちは幸いである、なぜなら彼らは満たされるであろうから。 憐れみ深い者たちは祝福されている、なぜなら彼らは憐れみを受けるだろうから。 幸いなるかな、心の清い者たちは、彼らは神を見るであろうから。 平和をもたらす者たちは幸いである、なぜなら彼らは神の子らと呼ばれるだろうから。 幸いなるかな、義のために迫害された者たちよ、なぜなら天の王国は彼らのものだからである。 あなたがたは幸いである、人々があなたがたを侮辱し、迫害し、私のゆえに偽って、あなたがたに対してあらゆる悪い言葉を言う時には。 喜びなさい、そして大いに喜びなさい。なぜなら、あなたがたの報いは天において大きいからです。このようにして、実に彼らはあなたがたより前の預言者たちを迫害したのです。 あなたがたは地の塩である。しかしもし塩が味を失ったら、何によってそれに塩気をつけるのだろうか。 何の役にも立たなくなり、もはやただ外に投げ捨てられて人々によって踏みつけられるだけである。 あなたがたは世界の光です。 山の上に置かれている町は隠すことができない。また、人々はランプを灯して、それを升の下に置くことはしない。むしろ燭台の上に置く。そうすればそれは家の中にいるすべての人々を照らす。 このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせなさい。彼らがあなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父を崇めるように。 私が律法や預言者たちを破壊するために来たと思ってはいけない。破壊するために来たのではなく、成就するために来たのだ。 まことに私はあなたがたに言う、天と地が過ぎ去るまで、一つのイオタまたは一つの画が律法から過ぎ去ることは決してない、すべてのことが成就するまで。 だから、もしこれらの最も小さ

い戒めの一つを破り、そのように人々に教える者は、天の王国において最も小さい者と呼ばれるだろう。しかし、それを行い、そして教える者は、この者は天の王国において偉大な者と呼ばれるだろう。 私はあなたたちに言う、もしあなたたちの義が律法学者たちやファリサイ派の人々のものよりあふれないなら、あなたたちは決して天の国に入らない。 あなたたちは聞いた、古代の人々に言われたことを、殺してはならない、そして誰でも殺すならば、その人は裁きに対して有罪となるだろう。 しかし私はあなたたちに言う、自分の兄弟に理由なく怒る者はすべて裁きに対して有罪となるだろう。そして自分の兄弟にラカと言う者は議会に対して有罪となるだろう。そして愚か者と言う者は火のゲヘナへ入ることに対して有罪となるだろう。 だからもしあなたが祭壇の上にあなたの供え物を捧げていて、そこであなたの兄弟があなたに対して何か含むところがあることを思い出したなら、そこにあなたの供え物を祭壇の前に残して、まず行ってあなたの兄弟と和解しなさい、そしてその後来てあなたの供え物を捧げなさい。 あなたの敵対者に好意的であれ、速やかに、あなたが彼と共に道にいる間。そうでなければその敵対者があなたを裁判官に引き渡し、そして裁判官があなたを下役に引き渡し、そしてあなたは牢獄に投げ込まれるだろう。まことに私はあなたに言う、あなたは最後のコドラントを返すまで、そこから出ることは決してないだろう。 あなたたちは聞いた、古代の人々に姦淫を犯してはならないと言われたことを。 しかし私はあなたたちに言う、女を欲望するために見る者はすべて、既にその心の中で彼女と姦淫を犯したのだ。 もしあなたの右の目があなたをつまずかせるなら、それを取り出してあなたから投げ捨てなさい。なぜならあなたの体の部分の一つが滅びて、あなたの体全体がゲヘナに投げ込まれないことが、あなたにとって有益だからです。 もしあなたの右の手

があなたをつまずかせるなら、それを切り落としてあなたから投げ捨てなさい。というのも、あなたの体全体がゲヘナに投げ込まれるのではなく、あなたの肢体の一つが滅びる方があなたにとって有益だからである。 こう言われた、誰でも自分の妻を離縁する者は、彼女に離婚証明書を与えよ。 私はあなたたちに言う、性的不道徳の理由を除いて自分の妻を離縁する者は、彼女を姦淫させることになり、そして離縁された女と結婚する者は姦淫を犯す。 あなたたちは再び聞いた、古代の人々に言われたことを、あなたは偽りの誓いをしてはならない、そしてあなたの誓いを主に果たさなければならないと。 しかし私はあなたたちに言う、全く誓ってはならない。天において誓ってはならない、なぜならそれは神の玉座であるから。地において誓ってはならない、なぜならそれは彼の足の足台であるから。エルサレムにかけて誓ってはならない、なぜならそれは偉大な王の都であるから。あなたの頭にかけて誓ってはならない、なぜならあなたは一本の髪を白くまたは黒くすることができないから。 あなたがたの言葉ははいははい、いいえはいいえとせよ。これら以上のものは悪から出るのである。 あなたがたは聞いた、目の代わりに目、そして歯の代わりに歯と言われたと。しかし私はあなたがたに言う、悪に抵抗するな。むしろ誰かがあなたを右の頬の上で打つなら、彼に他の頬も向けよ。そしてあなたと裁判をしたいと思い、あなたの下着を取りたいと思う者に、彼に上着も残せ。そして誰かがあなたを一マイル強制するなら、彼と共に二マイル行け。あなたに求める者に与えよ、そしてあなたから借りたいと思う者から背を向けるな。 あなたがたはあなたの隣人を愛し、あなたの敵を憎めと言われたことを聞いた。 しかし私はあなたたちに言う、あなたたちの敵を愛しなさい、あなたたちを呪う者たちを祝福しなさい、あなたたちを憎む者たちに良くしなさい、そしてあなたたちを虐げる者た

ちとあなたたちを迫害する者たちのために祈りなさい、それはあなたたちが天にいるあなたたちの父の子らとなるためである、なぜなら彼は彼の太陽を悪い者たちの上にも良い者たちの上にも昇らせ、そして正しい者たちの上にも不正な者たちの上にも雨を降らせるからである。 もしあなたたちが自分たちを愛してくれる人たちを愛するなら、あなたたちにどんな報いがありますか。 取税人たちも同じことをするのではないか? そしてもしあなたたちが自分の友達だけに挨拶するなら、何か特別なことをしていますか。 徴税人たちもそうするのではないか? だから、あなたたちの天にいる父が完全であるように、あなたたちも完全になるだろう。

6

あなたがたの施しを人々の前で彼らに見られるために行わないように注意しなさい。もしそうでなければ、天におられるあなたがたの父のもとで報いを持たない。 だから、あなたが施しをするときは、偽善者たちが集会所や通りでするように、あなたの前でラッパを吹くな、人々によって栄光を受けるために。本当にあなたたちに言う、彼らは彼らの報酬を受け取っている。 あなたが施しをするとき、あなたの右手が何をするかあなたの左手に知らせるな、それであなたの施しが隠れたところにあるように、そして隠れたところで見ているあなたの父が、公にあなたに報いてくださるだろう。 そしてあなたが祈る時、偽善者たちのようになってはいけない、なぜなら彼らは集会所の中でそして通りの角で立って祈ることを愛するから、人々に見られるために。まことに私はあなたたちに言う、彼らは彼らの報酬を受け取っている。 しかしあなたは祈る時、あなたの

奥の部屋に入り、そしてあなたの戸を閉じて、隠れたところにいるあなたの父に祈れ、そして隠れたところで見ているあなたの父は、公のところであなたに報いるだろう。 祈る時には、異邦人のように無駄口を叩いてはいけない。彼らは多くの言葉によって聞き入れられると思っているからである。 だから彼らのようになってはいけない。あなたがたの父は、あなたがたが彼に願う前に、あなたがたが必要としているものを知っているからだ。 だからこのようにあなたたちは祈りなさい。天にいます私たちの父よ、あなたの名が聖とされますように、あなたの国が来ますように、あなたの意志が天においてのように地の上においてもなされますように、私たちの日ごとのパンを今日私たちに与えてください、そして私たちの負債を私たちに赦してください、私たちも私たちの債務者たちを赦しますように、そして私たちを誘惑へ導かないでください、しかし私たちを悪から救い出してください。 国と力と栄光はあなたのものです、永遠に。アーメン。 もしあなたたちが人々の過ちを赦すなら、あなたたちの天の父もあなたたちを赦すだろう。しかしもしあなたたちが人々の過ちを赦さないなら、あなたたちの父もあなたたちの過ちを赦さないだろう。 あなたたちが断食するときは、偽善者たちのように陰気な顔になるな。彼らは断食していることが人々に見えるように彼らの顔を見苦しくするからだ。まことに私はあなたたちに言う、彼らは彼らの報いを既に受け取っている。 しかしあなたは断食するときは、あなたの頭に油を塗り、あなたの顔を洗いなさい。あなたが人々に断食していると見えないように、しかしあなたの隠れたところにいる父に見えるように。そしてあなたの隠れたところで見ている父が、あなたに公のところで報いるだろう。 あなたがたは地上にあなたがたのために宝を蓄えてはいけない、そこでは虫とさびが破壊し、そしてそこでは泥棒たちが掘り通して盗む。しかしあ

なたがたは天にあなたがたのために宝を蓄えなさい、そこでは虫もさびも破壊せず、そしてそこでは泥棒たちが掘り通すこともなく盗むこともない。なぜならあなたがたの宝があるところに、そこにあなたがたの心もあるだろうから。 体のともし火は目である。だからもしあなたの目が澄んでいるならば、あなたの体全体は明るいだろう。しかしもしあなたの目が悪いならば、あなたの体全体は暗いだろう。 だからもし、あなたの中にある光が闇であるなら、その闇はどれほどのものか。 誰も二人の主人に仕えることはできない。なぜなら、一方を憎んで他方を愛するか、または一方に固執して他方を軽蔑するかのどちらかだからだ。 あなたたちは神とマモンに仕えることはできない。 このゆえに私はあなたたちに言う、あなたたちの魂のために何を食べるか何を飲むかを心配するな、またあなたたちの体のために何を着るかを心配するな。魂は食物よりも大きいではないか、そして体は衣服よりも大きいではないか。 空の鳥たちを見なさい。彼らは種を蒔きもせず、刈り取りもせず、倉に集めもしない。それなのにあなたたちの天の父が彼らを養っている。あなたたちは彼らよりもっと優れているのではないか。 あなたがたの中の誰が心配することによって自分の寿命に一キュビト加えることができるだろうか。 そして衣服について何を心配するのか。 野の百合がどのように育つかをよく学びなさい。それは労働しないし紡ぎもしない。しかし私はあなたたちに言う、ソロモンでさえ彼のすべての栄光において、これらの一つのように着飾らなかった。 もし野の草を、今日あって明日炉に投げ込まれるものを、神がこのように着せるなら、ましてもっとあなたたちを着せないだろうか、信仰の薄い者たちよ? だから、何を食べようか、または何を飲もうか、または何を着ようかと言って、心配してはいけない。 というのも、これらすべてのものを異邦人たちは求めているからです。というのも、あな

たがたの天の父は、あなたがたがこれらすべてのものを必要としていることを知っておられるからです。 まず神の王国と彼の義を求めなさい、そうすればこれらすべてのものがあなたたちに加えられるだろう。 だから明日のことを心配するな。明日は明日自身のことを心配するだろう。一日にはその日の悪で十分だ。

7

裁くな、あなたたちが裁かれないために。なぜならあなたたちが裁く裁きで、あなたたちは裁かれるだろうし、あなたたちが測る測りで、あなたたちに測られるだろう。 なぜあなたは兄弟の目の中にあるちりを見るのに、自分の目の中にある梁は認識しないのか。 あなたはどのようにあなたの兄弟に言うのか、私にあなたの目から小さなごみを取り出させてくださいと、そして見よ、梁があなたの目の中にある。 偽善者よ、まずあなたの目から梁を取り出せ、そうすればその時、あなたの兄弟の目から小さなごみを取り出すことがはっきり見えるだろう。 聖なるものを犬たちに与えるな、またあなたたちの真珠を豚たちの前に投げるな、彼らがそれらを足で踏みつけ、そして振り向いてあなたたちを引き裂くといけないから。 求めなさい、そうすればあなたたちに与えられるでしょう。探しなさい、そうすればあなたたちは見つけるでしょう。叩きなさい、そうすればあなたたちに開かれるでしょう。なぜなら、求めている者はみな受け取り、探している者は見つけ、叩いている者には開かれるからです。 あるいは、あなたがたの中に誰がいるだろうか、その人に自分の息子がパンを求めるならば、石を彼に与えるだろうか。 そしてもし彼が魚を求めるなら、彼に蛇を与えたりしないだろうか? それゆえ

もしあなたたちは、邪悪である者たちであるのに、あなたたちの子供たちに良い贈り物を与えることを知っているなら、どれほどもっと多く天におられるあなたたちの父は、彼に求める者たちに良いものを与えるだろうか。 だから、あなたたちが人々にしてほしいと願うすべてのことを、そのようにあなたたちも彼らにしなさい。これこそが律法と預言者たちだからである。 狭い門を通って入りなさい。なぜなら滅びへ導く門は広く、その道は広々としており、そしてそれを通って入る者たちは多いからである。 何と狭い門で、圧迫された道であることか、命へ導く道は。そしてそれを見つける者たちは少ない。しかし偽預言者たちに注意せよ。彼らは羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、内側は貪欲な狼である。 あなたたちは彼らの実によって彼らを知るだろう。 まさか彼らは茨から葡萄を集めないだろう、あるいはあざみからいちじくを集めないだろう? このように、すべての良い木は良い実を作り、腐った木は悪い実を作る。 良い木は悪い実を作ることができないし、腐った木も良い実を作ることができない。 良い実を結ばないすべての木は切り倒されて、火に投げ込まれる。 それゆえ、彼らの実によって、あなたがたは彼らを知るだろう。 私に主よ、主よと言う者全てが天の王国に入るのではなく、天におられる私の父の意志を行う者が入る。 多くの者たちがあの日に私に言うだろう、主よ、主よ、私たちはあなたの名において預言したではありませんか、そしてあなたの名において悪霊たちを追い出したではありませんか、そしてあなたの名において多くの力あるわざをしたではありませんか。 そしてその時、私は彼らに告白するだろう、私は決してあなたたちを知らなかったと。私から離れなさい、不法を行っている者たちよ。 それゆえ、私のこれらの言葉を聞いてそれらを行う者は誰でも、私は彼を賢い人に例えよう。その人は彼の家を岩の上に建てた。そして雨が降り、川が

来て、風が吹き、そしてその家に打ちつけた。しかしそれは倒れなかった。というのも岩の上に土台が据えられていたからである。 そして私のこれらの言葉を聞いて、それらを行わない全ての者は、愚かな男に似るだろう。その者は自分の家を砂の上に建てた。そして雨が降り、川が来て、風が吹き、その家に打ちつけた。そして倒れた。そしてその倒壊は大きかった。 そしてイエスがこれらの言葉を終えた時、群衆は彼の教えに驚いた。というのも彼は権威を持つ者として彼らを教えていたのであり、律法学者たちのようではなかったからである。

8

彼が山から降りて来たとき、多くの群衆が彼に従った。 そして見よ、らい病人が来て彼に礼拝して言った。主よ、もしあなたが望むなら、あなたは私を清めることができます。 そして手を伸ばして彼に触れた、イエスは言った。私は望む、清められよ。 そして、すぐに彼のらい病は清められた。 そしてイエスは彼に言う、見よ、誰にも言うな。しかし行って、自分自身を祭司に見せ、そしてモーセが命じた贈り物を彼らへの証しのために捧げよ。 彼がカペナウムに入ったとき、百人隊長が彼に近づいて懇願して言った。主よ、私の息子が家で中風で倒れていて、ひどく苦しんでいます。 そしてイエスは彼に言う、私が行って彼を癒してあげよう。 そして百人隊長は答えて言った。主よ、私はあなたが私の屋根の下に入られるのにふさわしくありません。しかしただ言葉でおっしゃってください、そうすれば私の子供は癒されるでしょう。 というのも私も権威の下にある人間で、自分の下に兵士たちを持っていて、この者に行けと言

えば彼は行くし、別の者に来いと言えば彼は来るし、私の奴隷にこれをしろと言えば彼はするのです。 これを聞いてイエスは驚き、従っている人々に言った。まことに私はあなたがたに言う、イスラエルにおいてさえ、これほど大きな信仰を私は見つけなかった。 しかし私はあなたがたに言う、多くの人々が東から西から来るだろう、そしてアブラハムとイサクとヤコブと共に天の王国で食卓に着くだろう、しかし王国の息子たちは外の暗闇へ投げ出されるだろう、そこに嘆きと歯ぎしりがあるだろう。 そしてイエスは百人隊長に言った、行け、そしてあなたが信じたとおりにあなたになされよ。 そして彼の子供はその時に癒された。 そしてイエスはペトロの家に来て、彼の義母が床に伏していて熱で苦しんでいるのを見た。そして彼は彼女の手に触れ、そして熱が彼女を去り、そして彼女は起き上がって彼に仕え始めた。 夕方になったとき、人々は彼に悪霊に憑かれた多くの者を連れて来た。そして彼は言葉で霊たちを追い出し、病んでいる全ての者を癒した。これは預言者イザヤを通して語られた言葉が成就されるためであった。彼自身が私たちの弱さを取り、病を負った。 イエスは自分の周りに多くの群衆を見て、向こう側へ行くように命じた。 そして一人の律法学者が近づいて来て彼に言った。先生、私はあなたがどこへ行こうともあなたに従います。 そしてイエスは彼に言う、狐たちは巣穴を持っているし、天の鳥たちは巣を持っている。しかし人の子は頭を横たえる所を持っていない。 彼の弟子たちの別の者が彼に言った。主よ、まず私に行って私の父を葬ることを許してください。 イエスは彼に言った、私に従いなさい、そして死者たちに彼ら自身の死者を葬らせなさい。 そして彼が船に乗り込むと、彼の弟子たちが彼に従った。 そして見よ、海で大きな嵐が起こり、その結果船が波に覆われた。しかし彼は眠っていた。 そして彼の弟子たちが近づいて彼を起こして言っ

た、主よ、私たちを救ってください、私たちは滅びています。 そして彼は彼らに言う、なぜあなたたちは臆病なのか、信仰の少ない者たちよ。 その時起き上がって風と海を叱った、そして大きな凪になった。 人々は驚いて言った。この人はいったいどんな人なのか、風も海も彼に従うとは。 そして彼が向こう側のゲルゲセネ人たちの地へ来たとき、墓から出て来た二人の悪霊に憑かれた者たちが彼に会った。彼らは非常に荒々しく、その結果誰もその道を通ることができなかった。 そして見よ、彼らは叫んで言った、私たちとあなたに何の関係があるのですか、イエス、神の子よ あなたは時が来る前にここに私たちを苦しめるために来たのか? 彼らから遠くに多くの豚の群れが餌を食べていた。 悪霊たちは彼に懇願して言った、もしあなたが私たちを追い出すなら、私たちが豚の群れの中へ行くことを許してください。 そして彼は彼らに言った、行け。 そして出て行った者たちは豚の群れの中へ去って行った。そして見よ、豚の群れ全体が崖から海の中へ突進し、水の中で死んだ。 飼っていた者たちは逃げた。そして町へ去って行って、全てのことと悪霊に取り憑かれていた者たちのことを報告した。 そして見よ、町中の人々がイエスに会うために出て来た、そして彼を見ると、彼らは自分たちの地域から去るように懇願した。

9

そして船に乗り込んで渡り、自分の町に来た。 そして見よ、彼らは彼に、寝台の上に横たえられている中風の人を運んできていた。そしてイエスは彼らの信仰を見て、中風の人に言った。勇気を出しなさい、子よ。あなたの罪は赦されている。 すると見よ、律法学者た

ちの何人かが心の中で言った、この者は神を冒涜している。 そしてイエスは彼らの思いを見て言った、なぜあなたたちは自分たちの心の中で悪いことを考えるのか。 何がより簡単であるか、あなたの罪は赦されていると言うことか、または起きて歩けと言うことか? しかし、人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることをあなたたちが知るために、その時彼は中風の人に言う、起き上がって、あなたの寝床を取り上げて、あなたの家へ行け。 そして起き上がって、彼は自分の家へ帰った。 群衆は見て驚き、そして人間たちにそのような権威を与えた神を崇めた。 そしてイエスがそこから通り過ぎながら、収税所に座っているマタイと呼ばれる人を見た、そして彼に言う、私に従え。 そして立ち上がって、彼に従った。 そして彼が家の中で横になっていた時のことだった、そして見よ、多くの徴税人と罪人たちがやって来てイエスと彼の弟子たちと一緒に横になっていた。 そしてパリサイ人たちは見て、彼の弟子たちに言った。なぜあなたたちの先生は取税人たちや罪人たちと一緒に食事をしているのか。 イエスは聞いて彼らに言った。強い者たちは医者を必要としないが、病んでいる者たちは必要とする。 行って学びなさい、私は憐れみを望み、犠牲を望まないという言葉の意味を。 私は正しい人々を呼ぶために来たのではなく、罪人たちを悔い改めに呼ぶために来たのだから。 その時ヨハネの弟子たちが彼に近づいて来て言った、なぜ私たちとパリサイ人たちは多く断食するのに、あなたの弟子たちは断食しないのですか。 そしてイエスは彼らに言った、花婿の部屋の息子たちは、花婿が彼らと一緒にいる間、悲しむことができないだろう。 しかし日々が来るだろう、花婿が彼らから取り去られる時が、そしてその時彼らは断食するだろう。 誰も縮んでいない布の継ぎ当てを古い衣服に当てない。というのは、その継ぎ当てが衣服から引き離して、より悪い裂け目ができるからだ。 人々は新しいぶ

どう酒を古い革袋に入れない。もしそうしなければ、革袋は破れて、ぶどう酒はこぼれて、革袋は駄目になる。しかし新しいぶどう酒を新しい革袋に入れる。そして両方とも保たれる。 彼がこれらのことを彼らに話していると、見よ、一人の指導者が近づいて来て彼を拝み、言った、私の娘がたった今死にました。しかし来てあなたの手を彼女の上に置いてください、そうすれば彼女は生きるでしょう。 そしてイエスは立ち上がって彼に従った。そして彼の弟子たちも従った。 そして見よ、十二年血を流していた女が、後ろから近づいて来て、彼の衣の房に触れた。 彼女は心の中で言っていた、もし私が彼の衣に触れさえすれば、私は救われるだろうと。 そしてイエスは振り向いて彼女を見て言った。勇気を出しなさい、娘よ。あなたの信仰があなたを救ったのです。 そして、その女はその時から救われた。 そしてイエスが支配者の家に来て、笛吹きたちと騒いでいる群衆を見て、彼らに言う、立ち去れ。その少女は死んだのではなく、眠っているのだから。 彼らは彼を嘲笑していた。 群衆が追い出された時、彼は入って彼女の手を掴んだ、そして少女は起き上がった。 そして、この知らせはあの地方全体に広まった。 そしてイエスがそこから通り過ぎていると、二人の盲人が叫びながら、そして言いながら、彼に従った、ダビデの子よ、私たちを憐れんでください。 家に来たとき、盲人たちが彼に近づいた。そしてイエスが彼らに言う、あなたたちは私がこれをできると信じるか。 彼らは彼に言う、はい、主よ。 その時、彼は彼らの目に触れて言った。あなたがたの信仰の通りに、あなたがたになされるように。 そして彼らの目が開かれた。そしてイエスは彼らに厳しく警告して言った、気をつけろ、誰にも知らせてはならない。 そして出て行った者たちは、彼のことをあの地方全体で言い広めた。 彼らが出て行くとき、見よ、人々は悪霊に取りつかれた口のきけない人を彼のところに連れて来

た。そして悪霊が追い出されると、その口のきけない人は話した。そして群衆は驚いて言った、このようなことはイスラエルで一度も現れたことがなかったと。 しかしパリサイ人たちは言っていた。彼は悪霊どもの支配者によって悪霊どもを追い出している。 そしてイエスはすべての町々と村々を巡り歩いていた、彼らの集会で教えながら、そして王国の良い知らせを宣べ伝えながら、そして民の中のすべての病気とすべての軟弱に仕えていた。 群衆を見て、彼は彼らのことを憐れに思った、なぜなら彼らは疲れ果てて打ち捨てられていたからである、牧者を持たない羊のように。 その時、彼は弟子たちに言う。収穫は多いが、働き手は少ない。 だから、収穫の主に祈りなさい、彼が働き人たちを彼の収穫に送り出すように。

10

そして彼は自分の十二人の弟子たちを呼び寄せて、彼らに汚れた霊たちに対する権威を与えた、それらを追い出し、あらゆる病気とあらゆる軟弱を癒すために。 十二人の使徒たちの名前はこれらです。最初はペテロと呼ばれるシモンと彼の兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブと彼の兄弟ヨハネ、ピリポとバルトロマイ、トマスと取税人マタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイと呼ばれたレバイオス、カナン人シモンと彼を引き渡したイスカリオテのユダ。 この十二人をイエスは遣わし、彼らに命じて言った、異邦人の道に行くな、そしてサマリア人の町に入るな。むしろイスラエルの家の失われた羊のところへ行け。 行きながら、天の王国が近づいたと言いながら宣べ伝えなさい。 病んでいる者を癒しなさい、らい病人を清めなさい、死人を起こしなさい、悪霊を追い出しなさい。無償で受けたのだから、

無償で与えなさい。 あなたたちの帯の中に金も銀も銅も手に入れるな、旅のための袋も二枚の下着も履物も杖も持つな。なぜなら働く者は自分の食物に値するからである。 あなたたちが入るどんな町または村にでも、その中で誰がふさわしいか調べなさい、そしてあなたたちが出て行くまでそこに留まりなさい。 そしてその家に入る時、この家に平和をと言いながら、それに挨拶しなさい。 そしてもしその家が価値があるなら、あなたがたの平和をそれの上に来させよ。しかしもしそれが価値がないなら、あなたがたの平和をあなたがたのもとに戻らせよ。 そして、もし誰かがあなたたちを受け入れず、あなたたちの言葉も聞かないなら、その家またはその町の外へ出て行って、あなたたちの足の埃を払い落としなさい。 まことに私はあなたたちに言う、裁きの日には、ソドムとゴモラの地の方があの町よりも耐えやすいだろう。 見よ、私はあなたたちを狼の真ん中に羊として送る。だから蛇のように賢く、鳩のように純真になりなさい。 人々に注意を払いなさい。なぜなら彼らはあなたたちを議会に引き渡し、彼らの集会であなたたちを鞭打つだろうから。そしてあなたたちは総督たちや王たちの前に連れて行かれるだろう、私のゆえに、彼らと諸国民への証言のために。 しかし彼らがあなたがたを引き渡す時、どのようにまたは何を話すか心配するな。というのは、あの時に何を話すかがあなたがたに与えられるだろうから。 というのも、話しているのはあなたたちではなく、むしろあなたたちの父の霊があなたたちの中で話しているのだから。 兄弟は兄弟を死へと引き渡すだろう、そして父は子供を、そして子供たちは親たちに対して立ち上がるだろう、そして彼らを死に至らしめるだろう。そしてあなたたちは私の名のゆえにすべての者によって憎まれるだろう。しかし最後まで耐え忍んだ者、この者は救われるだろう。 彼らがこの町であなたたちを迫害する時、別の町へ逃げなさい。まこ

とに私はあなたたちに言う、人の子が来るまで、あなたたちはイスラエルの町々を巡り終えることは決してないだろう。 弟子は先生より上ではなく、奴隷もその主人より上ではない。 弟子は自分の師のようになれば十分であり、しもべは自分の主人のようになれば十分である。 もし彼らが家の主人をベルゼブルと呼んだなら、まして彼の家族の者たちをどれほど多くそう呼ぶだろうか。 だから彼らを恐れてはいけない。なぜなら明らかにされないような覆われているものは何もないし、知られないような隠されているものもないからだ。 私があなたたちに暗闇の中で言うことを、光の中で言いなさい、そしてあなたたちが耳で聞くことを、屋根の上で宣べ伝えなさい。 そして体を殺すが魂を殺すことができない者たちを恐れてはいけない。むしろ魂も体もゲヘナで滅ぼすことができる方を恐れなさい。 二羽の雀は一アサリオンで売られているではないか? そして、それらの中の一つも、あなたがたの父なしに地に落ちることはない。 あなたたちの頭の髪の毛もすべて数えられています。 だから恐れるな。あなたたちは多くの雀よりも優れているのだ。 だから、人々の前で私を告白する者は誰でも、私も天にいる私の父の前でその人を告白するだろう。しかし、人々の前で私を否定する者は誰でも、私も天にいる私の父の前でその人を否定するだろう。 私が地上に平和をもたらすために来たと思うな。私は平和をもたらすために来たのではなく、剣をもたらすために来たのだ。 というのも、私が来たのは、人をその父に対して、娘をその母に対して、嫁をその姑に対して分裂させるためだからである。そして人の敵は彼の家の者たちである。 父または母を私よりも愛する者は、私にふさわしくない。そして息子または娘を私よりも愛する者は、私にふさわしくない。そして自分の十字架を取らず、私の後に従わない者は、私にふさわしくない。 自分の魂を見つけた者はそれを失うだろう、そして

私のために自分の魂を失った者はそれを見つけるだろう。 あなたたちを受け入れる者は私を受け入れ、そして私を受け入れる者は私を遣わした方を受け入れる。 預言者を預言者の名において受け入れる者は預言者の報酬を受け取るだろう、そして義人を義人の名において受け入れる者は義人の報酬を受け取るだろう。 そして、もし誰かがこれらの小さい者たちの一人に冷たい水の杯だけを弟子の名において飲ませるならば、まことに私はあなたたちに言う、彼は決して自分の報いを失わないであろう。

11

そしてイエスが彼の十二人の弟子たちに命令することを終えた時、彼はそこから彼らの町々で教え、宣べ伝えるために行った。 ヨハネは牢獄の中でキリストの働きを聞いて、彼の弟子たちの二人を送って、彼に言った。あなたは来るべき方ですか、それとも私たちは他の人を待つべきですか。 そしてイエスは答えて彼らに言った、行ってヨハネに報告しなさい、あなたたちが聞くことと見ることを。盲人たちは再び見え、足の不自由な者たちは歩き、らい病人たちは清められ、耳の聞こえない者たちは聞き、死人たちは起こされ、そして貧しい者たちは良い知らせを告げられる。そして幸いである、私につまずかない者は。 これらの者たちが去って行くと、イエスはヨハネについて群衆に語り始めた。あなたがたは何を見るために荒野へ出て行ったのか。 風によって揺らされている葦？ でも、あなたたちは何を見に出て行ったのですか。 柔らかい衣服を着た人を? 見よ、柔らかい衣服を着ている者たちは王たちの家にいる。 でも、あなたたちは何を見に出て行ったのですか。 預言者を？ はい、私はあ

なたたちに言う、預言者よりも優れた者である。 この者こそ、それについて書かれている者だからだ。見よ、私は私の使者をあなたの前に送る。彼はあなたの道をあなたの前に整えるだろう。 まことに私はあなたたちに言う、女から生まれた者の中で洗礼者ヨハネより大きい者は起こされていない。しかし天の王国の中でより小さい者は彼より大きい。 バプテスマのヨハネの日々から今まで、天の王国は力づくで取られており、暴力的な者たちがそれを奪い取っている。 すべての預言者たちと律法は、ヨハネまで預言していたのだから。 そしてもしあなたたちがそれを受け入れたいなら、彼は来るはずのエリヤです。 耳のある者は聞くがよい。 では、私はこの世代を何に例えようか? それは市場に座っている子供たちに似ています、その子供たちは自分たちの仲間に呼びかけて言います、私たちはあなたたちのために笛を吹いたのに、あなたたちは踊らなかった、私たちはあなたたちのために嘆き歌ったのに、あなたたちは嘆かなかった。 というのは、ヨハネが食べることもせず飲むこともせずに来たので、彼らは悪霊を持っていると言う。 人の子が来た、食べたり飲んだりして、そして彼らは言う、見よ、大食いの人でぶどう酒飲み、取税人の友で罪人の友だ。 そして知恵はその子供たちから義とされた。それから彼は、彼の最も多くの力が行われた町々を非難し始めた、なぜなら彼らは悔い改めなかったからである。災いだ、あなたに、コラジン、災いだ、あなたに、ベツサイダ。なぜならもしツロとシドンであなたがたの中で行われた力が行われたなら、昔に荒布と灰の中に座って悔い改めていただろう。 しかし私はあなたたちに言う、ツロとシドンにとっては裁きの日においてあなたたちよりも耐えやすいだろう。 そしてあなたカペナウム、天まで高く上げられた者よ、あなたは黄泉まで引き下ろされるだろう。なぜなら、もしソドムであなたの中で起こった力ある業が起こっていたなら、そ

れは今日まで残っていただろうから。 しかし私はあなたたちに言う、ソドムの地は裁きの日にあなたよりも耐えやすいだろう。 その時にイエスは答えて言った。父よ、天と地の主よ、私はあなたに感謝します、なぜならあなたはこれらのことを賢い者たちと理解ある者たちから隠して、それらを幼子たちに現したからです。そうです、父よ、なぜならこのようにあなたの前で御心が成ったからです。 すべてのものは私の父によって私に引き渡された。そして父以外は誰も息子を完全に知らない、また息子以外は誰も父を完全に知らない、そして息子が明らかにしたいと望む者以外は。 来なさい、私のもとへ、すべての労苦している者たちと重荷を負わされている者たちよ。そうすれば私があなたたちを休ませてあげよう。 私の軛をあなたたちの上に負いなさい、そして私から学びなさい、なぜなら私は柔和で心において謙遜だからです、そしてあなたたちは自分の魂に安息を見出すでしょう。というのも私の軛は良いものであり、私の荷は軽いからです。

12

その時、イエスは安息日に穀物畑を通って行った。彼の弟子たちは空腹になり、穂を摘んで食べ始めた。 そしてそのパリサイ人たちは見て彼に言った、見よ、あなたの弟子たちは安息日にすることが許されていないことをしている。 そして彼は彼らに言った、あなたたちは読まなかったのか、ダビデが何をしたかを、彼自身と彼と共にいた者たちが空腹だった時に。 どのようにして彼は神の家に入り、供えのパンを食べたか。それは彼が食べることも、彼と共にいる者たちが食べることも許されておらず、ただ祭司たちだけが許されて

いたものだった。 あるいはあなたたちは律法の中で読まなかったのか、安息日に祭司たちが神殿の中で安息日を冒涜するが、無罪であるということを。 私はあなたたちに言う、神殿よりも大きいものがここにいる。 もしあなたたちが憐れみを私は欲し、犠牲ではないとは何であるかを知っていたなら、あなたたちは罪のない者たちを非難しなかっただろう。 というのも、人の子は安息日の主でもあるからだ。 そして、そこから移って、彼は彼らの集会へ来た。 そして見よ、乾いた手を持っている人がそこにいた。そして彼らは彼に、安息日に癒すことは許されるかと言いながら尋ねた。 彼らが彼を告発するために。 そして彼は彼らに言った、あなたがたの中の誰が一匹の羊を持っていて、もしそれが安息日に穴に落ちたなら、それをつかんで引き上げないだろうか。 それでは、人間は羊とどれだけ違うのだろうか。 だから安息日に良いことをすることは許されている。その時彼はその人に言う、あなたの手を伸ばしなさい。そして彼は伸ばした、そしてもう一方の手のように健康に回復した。 パリサイ人たちは出て行って、彼を滅ぼすために彼について会議を開いた。そしてイエスは知って、そこから退いた。そして多くの群衆が彼に従った。そして彼は彼ら全員を癒した。そして彼は彼らを戒めた、彼らが彼を明らかにしないように、預言者イザヤを通して語られたことが成就されるために、言っている、見よ、わたしの僕、わたしが選んだ者、わたしの愛する者、彼にわたしの魂が喜んだ。わたしはわたしの霊を彼の上に置く、そして彼は諸国民に裁きを告げる。彼は争わず、叫ばず、誰も広場で彼の声を聞かない。 傷ついた葦を折ることはなく、くすぶっている亜麻を消すことはない、彼が裁きを勝利へと送り出すまでは。そして彼の名において諸国民は希望を持つだろう。 その時、悪霊に憑かれた目の見えない者で口のきけない者が彼のもとに連れて来られた。そして彼はその者を癒した。そ

の結果、その目の見えない者で口のきけない者が話すことも見ることもできるようになった。そしてすべての群衆は驚いて言った、この者はダビデの子キリストではないだろうか。 パリサイ人たちは聞いて言った、この人は悪霊の支配者ベルゼブルによらなければ悪霊を追い出さない。 イエスは彼らの思いを知って、彼らに言った。自ら分裂したすべての王国は荒廃させられる、そして自ら分裂したすべての町または家は立つことができないだろう。 そしてもしサタンがサタンを追い出すなら、彼は自分自身に対して分裂したことになる。それならどうやって彼の王国は立つのだろうか。 もし私がベルゼブルによって悪霊を追い出すなら、あなたたちの息子たちは何によって追い出すのか。 このゆえに彼らがあなたがたの裁判官となるでしょう。 しかしもし私が神の霊によって悪霊たちを追い出すなら、それならば神の王国があなたたちのところに到達したのだ。 あるいはどのようにして誰かが強い人の家の中に入って、彼の器を奪うことができるだろうか、もしまず強い人を縛らないなら そしてその時、彼の家を略奪するだろう。 私と共にいない者は私に反対しており、私と共に集めない者は散らす。 このゆえに私はあなたたちに言う、すべての罪と冒涜は人々に赦されるだろう、しかし御霊の冒涜は人々に赦されないだろう。そして誰でももし人の子に対して言葉を言うなら、彼に赦されるだろう。しかし誰でも聖霊に対して言うなら、彼に赦されないだろう、今の世においても来たるべき世においても。 木を良いものとし、その実を良いものとするか、または木を腐ったものとし、その実を腐ったものとするかだ。なぜなら木は実から知られるのだから。 蝮の子らよ、邪悪な者であるお前たちが、どうして良いことを語ることができるのか。 というのも、心の満ち溢れるものから口が話すのだから。 良い人は良い宝から良いものを取り出し、悪い人は悪い宝から悪いものを取り出す。 わたしは

あなたがたに言う、人々が話すすべての無駄な言葉について、彼らは裁きの日にそれについて申し開きをするだろう。なぜならあなたはあなたの言葉から義とされ、そしてあなたの言葉からあなたは罪に定められるだろうからである。 その時、律法学者たちとパリサイ人たちの何人かが答えて言った、先生、私たちはあなたからしるしを見たいのです。 そして彼は答えて彼らに言った。邪悪で姦淫の世代はしるしを求める、そしてしるしは与えられないだろう、預言者ヨナのしるしを除いては。 というのも、ちょうど預言者ヨナが海の怪物の腹の中に三日三晩いたように、そのように人の子も地の心に三日三晩いることになるからだ。 ニネベの人々は裁きにおいてこの世代と共に立ち上がり、そしてそれを罪に定めるだろう。なぜなら彼らはヨナの宣教に悔い改めたからだ。そして見よ、ヨナより偉大なものがここにある。 南の女王はこの世代と共に裁きにおいて起き上がり、そしてこれを罪に定めるだろう。なぜなら彼女は地の果てからソロモンの知恵を聞くために来たからだ。そして見よ、ソロモンより大いなるものがここにある。 汚れた霊が人から出て行く時、それは休息を求めて水のない場所を通り抜けるが、見つけられない。 そのとき彼は言う。私が出て来た私の家に私は戻るだろう。そして来て、彼はそれが空いていて、掃き清められていて、飾られているのを見つける。 それから行って、自分自身より邪悪な七つの他の霊を自分と共に連れて行き、そして入って来てそこに住む、そしてあの人間の最後の状態は最初のものより悪くなる。 このようになるだろう、この邪悪な世代にも。 彼がまだ群衆に話している間に、見よ、彼の母と彼の兄弟たちが外に立っていた、彼に話すことを求めて。 誰かが彼に言った、見よ、あなたの母とあなたの兄弟たちが外に立っています、あなたに会おうとして。 しかし彼は答えて、彼に話しかけていた者に言った。誰が私の母で、誰たちが私の兄弟た

ちなのか。 そして彼は自分の手を自分の弟子たちの上に伸ばして言った。見よ、私の母と私の兄弟たちだ。というのも、天におられる私の父の意志を行う者は誰でも、その人は私の兄弟であり、姉妹であり、母なのだから。

13

その日、イエスは家から出て海のそばに座っていた。そして多くの群衆が彼のところに集まったので、彼は船に乗って座り、群衆は皆、岸に立っていた。 そして彼は彼らに多くのことをたとえで話して言った、見よ、種を蒔く者が種を蒔くために出て行った。 そして彼が種を蒔いている時に、あるものは道の傍らに落ちた。そして鳥たちが来てそれらを食い尽くした。他のものは岩地に落ちた。そこには土が多くなかった。そしてすぐに芽を出した。土の深さがなかったからである。しかし太陽が昇ると焼かれた。そして根がなかったために枯れた。他のものは茨の上に落ちた。そして茨が生い茂ってそれらを窒息させた。他のものは良い土の上に落ちた。そして実を結んだ。あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍。 耳のある者は聞くがよい。 そして弟子たちが近づいて彼に言った、なぜあなたはたとえ話で彼らに話されるのですか。 彼は答えて彼らに言った、あなたたちには天の王国の奥義を知ることが与えられているが、あの人たちには与えられていない。 持っている者には与えられ、増やされるだろう。しかし持っていない者は、持っているものさえ彼から取り去られるだろう。 このゆえに私は彼らにたとえで話す、見ていても見ず、聞いていても聞かず、理解しないために、彼らが立ち返らないように。そしてそのときイザヤの預言が

彼らに成就されるだろう、こう言っている預言が。聞くことで聞くだろうが決して理解しないだろう、そして見ながら見るだろうが決して見ないだろう。なぜならこの民の心は鈍くなったからである、そして耳で重く聞いた、そして彼らの目を閉じた、目で見ないように、そして耳で聞かないように、そして心で理解しないように、そして立ち返らないように、そして私が彼らを癒さないように。 しかしあなたがたの目は幸いである、なぜなら見ているからである、そしてあなたがたの耳も、なぜなら聞いているからである。 まことに、私はあなたたちに言う、多くの預言者と正しい人々は、あなたたちが見ているものを見ることを望んだが、見なかった、そしてあなたたちが聞いているものを聞くことを望んだが、聞かなかった。だから、あなたたちは種を蒔いた者のたとえ話を聞きなさい。 誰でも御国の言葉を聞いて理解しない時、悪い者が来て、彼の心に蒔かれたものを奪い取る。これは道の傍らに蒔かれた者である。 岩地に蒔かれた者、これは言葉を聞いて、すぐに喜びをもってそれを受け入れる者である。しかし自分自身の中に根を持たず、一時的である。言葉のゆえに苦難または迫害が起こると、すぐにつまずく。 茨の中に蒔かれた者、この者は言葉を聞く者であるが、この世の心配と富の欺きが言葉を窒息させ、そして実を結ばない者となる。 そして良い土地の上に蒔かれた者、この者は言葉を聞いて理解する者である。この者は実を結び作る、ある者は百、ある者は六十、ある者は三十を。 彼は別のたとえを彼らに示して言った。天の国は自分の畑に良い種を蒔いた人に似ている。人々が眠っている間に彼の敵が来て、麦の真ん中に雑草を蒔いて去って行った。 しかし草が芽を出して実をつけた時、その時毒麦も現れた。 近づいて来て、その家の主人の奴隷たちが彼に言った。主よ、あなたはあなたの畑に良い種を蒔いたのではなかったのですか。 それならどこから雑草が来たの

ですか? 彼は彼らに言った、敵がこれをやったのだ。 奴隷たちは彼に言った、それでは、私たちが行ってそれらを集めることを望みますか。 彼は言った、いいえ、雑草を集めるときに、それらと同時に穀物を根こそぎにしてしまわないように。収穫まで両方とも一緒に成長させておきなさい、そして収穫の時に、私は刈り取る者たちに言うだろう、まず雑草を集めて、それらを燃やすために束に縛りなさい、そして穀物は私の倉に集めなさいと。 別の譬えを彼らに示して言った。天の王国はからし種の一粒に似ている。ある人がそれを取って自分の畑に蒔いた。それは確かにすべての種の中で最も小さいが、成長すると、すべての野菜の中で最も大きくなり、木になる。その結果、天の鳥たちが来てその枝に巣を作る。 彼は彼らに別のたとえを話した。天の王国はパン種に似ている、それをある女が取って小麦粉三サタの中に隠した、全体が発酵するまで。 これらすべてのことをイエスは群衆にたとえで話した、そしてたとえなしでは何も彼らに話さなかった、預言者によって語られたことが満たされるために、私はたとえで私の口を開くだろう、私は世界の基礎から隠されたものを語り出すだろう。 その時、群衆を去らせて、彼は自分の家に来た。 そして彼の弟子たちが彼に近づいて言った、私たちに畑の雑草のたとえを説明してください。 そして彼は答えて彼らに言った。良い種を蒔く者は人の子である。そして畑は世界である。そして良い種、これらは御国の子らである。そして毒麦は悪しき者の子らである。そしてそれらを蒔いた敵は悪魔である。そして収穫は世の終わりである。そして刈り取る者たちは御使いたちである。 だから、ちょうど雑草が集められて火で燃やされるように、この時代の終わりにおいてもそうなるだろう。 人の子は彼の使いたちを送るだろう、そして彼らは彼の王国から全てのつまずきの石と不法を行う者たちを集めるだろう、そして彼らを火の炉に投げ入れる

だろう。そこには嘆きと歯ぎしりがあるだろう。 その時、正しい者たちは彼らの父の王国で太陽のように輝くだろう。 耳のある者は聞くがよい。 再び天の王国は畑に隠された宝に似ている。それを見つけた人が隠し、そして彼の喜びから去って行き、彼が持っている全てのものを売り、あの畑を買う。 再び天の王国は、美しい真珠を探している商人に似ている。彼は一つの非常に貴重な真珠を見つけて、去って行って、持っていた全てのものを売って、それを買った。 再び天の王国は海に投げられてあらゆる種類から集めた投網に似ている。それが満たされた時、人々はそれを浜辺に引き上げて座り、良いものを器に集めたが、腐ったものは外に投げた。 このように世の終わりにおいてそうなるだろう。 使者たちは出て行くだろう、そして悪しき者たちを正しい者たちの真ん中から分け隔てるだろう、そして彼らを火の炉の中へ投げ入れるだろう。そこに泣きと歯の歯ぎしりがあるだろう。 イエスは彼らに言う、あなたたちはこれらすべてのことを理解しましたか。 彼らは彼に言う、はい、主よ。 そして彼は彼らに言った。このゆえに、天の王国の弟子とされたすべての律法学者は、自分の蔵から新しいものと古いものを取り出す家の主人に似ている。 そしてイエスがこれらのたとえを終えた時、彼はそこから去り、彼の故郷に来て、彼らの集会で彼らを教えていた。その結果、彼らは驚いて言った、どこからこの人にこの知恵と力があるのか。 この人は大工の息子ではないか。 彼の母はマリアと言われ、彼の兄弟たちはヤコブ、ヨセフ、シモン、ユダと言われているのではないか。 そして彼の姉妹たち全員は私たちのところにいるのではないか。 それではこの人はどこからこれらすべてのものを得たのか? そして彼らは彼につまずいていた。 イエスは彼らに言った、預言者が敬われないということはない、自分の故郷と自分の家においてを除いては。 そして彼は、彼らの不信仰のために、そ

こで多くの力あるわざを行わなかった。

14

あの時、領主ヘロデはイエスの噂を聞いて、彼の家来たちに言った。この者はバプテスマのヨハネである。彼は死者の中から起こされたのだ、そしてそのために力が彼の中で働いているのだ。 というのはヘロデがヨハネを捕らえて、彼を縛り、彼の兄弟ピリポの妻ヘロディアのために牢獄に入れたからである。 ヨハネは彼に言っていた、あなたが彼女を持つことは許されないと。 そして彼を殺したいと思ったが、群衆を恐れた、なぜなら彼らは彼を預言者とみなしていたからである。 ヘロデの誕生日の祝いが開かれていた時、ヘロディアの娘が真ん中で踊って、ヘロデを喜ばせた。それゆえ彼は誓いをもって彼女に与えることを約束した、彼女が求めるものは何でも。 そして彼女は母親に促されて、ここで大皿の上に洗礼者ヨハネの頭を私にくださいと言う。 そして王は悲しんだが、誓いのため、そして共に食卓についていた者たちのために、それを与えるよう命じた。そして人を送って、牢獄でヨハネの首をはねた。 そして彼の頭は大皿の上に運ばれ、その少女に与えられ、彼女はそれを彼女の母に持って行った。 そして彼の弟子たちが近づいて来て、体を取り上げて、それを葬り、そして来てイエスに報告した。 聞いて、イエスはそこから船で人里離れた場所へひとりで退いた。そして群衆は聞いて、町々から徒歩で彼に従った。 そしてイエスは出て行って多くの群衆を見て、彼らに対して憐れみを感じ、彼らの病人たちを癒した。 夕方になったが、彼の弟子たちが彼に近づいて言った、この場所は荒れ地で、時刻はすでに過ぎました。群衆を解散させてくだ

さい、彼らが村々に行って自分たちのために食べ物を買えるように。 イエスは彼らに言った、彼らは去る必要はない。あなたたちが彼らに食べ物を与えなさい。 彼らは彼に言った、私たちはここには五つのパンと二匹の魚しか持っていません。 彼は言った、それらをここに持って来なさい。 そして群衆に草の上に横になるように命じて、五つのパンと二匹の魚を取って、天を見上げて祝福し、そして裂いて弟子たちにパンを与え、そして弟子たちは群衆に与えた。 そして皆が食べて満たされ、そして彼らは余った破片の十二の満ちた籠を取り上げた。 食べていた者たちは男たちでおよそ五千人だった、女たちと子供たちを除いて。 そしてイエスは直ちに弟子たちに船に乗り込むことを強制し、彼が群衆を解散させるまで、自分より先に向こう岸へ進ませた。 そして群衆を解散させて、彼は祈るために一人で山へ登った。 夕方になったが、彼は一人でそこにいた。 そしてその船はすでに海の真ん中にあり、波によって苦しめられていた。というのも風が逆風だったからである。 夜の第四の見張りに、イエスは海の上を歩いて彼らのところへ行った。 弟子たちは彼が海の上を歩いているのを見て動揺し、幽霊だと言って、恐怖から叫んだ。 すぐにイエスは彼らに話して言った、勇気を出しなさい、私だ、恐れるな。 ペトロは彼に答えて言った、主よ、もしあなたであるなら、私にあなたのところへ水の上を来ることを命じてください。 そして彼は言った、来なさい。 そしてペトロは船から降りて、イエスのところに来るために水の上を歩いた。 強い風を見て彼は恐れ、そして沈み始めて叫んで言った、主よ、私を救ってください。 しかしすぐにイエスは手を伸ばして彼をつかみ、彼に言う、信仰の少ない者よ、なぜ疑ったのか そして彼らが船に乗り込むと風は止んだ。そして船の中にいた者たちは来て彼を拝んで言った。本当にあなたは神の子です。 そして渡ってゲネサレトの地に来た。 そしてそ

の場所の男たちは彼を認識して、その周辺地域全体に使いを送り、彼に病気の者たち全てを連れて来た。そして彼らは彼に懇願した、せめて彼の衣の房にだけ触れさせてくれるように。そして触れた者たち皆は救われた。

15

その時、エルサレムから律法学者たちとパリサイ人たちがイエスに近づいて来て言った、なぜあなたの弟子たちは長老たちの言い伝えを破るのですか。 というのは、彼らはパンを食べるときに手を洗わないのです。 そして彼は答えて彼らに言った、なぜあなたたちも、あなたたちの伝統のために神の戒めを破るのか。 というのも神が命じて言われたからである。父を敬え、そして母を、そして父または母を悪く言う者は死をもって死ねと。 しかしあなたたちは言う。誰でも父または母にあなたが私から受ける利益は供え物ですと言えば、その人は自分の父または母を敬わなくてもよい。こうしてあなたたちは自分たちの伝統のために神の戒めを無効にした。 偽善者たちよ、イザヤはあなたがたについてよく預言した、言って、この民は彼らの口で私に近づき、そして彼らの唇で私を敬う。しかし彼らの心は遠く私から離れている。そしてむなしく彼らは私を崇める、人間の戒めを教えとして教えながら。 そして群衆を呼び寄せて、彼らに言った。聞きなさい、そして理解しなさい。口の中に入るものは人を汚さない。しかし口から出て来るもの、これが人を汚すのだ。 その時、彼の弟子たちが近づいて来て、彼に言った。あなたは知っていますか、パリサイ人たちがその言葉を聞いて躓いたことを。 そして答えて言った、私の天の父が植えなかったすべての植物

は根こぎにされるだろう。 彼らを放っておきなさい。彼らは盲人の盲目の案内人である。盲人が盲人を導くなら、両方とも穴に落ちるだろう。 ペトロは答えて彼に言った。私たちにこのたとえを説明してください。 イエスは言った、まだあなたたちも理解していないのですか。 まだ分からないのか、口に入るものはすべて腹に入り、そして便所に排出されることを。 口から出て来るものは心から出て来る、そしてそれらが人を汚す。 というのも心から出て来るのは邪悪な考え、殺人、姦淫、淫行、盗み、偽証、冒涜だからです。 これらのものが人を汚すものである。しかし洗っていない手で食べることは人を汚さない。 そしてイエスはそこから出て行って、ティルスとシドンの地方へ退いた。 そして見よ、カナン人の女がその地域から出て来て、彼に叫んで言った。私を憐れんでください、主よ、ダビデの子よ。私の娘がひどく悪霊に取り憑かれています。 しかし彼は彼女に一言も答えなかった。 そして彼の弟子たちが近づいて、彼に尋ねて言った、彼女を去らせてください、なぜなら彼女は私たちの後ろで叫んでいるからです。 しかし彼は答えて言った、私は遣わされなかった、ただイスラエルの家の失われた羊たちのところへ以外には。 そして彼女は来て、彼にひれ伏して言った、主よ、私を助けてください。 しかし彼は答えて言った、子供たちのパンを取って小犬たちに投げるのは良くない。 彼女は言った、はい、主よ。小さい犬たちも、彼らの主人たちの食卓から落ちるパンくずを食べるのです。 その時、答えてイエスは彼女に言った。ああ、女よ、あなたの信仰は大きい。あなたが望むようにあなたになされよ。 そして彼女の娘はその時から癒された。 そしてそこから移動して、イエスはガリラヤの海のそばに来た。そして山に登ってそこに座っていた。 そして多くの群衆が彼のところに近づいた。自分たちと共に足の不自由な人、盲人、耳の聞こえない人、体の不自由な人、そして他の多

くの人を連れて。そして彼らをイエスの足元に置いた。そして彼は彼らを癒した。その結果、群衆は驚嘆した。耳の聞こえない人が聞こえるのを見て、口のきけない人が話すのを、体の不自由な人が健康になるのを、足の不自由な人が歩くのを、そして盲人が見えるのを見て。そして彼らはイスラエルの神を賛美した。 イエスは彼の弟子たちを呼び寄せて言った。私は群衆を憐れむ、なぜなら既に三日間彼らは私と共に留まっており、そして彼らは何か食べるものを持っていない。そして彼らを断食のまま去らせることを私は望まない、道で彼らが倒れるといけないから。 そして彼の弟子たちは彼に言う、荒野でどこから私たちにこんなに多くのパンがあって、こんなに多くの群衆を満たすことができるのですか。 そしてイエスは彼らに言う、あなたたちはパンを何個持っていますか。 彼らは言った、七つです、そして少しの小さな魚です。 そして彼は群衆に地面に横になるように命じた。 そして七つのパンと魚を取って、感謝してから、彼はそれを裂いて自分の弟子たちに与え、そして弟子たちは群衆に与えた。 そして皆が食べて満たされた。そして彼らは残った破片を七つの満杯の籠に集めた。そして食べていた者たちは女たちと子供たちを除いて四千人の男たちだった。 そして群衆を解散させて、彼は船に乗り込み、マグダラの地域に来た。

16

そしてパリサイ人たちとサドカイ人たちが近づいて来て、試みて、天からのしるしを彼らに示すように彼に求めた。 そして彼は答えて彼らに言った。夕方になると、あなたたちは言う、晴天だ、なぜなら空が赤いから。そして朝には、今日は嵐だ、なぜなら空が曇って

赤いから。 偽善者たちよ、あなたたちは天の様子を見分けることは知っているが、時のしるしを知ることはできないのか。 邪悪で姦淫の世代はしるしを求める、そしてしるしは与えられないだろう、それに、預言者ヨナのしるしを除いては。 そして彼らを残して去った。 そして彼の弟子たちは向こう岸に来て、パンを持って来ることを忘れた。 イエスは彼らに言った、見なさい、そしてパリサイ人とサドカイ人のパン種に注意しなさい。 彼らはパンを私たちは受け取らなかったと言いながら、自分たちの中で論じ合っていた。 知ってイエスは彼らに言った。何をあなたたちは自分たちの中で論じているのか、信仰の少ない者たちよ、パンを取らなかったということか。 まだあなたたちは理解しないのか、五千人への五つのパンと、あなたたちが受け取ったかごがいくつだったかを覚えてもいないのか。 四千人の七つのパンと、何個のかごを取ったかも覚えていないのか。 どうしてあなたたちは理解しないのか、私があなたたちに言ったのはパンについてではなく、パリサイ人とサドカイ人のパン種に注意するようにということを。 その時彼らは、パンの種から気をつけるようにと言ったのではなく、パリサイ人とサドカイ人の教えから気をつけるようにと言ったのだと理解した。 イエスはピリポのカイサリアの地方に来て、彼の弟子たちに尋ねて言った、人々は人の子である私を誰だと言っているのか? 彼らは言った、ある者たちは洗礼者ヨハネだと言い、他の者たちはエリヤだと言い、また他の者たちはエレミヤまたは預言者たちの一人だと言っています 彼は彼らに言う。しかしあなたたちは私を誰だと言うのか? シモン・ペテロが答えて言った、あなたは生ける神の子キリストです。 そしてイエスは答えて彼に言った、祝福されているぞ、シモン・バルヨナ、なぜなら肉と血があなたに明らかにしたのではなく、天におられる私の父が明らかにしたのだから。 そして私もあなたに言う、あなたは

ペトロである、そしてこの岩の上に私は私の教会を建てるだろう、そして黄泉の門はそれに打ち勝たないだろう。 そして私はあなたに天の国の鍵を与えよう、そしてあなたが地上で縛るものは何でも、天において縛られているだろう、そしてあなたが地上で解くものは何でも、天において解かれているだろう。 その時、彼は自分の弟子たちに命じた、誰にも言わないように、彼がイエス・キリストであるということを。 その時からイエスは弟子たちに、自分がエルサレムへ行かなければならないこと、そして長老たちと祭司長たちと律法学者たちから多くの苦しみを受けること、そして殺されること、そして三日目に起こされることを示し始めた。 そしてペテロは彼を脇に連れて行って、彼を叱り始めて言った、神の憐れみがありますように、主よ。これは決してあなたに起こりません。 そして彼は振り向いてペテロに言った。私の後ろに下がれ、サタンよ。あなたは私のつまずきの石である。なぜならあなたは神のことを思わず、人間のことを思うからだ。 その時、イエスは自分の弟子たちに言った。もし誰かが私の後について来ることを望むなら、自分自身を否定し、自分の十字架を取り上げ、そして私に従いなさい。 誰でも自分の魂を救いたいと願うなら、それを失うだろう。しかし誰でも私のために自分の魂を失うなら、それを見つけるだろう。 というのも、人が全世界を得ても、しかし自分の魂を失ったら、何の益を受けるだろうか。 あるいは人は何を自分の魂の交換として与えるだろうか。 というのも、人の子は彼の父の栄光の中で彼の使者たちと共に来ようとしているからである。そしてその時、彼は各々に彼の行いに従って報いるだろう。 まことにあなたがたに言う、ここに立っている者たちの中には、人の子が彼の王国において来るのを見るまで決して死を味わわない者たちがいる。

17

そして六日後、イエスはペテロとヤコブと彼の兄弟ヨハネを連れて行き、彼らを高い山へ人目を避けて連れて上った。そして彼は彼らの前で変容した。そして彼の顔は太陽のように輝いた。そして彼の衣は光のように白くなった。 そして見よ、モーセとエリヤが彼と一緒に話しているのが彼らに現れた。 答えて、ペトロはイエスに言った。主よ、私たちがここにいることは良いです。もしあなたが望むなら、私たちはここに三つの幕屋を作りましょう、あなたに一つ、モーセに一つ、そしてエリヤに一つを。 彼がまだ話している間に、見よ、明るい雲が彼らを覆った。そして見よ、雲から声がして言った、この者は私の愛する息子、私が喜びとする者である。彼の言うことを聞きなさい。弟子たちはこれを聞いて、顔を地に伏せて倒れ、非常に恐れた。 そしてイエスは近づいて彼らに触れて言った、起きなさい、恐れるな。 彼らは目を上げたが、イエスだけしか見えなかった。 そして彼らが山から降りているとき、イエスは彼らに命じて言った、人の子が死人たちから復活するまで、誰にもその幻を言うな。 そして彼の弟子たちは彼に尋ねて言った、それでは何故律法学者たちはエリヤが最初に来なければならないと言うのですか。イエスは答えて彼らに言った。エリヤは確かに最初に来て、すべてのものを回復するだろう。しかし私はあなたたちに言う、エリヤはすでに来たが、彼らは彼を認識しなかった。それどころか彼らは彼に対して望んだだけのことをした。このように人の子も彼らによって苦しむことになっている。 その時弟子たちは、彼が彼らにバプテスマのヨハネについて言ったのだということを理解した。 そして彼らが群衆のところへ来たとき、ある男が彼にひざまずいて近づき、

言った。主よ、私の息子を憐れんでください。彼は月の影響を受けていてひどく苦しんでいます。というのも彼はしばしば火の中に倒れ、しばしば水の中に倒れるからです。 そして私は彼をあなたの弟子たちに連れて来ましたが、彼らは彼を癒すことができませんでした。 イエスは答えて言った。ああ、不信仰で曲がった世代よ、いつまで私はあなたがたと共にいるだろうか。 いつまで私はあなたたちに耐えなければならないのか? 彼をここに連れてきて。 そしてイエスは彼を叱責した、そして悪霊は彼から出て行った、そしてその子はその時から癒された。 その時、弟子たちがイエスに近づいて来て、ひそかに言った。なぜ私たちはそれを追い出すことができなかったのですか。 イエスは彼らに言った、あなたたちの不信仰のためだ。 まことにあなたがたに言う、もしあなたがたがからしの種のような信仰を持つなら、あなたがたはこの山にここからあそこへ移れと言うだろう、そしてそれは移るだろう、そして何もあなたがたには不可能ではないだろう。 この種類は、祈りと断食によらなければ出て行かない。 彼らがガリラヤに戻っている時、イエスは彼らに言った。人の子は人々の手に引き渡されようとしている、そして彼らは彼を殺すだろう、そして三日目に彼は起き上がらせられるだろう。 そして彼らは非常に悲しんだ。 彼らがカペルナウムに来たとき、二ドラクマを集める者たちがペテロに近づいて言った、あなたがたの先生は二ドラクマを納めないのですか はいと言う。 そして彼が家に入った時、イエスが先回りして彼に言った、シモン、あなたはどう思うか 地の王たちは誰から税または貢を受け取るのか。 彼らの息子たちからですか、それとも他人たちからですか？ ペトロは彼に言う。他の者たちからです。 イエスは彼に言った、それでは息子たちは自由である。 しかし私たちが彼らをつまずかせないために、海に行って釣り針を投げなさい、そして最初に上がってきた魚を取

り上げなさい、そしてその口を開ければスタテル銀貨を見つけるだろう、それを取って私とあなたの代わりに彼らに与えなさい。

18

あの時に、弟子たちはイエスに近づいて言った、それでは誰が天の王国において一番偉いのですか。 そしてイエスは子供を呼び寄せて、彼らの真ん中にその子を立たせて、そして言った。まことに私はあなたたちに言う、もしあなたたちが向きを変えて子供たちのようにならないなら、あなたたちは天の王国に決して入らない。 それゆえ、誰でもこの子供のように自分自身を低くする者、この者が天の王国において最も偉大な者である。 そして、もし誰かが私の名においてこのような一人の子供を受け入れるなら、私を受け入れるのである。しかし、もし誰かが私を信じているこれらの小さい者たちの一人をつまずかせるなら、ロバの挽く石臼が彼の首に掛けられて、海の沖で溺れさせられる方が彼にとって益である。 災いだ、つまずきの石のために世界に。なぜなら、つまずきの石が来ることは必然だから。しかし、災いだ、そのつまずきの石がそれを通して来るところのその人に。 もしあなたの手またはあなたの足があなたをつまずかせるなら、それらを切り落として、あなたから投げ捨てなさい。二つの手または二つの足を持って永遠の火の中に投げ込まれるよりも、足の不自由な者または不具の者として命に入る方があなたにとって良いのです。 もしあなたの目があなたをつまずかせるなら、それを取り出してあなたから投げ捨てなさい。二つの目を持ったまま火のゲヘナに投げ込まれるよりも、片目で命に入る方があなたにとって良い。 見よ、これらの小さい者たちの一人を軽蔑しては

ならない。というのは私はあなたたちに言うが、彼らの使いたちは天においていつも天にいる私の父の顔を見ているのだから。 人の子は失われたものを救うために来たのだから。 あなたたちはどう思いますか。 もしある人に百匹の羊がいて、そしてそれらの中から一匹が迷ったら、九十九匹を山に残して、行って迷っているものを探さないだろうか。 そしてもしそれを見つけることになるなら、まことに私はあなたたちに言う、彼はそれについて、迷わなかった九十九のものたちについてよりも、もっと喜ぶのである。 このように、これらの小さい者の一人が滅びることは、天にいるあなたがたの父の御心ではない。 もしあなたの兄弟があなたに対して罪を犯したら、行ってあなたと彼だけの間で彼を戒めなさい。もし彼があなたの言うことを聞いたら、あなたはあなたの兄弟を得た。しかしもし聞かなかったら、あなたと共にさらに一人か二人を連れて行きなさい、二人の証人または三人の口によってすべての言葉が立てられるために。 もし彼らの言うことを聞かないなら、集会に言え。もしまた集会の言うことも聞かないなら、あなたにとって異邦人と取税人のようであれ。 まことにあなたがたに言う、あなたがたが地上で縛るものはすべて、天において縛られているだろう、そしてあなたがたが地上で解くものはすべて、天において解かれているだろう。 再び、まことに、私はあなたたちに言う、もしあなたたちのうちの二人が地上で、彼らが求めるどんな事についても同意するならば、それは天におられる私の父から彼らになされるだろう。 なぜなら、二人または三人が私の名において集まっているところには、私は彼らの真ん中にいるからです。 その時ペトロが彼に近づいて言った。主よ、私の兄弟が私に対して罪を犯したら何回私は彼を赦しましょうか。七回まで？ イエスは彼に言う。私はあなたに七回までとは言わない。七十回の七回までだ。 このゆえに天の王国は、自分の奴隷たち

と勘定を清算することを望んだ王である人に似せられた。 彼が清算を始めたとき、一万タラントの債務者一人が彼のもとに連れて来られた。 彼が返済する手段を持っていなかったので、彼の主人は彼と彼の妻と子供たちと彼が持っていた全てのものを売って返済するよう命じた。 それゆえ、その奴隷はひれ伏して彼を拝みながら言った、主よ、私に対して我慢してください、そして全てをあなたに返済します。 憐れみを持って、その奴隷の主人は彼を解放し、借金を免除した。 出て行って、あの奴隷は彼の仲間の奴隷たちの一人を見つけた。その者は彼に百デナリを借りていた。そして彼を捕まえて彼を絞め始めた、言いながら私に返せ、もし何か借りているなら。それで彼の仲間の僕が彼の足元に倒れて、彼に懇願して言った、私に対して忍耐してください、そうすればあなたに返済します。 しかし彼は望まなかった。それどころか去って行って、彼を牢獄に投げ入れた、負債を返済するまで。 彼の仲間の僕たちは起こったことを見て、非常に悲しみ、そして来て、彼ら自身の主人に起こったすべてのことを説明した。 その時、彼の主人は彼を呼び寄せて、彼に言う。悪い奴隷よ、あの全ての借金を私はお前に許した、なぜならお前は私に懇願したからだ。 あなたも自分の仲間の僕を憐れむべきではなかったか、私があなたを憐れんだように？ そして怒った彼の主は、彼が負っている全てを返すまで、彼を拷問者たちに引き渡した。 このように私の天の父もあなたたちにするだろう、もしあなたたちがそれぞれ自分の兄弟の罪をあなたたちの心から赦さないなら。

19

そして、イエスがこれらの言葉を終えた時、彼はガリラヤから出発して、ヨルダンの向こうのユダヤの境界へ来た。 そして大勢の群衆が彼に従い、彼はそこで彼らを癒した。 そしてパリサイ人たちが彼を試みながら彼に近づいて、彼に言った、人が何らかの理由で自分の妻を離縁することは許されるか。 しかし彼は答えて彼らに言った。あなたがたは読まなかったのか。初めから造られた方が彼らを男と女に造られ、そしてこのゆえに人は彼の父と母を離れ、そして彼の妻に結ばれ、そして二人は一つの肉になるだろうと言われたことを。 したがって彼らはもはや二つではなく、一つの肉である。 神が結び合わせたものを、人は離してはならない。 彼らは彼に言う、それではなぜモーセは離縁の証書を与えて彼女を去らせることを命じたのですか。 彼は彼らに言う、モーセはあなたがたの心の頑なさのゆえに、あなたがたがあなたがたの妻を離縁することを許したが、初めからそのようではなかった。 しかし私はあなたたちに言う、性的不道徳の理由でなく自分の妻を離縁し、別の女と結婚する者は姦淫を犯す。そして離縁された女と結婚した者は姦淫を犯す。弟子たちは彼に言う。もし夫と妻の関係がそのようなものであるなら、結婚しない方がよい。 彼は彼らに言った、全ての人がこの言葉を受け入れるのではない、しかしそれが与えられた人々だけである。なぜなら宦官たちがいる、彼らは母の胎からそのように生まれた者たちである。 そして人々によって宦官にされた宦官たちがおり、そして天の王国のために自分自身を宦官にした宦官たちがいる。 受け入れることができる者は、受け入れなさい。 その時、子供たちが彼のもとに連れて来られた、彼が彼らの上に手を置いて祈るために。しかし弟子たちは彼らを叱った。 そしてイエスは言った。子供たちを来させなさい、そして彼らが私のところに来ることを妨げてはいけない。なぜなら天の王国はそのような者たちのものだか

らだ。 そして彼らに手を置いて、そこから去った。 そして見よ、一人が近づいて来て彼に言った。善い先生、永遠の命を得るために、私は何の善いことをすればよいのでしょうか。 そして彼は彼に言った。なぜあなたは私を良いと言うのか。 神ただお一人を除いて、誰も善い者はいない。 もしあなたが命に入ることを望むなら、その戒めを守りなさい。 彼は彼に言う:どれを? イエスは言った、殺してはならない、姦淫してはならない、盗んではならない、偽証してはならない、父と母を敬え、そしてあなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。 その若者は彼に言う、私はこれらすべてのことを若い時から守ってきました。私はまだ何を欠いているのですか。 イエスは彼に言った。もしあなたが完全でありたいなら、行ってあなたの持ち物を売って貧しい人々に与えなさい、そうすればあなたは天に宝を持つだろう、そしてここに来て私に従いなさい。 その言葉を聞いて、若者は悲しみながら去って行った。というのも彼は多くの財産を持っていたからである。 イエスは彼の弟子たちに言った。本当に私はあなたたちに言う、金持ちが天の国に入るのは困難である。 そして再びあなたたちに言う、ラクダが針の穴を通り抜けることは、金持ちが神の王国に入るよりも易しい。 聞いて、彼の弟子たちは非常に驚いて言った。それでは誰が救われることができるのか。 イエスはじっと見て彼らに言った。人間にとってこれは不可能だが、神にとって全てのことは可能である。 その時ペトロが答えて彼に言った。見よ、私たちはすべてを捨ててあなたに従いました。それでは私たちには何があるでしょうか。 イエスは彼らに言った。まことに私はあなたたちに言う、私に従った者たちであるあなたたちは、再生において、人の子が彼の栄光の玉座の上に座る時、あなたたちもまた十二の玉座の上に座ってイスラエルの十二部族を裁くであろう。 そして私の名のために家または兄弟または姉妹または父または

母または妻または子供または畑を捨てた全ての者は、百倍を受け取り、永遠の命を相続するだろう。 多くの最初の者が最後になり、最後の者が最初になるだろう。

20

天の王国は家の主人である人に似ている。その人は朝早く出て行った、労働者たちを雇うために彼のぶどう園へ。 そして労働者たちと一日一デナリオンで合意して、彼は彼らを彼のぶどう園へ送った。そして第三の時頃に出て行って、市場で働いていない他の者たちが立っているのを見た。そして彼らに言った、あなたたちも葡萄園へ行きなさい、そして正しいものを私はあなたたちに与えよう。 彼らは去って行った。 再び出て行って、第六時と第九時ごろに、同様にした。 第十一時頃、出て行って、他の者たちが怠けて立っているのを見つけた、そして彼らに言う、何故ここに一日中怠けて立っているのか。 彼らは彼に言った、誰も私たちを雇いませんでした。 彼は彼らに言った、あなたたちもぶどう園へ行きなさい、そうすれば正しい報酬を受け取るだろう。 夕方になって、ぶどう園の主人は彼の管理人に言う、労働者たちを呼べ、そして彼らに賃金を払え、最後の者たちから始めて最初の者たちまで。 そして第十一時ごろに来た者たちは一デナリオンずつを受け取った。 最初の者たちが来て、彼らはもっと多く受け取るだろうと思ったが、彼ら自身も一デナリオンずつ受け取った。 受け取ったが、彼らは家の主人に対して不平を言っていた、こう言って、これらの最後の者たちは一時間働いた、そしてあなたは彼らを、その日の重荷と焼けるような暑さを負った私たちと、等しくした。 そして彼は答えて彼らの一人に言った。友

よ、私はあなたに不正をしていない。あなたは私と一デナリオンで合意したではないか。 あなたのものを取り上げて行け。そして私はこの最後の者にあなたと同じように与えたい。それとも私のものの中で私が望むことをすることは私に許されていないのか。 私が善良だからといって、あなたの目は邪悪なのか? このように最後の者たちが最初になり、最初の者たちが最後になるだろう。なぜなら多くの者たちが呼ばれているが、少数の者たちが選ばれているからである。 そしてイエスはエルサレムへ上って行きながら、十二人の弟子たちを道で個別に連れて行って、そして彼らに言った。見よ、私たちはエルサレムへ上って行く、そして人の子は祭司長たちと律法学者たちに引き渡されるだろう、そして彼らは彼を死に断罪するだろう、そして彼らは彼を異邦人たちに引き渡すだろう、嘲るために、そして鞭打つために、そして十字架につけるために、そして三日目に彼は起き上がるだろう。 その時、ゼベダイの息子たちの母が彼女の息子たちと共に彼に近づき、ひれ伏して、彼から何かを求めた。彼は彼女に言った、何を望むのか。 彼女は彼に言う。私のこの二人の息子が、一人はあなたの右に、一人はあなたの左に、あなたの王国で座れるように言ってください。 答えてイエスは言った。あなたたちは自分たちが何を求めているのか分かっていない。 あなたたちは私が今にも飲もうとしているそのカップを飲むことができるか、または私が受けているそのバプテスマを受けることができるか? 彼らは彼に言う、私たちはできます。 そして彼は彼らに言う、確かにあなたたちはわたしの杯を飲むだろう、そしてわたしが受ける洗礼をあなたたちも受けるだろう。しかしわたしの右と左に座ることは、わたしが与えるものではなく、わたしの父によって準備されている者たちのためのものである。 そして聞いて、十人は二人の兄弟のことで憤慨した。 イエスは彼らを呼び寄せて言った。あなたがたは

知っている、異邦人の支配者たちは彼らを支配し、偉い人たちは彼らに権力を行使することを。 あなたがたの間ではそのようにはならないだろう。しかし、誰でももしあなたがたの間で偉大になることを望むなら、あなたがたのしもべになるだろう。そして誰でももしあなたがたの間で第一であることを望むなら、あなたがたの奴隷になるだろう。ちょうど人の子が仕えられるために来たのではなく、仕えるために、そして多くの人の代わりに彼の魂を身代金として与えるために来たように。 そして彼らがエリコから出て行くとき、大勢の群衆が彼に従った。 そして見よ、二人の盲人が道のそばに座っていた。イエスが通り過ぎると聞いて、彼らは叫んで言った。私たちを憐れんでください、主よ、ダビデの子よ。 そして群衆は彼らを叱って黙るようにさせた。しかし彼らはもっと大きく叫んで言った。私たちを憐れんでください、主よ、ダビデの子よ。 そしてイエスは立ち止まって彼らを呼び、そして言った、あなたたちのために何をしてほしいのか。 彼らは彼に言う、主よ、私たちの目が開かれますように。 憐れみを持って、イエスは彼らの目に触れた。そして直ちに彼らの目は見えるようになり、彼らは彼に従った。

21

そして彼らがエルサレムに近づき、オリーブの山のところのベツファゲに来た時、その時イエスは二人の弟子たちを送り、彼らに言った、あなたがたの前の村に行きなさい、そしてすぐにあなたがたはロバが縛られているのと子ロバがそれと一緒にいるのを見つけるだろう。解いて私のところに連れて来なさい。 もし誰かがあなたたちに何か言うなら、主がそれらを必要としていると言いなさい。

そうすればすぐに彼はそれらを送ります。 このこと全体が起こったのは、預言者によって語られたことが成就されるためである、こう言っている、シオンの娘に言え、見よ、あなたの王があなたのところに来る、柔和で、ロバに、そして荷役の獣の子である子ロバに乗って。 弟子たちは行って、イエスが彼らに命じた通りに行い、ろばと子ろばを連れて来て、それらの上に自分たちの衣を置き、そして彼はその上に座った。 そして大群衆は自分たちの衣服を道に敷いた、そして他の者たちは木々から枝を切って道に敷いていた。 先に進んでいる群衆たちと後に従っている群衆たちは叫んでいた、ホサナ、ダビデの息子に。祝福されているのは主の名において来る者。ホサナ、いと高き所において。 そして彼がエルサレムに入ると、町全体が揺れてこの人は誰ですかと言った。 群衆たちは言っていた、この人はガリラヤのナザレから来た預言者イエスだ。 そしてイエスは神の神殿に入った。そして神殿で売っている者たち全員と買っている者たちを追い出した。そして両替商たちのテーブルをひっくり返し、鳩を売っている者たちの席をひっくり返した。そして彼らに言う、書かれている、私の家は祈りの家と呼ばれるであろう。しかしあなたたちはそれを強盗たちの洞窟にした。 そして足の不自由な人たちと目の見えない人たちが神殿で彼に近づき、そして彼は彼らを癒した。 祭司長たちと律法学者たちは、彼が行った驚くべきことと、神殿で叫んでいる子供たちがホサナ、ダビデの子にと言っているのを見て、憤慨し、彼に言った。あなたにはこれらの者たちが何を言っているか聞こえるか。 そしてイエスは彼らに言う、はい。あなたたちは一度も読んだことがないのか、幼子たちと乳飲み子たちの口から賛美を整えたということを。 そして彼らを残して、彼は町の外へ出てベタニアへ行き、そこに泊まった。 朝、街へ戻りながら、彼は空腹になった。そして道の上に一本のいちじくの木を見

て、それに近づいた。そして彼はその中に葉だけしか見つけなかった。そして彼はそれに言う、もはやあなたから実が生まれるな、永遠に。 そして、いちじくの木はすぐに枯れた。 そして弟子たちは見て驚いて言った、どうしてすぐにいちじくの木は枯れたのか。 答えてイエスは彼らに言った。まことに私はあなたたちに言う、もしあなたたちが信仰を持ち疑わなければ、あなたたちはいちじくの木のことだけでなく行うだろうし、たとえこの山に持ち上げられて海に投げ込まれよと言っても、それは起こるだろう。そして祈りの中で信じながら求めるすべてのものを、あなたたちは受け取るだろう。そして彼が神殿に来て教えていると、祭司長たちと民の長老たちが彼に近づいて言った、何の権威でこれらのことをあなたはするのか、そして誰があなたにこの権威を与えたのか。 イエスは答えて彼らに言った。私もあなたたちに一つのことを尋ねよう。それをもしあなたたちが私に言うなら、私もあなたたちに何の権威でこれらのことをするのか言おう。 ヨハネの洗礼はどこから来たのか、天からか、それとも人からか。 彼らは自分たちの間で論じ合って言った、もし私たちが天からと言えば、彼は私たちにそれならなぜあなたたちは彼を信じなかったのかと言うだろう。しかしもし私たちが人間からと言えば、私たちは群衆を恐れる。なぜなら皆がヨハネを預言者として認めているからだ。 そして彼らはイエスに答えて言った、私たちは知りません。 彼は彼らに言った。私もあなたたちに言わない、私が何の権威でこれらのことをするのかを。 あなたたちにはどう思われますか? ある男が二人の子供を持っていた。そして最初の子に近づいて言った。子よ、今日私のぶどう園で働きに行きなさい。しかし彼は答えて言った、私は行きたくない。しかし後で考えを変えて行った。 そして二番目の者に近づいて、同じように言った。 しかし彼は答えて言った、行きます、主よ、そして行かなかった。 二

人のうち誰が父の意志を行ったか？ 彼らは彼に言う、最初の者です。 イエスは彼らに言う。まことに私はあなたたちに言う。取税人たちと売春婦たちはあなたたちより先に神の王国に入る。 というのもヨハネは義の道においてあなたたちのところに来たが、あなたたちは彼を信じなかった。しかし徴税人たちと売春婦たちは彼を信じた。そしてあなたたちはそれを見ても、後になって彼を信じるために心を変えなかった。 別のたとえ話を聞きなさい。 ある人が家の主人だった。その人はぶどう園を植え、その周りに垣根を巡らせ、その中に酒ぶねを掘り、やぐらを建て、それを農夫たちに貸し出して、旅に出た。 実りの時が近づいた時、彼は自分の奴隷たちを農夫たちのところへ自分の実りを受け取らせるために送った。 そして農夫たちは彼の奴隷たちを捕まえて、ある者を打ち、ある者を殺し、ある者を石打ちにした。 再び彼は他の奴隷たちを送った、最初のものたちよりも多くを、そして彼らは彼らに同様にした。 しかし後で、彼は自分の息子を彼らのところへ送って、こう言った。彼らは私の息子を尊敬するだろう。 農夫たちは息子を見て、互いに言った。この者が相続人だ。さあ、彼を殺して、彼の相続財産を奪おう。 そして彼らは彼を捕まえて、ぶどう園の外へ追い出し、殺した。 それで、ぶどう園の主人が来る時、あの農夫たちに何をするだろうか。 彼らは彼に言う、彼は悪い者たちをひどく滅ぼし、そしてそのぶどう園を他の農夫たちに貸し出すだろう。彼らは彼にその時々に果実を返すだろう。 イエスは彼らに言う。あなたたちは聖書の中で一度も読んだことがないのか。建てる者たちが退けた石、これが隅の頭石となった。これは主から起こった、そして私たちの目には素晴らしいものである。 このゆえに私はあなたがたに言う、神の王国はあなたがたから取り去られ、そしてその実を作る国民に与えられるだろう。そしてこの石の上に落ちる者は砕かれるだろう。

しかしそれが落ちる者の上には、それは彼を打ち砕くだろう。 そして祭司長たちとパリサイ人たちは彼のたとえを聞いて、彼が彼らについて言っていると分かった。そして彼を捕らえようとしたが、群衆を恐れた。なぜなら彼らは彼を預言者と見なしていたからである。

22

そしてイエスは答えて再び彼らにたとえで語って言った、天の王国は一人の王である人にたとえられた、その者は自分の息子のために結婚式を行った。 そして彼は自分のしもべたちを送って、招待された人々を婚礼に呼ばせたが、彼らは来ようとしなかった。 再び他の奴隷たちを送って言った招かれた者たちに言え見よ、私の最上のものを私は準備した。私の雄牛たちと肥えた動物たちが屠られた。そして全てが準備できている。結婚式に来い しかし無視した者たちは去って行った。一人は自分の畑へ、一人は自分の商売へ。そして残りの者たちは彼の奴隷たちを捕まえて虐待して殺した。 しかしあの王は聞いて怒り、彼の軍隊を送ってあの殺人者たちを滅ぼし、彼らの町を焼いた。 そのとき彼は自分の僕たちに言う。婚礼は準備ができている、しかし招待された者たちはふさわしくなかった。だから道の辻へ行け、そして見つけた者を皆婚礼に招け。 そしてあの奴隷たちが外に出て行って道々へ入り、彼らが見つけた限りの全ての人々を、悪い者たちも良い者たちも集めた。そして婚宴は横たわっている者たちで満たされた。 王が入って横になっている人々を見ると、そこで結婚の衣を着ていない男を見た、そして彼に言う、友よ、どのようにして結婚の衣を持たないでここに入ったのか。 しか

し彼は黙らされた。 その時、王は召使いたちに言った。彼の足と手を縛って、彼を持ち上げて外の暗闇に投げ出せ。そこには嘆きと歯ぎしりがあるだろう。 多くの者が招かれるが、選ばれる者は少ない。 その時、ファリサイ派の人々は出て行って相談し、彼を言葉で罠にかけようとした。 そして彼らは彼に彼らの弟子たちをヘロデ党の者たちと共に送り、言った、先生、私たちは知っています、あなたは真実であり、そして神の道を真理において教えており、そして誰についてもあなたは気にかけません、なぜならあなたは人間たちの顔を見ないからです。それゆえ私たちに言ってください、あなたにはどう思われますか。 カエサルに税を納めることは許されているか、それとも許されていないか? 彼らの悪意を知って、イエスは言った、何故私を試すのか、偽善者たちよ。 私に税の硬貨を見せなさい。 そして彼らは彼にデナリオンを持ってきた。 そして彼は彼らに言う、この像と碑文は誰のものか。 彼らは彼に言う、カエサルのです。 その時、彼は彼らに言った。だから、カエサルのものはカエサルに返しなさい、そして神のものは神に。 そして聞いた彼らは驚き、そして彼を残して去った。 その日にサドカイ人たちが彼に近づいた。復活がないと言っている者たちである。そして彼らは彼に尋ねて言った。先生、モーセは言いました。もし誰かが子供を持たないで死ぬなら、彼の兄弟は彼の妻を娶り、そして彼の兄弟のために子孫を起こすだろう。 私たちのところに七人の兄弟がいました。そして最初の者が結婚して死に、子孫を持たないまま彼の妻を彼の兄弟に残しました。同様に二番目の者も三番目の者も、七人全員までそうでした。 そしてすべての後で、その女も死んだ。 それでは復活においては、その女は七人のうちの誰のものになるのか。 全員が彼女を持ったからだ。 イエスは答えて彼らに言った、あなたがたは聖書も神の力も知らないので、迷わされている。 というのも復活にお

いては、結婚もしないし結婚させられもしないが、天における神の使者たちのようだからである。 死者の復活について、神が私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神であると言って、あなたたちに語られたことを読まなかったのか。 神は死者の神ではない、生きている者の神である。 そして群衆は聞いて、彼の教えに驚いていた。 そしてパリサイ人たちは彼がサドカイ人たちを黙らせたことを聞いて、同じところに集まった、そして彼らのうちの一人、律法の専門家が、彼を試しながら言って質問した。先生、律法においてどの戒めが大きいですか。 そしてイエスは彼に言った、あなたは心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして、あなたの主である神を愛するだろう。 これは第一の、そして偉大な戒めです。 第二のものはそれに似ている。あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。 これら二つの戒めに律法全体と預言者たちがかかっている。 パリサイ人たちが集まっていた時、イエスは彼らに尋ねて言った、キリストについて、あなたたちはどう思うか。 誰の息子ですか。 彼らは彼にダビデのですと言った。 彼は彼らに言う、それではどのようにダビデは霊において彼を主と呼ぶのか、こう言いながら、主は私の主に言った、私の右に座れ、私があなたの敵たちをあなたの足の足台とするまでと。 それゆえ、もしダビデが彼を主と呼ぶなら、どうして彼の息子なのか。 そして誰も彼に言葉で答えることができなかった、そしてその日から誰ももはや彼に尋ねることを敢えてしなかった。

23

その時イエスは群衆と彼の弟子たちに語って言った、律法学者たち

とパリサイ人たちはモーセの座に着いている。 だから、彼らがあなたたちに守るように言うすべてのことは守りなさい、そして行いなさい。しかし彼らの行いに従っては行ってはいけない。なぜなら彼らは言うが、行わないからだ。 彼らは重くて運びにくい荷物を縛って人々の肩の上に置くが、自分の指でそれらを動かそうとはしない。 彼らはすべての行いを人々に見られるためにしている。 というのは彼らは自分たちの守り札を広くし、自分たちの衣服の房を大きくし、宴会での上座を愛し、集会での上席を愛し、市場での挨拶を愛し、人々からラビ、ラビと呼ばれることを愛するからである。 あなたたちはラビと呼ばれてはいけない。なぜならあなたたちの教師は一人、キリストだから。そしてあなたたち皆は兄弟である。 そして地上で誰かをあなたたちの父と呼んではいけない。なぜならあなたたちの父は一人であり、天におられる方だから。 あなたがたは教師と呼ばれてはならない。なぜならあなたがたの教師は一人であって、キリストだからである。 あなたたちの中で最も偉大な者は、あなたたちの僕になるだろう。 誰でも自分自身を高くする者は低くされ、そして誰でも自分自身を低くする者は高くされる。 あなたがたに災いだ、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。なぜならあなたがたはやもめたちの家を食い尽くし、そして口実のために長く祈っているからだ。このゆえにあなたがたはより重い裁きを受けるだろう。 災いだ、あなたがたに、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。なぜなら、あなたがたは天の王国を人々の前で閉ざすからだ。あなたがたは入らないし、入ろうとしている者たちも入ることを許さない。 災いだ、あなたたちに、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ。なぜならあなたたちは一人の改宗者を作るために海と陸地を巡り歩き、そして彼がそうなった時、あなたたちは彼をあなたたちの二倍もゲヘナの子にするからだ。 災い

だ、あなたたち盲目の案内人たちよ、こう言っている者たちよ。誰でも神殿で誓うなら、それは何でもない。しかし誰でも神殿の金で誓うなら、義務がある。 愚か者たちよ、そして盲目の者たちよ、いったいどちらがより大きいのか、金か、それとも金を聖別する神殿か? そして、祭壇において誓う者は、それは何でもないが、その上にある供え物において誓う者は、義務がある。 愚か者たちよ、盲目の者たちよ、何がより大きいのか。供え物か、それともその供え物を聖別する祭壇か。 だから祭壇にかけて誓う者は、それにかけて、そしてその上のすべてのものにかけて誓うのである。そして神殿にかけて誓う者は、それにかけて、そしてそこに住まわれる方にかけて誓うのである。そして天にかけて誓う者は、神の玉座にかけて、そしてその上に座しておられる方にかけて誓うのである。 あなたがた律法学者たちとパリサイ人たち偽善者たちに災いあれ、なぜならあなたがたはミントとディルとクミンを十分の一税として納めるが、律法のより重いもの、正義と憐れみと信仰を軽んじてきたからだ。しかしこれらのことをすることが必要であったし、あれらのことを軽んじないことも必要であった。 盲目の案内人たちよ、ブヨを濾し取るが、ラクダを飲み込む者たちよ。あなたがたに災いあれ、律法学者たちとパリサイ人たち、偽善者たちよ、なぜならあなたがたは杯の外側と皿の外側を清めるが、内側は強奪と不正で満ちているからだ。 盲目なパリサイ人よ、まず杯と皿の内側を清めなさい、そうすればそれらの外側もきれいになるだろう。 災いだ、あなたたちに、律法学者たちとパリサイ人たちよ、偽善者たちよ、なぜならあなたたちは白く塗られた墓に似ているからだ、それらは外側は確かに美しく見えるが、内側は死者の骨とすべての汚れで満ちている。 このようにあなたがたも外側では確かに人々には正しい者と見えるが、内側では偽善と不法に満ちている。 災いだ、お前たち律法

学者とパリサイ人、偽善者たちよ。なぜならお前たちは預言者たちの墓を建て、正しい者たちの記念碑を飾り、そしてもし私たちが私たちの父たちの時代にいたなら、預言者たちの血において彼らの仲間ではなかっただろうと言うからだ。 したがって、あなたがたは自分自身に証言している、あなたがたは預言者たちを殺した者たちの息子たちであるということを。 そして、あなたたちもあなたたちの父たちの尺度を満たしなさい。 蛇ども、蝮の子らよ、お前たちはどうやってゲヘナの裁きから逃れるのか? このゆえに見よ、私はあなたがたに向かって預言者たちと賢い者たちと律法学者たちを送る。そして彼らの中からあなたがたは殺すだろうし十字架につけるだろう。そして彼らの中からあなたがたはあなたがたの集会において鞭打つだろうし、そして町から町へと迫害するだろう。それは地の上に注がれているすべての義なる血が、義なるアベルの血から、バラキヤの息子ゼカリヤの血まで、あなたがたの上に来るためである。その者をあなたがたは神殿と祭壇の間で殺した。 まことにあなたがたに言う、これらすべてのことがこの世代の上に来るだろう。 エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、あなたに遣わされた者たちを石で打つ者よ、何度わたしはあなたの子供たちを集めたいと願ったことか、鳥が自分のひなを翼の下に集めるように。しかしあなたがたは望まなかった。 見よ、あなたがたの家は荒れ果てて残される。 私はあなたたちに言う。というのは、あなたたちが主の名において来る者は祝福されていると言うまで、今から、あなたたちは決して私を見ることはないからだ。

24

そしてイエスは神殿から出て去って行った。そして彼の弟子たちが彼に神殿の建物を見せるために近づいた。 イエスは彼らに言った、あなたたちはこれらすべてのものを見ないのか。 まことにあなたがたに言う、ここでは石の上に石が残されることは決してなく、崩されないものはない。 彼がオリーブ山の上に座っていた時、弟子たちが個別に彼のもとに来て言った、私たちに教えてください、これらのことはいつ起こるのですか、そしてあなたの来臨のしるしと世の終わりのしるしは何ですか。 そしてイエスは答えて彼らに言った、誰もあなたたちを惑わすことがないように気をつけなさい。 多くの者たちがわたしの名において来て、わたしがキリストであると言って、多くの者たちを惑わすだろう。 あなたたちは戦争と戦争の噂を聞くことになるだろう。見よ、動揺するな。というのも全てのことが起こることが必要だからだ。しかしまだ終わりではない。 というのも、民族が民族に対して立ち上がり、王国が王国に対して立ち上がるだろう、そして飢饉と疫病と地震が様々な場所であるだろう。しかしこれら全ては産みの苦しみの始まりである。 その時、彼らはあなたたちを苦難に引き渡し、あなたたちを殺すだろう。そしてあなたたちは私の名のゆえに、すべての国々に憎まれるだろう。 そしてその時、多くの人々がつまずかされ、互いに引き渡し、互いに憎むだろう。 そして多くの偽預言者たちが現れ、多くの人々を惑わすだろう。そして不法が増えるので、多くの人々の愛が冷たくなるだろう。 しかし最後まで耐えた者は救われるだろう。 そして、この王国の福音は全世界で全ての国々への証しとして宣べ伝えられるだろう、そしてその時終わりが来るだろう。 だから、あなたがたが預言者ダニエルを通して語られた荒廃の憎むべきものが聖なる場所に立っているのを見るときは、読む者は理解せよ、そのときユダヤにいる者たちは山々へ逃げよ、屋根の上にいる者は彼の家から物を取

るために降りるな、そして畑にいる者は彼の衣服を取るために後ろに引き返すな。 しかし、妊娠している女たちと授乳している女たちには災いだ、あの日々には。 祈りなさい、あなたがたの逃亡が冬に起こらないように、また安息日にも起こらないように。 というのも、その時には大きな苦難があるだろう、世界の始めから今まで起こったことがなく、また決して起こらないであろうようなものが。そしてもしあの日々が短くされなかったなら、全ての肉は救われなかっただろう。しかし選ばれた者たちのために、あの日々は短くされるだろう。 その時もし誰かがあなたがたに見よ、ここにキリストがいるまたはここにと言うなら、信じてはいけない。なぜなら偽キリストたちと偽預言者たちが起こされるだろう、そして彼らは大きなしるしと不思議を与えるだろう、もし可能ならば選ばれた者たちをも惑わすために。 見よ、私はあなたたちに前もって言っておいた。 だから、もし彼らがあなたがたに、見よ、荒野にいると言うなら、出て行くな、見よ、奥の部屋にいると言うなら、信じるな。なぜなら、ちょうど稲妻が東から出て西まで現れるように、そのように人の子の臨在もあるだろう。なぜなら、死体がどこにあろうとも、そこに鷲たちが集まるだろう。 そしてそれらの日々の苦難の後すぐに、太陽は暗くなり、月はその光を放たず、星々は天から落ち、天の力は揺り動かされるだろう。 そしてその時、人の子のしるしが天に現れるだろう。そしてその時、地のすべての部族が嘆くだろう。そして人の子が天の雲の上に、力と大いなる栄光と共に来るのを見るだろう。 そして彼は大きな声のラッパと共に彼の使いたちを送るだろう、そして彼らは天の端からその端まで、四つの風から彼の選ばれた者たちを集めるだろう。 そして、いちじくの木から、そのたとえを学びなさい。 その枝がすでに柔らかくなり、葉を出すとき、あなたがたは夏が近いと知る。このように、あなたがたもこ

れらすべてを見るとき、それが戸口に近いと知りなさい。 まことに私はあなたたちに言う、この世代は、これらすべてのことが起こるまでは、決して過ぎ去らないだろう。 天と地は過ぎ去るだろう、しかし私の言葉は決して過ぎ去らない。 あの日とその時については誰も知らない、天の使者たちも知らない、私の父だけを除いて。 ノアの日々がそうであったように、人の子の来臨もそうなるだろう。 というのも、洪水の前の日々に、ノアが箱舟に入った日まで、人々は食べたり飲んだり、結婚したり結婚させたりしていたが、洪水が来てすべての人を奪い去るまで彼らは知らなかったからである。このように人の子の到来もそうなるであろう。 その時二人が畑にいるだろう、一人は取られ、一人は残される。二人の女が臼で挽いている時、一人は取られ、一人は残される。 だから見張っていなさい、なぜならあなたがたは、あなたがたの主がどの時に来るか知らないのだから。 しかしあのことをあなたたちは知っている、もし家の主人が泥棒がどの時間帯に来るかを知っていたなら、彼は見張っていただろうし、そして彼の家が押し入られることを許さなかっただろう。 このゆえに、あなたがたも準備ができている者になりなさい、なぜなら、あなたがたが思わない時に、人の子が来るからである。それでは、誰が忠実で賢い奴隷であるか、その主人が自分の奉仕の上に任命して、時に彼らに食物を与えさせる者は。 祝福されているのはあのしもべである、その主人が来た時に、そのようにしているところを見つけるだろう。 本当にあなたがたに言う、彼の持っている全てのものの上に彼を任命するだろう。 もしあの悪い奴隷が彼の心の中で私の主人は来るのを遅らせていると言い、そして彼の仲間の奴隷たちを打ち始め、そして酔っている者たちと一緒に食べたり飲んだりするなら、あの奴隷の主人は彼が期待していない日に、そして彼が知らない時に来るだろう、そして彼を真っ二つに切るだろ

う、そして彼の部分を偽善者たちと一緒に置くだろう。そこに嘆きと歯ぎしりがあるだろう。

25

その時、天の王国は十人の処女たちに例えられるだろう、彼女たちは自分たちの松明を取って、花婿の出迎えに出て行った。 彼女たちのうち五人は賢く、そして五人は愚かだった。 愚かな者たちは自分たちの松明を取ったが、自分たちと共に油を取らなかった。しかし賢い者たちは自分たちの松明と共に器の中に油を取った。 花婿が遅れていたので、彼女たち全員がうとうとして眠っていた。 真夜中に叫びが起こった。見よ、花婿が来る、彼に会うために出て行け。 その時、あの乙女たち全員が起き上がり、自分たちのランプを整えた。 愚かな者たちは賢い者たちに言った。あなたたちの油を私たちに分けてください、私たちのランプが消えかかっているので。 しかし賢い者たちは答えて言った、恐らく私たちとあなたたちには十分でないでしょう。むしろ売っている者たちのところへ行って、自分たちのために買いなさい。 彼女たちが買いに出かけている間に花婿が来た、そして準備ができていた者たちが彼と共に婚宴に入った、そして扉は閉められた。 後で、残りの乙女たちも来て言った。主よ、主よ、私たちのために開けてください。 しかし彼は答えて言った。本当にあなたたちに言う、私はあなたたちを知らない。 目を覚ましていなさい、だから、なぜならあなたたちは人の子が来るその日もその時も知らないからです。 ちょうど、ある人が旅に出るとき自分の奴隷たちを呼んで、彼らに自分の財産を引き渡したようなものである。そしてある者には五タラントを与え、ある者には二を、

ある者には一を、各々その者自身の能力に応じて与え、そしてすぐに旅に出た。 行って、五タラントを受け取った者は、それらで働いて、別の五タラントを作った。 同様に、二つを持っていた者も儲けて、彼自身も別の二つを得た。 しかし一つを受け取った者は去って行って地面に穴を掘り、そして彼の主人の銀を隠した。 多くの時間の後、あの奴隷たちの主人が来て、彼らと勘定を清算する。 そして近づいて、その五タラントを受け取った者が別の五タラントを持って来て言った。主よ、あなたは五タラントを私にお渡しになりました。ご覧ください、私はそれらに加えて別の五タラントを得ました。 彼の主人は彼に言った。よくやった、良い忠実な奴隷よ。お前は少ないものの上に忠実だった。多くのものの上にお前を任命しよう。お前の主人の喜びの中に入れ。 近づいて来て、二タラントを受け取った者も言った。主よ、あなたは私に二タラントを渡しました。ご覧ください、私はそれらに加えて別の二タラントを得ました。 彼の主人は彼に言った。よくやった、良い忠実な奴隷よ。お前は少ないものの上に忠実だった。多くのものの上にお前を任命しよう。お前の主人の喜びの中に入れ。 一タラントを受け取った者も近づいて来て言った。主よ、私はあなたを知っていました、あなたは厳しい人であると、蒔かなかったところで刈り取り、散らさなかったところから集める。そして恐れて去って行って、あなたのタラントを地に隠しました。見てください、あなたのものを持っています。 答えて、彼の主人は彼に言った。邪悪で怠け者の奴隷よ、お前は知っていた、私は蒔かなかったところで刈り取り、そして私は撒き散らさなかったところから集めることを。だから、お前は私の銀を銀行家たちに預けることが必要だった、そして来た時、私は私のものを利子と共に受け取っただろうに。 だから彼からそのタラントを取り上げて、十タラントを持っている者にそれを与えなさい。 と

いうのも、持っている者すべてに与えられ、豊かになるだろう。しかし持っていない者からは、その持っているものまでも取り去られるだろう。 そしてその役立たない奴隷を外の暗闇の中へ追い出せ。そこに泣くことと歯ぎしりがあるだろう。 人の子が彼の栄光の中に来て、そしてすべての聖なる使者たちが彼と共に来る時、その時彼は彼の栄光の玉座の上に座るだろう、そしてすべての国々が彼の前に集められるだろう、そして彼は羊飼いが羊を山羊から分けるように、彼らを互いから分けるだろう、そして彼は羊を彼の右に立たせるだろう、そして山羊を左に立たせるだろう。 その時、王は彼の右にいる者たちに言うだろう。来なさい、私の父に祝福された者たちよ、世の基礎の時からあなたたちのために準備されていた王国を相続しなさい。 私は飢えていた、そしてあなたたちは私に食べ物を与えた、私は渇いていた、そしてあなたたちは私に飲み物を与えた、私はよそ者だった、そしてあなたたちは私を迎え入れた、私は裸だった、そしてあなたたちは私に着せた、私は病気だった、そしてあなたたちは私を見舞った、私は牢獄にいた、そしてあなたたちは私のところに来た。 その時、正しい者たちは彼に答えるだろう、言って、主よ、いつ私たちはあなたが飢えているのを見て養いましたか、或いは渇いているのを見て飲ませましたか。 いつ私たちはあなたを異邦人として見て迎え入れましたか、または裸の者として着せましたか。 いつ私たちはあなたが弱っているのを見たでしょうか、または牢獄にいるのを見たでしょうか、そして私たちはあなたのところへ行ったでしょうか。 そして王は答えて彼らに言うだろう。本当にあなたたちに言う。あなたたちがこれらの私の兄弟たちの最も小さい者の一人にしたことは、私にしたのだ。 その時、彼は左側の者たちにも言うだろう。私から離れて行け、呪われた者たちよ、悪魔と彼の使者たちのために準備された永遠の火の中へ。 私は

飢えていた、しかしあなたたちは私に食べ物を与えなかった、私は渇いていた、しかしあなたたちは私に飲み物を与えなかった、私はよそ者だった、しかしあなたたちは私を迎え入れなかった、私は裸だった、しかしあなたたちは私に着せなかった、私は弱っていて牢獄にいた、しかしあなたたちは私を訪ねなかった。 その時彼ら自身も彼に答えて言うだろう、主よ、いつ私たちはあなたが飢えているか、渇いているか、異邦人か、裸か、弱いか、牢獄の中にいるのを見て、そしてあなたに仕えなかったのですか。 その時、彼は彼らに答えて言うだろう、まことに、私はあなたがたに言う、あなたがたがこれらの最も小さい者の一人にしなかった限り、私にもしなかったのだ。 そして、これらの者たちは永遠の罰へ去って行くだろうが、正しい者たちは永遠の命へ行くだろう。

26

そしてイエスがこれらすべての言葉を終えた時、彼は弟子たちに言った。あなたがたは知っている、二日後に過越の祭りが来る、そして人の子は十字架につけられるために引き渡される。 その時、祭司長たちと律法学者たちと民の長老たちが、カイアファと呼ばれる大祭司の中庭に集まった。そして彼らは、イエスを策略によって捕らえて殺すために相談した。 しかし彼らは言っていた、祭りの間ではだめだ、民衆の中で騒動が起こらないために。 イエスがベタニアでらい病人シモンの家にいた時、ある女が非常に高価な香油の雪花石膏の壺を持って彼に近づき、横たわっている彼の頭の上にそれを注いだ。 見たが、彼の弟子たちは憤慨して言った、何のためのこの無駄遣いか? というのも、この香油は高く売ることができて、貧しい

人々に与えることができたからだ。 イエスは知って彼らに言った何故その女に面倒を与えるのか 彼女は私に良い働きをしたのだから。 あなたたちはいつも貧しい人々を自分たちと共にいるが、私はいつも共にいるわけではない。 というのも、この女が私の体にこの香油を注いだのは、私を葬る準備をするためにしたからです。 まことにあなたたちに言う、この福音が全世界で宣べ伝えられる所ではどこでも、この女がしたことも彼女の記念のために語られるだろう。 その時、十二人の一人、イスカリオテのユダと呼ばれる者が、祭司長たちのところへ行って言った。何を私に与えてくれますか。そうすれば私はあなたたちに彼を引き渡します。 そして彼らは彼に銀貨三十枚を渡した。 そしてその時から、彼は彼を引き渡すための機会を探していた。 種なしパンの最初の日に、弟子たちがイエスに近づいて彼に言った、どこであなたのために過越の食事を準備しましょうか。 彼は言った。町へ行け、あの人のところへ、そして彼に言え。先生が言う、私の時が近い。あなたのところで私は私の弟子たちと過越を行う そして弟子たちはイエスが彼らに命じたようにし、過越を準備した。 夕方になったとき、彼は十二人と一緒に横になっていた。 そして彼らが食べているとき、彼は言った。本当に私はあなたたちに言う。あなたたちの中の一人が私を裏切るだろう。 そして非常に悲しんで、彼らのそれぞれが彼に言い始めた。まさか私ではないでしょうね、主よ。 そして彼は答えて言った。私と一緒に鉢の中に手を浸した者、この者が私を裏切るだろう。 人の子は確かに彼について書かれた通りに去って行く。しかし人の子が引き渡されるところのあの人には災いだ。もしあの人が生まれなかったなら、彼にとって良かっただろう。 答えて、彼を引き渡すユダが言った。まさか私ではないでしょう、ラビ。 彼に言う、あなたが言ったのだ。 彼らが食べているとき、イエスはパンを取り、感謝をささげて、それ

を裂き、弟子たちに与えて、言った。取りなさい、食べなさい。これは私の体です。そして杯を取り、感謝をささげて、彼らに与えて、言った。それから皆飲みなさい。というのもこれは私の血、新しい契約の血、多くの人々のために罪の赦しへと注がれているものです。 しかし私はあなたがたに言う、私は今からこのぶどうの木の実から決して飲まない、私があなたがたと共にそれを新しく私の父の王国で飲むあの日まで。 そして賛美歌を歌ってから、彼らはオリーブ山へ出て行った。 その時イエスは彼らに言う、あなたがた全ては今夜、私のゆえにつまずくだろう。なぜなら私は羊飼いを打つ、そして群れの羊たちは散らされるだろうと書かれているからだ。しかし私が起こされた後、あなたがたをガリラヤへ先導するだろう。 答えて、ペトロは彼に言った、もし全ての人があなたによってつまずかされても、私は決してつまずかされないでしょう。 イエスは彼に言った。まことに私はあなたに言う、この夜、雄鶏が鳴く前に、あなたは三回私を否定するだろう。 ペトロは彼に言う。たとえ私があなたと一緒に死ななければならないとしても、私は決してあなたを否定しません。 同様に、全ての弟子たちも言った。 その時イエスは彼らと共にゲツセマネと呼ばれる場所に来て、弟子たちに言った、私があそこへ行って祈るまで、ここに座っていなさい。 そしてペトロとゼベダイの二人の息子たちを連れて行って、悲しみ、苦しみ始めた。 その時イエスは彼らに言う、私の魂は死に至るまで深く悲しんでいる。ここに留まりなさい、そして私と共に目を覚ましていなさい。 そして少し前に進んで、彼は顔を地につけて倒れ、祈りながら言った。私の父よ、もし可能であるなら、この杯を私から過ぎ去らせてください。しかし私が望むようにではなく、あなたが望むように。 そして彼は弟子たちのところへ来て、彼らが眠っているのを見つけて、そしてペテロに言う。このように、あなたがた

は一時間私と共に目を覚ましていることができなかったのか。目を覚ましていなさい、そして祈りなさい、あなたがたが誘惑に入らないために。霊は確かに熱心である、しかし肉は弱い。 再び二度目に離れて行って、こう言いながら祈った。私の父よ、もし私がこれを飲まなければこの杯が私から過ぎ去ることができないのなら、あなたの御心がなされますように。 そして来て、彼は再び彼らが眠っているのを見つける。というのも彼らの目は重くされていたからである。 そして彼らを残して去って行き、再び三度目も同じ言葉を言って祈った。それから彼の弟子たちのところに来て彼らに言う。まだ眠って休んでいるのか。見よ、時が近づいた。そして人の子は罪人たちの手に引き渡される。 起きなさい、行こう。見よ、私を引き渡す者が近づいている。 そして彼がまだ話している間に、見よ、十二人の一人であるユダが来た、そして彼と共に剣と棒を持った大群衆が祭司長たちと民の長老たちのところから来た。 彼を引き渡す者は彼らに合図を与えて言った。私が口づけする者、それが彼だ。彼を捕まえろ。 そして、すぐにイエスに近づいて喜べ、ラビと言い、そして彼にキスした。 そしてイエスは彼に言った、友よ、あなたが来ているのはそのためだ。 その時、近づいて来て、彼らはイエスに手をかけて、彼を捕らえた。 そして見よ、イエスと共にいた者たちの一人が手を伸ばして自分の剣を引き抜き、大祭司の奴隷を打ってその耳を切り落とした。 その時イエスは彼に言う、あなたの剣をその場所へ戻しなさい。なぜなら剣を取った者たちは皆、剣で死ぬだろうから。 それとも、私が今すぐ私の父に懇願することができないと思うのか?そうすれば彼は私に十二以上の使者の軍団を差し出すだろう。 それではどのように聖書が成就されるだろうか、このようになることが必要だというのに。 その時にイエスは群衆に言った。強盗に対するかのように剣と棒を持って私を捕らえに出て来たのか。毎

日私はあなたがたのところで神殿で教えながら座っていたのに、あなたがたは私を捕らえなかった。 しかしこのすべてが起こったのは、預言者たちの書が成就されるためである。 その時、弟子たち全員が彼を見捨てて逃げた。 イエスを捕らえた者たちは、彼を大祭司カイアファのところへ連れて行った。そこには律法学者たちと長老たちが集まっていた。 ペトロは遠くから彼に大祭司の中庭まで従っていた、そして中に入って下役たちと一緒に座っていた、終わりを見るために。 祭司長たちと長老たちと全議会は、イエスを死刑にするために、イエスに対する偽証を探していたが、見つからなかった。そして多くの偽証人たちが近づいて来たが、見つからなかった。 後で二人の偽証人が近づいて来て言った。この者は私は神の神殿を破壊することができ、そして三日のうちにそれを建てることができると言った。 そして立ち上がって、大祭司は彼に言った、何も答えないのか。 これらの者たちはあなたに対して何を証言しているのか。 しかしイエスは沈黙していた。 そして大祭司は答えて彼に言った。私は生ける神によってあなたに命じる、あなたが神の子キリストであるかどうか私たちに言え。 イエスは彼に言う。あなたが言った通りだ。しかし私はあなたたちに言う、今からあなたたちは人の子が力の右に座り、天の雲に乗って来るのを見るだろう。 その時、大祭司は自分の衣を引き裂いて言った、彼は冒涜した。何でまだ証人たちが必要なのか。 見よ、今あなたたちは彼の冒涜を聞いた。あなたたちにはどう思われるか。 彼らは答えて言った。彼は死に値する。 その時彼らは彼の顔に唾を吐きかけ、そして彼を拳で殴った。そして他の者たちは言いながら彼を平手打ちした、我々に預言せよ、キリストよ、お前を殴った者は誰か。 ペトロは外の中庭に座っていた。そして一人の女中が彼に近づいて言った。あなたもガリラヤ人のイエスと一緒にいた。 しかし彼は彼ら全員の前で否定

して言った、私はあなたが何を言っているのか知らない。 彼が門へ出て行ったとき、別の女が彼を見て、彼らに言う、あそこでこの人もナザレのイエスと一緒にいました。 そして再び彼は誓って否定した、私はその男を知らないと。 少し後に、立っていた者たちが近づいてきてペテロに言った。本当にあなたも彼らの一人だ。というのもあなたの話し方があなたを明らかにするからだ。 その時、彼は呪い始め、誓い始めた、私はその男を知らないと。 そして、すぐに雄鶏が鳴いた。 ペトロは、イエスが彼に言った言葉を思い出した、雄鶏が鳴く前に、三回お前は私を否定するだろうと。そして外に出て行って、激しく泣いた。

27

朝になったとき、すべての祭司長たちと民の長老たちはイエスを死刑にするために会議を開いた。そして彼を縛って連れて行き、総督ポンティオ・ピラトに引き渡した。 その時、彼を引き渡したユダは、彼が罪に定められたのを見て、後悔して、三十枚の銀貨を祭司長たちと長老たちに返して言った。私は罪を犯した、無実の血を引き渡して。 彼らは言った、それが私たちに何の関係があるのか。 あなたには分かるだろう。 そして銀貨を神殿に投げ捨てて立ち去り、去って行って首を吊った。 祭司長たちは銀貨を取って言った。これらを宝物庫に入れることは許されない、なぜなら血の代価だからだ。 会議を開いて、彼らはそのお金で陶工の畑を外国人たちの埋葬のために買った。それゆえ、その畑は血の畑と呼ばれた、今日まで。 その時、預言者エレミヤを通して語られたことが成就した。彼は言っていた、そして彼らは三十の銀貨を取った、イスラエルの子

らが値をつけた者の値段を。そして彼らはそれらを陶器師の畑に与えた、主が私に命じた通りに。 そしてイエスは総督の前に立った。そして総督は彼に尋ねて言った。あなたはユダヤ人の王なのか。 イエスは彼に言った、あなたが言う通りだ。 そして彼が祭司長たちと長老たちによって訴えられた時、彼は何も答えなかった。 その時ピラトは彼に言う。お前は聞こえないのか、どれだけ多くのことを彼らがお前に不利な証言をしているかを。 そして彼に一つの言葉も答えなかった、それで総督は非常に驚いた。 祭りのたびに、総督は群衆が望む囚人を一人釈放するのが習慣だった。 そして彼らはその時、バラバと呼ばれる有名な囚人を捕らえていた。 彼らが集められたので、ピラトは彼らに言った。あなたたちは誰を私があなたたちのために釈放することを望みますか。 バラバか、それともキリストと呼ばれるイエスか。 彼は知っていた、彼らが妬みのために彼を引き渡したことを。 彼が裁きの座に座っている間、彼の妻が彼に使いを送って言った、あなたはあの正しい人と何の関わりも持たないでください。今日、夢の中で彼のために多くの苦しみを受けましたから。 しかし祭司長たちと長老たちは、群衆がバラバを求め、イエスを滅ぼすように説得した。 答えて、総督は彼らに言った。あなたたちは二人のうちどちらを、私があなたたちのために釈放することを望むか。 彼らはバラバだと言った。 ピラトは彼らに言う。それではキリストと呼ばれるイエスを私はどうしようか。 すべての者が彼に言う、十字架につけろ。 そして指導者は言った。いったい彼は何の悪いことをしたというのか。 しかし彼らはますます叫んで言った、彼を十字架につけよ。 ピラトは何の益もなく、むしろ騒動が起こるのを見て、水を取って群衆の前で手を洗い、言った。私はこの正しい者の血について無罪である。お前たちが見るがよい。 そして答えて、すべての人々は言った。彼の血は私たちの上に、そして私たち

の子供たちの上に。 そのとき彼は彼らにバラバを釈放したが、イエスを鞭打ってから、十字架につけられるために引き渡した。 その時、総督の兵士たちがイエスを官邸に連れて行って、彼のもとに全部隊を集めた。そして彼の服を脱がせて、彼に緋色のマントを着せた。そして茨で冠を編んで、彼の頭の上に置いた。そして葦を彼の右手に置いた。そして彼の前にひざまずいて、彼を嘲笑しながら言った。ユダヤ人の王、万歳。そして彼に唾を吐きかけて、葦を取って、彼の頭を打った。 そして彼らが彼を嘲笑した時、彼らは彼からそのマントを脱がせて、彼に彼の衣服を着せた。そして彼らは彼を十字架につけるために連れて行った。 出て行きながら、彼らはシモンという名前のキュレネ人の男を見つけた。彼らはこの人に彼の十字架を運ばせるために強いた。 そして、ゴルゴタと呼ばれる場所に来た。それは髑髏の場所と呼ばれる。彼らは彼に胆汁と混ぜられた酢を飲ませようとした。そして味わったが、彼は飲もうとしなかった。 彼を十字架につけて、くじを投げて彼の衣を分け、そして座って彼らはそこで彼を見張っていた。 そして彼らは彼の頭の上に書かれた彼の罪状を置いた。これはユダヤ人の王イエスである。 その時、二人の強盗が彼と共に十字架につけられた、一人は右側に、そして一人は左側に。 通りかかった人々は彼を冒涜し、彼らの頭を振りながら言った。神殿を壊して三日で建てる者よ、自分自身を救え。もし神の子であるなら、十字架から降りて来い。 同様に祭司長たちも律法学者たちと長老たちとパリサイ人たちと共に嘲りながら言っていた。他の者たちを救った、自分自身を救うことができない。もしイスラエルの王であるなら、今十字架から降りよ、そして私たちは彼を信じよう。彼は神に信頼した、もし神が彼を望むなら、今彼を救い出せ。なぜなら彼は私は神の子であると言ったからだ。 そして同じように、彼と一緒に十字架につけられた強盗たちも

彼を罵った。 そして六時から九時まで暗闇が全ての地の上に起こった。 九時頃、イエスは大きな声で叫んで言った、エリ、エリ、レマ、サバクタニ これはつまり、わが神、わが神、どうして私をお見捨てになったのですか。 そこに立っていた者たちの何人かは、聞いて、この者はエリヤを呼んでいると言っていた。 そしてすぐに彼らの中の一人が走って行って、スポンジを取って、酢で満たして、葦に付けて、彼に飲ませていた。 残りの者たちは言っていた、放っておけ、エリヤが彼を救いに来るかどうか見てみよう。 そしてイエスは再び大きな声で叫んで、その霊を解き放った。 そして見よ、神殿の幕が上から下まで二つに裂かれ、地が揺れ、岩が裂かれ、墓が開かれ、眠っていた聖なる者たちの多くの体が起こされた。そして彼らは墓から出て行き、彼の復活の後、聖なる都に入り、多くの人々に現れた。 そして百人隊長と彼と共にイエスを見張っていた者たちは、地震と起こった事々を見て、非常に恐れて言った、本当にこの人は神の息子だった。 そして、そこには多くの女たちもいた、遠くから見ていた。彼女たちはガリラヤからイエスに従い、彼に仕えていた。その中にはマグダラのマリア、そしてヤコブとヨセの母マリア、そしてゼベダイの息子たちの母がいた。 夕方になったとき、アリマタヤ出身の金持ちの男がやって来た、名前はヨセフで、彼自身もイエスの弟子になった人である。この人がピラトに近づいてイエスの体を求めた。 その時、ピラトは遺体を引き渡すように命じた。そしてヨセフはその体を取って、それを清い亜麻布で包み、彼が岩の中に切り出していた彼の新しい墓にそれを置き、墓の入口に大きな石を転がして去った。 そしてそこにマグダラのマリアともう一人のマリアがいた、墓の前に座って。 そして翌日、それは準備の日の後であるが、祭司長たちとパリサイ人たちがピラトのところに集まって言った。主よ、私たちは思い出しました、あの惑わす者がま

だ生きていた時に言ったことを、三日の後に私は起き上がると。 ですから命じてください、その墓を三日目まで警備することを。そうしないと彼の弟子たちが夜に来て彼を盗み、そして人々に彼は死者の中から起こされたと言うかもしれません。そうなれば最後の惑わしは最初のものより悪いものになるでしょう。 ピラトは彼らに言った。番兵を持て。行って、あなたたちの知っている通りに安全にせよ。 彼らは行って、番兵と共に石を封印して墓を確保した。

28

安息日の遅くに、安息日の一日目へと夜明けになる時に、マグダラのマリアともう一人のマリアが墓を見に来た。 そして見よ、大きな地震が起こった。というのは、主の使いが天から降りて来て近づき、戸から石を転がして取り除き、その上に座っていたからである。 そして彼の姿は稲妻のようであり、彼の衣は雪のように白かった。 彼への恐れから、見張りをしていた者たちは震え、死人のようになった。 答えて、その使者は女たちに言った。あなたたちは恐れるな。というのも私は知っているからだ、あなたたちが十字架につけられたイエスを探していることを。彼はここにいない。というのも彼は起こされたからだ、ちょうど彼が言ったように。 来て、その主が横たわっていた場所を見なさい。 そして速く行って、彼の弟子たちに言いなさい、彼は死者から起こされたと。そして見よ、彼はあなたたちをガリラヤへ先導する。そこであなたたちは彼を見るだろう。見よ、私はあなたたちに言った。 そして彼女たちは墓から出て、すぐに恐れと大きな喜びをもって、彼の弟子たちに知らせるために走った。 彼女たちが彼の弟子たちに報告するために行っていた

とき、見よ、イエスが彼女たちに会って言った、喜びなさい。 彼女たちは近づいて来て、彼の足をつかんで、彼を拝んだ。 その時イエスは彼女たちに言う、恐れるな。行って私の兄弟たちに知らせなさい、彼らがガリラヤへ行くように。そしてそこで彼らは私を見るだろう。 彼らが行っている間に、見よ、警備隊の何人かが町に来て、祭司長たちに起こったすべてのことを報告した。 そして長老たちと一緒に集まって相談をした後、十分な銀貨を兵士たちに与えて言った、彼の弟子たちが夜に来て、私たちが眠っている間に彼を盗んだと言いなさい。 そしてもし、このことが総督に聞かれるならば、私たちは彼を説得して、あなたたちを心配のない者にします。 彼らは銀貨を受け取って、教えられた通りにした。 そして、この言葉はユダヤ人の間に今日まで広まった。 11人の弟子たちはガリラヤへ、イエスが彼らに指定した山へ行った。 彼を見て、彼らは彼を礼拝したが、しかしある者たちは疑った。 そしてイエスは近づいて彼らに話して言った、すべての権威が天においても地の上においても私に与えられた。 行って、すべての国々を弟子としなさい。彼らを父と子と聖霊の名へと浸しながら、わたしがあなたがたに命じたすべてのことを守るように彼らに教えながら。そして見よ、わたしはこの時代の完成まで、すべての日々、あなたがたと共にいる。 アーメン。

マルコによる福音書

1

神の子、イエス・キリストの福音の始まり。 預言者たちの中に書かれているように、見よ、私は私の使者をあなたの前に送る、彼はあなたの道をあなたの前に備えるだろう。荒野で叫んでいる者の声、主の道を備えよ、彼の小道をまっすぐにせよ。ヨハネは荒野でバプテスマを授けながら、そして罪の赦しへの悔い改めのバプテスマを宣べ伝えながら、現れた。 そして全てのユダヤの地とエルサレムの人々が彼のところへ出て来ていた、そして全ての人々が彼らの罪を告白しながら彼によってヨルダン川で洗礼を受けていた。 そしてヨハネはラクダの毛を着ていて、革の帯を彼の腰の周りに着けていて、イナゴと野生の蜂蜜を食べていた。 そして彼は言いながら宣言していた、私より強い者が私の後に来る。私は身をかがめてその方のサンダルの紐を解くのに値しない。 私は確かにあなたたちを水で洗礼した。しかし彼はあなたたちを聖霊で洗礼するだろう。 そしてその日々に起こった、イエスはガリラヤのナザレから来て、ヨハネによってヨルダン川で洗礼を受けた。 そして直ちに水から上がると、彼は天が裂かれるのを見た、そして霊が鳩のように彼の上に降

りてくるのを見た。そして声が天から生じた。あなたは私の愛する息子である。あなたを私は喜んでいる。 そしてすぐに、霊が彼を荒野へ追い出した。そして彼はそこで荒野に四十日間、サタンによって誘惑されていた。そして彼は野獣たちと共にいた。そして使いたちが彼に仕えていた。 ヨハネが引き渡された後、イエスはガリラヤへ来て、神の王国の良い知らせを宣言し、そして言った、時が満たされ、神の王国が近づいた。悔い改めなさい、そして良い知らせの中で信じなさい。 ガリラヤの湖のほとりを歩いていると、シモンとその兄弟アンデレが湖に網を投げているのを見た。彼らは漁師だったからである。そしてイエスが彼らに言った。私の後について来なさい。そうすればあなたがたを人間を捕る漁師にしよう。 そして直ちに自分たちの網を残して、彼らは彼に従った。 そしてそこから少し進んで、彼はゼベダイの子ヤコブと彼の兄弟ヨハネを見た、そして彼らは船の中で網を繕っていた、そしてすぐに彼は彼らを呼んだ。 そして彼らは自分たちの父ゼベダイを船の中に雇い人たちと一緒に残して、彼の後について行った。 そして彼らはカペルナウムに入った。そしてすぐに安息日に集会に入って、彼は教えていた。 そして彼らは彼の教えに驚いた。というのも彼は権威を持つ者として彼らを教えていたのであり、律法学者たちのようではなかったからである。 そして彼らの集会には汚れた霊に取り憑かれた人がいた、そしてその人は叫んで言った、ああ、私たちとあなたに何の関係があるのか、ナザレ人イエスよ あなたは私たちを滅ぼすために来たのですか。 私はあなたが誰か知っている、神の聖なる者だ。 そしてイエスは彼を叱って言った、黙れ、そして彼から出て行け。 そしてその汚れた霊は彼を痙攣させて、大声で叫んで、彼から出て行った。 そして皆は驚いた、それで彼らは互いにこれは何だと言いながら議論した。 この新しい教えは何なのか、権威によって汚れた霊たちに

も命じ、そして彼らは彼に従うのか。 そして彼についての噂はすぐにガリラヤの周辺地域全体に広まった。 そして直ちに集会から出て、彼らはヤコブとヨハネと共にシモンとアンデレの家に来た。 シモンの義母は熱で苦しんで横たわっていた。 そして直ちに彼らは彼に彼女について話した。 そして近づいて彼女の手を掴んで彼女を起こした、そして熱が直ちに彼女から去った、そして彼女は彼らに仕え始めた。 夕方になって、太陽が沈んだ時、彼らは彼のところへ病気の者たち全員と悪霊に憑かれている者たちを連れて来た。 そして町全体が戸口に集まっていた。そして様々な病気で苦しんでいる多くの人々を癒した、そして多くの悪霊を追い出した、そして悪霊が話すことを許さなかった、なぜなら彼らは彼がキリストであることを知っていたからである。 そして朝早く、まだ夜が明けないうちに起き上がって出て行き、寂しい場所へ去って行って、そこで祈っていた。 シモンと彼と共にいる者たちが彼を追いかけた、そして彼を見つけて彼に言った、みんながあなたを探していますと。 そして彼は彼らに言う、隣の町々へ行こう、そこでも私が宣べ伝えるために。というのも私はこのために出て来たのだから。 そして彼はガリラヤ全土で彼らの集会において宣言し、悪霊を追い出していた。 そして一人のらい病人が彼のところに来て、彼に懇願し、彼の前にひざまずき、彼に言った、もしあなたが望むなら、あなたは私を清めることができます。 そしてイエスは憐れみを感じて、手を伸ばして彼に触れて、彼に言う、私は望む、清められよ。 そして彼が言うと、すぐにそのらい病が彼から去り、彼は清められた。 そして彼に厳しく警告して、すぐに彼を追い出した。そして彼に言う、いいか、誰にも何も言うな。しかし行って、あなた自身を祭司に見せ、そしてあなたの清めについてモーセが命じたものを彼らへの証しとして捧げよ。 しかし彼は出て行って、多くのことを宣べ伝え始め、

その言葉を広めたので、もはや彼は公然と町に入ることができなくなり、外の荒れた場所にいた。そして人々はあらゆる方向から彼のところに来ていた。

2

そして彼は数日後に再びカペルナウムに入った、そして彼が家にいるということが知れ渡った。 そしてすぐに多くの人々が集まった、もはや入ることができないほどに、戸口のところでさえも。そして彼は彼らに言葉を語っていた。 そして彼らは彼のところに来る、中風の人を運びながら、四人によって持ち上げられている。そして群衆のために彼に近づくことができなくて、彼がいた場所の屋根を取り外した。そして掘り抜いて寝床を降ろす、その上に中風の人が横たわっていた。 イエスは彼らの信仰を見て、中風の者に言う、子よ、あなたの罪は赦された。 そして律法学者たちの何人かがそこに座っていて、彼らの心の中で考えていた。この人はなぜこのように冒涜を語るのか。 誰が罪を赦すことができるだろうか、ただ一人の神以外には？ そしてすぐにイエスは自分の霊で、彼らがこのように自分たちの中で考えていることを認識して、彼らに言った、なぜあなたたちはこれらのことを心の中で考えているのか。 何がより簡単ですか、中風の人にあなたの罪は赦されていると言うことか、それとも起きて、あなたの寝床を取り上げて、歩きなさいと言うことか? しかしあなたたちが人の子が地の上で罪を赦す権威を持っていることを知るために、彼は中風の人に言う、あなたに私は言う、起きなさい、そしてあなたの寝床を取り上げなさい、そしてあなたの家へ行きなさい。 そして彼はすぐに起き上がり、寝床を取り上げてすべ

ての人の前で出て行った。その結果すべての人が驚いて神を賛美して私たちはこのようなことを決して見たことがないと言った。 そして彼は再び海のそばへ出て行った。そしてすべての群衆が彼のところへ来ていた。そして彼は彼らを教えていた。 そして通り過ぎながら、彼はアルパヨの息子レビが税関に座っているのを見た、そして彼は彼に言う、私に従え。 そして立ち上がって、彼に従った。 そして彼が彼の家で横になっている時にそうなった、そして多くの徴税人たちと罪人たちがイエスと彼の弟子たちと一緒に食卓に着いていた。というのも彼らは多かったからである、そして彼らは彼に従った。 そして律法学者たちとパリサイ人たちは、彼が取税人たちや罪人たちと一緒に食べているのを見て、彼の弟子たちに言った、なぜ彼は取税人たちや罪人たちと一緒に食べたり飲んだりするのか。 そしてイエスは聞いて彼らに言う、強い者たちは医者の必要を持たない、しかし具合の悪い者たちは持つ。私は義人たちを呼ぶために来なかった、しかし罪人たちを悔い改めへ。 そしてヨハネの弟子たちとパリサイ人の弟子たちは断食していた。 そして彼らが来て彼に言う。なぜヨハネの弟子たちとパリサイ人の弟子たちは断食するのに、あなたの弟子たちは断食しないのですか。 そしてイエスは彼らに言った、花婿が彼らと一緒にいる間、婚礼の部屋の客たちは断食することができないのではないか? 花婿が自分たちと一緒にいる間は、断食することができない。 しかし花婿が彼らから取り去られる時が来るだろう、そしてその時彼らはその日々に断食するだろう。誰も縮んでいない布の継ぎ当てを古い衣服の上に縫い付けない。そうでなければ、新しいものがその充満を古いものから取り去り、そしてより悪い裂け目が生じる。 そして誰も新しいぶどう酒を古い革袋に入れない。もしそうしなければ、新しいぶどう酒が革袋を破り、ぶどう酒がこぼれ出て、革袋もだめになる。しかし新しいぶど

う酒は新しい革袋に入れなければならない。 そして彼が安息日に麦畑を通り過ぎることになった、そして彼の弟子たちが穂を摘みながら道を作り始めた。 そしてパリサイ人たちは彼に言った、見よ、彼らは安息日に許されていないことをしているではないか。 そして彼は彼らに言った、あなたたちは読んだことがないのか、ダビデが必要を持ち、彼自身と彼と共にいた者たちが空腹だった時に何をしたかを。 どのようにして彼は神の家に入ったのか、アビアタル大祭司の時に、そして供えのパンを食べたのか、それは祭司たちでなければ食べることが許されないものなのに、そして彼と共にいた者たちにも与えたのか。 そして彼は彼らに言った。安息日は人のために作られたのであって、人が安息日のために作られたのではない。だから人の子は安息日の主でもあるのだ。

3

そして彼は再び集会に入った。そしてそこに萎えた手を持っている男がいた。 そして彼らは、安息日に彼を癒すかどうか、彼を訴えるために、彼を注意深く見ていた。 そして彼は手が萎えている男に言う、真ん中に立ちなさい。 そして彼は彼らに言う、安息日に善を行うことは許されているのか、それとも悪を行うことは許されているのか? 魂を救うか、それとも殺すか? しかし彼らは沈黙していた。 そして彼らを怒りをもって見回し、彼らの心の頑なさを深く悲しみながら、その男に言う、あなたの手を伸ばしなさい。 そして彼は伸ばした、そして彼の手はもう一方の手のように健康になった。 そしてパリサイ人たちは出て行って、すぐにヘロデ党の人々と共に彼に対して相談をした、彼を滅ぼすために。 そしてイエスは彼の弟子たち

と共に海へ退いた。そしてガリラヤから大きな群衆が彼に従った、そしてユダヤから、そしてエルサレムから、そしてイドマヤから、そしてヨルダンの向こうから、そしてツロとシドンの周辺の者たちが、大きな群衆が、彼がしていたことをどれほど多く聞いて、彼のところへ来た。 そして彼は弟子たちに言った、群衆のために小舟が彼のそばで待機するように、彼らが彼を押しつぶさないように。というのも彼は多くの人々を癒したので、病を持っていた人々ができるだけ多く彼に触れようとして彼に殺到した。そして汚れた霊たちは、彼を見たときはいつでも、彼の前にひれ伏して叫んでいた、あなたは神の子であると。 そして彼は、彼らが彼を明らかにしないように、彼らを厳しく叱った。 そして彼は山に登り、自分が望んだ者たちを呼び寄せ、彼らは彼のもとへ行った。 そして彼は十二人を作った、彼らが彼と共にいるために、そして彼が彼らを宣べ伝えるために送り出すために、そして病気を癒す権威を持つために、そして悪霊を追い出すために。そして彼はシモンにペトロという名前を置いた、そしてゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ。そして彼は彼らにボアネルゲスという名前を置いた、それは雷の子らという意味である。そしてアンデレとフィリポとバルトロマイとマタイとトマスとアルファイの子ヤコブとタダイとカナン人シモンとユダ・イスカリオテ、彼はまた彼を引き渡した者である。 そして彼らは家に来た。そして群衆が再び集まって来たので、彼らはパンを食べることさえできなかった。 彼の身内の者たちはそれを聞いて、彼を捕まえるために出て行った。というのも彼らは彼は気が狂ったと言っていたからである。 そしてエルサレムから下って来た律法学者たちは言っていた、彼はベルゼブルを持っていると、そして悪霊どもの支配者によって彼は悪霊どもを追い出していると。 そして彼らを呼び寄せて、たとえで彼らに言っていた、どうやってサタンがサ

タンを追い出すことができるのかと。 そしてもし王国が自分自身に対して分裂するなら、その王国は立つことができない。そしてもし家が自分自身に対して分裂するなら、その家は立つことができない。 そしてもしサタンが自分自身に対して立ち上がり、分裂しているなら、立ち続けることができず、終わりを迎える。 誰も強い者の家に入って彼の器を略奪することはできない、もし最初にその強い者を縛らなければ。そしてその時彼の家を略奪するだろう。 まことに私はあなたがたに言う、すべてのことが人の子らに赦されるだろう、罪と冒涜、どれほど多く彼らが冒涜しても。しかし誰でも聖霊に対して冒涜する者は、永遠に赦しを持たない、しかし永遠の裁きの責めを負う者である。なぜなら彼らは言っていたからである、彼は汚れた霊を持っていると。 それで彼の母と彼の兄弟たちが来て、外に立って、彼を呼ぶために彼のところに人を送った。 そして群衆が彼の周りに座っていた。そして彼らは彼に言った。ほら、あなたの母とあなたの兄弟たちが外であなたを探しています。 そして彼は彼らに答えて言った、誰が私の母ですか、または誰が私の兄弟たちですか。 そして彼の周りに座っている人々を見回して言う、見よ、私の母と私の兄弟たちを。なぜなら神の意志を行う者、この人が私の兄弟であり私の姉妹であり私の母であるからだ。

4

そして再び彼は海のそばで教え始めた。そして大きな群衆が彼のところに集まったので、彼は船に乗り込んで海に座った。そして全ての群衆は陸の上で海に向かっていた。 そして彼は多くのたとえで彼らを教えていた、そして彼の教えの中で彼らに言っていた、聞きな

さい 見よ、種を蒔く者が種を蒔くために出て行った。 種を蒔いている時にこういうことが起こった。あるものは道の上に落ちて、鳥たちが来てそれを食べてしまった。別のものは岩地に落ちた。そこには土が多くなかったので、すぐに芽を出した。土の深さがなかったからである。しかし太陽が昇ると焼けて、根がなかったので枯れてしまった。別のものは茨の中に落ちて、茨が伸びてそれを窒息させたので、実を結ばなかった。別のものは良い土地に落ちて、芽を出して成長し、三十倍と六十倍と百倍の実を結んだ。 そして彼は彼らに言っていた。聞くための耳を持っている者は聞くがよい。 彼が一人になった時、彼の周りにいた者たちが十二人と共に、そのたとえ話について彼に尋ねた。 そして彼は彼らに言っていた、あなたたちには神の王国の奥義を知ることが与えられている。しかし外の人々には、すべてのことがたとえで起こる。見ながら見るが見えず、そして聞きながら聞くが理解しないために、彼らが立ち返って、そして彼らに罪が赦されることがないように。 そして彼は彼らに言う、あなたたちはこのたとえを知らないのか。そしてどのようにしてすべてのたとえを知るだろうか。 種を蒔く者は言葉を蒔く。 これらの者たちは道の傍らにいる者たちである、そこで言葉が蒔かれる、そして彼らが聞くときはいつでも、すぐにサタンが来て、彼らの心の中に蒔かれた言葉を取り去る。 そしてこれらの人々も同様に、岩の多い場所に蒔かれている人々である。彼らは、その言葉を聞く時、すぐに喜びをもってそれを受け取る。しかし彼らは自分自身の中に根を持たず、一時的である。それから、その言葉のために苦難または迫害が起こった時、すぐにつまずく。 そしてこれらは茨の中に蒔かれる者たちである、言葉を聞く者たちである、そしてこの世の心配事と富の欺きと残りの事柄についての欲望が入り込んで言葉を窒息させ、そして実を結ばないものとなる。 そしてこれらは良い地に

蒔かれた者たちであり、彼らは言葉を聞いて受け入れ、そして三十倍と六十倍と百倍で実を結ぶ。 そして彼は彼らに言っていた、ランプは升の下に置かれるために来るのか、またはベッドの下に置かれるために来るのか、まさかそうではないだろう。 ランプ台の上に置かれるためではないのか？ というのは、明らかにされないでいる隠されたものはなく、また秘密にされたものが存在したのは、明らかになるためなのである。 もし誰かが聞くための耳を持っているなら、聞くがよい。 そして彼は彼らに言った、あなたたちは何を聞いているか注意しなさい。 あなたたちが測る測りで、あなたたちに測られるだろう、そして聞いているあなたたちに加えられるだろう。というのも、持っている者には与えられるだろう。そして持っていない者からは、彼が持っているものさえも取り去られるだろう。 そして彼は言っていた、神の王国はこのようである。ある人が地の上に種を蒔き、そして夜も昼も眠り起きしている間に、その種が芽を出し伸びていくが、彼自身はどのようにしてかを知らない。 というのも、大地はひとりでに実を結ぶからだ。最初に草を、それから穂を、それから穂の中に満ちた穀物を。 実が熟すと、すぐに鎌を入れる。収穫の時が来ているからだ。 そして彼は言った。私たちは神の国をどのようにたとえたらよいだろうか。 あるいはどんなたとえでそれをたとえましょうか。 からしの種のように、それが地に蒔かれる時、地の上のすべての種よりも小さい。そして蒔かれる時、成長して、すべての野菜よりも大きくなり、大きな枝を作る、その結果、天の鳥たちがその陰の下に巣を作ることができる。 そして彼はそのような多くのたとえで彼らに言葉を語っていた、ちょうど彼らが聞くことができたように。しかしたとえなしでは彼らに言葉を語っていなかった。しかし私的には彼の弟子たちにすべてのことを説明していた。 そしてその日、夕方になった時、彼は彼らに言っ

た、向こう側へ渡ろう。 そして群衆を去らせて、彼らは彼が舟の中にいたままで彼を連れて行く。そして他の舟も彼と共にあった。 そして大きな風の嵐が起こり、波は船に打ちつけていて、その結果もうそれは沈みつつあった。 そして彼は船尾で枕の上で眠っていた。そして彼らは彼を起こして、彼に言った。先生、私たちが滅びかけていることはあなたの関心事ではないのですか。 そして目覚めると、風を叱りつけ、海に言った。静かにしろ、黙れ。 そして風は止み、大きな凪になった。 そして彼は彼らに言った、どうしてあなたたちはそんなに臆病なのですか。 どうしてあなたたちは信仰を持っていないのか。 そして彼らは非常に恐れ、互いに言い合った。いったいこの人は誰なのだろうか。風も海も彼に従うとは。

5

そして彼らは海の向こうのゲルゲセネ人たちの地へ来た。 そして彼が船から出たとき、すぐに汚れた霊に憑かれた人が墓場から彼に会った。その人は墓場に住居を持っていた。そして鎖で誰も彼を縛ることができなかった、なぜなら彼は何度も足枷と鎖で縛られていたが、鎖は彼によって引き裂かれ、足枷は砕かれたからである。そして誰も彼を制圧することができなかった。そして夜も昼もずっと墓場と山々で彼は叫び、石で自分自身を切りつけていた。 遠くからイエスを見て、走って来て彼を拝んだ。そして大きな声で叫んで言う、私とあなたに何の関係があるのですか、イエス、いと高き神の子よ。 神にかけてあなたに懇願する、私を苦しめないでください。というのも、彼は彼に言っていたからである、出て行け、汚れた霊よ、その人から。 そして彼は彼に尋ねた、あなたの名前は何です

か。 そして答えて言った。レギオンが私の名前です、なぜなら私たちは大勢だからです。 そして彼は、彼らをその地方の外に送らないように、彼に何度も懇願した。 そしてそこには豚の大きな群れが山のそばで飼われていた。そしてすべての悪霊たちは彼に懇願して言った。私たちを豚の中に送ってください、私たちがそれらの中に入ることができるように。 そしてイエスはすぐに彼らに許可した。そして汚れた霊たちが出て行って豚たちの中に入った。そしてその群れは崖を下って海へと突進した。それらは二千ほどであった。そしてそれらは海の中で溺れた。 そして豚たちを飼っていた者たちは逃げて、町と畑に報告した。そして人々は何が起こったのかを見るために出て行った。 そして彼らはイエスのところに来て、悪霊に憑かれていた者が座っていて服を着て正気でいるのを見る、レギオンを持っていた者を。そして彼らは恐れた。 そして見た者たちは彼らに語った、どのように悪霊に憑かれた者に起こったか、そして豚たちについて。 そして彼らは彼に彼らの境界から去るように促し始めた。 そして彼が船に乗り込んでいた時、悪霊に憑かれていた者が彼と共にいられるようにと彼に懇願した。 そして彼を解放しなかったが、彼に言う、あなたの家へ、あなたの家族のところへ行け、そして主があなたにしたことと、あなたを憐れんだことを、どれほどでも彼らに告げよ。 そして彼は去って行き、デカポリスでイエスが彼にしたことの全てを宣べ伝え始め、そして皆は驚いた。 そしてイエスが船で再び向こう側へ渡ったとき、大きな群衆が彼のもとに集まった、そして彼は海のそばにいた。 そして会堂の指導者の一人が来た、名前はヤイロで、彼を見て彼の足元に倒れ、彼に熱心に懇願して言った、私の小さな娘が瀕死の状態です、あなたが来て彼女に手を置いてくださるように、彼女が救われて生きるように。 そしてイエスは彼と共に去った。そして大勢の群衆がイエスに従ってい

た、そして彼らはイエスを押し合っていた。 そして、ある女性が十二年間血の流出の中にいて、多くの医者たちによって多くのことを苦しみ、彼女自身の全財産を費やし、何も良くならず、かえって悪化して、イエスについて聞いて、群衆の中に入って後ろから彼の衣に触った。というのも彼女は心の中で言っていた、もし私が彼の衣にでも触れば、私は救われるだろうと。 そしてすぐに彼女の血の源は乾き、そして彼女は体で、その鞭から癒されたことを知った。 そしてすぐにイエスは自分自身の中で自分から力が出て行ったことを認識して、群衆の中で振り向いて言った。誰が私の衣に触ったのか。 そして彼の弟子たちは彼に言った、あなたは群衆があなたを押しているのを見ているのに、誰が私に触れたのかと言うのですか。そして彼はこれをした女を見るために周りを見回した。 その女は恐れて震えながら、自分の上に起こったことを知って、来て彼の前にひれ伏し、彼に全ての真実を言った。 そして彼は彼女に言った。娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。平安のうちに行きなさい。そしてあなたの病から健康でいなさい。 彼がまだ話しているうちに、会堂長のところから人々が来て言った、あなたの娘は死にました。何でまだ先生を煩わせるのですか。 しかしイエスはすぐに語られている言葉を聞いて、会堂長に言う、恐れるな、ただ信じなさい。 そして彼は、ペテロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ以外は、誰も自分と一緒に従うことを許さなかった。 そして会堂長の家に来ると、騒ぎを見て、泣いている人々と大声で叫んでいる人々を多く見て、入って彼らに言う、何を騒いで泣いているのか。 その子供は死んでいない、眠っているのだ。 彼らは彼を嘲笑していた。 そして彼は皆を追い出して、その子供の父親と母親と彼と共にいる者たちを連れて行き、その子供が横たわっていたところに入って行き、そしてその子供の手を掴んで彼女に言う、タリタ、クミ、それは訳され

ると、少女よ、あなたに私は言う、起きなさいである。 そしてすぐにその少女は立ち上がり、歩き回った。彼女は十二歳だったからである。 そして彼らは非常に驚いた。 そして彼は、誰もこのことを知ることがないように、彼らに厳しく命じた。そして彼は、彼女に食べ物を与えるように言った。

6

そして彼はそこから出て行き、そして彼自身の故郷に来た。そして彼の弟子たちが彼に従った。 そして安息日になって、彼は集会で教え始めた。そして多くの人々が聞いて驚いて言っていた。どこからこの人にこれらのものが。 そして彼に与えられた知恵は何なのか、そしてそのような力が彼の手によって行われるのか。 この人はあの職人、マリアの息子、そしてヤコブとヨセとユダとシモンの兄弟ではないのか? そして彼の姉妹たちはここに私たちのところにいないのか? そして彼らは彼のことでつまずいていた。 イエスは彼らに言った、預言者が敬われないということはない、ただ自分の故郷と親族の間と自分の家においてだけは別である。 そして彼はそこで何の力も行うことができなかった、ただ少数の病人に手を置いて癒した以外は。 そして彼は彼らの不信仰のために驚いた。 そして彼は教えながら、村々を巡り歩いていた。 そして彼は十二人を自分のところに呼び寄せ、そして彼は彼らを二人ずつ送り出すことを始めた、そして彼は彼らに汚れた霊たちに対する権威を与えていた、そして彼は彼らに命じた、彼らが旅のために何も持って行かないように、ただ杖だけを除いて、袋も持たず、パンも持たず、帯の中に銅貨も持たず、しかしサンダルを履いて、そして二枚の下着を着ないように。

そして彼は彼らに言っていた。どこでもあなたたちが家に入るなら、そこから出て行くまでそこに留まりなさい。そしてもしあなたたちを受け入れず、またあなたたちの言うことを聞かない者たちがいるなら、そこから出て行く時、あなたたちの足の裏の埃を彼らへの証しとして振り落としなさい。本当に私はあなたたちに言う、裁きの日にはソドムやゴモラの方がその町よりも耐えやすいだろう。そして出て行って、人々が悔い改めるように宣べ伝え、多くの悪霊を追い出し、油で多くの病人に塗り、癒していた。 そしてヘロデ王は聞いた。というのは彼の名は明らかになったからである。そして彼は言っていた、バプテスマを授けるヨハネが死人の中から起こされた、そしてこのゆえに力が彼の中で働いていると。 他の者たちはエリヤであると言っていた。しかし他の者たちは預言者たちの一人のような預言者であると言っていた。 ヘロデは聞いて、そして言った、私が首を切ったヨハネ、この者である。彼は死者から起こされたのだ。 というのも、ヘロデ自身が人を遣わしてヨハネを捕らえ、彼の兄弟ピリポの妻ヘロディアのゆえに彼を牢に縛ったからである。なぜなら彼は彼女と結婚したからである。 というのは、ヨハネはヘロデに言っていたからである、あなたにはあなたの兄弟の妻を持つことは許されていないと。 ヘロディアは彼に恨みを持っていて、彼を殺すことを望んでいたが、できなかった。というのはヘロデはヨハネを恐れていたからである。彼が正しくて聖なる人であることを知っていて、彼を守っていた。そして彼の話を聞いて多くのことをし、喜んで彼の話を聞いていた。 そして好機の日が来た時、ヘロデが彼の誕生日に彼の高官たちと千人隊長たちとガリラヤの有力者たちに晩餐を催した、そしてヘロディアの娘が入って来て踊り、ヘロデと共に食卓に着いている者たちを喜ばせた時、王は少女に言った。私にあなたが欲しいものを求めなさい、そして私はあな

たに与えよう。 そして彼は彼女に誓った、あなたが私に求めるものは何でも、私の王国の半分まで、あなたに与えよう。 そして彼女は外に出て、彼女の母に言った。何を求めましょうか。 彼女は言った。洗礼者ヨハネの首を。 そして入ってすぐに急いで王のところへ行き、頼んで言った。私は望みます、あなたが私にすぐに皿の上に洗礼者ヨハネの首を与えることを。 そして王は深く悲しんだが、誓いのためと共に食卓についていた者たちの手前、それを退けることを望まなかった。 そして王は直ちに処刑人を送り、彼の頭を持って来るよう命じた。 そして彼は行って牢獄で彼の首を切り落とし、大皿の上に彼の頭を運んできて、それを少女に与え、少女はそれを彼女の母に与えた。 そして彼の弟子たちはそれを聞いて、来て彼の死体を取り上げ、それを墓の中に置いた。 そして使徒たちはイエスのところに集まり、彼らがしたことと教えたこと全てを彼に報告した。 そして彼は彼らに言った、あなたたち自身だけで人里離れた場所へ来て、少し休みなさい。なぜなら来る人々と去って行く人々が多くて、食べる暇さえなかったからである。 そして彼らは船で人里離れた場所へひそかに出かけて行った。 そして人々は彼らが去って行くのを見た、そして多くの人々が彼らを認識した、そして徒歩ですべての町々から人々はそこに一緒に走った、そして彼らより先に着いた、そして彼のところに集まった。 そしてイエスは出て行って大きな群衆を見て、彼らを憐れに思った、なぜなら彼らは羊飼いを持たない羊のようだったからである、そして彼は彼らに多くのことを教え始めた。 そしてすでに時刻が遅くなったので、彼の弟子たちが彼に近づいて言った、この場所は人里離れています、そしてすでに時刻が遅いです。彼らを解散させてください、そうすれば彼らが周りの畑と村に行って、自分たちのためにパンを買えるでしょう。なぜなら彼らは食べるものを持っていないからです。 しかし彼は答

えて彼らに言った。あなたたちが彼らに食べさせなさい。 そして彼らは彼に言った、私たちが出かけて行って200デナリ分のパンを買い、彼らに与えて食べさせるのですか? そして彼は彼らに言う、あなたたちはパンを何個持っていますか。 行って見なさい。 そして知った上で彼らは言う、五つと二匹の魚です。 そして彼は彼らに、すべての人々を宴会ごとに宴会ごとに緑の草の上に横にならせるよう命じた。 そして彼らは列ごとに列ごとに百人ずつと五十人ずつ座った。 そして五つのパンと二匹の魚を取って、天を見上げて祝福し、パンを裂いて、弟子たちが彼らの前に置くように弟子たちに与え、そして二匹の魚を皆に分けた。 そして全員が食べて満たされた。そして彼らは破片の12のかごを、満杯のものを、そして魚からのものを持ち上げた。 そして、そのパンを食べた人々は五千人の男たちでした。 そして直ちに彼は弟子たちに船に乗り込むことを強制し、彼自身が群衆を解散させるまで、向こう側のベツサイダへ向かって先に進ませた。そして彼らに別れを告げて、彼は祈るために山へ去って行った。 そして夕方になったとき、船は海の真ん中にあった、そして彼自身は一人で陸の上にいた。 そして彼らが漕ぐのに苦しんでいるのを見て、というのは風が彼らに逆風だったから、そして夜の第四の見張りの頃に彼は海の上を歩いて彼らのところに来た、そして彼らのそばを通り過ぎようとした。 彼らは彼が海の上を歩いているのを見て、幽霊だと思い、叫んだ。なぜなら皆が彼を見て動揺したからである。 そして直ちに彼は彼らと話し、そして彼らに言う、勇気を出せ、私だ、恐れるな。 そして彼は彼らのところへ船に乗り込み、風は止んだ。そして彼らは非常に過度に心の中で驚き、不思議に思った。 というのも彼らはそのパンについて理解しなかったからである。しかし彼らの心は硬くされていた。 そして渡ってから、彼らはゲネサレの地へ行って、錨を下ろした。 そして彼らが船から

出て行った時、すぐに彼を認めて、その地方全体を走り回り、そして彼がそこにいると聞いた所へ病気の人々を寝床の上で運び始めた。そして彼が村々や町々や野原に入って行った所では、市場に病んでいる人々を置いて、彼の衣の房にでも触れられるようにと彼に懇願した。そして彼に触れた人々は皆救われた。

7

そしてパリサイ人たちと律法学者たちの何人かがエルサレムから来て彼のところに集まった。そして彼の弟子たちの何人かが汚れた手で、つまり洗っていない手でパンを食べているのを見て、非難した。というのもパリサイ人たちとすべてのユダヤ人たちは、長老たちの言い伝えを守って、拳で手を洗わなければ食べないからである。そして市場から帰ったら、身を清めなければ食べない。そして他にも多くのことがあり、それは彼らが守るために受け継いだもので、杯と水差しと銅の器と寝台の洗いである。それからパリサイ人たちと律法学者たちが彼に尋ねた。なぜあなたの弟子たちは長老たちの言い伝えに従って歩まないで、洗っていない手でパンを食べるのか。 そして彼は答えて彼らに言った、イザヤはあなたたち偽善者たちについてよく預言した、書かれているようにこの民は唇で私を敬うが、しかし彼らの心は遠く私から離れている。そして彼らは無駄に私を崇拝する、人間の戒めを教えとして教えながらと。 あなたがたは神の戒めを捨てて、人々の言い伝えを守っている。水差しや杯の洗いや、そして他のそのような似たような多くのことをあなたがたは行っている。 そして彼は彼らに言っていた、あなたたちはよく神の命令を退ける、あなたたちの伝統を守るために。 モーセは

言った、あなたの父と母を敬え。そして父または母を悪く言う者は死によって死ね。しかしあなたがたは言う、もし人が父または母に、コルバン、それは供え物である、あなたが私から益を受けるかもしれないものは、と言えばそしてもはやあなたがたは彼に彼の父または彼の母に何もすることを許さない、神の言葉をあなたがたが伝えた伝統によって無効にしながら。そしてそのような似たような多くのことをあなたがたはする。 そして全ての群衆を呼び寄せて、彼は彼らに言った、私の言うことを聞きなさい、皆、そして理解しなさい。 人の外から中に入るもので人を汚すことができるものは何もないが、人から出て行くものが人を汚すものである。 そして彼が群衆から離れて家に入った時、彼の弟子たちは彼にそのたとえについて尋ねた。 そして彼は彼らに言う、あなたたちもそのように理解力がないのですか。 まだあなたたちは理解しないのか、外から人の中に入ってくるすべてのものは彼を汚すことができないということを? それは彼の心の中に入らず、腹の中に入り、そして便所に出て行って、すべての食べ物を清めるからである。 彼は言った、人から出て来るもの、それが人を汚すのだと。 というのも内側から、人々の心から、悪い考えが出て来る。姦淫、淫行、殺人、盗み、貪欲、悪意、欺き、好色、邪悪な目、冒涜、傲慢、愚かさ。これら全ての悪いものが内側から出て来て、人を汚す。 そしてそこから立ち上がって、彼はツロとシドンの境界へ去った。 そして家に入って、誰にも知られることを望まなかったが、気づかれずにいることができなかった。 というのは、ある女が彼について聞いて、その女の小さな娘が汚れた霊を持っていたが、来て彼の足元にひれ伏した。その女はギリシャ人で、生まれはシリア・フェニキア人であった。そして彼女は、悪霊を自分の娘から追い出してくださいと彼に願った。イエスは彼女に言った、まず子供たちを満たしなさい。子供たちの

パンを取って小犬たちに投げることは良くないのです。 彼女は答えて彼に言った、はい、主よ、小さい犬たちもテーブルの下で子供たちのパン屑を食べます。 そして彼は彼女に言った。この言葉のゆえに行きなさい。悪霊はあなたの娘から出て行った。 そして彼女は自分の家に帰って、その子供がベッドの上に横たわっていて、その悪霊が出て行ったのを見つけた。 そして再びツロとシドンの境界から出て行って、デカポリスの境界の真ん中を通ってガリラヤの海へ来た。 そして彼らは彼に耳が聞こえない言葉が不自由な人を連れて来て、彼がその人に手を置くようにと彼に懇願する。 そして彼を群衆から離れて人目を避けて連れて行き、自分の指を彼の耳に入れ、そして唾を吐いて彼の舌に触れ、そして天を見上げてうめき、そして彼に言う、エッファタ、それは開かれよである。 そして直ちに彼の耳が開かれ、彼の舌の束縛が解かれ、彼は正しく話した。 そして彼は彼らに誰にも言わないようにと命じた。しかし彼が彼らに命じれば命じるほど、彼らはますます多く宣べ伝えた。 そして彼らは非常に驚いて言った、彼は全てのことをよく行った。耳が聞こえない人たちを聞こえるようにさせ、話せない人たちを話すようにさせる。

8

あの日々に、再び大勢の群衆がいて、食べるものを何も持っていなかったので、イエスは弟子たちを呼び寄せて彼らに言う。私は群衆を憐れに思う。なぜなら既に三日間彼らは私のもとに留まっていて、食べるものを何も持っていないからだ。そしてもし私が彼らを空腹のまま家へ帰らせたら、彼らは道で倒れるだろう。というのも彼らのうちの何人かは遠くから来ているからだ。 そして彼の弟子た

ちは彼に答えた、誰がここ荒野でこれらの人々をパンで満たすことができるでしょうか。 そして彼は彼らに尋ねた。あなたたちはパンを何個持っていますか。 彼らは言った、七つです。 そして彼は群衆に地面に座るように命じた。そして七つのパンを取り、感謝してからそれを裂き、弟子たちに配らせるために渡した。そして彼らは群衆に配った。 そして彼らは少しの小さい魚を持っていた。そしてそれらを祝福して、彼はそれらも配るように言った。 彼らは食べて満たされ、そして余ったパン切れ七つのかごを取り上げた。 彼らはおよそ四千人だった。そして彼は彼らを解散させた。 そして彼は弟子たちと共にすぐに船に乗り込んで、ダルマヌタ地方へ来た。 そしてパリサイ人たちは出て行って、彼を試しながら、天からのしるしを彼から求めて、彼と議論することを始めた。 そして彼は霊において深く嘆いて言う。この世代はなぜしるしを求めているのか。 本当に私はあなたたちに言う、もしこの世代にしるしが与えられるならば。 そして彼らを残して船に乗り込み、再び去って行った。 そして彼らはパンを持って来ることを忘れていて、一つのパンを除いて、船の中に自分たちと共に持っていなかった。 そして彼は彼らに言いながら命じていた、見よ、パリサイ人のパン種とヘロデのパン種に気をつけよ。 そして彼らは互いに論じ合っていた、私たちはパンを持っていないと言って。 そしてイエスは知って彼らに言う。なぜあなたたちはパンを持っていないことについて論じているのか。 あなたたちはまだ理解しないし、わからないのか? まだあなたたちは心を硬くしたままでいるのですか。 目を持っているのに見ないのか、そして耳を持っているのに聞かないのか。 そしてあなたたちは覚えていないのですか? 私が五つのパンを五千人に裂いた時、あなたたちは破片でいっぱいの籠を何個拾い集めましたか。 彼らは彼に言った、十二です。 そして七つを四千人に分けた時、あなたたちは何個のか

ごいっぱいのパン切れを取り上げましたか。 彼らは言った、七つです。 彼は彼らに言った、まだ理解しないのか。 そして彼はベツサイダへ来る。 そして彼らは彼に盲人を連れて来て、彼がその人に触れるように彼に懇願する。 そして盲人の手を掴んで、彼を村の外へ連れ出し、そして彼の目に唾を吐いて、彼の上に手を置いて、彼に何か見えるかと尋ねた。 そして見上げて彼は言った、人々が木のように歩いているのが見える。 それから再び彼は彼の目の上に手を置き、彼を見上げさせた。そして彼は回復され、はっきりとすべてのものを見た。 そして彼を彼の家へ送り、言った、村へ入るな、村の中の誰にも言うな。 そしてイエスと彼の弟子たちはピリポのカイサリアの村々へ出て行った。そして道で彼は彼の弟子たちに尋ねていた、彼らに言いながら、人々は私を誰だと言っているかと。 彼らは答えた、洗礼者ヨハネです。また他の人たちはエリヤ、また他の人たちは預言者の一人です。 そして彼は彼らに言う。しかしあなたたちは私を誰だと言うのか。 ペトロが答えて彼に言う、あなたがそのキリストです。 そして彼は彼らを叱った、誰にも彼について言わないように。 そして彼は彼らに教え始めた、人の子は多くの事を苦しみ、そして長老たちと祭司長たちと律法学者たちから退けられ、そして殺され、そして三日の後に立ち上がることが必要であると。そして大胆さをもってその言葉を語っていた。 そしてペトロは彼を脇に連れて行って、彼を叱り始めた。 そして彼は振り返って彼の弟子たちを見て、ペトロを叱って言った、私の後ろに行け、サタンよ、なぜならあなたは神のことを思わず、人間のことを思うからだ。 そして群衆を弟子たちと一緒に呼び寄せて、彼らに言った。誰でも私の後について来たいと思う者は、自分自身を否定し、自分の十字架を取り上げ、私について来なさい。 誰でも自分の魂を救いたいと願うなら、それを失うだろう。しかし誰でも私のためと福音のために

自分自身の魂を失うなら、この人はそれを救うだろう。 人は全世界を得ても、自分の魂を失ったら、何の益があるだろうか。 あるいは人は何を自分の魂の交換として与えるだろうか。 なぜなら、もし誰かがこの姦淫の、そして罪人の世代において私と私の言葉を恥じるならば、人の子もまた、彼の父の栄光の中で聖なる使いたちと共に来る時、その者を恥じるであろう。

9

そして彼は彼らに言った、まことに私はあなたがたに言う、ここに立っている者たちの中に何人かがいて、彼らは神の王国が力をもって来るのを見るまで決して死を味わうことはない。 そして六日後、イエスはペテロとヤコブとヨハネを連れて行き、彼らだけを人里離れて高い山へ連れて上った。そして彼は彼らの前で変貌した。そして彼の衣は輝いて、雪のようにとても白くなった。地上のどんな漂白職人もそのように白くすることができないほどのものだった。 そして彼らにエリヤがモーセと共に現れた、そして彼らはイエスと語り合っていた。 そしてペトロは答えてイエスに言う、先生、私たちがここにいるのは良いことです。幕屋を三つ作りましょう、あなたに一つ、モーセに一つ、エリヤに一つ。 彼は何を話せばいいのか分からなかった。というのも彼らはひどく怯えていたからだ。 そして雲が彼らを覆うようになり、そして声が雲から来て言った、この者は私の愛されている息子である、彼の言うことを聞け。 そして突然周りを見回すと、もはや誰も見えず、ただイエスだけが彼らと共にいた。 彼らが山から降りている時、彼は彼らに命じた、人の子が死者から起き上がる時まで、誰にも彼らが見たことを話さないよう

に。 そして彼らはその言葉を守った、自分たち同士で議論しながら、死者の中から復活するとは何かを。 そして彼らは彼に、律法学者たちは、エリヤが最初に来なければならないと言っていますがと言いながら尋ねていた。 彼は答えて彼らに言った。エリヤは確かに最初に来てすべてを回復する。そして人の子について、多くの苦しみを受けて侮られるとどのように書かれているのか。 しかし私はあなたたちに言う、エリヤも来た、そして彼らは望んだだけのことを彼にした、彼について書かれている通りに。 そして弟子たちのところに来ると、彼は彼らの周りに大勢の群衆と、彼らと議論している律法学者たちを見た。 そして、すぐに群衆全員が彼を見ると、非常に驚き、駆け寄って彼に挨拶した。 そして彼は律法学者たちに尋ねた。あなたたちは互いに何を議論しているのか。 そして群衆の中の一人が答えて言った。先生、私は口のきけない霊を持っている息子をあなたのところに連れて来ました。 そしてどこでもそれが彼を捕らえると、それは彼を引き裂き、そして泡を吹き、そして彼の歯を食いしばり、そして干からびます。そして私はあなたの弟子たちにそれを追い出すように言いましたが、彼らはできませんでした。 彼に答えて言う、ああ不信仰な世代よ、いつまで私はあなたたちのところにいることになるのだろうか。 いつまで私はあなたたちに耐えなければならないのか。 彼を私のところに連れてきなさい。 そして彼らは彼を彼のところへ連れて来た。 そしてその霊が彼を見ると、すぐに彼を引き裂き、彼は地面に倒れて泡を吹きながら転がっていた。 そして彼は彼の父に尋ねた。これが彼に起こってからどれくらいの時間になりますか。 彼は言った、幼少期からですと。 そして何度も彼を火の中に投げ込み、水の中にも投げ込んだ、彼を滅ぼすために。しかしもし何かできるなら、私たちを憐れんで私たちを助けてください。 そしてイエスは彼に言った、もしあなたが信じること

ができるなら、信じる者にはすべてのことが可能である。 そしてすぐに叫んだその子供の父は涙とともに言った、信じます、主よ。私の不信仰を助けてください。 イエスは群衆が集まって来るのを見て、汚れた霊を叱り、それに言った。口のきけない耳の聞こえない霊よ、私はお前に命じる、彼から出て行け、そしてもう二度と彼の中に入るな。 そして叫び、激しく彼を痙攣させて出て行った。そして彼は死人のようになった、その結果多くの人々が彼は死んだと言った。 そしてイエスは彼の手を掴んで彼を起こした、そして彼は立ち上がった。 そして彼が家に入った後、彼の弟子たちは個人的に彼に尋ねていた、私たちはそれを追い出すことができなかったのですがと。 そして彼は彼らに言った、この種類は祈りと断食によらなければ、何によっても出て行かせることはできない。 そしてそこから出て行って、彼らはガリラヤを通って通り過ぎていた、そして彼は誰にも知られることを望んでいなかった。というのも彼は彼の弟子たちを教えていて、彼らに言っていた、人の子は人々の手に引き渡される、そして彼らは彼を殺すだろう、そして殺されて三日目に彼は起き上がるだろうと。 彼らはその言葉を理解していなかったが、彼に尋ねることを恐れていた。 そして彼はカペルナウムに来た。そして家の中にいた時、彼は彼らに尋ねた。あなたたちは道で互いに何を議論していたのか。 彼らは黙っていた。というのも彼らは道で互いに誰がより偉大かを話し合っていたからである。 そして座って、彼は十二人を呼んで、彼らに言う。もし誰かが一番になりたいと願うなら、その人はすべての人の最後になり、すべての人の僕になるだろう。 そして子供を連れて来て、彼らの真ん中にその子を立たせた。そしてその子を抱きしめて彼らに言った。もし誰かがこのような子供たちの一人を私の名において受け入れるなら、私を受け入れるのである。そしてもし誰かが私を受け入れるなら、私を

受け入れるのではなく、私を遣わした方を受け入れるのである。 ヨハネは彼に答えて言った、先生、私たちはある人があなたの名において悪霊を追い出しているのを見ました。その人は私たちに従っていません。それで私たちは彼を止めました、なぜなら彼は私たちに従っていないからです。 しかしイエスは言った、彼を妨げるな。なぜなら私の名において力を行って、すぐに私を悪く言うことができる者は誰もいないからだ。 あなたたちに反対していない者は、あなたたちの味方なのです。 誰でもあなたがたに一杯の水を私の名において飲ませる者は、あなたがたがキリストのものであるゆえに、まことに私はあなたがたに言う、決して彼の報いを失うことはないであろう。 そして私を信じているこれらの小さい者たちの一人をつまずかせる者は、彼にとってはむしろ、挽き臼の石が彼の首の周りに置かれて海の中に投げ込まれた方が良い。 もしあなたの手があなたをつまずかせるなら、それを切り落としなさい。両手を持ってゲヘナへ、消えない火の中へ去って行くよりも、片手不自由な体で命に入る方があなたにとって良い。そこでは彼らの虫は死なず、そして火は消えない。 もしあなたの足があなたをつまずかせるなら、それを切り落としなさい。二つの足を持ってゲヘナに、消えない火の中に投げ込まれるよりも、足が不自由なまま命に入る方があなたにとって良いのです。そこでは彼らの虫は死なず、そして火は消えません。 もしあなたの目があなたをつまずかせるなら、それを捨てなさい。二つの目を持って火のゲヘナに行くよりも、片目で神の国に入る方があなたにとって良いのです、そこでは彼らの虫は死なず、そして火は消されません。 すべての者は火で塩漬けにされ、すべての犠牲は塩で塩漬けにされる。 塩は良いものだ。しかしもし塩が塩気のないものになったら、何でそれを味付けするのか。 あなたたちは自分自身の中に塩を持ち、互いに平和でありなさい。

10

そしてそこから立ち上がって、彼はヨルダンの向こうを通ってユダヤの境界へ来た。そして群衆が再び彼のところへ集まって来た。そして彼がいつもしていたように、再び彼は彼らを教えた。 そしてパリサイ人たちが近づいて来て、彼を試みながら、夫が妻を離縁することは許されるかと彼に尋ねていた。 彼は答えて彼らに言った、モーセは何をあなたたちに命じたのか? 彼らは言った。モーセは離婚の証書を書いて解放することを許可した。 そして答えてイエスは彼らに言った、あなたがたの心の頑なさのために、彼はあなたがたにこの戒めを書いたのだ。しかし創造の始めから、神は彼らを男性と女性に作った。このゆえに人は彼の父と母を離れ、そして彼の妻に結ばれ、そして二人は一つの肉になるだろう。 したがって彼らはもはや二つではなく、一つの肉である。それゆえ神が結び合わせたものを、人は引き離してはならない。 そして家の中で再び弟子たちはこのことについて彼に尋ねていた。そして彼は彼らに言う、誰でも自分の妻を離縁して別の女と結婚するなら、彼女に対して姦淫を犯すことになる。そしてもし妻が夫を離縁して別の男と結婚するなら、姦淫を犯すことになる。 そして人々は彼に子供たちを連れて来ていた、彼が彼らに触るために。しかし弟子たちは連れて来ている人々を叱っていた。 見て、イエスは憤慨し、彼らに言った。子供たちを私のところに来させなさい、そして彼らを妨げてはならない。なぜなら神の王国はそのような者たちのものだからである。 まことにあなたがたに言う、神の王国を子供のように受け取らない者は、決してそれに入ることはない。 そして彼らを抱きしめて、手を彼らの上に置いて祝福した。 そして彼が道へ出て行く時、一人が走って

来て、彼の前にひざまずいて彼に尋ねた。善い先生、私が永遠の命を受け継ぐために何をしましょうか。 そしてイエスは彼に言った、なぜ私を良いと言うのか。 誰も善くない、ただ一人の神を除いて。あなたは戒めを知っている。姦淫するな、殺すな、盗むな、偽証するな、奪うな、あなたの父と母を敬え。 彼は答えて彼に言った。先生、これらすべてのことを私は若い時から守ってきました。 イエスは彼を見つめて彼を愛し、そして彼に言った。一つあなたには欠けている。もしあなたが完全でありたいなら、行って、あなたが持っているものをすべて売り、そして貧しい人々に与えなさい、そうすればあなたは天に宝を持つだろう、そしてここに来て、あなたの十字架を取り上げて私に従いなさい。 しかし、その言葉に憂鬱になって、彼は悲しみながら去って行った。というのも、彼は多くの財産を持っていたからである。 そして見回してイエスは彼の弟子たちに言う。お金を持っている者たちは、なんと困難に神の王国に入るだろう。そして弟子たちは彼の言葉に驚いていた。 そしてイエスは再び答えて彼らに言う。子供たちよ、お金に信頼している者たちが神の王国に入ることはどれほど難しいことか。ラクダが針の穴を通って入る方が、金持ちが神の王国に入るよりも易しい。 彼らは非常に驚いて、互いに言い合った、それでは誰が救われることができるのか 彼らをじっと見てイエスは言う。人間にとっては不可能だが、しかし神にとっては不可能ではない。なぜならすべてのことが神にとっては可能だから。 ペテロは彼に言い始めた。見なさい、私たちはすべてを捨てて、あなたに従いました。 答えてイエスは言った。まことに私はあなたたちに言う、私のためにそして福音のために家または兄弟たちまたは姉妹たちまたは父または母または妻または子供たちまたは畑を捨てた者で、今この時に百倍の家々と兄弟たちと姉妹たちと母たちと子供たちと畑を迫害と共に受けず、そして来た

る世において永遠の命を受けない者は誰もいない。 多くの最初の者が最後になり、最後の者が最初になるだろう。 彼らはエルサレムへ上って行く道にいた。そしてイエスが彼らを先導していた、そして彼らは驚いていた、そして従いながら彼らは恐れていた。 そして再び十二人を連れて行って、彼は彼らに自分に起こることになっている事を話し始めた。見よ、私たちはエルサレムに上って行く。そして人の子は祭司長たちと律法学者たちに引き渡される。そして彼らは彼を死に定罪する。そして彼らは彼を異邦人たちに引き渡す。そして彼らは彼を嘲る。そして彼らは彼を鞭打つ。そして彼らは彼に唾を吐く。そして彼らは彼を殺す。そして三日目に彼は起き上がる。 そして、ゼベダイの息子たちであるヤコブとヨハネが彼のところに来て言った。先生、私たちが求めることを、あなたが私たちのためにしてくださることを願います。 そして彼は彼らに言った。あなたたちは私に何をしてほしいと望むのか。 彼らは彼に言った、私たちに与えてください、一人があなたの右に、そして一人があなたの左に、あなたの栄光の中で座ることを。 イエスは彼らに言った、あなたたちは自分が何を求めているのか分かっていない。 あなたたちは私が飲むカップを飲むことができますか、そして私が受けるバプテスマを受けることができますか? 彼らは彼に言った、私たちはできます。 そしてイエスは彼らに言った。確かに私が飲む杯をあなたたちは飲むだろう、そして私が受ける洗礼をあなたたちは受けるだろう。しかし私の右と左に座ることは、私が与えるものではなく、それが準備されている人々のためのものである。 そして十人はそれを聞いて、ヤコブとヨハネについて憤慨し始めた。 イエスは彼らを呼び寄せて彼らに言う。あなたがたは知っている、異邦人を支配していると思われている者たちは彼らを支配し、そして彼らの偉大な者たちは彼らに権力を行使する。しかしあなたがたの間ではそのよ

うではないだろう、むしろあなたがたの間で偉大になりたいと願う者は、あなたがたの僕になるだろう、そしてあなたがたの中で第一の者になりたいと願う者は、すべての者の奴隷になるだろう。そしてなぜなら人の子は仕えられるために来たのではなく、むしろ仕えるために、そして多くの者の代わりに彼の魂を身代金として与えるために来たのだから。 そして彼らはエリコへ来る。 そして彼がエリコから出て行く時、彼の弟子たちと大勢の群衆と共に、ティマイオスの息子バルティマイオスという盲人が、道のそばに座って物乞いをしていた。 そしてイエスがナザレ人であると聞いて、彼は叫び始めて言った、ダビデの子イエスよ、私を憐れんでください。 そして多くの人々が彼を叱っていた、彼が黙るように。しかし彼はもっとずっと大声で叫んでいた。ダビデの子よ、私を憐れんでください。そして、イエスは立ち止まって言った。彼を呼びなさい。そして彼らはその盲人を呼んで、彼に言った。勇気を出せ。起きろ。彼があなたを呼んでいる。 彼は自分の外套を脱ぎ捨てて、立ち上がって、イエスのところへ来た。 そして答えてイエスは彼に言う、私に何をしてほしいとあなたは望むか。 その盲人は彼に言った、ラボニ、私が再び見えるようになりますように。 そしてイエスは彼に言った、行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。 そして直ちに彼は見上げて、道でイエスに従った。

11

そして彼らがエルサレムへ、ベツパゲとベタニアへ、オリーブの山に向かって近づく時、彼は彼の弟子たちの二人を送り、そして彼らに言う、あなたたちの前の村へ行け、そしてすぐにそこへ入ると、

あなたたちは縛られた子ろばを見つけるだろう、それの上に人間の誰も座ったことがない。それをほどいて連れて来い。 もし誰かがあなたたちに何をしているのかと言ったら 主がそれを必要としていると言いなさい、そうすればすぐに彼はそれを再びここに送ります。彼らは出発して、戸の外の通りのところで縛られている子馬を見つけて、それをほどいた。 そしてそこに立っている者たちの何人かが彼らに言った、その子馬をほどいて、あなたたちは何をしているのか? 彼らはイエスが命じた通りに彼らに言った、そして彼らは彼らを行かせた。 そして彼らは子馬をイエスのところへ連れて来て、彼らの衣をその上に掛けて、彼はその上に座った。 多くの人々は自分たちの衣服を道に敷いた、そして他の人々は木々から葉のついた枝を切って道に敷いていた。 そして先に進んでいる者たちも後に従っている者たちも叫んでいた、こう言いながら、ホサナ、祝福されているのは主の名において来る者と。 祝福されているのは、来たる王国、私たちの父ダビデの主の名において。ホサナ、いと高き所に。そしてイエスはエルサレムに入り、神殿に入った。そしてすべてを見回したが、時刻がすでに夕方だったので、十二人と共にベタニアに出て行った。 そして翌日、彼らがベタニアから出て行った時、彼は空腹になった。そして遠くから葉をつけているいちじくの木を見て、もしかしたら何か見つけられるかと思ってそこに行った。そしてそこに来ると、葉以外何も見つけなかった。というのはいちじくの季節ではなかったからである。 そして答えて彼女に言った、もう二度とお前から永遠に誰も実を食べることがないように。 そして彼の弟子たちは聞いていた。 そして彼らは再びエルサレムに来る。そしてイエスが神殿に入って、神殿で売っている者たちと買っている者たちを追い出し始めた、そして両替商たちのテーブルと鳩を売っている者たちの席を倒した、そして誰かが神殿を通って器を運ぶこ

とを許さなかった、そして彼は彼らに言いながら教えていた、私の家は全ての国民に祈りの家と呼ばれると書かれていないかと。 しかしあなたたちはそれを強盗の巣窟にした。 そして律法学者たちとパリサイ人たちと祭司長たちは聞いた。そして彼らは彼をどのように滅ぼすかを探していた。というのも彼らは彼を恐れていたからである。なぜならすべての群衆が彼の教えに驚いていたからである。 そして遅くなった時、彼は町の外へ出て行った。 そして朝通り過ぎる時、彼らはそのいちじくの木が根から枯れているのを見た。 そして思い出して、ペテロは彼に言う、ラビ、見てください、あなたが呪ったいちじくの木が枯れています。 そしてイエスは答えて彼らに言う、あなたがたは神への信仰を持ちなさい。 まことに私はあなたたちに言う、誰でもこの山に持ち上げられて海に投げ込まれろと言って、彼の心の中で疑わず、しかし彼が言うことが起こると信じるなら、彼が言うことは彼に起こるだろう。 このゆえに私はあなたたちに言う、祈りながら求めるすべてのものを、受け取ると信じなさい、そうすればそれはあなたたちのものになるだろう。 そして、あなたたちが立って祈っているとき、もし誰かに対して何か恨みを持っているなら、赦しなさい。そうすれば天にいるあなたたちの父もあなたたちの罪を赦してくださるでしょう。 もしあなたたちが赦さないなら、あなたたちの父もあなたたちの罪を赦さないだろう。 そして彼らは再びエルサレムに来る。そして神殿の中を彼が歩いている時、祭司長たちと律法学者たちと長老たちが彼のところに来て、彼に言う、あなたは何の権威でこれらのことをするのか。 あるいは誰があなたにこの権威を与えたのか、あなたがこれらのことをするために? イエスは答えて彼らに言った、私もあなたたちに一つのことを尋ねよう、そして私に答えなさい、そうすれば私は何の権威でこれらのことをするのかあなたたちに言おう。 ヨハネの洗礼は天

からだったのか、それとも人からだったのか？ 私に答えてください。 そして彼らは自分たち自身に向かって言いながら考えていた。もし私たちが天からと言えば、彼は言うだろう。それならなぜあなたたちは彼を信じなかったのかと。 しかし私たちは人間からと言おうか? 彼らは民衆を恐れていた。なぜなら全ての人々がヨハネは預言者であったと考えていたからだ。 そして答えて、彼らはイエスに言う、私たちは知りません。 そしてイエスは答えて彼らに言う、私もあなたたちに言わない、どんな権威でこれらのことを私がするのかを。

12

そして彼は彼らにたとえで話し始めた。ある人がぶどう園を植えて、垣根を巡らせて、酒ぶねを掘って、塔を建てて、そしてそれを農夫たちに貸して、旅に出た。 そして彼はその時に農夫たちのところへ奴隷を送った、その奴隷がぶどう園の果実を農夫たちから受け取るために。 そして彼を捕まえて打ち、何も持たせずに送り返した。 そして再び彼は彼らのところへ別の奴隷を送った。そして彼らはその者を石打ちにして頭を打ち、侮辱して送り返した。 そして再び別の者を送った。そして彼らはその者を殺した、そして多くの他の者たちも、ある者たちは打ち、ある者たちは殺した。 それでまだ一人の息子、彼の愛する者を持っていたので、彼も最後に彼らのもとへ送った、彼らは私の息子を尊敬するだろうと言いながら。 あの農夫たちは、彼が来るのを見て、互いに言った、この者は相続人だ。さあ、彼を殺そう。そうすれば相続財産は我々のものになるだろう。 そして彼らは彼を捕まえて殺し、彼をぶどう園の外へ投げ出

した。 それでは、ぶどう園の主人は何をするだろうか。 彼は来て、これらの農夫たちを滅ぼし、そのぶどう園を他の者たちに与えるでしょう。 あなたたちはこの聖書の言葉さえ読んだことがないのか。建てる者たちが退けた石、これが隅の頭石になった。これは主から起こった、そして私たちの目に素晴らしいものである。 そして彼らは彼を捕らえようとしていたが、群衆を恐れた。というのも彼らは、彼が彼らに向けてそのたとえ話を語ったのだと分かったからである。 そして彼を残して彼らは去った。 そして彼らは、彼を言葉で罠にかけるために、パリサイ人たちとヘロデ党の者たちの何人かを彼のところに送る。 彼らは来て彼に言う。先生、私たちは知っています、あなたは真実であり、誰のことも気にしません。なぜならあなたは人の顔を見ないで、真理に基づいて神の道を教えるからです。 それで彼らは私たちに言った。カエサルに税を納めることは許されているか、それとも許されていないか。 与えるべきか、それとも与えるべきでないか。 しかし彼らの偽善を知って、彼は彼らに言った。なぜあなたたちは私を試すのか。 デナリウスを私に持って来なさい、私が見られるように。 そして彼らは運んだ。 そして彼は彼らに言う、この像と碑文は誰のものか。 彼らは言った、カエサルのです。 そしてイエスは答えて彼らに言った、カエサルのものはカエサルに返しなさい、そして神のものは神に。そして彼らは彼について驚いた。 そしてサドカイ人たちが彼のところに来る、復活がないと言う者たちが、そして彼に尋ねて言った、先生、モーセが私たちに書きました、もしある人の兄弟が死んで、そして妻を残して、そして子供たちを残さないなら、その兄弟が彼の妻を取って、そして彼の兄弟のために子孫を起こすようにと。 それで、七人の兄弟がいました。 そして最初の者は妻を娶り、死んで子孫を残さなかった。 そして二番目の者が彼女を娶って死んだが、彼もまた子孫を残

さなかった。 そして三番目の者も同様に。 そして七人は彼女をめとったが、子孫を残さなかった。 すべての最後に、その女も死んだ。 それで復活において、彼らが起き上がる時、彼女は彼らのうち誰の妻であるのか。 七人が彼女を妻として持っていたからです。 そしてイエスは答えて彼らに言った、あなたがたがこのゆえに迷っているのは、聖書を知らず、神の力も知らないからではないか。 というのは、死者の中から起き上がる時、彼らは結婚もしないし、結婚させられもしないが、天にいる使者たちのようであるからだ。 死者たちが起こされることについて、あなたたちはモーセの書の中の柴のところで、神が彼にどのように言ったか読まなかったのか、私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神であると。 神は死者の神ではなく、生者の神である。だからあなたたちは大いに間違っている。 そして律法学者たちの一人が近づいて来て、彼らが議論しているのを聞いて、彼が彼らによく答えたのを見て、彼に尋ねた。すべての戒めの中でどれが第一ですか。 イエスは彼に答えた、すべての戒めの第一は、聞け、イスラエルよ、主、私たちの神、主は唯一である。そしてあなたは、あなたの心の全てから、あなたの魂の全てから、あなたの思いの全てから、あなたの力の全てから、主、あなたの神を愛しなさい これは第一の戒めです。 そして二番目も同様で、これである：あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。これらより大きい他の戒めはない。 そして律法学者は彼に言った、よくぞ、先生、真理に基づいてあなたは言われました。神は唯一であり、彼以外に誰もいません。そして全ての心から、全ての理解から、全ての魂から、全ての力から神を愛すること、そして隣人を自分自身のように愛することは、全ての全焼のいけにえと犠牲よりも優れています。 そしてイエスは彼が賢明に答えたのを見て、彼に言った、あなたは神の王国から遠くない。そして誰ももはや彼に質

問する勇気がなかった。 そしてイエスは答えて神殿で教えながら言った、律法学者たちはどうしてキリストはダビデの息子だと言うのか。 ダビデ自身が聖霊において言ったのだから。主が私の主に言う、私があなたの敵たちをあなたの足の足台として置くまで、私の右に座れ。 ダビデ自身がそれゆえ彼を主と呼んでいる。それでどうして彼の息子なのか? そして大勢の群衆は彼の話を喜んで聞いていた。 そして彼は自分の教えの中で彼らに言っていた。律法学者たちに気をつけなさい。長い衣を着て歩くことを望み、市場で挨拶されることを望み、集会で上座を望み、宴会で上席を望む者たちに。 やもめたちの家を食い尽くし、見せかけのために長く祈るこれらの者たちは、より厳しい裁きを受けるだろう。 そしてイエスは献金箱の向かいに座って、群衆がどのように献金を献金箱に入れるかを見ていた。 そして多くの金持ちたちが多くのものを投げ入れていた。そして一人の貧しいやもめが来て、レプタ二枚を投げ入れた。それはコドラントである。 そして彼の弟子たちを呼び寄せて、彼は彼らに言った。まことに私はあなたたちに言う、この貧しい寡婦は献金箱に投げ入れているすべての者たちよりも多くを投げ入れた。なぜならすべての者たちは彼らの余剰から投げ入れたが、しかしこの者は彼女の欠乏から彼女が持っていたすべてのもの、彼女の生活全体を投げ入れた。

13

そして彼が神殿から出て行く時、彼の弟子たちの一人が彼に言う、先生、見てください、何という石、そして何という建物でしょう。 そしてイエスは答えて彼に言った、あなたはこれらの大きな建物が

見えるか ここでは石の上に石が残されることは決してないだろう、崩されない石は一つもない。 そして彼がオリーブ山に神殿の向かいに座っていた時、ペトロとヤコブとヨハネとアンデレが彼に個人的に尋ねた。私たちに言ってください、これらのことはいつ起こるのですか、そしてこれらすべてのことが成し遂げられようとする時のしるしは何ですか。 イエスは答えて彼らに言い始めた。誰もあなたたちを惑わすことがないように注意しなさい。 多くの者たちが私の名において来て、私がそれであると言い、そして多くの者たちを迷わせるだろう。 しかしあなたたちが戦争と戦争の噂を聞くときは、動揺してはいけない。なぜならそれは起こらなければならないが、しかしまだ終わりではないからだ。 というのは、国民は国民に対して立ち上がり、王国は王国に対して立ち上がるだろう、そして地震が各地で起こるだろう、そして飢饉と騒乱が起こるだろう。 これらは陣痛の始まりです。 しかし、あなたたち自身に気をつけなさい。というのは彼らはあなたたちを議会に引き渡すだろうし、彼らの集会においてあなたたちは打たれるだろう、そして指導者たちと王たちの前にあなたたちは立たされるだろう、私のゆえに、彼らへの証言として。 そして全ての国々に、その良い知らせがまず宣べ伝えられることが必要である。 しかし彼らがあなたがたを引いて行って引き渡す時には、何を話すべきか前もって心配するな、また練習もするな、しかしその時にあなたがたに与えられるものを、これを話せ。なぜならあなたがたが話している者たちではなく、聖霊だからである。 兄弟は兄弟を死へ引き渡すだろう、そして父は子を、そして子たちは親たちに対して立ち上がるだろう、そして彼らを死に至らしめるだろう。 そしてあなたたちは、私の名のゆえに、すべての人々に憎まれるだろう。しかし最後まで耐え忍んだ者は、救われるだろう。 しかし、あなたがたが預言者ダニエルによって語られた荒

廃の憎むべきものが立ってはならない所に立っているのを見る時—読む者は理解せよ—その時ユダヤにいる者たちは山々へ逃げよ、そして屋根の上にいる者は家の中へ降りるな、また彼の家から何かを取るために入るな、そして畑にいる者は彼の上着を取るために後ろへ引き返すな。 しかし、妊娠している女たちと授乳している女たちには災いだ、あの日々には。 しかし祈りなさい、あなたがたの逃亡が冬に起こらないように。 というのも、それらの日々は苦難となるだろう、神が創造された創造の始めから今まで起こらなかったような、そして決して起こらないだろうような苦難である。 もし主がその日々を短くしなかったなら、いかなる肉も救われなかっただろう。しかし彼が選んだ選ばれた者たちのために、彼はその日々を短くした。 そしてその時、もし誰かがあなたたちに見よ、ここにキリストが、見よ、あそこにと言っても、信じてはいけない。 というのも偽キリストたちと偽預言者たちが起こされるだろう、そして彼らはしるしと不思議を与えるだろう、もし可能なら選ばれた者たちをも迷わせるために。 あなたたちは見なさい。見よ、私はあなたたちにすべてのことを前もって言った。 しかしあの日々に、あの苦難の後、太陽は暗くされるだろう、そして月はその光を与えないだろう、そして星たちは天から落ちているだろう、そして天にある力たちは揺り動かされるだろう。 そしてその時、彼らは人の子が大いなる力と栄光とともに雲の中を来るのを見るだろう。 そしてその時、彼は彼の使者たちを送り、四つの風から、地の端から天の端まで、彼の選ばれた者たちを集めるだろう。 そして、いちじくの木から、そのたとえを学びなさい。 その枝がすでに柔らかくなり、葉を出すとき、あなたがたは夏が近いと知る。このように、あなたがたも、これらのことが起こるのを見るとき、それが戸口に近いと知りなさい。 まことにあなたたちに言う、これらすべてのことが起こるま

で、この世代は決して過ぎ去らない。 天と地は過ぎ去るだろう、しかし私の言葉は決して過ぎ去らないだろう。 あの日またはあの時については誰も知らない、天にいる使者たちも知らないし、息子も知らない、ただ父だけが知っている。 見なさい、目を覚ましていなさい、そして祈りなさい。あなたたちはその時がいつであるか知らないのだから。 旅に出る人のように、自分の家を後にして、自分の奴隷たちに権威を与え、各々にその仕事を与え、門番には見張りをするようにと命じた。 だから見張っていなさい。あなたがたは知らないのだから、いつその家の主人が来るのか、遅くか、真夜中か、鶏鳴の時か、朝か。突然来た時に、あなたがたが眠っているのを見つけることがないように。 私があなたたちに言うことを、すべての人に言う。目を覚ましていなさい。

14

過越祭と種なしパンの祭りは二日後であった。 そして祭司長たちと律法学者たちは、策略によって彼を捕らえて殺すにはどうすればよいかを探していた。 彼らは言っていた、その祭りの最中ではいけない、民衆の騒動が起こるかもしれないから。 そして彼がベタニアにいて、らい病人シモンの家の中で、彼が横たわっていた時、一人の女が来た、純粋で高価なナルドの香油の雪花石膏の壺を持って、そしてその雪花石膏の壺を砕いて、彼の頭の上に注いだ。 何人かの人々がいて、憤慨しながら互いに言っていた、何のためにこの香油の無駄が起こったのか というのも、この香油は三百デナリ以上で売ることができ、貧しい者たちに与えることができたからである。そして彼らは彼女に憤慨していた。 しかしイエスは言った。彼女を

放っておきなさい。なぜあなたたちは彼女に面倒を与えるのか。 彼女は私に良いことをした。 あなたたちはいつも貧しい人たちを自分たちと共に持っているから、そしていつでもあなたたちが望む時、あなたたちは彼らに良くすることができる。しかし私を、あなたたちはいつも持っていない。 彼女は自分が持っていたことをした。彼女は埋葬のために私の体に香油を塗ることを前もってした。 まことに私はあなたたちに言う、この福音が全世界のどこで宣べ伝えられても、この女がしたことも彼女の記念として語られるだろう。 そしてイスカリオテのユダ、十二人の一人が、彼を彼らに引き渡すために祭司長たちのところへ出て行った。 彼らはそれを聞いて喜び、彼に銀貨を与えることを約束した。そして彼はどのように好機に彼を引き渡すべきか探していた。 そして種なしパンの最初の日に、過越の犠牲を捧げていた時、彼の弟子たちは彼に言う、どこへ私たちが行って準備しましょうか、あなたが過越を食べられるように? そして彼は弟子たちのうち二人を送り、彼らに言う。町へ行け。そうすれば水の瓶を運んでいる男があなたたちに会うだろう。彼に従え。そして彼がどこに入っても、家の主人に言え。先生が言っている。私が私の弟子たちと過越を食べる私の宿はどこですかと。 そして彼自身があなたたちに、整えられた準備のできた大きな二階の部屋を見せるでしょう。そこで私たちのために準備しなさい。 そして彼の弟子たちは出て行き、町に来て、彼が彼らに言った通りに見つけ、過越の祭りを準備した。 そして夕方になって、彼は十二人と共に来た。そして彼らが横になって食事をしていると、イエスが言った。本当にあなたたちに言う、あなたたちの中の一人が私を裏切るだろう、私と共に食事をしている者が。 彼らは悲しみ始めて、一人ずつ彼に言い始めた、まさか私ですか? そして別の者がまさか私ではないでしょうね 彼は答えて彼らに言った。十二人の中の一人、私と一緒

に鉢に浸している者だ。 人の子は確かに彼について書かれた通りに去って行く。しかし災いだ、その人には、その人を通して人の子が裏切られる。その人は生まれなかった方が彼にとって良かった。 そして彼らが食べていると、イエスはパンを取って、祝福して、それを裂いて、彼らに与えて、言った。取りなさい、食べなさい。これは私の体です。 そして杯を取って感謝してから彼らに与えた、そして彼ら皆がそれから飲んだ。 そして彼は彼らに言った、これは私の血である、新しい契約の血、多くの者のために注がれているものである。 まことにあなたがたに言う、もはや私はぶどうの木の実から飲まない、私がそれを新しく神の王国で飲むあの日まで。 そして賛美歌を歌ってから、彼らはオリーブ山へ出て行った。 そしてイエスは彼らに言う、あなたがた全員は今夜、私のことでつまずくだろう。なぜなら私は羊飼いを打つ、そして羊たちは散らされるだろうと書かれているからだ。しかし私が起き上がった後、私はあなたがたより先にガリラヤへ行くだろう。 ペトロは彼に言った、たとえ全ての人がつまずかされるとしても、私はそうではない。 そしてイエスは彼に言う、本当に私はあなたに言うが、あなたは今日この夜に雄鶏が二回鳴く前に三回私を否定するだろう。 ペトロはさらに強く言った。たとえ私があなたと一緒に死ななければならないとしても、私は決してあなたを否定しません。 同様に、全員も言っていた。 そして彼らはゲツセマネという名前の場所に来る、そして彼は弟子たちに言う、私が祈るまでここに座りなさい。 そして彼はペテロとヤコブとヨハネを自分と共に連れて行き、そして彼は深く苦しめられ、うろたえ始め、彼らに言った。私の魂は死ぬほど深く悲しんでいる。ここに留まって、目を覚ましていなさい。 そして少し前に進んで、地の上に顔を伏せて倒れた。そしてもし可能であるなら、その時が彼から過ぎ去るようにと祈っていた。そして言ってい

た、アバ、父よ、全てのことがあなたには可能です。この杯を私から取り去ってください。しかし私が望むことではなく、あなたが望むことを。 そして彼は来て、彼らが眠っているのを見つけて、ペトロに言う。シモン、お前は眠っているのか。 あなたたちは一時間目を覚ましていることができなかったのか。 目を覚ましていなさい、そして祈りなさい。あなたがたが誘惑に入らないために。確かに霊は熱心であるが、肉は弱い。 そして再び離れて行って、同じ言葉を言って祈った。 そして戻って、彼は再び彼らが眠っているのを見つけた。というのも彼らの目は重くされていたからである。そして彼らは彼に何と答えるべきか知らなかった。 そして彼は三度目に来て、彼らに言う。もう眠って休んでいなさい。十分だ。時が来た。見よ、人の子が罪人たちの手に引き渡される。起きなさい、行こう。見よ、私を引き渡す者が近づいた。 そして直ちに、彼がまだ話している間に、イスカリオテのユダ、十二人の一人が到着した、そして彼と共に剣と棒を持った大きな群衆が、祭司長たちと律法学者たちと長老たちから遣わされて来た。 彼を引き渡す者は彼らに合図を与えていた、言って、私が口づけする者、それが彼だ。彼を捕まえてしっかりと連れ去れ。 そして来て、すぐに彼に近づいて言う、喜べ、ラビ、そして彼にキスした。 彼らは彼に手をかけて、彼を捕まえた。 そばに立っていた者たちの一人が剣を抜いて大祭司の奴隷を打ち、彼の耳を切り落とした。 そしてイエスは答えて彼らに言った、強盗に対するように剣と棒を持って私を捕らえに出て来たのか。毎日神殿であなたたちのところにいて教えていたのに、あなたたちは私を捕らえなかった。 しかし、聖書が成就されるために。 彼を残して、皆逃げた。 そしてある一人の若者が彼に従った、裸の体に亜麻布を纏って。そして若者たちが彼を捕まえた。 そして彼はその亜麻布を置き去りにして、裸で彼らから逃げた。 そして彼らはイ

エスを大祭司のところへ連れて行った。そして全ての祭司長たちと長老たちと律法学者たちが彼のところに集まって来た。 そしてペトロは遠くから彼に従って大祭司の中庭の内側まで行き、下役たちと一緒に座って光のそばで暖まっていた。 祭司長たちと全議会はイエスを死刑にするために彼に対する証言を探していたが、見つからなかった。というのも多くの者が彼に対して偽証していたが、それらの証言は一致していなかったからである。 そして何人かが立ち上がって彼に対して偽証していた、言って、私たちは彼が言っているのを聞いた、私はこの手で作られた神殿を破壊する、そして三日で別の手で作られていない神殿を建てると。 そして、このようにしても彼らの証言は一致していなかった。 そして大祭司が立ち上がって真ん中に進み出て、イエスに尋ねて言った、何も答えないのか これらの者たちはあなたに対して何を証言しているのか。 しかし彼は黙っていて、何も答えなかった。 再び大祭司は彼に尋ねて、彼に言う、あなたはキリストですか、祝福された方の息子ですか。 そしてイエスは言った、私はそうだ。そしてあなたたちは人の子が力の右に座り、天の雲に乗って来るのを見るだろう。 そして大祭司は自分の衣を引き裂いて言う、なぜまだ証人たちが必要なのか あなたたちは確かにその冒涜を聞いた。あなたたちにはどう思われるか。 そして全員が彼を死に値する者だと断罪した。 そして何人かが彼に唾を吐きかけ始め、彼の顔を覆い、彼を拳で殴り、彼に言った、私たちに預言しろ、あなたを殴った者は誰か。 そして下役たちは彼を平手打ちした。 そしてペトロが中庭の下にいる時、大祭司の女中の一人が来て、ペトロが暖まっているのを見て、彼をじっと見て言う、あなたもナザレのイエスと一緒にいた。 彼は否定して言った。私は知らないし、あなたが何を言っているのか理解もしていない。 そして彼は外の中庭へ出て行き、雄鶏が鳴いた。 そして女中は彼を見て、

またそばに立っている人々にこの人は彼らの仲間ですと言い始めた。 しかし彼は再び否定した。 そして少しして再びそばに立っている者たちはペテロに言った。本当にあなたは彼らの仲間だ。というのもあなたはガリラヤ人だし、あなたの話し方も似ているからだ。しかし彼は呪い始めて、そして誓い始めた、私はあなたたちが言っているこの男を知らないと。 そして二度目に雄鶏が鳴いた。 そしてペトロは、イエスが彼に言った言葉を思い出した。雄鶏が二回鳴く前に、あなたは私を三回否定するだろうと。そして身を投げ出して彼は泣いた。

15

そして直ちに朝になると、祭司長たちは長老たちと律法学者たちと議会全体と共に会議を開き、イエスを縛って連れて行き、ピラトに引き渡した。 そしてピラトは彼に尋ねた。あなたはユダヤ人の王なのか。 そして答えて彼は彼に言った。あなたが言っている。 そして祭司長たちは彼を多くのことで告発したが、彼は何も答えなかった。 そしてピラトは再び彼に尋ねて言った、あなたは何も答えないのか。 見よ、彼らがあなたに対してどれほど多くのことを証言しているかを。 しかしイエスはもはや何も答えなかったので、ピラトは驚いた。 祭りのたびに、彼は彼らが求めていた囚人を一人釈放していた。 バラバと呼ばれる者は反乱者たちと共に縛られていた、そして彼らは暴動の中で殺人を犯していた。 そして群衆は叫んで、彼がいつも彼らにしていたように求め始めた。 そしてピラトは彼らに答えて言った、あなたたちは私があなたたちにユダヤ人の王を釈放することを望みますか? 彼は知っていた、祭司長たちが妬みのために彼

を引き渡したことを。 しかし祭司長たちは、むしろバラバを彼らに釈放させるために群衆を扇動した。 ピラトは答えて再び彼らに言った。それでは、あなたがたがユダヤ人の王と言う者を、私にどうしてほしいのか。 彼らはまた叫んだ。彼を十字架につけろ。 ピラトは彼らに言った、彼は一体何の悪いことをしたというのか? しかし彼らはますます激しく叫んだ。彼を十字架につけろ。 ピラトは群衆に十分なことをすることを望んで、彼らにバラバを釈放し、そしてイエスを鞭打ってから十字架につけられるように引き渡した。 そして兵士たちは彼を中庭の内側に連れて行った。それは官邸である。そして彼らは全部隊を呼び集めた。そして彼らは彼に紫の衣を着せた。そして彼らは編んだ茨の冠を彼に被せた。そして彼らは彼に挨拶することを始めた。 ユダヤ人の王よ、万歳。そして彼らは葦で彼の頭を打ち、彼に唾を吐きかけ、そして膝をついて彼を拝んだ。 そして彼らが彼を嘲笑した時、彼らは彼から紫の衣を脱がせて、彼に彼自身の衣服を着せた。そして彼らは彼を十字架につけるために彼を連れ出す。 そして彼らは、畑から来て通りかかっていたあるクレネ人シモン、アレクサンドロスとルフォスの父を、彼が彼の十字架を運ぶために強制徴用した。 そして彼らは彼をゴルゴタという場所へ運ぶ、それは訳すと髑髏の場所である。 そして彼らは彼に没薬を混ぜたワインを与えた。しかし彼はそれを受け取らなかった。 そして彼を十字架につけて、彼らは彼の衣服を分ける、誰が何を取るかをくじを投げて決める。 そしてそれは第三の時であり、彼らは彼を十字架につけた。 そして彼の罪状の碑文は刻まれていた。ユダヤ人の王 そして彼と共に、彼らは二人の強盗を十字架につける、一人を彼の右に、そして一人を彼の左に。 そして彼は無法者たちと共に数えられたと言っている書物が満たされた。 そして通り過ぎていた人々は、彼らの頭を動かしながら、彼を冒涜していた。そして言ってい

た、ああ、神殿を破壊し、三日で建てる者よ、あなた自身を救え。そして十字架から降りて来い。 同様に、祭司長たちも律法学者たちと共に互いに嘲りながら言っていた、他の者たちを救ったが、自分自身を救うことができない。 キリスト、イスラエルの王は、今十字架から降りよ、そうすれば私たちは見て、彼を信じよう。 彼と一緒に十字架につけられた者たちは彼を非難していた。 第六の時になったが、暗闇が全地の上に第九の時まで起こった。そして第九の時にイエスが大きな声で叫んで言った、エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ それは訳すと、わが神、わが神、なぜ私をお見捨てになったのですかである。 そして、そばに立っていた者たちの何人かが聞いて言った。見よ、彼はエリヤを呼んでいる。 一人が走って行き、海綿を酢で満たし、葦に付けて、彼に飲ませていた、待て、エリヤが彼を降ろしに来るか見てみようと言いながら。 イエスは大きな声を発して息を引き取った。 そして神殿の幕が上から下まで二つに裂かれた。 彼の向かい側に立っていた百人隊長は、彼がこのように叫んで息を引き取ったのを見て、言った、本当にこの人は神の息子だった。 遠くから見ている女たちもいた。その中にはマグダラのマリアと、小ヤコブとヨセの母マリアと、サロメがいた。彼女たちはガリラヤにいた時も彼に従い、彼に仕えていた。そして彼と一緒にエルサレムに上って来た他の多くの女たちもいた。 そして既に夕方になっていた。なぜなら準備の日だったからである。それは安息日の前の日である。アリマタヤ出身のヨセフが来た。品位ある議員で、彼もまた自ら神の王国を待ち望んでいた。勇気を出してピラトのところへ入り、イエスの体を求めた。 ピラトは既に死んだのかと驚き、百人隊長を呼び寄せて彼に以前に死んだのかと尋ね、百人隊長から知って体をヨセフに与えた。 そして亜麻布を買って、彼を降ろして、亜麻布で包んで、墓に納めた。その墓は岩から切り出された

ものだった。そして墓の入口に石を転がした。 マグダラのマリアとヨセのマリアは、彼がどこに置かれるかを見ていた。

16

そして安息日が過ぎて、マグダラのマリアとヤコブのマリアとサロメは、来て彼に塗るために香料を買った。 そして安息日の最初の日の非常に早い朝に、太陽が昇った時、彼女たちは墓へ来る。 そして彼女たちは互いに言っていた、誰が私たちのために墓の入口から石を転がしてくれるだろうか。 そして見上げると、彼女たちはその石が転がされているのを見た。というのも、それはとても大きかったからである。 そして墓に入ると、彼女たちは右側に座っている若い男を見た。白い衣を着ていた。そして彼女たちは非常に驚いた。 そして彼は彼女たちに言う、驚くな。あなたたちは十字架につけられたナザレ人イエスを探しているのだろう。彼は復活させられた。彼はここにはいない。見よ、彼らが彼を置いた場所を。 しかし行って、彼の弟子たちとペテロに言いなさい、彼はあなたたちより先にガリラヤへ行くと、そこであなたたちは彼を見るだろう、彼があなたたちに言った通りに。 そして出て行って、彼女たちは墓から逃げた。震えと驚きが彼女たちを捕らえていた。そして彼女たちは誰にも何も言わなかった。恐れていたからである。 そして安息日の最初の日の朝早く起き上がって、最初にマグダラのマリアに現れた、その彼女から七つの悪霊を追い出していたのである。 あの女は行って、彼と共にいた者たちに報告した、嘆き悲しんで泣いている者たちに。 そして彼らは、彼が生きていることと彼女によって見られたことを聞いて、信じなかった。 これらのことの後、彼らのうちの二

人が歩いて畑へ行っているときに、別の姿で現れた。 そしてあの人たちは去って行って、残りの人たちに報告した。しかし、あの人たちも信じなかった。 後で、横になっていた十一人に彼は現れた、そして彼らの不信仰と心の頑なさを責めた、なぜなら彼が復活したのを見た人々を彼らは信じなかったからである。 そして彼は彼らに言った、全世界に行って、すべての創造物に福音を宣べ伝えなさい。 信じて浸礼を受けた者は救われるだろう、しかし信じなかった者は罪に定められるだろう。 そして信じた者たちにこれらのしるしが伴うだろう。私の名において彼らは悪霊を追い出すだろう。新しい言葉で話すだろう。蛇を持ち上げるだろう。そしてもし何か致命的なものを飲んでも、それは彼らを害さないだろう。病人の上に手を置くだろう、そして彼らは良くなるだろう。 主は彼らに話した後、天に取り上げられ、そして神の右に座った。 彼らは出て行って至る所で宣べ伝えた、主が共に働き、伴う徴を通して言葉を確証しながら。 アーメン。

ヨハネによる福音書

1

初めに言葉があった、そして言葉は神と共にあった、そして言葉は神であった。 この方は初めに神と共にあった。 すべてのものは彼を通して生じた。そして彼なしには、生じたもののうち一つとして生じたものはなかった。 彼の中に命があった、そしてその命は人間たちの光だった。 そして、その光は暗闇の中で輝いている、そして、その暗闇はそれを捕らえなかった。 神から遣わされた一人の人が現れた、彼の名はヨハネ。この人は証しのために来た、光について証しするために、すべての人が彼を通して信じるために。 彼はその光ではなかったが、その光について証しするためであった。 真の光があった。それはこの世に来るすべての人を照らす光であった。 彼は世界の中にいた、そして世界は彼によって造られた、そして世界は彼を知らなかった。 自分のものへ来た、そして自分の者たちは彼を受け入れなかった。 しかし彼を受け入れた者たちすべてに、彼は神の子供となる権威を与えた、彼の名を信じる者たちに。彼らは血から生まれたのではなく、肉の意志からでもなく、男の意志からでもなく、神から生まれたのである。 そして言は肉となり、私たちの中

に宿った。そして私たちは彼の栄光を見た、父から来た独り子としての栄光を、恵みと真理に満ちた。 ヨハネは彼について証言し、叫んで言った。この人は私が言った人だった。私の後から来る人が私の前になった。なぜなら彼は私より先に存在していたからだ。 そして彼の満ちみちたものから私たち皆は受けた、そして恵みの代わりに恵みを。なぜなら律法はモーセを通して与えられ、恵みと真理はイエス・キリストを通して生じたからである。 神を誰も見たことがない。父の懐にいる、ただ一人の息子、その者が説明した。 そしてこれはヨハネの証言である、ユダヤ人たちがエルサレムから祭司たちとレビ人たちを彼にあなたは誰ですかと尋ねさせるために送った時の。 そして彼は告白した、そして否定しなかった。そして彼は私はキリストではないと告白した。 そして彼らは彼に尋ねた。では何なのですか？ あなたはエリヤですか？ そして彼は言った、私ではない。 あなたは預言者ですか? そしていいえと答えた。 それで彼らは彼に言った、あなたは誰ですか。 私たちを送った者たちに答えを与えるために、あなたは自分自身について何と言いますか。 彼は言った。私は荒野で叫ぶ者の声である。主の道をまっすぐにせよ。預言者イザヤが言った通りに。 そして遣わされた者たちはパリサイ人たちから来た者たちであった。そして彼らは彼に尋ねて彼に言った、それでは何故あなたはバプテスマを授けるのか、もしあなたがキリストでもなく、エリヤでもなく、預言者でもないなら。 ヨハネは彼らに答えて言った、私は水で洗礼を授ける。しかしあなたがたの間に、あなたがたが知らない方が立っている。 彼は私の後から来る者です、その者は私より先になりました、私はその者のサンダルの紐を解くことさえ値しません。 これらのことは、ヨルダンの向こうのベタニアで起こった。そこでヨハネは洗礼を授けていた。 翌日、ヨハネはイエスが自分の方へ来るのを見て、言う。見よ、神の小羊、

世の罪を取り除く者を。 この人は私が言った人のことです。私の後から来る男がいますが、彼は私より先になりました、なぜなら彼は私より先に存在していたからです。 私も彼を知らなかった。しかし彼がイスラエルに現されるために、このために私は水で洗礼を授けながら来たのだ。 そしてヨハネは証言して言った、私は霊が天から鳩のように降りて来るのを見た、そしてそれは彼の上に留まった。そして私は彼を知らなかった。しかし水で浸すために私を遣わした方が私に言った、あなたが御霊が降って来てその上に留まるのを見る者、この者が聖霊で浸す者である。 私は見て証言した、この方が神の子であると。 翌日、再びヨハネが立っていた、そして彼の弟子たちの中から二人が、そして歩いているイエスを見つめて言う、見よ、神の子羊を。 そして二人の弟子たちは彼が話しているのを聞いて、イエスに従った。 そしてイエスは振り向いて、彼らが従っているのを見て、彼らに言う、何を求めているのか。 彼らは彼に言った、ラビ(それは訳すと先生という意味です)、どこに滞在しているのですか 彼は彼らに言う、来て、見なさい。 それで彼らは来て、彼がどこに滞在しているか見て、その日彼のもとに留まった。時は第十の刻頃であった。 アンデレはシモン・ペトロの兄弟で、ヨハネから聞いて彼に従った二人のうちの一人でした。 この者は最初に自分の兄弟シモンを見つけて、彼に言った、私たちはメシアを見つけた—それは訳されるとキリストである—そして彼をイエスのところへ連れて行った。 彼をじっと見てイエスは言った。あなたはシモン、ヨナの息子である。あなたはケパと呼ばれるであろう。それはペテロと解釈される。 その翌日、イエスはガリラヤへ出て行くことを望んだ。そして彼はフィリポを見つけて、彼に言う、私に従え。 フィリポはベツサイダの出身だった、アンデレとペトロの町である。 ピリポはナタナエルを見つけて彼に言う。モーセが律法の中に書いた

者、そして預言者たちが書いた者を、私たちは見つけました。ナザレ出身のヨセフの息子イエスです。 そしてナタナエルは彼に言った、ナザレから何か良いものが出ることができるだろうか。 フィリポスは彼に言った、来て見なさい。 イエスはナタナエルが自分のところに来るのを見て、彼について言う、見よ、真のイスラエル人だ、その中に偽りがない。 ナタナエルは彼に言う、どこから私のことをご存知なのですか。 イエスは答えて彼に言った。ピリポがあなたを呼ぶ前に、いちじくの木の下にいるあなたを私は見た。 ナタナエルは答えて彼に言った、先生、あなたは神の子です、あなたはイスラエルの王です。 イエスは答えて彼に言った、私があなたをいちじくの木の下で見たと言ったので、あなたは信じるのか。 これらのものよりも大きいものを見るでしょう。 そして彼に言う、まことにまことに私はあなたたちに言う、今からあなたたちは天が開かれているのを見るだろう、そして神の使いたちが人の子の上に昇ったり降りたりしているのを。

2

そして三日目にガリラヤのカナで結婚式があった、そしてイエスの母がそこにいた。そしてイエスと彼の弟子たちもその結婚式に招かれた。 ぶどう酒が不足した時、イエスの母が彼に言う、彼らはぶどう酒を持っていません。 イエスは彼女に言う。私とあなたに何の関係があるのですか、女よ。 まだ私の時は来ていない。 彼の母は召使いたちに言う。彼が何かあなたたちに言ったら、そのとおりにしなさい。 そこには石の水がめが六つあった、ユダヤ人の清めの慣習に従って置かれていて、それぞれ二メトレテスか三メトレテスを入れ

るものだった。 イエスは彼らに言う。水がめを水で満たしなさい。そして彼らはそれらを縁まで満たした。 そして彼は彼らに言う、今汲み出して、宴会の責任者に運びなさい。 そして彼らは運んだ。 宴会の世話役が水がワインになったのを味わったが、それがどこから来たのか知らなかった。しかし水を汲んだ召使いたちは知っていた。宴会の世話役が花婿を呼んで彼に言う、すべての人は最初に良いワインを出し、人々が酔った時に、その時劣ったものを出す。あなたは良いワインを今まで取っておいた。 イエスはこれをガリラヤのカナにおいてしるしの始まりとして行い、彼の栄光を現した、そして彼の弟子たちは彼を信じた。 このことの後、彼と彼の母と彼の兄弟たちと彼の弟子たちがカペルナウムへ下って行った、そして彼らはそこに多くの日々は留まらなかった。 そしてユダヤ人の過越の祭りが近く、イエスはエルサレムへ上って行った。 そして彼は神殿の中で、牛と羊と鳩を売っている者たちと、座っている両替商たちを見つけた。 そして縄から鞭を作って、羊と牛も含めて全員を神殿から追い出し、両替商の小銭をぶちまけ、台をひっくり返し、鳩を売っている者たちに言った。これらをここから持ち去れ。私の父の家を商売の家にするな。 彼の弟子たちは、あなたの家への熱心が私を食い尽くすだろうと書かれていることを思い出した。 それでユダヤ人たちは答えて彼に言った、あなたがこれらのことをするのだから、何のしるしを私たちに示すのか。 イエスは答えて彼らに言った、この神殿を壊しなさい、そして三日でわたしはそれを起こそう。 ユダヤ人たちは言った。この神殿は四十六年で建てられた、そしてあなたは三日でそれを起こすのか。 しかしあの人は自分の体の神殿について言っていた。 それゆえ、彼が死者から起こされた時、彼の弟子たちは彼がこれを言っていたことを思い出し、そして彼らは聖書とイエスが言った言葉を信じた。 彼がエルサレムにいた時、

過越の祭りの間に、多くの人々が彼の行っていたしるしを見て、彼の名を信じた。 しかしイエス自身は自分自身を彼らに委ねなかった、なぜなら彼がすべての人を知っていたから、そして誰かが人について証言する必要がなかったから。なぜなら彼自身が人の中に何があるかを知っていたからである。

3

パリサイ人の中に一人の人がいた、彼の名前はニコデモで、ユダヤ人の支配者だった。 この者は夜に彼のところに来て、彼に言った。ラビ、私たちは知っています、あなたは神から来た教師です。なぜなら、神がその人と共におられるのでなければ、あなたがなさるこれらのしるしを誰も行うことができないからです。 イエスは答えて彼に言った、まことに、まことに、私はあなたに言う、もし誰かが上から生まれないなら、神の王国を見ることができない。 ニコデモは彼に向かって言う。どのようにして人は、老人でありながら、生まれることができるのですか? 彼は自分の母の腹の中に二度目に入って、生まれることができないのではないか? イエスは答えた。まことに、まことに、私はあなたに言う。もし誰かが水と霊から生まれなければ、神の国に入ることができない。 肉から生まれたものは肉であり、霊から生まれたものは霊である。 私があなたにあなたたちは新たに生まれなければならないと言ったことを驚いてはいけない。霊は望むところで吹く、そしてあなたはその声を聞く、しかしあなたはそれがどこから来てどこへ行くかを知らない。このように霊から生まれた者すべてがそうである。 ニコデモは答えて彼に言った、どのようにしてこれらのことが起こることができるのですか イエス

は答えて彼に言った、あなたはイスラエルの教師であって、これらのことを知らないのですか。 まことに、まことに、私はあなたに言う、私たちは知っていることを語り、私たちは見たことを証言する、しかしあなたたちは私たちの証言を受け入れない。 もし私があなたたちに地上のことを言ったのにあなたたちが信じないなら、もし私があなたたちに天上のことを言ったら、どうしてあなたたちは信じるだろうか。 そして誰も天に昇ったことがない、天から降りた者以外は、すなわち天にいる人の子。 そして、ちょうどモーセが荒野で蛇を高く上げたように、そのように人の子が高く上げられることが必要である。それは、彼を信じるすべての者が滅びないで、永遠の命を持つためである。 神は世界をこのように愛したので、彼の独り子を与えた。それは、彼を信じる全ての者が滅びないで、永遠の命を持つためである。 というのも、神は彼の息子を世界へ送ったのは世界を裁くためではなく、彼を通して世界が救われるためだ。彼を信じている者は裁かれない、しかし信じていない者はすでに裁かれている、なぜなら神の独り子の名を信じていないからである。そしてこれは裁きです、なぜなら光は世界に来た、そして人々は光よりもむしろ闇を愛した。というのも彼らの行いは悪だったからです。 というのも、すべて悪いことを行っている者は光を憎み、光の方へ来ない、彼の行いが暴かれないために。しかし真理を行っている者は光の方へ来る、彼の行いが明らかにされるために、それらが神において為されているからである。 これらの後、イエスと彼の弟子たちはユダヤの地へ来て、そこで彼は彼らと共に過ごし、バプテスマを授けていた。 ヨハネはサリムの近くのアイノンで洗礼を授けていた。なぜならそこには水が多くあったからである。そして人々は来ては洗礼を受けていた。というのもヨハネはまだ牢獄に投げ込まれていなかったからである。 それでヨハネの弟子たちとユダヤ人

との間に清めについての論争が起こった。 そして彼らはヨハネのところに来て、彼に言った、ラビ、ヨルダンの向こうであなたと一緒にいた人、あなたが証しをした人、見てください、この人が洗礼を授けていて、すべての人が彼のところに来ています。 ヨハネは答えて言った、人は何も受け取ることができない、もしそれが天から彼に与えられていなければ。 あなたたち自身が私に証言する、私が言ったことを。私はキリストではない、しかし私はあの方の前に遣わされた者であると。 花嫁を持つ者は花婿である。しかし花婿の友人、立っていて彼の声を聞いている者は、花婿の声のゆえに喜びをもって喜ぶ。 だから、この私の喜びは満たされた。 あの方は増大することが必要であり、私は減少することが必要である。 上から来る者は全てのものの上にいる。 地から出た者は地からであり、地から語る。天から来る者はすべての上にあり、彼が見たことと聞いたことを証言する、そして彼の証言を誰も受け取らない。 彼の証言を受け入れた者は、神が真実であることを確証した。 神が遣わした者は神の言葉を語る。というのは神は霊を量りによって与えないからだ。 父は息子を愛し、全てのものを彼の手に与えた。 息子を信じている者は永遠の命を持っている。しかし息子に従わない者は命を見ない。むしろ神の怒りが彼の上に留まる。

4

それゆえ主は、パリサイ人たちがイエスはヨハネよりも多くの弟子たちを作り洗礼を授けていると聞いたことを知ったので、けれどもイエス自身は洗礼を授けていなかったが彼の弟子たちが授けていたのだが、ユダヤを去ってガリラヤへ出発した。 しかし、彼はサマリ

アを通り抜ける必要があった。 それで彼はサマリアのスカルと呼ばれる町に来る、ヤコブが彼の息子ヨセフに与えた場所の近くに。そしてそこにはヤコブの泉があった。 それでイエスは旅から疲れていたので、そのまま泉のそばに座っていた。時は第六時頃であった。サマリアの女が水を汲みに来る。 イエスは彼女に言う私に飲ませてください 彼の弟子たちは食べ物を買うために町へ出かけていたからである。 サマリアの女は彼に言った、どうしてあなたはユダヤ人であるのに、サマリアの女である私に飲み物を求めるのですか。 ユダヤ人はサマリア人と交際しないのです。 イエスは答えて彼女に言った。もしあなたが神の賜物を知っていて、そして私に飲ませてくださいとあなたに言っている者が誰であるかを知っていたなら、あなたは彼に求めていただろう、そして彼はあなたに生ける水を与えていただろう。 その女は彼に言う、主よ、あなたはバケツも持っていないし、井戸は深いです。それでは、どこからあなたは生ける水を持っているのですか。 あなたは私たちの父ヤコブより偉大ではないのですか。彼は私たちにこの井戸を与え、彼自身もそこから飲み、彼の息子たちも彼の家畜も飲んだのです。 イエスは答えて彼女に言った。この水を飲む者は皆また渇く。しかし、私が与える水を飲む者は決して渇くことがない。私が与える水はその人の内で永遠の命へと湧き上がる水の泉となる。 その女は彼に言う。主よ、私にこの水をください。私が渇くことがなく、ここに水を汲みに来なくてもよいように。 イエスは彼女に言う、行ってあなたの夫を呼んで、ここに来なさい。 その女は答えて言った、私には夫がおりません。イエスは彼女に言う。夫がいないとよく言った。なぜならあなたは五人の夫がいたし、そして今一緒にいる者はあなたの夫ではないからだ。これは真実を言ったことだ。 女は彼に言った。主よ、あなたは預言者だとわかります。 私たちの父たちはこの山で礼拝しまし

た。しかしあなたたちは、エルサレムこそ礼拝すべき場所だと言います。 イエスは彼女に言う。女よ、私を信じなさい。この山でもエルサレムでもない所で、あなたがたが父を礼拝する時が来る。 あなたたちは知らないものを崇拝し、私たちは知っているものを崇拝する。なぜなら救いはユダヤ人たちから出るからである。 しかし時が来る、そして今がその時である、真の礼拝者たちが父を霊と真理において礼拝する時が。なぜなら父はそのような者たちを求めるからである、彼を礼拝する者たちを。 神は霊である。そして彼を礼拝する者たちは、霊と真理において礼拝しなければならない。 その女は彼に言う。私は知っています、キリストと呼ばれるメシアが来ることを。あの方が来る時、あの方は私たちに全てのことを告げるでしょう。 イエスは彼女に言う。私があなたに話しているその者だ。そしてこのことで彼の弟子たちが来た、そして彼が女と話していたので彼らは驚いた。しかしながら誰も何を求めているのかまたは何を彼女と話しているのかとは言わなかった。 それで女はその水がめを置いて町へ去って行き、そして人々に言う、来なさい、私がしたすべてのことを私に言った男を見なさい。この人がキリストではないだろうか。 それで彼らはその町から出て来て、彼のところへ向かっていた。 その間に弟子たちは彼にラビ、食べてくださいと言って尋ねていた。 彼は彼らに言った、私は食べるための食べ物を持っている、それをあなたたちは知らない。 それで弟子たちは互いに言っていた。誰か彼に食べ物を持って来たのではないだろうか。 イエスは彼らに言う。私の食べ物は、私を送った方の御心を行い、その業を完成させることです。 あなたたちはまだ四ヶ月あって、そして収穫が来ると言っているのではありませんか。 見よ、私はあなたたちに言う、あなたたちの目を上げて、その土地を見なさい、それらはすでに収穫に向けて白いのだから。 そして刈り取る者は報酬を

受け取り、永遠の命への実を集める、それは種を蒔く者と刈り取る者が共に喜ぶためである。 というのもこの中に真実の言葉があるからである、すなわち種を蒔く者は別の者であり、刈り取る者は別の者である。 私はあなたたちを、あなたたちが労していないものを刈り取るために送った。他の者たちが労し、そしてあなたたちは彼らの労苦に入った。 そしてあの町から多くのサマリア人たちが彼を信じた、女の言葉のゆえに、彼女が彼は私が行ったすべてのことを私に言ったと証言していたからである。 それでサマリア人たちが彼のところに来たとき、彼らは彼に自分たちのもとに留まるよう求めた。そして彼はそこに二日間留まった。 そして、はるかに多くの人々が彼の言葉のゆえに信じた。そしてその女に彼らは言っていた、もはやあなたの話のゆえに私たちは信じるのではない。私たち自身が聞いたのだから。そして私たちは知っている、この方がまことに世の救い主キリストであると。 二日の後、彼はそこから出て行き、ガリラヤへ去って行った。 というのも、イエス自身が証言したからだ、預言者は自分の故郷では名誉を持たないと。 だから、彼がガリラヤに来た時、ガリラヤ人たちは彼を受け入れた、彼がエルサレムで祭りの時にしたすべてのことを見ていたので。そして彼ら自身も祭りに来ていたからである。 それでイエスは再びガリラヤのカナに来た、そこで彼は水をワインにした。 そして、ある王室の者がいて、その息子がカペナウムで病気だった。この者はイエスがユダヤからガリラヤに来たと聞いて、彼のところへ行き、下って来て彼の息子を癒してくれるように頼んだ。というのは息子は死にかけていたからだ。 そこでイエスは彼に向かって言った。もしあなたがたがしるしと不思議を見ないなら、あなたがたは決して信じないだろう。 王室の者は彼に言う。主よ、私の子供が死ぬ前に下って来てください。 イエスは彼に言った。行きなさい。あなたの息子は生きて

います。 そしてその男は、イエスが彼に言った言葉を信じて、行った。 既に彼が下っている時、彼の奴隷たちが彼に会い、言って報告した、あなたの息子は生きていますと。 それで彼は彼らから、より良くなった時刻を尋ねた。 そして彼らは彼に言った、昨日第七の時に熱が彼を去ったと。 それゆえ父は、イエスが彼にあなたの息子は生きていると言ったあの時であったことを知った。そして彼自身と彼の家全体が信じた。 イエスはユダヤから来てガリラヤへ入った時、この二番目のしるしを行った。

5

これらのことの後、ユダヤ人の祭りがあり、イエスはエルサレムへ上って行った。 エルサレムには羊の門のところに池があって、それはヘブライ語でベテスダと呼ばれ、五つの回廊を持っている。 これらの中に、病んでいる者たち、盲人たち、足の不自由な者たち、体の萎えた者たちの多くの群衆が、水の動きを待ちながら横たわっていた。 というのも使者が時に従って池の中に降りていて、水が乱されていた。それゆえ水の乱れの後で最初に入った者が、どんな病気に捕らわれていたとしても健康になった。 そしてそこに、三十八年間その病を患っている人がいた。 この人が横たわっているのを見て、そして彼がすでに長い間そうしていることを知って、イエスは彼に言う、あなたは健康になりたいか。 病んでいる者は彼に答えた。主よ、私には人がいません。水がかき乱される時に私を池の中に入れてくれる人が。しかし私が行く間に、他の者が私より先に降りて行くのです。 イエスは彼に言う、起きなさい、あなたの寝床を取り上げなさい、そして歩きなさい。 そしてすぐにその男は健康に

なり、彼は自分の寝床を取り上げ、歩き回っていた。 そしてその日は安息日だった。 それでユダヤ人たちは癒された人に言っていた。安息日だ。あなたが寝床を運ぶことは許されない。 彼は彼らに答えた。私を健康にしたその人が私に言ったのです、あなたの寝床を取り上げて歩きなさいと。 それで彼らは彼に尋ねた、あなたにあなたの寝床を持ち上げて歩けと言った人は誰ですかと。 しかし癒された者は、それが誰であるか知らなかった。なぜならイエスはその場所に群衆がいたので立ち去ったからである。 これらのことの後、イエスは神殿で彼を見つけて、彼に言った。見よ、あなたは健康になった。もう罪を犯すな、あなたに何かもっと悪いことが起こらないように。 その男は去って行き、ユダヤ人たちに、イエスが彼を健康にした者であると報告した。 そしてこのために、ユダヤ人たちはイエスを迫害し、彼を殺そうと求めていた。なぜなら彼はこれらのことを安息日に行っていたからである。 しかしイエスは彼らに答えた。私の父は今まで働いている、そして私も働いている。 このゆえに、それゆえ、ユダヤ人たちは彼を殺すことをもっと求めていた。なぜなら彼は安息日を破っていただけでなく、神を自分自身の父と言っていて、自分自身を神と等しくしていたからである。 それゆえイエスは答えて彼らに言った。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。息子は自分自身からは何もすることができない、父がしているのを見るのでなければ。というのも、あの方がすることを、これらを息子も同じようにするからである。 というのは父は息子を愛しており、彼自身が行う全てのことを彼に示しており、これらよりも大きな業を彼に示すだろう、あなたたちが驚くように。 父が死者たちを起こし生かすように、息子もまた自分が望む者たちを生かすのである。 というのも父は誰も裁かず、むしろすべての裁きを息子に与えた、すべての人が父を敬うのとちょうど同じように息子を敬う

ためである。 息子を敬わない者は、彼を遣わした父を敬わない。 まことに、まことに、私はあなたたちに言う。私の言葉を聞いて、私を送った方を信じる者は永遠の命を持っており、裁きには来ず、死から命へと移っている。 まことに、まことに、私はあなたがたに言う、時が来る、そして今である、その時死者たちが神の子の声を聞くだろう、そして聞いた者たちは生きるだろう。なぜなら父が自分自身の中に命を持っているように、そのように父は子にも自分自身の中に命を持つことを与えたからである。そして父は子に権威を与えた、そして裁きを行うことを与えた、なぜなら彼は人の子だからである。 このことに驚くな。なぜなら、時が来るからだ。その時には墓の中にいるすべての者が彼の声を聞くだろう。そして良いことをした者たちは命の復活へと出て来るだろう。しかし悪いことをした者たちは裁きの復活へと出て来るだろう。 私は自分だけでは何もできない。 私が聞くように裁く、そして私の裁きは正しい。なぜなら私は私の意志を求めず、私を送った父の意志を求めるからだ。 もし私が私自身について証言するなら、私の証言は真実ではない。 別の者が私について証言しており、そして私は彼が私について証言する証言が真実であることを知っている。 あなたたちはヨハネのところへ人を送った、そして彼は真理について証言した。しかし私は人から証言を受けるのではない、しかし私はあなたたちが救われるためにこれらのことを言う。 あの者は燃えて輝くランプだった、そしてあなたたちは彼の光の中で一時の間喜ぶことを望んだ。 私はヨハネのものより大きい証を持っている。というのは、父が私に完成させるために与えた業、私がしているその業が、父が私を遣わしたということについて私について証しているからである。 そして私を送った父ご自身が、私について証言してくださったのです。 あなたがたは彼の声を今まで聞いたことがないし、彼の姿を見たこともな

い、そして彼の言葉があなたがたの中に留まっていない、なぜならあの方が送った者を、あなたがたは信じないからである。 あなたたちは聖書を調べている、なぜならあなたたちはその中に永遠の命があると思っているから。そしてそれらは私について証しするものである。それなのにあなたたちは命を得るために私のところに来ることを望まない。 私は人々から栄光を受けない。しかし私はあなたたちのことを知っている、あなたたちが神の愛を自分たちの内に持っていないということを。 私は私の父の名において来たが、あなたたちは私を受け入れない。もし他の者が自分自身の名において来るなら、あなたたちはその者を受け入れるだろう。 あなたがたは互いから評価を受け取りながら、どうして信じることができるのか、そして唯一の神からの栄光は求めないのか。 私があなたたちを父のもとへ訴えると思うな。あなたたちを訴えている者はモーセである、あなたたちが希望を置いてきたその人である。 もしあなたたちがモーセを信じていたなら、あなたたちは私を信じていただろう。というのも、彼は私について書いたのだから。 もしあなたたちがあの人の書いたものを信じないなら、どうやって私の言葉を信じるだろうか。

6

これらの後、イエスはガリラヤの海、ティベリアスの向こうへ去った。そして大きな群衆が彼に従っていた、なぜなら彼らは彼が病んでいる者たちに対して行っていたしるしを見ていたからである。 イエスは山へ登り、そこで弟子たちと座っていた。 そしてユダヤ人たちの祭りである過越祭が近かった。 それゆえイエスは目を上げて、

そして大勢の群衆が彼に向かって来るのを見て、ピリポに向かって言う、どこから私たちはパンを買おうか、この人々が食べられるように。 しかし彼はこれを彼を試しながら言った。彼自身は何をしようとしているか知っていたからである。 フィリポは彼に答えた。二百デナリのパンでは、彼らの一人一人が少しずつ受け取るためにも足りません。 彼の弟子たちの中の一人、シモン・ペテロの兄弟アンデレが彼に言う。ここに一人の子供がいます、その子は五つの大麦のパンと二匹の小さい魚を持っています。しかしこれらは何でしょうか、こんなに多くの人々に対して。 イエスは言った、人々を横にならせなさいと。そしてその場所には草がたくさんあった。 それで男たちは倒れた、その数はおよそ五千人だった。 イエスはパンを取り、感謝してから弟子たちに配り、弟子たちは横たわっている人々に配った。同様に魚からも彼らが欲しいだけ配った。 彼らが満腹になったので、彼は弟子たちに言う、余った破片を集めなさい、何も失われないように。 それで彼らは集めて、十二の籠を満たした、五つの大麦のパンからのパンくずで、それは食べた人々に余ったものだった。 それゆえ、人々はイエスが行ったしるしを見て、この人は真に世に来る預言者であると言っていた。 イエスはそれゆえ、彼らが来て彼を奪い彼を王にしようとしていることを知って、再び一人で山へ退いた。 夕方になったとき、彼の弟子たちは海へ下って行き、そして船に乗り込んで、海の向こうのカペナウムへ向かっていた。 そしてすでに暗くなっていた、そしてイエスは彼らのところに来ていなかった、そして大きな風が吹いて海は荒れていた。 それで25スタディオンか30スタディオンほど漕いで、彼らはイエスが海の上を歩いて舟の近くに来るのを見て、恐れた。 そして彼は彼らに言う、私だ。恐れるな。 それで彼らは彼を船に迎え入れようとした、そしてすぐにその船は彼らが向かっていた陸地に着いた。 翌日、海

の向こう側に立っていた群衆は、そこには他の小舟がなく、彼の弟子たちが乗り込んだあの一つしかなかったこと、そしてイエスは彼の弟子たちと一緒に小舟に乗り込まず、彼の弟子たちだけが出発したことを見た。しかし他の小舟たちがティベリアスから来た、主が感謝を捧げた後に彼らがパンを食べた場所の近くに。それで群衆はイエスがそこにいないことも彼の弟子たちもいないことを見た時、彼ら自身が船に乗り込んでカペルナウムに来た、イエスを探しながら。 そして彼を海の向こうで見つけて、彼に言った。ラビ、いつここに来たのですか。 イエスは彼らに答えて言った、まことに、まことに、私はあなたたちに言う、あなたたちが私を探すのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満たされたからである。 働きなさい、滅びる食物のためではなく、永遠の命へと残る食物のために。それを人の子があなたたちに与えるだろう。なぜなら父なる神がこの者を封印したからである。 彼らは彼に言った、私たちが神の業を行うために、何をしましょうか。 イエスは答えて彼らに言った、これは神の働きです、あなたがたが彼が送った者を信じることです。 それゆえ彼らは彼に言った。それではあなたは何のしるしをするのか、私たちが見て、あなたを信じるために? 何をしているの。私たちの父たちは荒野でマナを食べた、ちょうど書かれているように、天からのパンを彼らに食べさせるために与えたと。 それゆえイエスは彼らに言った、まことに、まことに、私はあなたがたに言う、モーセはあなたがたに天からのパンを与えたのではない、しかし私の父があなたがたに天からの真のパンを与えるのである。 というのも神のパンは天から降りて来て、世に命を与えるものだからです。 彼らは彼に言った、主よ、いつもこのパンを私たちに与えてください。 イエスは彼らに言った、私は命のパンである。私のもとに来る者は決して飢えることがなく、私を信じる者は二度と決して渇

くことがない。 しかし私はあなたたちに言った、あなたたちは私を見たのに信じない。 父が私に与えるすべてのものは私のところに来るだろう、そして私のところに来る者を私は決して外に追い出さない。なぜなら私が天から下って来たのは私の意志を行うためではなく、私を遣わした方の意志を行うためだからである。 そしてこれは私を送った父の意志である、彼が私に与えた全てを私がそこから失わないように、しかし私がそれを最後の日に起こすことである。 そしてこれは私を送った者の意志です、すべての御子を見て彼を信じる者が永遠の命を持つために、そして私は最後の日に彼を復活させるでしょう。 ユダヤ人たちは彼について不平を言っていた、なぜなら彼が私は天から降ってきたパンであると言ったからである。そして彼らは言っていた、この者はヨセフの息子イエスではないか。私たちは彼の父と母を知っている それでは、どうしてこの人は私は天から降りて来たと言うのか。 それでイエスは答えて彼らに言った、互いに不平を言うな。 誰も私のところへ来ることができない、私を遣わした父が彼を引き寄せないなら、そして私は最後の日に彼を起こすだろう。 預言者たちの書の中にこう書かれている、そして彼らは皆神に教えられた者となるだろう。 父から聞いて学んだ者は皆、私のところに来る。父を見た者は誰もいない、神のもとにいる者を除いては。この者が父を見たのである。 まことに、まことに、私はあなたたちに言う、私を信じる者は永遠の命を持っている。 私は命のパンです。 あなたたちの父たちは荒野でマナを食べて死んだ。これは天から降りてくるパンである、人がそれを食べて死なないためである。 私は天から降りてきた生きているパンである。もし誰かがこのパンを食べるならば、永遠に生きるだろう。 そして私が与えるパンは私の肉であり、それを私は世の命のために与える。 それでユダヤ人たちは互いに争っていた、言いながら、どうやってこの者は

私たちに自分の肉を食べさせることができるのか それゆえイエスは彼らに言った。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。もしあなたがたが人の子の肉を食べず、そして彼の血を飲まないなら、あなたがたは自分たちの中に命を持たない。 私の肉を食べ、私の血を飲む者は永遠の命を持っており、そして私は最後の日に彼を復活させるだろう。 私の肉は本当に食べ物であり、私の血は本当に飲み物です。 私の肉を食べ、私の血を飲む者は私の中に留まり、そして私は彼の中に留まる。 生ける父が私を遣わしたように、私が父によって生きているように、私を食べる者もまた私によって生きるであろう。 これは天から降りてきたパンである。あなたたちの父たちがマナを食べて死んだようにではない。このパンを食べる者は永遠に生きるだろう。 これらのことを彼はカペナウムの集会で教えながら言った。 それゆえ、彼の弟子たちの中の多くの者たちがこれを聞いて言った。この言葉は厳しい。誰がこれを聞くことができようか。 イエスは、彼の弟子たちがこのことについて不平を言っていることを自分の中で知って、彼らに言った、このことはあなたたちをつまずかせるのか。 それゆえ、もしあなたがたが人の子が以前いた所へ昇って行くのを見るならば? 霊は命を与えるものです。肉は何も益しません。私があなたたちに話す言葉は、霊であり、命です。 しかし、あなたがたの中には信じない者たちがいる。 というのは初めからイエスは知っていたのだ、誰が信じていない者たちであるかを、そして誰が彼を引き渡そうとしている者であるかを。 そして彼は言った。このゆえに私はあなたがたに言ったのだ。誰も私のところに来ることができない、もしそれが彼に私の父から与えられていないならば。 このことから彼の弟子たちの中の多くの者が離れ去り、もはや彼と共に歩かなくなった。 それでイエスは十二人に言った。あなたたちも去りたいのか。 それでシモン・ペトロは彼に答え

た。主よ、私たちは誰のところへ行けばよいのでしょうか。 あなたは永遠の命の言葉を持っている。そして私たちは信じてきたし知ってきた、あなたが生ける神の息子キリストであるということを。 イエスは彼らに答えた。私はあなたたち十二人を選んだではないか。そして、あなたたちのうちの一人は悪魔です。 彼はシモンの子ユダ・イスカリオテのことを言っていた。というのも、この者が彼を引き渡そうとしていたからである、十二人の中の一人でありながら。

7

そしてイエスはこの後ガリラヤで歩き回っていた。というのも彼はユダヤで歩き回ることを望んでいなかった、なぜならユダヤ人たちが彼を殺そうと狙っていたからである。 そしてユダヤ人たちの祭りである仮庵の祭りが近かった。 それで彼の兄弟たちは彼に言った。ここから移ってユダヤへ行きなさい、あなたの弟子たちもあなたがしている業を見ることができるように。なぜなら隠れて何かをしながら、自分が公然といることを求める者は誰もいないからだ。 もしこれらのことをするなら、自分自身を世界に明らかにしなさい。 というのも彼の兄弟たちでさえ彼を信じていなかったからだ。 それゆえイエスは彼らに言う。私の時はまだ来ていない。しかしあなたたちの時はいつでも準備ができている。 世界はあなたたちを憎むことはできない。しかし私を憎む、なぜなら私は世界について、その業が悪であると証言するからだ。 あなたたちはこの祭りに上りなさい。私はまだこの祭りに上らない、なぜなら私の時はまだ満たされていないからだ。 これらのことを彼らに言ったが、彼はガリラヤに

留まった。 彼の兄弟たちが上って行った後、そのとき彼自身も祭りに上って行った、公然とではなく、秘密に。 それでユダヤ人たちは祭りで彼を探していて、言っていた。あの人はどこにいるのか。 そして彼についての多くのつぶやきが群衆の中にあった。 ある者たちは彼は善い人だと言っていた。他の者たちはいや、そうではなく、彼は群衆を惑わしていると言っていた。 しかし、ユダヤ人たちへの恐れのために、誰も大胆に彼について話していなかった。 すでに祭りの最中であったが、イエスは神殿に上って教えていた。 そしてユダヤ人たちは驚いて言っていた、どうやってこの人は学んでいないのに文字を知っているのか。 それゆえイエスは彼らに答えて言った。私の教えは私のものではなく、私を送った方のものである。もし誰かがその方の意志を行うことを望むなら、この教えについて、それが神から出たものか、それとも私が自分自身から語っているのかを知るだろう。 自分自身から語る者は自分自身の栄光を求める、しかし彼を遣わした者の栄光を求める者、この者は真実であり、そして不正は彼の中にない。 モーセはあなたたちに律法を与えたのではないか。 そしてあなたたちの中の誰も律法を守りません。 なぜあなたたちは私を殺そうとするのですか。 群衆は答えて言った。あなたは悪霊に取りつかれている。誰があなたを殺そうとしているのか。 イエスは答えて彼らに言った、私は一つの働きをした、そしてあなたたち全員はこのために驚いている。 モーセはあなたたちに割礼を与えた。それはモーセからのものだからではなく、父祖たちからのものだからである。そしてあなたたちは安息日に人に割礼を施す。 もし人が安息日に割礼を受けるのがモーセの律法が破られないためであるなら、私が安息日に人全体を健康にしたことであなたがたは私に怒っているのか。外見によって裁くな、しかし正しい裁きを裁け。 それゆえエルサレムの人々の中の何人かが言っていた、こ

の人は彼らが殺そうと探している者ではないのか 見よ、彼は大胆に話しているが、彼らは彼に何も言わない。 まさか支配者たちは、この人が本当にキリストであると知ったのではないだろうか。 しかし私たちはこの人がどこから来たか知っている。だがキリストが来る時は、誰もどこから来るか知らない。 それゆえイエスは神殿で教えながら叫んで言った。あなたがたは私を知っている、そしてあなたがたは私がどこから来たか知っている。そして私は自分自身から来たのではない、しかし私を遣わした方は真実である、その方をあなたがたは知らない。私は彼を知っている、なぜなら私は彼のもとから来たのであり、そしてその方が私を遣わしたからである。 それゆえ彼らは彼を捕らえようとしていた、しかし誰も彼に手をかけなかった、なぜなら彼の時がまだ来ていなかったからである。 群衆の中から多くの人々が彼を信じた。そして言っていた、キリストが来る時、この人がしたこれらのしるしよりも多くのしるしをするだろうかと。 パリサイ人たちは群衆が彼についてこれらのことをつぶやいているのを聞いた、そしてパリサイ人たちと祭司長たちは彼を捕らえさせるために下役たちを送った。 それゆえイエスは言った、まだ少しの間あなたがたと共にいる、そして私を送った者のところへ行く。 あなたたちは私を探すだろう、そして見つけないだろう。そして私がいるところに、あなたたちは来ることができない。 それでユダヤ人たちは自分たち自身に向かって言った。この人はどこへ行こうとしているのか、私たちは彼を見つけることができないのだから。 彼はギリシャ人の離散地へ行ってギリシャ人を教えるつもりではないのか？ 彼が言ったこの言葉とは何ですか、あなたたちは私を探すだろうが見つけられないだろう、そして私がいるところに、あなたたちは来ることができない? そして祭りの最後の大いなる日に、イエスは立って叫んで言った、もし誰かが渇くなら、私のところに

来て飲みなさい。 私を信じる者は、聖書が言ったとおり、その腹から生ける水の川が流れ出るだろう。 しかし彼はこのことを、彼を信じる者たちが受けようとしていた御霊について言った。まだ聖霊はなかった、なぜならイエスはまだ栄光を受けていなかったからである。 それゆえ、群衆の中から多くの者たちがその言葉を聞いて言っていた、この者は本当に預言者である。他の者たちは言っていた、この者はキリストである。他の者たちは言っていた、まさかガリラヤからキリストが来るのか。 聖書は、キリストはダビデの子孫から、そしてダビデがいた村ベツレヘムから来ると言わなかったか。 それゆえ、彼のゆえに群衆の中に分裂が生じた。 彼らの中の何人かは彼を捕まえることを望んだが、誰も彼に手をかけなかった。 それで下役たちは祭司長たちとパリサイ人たちのところへ来た。そして祭司長たちとパリサイ人たちは彼らに言った、なぜあなたがたは彼を連れて来なかったのか。 従者たちは答えた。この人のように話した人は一度もいませんでした。 それでパリサイ人たちは彼らに答えた、あなたたちも惑わされているのではないか。 支配者たちの中から誰か彼を信じた者がいたか、それともパリサイ人たちの中から誰かいたか? しかし律法を知らないこの群衆は呪われていると、ニコデモが彼らに言う。彼は夜に彼のところに来た者で、彼らの中の一人であった。私たちの律法は、もしその人から先に聞かず、そして彼が何をするかを知らないならば、その人を裁くだろうか。 彼らは答えて彼に言った、あなたもガリラヤ出身ではないだろうな? 調べて見なさい、ガリラヤからは預言者は起こされていないということを。 そして各々は自分の家へ帰って行った。

8

イエスはオリーブ山へ行った。そして夜明けに再び神殿へ来た。そしてすべての民は彼のところへ来始めた。そして座って彼は彼らを教えていた。 律法学者たちとパリサイ人たちは姦淫の罪で捕らえられた女を連れて来て、彼女を真ん中に立たせて彼に言う。先生、この女は姦淫を犯している現場で捕らえられました。私たちの律法においてモーセはそのような者たちを石打ちにするよう命じました。で、あなたは何て言うの? 彼らは彼を試しながらこれを言った、彼に対する告発を持つことができるために。 そしてイエスは下に身をかがめて指で地面に書いていた。 彼らが彼に尋ね続けたので、彼は身を起こして彼らに言った。あなたがたの中で罪のない者が最初に彼女に石を投げなさい。 そして再び下に屈んで地面に書いた。 そして彼らは聞いて、年長者たちから始めて一人ずつ出て行き、イエスと真ん中にいる女が残された。 顔を上げて、イエスは彼女に言った。女よ、彼らはどこにいるのか。 誰もあなたを非難しなかったのか? 彼女は言った、誰もいません、主よ。 イエスは言った、私もあなたを罪に定めない。行きなさい、そして今からもう罪を犯すな。 それで再び、イエスは彼らに話して言った、私は世の光である。私に従う者は決して暗闇の中を歩くことはなく、命の光を持つだろう。 それでパリサイ人たちは彼に言った、あなたは自分自身について証言している。あなたの証言は真実ではない。 イエスは答えて彼らに言った、たとえ私が私自身について証言しても、私の証言は真実である。なぜなら私はどこから来たか、そしてどこへ行くか知っているからだ。しかしあなたたちは私がどこから来るか、またはどこへ行くか知らない。 あなたたちは肉に従って裁く。私は誰も裁かない。 そしてもし私が裁くなら、私の裁きは真実である、なぜなら私は一人ではなく、私と私を遣わした父がいるからだ。 そして、あなたたちの律法にも、二人の人間の証言は真実であると書かれてい

る。 私は私自身について証言している者であり、そして私を遣わした父が私について証言する。 それで彼らは彼に言った、あなたの父はどこにいるのですか。 イエスは答えた。あなたたちは私を知らないし、私の父も知らない。もしあなたたちが私を知っていたなら、私の父も知っていただろう。 これらの言葉をイエスは神殿の宝物庫で教えながら語った、そして誰も彼を捕らえなかった、なぜなら彼の時がまだ来ていなかったから。 それで、イエスは再び彼らに言った。私は去って行く。そしてあなたがたは私を探すだろう。そしてあなたがたは自分の罪の中で死ぬだろう。私が行く所に、あなたがたは来ることができない。 それでユダヤ人たちは言っていた。まさか彼は自分自身を殺すつもりではないだろうな、なぜなら彼は私が行くところに、あなたがたは来ることができないと言っているから。 そして彼は彼らに言った、あなたたちは下からの者です、私は上からの者です。あなたたちはこの世からの者です、私はこの世からの者ではありません。 だから私はあなたがたに言った、あなたがたはあなたがたの罪の中で死ぬだろうと。もしあなたがたが私であるということを信じないなら、あなたがたはあなたがたの罪の中で死ぬだろう。 それで彼らは彼に言った、あなたは誰ですか? そしてイエスは彼らに言った、初めから私があなたたちに話していることだ。 私はあなたがたについて語ることと裁くことを多く持っている。しかし私を送った方は真実であり、そして私が彼から聞いたこと、これらのことを世に言う。 彼らは、彼が彼らに父のことを話していたということを理解しなかった。 それでイエスは彼らに言った、あなたがたが人の子を上げる時、その時あなたがたは私がそれであることを知るだろう、そして私は私自身からは何もしない、しかし私の父が私を教えたように、これらのことを私は話す。 そして私を送った方は私と共にいる。父は私を一人にしなかった、なぜな

ら私はいつも彼の喜ぶことをするから。 彼がこれらのことを話している間に、多くの人々が彼を信じた。 それゆえイエスは彼を信じたユダヤ人たちに向かって言っていた。もしあなたたちが私の言葉の中に留まるなら、あなたたちは真に私の弟子である、そしてあなたたちは真理を知るだろう、そして真理はあなたたちを自由にするだろう。 彼らは彼に答えた。私たちはアブラハムの子孫です。そして私たちは誰にも今まで奴隷にされたことがありません。どうしてあなたはあなたたちは自由になるだろうと言うのですか。 イエスは彼らに答えた。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。罪を犯している者はみな罪の奴隷である。 しかし奴隷は家に永遠には留まらない。息子は永遠に留まる。 だから、もしその息子があなたたちを自由にするなら、あなたたちは本当に自由になるだろう。 私は知っている、あなたたちはアブラハムの子孫であることを。しかしあなたたちは私を殺そうとしている、なぜなら私の言葉があなたたちの中に入らないからだ。 私は私の父のもとで見たことを話す。そしてあなたたちもだからあなたたちの父のもとで見たことを行っている。 彼らは答えて彼に言った。私たちの父はアブラハムです。 イエスは彼らに言う。もしあなたがたがアブラハムの子であったなら、アブラハムの業を行っていただろう。 しかし今、あなたたちは私を殺そうとしている。私は神から聞いた真理をあなたたちに語った人間だ。このようなことをアブラハムはしなかった。 あなたたちは自分たちの父の業を行っている。 彼らは彼に言った、私たちは性的不道徳から生まれたのではない。私たちには一人の父がいる、神である。 それゆえイエスは彼らに言った。もし神があなたがたの父であったなら、あなたがたは私を愛しただろう。なぜなら私は神から出て来て、そして来ているからである。なぜなら私は自分自身から来たのではなく、むしろあの方が私を遣わしたのである。 なぜあ

なたたちは私の話を理解しないのですか。 あなたたちは私の言葉を聞くことができない。 あなたたちは悪魔である父から出た者である、そしてあなたたちの父の欲望を行うことを望んでいる。 あの者は初めから人殺しであった、そして真理の中に立っていない、なぜなら真理が彼の中にないからである。彼が偽りを語るとき、自分自身のものから語る、なぜなら彼は嘘つきであり、そしてその父もである。 私は真実を言うのに、あなたたちは私を信じない。 あなたたちの中の誰が、罪について私を責めることができるのか。 でも、もし私が真実を言うなら、なぜあなたたちは私を信じないのか? 神から出ている者は神の言葉を聞く。このゆえにあなたがたは聞かない、なぜならあなたがたは神から出ていないからである。 それでユダヤ人たちは答えて彼に言った。私たちが、あなたはサマリア人であり悪霊を持っていると言うのは正しいのではないか。 イエスは答えた。私は悪霊に憑かれていない。しかし私は私の父を敬っている。そしてあなたたちは私を侮辱している。 しかし私は私の栄光を求めない。それを求めて裁く者がいる。 まことに、まことに、私はあなたたちに言う、もし誰かが私の言葉を守るなら、その人は決して永遠に死を見ることはないだろう。 ユダヤ人たちはそれゆえ彼に言った。今私たちはあなたが悪霊に憑かれていることを知った。 アブラハムは死んだし、預言者たちも死んだ。それなのにあなたは、もし誰かが私の言葉を守るなら、永遠に決して死を味わうことはない、と言うのか? あなたは私たちの父アブラハムより偉大ではないのか。彼は死んだのに。 預言者たちも死んだ。あなたは自分を何者だと思っているのか。 イエスは答えた。もし私が自分自身に栄光を与えるなら、私の栄光は無である。私に栄光を与えているのは私の父である、その方をあなたたちはあなたたちの神であると言っているが、あなたたちは彼を知らない。しかし私は彼を知っている。 もし

私が彼を知らないと言うなら、私はあなたたちのような嘘つきになるだろう。しかし私は彼を知っているし、彼の言葉を守っている。あなたがたの父アブラハムは、私の日を見ることを大いに喜び、そして見て、そして喜んだ。 それでユダヤ人たちは彼に言った、あなたはまだ五十歳にもなっていないのに、アブラハムを見たというのか。 イエスは彼らに言った。まことに、まことに、私はあなたたちに言う。アブラハムが生まれる前に、私はある。 それゆえ彼らは彼に投げつけるために石を取り上げた。 イエスは隠れて、神殿から出て行った、彼らの真ん中を通り抜けて、そしてそのように進んで行った。

9

そして通り過ぎながら、彼は生まれつきの盲目の人を見た。 そして彼の弟子たちは彼に尋ねて言った、ラビ、誰が罪を犯したのですか、この人ですか、それとも彼の両親ですか、この人が盲目で生まれるために? イエスは答えた。この人が罪を犯したのでもなく、彼の両親が罪を犯したのでもない。しかし、神の業が彼において現されるためである。 私は私を送った者の働きを、昼である間に働かなければならない。夜が来る、その時は誰も働くことができない。 私が世界にいる時はいつでも、私は世界の光である。 これらのことを言って、地面に唾を吐き、唾から泥を作り、その泥を盲人の目に塗って、彼に言った。行って、シロアムの池で洗いなさい。それは遣わされた者と解釈される。 それで彼は去って行って洗い、見えるようになって帰って来た。 それで隣人たちと、以前に彼が盲目だったのを見ていた人たちは言っていた、この人は座って物乞いをして

いた人ではないのかと。 ある者たちはこの人だと言っていた。しかし他の者たちは彼に似ているだけだと言っていた。 あの人は私だと言っていた。 それで彼らは彼に言った、どうやってあなたの目は開かれたのですか。 その人は答えて言った。イエスと呼ばれる人が泥を作って、私の目に塗って、私に言った。シロアムの池に行って洗え。それで行って洗ったら、私は見えるようになった。 それで彼らは彼に言った、あの人はどこにいるのですか。 彼は言う、知らないと。 彼らは、かつて盲目だった彼を、パリサイ人たちのところへ連れて行く。 イエスが泥を作って彼の目を開けた時は安息日だった。それで再び、パリサイ人たちも彼にどのように見えるようになったのかを尋ねていた。 そして彼は彼らに言った。彼が泥を私の目の上に置いた、そして私は洗った、そして私は見える。 それゆえパリサイ人たちの中のある者たちが言っていた、この人は神からではない、なぜなら安息日を守らないからだ。 他の者たちは言っていた、どうして罪人がそのようなしるしを行うことができるのか。 そして彼らの間に分裂があった。 彼らは盲人に再び言う。あなたは彼について何と言うのか、彼があなたの目を開けたことについて? そして彼は、彼は預言者であると言った。 それゆえユダヤ人たちは、彼が盲目だったそして視力を取り戻したということを彼について信じなかった、視力を取り戻した者の両親を呼んで、そして彼らに尋ねて言うまでは、この者はあなたたちの息子ですか、あなたたちが盲目で生まれたと言っている者は。 それでは、どうやって今見えているのか? 彼の両親は彼らに答えて言った。私たちは知っています、この者は私たちの息子で、盲目で生まれました。しかしどのように今見えるのか私たちは知りません、または誰が彼の目を開けたのか私たちは知りません。彼は成人しています、彼に尋ねなさい、彼は自分自身について話すでしょう。 彼の両親がこれらのことを言ったの

は、ユダヤ人たちを恐れていたからである。というのも、もし誰かが彼をキリストと告白するなら、会堂から追放される者となるように、ユダヤ人たちはすでに合意していたからである。 このため彼の両親は言った、彼は成人しています、彼に尋ねなさい。 それで彼らは二度目に盲目だったその男を呼び出して、彼に言った。神に栄光を帰しなさい。我々はこの男が罪人であることを知っている。 その人は答えて言った。彼が罪人であるかどうか私は知りません。一つのことを私は知っています、私は盲目であったのに今見えるということを。 彼らは再び彼に言った。彼は何をあなたにしましたか? どうやって彼はあなたの目を開けたのか？ 彼は彼らに答えた。私はあなたたちにすでに言った、しかしあなたたちは聞かなかった。何を再びあなたたちは聞きたいのか。 あなたたちも彼の弟子になることを望むのではないか? 彼らは彼を侮辱して言った。あなたはあの者の弟子だ。しかし私たちはモーセの弟子たちだ。 私たちは神がモーセに話したことを知っている。しかしこの人がどこから来たのかは知らない。 その人は答えて彼らに言った。まさにこれが驚くべきことなのです。あなたがたは彼がどこから来たか知らないのに、彼は私の目を開けたのです。 私たちは知っている、神は罪人たちの声を聞かないが、もし誰かが神を恐れる者であり、そして神の意志を行うなら、神はこの者の声を聞く。 永遠の昔から、誰かが生まれつきの盲人の目を開けたということは聞かれたことがなかった。 もしこの人が神から来ていなかったら、何もすることはできなかっただろう。 彼らは答えて彼に言った、お前は全く罪の中に生まれたくせに、お前が私たちを教えるのか。 彼らは彼を外へ追い出した。 イエスは彼らが彼を外に追い出したことを聞いた、そして彼を見つけて彼に言った、あなたは神の子を信じるか。 あの人は答えて言った、では誰ですか、主よ、私が彼を信じるために。 イエスは彼に言っ

た、あなたは彼を見た。そしてあなたと話している者、その者です。 そして彼は言った。主よ、私は信じます。そして彼を拝んだ。そしてイエスは言った。裁きのために私はこの世に来た、見ていない者たちが見るようになるために、そして見ている者たちが盲目になるために。 そしてパリサイ人たちの中で彼と共にいた者たちがこれらのことを聞いた、そして彼に言った・私たちも盲目なのですか。 イエスは彼らに言った。もしあなたたちが盲目だったなら、あなたたちは罪を持たないだろう。しかし今あなたたちは私たちは見えると言う。だからあなたたちの罪は残る。

10

まことに、まことに、私はあなたたちに言う、羊の囲いに戸を通って入らないで、別の所からよじ登る者、その者は泥棒であり強盗である。しかし戸を通って入る者は羊の牧者である。 この人に門番は開け、そして羊たちは彼の声を聞き、そして自分の羊たちを名前によって呼び、そして彼らを導き出す。 そして彼が自分の羊を外に出す時、彼はそれらの前を行く、そして羊は彼に従う、なぜなら彼らは彼の声を知っているからである。しかし他人には決して従わず、むしろ彼から逃げるだろう、なぜなら彼らは他人の声を知らないからである。 イエスはこのたとえを彼らに言った。しかし彼らは、彼が彼らに話していたことが何であるかを理解しなかった。 そこでイエスは再び彼らに言った。まことに、まことに、私はあなたがたに言う。私は羊の門である。 私の前に来た者たち全ては、泥棒であり強盗である。しかし羊たちは彼らの言うことを聞かなかった。 私は扉である。私を通して誰かが入るなら、その人は救われるだろう、

そして出入りするだろう、そして牧草地を見つけるだろう。 泥棒は盗み、犠牲にし、滅ぼすため以外には来ない。私は彼らが命を持ち、豊かに持つために来た。 私は良い羊飼いです。 良い羊飼いは羊のために自分の魂を捧げる。しかし雇い人で羊飼いではなく、羊が自分のものではない者は、狼が来るのを見て羊を置き去りにして逃げる。そして狼はそれらを奪い取り羊を散らす。 雇い人は逃げる。なぜなら彼は雇い人であって、羊たちのことを気にかけないからだ。 私は良い羊飼いである、そして私は私のものを知り、私のものによって知られる、ちょうど父が私を知り私が父を知るように、そして私は私の魂を羊のために置く。 そして私は他の羊を持っている、それらはこの囲いのものではない。そしてそれらも私は導かなければならない、そして彼らは私の声を聞くだろう、そして一つの群れ、一人の羊飼いになるだろう。 このゆえに父は私を愛する、なぜなら私は私の魂を置くからである、再びそれを取るために。 誰も私からそれを取り去らない、しかし私は自分からそれを置く。私はそれを置く権威を持っている、そして私は再びそれを受け取る権威を持っている。この命令を私は私の父から受け取った。 それゆえ、これらの言葉のために、ユダヤ人たちの中に再び分裂が生じた。 彼らの中の多くの者たちが言っていた。彼は悪霊に取りつかれている、そして気が狂っている。なぜあなたたちは彼の話を聞くのか。他の者たちは言っていた、これらの言葉は悪霊に取り憑かれた者のものではない。悪霊が盲人の目を開けることができるだろうか。 エルサレムで奉献の祭りがあった、そして冬であった。そしてイエスは神殿でソロモンの回廊を歩き回っていた。 ユダヤ人たちは彼を囲んで、そして彼に言っていた、いつまで私たちの魂を奪うのか。 もしあなたがキリストであるなら、私たちにはっきりと言ってください。 イエスは彼らに答えた。私はあなたたちに言った、そしてあな

たたちは信じない。私の父の名において私が行う業、これらは私について証しする。しかしあなたたちは信じない。なぜならあなたたちは私の羊の中からではないからである、私があなたたちに言ったように。 私の羊は私の声を聞く、そして私は彼らを知っている、そして彼らは私に従う、そして私は彼らに永遠の命を与える、そして彼らは永遠に決して滅びることはない、そして誰も私の手から彼らを奪うことはない。 私の父は、私に与えてくれた方であり、すべてより偉大であり、そして誰も私の父の手から奪うことはできない。私と父は一つです。 それゆえユダヤ人たちは、彼を石打ちにするために、再び石を取り上げた。 イエスは彼らに答えた。私はあなたたちに私の父から多くの良い業を示した。それらのうちのどの業のために、あなたたちは私を石打ちにするのか。 ユダヤ人たちは彼に答えて言った。良い働きについて私たちはあなたを石打ちにするのではない、冒涜についてだ。そしてあなたは人間でありながら、あなた自身を神とするからだ。 イエスは彼らに答えた。あなたがたの律法にわたしは言った、あなたがたは神々であると書かれていないか。 もし神の言葉が来たあの者たちを神々と言ったのなら、そして聖書は解かれることができないのなら、父が聖別して世に送った者を、あなたたちはお前は冒涜している、なぜなら私は神の子であると言ったからと言うのか。 もし私が私の父の業を行わないなら、私を信じるな。しかしもし私が行うなら、たとえ私を信じなくても、その業を信じなさい。そうすればあなたがたは知り、そして信じるだろう、父が私の中におり、そして私が父の中にいることを。 それゆえ彼らは再び彼を捕まえようとしていた。そして彼は彼らの手から逃れ去った。 そして彼は再びヨルダンの向こうへ、ヨハネが最初に洗礼を授けていた場所へ去って行き、そこに留まった。 多くの人々が彼のところに来て言っていた、ヨハネは確かにしるしを何も

行わなかった。しかしヨハネがこの人について言ったことはすべて真実だった。 そして多くの人々がそこで彼を信じた。

11

ベタニア出身のラザロという病気の人がいた、マリアとその姉妹マルタの村から。 マリアは主に香油を塗って、そして彼女の髪で彼の足を拭いた者であったが、その彼女の兄弟ラザロが病気であった。それで姉妹たちは彼に使いを送って言った、主よ、ご覧ください、あなたが愛しておられる者が病気なのです。 聞いて、イエスは言った、この病気は死に至るものではなく、神の栄光のためであり、それを通して神の子が栄光を受けるためである。 イエスはマルタと彼女の姉妹とラザロを愛していた。 彼が病気だと聞いたので、その時彼がいた場所に二日間留まった。その後、弟子たちに言った、再びユダヤへ行こう。 弟子たちは彼に言う、先生、ユダヤ人たちはついさっきあなたを石で打とうとしていたのに、またそこへ行かれるのですか。 イエスは答えた。一日は十二時間ではないか。 もし誰かが昼に歩くなら、つまずかない、なぜならこの世の光を見るからである。しかしもし誰かが夜に歩くなら、つまずく、なぜなら光が彼の中にないからである。 これらのことを言った、そしてその後、彼らに言う、私たちの友ラザロは眠ってしまった。しかし私は彼を目覚めさせるために行く。 それで彼の弟子たちは言った。主よ、もし彼が眠っているなら、彼は救われるでしょう。 イエスは彼の死について語っていた。しかし彼らは、彼が眠りについて言っていると思った。 それでその時イエスは率直に彼らに言った。ラザロは死んだ、そして私はあなたがたのために喜ぶ、あなたがたが信じるように、

私はそこにいなかったのだから。しかし彼のところへ行こう。 それでディデュモスと呼ばれるトマスは仲間の弟子たちに言った、私たちも行こう、彼と共に死ねるように。 それで、イエスは来て、彼がすでに四日間墓の中にいるのを見つけた。 ベタニアはエルサレムの近くにあった、約15スタディオン離れたところに、そして多くのユダヤ人たちがマルタとマリアのところへ来ていた、彼女たちの兄弟のことで彼女たちを慰めるために。 それでマルタはイエスが来ると聞いたので、彼に会いに行った。しかしマリアは家の中に座っていた。 それでマルタはイエスに言った、主よ、もしあなたがここにいらしたなら、私の兄弟は死ななかったでしょうに。 しかし今でも私は知っている、あなたが神に求めるものは何でも、神があなたに与えてくださるだろうということを。 イエスは彼女に言う、あなたの兄弟は起き上がるでしょう。 マルタは彼に言った、私は知っています、彼は最後の日の復活の時に起き上がるでしょう。 イエスは彼女に言った。私は復活であり、命である。 私を信じる者は、たとえ死んでも、生きるだろう。そして生きていて私を信じるすべての者は、決して永遠に死ぬことはないだろう。 あなたはこれを信じますか? 彼女は彼に言う。はい、主よ、私はあなたが神の子キリスト、世に来られる方であると信じてきました。 そしてこう言って彼女は去り、彼女の姉妹マリアを秘密に呼んで言った、先生が来ていて、あなたを呼んでいます。 あの女性は聞いたとき、すぐに起き上がり、彼のところへ来た。 まだイエスは村に来ていなかったが、マルタが彼に会った場所にいた。 したがって、家で彼女と一緒にいて彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリアが素早く立ち上がって出て行ったのを見て、彼女はそこで泣くために墓へ行くのだと言いながら、彼女に従った。 マリアはそれでイエスがいたところに来たとき、彼を見て、彼の足元に倒れて、彼に言った、主よ、もしあなたがここ

にいたなら、私の兄弟は死ななかったでしょう。 イエスはそれゆえ、彼女が泣いているのを見、そして彼女と一緒に来たユダヤ人たちが泣いているのを見た時、霊において深く心を動かされ、そして自分自身を乱し、そして言った、どこにあなたがたは彼を置きましたか 彼らは彼に言った、主よ、来て見てください。 イエスは涙を流した。 ユダヤ人たちは言っていた、見よ、彼がどれほど彼を愛していたかを。しかし彼らのうちの何人かは言った、盲人の目を開けたこの者は、この者もまた死なないようにすることができなかったのか。 イエスは、それゆえ、再び自分自身の中で深く心を動かされながら、その墓に来る。それは洞窟であった。そして石がその上に置かれていた。 イエスは言う、その石を取り除きなさい。 死んだ者の姉妹マルタが彼に言う。主よ、もう臭っています。四日目ですから。 イエスは彼女に言う、私はあなたに言わなかったか。もしあなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見るだろうと。 そこで彼らは、死んだ人が横たわっていた石を取り上げた。 そしてイエスは目を上に上げて言った。父よ、あなたに感謝します。あなたは私の言うことを聞いてくださったからです。 私は知っていました、あなたはいつも私の言うことを聞いてくださることを。しかし周りに立っている群衆のために私は言いました、彼らが信じるように、あなたが私を遣わされたことを。 そしてこれらのことを言って、大きな声で叫んだ。ラザロ、外へ出て来い。 そして死んだ者が出て来た、足と手が布切れで縛られて、そして彼の顔が布で巻かれていた。 イエスは彼らに言う、彼を解いて、行かせなさい。 それゆえ、マリアのところに来て、イエスが行ったことを見たユダヤ人たちの中の多くの者たちは、彼を信じた。 しかし彼らの中の何人かはパリサイ人たちのところへ去って行って、イエスがしたことを彼らに言った。 それで祭司長たちとパリサイ人たちは議会を集めて言った。我々は何

をすべきか。この人は多くのしるしを行っているのだから。 もし私たちが彼をこのように放っておくなら、すべての人が彼を信じるだろう、そしてローマ人たちが来て、私たちの場所も民族も奪うだろう。 彼らの中の一人、その年の大祭司であったカイアファが、彼らに言った。あなたがたは何も知らないし、考えてもいない。一人の人が民のために死に、国全体が滅びないことが私たちにとって有益だということを。 しかしこれを彼は自分自身から言ったのではなく、むしろその年の大祭司であったので、イエスがその民族のために死ぬことになっていたことを預言したのである、そしてその民族のためだけでなく、神の散らされた子供たちをも一つに集めるためである。 それゆえ、その日から、彼らは彼を殺すために協議した。イエスはそれゆえもはや大胆にユダヤ人の中を歩き回らなかった。しかし彼はそこから荒野の近くの地方へ去り、エフライムと呼ばれる町へ行き、そこで彼の弟子たちと共に過ごした。 ユダヤ人の過越祭は近かった、そして多くの人々が過越祭の前に自分自身を清めるために地方からエルサレムへ上って行った。 それで彼らはイエスを探していた。そして神殿に立ちながら互いに言っていた。あなたたちにはどう思われるか、彼が祭りに来ないということが。 そして祭司長たちとパリサイ人たちは、もし誰かが彼がどこにいるかを知るならば報告すべきであるという命令を与えていた、彼らが彼を捕らえるために。

12

それでイエスは過越の祭りの六日前にベタニアに来た、そこには死んでいたラザロがいた、イエスが死者の中から起こした者である。

それで彼らはそこで彼のために夕食を作り、マルタは給仕しており、ラザロは彼と共に食卓に着いていた者たちの一人だった。 マリアは、それで、1ポンドの本物の非常に高価なナルドの香油を取って、イエスの足に塗り、そして彼女の髪で彼の足を拭いた。そして家は香油の香りで満たされた。 それで彼の弟子たちの中の一人、シモンのユダ・イスカリオテ、彼を引き渡そうとしている者が言う。なぜこの香油は三百デナリで売られて、貧しい人々に与えられなかったのか。 彼はこれを言ったが、貧しい人々について彼に関心があったからではなく、むしろ彼は泥棒であり、金庫を持っていて投げ入れられるものを運んでいたからである。 イエスは言った、彼女をそのままにしておきなさい、私の埋葬の日のためにそれを保ってきたのだ。 貧しい人々はいつもあなたたちと一緒にいるが、私はいつも一緒にいるわけではないからだ。 ユダヤ人たちの中から大勢の群衆が、彼がそこにいることを知った、そして彼らはイエスのためだけでなく、彼が死者たちから起こしたラザロを見るためにも来た。 そして祭司長たちはラザロも殺すために計画した、なぜなら彼のゆえに多くのユダヤ人たちが去って行ってイエスを信じたからである。 翌日、祭りに来ていた大群衆が、イエスがエルサレムに来ると聞いて、棕櫚の枝を取って、彼を迎えに出て行き、叫んだ。ホサナ、祝福されますように、主の名において来られる方、イスラエルの王が。 イエスはロバを見つけて、それに座った、書かれている通りに。恐れるな、シオンの娘よ。見よ、あなたの王が来る、ロバの子に座って。 これらのことを彼の弟子たちは最初は知らなかった。しかしイエスが栄光を受けた時、その時彼らはこれらのことが彼について書かれていたこと、そして彼らがこれらのことを彼に行ったことを思い出した。 それゆえ、彼と共にいた群衆は、彼がラザロを墓から呼び出し、そして彼を死者の中から起こした時のことを証言

していた。 このゆえに群衆も彼に会った、なぜなら彼らは彼がこのしるしを行ったと聞いたからである。 それでパリサイ人たちは互いに言った。見ろ、我々は何の効果もあげていない。 見よ、世界は彼の後について行ってしまった。 祭りにおいて礼拝するために上って行く人々の中から、何人かのギリシア人たちがいた。 それで、これらの人々はガリラヤのベツサイダ出身のピリポのところに来て、彼に尋ねて言った、主よ、私たちはイエスにお会いしたいのです。
フィリポスが来てアンデレに言い、そして再びアンデレとフィリポスがイエスに言う。するとイエスが彼らに答えて言った、人の子が栄光を受けるための時が来た。 まことに、まことに、私はあなたたちに言う、もし一粒の麦の種が地に落ちて死ななければ、それだけが一つのまま残る。しかしもし死ねば、多くの実を結ぶ。 自分の魂を愛する者はそれを失い、この世で自分の魂を憎む者は、永遠の命のためにそれを守るだろう。 もし誰かが私に仕えるなら、私に従わせよ、そして私がいるところに、そこに私の僕もいるだろう。そしてもし誰かが私に仕えるなら、父が彼を敬うだろう。 今、私の魂は悩まされている。そして私は何を言おうか。 父よ、私をこの時から救ってください。 しかし、私はこのために、この時に来たのだ。 父よ、あなたの名に栄光を与えてください。 それで声が天から来た。私は栄光を与えた、そして再び栄光を与えるだろう。 そこで、立っていて聞いた群衆は、雷が起こったと言っていた。他の人々は言っていた、使者が彼に話したと。 イエスは答えて言った。この声は私のために起こったのではなく、あなたたちのためです。 今、この世の裁きです。今、この世の支配者は外に投げ出されるでしょう。そして私ももし地から上げられるなら、すべての人を私自身の方へ引き寄せるでしょう。 彼はこれを、どんな死に方で死ぬことになるかを示しながら言っていた。 群衆は彼に答えた。私たちは律法からキ

リストは永遠に留まると聞きました。それなのにどうしてあなたは人の子が上げられることが必要であると言うのですか。 この人の子とは誰ですか？ それゆえイエスは彼らに言った。まだ少しの時間、光はあなたがたと共にある。光を持っている間に歩きなさい、闇があなたがたを捕らえないために。そして闇の中を歩く者はどこへ行くのか知らない。 光を持っている間に、光を信じなさい、光の子となるために。 これらのことをイエスは話した、そして去って行って彼らから身を隠した。 彼がこれほど多くのしるしを彼らの前で行ったのに、彼らは彼を信じなかった。預言者イザヤの言った言葉が成就されるためであった、主よ、誰が私たちの聞いたことを信じましたか。 そして主の腕は誰に明らかにされたのか? このゆえに彼らは信じることができなかった、なぜならイザヤが再び言ったからである。彼は彼らの目を盲目にし、そして彼らの心を頑なにした、彼らが目で見ず、そして心で理解せず、そして立ち返らないように、そして私が彼らを癒さないように。 イザヤは彼の栄光を見た時、これらのことを言い、彼について語った。 それにもかかわらず、支配者たちの中からも多くの者が彼を信じた。しかしパリサイ人たちのゆえに告白しなかった、会堂から追放されないために。というのも彼らは神の栄光よりもむしろ人間の栄光を愛したからである。 イエスは叫んで言った。私を信じている者は私を信じているのではなく、私を遣わした方を信じているのであり、私を見ている者は私を遣わした方を見ているのである。 私は光として世界に来た。私を信じる者すべてが暗闇の中に留まらないためである。 もし誰かが私の言葉を聞いて信じなくても、私は彼を裁かない。なぜなら私は世界を裁くために来たのではなく、世界を救うために来たからだ。 私を拒絶し、私の言葉を受け取らない者は、彼を裁く者を持っている。私が語った言葉、それが最後の日に彼を裁くだろう。なぜなら私は自分

自身から語ったのではなく、私を遣わした父が自ら私に命令を与えたからだ、何を言うべきか、そして何を語るべきかを。そして私は知っている、彼の命令は永遠の命であると。 それゆえ私が話すことは、父が私に言われたとおりに、そのように話すのです。

13

過越の祭りの前に、イエスは、この世から父のもとへ去るために自分の時が来たことを知っていて、世にいる自分の者たちを愛していたので、最後まで彼らを愛した。 夕食が行われた時、悪魔がすでにシモンの子ユダ・イスカリオテの心の中に彼を引き渡すようにと投げ入れていたが、イエスは父が全てのものを彼の手の中に与えたことと、神から出て来たことと、神へ向かって行くことを知って、夕食から立ち上がって衣服を脇に置いて、タオルを取って自分の腰に巻いた。 それから彼は水を洗面器に注ぎ、弟子たちの足を洗い始め、腰に巻いていた亜麻布で拭き始めた。 それでシモン・ペトロのところに来ると、あの者が彼に言う、主よ、あなたが私の足を洗うのですか イエスは答えて彼に言った。私がすることを、あなたは今は知らない。しかしあなたはこの後で知るだろう。 ペトロは彼に言う。あなたは決して私の足を洗ってはなりません。 イエスは彼に答えた。もし私があなたを洗わないなら、あなたは私と共に分け前を持たない。 シモン・ペトロは彼に言う。主よ、私の足だけでなく、手も頭も洗ってください。 イエスは彼に言う。体を洗った者は足を洗う必要はない、全体が清いのだ。そしてあなたたちは清いが、全員ではない。 彼は知っていたのだ、彼を引き渡す者を。このゆえに彼は言った。あなたたち全員が清いわけではない。 それで、彼が彼

らの足を洗い、彼の衣を取って、再び席に着いて、彼らに言った、私があなたたちにしたことが何か分かりますか。 あなたたちは私を先生と主と呼ぶ、そしてそれはよく言っている、私はそうだから。もしそれゆえ私が、主そして教師である者が、あなたたちの足を洗ったなら、あなたたちもお互いの足を洗う義務がある。 というのも私はあなたたちに模範を与えたからです、私があなたたちにしたように、あなたたちもそうするために。まことにまことに私はあなたたちに言います、奴隷は自分の主人より偉大ではなく、使徒も自分を遣わした者より偉大ではありません。 もしあなたたちがこれらのことを知っているなら、それらを行えば、あなたたちは祝福されている。 私はあなたがた全員について言っているのではない。私は私が選んだ者たちを知っている。しかし聖書が成就されるために、私と共にパンを食べている者が私に対して彼のかかとを上げた。 今から私はあなたたちに言う、それが起こる前に、それが起こる時あなたたちが私はあると信じるように。 まことに、まことに、私はあなたたちに言う。私が送る者を受け入れる人は、私を受け入れるのであり、私を受け入れる人は、私を送った方を受け入れるのである。 これらのことを言って、イエスは霊において悩まされ、証言して言った。まことに、まことに、私はあなたがたに言う、あなたがたの中の一人が私を引き渡すだろう。 それで弟子たちは互いに顔を見合わせていた、彼が誰について言っているのか分からず困惑しながら。 彼の弟子たちの中の一人がイエスの胸元に寄りかかっていた、イエスが愛していた者である。それでシモン・ペトロはこの者に合図をして、イエスが言っている者が誰であるかを尋ねさせようとした。 そしてあの者はイエスの胸の上に倒れかかって彼に言う、主よ、誰ですか。 イエスは答える。あの人は、私がパン切れを浸して渡す相手です。 そして、そのパン切れを浸して、シモンの子イス

カリオテのユダに与える。 そしてそのパンの一切れの後、その時サタンが彼の中に入った。 それでイエスは彼に言う。あなたがしていることを、もっと早くしなさい。 しかしこれを食卓に横たわっている者たちの誰も、彼に何のために言ったのか知らなかった。というのも何人かは、ユダが金箱を持っていたので、イエスが彼に私たちが祭りのために必要とするものを買えと言っている、あるいは貧しい者たちに何かを与えるようにと言っていると思ったからである。パンくずを受け取ると、あの者はすぐに出て行った。夜であった。それゆえ彼が出て行った時、イエスは言う、今、人の子は栄光を受けた、そして神は彼において栄光を受けた。 もし神が彼において栄光を受けたなら、神は彼を自分自身において栄光を与えるだろうし、すぐに彼に栄光を与えるだろう。 小さな子供たちよ、まだ少しの間あなたたちと共にいます。 あなたがたは私を探すでしょう、そして私がユダヤ人たちに言ったことと同じように、私が行くところへ、あなたがたは来ることができません、そして今あなたがたに言います。 新しい命令をあなたたちに与える、互いに愛し合いなさいと。私があなたたちを愛したように、あなたたちもまた互いに愛し合いなさいと。 このことによって、すべての人々は、あなたたちが私の弟子であることを知るだろう、もしあなたたちが互いの間に愛を持つならば。 シモン・ペトロは彼に言う。主よ、どこへ行かれるのですか。 イエスは彼に答えた。私が行くところへ、あなたは今ついて来ることができない。しかし後であなたは私についてくるだろう。 ペトロは彼に言う。主よ、なぜ私は今すぐあなたについて行くことができないのですか。 私はあなたのために私の魂を捧げよう。イエスは彼に答えた。あなたの魂をあなたは私のために置くだろう。まことにまことに私はあなたに言う、雄鶏は鳴かないだろう、あなたが私を三度否定するまでは。

14

あなたたちの心を騒がせてはいけない。神を信じなさい、そして私を信じなさい。 私の父の家には多くの住まいがある。もしそうでなければ、私はあなたたちに言っただろう。私はあなたたちのために場所を準備しに行く。そしてもし私が行って、あなたたちのために場所を準備したら、再び私は来て、あなたたちを私自身のもとに迎える、私がいるところに、あなたたちもいるために。 そして私が行くところをあなたたちは知っている、そしてその道をあなたたちは知っている。 トマスは彼に言う。主よ、私たちはあなたがどこへ行くのか知りません。そしてどのようにして私たちはその道を知ることができるのですか。 イエスは彼に言う。私は道であり、真理であり、命である。誰も私を通さなければ、父のところに来ない。 もしあなたたちが私を知っていたなら、私の父も知っていただろうに。そして今から、あなたがたは彼を知っているし、彼を見ています。ピリポは彼に言う。主よ、私たちに父を見せてください。そうすれば私たちには十分です。 イエスは彼に言う。これほど長い時間あなたたちと共にいるのに、あなたはまだ私を知らないのか、ピリポよ? 私を見た者は父を見たのだ。それなのに、どうしてあなたは私たちに父を見せてくださいと言うのか。 あなたは私が父の中にいて、そして父が私の中にいるということを信じないのですか? 私があなたたちに話している言葉を、私は自分自身から話しているのではない。私の中に留まっている父が、その業を行っているのだ。 私が父の中にいて父が私の中にいることを、あなたたちは信じなさい。もしそうでないなら、その業そのもののゆえに私を信じなさい。 まことに、まことに、私はあなたがたに言う。私を信じる者は、私がする

業を、その者もするだろう。そしてこれらより大きなことをするだろう。なぜなら私は私の父のもとへ行くからだ。そして何でもあなたがたが私の名において求めるならば、これを私はするだろう。父が息子において栄光を受けるために。 もしあなたたちが私の名において何かを求めるなら、私がそれをする。 もしあなたがたが私を愛するなら、私の戒めを守りなさい、そして私は父に願おう、そして父は別の助け主をあなたがたに与えるだろう、永遠にあなたがたと共にとどまるために、真理の霊を。世はそれを受け取ることができない、なぜなら世はそれを見ることもそれを知ることもしないから。しかしあなたがたはそれを知っている、なぜならそれはあなたがたのそばにとどまり、あなたがたの内にいるだろうから。 私はあなたたちを孤児として残さない。私はあなたたちのところに来る。もう少しすれば世界は私をもはや見ないが、あなたたちは私を見る、なぜなら私は生きており、あなたたちも生きるだろうから。 その日に、あなたたちは知るだろう、私が私の父の中におり、あなたたちが私の中におり、私があなたたちの中にいることを。 私の戒めを持ち、それらを守る者、その者が私を愛する者です。私を愛する者は私の父に愛されるでしょう、そして私は彼を愛し、彼に私自身を現すでしょう。 イスカリオテではないユダが彼に言う。主よ、どういうことですか、あなたが私たちにあなた自身を現そうとしていて世界には現そうとしていないというのは。 イエスは答えて彼に言った、もし誰かが私を愛するなら、私の言葉を守るだろう、そして私の父は彼を愛するだろう、そして私たちは彼のところへ来るだろう、そして彼のもとに住まいを作るだろう。 私を愛していない者は私の言葉を守らない。そしてあなたたちが聞く言葉は私のものではなく、私を送った父のものである。 これらのことを私はあなたがたのもとに留まりながらあなたがたに語った。しかし助け主、すな

わち父が私の名において送る聖霊、その方があなたがたにすべてのことを教え、そして私があなたがたに言ったすべてのことをあなたがたに思い起こさせるであろう。 平和を私はあなたたちに残します、私の平和をあなたたちに与えます。世界が与えるようにではなく、私があなたたちに与えます。 あなたがたの心を騒がせるな、また恐れるな。 あなたたちは聞いた、私があなたたちに言ったことを、私は去って行き、そしてあなたたちのところに来る。もしあなたたちが私を愛していたなら、あなたたちは喜んだだろう、私が父のところへ行くと言ったので。なぜなら父は私より偉大だからである。そして今私はあなたたちに言った、それが起こる前に、それが起こる時あなたたちが信じるために。 もはや多くのことをあなたがたと話さない。というのは世の支配者が来るからだ、そして彼は私の中に何も持っていない。しかし世が私が父を愛していることを知るために、そして父が私に命じたとおりに私はする。 起きなさい、ここから行こう。

15

私は真のぶどうの木である、そして私の父は農夫である。 私の中にある実を結ばないすべての枝は、彼はそれを取り去り、そして実を結ぶすべての枝は、彼はそれを清める、それがより多くの実を結ぶために。 あなたたちはすでに清い。わたしがあなたたちに話した言葉によって。 私の中に留まりなさい、そして私もあなたたちの中に。 ちょうどその枝が、ぶどうの木に留まらなければ、自分自身で実を結ぶことができないように、あなたたちも、私の中に留まらなければ、実を結ぶことができない。 私はぶどうの木で、あなたたち

は枝です。 私の中に留まり、私もその人の中に留まる者は、多くの実を結ぶ。なぜなら、私を離れては、あなたがたは何もできないからである。 もし誰かが私の中に留まらないなら、その人は枝のように外に投げられて枯れる、そして人々はそれらを集めて火の中に投げ入れ、それは燃やされる。 もしあなたがたが私の中に留まり、そして私の言葉があなたがたの中に留まるなら、あなたがたが望むものを求めなさい、そしてそれはあなたがたになされるでしょう。 このことによって私の父は栄光を受けられた、あなたがたが多くの実を結び、私の弟子となるためである。 ちょうど父が私を愛したように、私もあなたたちを愛した。私の愛の中に留まりなさい。 もしあなたたちが私の戒めを守るなら、あなたたちは私の愛の中に留まるだろう、ちょうど私が私の父の戒めを守ってきて、彼の愛の中に留まっているように。 私はこれらのことをあなたがたに話した、私の喜びがあなたがたの中に留まり、そしてあなたがたの喜びが満たされるために。 これは私の戒めである、私があなたたちを愛したように、あなたたちも互いに愛し合うために。 これより大きな愛を誰も持たない。それは、人が自分の魂を自分の友人たちのために捧げることである。 あなたたちは私の友達です、もしあなたたちが私があなたたちに命じることをするならば。 私はもうあなたたちを奴隷とは言わない、なぜなら奴隷は自分の主人が何をするか知らないからだ。しかし私はあなたたちを友と呼んだ、なぜなら私の父から聞いたすべてのことをあなたたちに知らせたからだ。 あなたたちが私を選んだのではなく、私があなたたちを選んだ、そして私はあなたたちを置いた、あなたたちが行って実を結ぶために、そしてあなたたちの実が残るために、あなたたちが私の名において父に何を求めても、彼があなたたちに与えるために。 私はこれらのことをあなたたちに命じる、あなたたちが互いに愛し合うように。 もし世界があな

たたちを憎むなら、世界はあなたたちより先に私を憎んだということを知りなさい。 もしあなたがたがこの世のものであったなら、この世は自分自身のものを愛しただろう。しかしあなたがたはこの世のものではなく、むしろ私があなたがたをこの世から選んだので、このゆえにこの世はあなたがたを憎むのである。 私があなたたちに言った言葉を覚えなさい。奴隷は自分の主人より偉大ではありません。 もし彼らが私を迫害したなら、彼らはあなたたちも迫害するだろう。もし彼らが私の言葉を守ったなら、彼らはあなたたちの言葉も守るだろう。 しかし、これらすべてのことを彼らはあなたたちにするだろう、私の名のゆえに、なぜなら彼らは私を送った方を知らないからだ。 もし私が来て彼らに話さなかったなら、彼らは罪を持っていなかった。しかし今、彼らは彼らの罪について言い訳を持っていない。 私を憎んでいる者は、私の父も憎んでいる。 もし私が彼らの中で他の誰も行ったことがない業を行わなかったなら、彼らは罪を持たなかっただろう。しかし今や、彼らは見てきたし、私と私の父を憎んできた。 しかし彼らの律法に書かれた言葉が成就されるために、彼らは理由なく私を憎んだのである。 しかし私が父からあなたたちに遣わす助け主が来る時、父から出る真理の霊、その方が私について証しするだろう。そしてあなたたちも証しする、なぜならあなたたちは初めから私と共にいるからだ。

16

私はこれらのことをあなたがたに話した、あなたがたがつまずかされないために。 彼らはあなたたちを会堂から追放するだろう。しかし、あなたたちを殺す者すべてが神に礼拝を捧げていると思うよう

な時が来る。 そして彼らはこれらのことをするだろう、なぜなら彼らは父を知らず、私をも知らなかったからだ。 しかし私はこれらのことをあなたたちに話した。その時が来る時に、私があなたたちに言ったことをあなたたちが思い出すためである。 私はこれらのことを初めからあなたたちに言わなかった、なぜなら私はあなたたちと一緒にいたからだ。 しかし今、私は私を送った者のところへ行く、そしてあなたがたの中の誰も私にどこへ行くのかと尋ねない。しかし私がこれらのことをあなたがたに話したので、悲しみがあなたがたの心を満たした。 しかし私はあなたたちに真実を言う。私が去ることはあなたたちにとって有益なのだ。 もし私が去らなければ、その弁護者はあなたがたのところに来ないだろう。しかしもし私が行けば、私は彼をあなたがたのところに送るだろう。そして来て、その者は世を罪について、義について、裁きについて責めるだろう。罪については、彼らが私を信じないからである。義については、私は私の父のもとへ行き、あなたたちはもはや私を見ないからである。裁きについては、この世の支配者が裁かれたからである。 まだ多くのことをあなたたちに言うことがあるが、あなたたちは今それを担うことができない。 しかしあの者が来る時、真理の霊が、あなたがたをすべての真理へと導くだろう。というのも自分自身からは語らず、聞くだけのことを語るだろうし、来ることをあなたがたに告げるだろう。 あの者は私に栄光を与えるだろう、なぜなら私のものから受け取って、それをあなたたちに告げ知らせるからだ。 父が持っているすべてのものは私のものです。このゆえに私は、彼は私のものから受け取り、あなたたちに告げるでしょう、と言ったのです。 少しの間、あなたたちは私を見ない。そしてまた少しの間で、あなたたちは私を見る。なぜなら私は父のもとへ行くからだ。 彼の弟子たちの中から互いに言った、これは何ですか、彼が私たちに言

うこと、少しの間、そしてあなたたちは私を見ない、そして再び少しの間、そしてあなたたちは私を見るだろう、そして私は父のところへ行くということは。 それで彼らは言っていた、彼が言っている少しの間とは何のことか。 私たちは彼が何を話しているのか分からない。 イエスは彼らが彼に尋ねたがっていることを知ったので、彼らに言った、あなたたちは互いにこのことについて尋ね合っているのか、私が少しの間、あなたたちは私を見ない、そして再び少しの間、あなたたちは私を見るだろうと言ったことについて。 まことに、まことに、私はあなたがたに言う。あなたがたは泣き、そして嘆くだろう。しかし世は喜ぶだろう。あなたがたは悲しむだろう。しかしあなたがたの悲しみは喜びへとなるだろう。女は産む時、悲しみを持つ。なぜなら彼女の時が来たからである。しかし子供を産んだ時、もはや苦しみを覚えていない。喜びのゆえに、なぜなら人が世へと生まれたからである。 そしてあなたたちは、だから今は確かに悲しみを持っている。しかし再び私はあなたたちに会うだろう、そしてあなたたちの心は喜ぶだろう、そしてあなたたちの喜びを誰もあなたたちから取り去らない。 そしてその日には、あなたたちは私に何も尋ねないでしょう。まことに、まことに、私はあなたたちに言います、あなたたちが私の名において父に求めるものは何でも、父はあなたたちに与えるでしょう。 今まであなたがたは私の名において何も求めなかった。求めなさい、そうすればあなたがたは受けるだろう、あなたがたの喜びが満たされるために。 これらのことを私はたとえであなたたちに話してきた。しかし時が来る、その時もはやたとえであなたたちに話さないで、むしろ率直に父についてあなたたちに告げ知らせる。 その日に、あなたがたは私の名において求めるでしょう。そして私はあなたがたに言いません、私があなたがたについて父に願うとは。なぜなら父ご自身があなたがた

を愛しているからです、あなたがたが私を愛してきたので、そしてあなたがたが私は神から出て来たと信じてきたので。 私は父から出て来て、世界に来た。再び世界を離れて、父のところへ行く。 彼の弟子たちは彼に言う、ご覧ください、今あなたは率直に話しておられます、そしてたとえ話を一つも言っておられません。 今、私たちは知っています、あなたがすべてを知っていることを、そして、誰かがあなたに尋ねる必要がないことを。 このことによって、私たちはあなたが神から出て来たと信じます。 イエスは彼らに答えた。今あなたがたは信じるのか。見よ、時が来る、そして今すでに来た、あなたがたがそれぞれ自分のところへ散らされ、そして私をひとり残すために。しかし私はひとりではない、なぜなら父が私と共にいるからだ。 私はこれらのことをあなたたちに話した、あなたたちが私において平和を持つためである。 この世において、あなたたちは苦難を受けるだろう。しかし勇気を出しなさい、私はこの世に勝ったのだ。

17

これらのことをイエスは語った、そして彼は彼の目を天へ上げて言った、父よ、その時が来ました。あなたの息子を栄光化してください、そうすればあなたの息子もあなたを栄光化するでしょう、ちょうどあなたが彼にすべての肉の権威を与えたように、そうすればあなたが彼に与えたすべての者に彼が永遠の命を与えるでしょう。 そしてこれが永遠の命です、彼らがあなたを唯一の真の神と、あなたが遣わしたイエス・キリストを知ることです。 私はあなたを地上で栄光を与えました。あなたが私にするようにと与えた仕事を

完成しました。そして今、父よ、世界が存在する前に私があなたのもとで持っていたその栄光で、あなたのもとで私に栄光を与えてください。 私はあなたの名を、あなたが世から私に与えた人々に明らかにしました。 彼らはあなたのものであり、あなたは私に彼らを与えた、そして彼らはあなたの言葉を守ってきた。 今彼らは知った、あなたが私に与えた全てのものはあなたから来ているということを。なぜなら、あなたが私に与えた言葉を私は彼らに与えた、そして彼ら自身はそれを受け取った、そして彼らは本当に知った、私があなたから出て来たということを、そして彼らは信じた、あなたが私を遣わしたということを。 私は彼らについて願います。世界について願うのではなく、あなたが私に与えた者たちについて願います。なぜなら彼らはあなたのものだからです。そして私のものすべてはあなたのものであり、あなたのものは私のものです。そして私は彼らにおいて栄光を受けました。 そして私はもはや世界にいない、そしてこれらの者たちは世界にいる、そして私はあなたのところへ来る。 聖なる父よ、あなたが私に与えたあなたの名において彼らを守ってください、私たちが一つであるように彼らも一つとなるために。 私が世界で彼らと共にいた時、私はあなたの名において彼らを守っていた。あなたが私に与えた者たちを私は守った、そして滅びの子以外は彼らの中から誰も滅びなかった、それは聖書が成就されるためであった。 しかし今、私はあなたのところに行く、そして私は世界でこれらのことを話す、彼らが私の喜びを満たされたものとして彼らの中に持つために。 私は彼らにあなたの言葉を与えました、そして世界は彼らを憎みました、なぜなら彼らは世界から出た者ではないからです、ちょうど私が世界から出た者ではないように。 私は彼らを世から取り去るようにとは求めず、彼らを悪から守るようにと求める。 彼らはこの世のものではない、私がこの世のも

のでないのと同じように。彼らをあなたの真理によって聖別してください。あなたの言葉は真理です。あなたが私を世界に送ったように、私も彼らを世界に送った。そして彼らのために私は私自身を聖別する、彼ら自身も真理において聖別されたものとなるために。私はこれらのことについてだけ尋ねるのではなく、彼らの言葉を通して私を信じる人々についても尋ねます。すべての人が一つになるために。ちょうどあなた、父よ、私の中におられ、そして私があなたの中にいるように。彼ら自身も私たちの中に一つになるために。世界があなたが私を遣わしたことを信じるために。そして私は、あなたが私に与えた栄光を彼らに与えました。それは彼らが一つになるためです、ちょうど私たちが一つであるように。私は彼らの中におり、あなたは私の中におられます。それは彼らが完全に一つとなるためであり、そして世界が知るためです、あなたが私を遣わしたこと、そしてあなたが私を愛したように彼らを愛したことを。父よ、あなたが私に与えた人々が、私がいるところに彼らも私と共にいることを私は望みます、彼らが私の栄光を見るために、その栄光はあなたが私に与えたものです、なぜならあなたは世界の基が置かれる前に私を愛したからです。正しい父よ、世はあなたを知らなかった、しかし私はあなたを知った、そしてこれらの者たちはあなたが私を遣わしたことを知った。そして私は彼らにあなたの名を知らせた、そして知らせるだろう、あなたが私を愛した愛が彼らの中にあるように、そして私が彼らの中にあるように。

18

これらのことを言って、イエスは弟子たちと共にケデロンの谷川の

向こうへ出て行った。そこには園があり、その中に彼と弟子たちは入った。 彼を引き渡していたユダもその場所を知っていた、なぜならイエスも彼の弟子たちと共にしばしばそこに集まっていたからである。 それでユダは軍隊を率いて、そして祭司長たちとパリサイ人たちからの従者たちを率いて、松明とたいまつと武器を持ってそこに来た。 イエスはそれゆえ自分の上に来ようとしているすべてのことを知って、出て行って彼らに言った、あなたたちは誰を探しているのか。 彼らは彼にナザレのイエスですと答えた。 イエスは彼らに言う、私だ。 そして彼を引き渡す者ユダも彼らと共に立っていた。だから彼が彼らに私はあると言ったとき、彼らは後ろへ退いて地面に倒れた。 それで再び彼は彼らに尋ねた。誰を探しているのか。 彼らは言った、ナザレのイエスを。 イエスは答えた。私がそれだと、あなたたちに言ったではないか。 だからもし私を探しているなら、これらの者たちを行かせなさい。それは彼が言った言葉が満たされるために、あなたが私に与えた者たちを、私は彼らの中から一人も失わなかったと。 シモン・ペトロは剣を持っていたので、それを抜き、大祭司の奴隷を打ち、彼の右の耳を切り落とした。その奴隷の名前はマルコスであった。 それでイエスはペトロに言った。剣を鞘に収めよ。父が私に与えた杯を、私は飲まないだろうか。 それで、軍隊とその千人隊長とユダヤ人たちの下役たちはイエスを捕らえて、彼を縛った。そして彼をまずアンナスのところへ連れて行った。というのは彼はその年の大祭司であったカイアファの義理の父であったからである。 カイアファは、一人の人が民のために滅びることが有益であると、ユダヤ人たちに助言した者であった。 シモン・ペトロともう一人の弟子がイエスに従っていた。 その弟子は大祭司の知り合いであった、そしてイエスと一緒に大祭司の中庭に入った。しかしペトロは外の戸口のところに立っていた。 それで大

祭司に知られていたもう一人の弟子が外に出て行って、門番に話して、ペテロを中に連れて入った。 それで、門番の女中がペトロに言う。あなたもこの人の弟子たちの中の一人ではないのですか。 あの人は言う。私ではない。 奴隷たちと従者たちは立っていた。炭火を作っていた、なぜなら寒かったからで、そして彼らは暖まっていた。そしてペトロは彼らと共に立っていて、暖まっていた。 それで大祭司はイエスに、彼の弟子たちについてと彼の教えについて尋ねた。 イエスは彼に答えた。私は率直に世に語った。私はいつも集会と神殿で教えた、そこにはいつもユダヤ人たちが集まる、そして隠れては何も語らなかった。 あなたは何を私に尋ねるのか。 聞いた者たちに尋ねよ、私が彼らに何を話したかを。見よ、この者たちは私が言ったことを知っている。 彼がこれらのことを言ったとき、そばに立っていた下役の一人がイエスに平手打ちを与えて言った。お前はそのように大祭司に答えるのか。 イエスは彼に答えた。もし私が悪く話したなら、その悪について証言しなさい。しかしもしよく話したなら、なぜあなたは私を打つのか。 アンナスは彼を縛られた状態で大祭司カイアファのところへ送った。 シモン・ペトロは立っていて、暖まっていた。 それで彼らは彼に言った、あなたも彼の弟子の一人ではないのか? その人は否定して言った、私は違います 大祭司の奴隷たちの中の一人が言う、ペトロが耳を切り落とした者の親族であるが。私はあなたを園で彼と一緒に見なかったか。 ペトロは再び否定した。そしてすぐに雄鶏が鳴いた。 それで彼らはイエスをカイアファから総督官邸へ連れて行く。朝であった。そして彼ら自身は総督官邸へ入らなかった、汚されないためではなく、過越を食べるために。 それでピラトは彼らのところへ出て行って言った。あなたたちはこの人に対してどんな告発を持って来るのか。 彼らは答えて彼に言った。もしこの者が悪を行う者でなかったなら、私たち

はあなたに彼を引き渡さなかっただろう。 それでピラトは彼らに言った。あなたたちが彼を連れて行って、あなたたちの律法に従って彼を裁きなさい。 それでユダヤ人たちは彼に言った。私たちには誰も殺すことは許されていません。これはイエスの言葉が成就されるためであった。その言葉は、彼がどのような死によって死のうとしていたかを示しながら彼が言ったものであった。 それで、ピラトは再び官邸の中に入り、イエスを呼び、そして彼に言った、あなたはユダヤ人の王なのか。 イエスは彼に答えた。あなたは自分からこれを言うのか、それとも他の者たちがあなたに私について言ったのか。 ピラトは答えた。まさか私がユダヤ人だというのか。 あなたの国民と祭司長たちがあなたを私に引き渡した。あなたは何をしたのか。 イエスは答えた。私の王国はこの世からのものではない。もしこの世からのものであったなら、私の従者たちは私がユダヤ人たちに引き渡されないように戦っていただろう。しかし今、私の王国はここからのものではない。 そこでピラトは彼に言った、それでは、あなたは王なのですか? イエスは答えた。あなたが、私が王であると言っているのだ。 私はこのために生まれ、そしてこのために世界に来た、真理に証しをするために。 真理に属する者は皆、私の声を聞く。 ピラトは彼に言った。真理とは何か。 そしてこれを言って、再び彼はユダヤ人たちのところへ出て行った。そして彼らに言う、私は彼の中に何の罪も見つけない。しかしあなたたちには慣習がある、過越祭においてあなたたちに一人を私が釈放するという。それゆえ、あなたたちは望むか、ユダヤ人の王をあなたたちに私が釈放することを。 それで皆は再び叫んで言った、この人ではなく、バラバだ。 さて、バラバは強盗だった。

19

それでその時、ピラトはイエスを捕らえて鞭打った。 そして兵士たちは茨で冠を編んで、彼の頭にそれを置き、紫の衣を彼に着せて、言っていた。喜べ、ユダヤ人の王。そして彼らは彼に打撃を与えていた。 それでピラトは再び外へ出て行って、彼らに言った。見よ、私は彼をあなたたちのところへ外へ連れて来る、あなたたちが私が彼に何の罪も見出さないということを知るように。 それゆえイエスは茨の冠と紫の衣を身に着けて外に出て行った、そして彼らに言った、見よ、この人を。 それゆえ、祭司長たちと下役たちが彼を見た時、叫んで言った。十字架につけろ、十字架につけろ、彼を。 ピラトは彼らに言う。あなたたちが彼を取って十字架につけなさい。私は彼に罪を見つけないのだから。 ユダヤ人たちは彼に答えた。私たちは律法を持っています、そして私たちの律法によれば彼は死ぬべきです、なぜなら彼は自分自身を神の子としたからです。 それゆえ、ピラトがこの言葉を聞いた時、いっそう恐れ、そして官邸に再び入り、そしてイエスに言う、あなたはどこから来たのか? しかしイエスは彼に答えを与えなかった。 それでピラトは彼に言う。私には話さないのか。 あなたは知らないのか、私はあなたを十字架につける権威を持ち、あなたを釈放する権威を持つということを。 イエスは答えた。もしそれが上から与えられていなかったならば、あなたは私に対して何の権威も持っていなかった。この故に、私をあなたに引き渡している者はより大きな罪を持っている。 このことからピラトは彼を釈放することを求めていた。しかしユダヤ人たちは叫んで言った。もしこの人を釈放するなら、あなたはカエサルの友ではない。 自分自身を王にする者は全てカエサルに反対して語る。 それ

でピラトはこの言葉を聞いて、イエスを外に連れ出し、石敷きと呼ばれる場所、ヘブライ語でガバタという所で、裁きの座に座った。それは過越の準備の日であった、時はおよそ第六時であった。そして彼はユダヤ人たちに言う、見よ、あなたたちの王を。 しかし彼らは叫んだ、除け、除け、彼を十字架につけろ。 ピラトは彼らに言う。あなたたちの王を私が十字架につけようか。 祭司長たちは答えた。私たちにはカエサルのほかに王はいません。 それゆえその時、彼は彼を彼らに引き渡した、十字架につけられるために。 彼らはイエスを引き取って連れて行った。そして彼は自分の十字架を運びながら、頭蓋骨の場所と呼ばれるところへ出て行った。それはヘブライ語でゴルゴタと言われる。そこで彼らは彼を十字架につけた。そして彼と共に他の二人を両側に、そして真ん中にイエスを十字架につけた。 ピラトは銘も書いて、十字架の上に置いた。そしてナザレのイエス、ユダヤ人の王と書かれていた。 それゆえ、この碑文を多くのユダヤ人たちが読んだ。なぜなら、イエスが十字架につけられた場所は都の近くだったからである。そして、それはヘブライ語で、ギリシャ語で、ラテン語で書かれていた。 それでユダヤ人の祭司長たちはピラトに言っていた、ユダヤ人の王と書くな、そうではなく、あの者が私はユダヤ人の王であると言ったと書け。 ピラトは答えた。私が書いたことは、書いたのだ。 それで兵士たちはイエスを十字架につけた時、彼の衣服を取って四つの部分を作り、各兵士に一つの部分を与え、そして下着も取った。しかしその下着は縫い目がなく、上から全体が織られていた。 彼らは互いに言った。これを裂かないでおこう、しかしこれについて誰のものになるかくじを引こう。それは聖書が成就されるためであった、その言っている聖書が。彼らは私の衣を自分たちのために分け、そして私の着物の上にくじを投げた。 それで兵士たちはこれらのことをした。 そして、

イエスの十字架のそばには、彼の母と彼の母の姉妹、クロパのマリアとマグダラのマリアが立っていた。 イエスはそれゆえ母と彼が愛していた弟子が傍らに立っているのを見て、彼の母に言う、女よ、見なさい、あなたの息子を。 それから彼は弟子に言った。見よ、あなたの母だ。 そしてあの時から、弟子は彼女を自分のところへ引き取った。 この後、イエスはすべてのことがすでに成し遂げられたことを知って、聖書が完成されるために、私は渇くと言った。 それで酢で満たされた容器が置かれていた。そして彼らは海綿に酢を満たし、ヒソプに付けて、彼の口に差し出した。 それゆえイエスが酢を受け取った時、言った、成し遂げられた、そして頭を垂れて霊を引き渡した。 それでユダヤ人たちは、準備の日だったので、体が安息日に十字架の上に残らないように、なぜならその安息日の日は大いなる日だったから、彼らの足が折られて、取り去られるようにピラトに頼んだ。 それで兵士たちが来た。そして最初の者の脚を折り、彼と一緒に十字架につけられた別の者の脚も折った。しかしイエスのところに来て、彼がすでに死んでいるのを見たので、彼の脚を折らなかった。しかし兵士たちの一人が槍で彼のわき腹を刺した。そしてすぐに血と水が出た。 そして見た者が証言した、そして彼の証言は真実である、そしてあの者は真実を言うことを知っている、あなたたちが信じるように。 これらのことが起こったのは、聖書が成就するためであった。彼の骨は砕かれることはない。 そして再び別の聖書が言う。彼らは自分たちが刺し貫いた者を見るだろう。 これらのことの後、アリマタヤ出身のヨセフがピラトに尋ねた。彼はイエスの弟子であったが、ユダヤ人たちへの恐れのために隠れていた。イエスの体を引き取らせてほしいと。そしてピラトは許可した。 それで彼は来て、イエスの体を取った。 ニコデモも来た、最初に夜にイエスのところに来た者が、没薬と沈香の混合物を約百リト

ラ持って。 それで彼らはイエスの体を取り、香料と共に亜麻布でそれを包んだ、ちょうどユダヤ人たちが埋葬の準備をするのが習慣であるように。 彼が十字架につけられた場所には園があり、その園には新しい墓があって、その中にはまだ誰も葬られていなかった。それでユダヤ人の準備日であったため、その墓が近かったので、彼らはそこにイエスを納めた。

20

安息日の一日目に、マグダラのマリアは朝早く、まだ暗いうちに墓へ来て、石が墓から取り除かれているのを見る。 それで走って、シモン・ペトロのところへと、イエスが愛していたもう一人の弟子のところへ来て、彼らに言う。彼らは主を墓から取り上げました。そして私たちは彼らが彼をどこに置いたか知りません。 それでペトロと他の弟子が出て行き、墓へ向かっていた。 二人は一緒に走っていた。そしてもう一人の弟子はペテロよりも速く先に走って、墓に最初に来た。そして身をかがめて中を見ると、亜麻布が置いてあるのを見るが、しかし中には入らなかった。 それでシモン・ペトロは彼に従って来て、墓に入り、亜麻布が置かれているのを見た。そして顔布は、それは彼の頭の上にあったものだが、亜麻布と一緒に置かれておらず、しかし離れて一つの場所に巻かれていた。 その時それで、最初に墓に来たもう一人の弟子も入った。そして見た。そして信じた。彼らはまだ聖書を知らなかったからである、彼が死者の中から復活しなければならないということを。 それで弟子たちは再び自分たちのところへ帰って行った。 マリアは墓の外に立って泣いていた。 彼女が泣いていたので、墓の中を覗き込んで、白い服を着て

座っている二人の天使を見た。一人は頭のところに、一人は足のところに、イエスの体が横たわっていた場所に。 そして彼らは彼女に言った、女よ、なぜ泣いているのですか。 彼らに言う、彼らが私の主を取り上げました、そして私は彼らが彼をどこに置いたか知りません。 そしてこれらのことを言って、彼女は後ろに振り向き、イエスが立っているのを見たが、それがイエスであることを知らなかった。 イエスは彼女に言う。女よ、なぜ泣いているのか？ 誰を探しているのですか。 彼女は彼が庭師であると思って、彼に言う。ご主人様、もしあなたが彼を運び去ったなら、どこにあなたが彼を置いたか私に言ってください、そして私が彼を引き取ります。 イエスは彼女に言う、マリア。 振り向いた彼女は彼に言う、ラボニと。それは先生と言われる。 イエスは彼女に言う。私に触るな。まだ私の父のところへ昇っていないから。しかし私の兄弟たちのところへ行って、彼らに言いなさい。私は私の父でありあなたがたの父である方のところへ、そして私の神でありあなたがたの神である方のところへ昇る。 マグダラのマリアは弟子たちに主を見たと告げに来る、そして彼がこれらのことを彼女に言った。 その安息日の第一日のその日の夕方であって、ユダヤ人たちへの恐れのために弟子たちが集まっていた所の戸が閉められていたが、イエスが来て真ん中に立ち、そして彼らに言う、平安があなたがたに。 そしてこれを言って、彼は彼らに自分の手とわき腹を見せた。 弟子たちは主を見たので喜んだ。 それで、イエスは再び彼らに言った。平和があなたがたにあるように。 父が私を遣わしたように、私もあなたたちを遣わす。 そしてこれを言って、彼は息を吹きかけて、そして彼らに言う、聖霊を受けなさい。もしあなたがたがある人々の罪を赦すなら、それらは彼らに赦される。もしあなたがたがある人々の罪を保持するなら、それらは保持されている。 しかしトマスは、十二人の

中の一人で、ディディモと呼ばれていたが、イエスが来た時、彼らと一緒にいなかった。 そこで他の弟子たちは彼に言った、私たちは主を見ました。 そして彼は彼らに言った、もし私が彼の手に釘の跡を見ず、私の指を釘の跡に入れず、私の手を彼の脇腹に入れないなら、私は決して信じない。 そして八日後、再び彼の弟子たちは中にいた、そしてトマスは彼らと共にいた。 イエスが戸が閉められていたのに来て、真ん中に立ち、そして言った、平安があなたがたにあるように。 それからトマスに言う。あなたの指をここに持ってきて、私の手を見なさい。そしてあなたの手を持ってきて私のわき腹に入れなさい。そして不信仰な者になるな、信じる者になれ。 そしてトマスは答えて彼に言った、私の主、そして私の神よ。 イエスは彼に言う。あなたは私を見たので信じた。見ないで信じた人々は幸いである。 確かにイエスは他にも多くのしるしを彼の弟子たちの前で行ったが、それらはこの書物の中に書かれていない。しかしこれらのことは、あなたがたがイエスは神の子キリストであると信じるために、そして信じることによってあなたがたが彼の名において命を持つために書かれた。

21

これらの事の後、イエスは再び弟子たちにティベリアスの湖で御自身を現された。そしてこのように現されたのである。 シモン・ペテロ、双子と呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの息子たち、そして彼の弟子たちの中から他の二人が一緒にいた。 シモン・ペトロが彼らに言った。私は魚を取りに行く。 彼らは彼に言う。私たちもあなたと一緒に行きます。 彼らは出て行っ

て、すぐにその船に乗り込んだ、そしてあの夜、彼らは何も捕まえなかった。 朝がすでに来たとき、イエスは岸に立った。しかし弟子たちはそれがイエスであるとは知らなかった。 それでイエスは彼らに言う、子供たち、何か食べ物を持っているか。 彼らは彼に答えた、いいえ。 すると彼は彼らに言った、網を船の右側に投げなさい、そうすれば獲れるでしょう。 それで彼らは投げた、そして魚の多さのためにもはやそれを引き上げることができなかった。 それゆえ、イエスが愛していたあの弟子が、ペトロに言う。主です。 シモン・ペトロは主であると聞いて、上着を身に着けた。というのは裸だったからである。そして彼は自分自身を海の中に投げ入れた。一方、他の弟子たちは小舟で来た。というのは陸から遠くなかったからである、むしろ約二百キュビトほどであった、魚の網を引きずりながら。 それで彼らが陸に上陸したとき、彼らは炭火が置かれているのと、魚がその上に置かれているのと、パンを見る。 イエスは彼らに言う、今あなたたちが捕まえた魚から持って来なさい。 シモン・ペトロは上がって、網を地の上に引いた、大きな魚百五十三匹でいっぱいの。そして、それほど多くあったのに、網は裂けなかった。 イエスは彼らに言う、来て、朝食を食べなさい。 弟子たちの誰も、彼にあなたは誰ですかと問いただす勇気がなかった。主であることを知っていたからである。 それでイエスは来て、パンを取って彼らに与え、魚も同様に与えた。 これはもう三度目にイエスが死者から起こされた後、彼の弟子たちに現れたことだった。 それで彼らが朝食を食べた時、イエスはシモン・ペトロに言う、ヨナの子シモンよ、あなたはこれらの者たちよりも私を愛するか。 彼は彼に言う。はい、主よ、あなたは私があなたを愛していることをご存知です。 彼に言う、私の子羊たちを養いなさい。 彼に再び二度目に言う。シモン、ヨナの子よ、あなたは私を愛していますか。 彼は彼に

言う。はい、主よ、あなたは私があなたを愛していることをご存知です。 彼に言う、私の羊の世話をしなさい。 彼に三度目に言う、シモン、ヨナの子よ、あなたは私を愛しているか。 ペトロは悲しんだ、彼が三度目にあなたは私を愛するかと彼に言ったので、そして彼に言った、主よ、あなたはすべてを知っています、あなたは私があなたを愛することを知っています イエスは彼に言う。私の羊を飼いなさい。 まことに、まことに、私はあなたに言う、あなたが若かった時、あなたは自分で帯を締めて、あなたが望んだところを歩き回っていた。しかしあなたが年を取る時、あなたはあなたの手を伸ばすだろう、そして他の人があなたに帯を締めるだろう、そしてあなたが望まないところへ運ぶだろう。 彼はこれを、どのような死によって神に栄光を与えるかを示しながら言った。 そしてこれを言った後、彼に言う、私に従え。 振り返ったペトロは、イエスが愛していた弟子が従っているのを見る。その弟子は夕食の時に彼の胸に寄りかかって言った者である、主よ、あなたを引き渡すのは誰ですか。 この人を見てペトロはイエスに言う。主よ、この人はどうなのですか。 イエスは彼に言う。もし私が、彼が私の来るまで残ることを望むなら、それがあなたに何の関係があるのか。 あなたは私についてきなさい。 それで、この言葉が兄弟たちの中に広まった、あの弟子は死なないと。しかしイエスは彼に、彼は死なないとは言わなかったのだ。そうではなく、もし私が来るまで彼が留まることを私が望むなら、それはあなたに何の関係があるのか。 この者はこれらのことについて証言し、これらのことを書いた弟子である。そして私たちは彼の証言が真実であることを知っている。 イエスがなしたことは他にも多くあり、もしそれらが一つ一つ書かれるなら、世界そのものさえも書かれる書物を収めることができないと私は思う。 アーメン。

ヨハネの手紙

1

初めからあったもの、私たちが聞いたもの、私たちの目で見たもの、私たちが見て私たちの手が触ったもの、命の言葉について。そして命は現された、そして私たちは見て証言し、あなたたちに永遠の命を告げる、それは父のもとにあって私たちに現された。私たちが見て聞いたものを、私たちはあなたたちに告げる、あなたたちも私たちと交わりを持つために。そして私たちの交わりは父と、そして彼の子イエス・キリストとともにある。 そして私たちはこれらのことをあなたたちに書きます、私たちの喜びが満たされるために。そして、これは私たちが彼から聞いて、あなたがたに告げ知らせるメッセージです。すなわち、神は光であり、彼の中には闇が全くありません。 もし私たちが彼と交わりを持っていると言いながら、闇の中を歩くなら、私たちは嘘をついており、真理を行っていない。しかしもし光の中を歩くなら、彼自身が光の中にいるように、私たちは互いに交わりを持ち、そして彼の息子イエス・キリストの血が私たちをすべての罪から清める。 もし私たちが罪を持っていないと言うなら、私たち自身を欺いているのであり、真理は私たちの中に

ない。 もし私たちが私たちの罪を告白するなら、彼は忠実であり正しく、私たちの罪を赦し、すべての不義から私たちを清めてくださる。 もし私たちが罪を犯していないと言うなら、私たちは彼を嘘つきにする、そして彼の言葉は私たちの中にない。

2

私の小さな子供たちよ、あなたたちが罪を犯さないために、私はこれらのことをあなたたちに書く。そしてもし誰かが罪を犯すなら、私たちは父に対して弁護者を持っている、義なるイエス・キリストを。そして彼自身が私たちの罪についての贖いである、私たちのものについてだけでなく、全世界についてもである。 そしてこのことによって私たちは知る、私たちが彼を知ったということを、もし私たちが彼の戒めを守るならば。 私は彼を知っていると言いながら、彼の戒めを守らない者は、嘘つきであり、この者の中に真理はない。しかし彼の言葉を守る者、真にこの者の中に神の愛は完成されている。 このことによって私たちは、私たちが彼の中にいることを知る。 彼の中に留まると言う者は、かの者が歩いたように、彼自身もそのように歩むべきである。 兄弟たち、私はあなたがたに新しい戒めを書いているのではなく、むしろあなたがたが初めから持っていた古い戒めである。その古い戒めはあなたがたが初めから聞いた言葉である。 再び新しい戒めを私はあなたがたに書く。それは彼においてもあなたがたにおいても真実である。なぜなら闇は過ぎ去りつつあり、真実の光はすでに輝いているからである。 光の中にいると言いながら、自分の兄弟を憎んでいる者は、今なお闇の中にいる。 自分の兄弟を愛している者は光の中に留まり、つまずきの石は

彼の中にない。しかし自分の兄弟を憎んでいる者は闇の中にいて、闇の中を歩き、どこへ行くのか知らない、なぜなら闇が彼の目を盲目にしたからである。 私は書く、あなたたちに、小さい子供たちよ、なぜならあなたたちの罪が彼の名を通して赦されているから。父たちよ、私はあなたたちに書きます、あなたたちは初めからおられる方を知っているからです。 若者たちよ、私はあなたたちに書きます、あなたたちはその悪に打ち勝ったからです。 子供たちよ、私はあなたたちに書きました、なぜならあなたたちは父を知ったからです。 父たちよ、私はあなたたちに書きました、あなたたちは初めからおられる方を知っているからです。 若者たちよ、私はあなたたちに書いた。なぜならあなたたちは強く、神の言葉があなたたちの中に留まり、そしてあなたたちは悪しき者に打ち勝ったからである。 世界を愛してはいけない、世界の中にあるものも愛してはいけない。 もし誰かが世を愛するなら、父の愛は彼の中にない。なぜなら世の中にあるすべてのもの、肉の欲望と目の欲望と生活の傲慢は、父から出たものではなく、世から出たものだからである。 そして世界は過ぎ去り、その欲望も過ぎ去る。しかし神の意志を行う者は永遠に残る。 子供たちよ、最後の時です。そしてあなたたちが聞いたように反キリストが来ると、そして今多くの反キリストたちが現れました。それゆえ私たちは最後の時であると知ります。 彼らは私たちのところから出て行ったが、彼らは私たちの仲間ではなかった。もし彼らが私たちの仲間であったなら、彼らは私たちと共に留まっていただろう。しかし、彼らが全員私たちの仲間ではないということが明らかにされるためである。 そしてあなたがたは聖なる方からの油注ぎを持っており、あなたがたはすべてのことを知っている。 私があなたたちに書いたのは、あなたたちが真理を知らないからではなく、あなたたちがそれを知っているからであり、そしてす

べての偽りは真理から出るものではないからである。 イエスがキリストであることを否定する人以外に、誰が嘘つきですか？ この者が反キリストである、父と子を否定する者である。 息子を否定する者は皆、父も持っていない。 だから、あなたたちが初めから聞いたことを、あなたたちの中に留まらせなさい。 もしあなたがたが初めから聞いたことがあなたがたの中に留まるなら、あなたがたもまた御子の中にそして御父の中に留まるでしょう。 そしてこれは彼自身が私たちに約束した約束です、その永遠の命を。 私はこれらのことを、あなたがたを欺いている者たちについて、あなたがたに書いた。 そしてあなたたちは、彼から受けた油注ぎがあなたたちの中に留まっており、そして誰かがあなたたちを教える必要はない、しかし同じ油注ぎがすべてについてあなたたちを教えるように、そしてそれは真実であり偽りではない、そしてそれがあなたたちを教えたようにあなたたちは彼の中に留まりなさい。 だから今、幼い子供たちよ、彼の内に留まりなさい。それは、彼が現れる時に私たちが確信を持ち、彼の来臨の時に彼の前で恥じ入ることがないためです。 もしあなたがたが彼は正しいと知るなら、義を行うすべての者が彼から生まれているということを知りなさい。

3

見よ、父が私たちに与えてくださった愛がどれほどのものか。私たちが神の子供たちと呼ばれるためである。 このゆえに世はあなたがたを知らない、なぜならそれが彼を知らなかったからである。 愛する者たちよ、今私たちは神の子供です、そしてまだ私たちが何になるかは明らかにされていません。しかし私たちは知っています、も

し明らかにされるなら、私たちは彼に似た者になるでしょう、なぜなら私たちは彼をあるがままに見るでしょうから。 そして、彼にこの希望を持っている者はみな自分自身を清める、ちょうどあの方が清いように。 罪を犯すすべての者は不法も犯す、そして罪は不法である。 そしてあなたがたは知っている、あの方が私たちの罪を取り去るために現されたことを、そして罪は彼の中にないことを。 彼の中に留まっている者は皆、罪を犯さない。罪を犯している者は皆、彼を見たこともなく、彼を知ったこともない。 小さな子供たち、誰もあなたがたを欺いてはならない。義を行う者は義しい、ちょうどあの方が義しいように。罪を行う者は悪魔から出ている、なぜなら悪魔は初めから罪を犯しているからである。 このために神の息子が現された、悪魔の働きを滅ぼすために。 神から生まれた者は皆、罪を犯さない。なぜなら、彼の種が彼の中に留まるからである。そして罪を犯すことができない。なぜなら、神から生まれたからである。 このことにおいて、神の子供たちと悪魔の子供たちは明らかである。 義を行わない者は皆神から出た者ではなく、自分の兄弟を愛さない者もそうである。 これはあなたがたが初めから聞いたメッセージです、私たちが互いに愛し合うために。カインが悪い者から出て自分の兄弟を殺したようにではありません。そして何のために彼を殺したのですか。 彼の行いは悪であり、彼の兄弟の行いは正しいものであったからである。 私の兄弟たち、もし世があなたたちを憎んでも、驚かないでください。 私たちは知っている、私たちが死から命へ移ったことを、なぜなら私たちは兄弟たちを愛しているからだ。兄弟を愛していない者は死の中に留まっている。 自分の兄弟を憎んでいる者は皆、人殺しです、そしてあなたがたは知っています、人殺しは皆、自分自身の中に留まっている永遠の命を持っていないことを。 このことによって私たちは愛を知った。なぜなら、あ

の方は私たちのために彼の魂を置いたからである。そして私たちも兄弟たちのために魂を置くべきである。 この世の生活を持っていて、自分の兄弟が必要を持っているのを見ながら、自分の心を彼から閉ざす人は、どのようにして神の愛がその人の中に留まるのか。私の小さな子供たち、私たちは言葉で愛してはいけない、舌でも愛してはいけない、しかし行いと真理で愛そう。 そしてこのことによって私たちは知る、私たちは真理から出ていることを、そして彼の前で私たちは私たちの心を納得させるだろう、なぜならもし私たちの心が私たちを責めるなら、神は私たちの心より偉大であり、そしてすべてのことを知っているからである。 愛する者たちよ、もし私たちの心が私たちを責めないなら、私たちは神に対して確信を持っています、そして私たちが求めるものは何でも彼から受け取ります、なぜなら私たちは彼の戒めを守り、彼の御前で喜ばれることを行っているからです。 そしてこれが彼の戒めです、私たちが彼の息子イエス・キリストの名を信じ、そして彼が戒めを与えたように互いに愛することです。 そして彼の戒めを守る者は彼の中に留まり、彼自身もその者の中に留まる。 そしてこのことによって私たちは知る、彼が私たちの中に留まることを、彼が私たちに与えてくださった御霊によって。

4

愛する者たちよ、すべての霊を信じてはいけません、しかしその霊たちが神からのものであるかどうかを試しなさい、なぜなら多くの偽預言者たちが世に出て来たからです。 このことによってあなたがたは神の霊を知る。イエス・キリストが肉において来たことを告白

する霊はすべて神から出ている。そしてイエス・キリストが肉において来たことを告白しない霊はすべて神から出ていない。そしてこれは反キリストのものであり、それが来るとあなたがたが聞いていたものであり、そして今すでに世にいる。 あなたがたは神から出た者です、小さい子供たちよ、そしてあなたがたは彼らに打ち勝ちました、なぜならあなたがたの内におられる方は世の内にいる者よりも偉大だからです。 彼らは世界から出ている。このために彼らは世界から話す、そして世界は彼らの言うことを聞く。 私たちは神から出ている。神を知っている者は私たちの言うことを聞く。 神から出ていない者は私たちの言うことを聞かない。 このことから私たちは真理の霊と迷いの霊を知る。 愛されている者たちよ、私たちは互いに愛し合おう、なぜなら愛は神から出ているからである、そしてすべて愛する者は神から生まれており、神を知っている。 愛さない者は神を知らない、なぜなら神は愛だからである。 このことにおいて、神の愛が私たちの中に現された。なぜなら、神はその独り子を世に遣わされたからである、私たちがその方を通して生きるために。 愛はこの中にある、私たちが神を愛したからではなく、むしろ彼が私たちを愛し、私たちの罪のための贖いとして彼の息子を送ったからである。 愛する者たちよ、もし神がこのように私たちを愛したなら、私たちも互いに愛するべきである。 神を誰も今まで見たことがない。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちの中に留まり、そして彼の愛は私たちの中で完全にされている。 このことによって私たちは知る、私たちが彼の中に留まり、そして彼自身が私たちの中にいることを、なぜなら彼が彼の霊から私たちに与えたから。 そして私たちは見たし、証言します。父が息子を世の救い主として送ったということを。 イエスが神の子であると告白する者は誰でも、神が彼の中に留まり、そして彼は神の中に留まる。 そして私

たちは、神が私たちの中に持っている愛を知ってきたし、信じてきた。 神は愛である。そして愛の中に留まる者は神の中に留まり、神は彼の中に留まる。 このことにおいて、愛が私たちのうちに完成されている。それは私たちが裁きの日に確信を持つためである。なぜなら、かの方がそうであるように、私たちもこの世においてそうであるからである。 恐れは愛の中には存在しない。しかし完全な愛は恐れを追い出す。なぜなら恐れは罰を伴うからである。恐れている者は愛において完全にされていない。 私たちが彼を愛するのは、彼が最初に私たちを愛したからだ。 もし誰かが私は神を愛すると言って、そして彼の兄弟を憎むなら、嘘つきである。なぜなら、見たことがある兄弟を愛さない者が、見たことがない神をどうやって愛することができるのか。 そして私たちは彼からこの命令を受けている、神を愛する者はその兄弟も愛せよと。

5

イエスがキリストであると信じるすべての者は神から生まれており、そして生んだ者を愛するすべての者は彼から生まれた者をも愛する。 このことによって私たちは知る、私たちが神の子供たちを愛することを、私たちが神を愛し彼の戒めを守る時に。 これが神の愛です、私たちが彼の戒めを守ることが。そして彼の戒めは重くありません、なぜなら神から生まれたすべてのものが世を征服するからです。そしてこれが世を征服した勝利です、私たちの信仰です。 世界に勝つ者とは誰か、イエスが神の子であると信じる者以外に誰がいるか? この方は水と血を通って来られた方、イエス・キリストです。水だけによってではなく、水と血によってです。そして御霊が証

ししているのです、なぜなら御霊は真理だからです。 三人が天において証しをしているからである、父と言葉と聖霊、そしてこれらの三人は一つである。そして三人が地において証しをしている、霊と水と血、そしてその三人は一つの中にある。 もし私たちが人々の証言を受け取るなら、神の証言はより大きい。なぜならこれは神の証言であり、神が彼の息子について証言したものだからである。 神の息子を信じる者は、自分の中にその証を持っている。神を信じない者は、神を嘘つきにしてしまった。なぜなら、神がその息子について証した証を信じなかったからである。 そしてこれが証しです、神が私たちに永遠の命を与えたということ、そしてこの命は彼の息子の中にあります。 息子を持つ者は命を持つ。神の息子を持たない者は命を持たない。 これらのことを私は、神の息子の名を信じているあなたがたに書いた。それは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知るためであり、そして神の息子の名を信じるためである。そしてこれは私たちが彼に対して持っている確信です。もし私たちが彼の意志に従って何かを求めるなら、彼は私たちの声を聞いてくれます。 そしてもし私たちが求めるものは何でも彼が私たちの声を聞いてくれると知っているなら、私たちは彼に求めた願い事を私たちが持っていると知っている。 もし誰かが自分の兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見るなら、願うべきである、そうすれば彼はその人に命を与えるだろう、死に至らない罪を犯している者たちに。 死に至る罪がある。私はあなたがそれについて尋ねるようにとは言わない。 すべての不正は罪です。そして死に至らない罪があります。 私たちは知っている、神から生まれた者は皆罪を犯さないことを、しかし神から生まれた者は自分自身を守り、そして悪しき者は彼に触れない。 私たちは知っている、私たちは神から出た者であることを、そして世界全体は悪の中に横たわっている。 私たちは

知っている、神の子が来たこと、そして私たちが真実な方を知るために私たちに理解力を与えたことを。そして私たちは真実な方の中にいる、彼の子イエス・キリストの中に。 この方は真実の神であり、永遠の命です。 小さな子供たちよ、あなたたち自身を偶像から守りなさい。アーメン。

創世記

1

初めに、神は天と地を創造した。 地は見えず形もなく、闇が深淵の上にあり、神の霊が水の上を動いていた。 そして神は言った、光があれと。そして光ができた。 そして神は光を見た、それが良いと。そして神は光と闇を分けた。 そして神はその光を昼と呼び、その闇を夜と呼んだ。 そして夕べになり、そして朝になった。一日目であった。 そして神は言った、大空が水の真ん中に出来よ、そしてそれが水と水の間を分けるものとなれと。そしてそのようになった。そして神は大空を作った。そして神は大空の下にある水と大空の上にある水との間を分けた。 そして神はその大空を天と呼んだ。そして神はそれが良いと見た。そして夕べになり、朝になり、二日目となった。 そして神は言った、天の下の水は一つの場所に集められよ、そして乾いた地が現れよ。そしてそのようになった。そして天の下の水はそれらの場所に集められ、そして乾いた地が現れた。 そして神は乾いた土地を地と呼んだ。そして水の集まりを海と呼んだ。そして神はそれが良いと見た。 そして神は言った、地よ、草の植物を芽生えさせよ、種類に従って種を蒔く種を、そして似姿に

従って、そして実りある木が果実を作るように、その種がその中にある、種類に従って地の上に。そしてそのようになった。 そして地は、種類に従って種を蒔く草の植物を、そして類似性に従って、そしてその中に種があり種類に従って果実を作る実りある木を、地の上に生み出した。そして神はそれが良いと見た。 そして夕べになり、そして朝になった。三日目である。 そして神は言った、光るものたちが天の大空の中に現れよ、地の上を照らすために、昼と夜を分けるために。そしてそれらはしるしのため、季節のため、日のため、年のために存在せよ。 そしてそれらを天の大空の中に光としてあらせよ、地の上を照らすために。そしてそのようになった。 そして神は二つの大きな光を作った。大きい方の光を昼を治めるために、小さい方の光を夜を治めるために、そして星たちを。 そして神は彼らを天の大空に置いた、地の上に照らすために、そして昼と夜を治めるために、そして光と闇の間を分けるために。そして神はそれが良いと見た。 そして夕べになり、朝になった。四日目である。 そして神は言った、水は生きた魂を持つ這うものを出させよ、そして鳥は天の大空に沿って地の上を飛ぶようにと。そしてそのようになった。 そして神は大きな海の怪物たちを造り、水が種類に従って生み出した這うものの生き物のすべての魂を造り、そして種類に従ってすべての翼のある鳥を造った。そして神はそれが良いと見た。 そして神は彼らを祝福して言った、増えて、増えて、海の中の水を満たしなさい、そして鳥たちは地の上で増えるように。 そして夕べになり、そして朝になった。五日目である。 そして神は言った、地は生きている魂を種類に従って出させよ、四つ足のもの、這うもの、そして地の獣を種類に従って。そしてそのようになった。 そして神は地の野獣をその種類に従って作り、家畜をそれらの種類に従って作り、地の全ての這うものを種類に従って作った。そして

神はそれが良いものであることを見た。 そして神は言った、我々の像に従って、我々の似姿に従って人を作ろう。そして彼らに、海の魚と天の鳥と家畜とすべての地と地の上を這うすべての這うものを支配させよう。 そして神は人間を作った。神の像に従って彼を作った。男性と女性に彼らを作った。 そして神は彼らを祝福し、言った、増えて多くなり、地を満たし、それを征服しなさい。そして海の魚たちと天の鳥たちとすべての家畜とすべての地とすべての地の上を這っている這うものたちを支配しなさい。 そして神は言った、見よ、私はあなたたちに与えた。種を蒔く種を持つすべての草を、それは全ての地の上にある。そしてすべての木を、それは自分の中に種を持つ果実を持つ。それらはあなたたちの食べ物となるだろう。そしてすべての地の獣に、そしてすべての天の鳥に、そして地の上を這うすべての這うもので自分の中に命の魂を持つものに、すべての緑の草を食べ物として与えた。そしてそのようになった。 そして神は、自分が作った全てのものを見た。そして見よ、それは非常に良かった。そして夕べになり、朝になった。六日目である。

2

こうして天と地が完成され、そしてそれらの全ての万物も完成された。 そして神は六日目に、彼が作った御業を完成した。そして七日目に、彼が作ったすべての御業から休まれた。 そして神は七日目を祝福し、それを聖別した。なぜならその日に神は、神が作り始めたすべての業から休んだからである。 これは天と地の起源の書である。それが生じた時、主なる神が天と地を造られた日に、すべての野の緑のものが地の上に生じる前、そしてすべての野の草が芽生え

る前のことである。というのも神は地の上に雨を降らせなかったし、そして人は存在しなかった、それを耕すために。 泉が地から湧き上がっていて、地の全ての面に水をやっていた。 そして神は人を地の土から形作った。そして神はその顔に命の息を吹き込んだ、そして人は生きている魂になった。 そして神はエデンの東に楽園を植え、そしてそこに、形作った人間を置いた。 そして神は地からすべての木を生えさせた、見るのに美しく、食べるのに良い木を、そして命の木を楽園の真ん中に、そして善と悪の知識を知る木を。 一つの川がエデンから流れ出て楽園を潤していた。そしてそこから分かれて四つの源となった。 一つの名前はピション。これはハビラの全ての地を巡るもの。そこは金があるところである。 その地の金は良質である。そして、そこには紅玉髄と緑柱石がある。 そして第二の川の名前はギホンである。これはエチオピアの全ての地を囲むものである。 そして三番目の川はチグリスである。これはアッシリア人の対岸を進んで行くものである。そして四番目の川はユーフラテスである。 そして主なる神は、自らが形造った人を取って、彼を贅沢の楽園に置いた、それを耕し守らせるために。 そして主なる神はアダムに命じて言った、楽園の中のすべての木から食べてよい。 しかし善と悪を知る木からは、あなたたちはそれから食べてはならない。あなたたちがそれから食べる日には、あなたたちは必ず死ぬであろう。 そして主なる神は言った、人が一人でいるのは良くない。彼のために彼にふさわしい助け手を作ろう。 そして神は地から野の全ての獣と天の全ての鳥を形作った。そして神はそれらをアダムのところへ連れて来た、彼がそれらを何と呼ぶか見るために。そしてアダムがそれを生きている魂と呼んだ全てのもの、これがそれの名前である。 そしてアダムはすべての家畜と天のすべての鳥と野のすべての獣に名前をつけた。しかしアダムには彼に似た助け手は見つ

からなかった。 そして神はアダムに恍惚状態をもたらし、彼は眠った。そして神は彼の肋骨の一つを取り、その代わりに肉で満たした。 そして神は、アダムから取った脇腹を一人の女に造った。そして神は彼女をアダムのところへ連れて来た。 そしてアダムは言った。これは今、私の骨の中の骨、そして私の肉の中の肉だ。この者は女と呼ばれるだろう、なぜなら彼女は男から取られたからだ。 このゆえに、人は自分の父と母を離れ、自分の妻と結ばれる。そして二人は一つの肉となる。 そして二人、アダムと彼の妻は裸だったが、恥じていなかった。

3

そして蛇は、主なる神が造られた地上のすべての獣の中で最も賢かった。そして蛇は女に言った、神が楽園のすべての木から食べてはならないと言ったとは何ですか。 そして女は蛇に言った、楽園の木の実から私たちは食べます。しかし楽園の真ん中にある木の実については、神は言いました、あなたたちはそれから食べてはならない、そしてそれに触れてもならない、あなたたちが死なないようにと。 そして蛇は女に言った。あなたたちは決して死なない。なぜなら神は知っていたのだ、あなたたちがそれから食べるその日に、あなたたちの目が開かれ、そしてあなたたちが神々のようになり、善と悪を知る者となることを。 そしてその女は見た、その木は食べるのに良い、そして目で見るのに喜ばしい、そして理解するのに美しい、そして彼女はその実から取って、食べた、そして彼女は彼女と共にいる彼女の夫にも与えた、そして彼らは食べた。 そして二人の目が開かれた。そして彼らは裸であることを知った。そして彼らは

いちじくの木の葉を縫い合わせた。そして彼らは自分たちのために腰布を作った。 そして彼らは夕方に楽園の中を歩いている主なる神の声を聞いた。そしてアダムとその妻は主なる神の顔から楽園の木の真ん中に隠れた。 そして主なる神はアダムを呼び、彼に言った、アダム、お前はどこにいるのか。 そして彼に言った、私はあなたが楽園の中を歩いている声を聞いた、そして私は裸であるので恐れた、そして隠れた。 そして神は彼に言った、誰があなたに告げたのか、あなたが裸であると。もしかして、私があなたにこれだけからは食べるなと命じたあの木から、あなたは食べたのか。 そしてアダムは言った。あなたが私と共にいるようにと与えた女、この女が私に木から与えたので、私は食べました。 そして主なる神は女に言った、あなたは何をしたのか? そして女は言った、蛇が私を騙したので、私は食べてしまいました。 そして主なる神は蛇に言った、あなたがこれをしたので、あなたはすべての家畜の中から、そして地の上のすべての野獣の中から呪われている。あなたは胸と腹で進むだろう、そしてあなたの命のすべての日々、土を食べるだろう。 そして私は敵意を置くだろう、あなたとその女の間に、そしてあなたの子孫と彼女の子孫の間に。彼はあなたの頭を狙うだろう、そしてあなたは彼のかかとを狙うだろう。 そして女に言った。増やしに増やして私はあなたの苦しみを増やすだろう、そしてあなたのうめき声を。苦しみの中であなたは子供たちを産むだろう、そしてあなたの向きはあなたの夫へ、そして彼はあなたを支配するだろう。 そしてアダムに言った、あなたはあなたの妻の声を聞いた、そしてあなたはその木から食べた、その木についてだけは食べるなと私はあなたに命じた、それから食べた、大地はあなたの働きにおいて呪われる、苦しみにおいてあなたはそれを食べるだろう、あなたの人生のすべての日々を。 茨と薊があなたのために生え出るだろう、そして

あなたは野の草を食べるだろう。 あなたの顔の汗でもってあなたはあなたのパンを食べるだろう、あなたが地へと戻るまで、そこからあなたは取られた。なぜならあなたは土であり、そして土へとあなたは去るだろう。 そしてアダムは彼の妻の名前をゾーエーと呼んだ、なぜなら彼女は生きている者全ての母だからである。 そして主なる神はアダムと彼の妻に皮の衣を作り、彼らに着せた。 そして神は言った、見よ、アダムは善と悪を知る私たちの一人のようになった。そして今、彼が決してその手を伸ばして命の木から取って食べ、永遠に生きることがないように。 そして主なる神は、彼が取られた土地を耕させるために、彼を贅沢の楽園から追い出した。 そして神はアダムを追放し、楽園の東に彼を住まわせた。そして神はケルビムと回転する炎の剣を配置して、命の木への道を守らせた。

4

アダムは自分の妻エバを知った。そして妊娠して彼女はカインを産んだ。そして彼女は言った、私は神によって人を得た。 そして彼女は彼の兄弟アベルを産んだ。そしてアベルは羊の羊飼いになった、しかしカインは土地を耕す者だった。 そして日々の後に起こった、カインは地の実りから主に犠牲を持って来た。そしてアベルも彼自身、彼の羊の初子からと、それらの脂肪から持って来た。そして神はアベルの上に、そして彼の贈り物の上に目を向けた。 しかしカインと彼の犠牲には、注意を払わなかった。そしてカインは非常に悲しみ、そして彼の顔は落ちた。 そして主なる神はカインに言った、なぜあなたは非常に悲しくなったのか、そしてなぜあなたの顔は落ちたのか。 もし正しく捧げても、正しく分けなければ、罪を犯した

のではないか？ 静かにしなさい。彼の心はあなたに向かい、あなたは彼を支配するだろう。 そしてカインは彼の兄弟アベルに言った、平野へ行こう。そして彼らが平野にいた時、カインは彼の兄弟アベルに襲いかかり、彼を殺した。 そして主なる神はカインに言った、あなたの兄弟アベルはどこにいるのか そして彼は言った、知りません。私は兄弟の番人ではないのですか。 そして主は言った、あなたは何をしてしまったのか。 お前の兄弟の血の声が地から私に向かって叫んでいる。 そして今、お前は大地から呪われている。その大地はお前の手からお前の兄弟の血を受け取るために口を開けたのだ。お前が土地を耕すとき、それはもはやその力をお前に与えないだろう。うめきながら震えながら、お前は地上にいるだろう。 そしてカインは主なる神に言った、私の罪は赦されるには大きすぎます。 もしあなたが今日私を地の面から追い出すなら、私はあなたの顔から隠れるだろう、そして私は地の上でうめき震えているだろう、そして私を見つける者は皆私を殺すだろう。 そして主なる神は彼に言った、そうではない。カインを殺す者は誰でも、七倍の復讐を受けるだろう。 そして主なる神はカインにしるしを置いた、彼を見つける全ての者が彼を殺さないために。 カインは神の顔から出て行き、エデンの向かいのノドの地に住んだ。 そしてカインは彼の妻を知った。そして身ごもって彼女はエノクを産んだ。 そして彼は町を建てていた。そして彼は彼の息子エノクの名前にちなんでその町を名付けた。 エノクにガイダドが生まれた。そしてガイダドはマハラレルを生んだ。そしてマハラレルはメトシェラを生んだ。そしてメトシェラはレメクを生んだ。 レメクは自分のために二人の妻を娶った。一人の名前はアダ、そしてもう一人の名前はツィラ。 アダはヨベルを産んだ。彼は天幕に住む家畜飼いたちの父であった。 そして彼の兄弟の名前はユバルだった。この者は竪琴とキタラを示した者

だった。 ツィラも彼女自身トベルを産んだ。そして彼は青銅と鉄の鍛冶屋だった。 トベルの姉妹はノエマだった。 レメクは自分の妻たちに言った、アダとツィラよ、私の声を聞け、レメクの妻たちよ、私の言葉に耳を傾けよ、私は男を殺した、私への傷のために、そして若者を殺した、私への打ち傷のために。 カインには七倍の復讐がなされたが、ラメクには七十倍の七倍である。 アダムは彼の妻エバを知った。そして身ごもって息子を産んだ。そして彼の名をセツと名付けて、言った、神は私に別の子孫を起こしてくれたから、アベルの代わりに、その者をカインが殺した。 そしてセツに息子が生まれた。そして彼はその名前をエノスと名付けた。この者は主なる神の名を呼び求めることを望んだ。

5

これは人間の起源の書である。神がアダムを造った日に、神の像に従って彼を造った。男性と女性に彼らを造った。そして彼らを祝福した。そして彼らを造った日に、彼らの名をアダムと名付けた。 アダムは二百三十年生きた、そして彼の形に従って、そして彼の像に従って子を生んだ、そして彼の名をセツと名付けた。 アダムがセツを生んだ後に生きた日々は七百年となった、そして彼は息子たちと娘たちを生んだ。 そしてアダムが生きたすべての日々は九百三十年となり、彼は死んだ。 セツは205年生きた。そしてエノスを生んだ。 そしてセツはエノスを生んだ後、七百七年生きた。そして息子たちと娘たちを生んだ。 そしてセツの全ての日々は912年になった。そして彼は死んだ。 そしてエノスは百九十年生きた。そして彼はカイナンをもうけた。 そしてエノスは、カイナンを生んだ後、七百十

五年生きた。そして彼は息子たちと娘たちを生んだ。 そしてエノスの全生涯は九百五年であった。そして彼は死んだ。 そしてカイナンは百七十年生きた。そしてマハラレルを生んだ。 そしてカイナンはマハラレルを生んだ後、七百四十年生きた。そして息子たちと娘たちを生んだ。 そしてカイナンの全ての日々は九百十年となった。そして彼は死んだ。 そしてマハラレルは百六十五年生きた。そしてヤレドを生んだ。 そしてマハラレルは、彼がヤレドを生んだ後、七百三十年生きた。そして彼は息子たちと娘たちを生んだ。 そしてマハラレルの全生涯は八百九十五年であった。そして彼は死んだ。 そしてヤレドは百六十二年生きて、エノクを生んだ。 そしてヤレドは、エノクを生んだ後、八百年生きた。そして彼は息子たちと娘たちを生んだ。 そしてヤレドの全ての日々は九百六十二年となった。そして彼は死んだ。 そしてエノクは百六十五年生きた。そしてメトシェラを生んだ。 エノクは彼がメトシェラを生んだ後、二百年神に喜ばれた。そして彼は息子たちと娘たちを生んだ。 そしてエノクの全生涯は365年であった。 そしてエノクは神を喜ばせた。そして彼は見つからなかった、なぜなら神が彼を移したからである。 そしてメトシェラは百六十七年生き、ラメクを生んだ。 そしてメトシェラは、ラメクを生んだ後、八百二年生きた。そして彼は息子たちと娘たちを生んだ。 そしてメトシェラが生きた全ての日々は九百六十九年であった。そして彼は死んだ。 そしてレメクは百八十八年生きた。そして息子を生んだ。 そして彼はその名をノアと名付けて言った、この者は私たちを休ませるだろう、私たちの働きから、そして私たちの手の苦しみから、そして主なる神が呪った地から。 そしてラメクはノアを産んだ後、五百六十五年生きた。そして息子たちと娘たちを産んだ。 そしてレメクの全ての日々は七百五十三年となった。そして彼は死んだ。 そしてノアは五百歳だった。そして彼は三人の息

子たちを生んだ、セム、ハム、ヤペテを。

6

そして、人々が地上で多くなり始めた時、そうなった。そして娘たちが彼らに生まれた。 神の息子たちは人間の娘たちを見て、彼女たちが美しいので、彼らが選んだすべての者の中から自分たちのために妻たちを娶った。 そして主なる神は言った、私の霊はこれらの人間たちの中に永遠に留まらないだろう、彼らが肉であるゆえに。しかし彼らの日々は百二十年であるだろう。 巨人たちは地上にいた、それらの日々に、そしてその後も、神の息子たちが人間の娘たちのところへ入って行き、彼らに子を生んだ時に。それらは巨人たちだった、太古からの、名高い人々であった。 主なる神は、人間たちの悪が地上で増えたこと、そしてすべての者が心の中で絶えず悪いことばかりを考えていることを見た。そして神は、地上に人間を造ったことを思い、心を痛めた。 そして神は言った、私は拭い去るだろう、私が作った人間を、地の面から、人間から獣まで、そして這うものから天の鳥たちまで。なぜなら私は後悔したからだ、私が彼らを作ったことを。 ノアは主なる神の前に恵みを見出した。 これらはノアの系図である。 ノアは義しい人で、彼の世代において完全であり、ノアは神を喜ばせた。 ノアは三人の息子を生んだ、セム、ハム、ヤペテである。 その地は神の前で滅ぼされ、その地は不正で満たされた。 そして主なる神は地を見た、そしてそれは堕落していた。なぜならすべての肉が地の上で自分の道を堕落させていたからである。 そして主なる神はノアに言った、すべての人の時が私の前に来た。なぜなら地は彼らによる不正で満たされたからだ。そして

見よ、私は彼らと地を滅ぼす。 だから、あなた自身のために四角い木材から箱舟を作りなさい。あなたはその箱舟に部屋を作るだろう。そしてあなたはそれを内側と外側にアスファルトで塗るだろう。 そしてこのようにあなたは箱舟を作るだろう。箱舟の長さは三百キュビト、幅は五十キュビト、高さは三十キュビト。 箱舟を上部を狭めながら作り、上から一キュビトでそれを完成させなさい。箱舟の戸は側面に作りなさい。それを下の階と二階と三階に作りなさい。 私は見よ、洪水を地の上に持ってくる、水を、天の下にある命の霊を持つすべての肉を破壊するために、そして地の上にあるものはすべて死ぬだろう。 そして私はあなたと私の契約を立てるだろう。そしてあなたは箱舟の中へ入るだろう、あなたと、あなたの息子たちと、あなたの妻と、あなたの息子たちの妻たちが、あなたと共に。 そしてすべての家畜から、そしてすべての這うものから、そしてすべての野獣から、そしてすべての肉から、すべてから二つずつ、あなたは箱舟の中に連れて入るだろう、あなたが自分と共に生かしておくために。オスとメスがいるだろう。 すべての鳥、飛ぶ鳥から、その種類に従って、そしてすべての家畜から、その種類に従って、そしてすべての這うもの、地の上を這うものから、それらの種類に従って、すべてから二つずつが、あなたと共に養われるために、あなたのところへ入って来る、雄と雌が。 あなたはあなたたちが食べるであろうすべての食べ物から、あなた自身のために取り、あなた自身のところに集めなさい。そしてそれはあなたとあれらの者たちが食べるためのものとなるだろう。 そしてノアは、主なる神が彼に命じた全てのことを、そのように行った。

7

そして主なる神はノアに言った、あなたとあなたの家の全ての者は箱舟の中に入れ、なぜなら私はこの世代においてあなたを私の前で正しい者と見たからだ。 清い動物からは雄と雌を七つがいずつあなたのところへ連れて来なさい、そして清くない動物からは雄と雌を二つがいずつ。 そして天の清い鳥から七つがい雄と雌を、そしてすべての清くない鳥から二つがい雄と雌を、全ての地の上で子孫を保つために。 まだ七日の間、私は雨を地の上に降らせる、四十日と四十夜。そして私は消し去る、私が作ったすべての立っているものを、すべての地の面から。 そしてノアは、主なる神が彼に命じた全てのことを行った。 ノアは六百歳だった、そして水の洪水が地上に起こった。 ノアと彼の息子たちと彼の妻と彼の息子たちの妻たちが、洪水の水のために、彼と共に箱舟に入った。 そして清い鳥から、そして清くない鳥から、そして清い家畜から、そして清くない家畜から、そして地の上を這うすべてのものから、二匹ずつノアのところへ箱舟の中に入った、雄と雌が、神がノアに命じた通りに。 そして七日の後にそうなった、そして洪水の水が地の上に来た。 ノアの生涯の六百年目に、第二の月の、その月の二十七日に、この日に、深淵のすべての泉が破れ開かれ、そして天の水門が開かれた。 そして雨は地上に四十日四十夜降った。 この日にノアは、セム、ハム、ヤペテ、ノアの息子たちと、ノアの妻と、彼の息子たちの三人の妻たちが彼と共に箱舟に入った。 そしてすべての野獣はその種類に従って、そしてすべての家畜はその種類に従って、そしてすべての地の上を動く這うものはその種類に従って、そしてすべての鳥、翼のある鳥はその種類に従って、ノアのところへ箱舟の中に入った、二匹ずつ、雄と雌、すべての肉から、その中に命の息があるもの。 そして入って来る雄と雌、すべての肉からのものが入った、ちょうど神がノアに命じた通りに。そして主なる神が箱舟を外から

閉じた。 そして洪水は四十日と四十夜地の上に起こった。そして水は増えた。そしてそれは箱舟を持ち上げた。そして箱舟は地から上げられた。 そして水は勝っていた、そしてそれは地の上で非常に増していた。そして箱舟は水の上を漂っていた。 そして水は地の上で非常に非常に勝っていた。そしてそれは天の下にあったすべての高い山々を覆った。 水は十五キュビト上に持ち上げられた。そしてすべての高い山々を覆った。 そして地の上を動くすべての肉は死んだ、鳥たちも、家畜も、野獣も、そして地の上を動くすべての這うものも、そしてすべての人も。 そして命の息を持つすべてのもの、そして乾いた地の上にあったすべてのものは死んだ。 そして神は地の表にあった全ての生き物を、人から獣まで、這うものと空の鳥まで拭い去った。そして彼らは地から拭い去られた。そしてノアだけが残され、彼と共に箱舟にいる者たちも残った。 そして水は地の上に百五十日間高められた。

8

そして神はノアのことを、そしてすべての野獣のことを、そしてすべての家畜のことを、そしてすべての鳥のことを、そしてすべての這う爬虫類のことを、箱舟の中で彼と共にいたすべてのものを思い出した。そして神は風を地の上にもたらした、そして水は止んだ。そして深淵の泉は覆われ、天の水門も覆われ、雨は天から止められた。 そして水は地から去りながら引いていた。そして水は百五十日の後に減っていた。 そして箱舟は第七の月、その月の第二十七日に、アララトの山々の上に留まった。 そして水は第十の月まで減少し続けた。 そして十か月目の一日に、山々の頂が見えた。 そして四

十日の後、ノアは彼が作った箱舟の窓を開けた。 そして彼はそのカラスを送った。そしてそれは出て行って、その水が地から乾き上がるまで戻らなかった。 そして彼は鳩を自分のところから送り出した、水が地から引いたかどうかを見るために。 そして鳩はその足の休む場所を見つけられなかったので、彼のもとの箱舟へ戻った、なぜなら水が地の全ての面の上にあったからである。そして手を伸ばして彼はそれを取り、そして彼はそれを自分のもとへ箱舟の中に連れて入った。 そして、さらに別の七日間を待って、再び鳩を箱舟から送り出した。 そして鳩は夕方に彼のところへ戻ってきた。そしてそれはオリーブの葉の小枝をその口の中に持っていた。そしてノアは知った、水が地から引いたことを。 そして、さらに他の七日間を待って、再び鳩を送り出したが、鳩はもう彼のところへ戻ってこなかった。 ノアの生涯の第六百一年、第一の月の一日に、水は地から引いた。 そしてノアは自分が作った箱舟の屋根を開けた。そして彼は、水が地の表面から引いたのを見た。 そして第二の月に地は乾いた、その月の第二十七日に。 そして主なる神はノアに向かって言った、方舟から出て行け、あなた、そしてあなたの妻、そしてあなたの息子たち、そしてあなたの息子たちの妻たちをあなたと共に。そしてあなたと共にいる全ての野獣、そして鳥から家畜までの全ての肉、そして地の上を動いているあらゆる這うものを、あなた自身と共に連れ出せ。 そして増えなさい、そして増殖しなさい、地の上で。 そしてノアは出て行った、そして彼の妻、そして彼の息子たち、そして彼の息子たちの妻たちが彼と共に。そしてすべての野獣、そしてすべての家畜、そしてすべての鳥、そしてすべての這うもので地の上を動いているものが彼らの種類に従って、箱舟から出て行った。 そしてノアは主に祭壇を建てた。そして彼はすべての清い家畜から、そしてすべての清い鳥から取った。そして彼はその祭

壇の上に全焼のいけにえとして捧げた。 そして主なる神は芳香の匂いを嗅いだ。 そして主なる神は考えて言った、私はもう人間の行いのゆえに地を呪うことを加えないだろう。なぜなら人間の心は彼の若い時から熱心に悪の上にあるからだ。だからもう私は全ての生きている肉を打つことを加えないだろう、私がしたように。 地のすべての日々、種まきと収穫、寒さと暑さ、夏と春、昼と夜、それらは止むことはないだろう。

9

そして神はノアと彼の息子たちを祝福した。そして彼らに言った。増えよ、そして多くなれ、そして地を満たせ、そしてそれを従わせよ。 そしてあなたたちへの震えと恐れは、地のすべての獣の上に、天のすべての鳥の上に、そして地の上を動くすべてのものの上に、そして海のすべての魚の上にあるだろう。手のもとにあなたたちに私は与えた。 そして生きているすべての這うものは、あなたたちの食べ物となるだろう。草の野菜のように、私はあなたたちにすべてのものを与えた。 ただし、魂の血の中にある肉を、あなたたちは食べてはならない。 そしてあなたたちの魂のあなたたちの血を、すべての野獣の手から私はそれを求める。そして人間である兄弟の手から、私は人間の魂を求める。 人の血を流す者は、その血の代わりに自分の血が流されるだろう、なぜなら私は神の像において人を造ったからである。 あなたたちは増えなさい、そして増殖しなさい、そしてその地を満たしなさい、そしてそれを征服しなさい。 そして神はノアと彼の息子たちに、彼と共に言った、そして見よ、私は私の契約をあなたたちに立てる、そしてあなたたちの後の種に、そして

あなたたちと共にいるすべての生きている魂に、鳥から、そして家畜から、そして地のすべての獣に、箱舟から出て来たすべてのもので、あなたたちと共にいる限り多くのものに。 そして私はあなたがたとの私の契約を立てるだろう。そしてすべての肉はもはや洪水の水によって死ぬことはないだろう。そしてもはや水の洪水はないだろう、すべての地を滅ぼすための。 そして主なる神はノアに言った。これは契約のしるしである。それを私は私とあなたがたの間に、そしてあなたがたと共にいるすべての生きている魂との間に与える、永遠の世代に至るまで。 私の弓を雲の中に置く、そしてそれは私と地の間の契約のしるしとなるだろう。 そして私が地の上に雲を曇らせる時、弓が雲の中に現れるだろう。 そして私は私の契約を思い出すだろう、その契約は私とあなたがたの間に、そしてすべての肉におけるすべての生きている魂の間にある。そして水はもはや洪水にはならないだろう、すべての肉を消し去るための洪水には。 そして私の弓は雲の中にあるだろう。そして私は、私と地の間の、そして地の上にあるすべての肉における生きている魂の間の永遠の契約を思い出すために見るだろう。 そして神はノアに言った、これは私が私と地の上にあるすべての肉との間に立てた契約のしるしである。 箱舟から出て来たノアの息子たちは、セム、ハム、ヤペテであった。 ハムはカナンの父であった。 この三人はノアの息子たちである。この者たちから全ての地の上に散らされた。 そしてノアは土地を耕す農夫として始め、ぶどう園を植えた。 そして彼はそのワインを飲んだ、そして酔っぱらった、そして彼の家の中で裸になった。 そしてカナンの父ハムは自分の父の裸を見て、外に出て行って外にいる自分の二人の兄弟たちに知らせた。 そしてセムとヤフェトはその衣を取って、彼らの二つの背中の上に置いて、後ろ向きに歩いて、彼らの父の裸を覆った。そして彼らの顔は後ろ向きで、彼ら

の父の裸を見なかった。 ノアは酒の酔いから覚めて、彼の末の息子が彼にしたことを知った。 そして彼は言った、カナンは呪われた子だ。彼は自分の兄弟たちの僕となるだろう。 そして彼は言った、セムの神、主は祝福されますように。そしてカナンは彼の僕となるだろう。 神がヤペテを広げますように、そして彼がセムの天幕に住みますように。そしてカナンが彼の僕となりますように。 ノアは洪水の後、三百五十年生きた。 そしてノアの全ての日々は九百五十年となった。そして彼は死んだ。

10

これらはノアの息子たちセム、ハム、ヤペテの系図である。そして洪水の後に彼らに息子たちが生まれた。 ヤペテの息子たち、ゴメル、マゴグ、マダイ、ヤワン、エリシャ、トバル、メシェク、そしてティラス。 そしてゴメルの息子たちは、アシュケナズとリファテとトガルマ。 そしてヤワンの息子たち、エリサとタルシシュ、キティム人、ロドス人。 これらから諸国民の島々が彼らの地において分けられた。それぞれが言語に従って彼らの部族の中に、そして彼らの諸国民の中に。 ハムの息子たちは、クシュ、ミツライム、プテ、そしてカナアン。 クスの息子たちは、シェバ、ハビラ、サブタ、ラマ、サブテカ。ラマの息子たちは、シェバとデダン。 土はニムロドを生んだ。彼は地上で最初の巨人となった。 この者は主なる神の前の巨人の狩人であった。このゆえに彼らは言うであろう、ネブロデのように主の前の巨人の狩人、と。 そして彼の王国の始まりはバビロンとオレクとアルカドとカラネになった、シナルの地において。その地からアッシュルが出て行った。そして彼はニネベと、レホボ

テ市と、カラと、ニネベとカラの間のレセンを建てた。これは大きな都市である。 そしてミツライムはルディム人とナフタリ人とアナミム人とレハビム人とパトロス人とカスルヒム人を生んだ、そこからペリシテ人が出た、そしてカフトリム人を生んだ。 カナンは彼の長子シドンと、ヒッタイト人と、エブス人と、アモリ人と、ギルガシ人と、ヒビ人と、アルキ人と、シニ人と、アルワデ人と、ツェマリ人と、ハマテ人を生んだ。 そしてこの後、カナン人の部族たちは散らされた。 そしてカナン人の境界は、シドンからゲラルとガザに至るまで、ソドムとゴモラ、アドマとゼボイムを経てラシャに至るまでとなった。 これらはハムの息子たちである、彼らの部族において、彼らの言語によって、彼らの地域において、そして彼らの国民において。 セムにも子が生まれた。彼はすべてのエベルの息子たちの父であり、年上のヤペテの兄弟である。 セムの息子たち、エラム、そしてアシュル、そしてアルパクシャデ、そしてルデ、そしてアラム、そしてカイナン。 そしてアラムの息子たち、ウズとフルとゲテルとメソク。 そしてアルパクサデはカイナンを生み、カイナンはサラを生んだ。そしてサラはエベルを生んだ。 そしてエベルに二人の息子が生まれた。一人の名前はペレグで、それは彼の時代に地が分割されたからである。そして彼の兄弟の名前はヨクタンである。ヨクタンはアルモダデとシェレフとハザルマベテとイエラとハドラムとウザルとディクラとオバルとアビマエルとシェバとオフィルとハビラとヨバブを生んだ。これら全てはヨクタンの息子たちである。そして彼らの住居は、マサから東のサフェラ山に至るまでとなった。 これらはセムの息子たちであり、彼らの部族において、彼らの言語に従って、彼らの地域において、そして彼らの国民においてである。 これらはノアの息子たちの部族である、彼らの起源によって、彼らの国々によって。これらから諸国民は地の上に散らされ

た、洪水の後に。

11

そして全地は一つの唇であり、全ての人に一つの声があった。 そして彼らが東から移動した時、彼らはシナルの地で平野を見つけ、そこに住んだ。 そして人が隣の者に言った、来い、レンガを作ろう、そして火でそれらを焼こう。そしてレンガが彼らにとって石となった、そして瀝青が彼らにとってしっくいとなった。 そして彼らは言った、さあ、私たちのために都市と塔を建てよう。その頭は天にまで届くだろう。そして私たちのために名を作ろう、私たちが全ての地の面に散らされる前に。 そして主は、人の子らが建てた都市と塔を見るために降りて来た。 そして主は言った、見よ、一つの民族、そしてすべての者が一つの言葉を持ち、そして彼らはこれを行うことを始めた、そして今、彼らが行おうと企てるすべてのことは彼らにとって不可能ではなくなるだろう。 来い、そして降りて行って、そこで彼らの言葉を混乱させよう、それぞれの者が隣人の声を聞かないように。 そして主は彼らをそこから全ての地の面の上に散らした。そして彼らは町と塔を建てることをやめた。 このゆえにその名は混乱と呼ばれた、なぜならそこで主が全ての地の言葉を混乱させたからである、そしてそこから主は彼らを全ての地の面に散らした。 そしてこれらはセムの系図である。そしてセムは百歳だった、彼がアルパクサデを生んだ時、洪水の後の二年目に。 そしてセムは、アルパクサデを生んだ後、五百年生き、息子たちと娘たちを生み、そして死んだ。 そしてアルパクサデは百三十五年生きて、カイナンを生んだ。 そしてアルパクサデはカイナンを生んだ後、四百

年生き、息子たちと娘たちを生んで、死んだ。 そしてカイナンは百三十年生き、サラを生んだ。そしてカイナンは、彼がサラを生んだ後、三百三十年生き、息子たちと娘たちを生み、そして死んだ。 そしてサラは百三十年生き、エベルを生んだ。 そしてサラは、エベルを生んだ後、三百三十年生きた。そして息子たちと娘たちを生んだ。そして死んだ。 そしてエベルは百三十四年生き、ペレグを生んだ。 そしてエベルは、ペレグを生んだ後、二百七十年生き、息子たちと娘たちを生み、そして死んだ。 そしてペレグは百三十年生きて、リウを生んだ。 そしてペレグは、ラグを生んだ後、二百九年生き、息子たちと娘たちを生み、そして死んだ。 そしてラガウは百三十二年生きて、セルグを生んだ。 そしてラガウは、セルグを産んだ後、二百七年生きて、息子たちと娘たちを産んで、そして死んだ。 そしてセルグは百三十年生きて、ナホルを生んだ。 そしてセルグは、ナホルを生んだ後、二百年生きた、そして息子たちと娘たちを生んだ、そして死んだ。 そしてナホルは百七十九年生きて、テラを生んだ。 そしてナホルは、テラを生んだ後、百二十五年生きた、そして息子たちと娘たちを生んだ、そして死んだ。 そしてテラは七十年生きて、アブラムとナホルとハランを生んだ。 これらはテラの系図である。テラはアブラム、ナホル、ハランを生んだ。そしてハランはロトを生んだ。 そしてハランは彼の父テラの前で、彼が生まれた地、カルデア人の地において死んだ。 そしてアブラムとナホルは彼ら自身のために妻たちを娶った。アブラムの妻の名前はサライ、そしてナホルの妻の名前はミルカでハランの娘である。そしてハランはミルカの父であり、そしてイスカの父である。 そしてサラは不妊であり、子供を産んでいなかった。 そしてテラは彼の息子アブラムと、ハランの息子で彼の孫であるロトと、彼の息子アブラムの妻である嫁サライを連れて、カルデア人の地から彼らを連れ出してカ

ナンの地へ行くために出発し、彼らはハランまで来て、そこに住んだ。 そして、テラのすべての日々はハランの地で二百五年になった。そして、テラはハランで死んだ。

12

そして主はアブラムに言った、あなたの地から、あなたの親族から、あなたの父の家から出て行け、そして私があなたに示す地へ来い。 そして私はあなたを偉大な国にし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくする。そしてあなたは祝福された者となるだろう。 そして私はあなたを祝福する者たちを祝福するだろう、そしてあなたを呪う者たちを私は呪うだろう、そして地のすべての部族があなたにおいて祝福されるだろう。 そしてアブラムは行った、ちょうど主が彼に話したように、そしてロトは彼と共に行った。アブラムは七十五歳だった、彼がハランから出た時。 そしてアブラムは彼の妻サライと、彼の兄弟の息子ロトと、彼らが獲得した限りの彼らの全ての所有物と、彼らが獲得した全ての魂を、ハランから連れて行った。そして彼らはカナンの地へ行くために出て行った。 そしてアブラムはその地をその長さに沿ってシケムの場所まで、高い樫の木のところまで旅して通った。そしてカナン人たちはその時その地に住んでいた。 そして主はアブラムに現れた。そして彼に言った、あなたの子孫にこの地を私は与えるだろう。そしてアブラムはそこに彼に現れた主に祭壇を建てた。 そして彼はそこから東のベテルの山へ出発した。そして彼はそこに天幕を張った、ベテルは西に、アイは東に。そして彼はそこに主のために祭壇を築いた、そして主の名を呼び求めた。 そしてアブラムは出発し、行って荒野に野営した。 そし

て飢饉がその地に起こった。そしてアブラムはエジプトへ下って、そこに寄留した、なぜならその飢饉がその地に激しくなったからである。 アブラムがエジプトに入ることに近づいた時になった。そしてアブラムは妻サライに言った、私は知っている、あなたは容姿の美しい女であると。 それゆえ、エジプト人たちがあなたを見たら、彼らは彼女は彼の妻だと言うだろう、そして彼らは私を殺すだろうが、あなたは生かしておくだろう。 だから私は言った、私は彼の妹だと、あなたのおかげで私によいことが起こるように、そして私の魂はあなたのゆえに生きるだろう。 アブラムがエジプトに入った時、エジプト人たちは彼の妻を見て、彼女がとても美しいことが分かった。 そしてファラオの支配者たちは彼女を見た、そして彼らはファラオに彼女を褒めた、そして彼らは彼女をファラオの家に連れて入れた。 そして彼女のゆえに彼らはアブラムをよく扱った。そして彼には羊と子牛とろばと男奴隷と女奴隷とラバとらくだが与えられた。 そして神はファラオとその家を、大きくて邪悪な災いで苦しめた、アブラムの妻サラのことで。 ファラオはアブラムを呼んで言った、あなたは何故これを私にしたのか。彼女があなたの妻であることをあなたは私に告げなかった。 なぜあなたは彼女が私の妹だと言ったのか。 そして私は彼女を自分の妻として受け取った。そして今見よ、あなたの妻があなたの前にいる、受け取って立ち去れ。そしてファラオは男たちに、アブラムと彼の妻と彼が持っていた全てのものを送り出すように命じた。

13

そしてアブラムはエジプトから上って行った、彼自身と彼の妻と彼

の全ての物が、そしてロトが彼と共に、荒野へ。 アブラムは家畜、銀、金において非常に裕福だった。 そして彼は来たところから荒野を通ってベテルまで行った、ベテルとアイの間の、以前に彼の天幕があった場所まで、彼が最初にそこで作った祭壇の場所へ、そしてアブラムはそこで主の名を呼び求めた。 そしてアブラムと一緒に旅していたロトには羊と牛と天幕があった。 そして、その土地は彼らが一緒に住むことを許さなかった、なぜなら彼らの所有物が多かったから。そして、その土地は彼らが一緒に住むことを許さなかった。 そしてアブラムの家畜の羊飼いたちの間とロトの家畜の羊飼いたちの間に争いが起こった。そしてカナン人とペリジ人はその時その地に住んでいた。 アブラムはロトに言った、私とあなたの間に争いがあってはならない、そして私の羊飼いたちとあなたの羊飼いたちの間にも争いがあってはならない、なぜなら私たちは兄弟である人間だからだ。 見よ、全ての地はあなたの前にあるのではないか。私から離れなさい。もしあなたが左へ行くなら、私は右へ行く。しかしもしあなたが右へ行くなら、私は左へ行く。 そしてロトは彼の目を上げて、ヨルダンの周辺地域全てを見た、それは全てが水を与えられていたからである、神がソドムとゴモラを滅ぼす前は、神の楽園のように、そしてエジプトの地のように、ゾアルに至るまで。そしてロトは自分のためにヨルダンの周辺地域全体を選んだ。そしてロトは東へ出発した。そして彼らは互いにその兄弟から離れた。アブラムはカナンの地に住んだ。一方ロトは周辺地域の町々に住み、ソドムに天幕を張った。 ソドムにいる人々は神の前で非常に邪悪で罪深かった。 そして神はロトが彼から離れた後にアブラムに言った、あなたの目で見上げなさい、そして今あなたがいる場所から北と南と東と西に向かって見なさい。なぜなら、あなたが見る全ての地を、私はそれをあなたとあなたの子孫に永遠に与えるからで

ある。 そして私はあなたの子孫を地の砂のようにするだろう。もし誰かが地の砂を数えることができるなら、あなたの子孫も数えられるだろう。 立ち上がって、その地をその長さとその幅にわたって旅して通りなさい。なぜなら私はそれをあなたとあなたの子孫に永遠に与えるだろう。 そしてアブラムは天幕を移動して、来て、マムレの樫の木のそばに住んだ。それはヘブロンにあった。そして彼はそこに主のための祭壇を築いた。

14

シナルの王アマルファル、エラサルの王アリオク、エラムの王ケドルラオメル、そして諸国の王ティダルの治世において起こったが、彼らはソドムの王ベラ、ゴモラの王ビルシャ、アドマの王シナル、ゼボイムの王シェメベル、そしてバラクの王と戦争をした。これはゾアルである。 これら全ての者たちは塩辛い峡谷について同意した。これは塩の海である。 十二年間、彼らはケドルラオメルに仕えた。しかし十三年目に彼らは反逆した。 十四年目に、ケドルラオメルと彼と共にいる王たちが来て、アシュタロテにいる巨人たちと、カルナイムと、彼らと同時に強い民族たちと、シャベの町にいるエミム人たちを切り倒した。 そして、セイルの山地にいるホリ人たちを、荒野にあるパランのテレビンスの木まで打ち破った。 そして引き返して彼らは裁きの泉に来た。これはカデシュである。そして彼らはアマレクの全ての支配者たちを切り倒した、そしてアサソンタマルに住んでいるアモリ人たちを。そしてソドムの王が出て行った、そしてゴモラの王、そしてアドマの王、そしてゼボイムの王、そしてバラクの王。これはゾアルである。そして彼らは彼らに対して戦いのた

めに陣を敷いた、塩の谷で、エラムの王ケドルラオメル、そして諸国の王ティダル、そしてシナルの王アムラフェル、そしてエラサルの王アリオクに対して、四人の王たちが五人に対して。 その塩の谷にはアスファルトの井戸があった。ソドムの王とゴモラの王は逃げて、そこに落ちた。残された者たちは山地へ逃げた。 彼らはソドムとゴモラの全ての馬と、彼らの全ての食べ物を取って、去った。 彼らはアブラムの兄弟の息子ロトと彼の荷物を取って去った。彼はソドムに住んでいたのである。 救われた者たちの一人が到着してヘブライ人アブラムに報告した。彼はアモリ人マムレの樫の木のそばに住んでいた。マムレはエシュコルの兄弟でオナンの兄弟であり、彼らはアブラムの同盟者たちであった。 アブラムは彼の兄弟ロトが捕虜にされたことを聞いて、彼自身の家で生まれた者たち三百十八人を数え、彼らの後を追ってダンまで追跡した。 そして彼は夜に彼自身と彼の子供たちと共に彼らに襲いかかり、彼らを打ち、ダマスコの左にあるホバまで彼らを追跡した。 そして彼はソドムのすべての馬を取り戻した。そして彼の甥ロトを取り戻した、そして彼のすべての所有物を、そして女たちを、そして民を。 ソドムの王は、彼がケドルラオメルと彼と共にいた王たちの討伐から戻った後、彼に会うために、シャベの谷へ出て行った。これは王たちの平野であった。 そしてメルキゼデク、サレムの王は、パンとぶどう酒を持ち出した。そして彼はいと高き神の祭司だった。 そして彼はアブラムを祝福し、そして言った、アブラムは天と地を創造した最も高い神によって祝福されている。 そして祝福されるべき神、最も高き方、その方があなたの敵たちをあなたに従属させて引き渡した。そしてアブラムは彼に全てから十分の一を与えた。 ソドムの王はアブラムに言った、私に男たちを与えよ、そして馬をあなた自身のために取れ。 アブラムはソドムの王に言った、天と地を創造された最も高き

神である主に向かって私は手を上げます、私はあなたのすべてのものから糸一本から靴紐一本まで取りません、あなたが私がアブラムを富ませたと言わないために。 若者たちが食べたものと、私と共に旅をした男たちエスコル、オナン、マムレの分を除いて。これらの者たちは分を受け取るだろう。

15

これらの言葉の後に、主の言葉が幻の中でアブラムに臨んだ、言った、恐れるなアブラム。私はあなたを守る。あなたの報いは非常に大きいだろう。 アブラムは言った、主なる主よ、あなたは私に何を与えてくださるのですか。 私は子供がいないまま去ります。そして私の家で生まれた者の息子、このダマスコのエリエゼルが。 そしてアブラムは言った、あなたは私に子孫を与えなかったので、私の家で生まれた者が私の跡を継ぐでしょう そしてすぐに主の声が彼に臨んで、言った、この者はあなたを相続しないだろう。しかしあなたから出る者、この者があなたを相続するだろう。 彼は彼を外に連れ出して、彼に言った、天を見上げなさい、そして星を数えなさい、もしあなたがそれらを数えることができるなら。そして言った、このようにあなたの子孫はなるだろう。 そしてアブラムは神を信じた、そしてそれは彼の義として数えられた。 そして彼に言った、私はあなたをカルデア人の地から導き出した神だ、あなたにこの地を相続させるために与えるために。 彼は言った、主なる御主人様、私は何によってそれを相続すると知ることができるでしょうか? そして彼に言った、私のために三歳の雌牛と、三歳の雌山羊と、三歳の雄羊と、山鳩と、鳩を取ってくれ。 彼は彼のためにこれら全てのもの

を取り、それらを真ん中で分け、それらを互いに向かい合わせに置いた。しかし鳥たちは分けなかった。 鳥たちが体の上に、それらの切り分けられた部分の上に降りて来た。そしてアブラムはそれらと一緒に座った。 太陽が西に沈む頃、恍惚状態がアブラムに襲いかかった。そして見よ、暗く大きな恐怖が彼に襲いかかる。 そしてアブラムに告げられた。よく知るがよい、あなたの子孫は自分のものでない地で寄留者となり、彼らは奴隷にされ、虐げられ、卑しめられるだろう、四百年間。 しかし彼らが仕えるその国を、私は裁く。そしてその後、彼らは多くの荷物と共にここから出て行くだろう。しかしあなたは平安のうちにあなたの先祖たちのもとへ去るだろう、立派な老齢を全うして。 第四の世代で彼らはここに戻るだろう。なぜならアモリ人の罪は今までまだ満たされていないからである。 太陽が西に沈んだ時、炎が現れた。そして見よ、煙を出している炉と火の松明が、これらの分けられた部分の間を通り抜けた。 その日に主はアブラムと契約を結び、こう言った、あなたの子孫にこの地を与えよう、エジプトの川から大いなるユーフラテス川まで。ケナ人、ケナズ人、カデモニ人、ヘテ人、ペリジ人、レファイム人、アモリ人、カナン人、ヒビ人、ギルガシ人、そしてエブス人の地を。

16

サライはアブラムの妻であったが、彼に子を産んでいなかった。彼女にはエジプト人の女奴隷がいて、その名はハガルといった。 サライはアブラムに言った、見よ、主は私が子を産まないように閉じ込めました。だから私の女奴隷のところに入ってください、彼女から

私が子供を得られるように。そしてアブラムはサライの声を聞いた。 そしてアブラムの妻サライは、エジプト人である自分の女奴隷ハガルを連れて、アブラムがカナンの地に住んで十年後、彼女を自分の夫アブラムに妻として与えた。 そして彼はハガルのところへ入り、彼女は身ごもった。そして彼女は自分が身ごもっていることを知り、女主人は彼女の前で軽んじられた。 サライはアブラムに言った、私はあなたから不当な扱いを受けています。私は私の女奴隷をあなたの懐に与えました。しかし彼女は自分が身ごもっているのを見て、私は彼女の前で軽んじられました。 神が私とあなたの間で裁きますように。 アブラムはサライに言った、見よ、あなたの女奴隷はあなたの手の中にいる。あなたに喜ばしいように彼女を使いなさい。 サライは彼女を苦しめた、そして彼女はサライの前から逃げた。 主の使いが彼女を見つけた、荒野の中の水の泉のところで、シュルへの道にある泉のところで。 そして主の使者は彼女に言った、ハガル、サラの女召使いよ、あなたはどこから来るのか。 そして、どこへ行くのですか? そして彼女は言った、私の女主人サラのもとから私は逃げているのです。 主の使者は彼女に言った、あなたの女主人のもとへ戻りなさい、そして彼女の手の下に身を低くしなさい。 そして主の使いは彼女に言った、私は必ずあなたの子孫を増やすだろう、そしてそれはその多さのために数えられないだろう。 そして主の使者は彼女に言った、見よ、あなたは胎内に子を宿している、そしてあなたは息子を産むだろう、そしてあなたは彼の名をイシュマエルと呼ぶだろう、なぜなら主はあなたの苦しみを聞いたからだ。 この者は野生的な人となるだろう。彼の手は全ての者の上にあり、そして全ての者の手は彼の上にある。そして彼は彼の全ての兄弟たちの面前に住むだろう。 そして彼女は自分に向かって話している主の名を呼んだ、あなたは私を見ている神と。なぜなら彼女は

言った、そして実に私は私に現れた方を目の前で見たと。 このゆえに彼はその井戸を、私が前に見た井戸と呼んだ。見よ、それはカデシュとバラデの間にある。 そしてハガルはアブラムに息子を産み、そしてアブラムはハガルが彼に産んだ彼の息子の名前をイシュマエルと呼んだ。 ハガルがアブラムにイシュマエルを産んだ時、アブラムは86歳だった。

17

アブラムは九十九歳になった。 そして主はアブラムに現れて、彼に言った、私はあなたの神である。私の前で喜ばれる者であれ、そして非の打ち所のない者になれ。 そして私は私の契約を私とあなたの間に置くだろう、そして私はあなたを非常に増やすだろう。 そしてアブラムはうつ伏せに倒れた。 そして神は彼に語って言った、そして私は、見よ、私の契約があなたと共にある。そしてあなたは多くの国々の父となるだろう。 そしてあなたの名前はもはやアブラムと呼ばれないだろう、しかしあなたの名前はアブラハムになるだろう、なぜなら私はあなたを多くの国民の父と定めたからだ。 そして私はあなたを非常に非常に増やすだろう、そして私はあなたを国々とするだろう、そして王たちがあなたから出るだろう。 そして私はわたしの契約を立てるだろう、あなたとの間に、そしてあなたの後のあなたの子孫との間に、彼らの世代において、永遠の契約として、あなたの神となるために、そしてあなたの後のあなたの子孫の神となるために。 そして私はあなたに、そしてあなたの後のあなたの子孫に与えるだろう、あなたが寄留しているその地を、すべてのカナンの地を、永遠の所有として。そして私は彼らの神となるだろ

う。 そして神はアブラハムに言った、しかしあなたはその あなたは私の契約を守るであろう、あなたもあなたの後のあなたの子孫も、彼らの世代において。 そしてこれが契約である、それをあなたは守るだろう、私とあなたたちの間、そしてあなたの後のあなたの子孫との間、彼らの世代に至るまで。あなたたちのすべての男子が割礼されるだろう。 そしてあなたがたはあなたがたの包皮の肉に割礼を受けるだろう、そしてそれは私とあなたがたの間の契約のしるしとなるだろう。 そして八日の子供はあなたたちのもとで割礼を受けるだろう、すべての男性が、あなたたちの世代において。そして家で生まれた者と銀で買われた者も、あなたの種からではないすべての異邦人の息子から。割礼をもってあなたの家の家で生まれた者は割礼を受けるだろう、そして銀で買われた者も。そして私の契約はあなたたちの肉の上に永遠の契約としてあるだろう。 そして割礼を受けていない男性、彼が八日目に彼の包皮の肉を割礼されないならば、その魂はその種族から断ち切られるだろう、なぜなら私の契約を破ったからである。 そして神はアブラハムに言った、あなたの妻サライは、その名がサライと呼ばれることはない。サラがその名となるだろう。 私は彼女を祝福するだろう、そして私はあなたに彼女から子供を与えるだろう、そして私はそれを祝福するだろう、そしてそれは諸国民となるだろう、そして諸国民の王たちが彼から出るだろう。 そしてアブラハムは顔を伏せて倒れ、笑った。そして彼は心の中で言った、百歳の者に息子が生まれるだろうかと。 そして、サラが九十歳で子を産むというのか？ アブラハムは神に言った、このイシュマエルがあなたの前に生きますように。 神はアブラハムに言った、はい、見よ、あなたの妻サラはあなたに息子を産むだろう、そしてあなたは彼の名をイサクと呼ぶだろう、そして私は私の契約を彼に対して立てるだろう、永遠の契約として、彼の神であ

り、そして彼の後の彼の子孫の神である。 イシュマエルについてだが、見よ、私はあなたの言うことを聞いた。そして見よ、私は彼を祝福した、そして私は彼を増やす、そして私は彼を非常に増し加える、彼は十二の国々を生む、そして私は彼を大いなる国にする。 しかし私の契約を私はイサクと立てるだろう、彼をサラがあなたに産むだろう、この時に、来年に。 神は彼と話すことを完了し、そして神はアブラハムのもとから上って行った。 そしてアブラハムは自分の息子イシュマエルと、彼の家で生まれた奴隷全員と、銀で買われた者全員と、アブラハムの家にいる男たちの全ての男性を連れて行き、その日のうちに彼らの包皮に割礼を施した、神が彼に語った通りに。 アブラハムは九十九歳だった、自分の包皮の肉に割礼を受けた時。 彼の息子イシュマエルは13歳でした、その時彼は彼の包皮の肉を割礼されました。 そしてその日の時に、アブラハムは割礼を受けた、そして彼の息子イシュマエル、そして彼の家のすべての男たち、そして彼の家で生まれた者たち、そして外国の民族から銀で買われた者たちも割礼を受けた。

18

神は彼に現れた、マムレの樫の木のところで、彼が真昼に彼の天幕の入口に座っていた時。 彼は目を上げて見た、そして見よ、三人の男たちが彼の前に立っていた。そして見ると、彼は彼のテントの入口から彼らに会うために走って行き、そして地にひれ伏した。 そして彼は言った、主よ、もしも私があなたの前で恵みを得ているのなら、あなたのしもべを通り過ぎないでください。 水を持って来させなさい、そして彼らにあなたたちの足を洗わせなさい、そして木の

下で涼みなさい。 私がパンを取りますから、あなたたちは食べてください。 そしてこの後、あなたたちは自分たちの道を進むでしょう、そのためにあなたたちは自分たちの僕のところへ立ち寄ったのです。 そして彼は言った、あなたが言った通りにそのようにしなさい。 そしてアブラハムは天幕へサラのところに急いで行き、彼女に言った、急げ、そして上質な小麦粉三メトラをこねて、パンを作れ。 そしてアブラハムは牛たちのところへ走って行き、柔らかくて良い子牛を取り、若者に与え、彼はそれを料理するのを急いだ。 彼はバターと、ミルクと、彼が作った子牛を取り、それらを彼らの前に置き、彼らは食べた。しかし彼自身は木の下で彼らのそばに立っていた。 そして彼は彼に言った、あなたの妻サラはどこにいますか? そして彼は答えて言った、見よ、天幕の中にいる。 彼は言った、戻って来る時、この時期に、私はあなたのところへ来るだろう、そしてあなたの妻サラは息子を持つだろう。 サラは聞いた。彼女はテントの入口にいて、その後ろにいた。 アブラハムとサラは年老いて日々を重ねていた、そしてサラには女性のことが起こることは止まっていた。 サラは心の中で笑って言った、今まで私にはまだ起こっていない。そして私の主人は年老いている。 そして主はアブラハムに言った、なぜサラは心の中で笑ったのか、本当に私は産むのだろうかと言って。 でも私は年を取った。 神にとって不可能なことがあるだろうか? この時に、時が来たら、私はあなたのところに戻ります。そしてサラには息子がいるでしょう。 しかしサラは否定して言った、私は笑いませんでした。彼女は恐れていたのである。 そして彼は彼女に言った、いや、あなたは笑ったのです。 そこから立ち上がって、男たちはソドムとゴモラの方を見下ろした。 アブラハムは彼らと一緒に旅していて、彼らを同伴して見送っていた。 そして主は言った、私は隠さないだろう、私の僕アブラハムから、私がす

ることを。 アブラハムは大きくて多い一つの国になるだろう、そして地の全ての国々は彼において祝福されるだろう。 私は知っていた、なぜなら彼は彼の息子たちと彼の後の彼の家に命令し、そして彼らは主の道を守り、正義と裁きを行うだろう、それは主が彼に語ったすべてのことをアブラハムの上にもたらすためである。 主は言った、ソドムとゴモラの叫びは私のもとに増え広がった、そして彼らの罪は非常に大きい。 だから降りて行って見よう、私のところに届いている彼らの叫びの通りのことが行われているかどうかを。もしそうでないなら、それを知るために。 そしてそこから立ち去った男たちはソドムへ来た。しかしアブラハムはまだ主の前に立っていた。 そしてアブラハムは近づいて言った、正しい者を不敬虔な者と一緒に滅ぼさないでください。そして正しい者が不敬虔な者のようになるでしょう。 もし五十人の正しい者たちがその町にいるなら、あなたは彼らを滅ぼすのですか。 もしその中に五十人の正しい者たちがいるなら、あなたは彼らのためにその場所全体を解放しないのですか？ あなたは決してこの言葉のようなことをしないでしょう、正しい者を不敬虔な者と共に殺すことを、そして正しい者が不敬虔な者のようになることを。決して。全ての地を裁く方よ、あなたは裁きをしないのですか。 主は言った、もしソドムの町に五十人の正しい者たちがいるならば、私は彼らのゆえにその町全体とその場所すべてを残すだろう。 そしてアブラハムは答えて言った、今私は私の主に向かって話し始めました。しかし私は土と灰です。 もしその五十人の正しい者たちが四十五人に減らされたら、あなたはその五人のゆえに町全体を滅ぼすのですか。 そして言った、もし私がそこに四十五人を見つけたら、滅ぼさないだろう。 そして彼は彼に向かってさらに話し続けて言った、しかしもしそこに四十人が見つかるならば。そして彼は言った、私は四十人のゆえに滅ぼさない。

そして彼は言った、主よ、私が話してもよろしいでしょうか？ でももしそこに三十人が見つかるなら? そして彼は言った、私は三十人のために滅ぼさない。 そして彼は言った、私は主に向かって話すことがあるので、しかしもし二十人がそこで見つかるならば。 そして言った、もし私がそこに二十人を見つけるならば、私は滅ぼさない。 そして彼は言った、主よ、もう一度話しても構いませんか？ もしそこに10人いたら? そして彼は言った、私は十人のために滅ぼさないだろう。 主はアブラハムに話すことをやめた時去った。そしてアブラハムは自分の場所へ戻った。

19

二人の使者たちは夕方ソドムに来た。 ロトはソドムの門のそばに座っていた。そしてロトは見て、彼らに会うために立ち上がり、顔を地面に伏せた。 そして彼は言った、ご覧ください、ご主人様たち、あなたたちの僕の家に立ち寄って、泊まって、あなたたちの足を洗って、早朝に起きてあなたたちの道へ出発してください。 彼らは言った、いいえ、私たちは広場で泊まります。 そして彼は彼らを強く促した、そして彼らは彼の方へ向きを変えた、そして彼らは彼の家に入った。そして彼は彼らに飲み物を作った、そして彼は彼らに種なしパンを焼いた、そして彼らは食べた。 眠る前に、その町の男たち、すなわちソドム人たちは、若い男から年長者まで、全ての民が一緒になって、その家を囲んだ。 そして彼らはロトを呼び出して、彼に言った、今夜あなたのところに入って来た男たちはどこにいるのか。 彼らを私たちのところへ連れ出せ、私たちが彼らと親族になれるように。 ロトは入口で彼らの方へ出て行った、そして戸を

彼の後ろで閉めた。 彼は彼らに言った、決して兄弟たちよ、悪を行ってはならない。 私には二人の娘がいる。彼女たちは男を知らない。私は彼女たちをあなたたちのところへ連れ出そう。そしてあなたたちの好きなように彼女たちを扱いなさい。ただこれらの男たちには不正なことをしないでくれ。彼らは私の家の屋根の下に入ったのだから。 彼らは彼に言った、そこから離れろ。お前は寄留するために入って来たのに、裁きまで下すつもりか。 さあだから、あなたをあの人たちよりももっとひどく扱おう。 そして彼らはロトという男を非常に強く迫っていた、そして彼らはそのドアを壊すために近づいた。 手を伸ばして、その男たちはロトを自分たちの方へ家の中に引き入れ、そして家の戸を閉めた。 その家の戸口にいる男たちを、小さい者から大きい者まで、盲目で打った。そして彼らは戸を探しながら疲れ果てた。 そしてその男たちはロトに言った、ここにあなたの義理の息子たちか、または息子たちか、または娘たちがいるか。 もしあなたにこの町に他の誰かがいるなら、この場所から連れ出せ。なぜなら私たちはこの場所を滅ぼすからだ。彼らの叫びが主の前で高まったので、主が私たちを遣わしてそれを滅ぼすのだ。 ロトは外に出た、そして彼の娘たちを娶った彼の婿たちに向かって話して言った、立ち上がれ、そしてこの場所から出て行け、なぜなら主がその町を滅ぼすからだ。しかし彼は彼の婿たちの前で冗談を言っているように見えた。 夜明けになった時、使者たちはロトを急がせて言った、立ち上がってあなたの妻を連れて行け、そしてあなたの二人の娘たちを連れて行け、そして出て行け、あなたもその町の不法な行いと共に滅びないために。 そして彼らは動揺した、そして使者たちは彼の手と彼の妻の手と彼の二人の娘たちの手を掴んだ、主が彼を憐れんだので。 そして彼らを外へ連れ出した時になった、そして彼らは言った、あなた自身の魂を救いながら救え。後ろ

を振り返るな、そしてすべての周辺地域に立ち止まるな。山へ逃げよ、一緒に巻き込まれないように。 ロトは彼らに向かって言った、お願いします、主よ、あなたのしもべがあなたの前で憐れみを見つけたので、そしてあなたは私に対して行うあなたの義を大きくして、私の魂を生かしてくださいました。しかし私は山へ救われることができません、悪が私を捕らえて、私が死なないように。 見よ、この町は私がそこへ逃げて避難するのに近い、それは小さい。そしてそこで私は救われるだろう。小さくないか。 そして私の魂はあなたのために生きるだろう。 そして彼は彼に言った、見よ、私はあなたの顔を尊重した、そしてこのことについても、あなたが話したその都市を滅ぼさないことにする。 だからそこで救われるために急ぎなさい、なぜなら私は何もすることができないだろう、あなたがそこへ来るまで。 このゆえに彼はその町の名をセゴルと呼んだ。 太陽が地の上に出て、ロトはセゴルに入った。 そして主は主から天からソドムとゴモラの上に硫黄と火を降らせた。 そして彼はこれらの都市を滅ぼし、全ての周辺地域と、都市に住んでいる全ての住民と、地から生えているものを滅ぼした。 そして彼の妻は後ろを見た、そして塩の柱になった。 アブラハムは朝早く起きて、彼が主の前に立っていた場所へ行った。 そして彼はソドムとゴモラの地を見下ろし、その周辺地域の地を見下ろし、そして見た。すると見よ、炎が地から立ち上っていた、炉の煙のように。 そして神が周辺地域のすべての町を滅ぼした時、神はアブラハムを思い出した。そして主がロトが住んでいた町々を滅ぼした時、神はロトを滅びの中から送り出した。 ロトはセゴルから上って行った、そして彼自身と彼の二人の娘たちは彼と共に山に住んだ。というのも彼はセゴルに住むことを恐れたからである。そして彼自身と彼の二人の娘たちは彼と共に洞窟に住んだ。 姉が妹に言った、私たちの父は年老いている、そし

て地上には、全ての地にふさわしいように私たちのところに入って来る者が誰もいない。 ここで私たちの父にワインを飲ませて、彼と一緒に寝て、私たちの父から子種を起こそう。 彼女たちはあの夜、父に酒を飲ませた。そして姉が入って来て、あの夜、父と共に寝た。そして父は、自分が横になる時も起き上がる時も知らなかった。 翌日になった、そして姉が妹に向かって言った、見よ、私は昨日私たちの父と寝た。私たちは彼にワインを飲ませよう、そしてこの夜に、あなたが入って彼と寝なさい、そして私たちは私たちの父から子孫を起こそう。 そしてその夜にも彼女たちは父にワインを飲ませた。そして妹が入って来て父と寝た。そして彼は彼女が寝た時も起き上がった時も気づかなかった。 そしてロトの二人の娘たちは彼女たちの父から身ごもった。 そして年上の女は息子を産み、彼女は彼の名前をモアブと呼んだ、私の父からと言って。この者は今日の日までモアブ人たちの父である。 妹も息子を産んだ。そして彼女は彼の名前をアンモンと呼んで、言った、私の一族の息子。この者は今日の日までアンモン人の父である。

20

そしてアブラハムはそこから南の方へ向かう地へ移動した。そして彼はカデシュとシュルの間に住んだ。そして彼はゲラルに滞在した。 アブラハムは彼の妻サラについて彼女は私の姉妹ですと言った。なぜなら彼は彼女は私の妻ですと言うことを恐れたからである、その町の男たちが彼女のために彼を殺すかもしれないと。そしてゲラルの王アビメレクは人を送って、サラを取った。 そして神は夜の眠りの中でアビメレクのところへ入って来て、言った、見よ、

あなたが取った女について、あなたは死ぬ。この女は男と一緒に住んでいるのだ。 アビメレクは彼女に触れなかった。そして言った、主よ、無知な民族と正しい者をあなたは滅ぼすのですか。 彼自身が私に彼女は私の姉妹ですと言わなかったか? そしてこの女性は私に言った、彼は私の兄弟ですか? 清い心においてそして手の正しさにおいて、私はこれをした。 神は夢の中で彼に言った、そして私は知っていた、あなたが清い心でこれをしたことを、そして私はあなたを憐れんで、あなたが私に対して罪を犯さないようにした。このゆえに私はあなたが彼女に触れることを許さなかった。 さて、その女をその男に返しなさい。なぜなら彼は預言者だからだ。そうすれば彼はあなたのために祈り、あなたは生きるだろう。しかしもし返さないなら、あなたは知るだろう、あなたとあなたのすべてのものが死ぬということを。 そしてアビメレクは朝早く起きて、彼の家来たち全員を呼び、これらの言葉全てを彼らの耳に話した。そして全ての人々は非常に恐れた。 そしてアビメレクはアブラハムを呼んで、彼に言った、あなたは何をこれ私たちにしたのか。 私たちはあなたに罪を犯していないのではないか、なぜならあなたは私と私の王国に大きな罪をもたらしたのだから。 誰もしないだろう仕事を、あなたは私にしてくれた。 アビメレクはアブラハムに言った、何を見てあなたはこれをしたのか? アブラハムは言った、私はこの場所には神への畏れがないので、彼らは私の妻のゆえに私を殺すだろうと言ったのです。 そして実に、彼女は父からの私の姉妹ですが、母からではありません。そして彼女は私の妻になりました。 そして神が私を私の父の家から導き出した時、私は彼女に言った、あなたは私に対してこの正しいことをしてくれ。私たちが入って行くすべての場所で、私について彼は私の兄弟ですと言ってくれ。 アビメレクは千ドラクマと羊と子牛と子供たちと女奴隷たちを取り、アブラハムに与

えた。そして彼に彼の妻サラを返した。 そしてアビメレクはアブラハムに言った、見よ、私の土地があなたの前にある。どこでもあなたが気に入る所に住みなさい。 サラに彼は言った、見よ、私はあなたの兄弟に千ドラクマを与えた。これらはあなたの顔の名誉となるだろう、そしてあなたと共にいる全ての者たちにも。そして真実を語れ。 アブラハムは神に祈った。そして神はアビメレクと彼の妻と彼の女奴隷たちを癒した。そして彼女たちは子を産んだ。 主がアビメレクの家のすべての胎を外から完全に閉じ込めたのは、アブラハムの妻サラのゆえであった。

21

そして主はサラを訪れた、ちょうど彼が言った通りに。そして主はサラに対してなした、ちょうど彼が語った通りに。 そして身ごもって、彼女はアブラハムに老年に息子を産んだ、主が彼に語った通りの時に。 そしてアブラハムは、サラが彼に産んだ、彼に生まれた息子の名前をイサクと呼んだ。そしてアブラハムは、神が彼に命じた通りに、八日目にイサクに割礼を施した。 そしてアブラハムは百歳だった、彼の息子イサクが彼に生まれた時。 サラは言った、主は私に笑いをもたらしてくださった。これを聞く人は誰でも私と共に喜ぶでしょう。 そして誰がアブラハムにサラが子供に授乳していると告げるだろうかと言った。 私は老年において息子を産んだのだから。 そしてその子供は成長し、乳離れした。そしてアブラハムは彼の息子イサクが乳離れしたその日に大きな宴会を開いた。 サラはエジプト人ハガルの息子を見た。その息子はアブラハムに生まれた者で、彼女の息子イサクと遊んでいた。そしてサラはアブラハムに

言った、この女奴隷を追い出しなさい、そして彼女の息子も。なぜならこの女奴隷の息子は私の息子イサクと共に相続することはないからです。 そしてその言葉は、彼の息子について、アブラハムには非常に厳しく思われた。 神はアブラハムに言った、その子供についてと、その女奴隷について、あなたにとって辛いことであってはならない。サラがあなたに言う全てのことについて、彼女の声を聞きなさい。なぜならイサクにおいて、あなたの子孫が呼ばれるであろうから。 そしてこの女奴隷の息子も、私は彼を大いなる国民とするだろう、なぜなら彼はあなたの子孫だから。 アブラハムは朝起きて、パンと水の皮袋を取り、ハガルに与えた。そして彼女の肩に子供を載せて、彼女を送り出した。去って行った彼女は、誓いの井戸のあたりの荒野をさまよった。 水は革袋から尽きた。そして彼女は子供を一本のもみの木の下に置いた。去って行って、彼女は弓の射程ほど遠く離れて、彼の向かいに座った。というのは彼女は言ったからである、私は私の子供の死を見たくないと。 そして彼女は彼から離れて座った。そして子供は叫び声を上げて泣いた。 神は子供の声をそれがいた場所から聞いた。そして神の使いが天からハガルを呼んで、彼女に言った、何ですかハガル。 恐れるな。神はその子供の声を聞いたのだ、その子が今いる場所で。 起きなさい、そしてその子供を取り、あなたの手でそれをしっかり握りなさい。というのも私はそれを大いなる国民とするだろうから。 そして神は彼女の目を開けた。そして彼女は生ける水の井戸を見た、そして行った、そして皮袋を水で満たした、そしてその子供に飲ませた。 そして神はその子供と共にいた。そしてその子は成長し、荒野に住んだ。そしてその子は弓使いになった。 そして彼は荒野に住んだ。そして母は彼のためにエジプトのパランから妻を迎えた。 その時に起こった。そしてアビメレクと、彼の友人アフザトと、彼の軍隊の最高司令官

ピコルが、アブラハムに向かって言った、神はあなたが行うすべてのことにおいて、あなたと共におられる。 さあだから、神にかけて私に誓え、あなたは私に不正をしないこと、私の子孫にも、私の名にも。しかし、私があなたと共にした正義に従って、あなたは私と共にし、そしてあなたがその中に寄留したその地に対してもするだろう。 そしてアブラハムは言った、私は誓います。 そしてアブラハムはアビメレクを責めた、アビメレクの僕たちが奪い取った水の井戸について。 そしてアビメレクは彼に言った、私は誰があなたにこの事をしたのか知らなかった。あなたも私に告げなかったし、私も聞かなかった、今日まで。 そしてアブラハムは羊と子牛を取り、アビメレクに与えた。そして両者は契約を結んだ。 そしてアブラハムは七匹の雌の子羊を別にした。 そしてアビメレクはアブラハムに言った、あなたが別に分けて立てたこれらの羊の七匹の雌の子羊は何ですか。 そしてアブラハムは言った、あなたが私から七匹の雌羊を受け取るのは、私がこの井戸を掘ったということの証拠が私にあるためです。 このゆえに彼はその場所の名前を誓いの井戸と名付けた。なぜならそこで両者が誓ったからである。 そして彼らは誓いの井戸で契約を結んだ。そしてアビメレクと彼の友人アフザテと彼の軍の総司令官ピコルは立ち上がって、ペリシテ人の地へ帰って行った。 そしてアブラハムは誓いの井戸のところに畑を植えた。そして彼はそこで主の名、永遠の神を呼び求めた。 そしてアブラハムはペリシテ人の地に多くの日々滞在した。

22

そして、これらの言葉の後、神はアブラハムを試された。そして彼

に言われた、アブラハム、アブラハム。そして彼は言った、はい、ここにおります。 そして言った、あなたの愛する息子、あなたが愛したイサクを連れて、高い地へ行き、私があなたに告げる山々の一つで、彼を全焼の捧げ物として捧げよ。 アブラハムは朝早く起きて、ろばに鞍を置いた。そして彼は二人の若者と息子イサクを連れて行った。そして全焼のいけにえのための薪を割り、立ち上がって出発し、神が彼に告げた場所に三日目に到着した。 そしてアブラハムは目を上げて、その場所を遠くに見た。 そしてアブラハムは彼の子供たちに言った、ここでロバと一緒に座りなさい。私とその子供は向こうまで行く。そして礼拝して、私たちはあなたたちのところへ戻る。 アブラハムは全焼のいけにえの木を取り、それを彼の息子イサクに載せた。そして自分の手には火と剣を取り、そして二人は一緒に行った。 イサクは自分の父アブラハムに向かって言った、父よ。すると彼は言った、何だ、子よ。 彼は言った、そして、見よ、火と薪がある、全焼のいけにえのための羊はどこにあるのか。 アブラハムは言った、神ご自身が全焼のいけにえのための羊を備えてくださるだろう、わが子よ。 そして二人とも同時に行って、神が彼に言った場所に来た。そしてアブラハムはそこに祭壇を建て、薪を置いた。そして彼の息子イサクを縛り、彼を薪の上の祭壇の上に置いた。 そしてアブラハムは息子を屠るために、剣を取ろうと手を伸ばした。 そして主の使いが天から彼を呼んで言った、アブラハム、アブラハム。そして彼は言った、ここにいます。 そして言った、あなたの手をその子供の上に置くな、また彼に何もするな。なぜなら今私は知ったからだ、あなたが神を恐れていることを。そしてあなたはあなたの愛する息子を私のために惜しまなかった。 そしてアブラハムは目を上げて見た、そして見よ、一匹の雄羊が角で茂みに捕らえられていた。 そしてアブラハムは行き、その雄羊を取り、それを

彼の息子イサクの代わりに全焼のいけにえとして捧げた。 そしてアブラハムはその場所の名前を主は見ると呼んだ。それで彼らは今日山で主が現れたと言うのである。 そして主の使いは天から二度目にアブラハムを呼んで、言った、私自身にかけて私は誓った、と主は言う、あなたがこの事を行い、そしてあなたの愛する息子を私のために惜しまなかったので、本当に祝福して私はあなたを祝福する、そして増やして私はあなたの子孫を増やす、天の星のように、そして海の岸辺の砂のように。そしてあなたの子孫は敵の町々を受け継ぐだろう。 そして、あなたの子孫によって地のすべての国々は祝福されるだろう、あなたが私の声に従ったから。 アブラハムは自分の若者たちのところへ戻った。そして立ち上がって、彼らは一緒に誓いの井戸へ行った。 そしてアブラハムは誓いの井戸のそばに住んだ。 これらの言葉の後に起こった。そしてアブラハムに報告された、言うには、見よ、ミルカも彼女があなたの兄弟ナホルに息子たちを産んだ。長子ウズと、彼の兄弟ブズと、シリア人の父カムエルと、ケセデと、ハゾと、ピルダシュと、イエルダフと、ベトエルを。 ベトエルはリベカを生んだ。 これら八人は息子たちである、ミルカがアブラハムの兄弟ナホルに産んだ。 そして彼の側室、その名前はレウマであるが、彼女もまたテバとガハムとタハシュとマアカを産んだ。

23

そしてサラの人生は、百二十七年であった。 そしてサラはアルボクの町で死んだ、それは谷の中にある。これはカナンの地のヘブロンである。そしてアブラハムはサラのために嘆き、悲しむために来

た。 そしてアブラハムは彼の死者のそばから立ち上がった。そしてアブラハムはヘテの息子たちに言った、寄留者であり一時的な住人である私はあなたがたと共にいる。だから私に墓の所有地をあなたがたの中で与えてくれ、そして私は私の死者を私のもとから葬ろう。 ヘテの息子たちはアブラハムに答えて言った、いいえ、主よ。私たちの言うことを聞いてください。あなたは私たちの中で神からの王です。私たちの選ばれた墓の中にあなたの死者を葬りなさい。というのも私たちの誰も、そこにあなたの死者を葬るために、彼の墓をあなたから妨げることは決してないでしょう。 立ち上がって、そしてアブラハムはその地の民に、ヘテの息子たちに礼をした。 そしてアブラハムは彼らに向かって話した、言った、もしあなたがたがあなたがたの魂を持っているならば、私の死体を私の顔から葬るために、私の言うことを聞きなさい、そして私について、サアルの息子エフロンに話しなさい。 そして彼に私に二重の洞窟を与えさせよ、それは彼のものであり、彼の畑の一部にあるものを。正当な価値の銀で、あなたがたは私にそれを与えよ、墓の所有のために。 エフロンはヘテの息子たちの真ん中に座っていた。そしてヒッタイト人エフロンはアブラハムに答えて言った、ヘテの息子たちと町に入るすべての者たちが聞いている中で、私のもとに来てください、主よ、そして私の言うことを聞いてください。畑と、その中にある洞窟を、あなたに与えます。私の市民すべての前であなたに与えました。あなたの死者を葬ってください。 そしてアブラハムはその地の民の前で礼拝した。 そして彼はその地の民の前でエフロンの耳に言った、もしよろしければ、私の言うことを聞いてください。その畑の銀を私から受け取ってください、そして私は私の死者をそこに葬ります。 エフロンはアブラハムに答えて言った、いいえ、主よ、聞いてください。土地は銀四百シェケルです。しかしこれが私とあ

なたの間で何になるでしょうか。 あなたはあなたの死者を埋葬しなさい。 そしてアブラハムはエフロンの言うことを聞いた。そしてアブラハムはエフロンに銀を量り渡した、彼がヘテの息子たちの耳に語った銀を、商人たちに認められた銀の四百シェケルを。 そしてエフロンの畑は確定した。それは二重の洞穴にあり、マムレの前にある。その畑とその洞穴、それはその中にあったもの、そして全ての木、それはその畑の中にあったもの、そして全てのもの、それはその境界の周りにあるものが、アブラハムの所有として、ヘトの息子たちの前で、そして全ての町に入る者たちの前で確定した。 これらのことの後、アブラハムは彼の妻サラを二重の畑の洞窟に葬った、それはマムレの前にある。これはカナンの地にあるヘブロンである。 そしてその畑とその中にあった洞窟が、ヘテの息子たちから、アブラハムに墓の所有地として確認された。

24

そしてアブラハムは年老いていた、日々を重ねて。そして主はアブラハムをすべてにおいて祝福した。 そしてアブラハムは、彼の家の年長者で彼のすべてのものの支配者である彼の僕に言った、あなたの手を私の太ももの下に置け そして私はあなたに誓わせる、天の神である主と地の神にかけて、私の息子イサクのために妻をカナン人の娘たちから取らないことを、その民の中に私が住んでいるが。 しかし、私が生まれた私の土地へ、私の部族のところへ行って、そこから私の息子イサクのために妻を娶ってくれ。 そしてその子は彼に言った、もしその女がこの地へ私と一緒に戻って行くことを望まないならば、私はあなたの息子をあなたがそこから出て来た地へ連れ

戻しましょうか。 アブラハムは彼に言った、気をつけろ、私の息子をそこに連れ戻してはならない。 天の神である主、そして地の神、私を私の父の家から取った方、そして私が生まれた地から取った方、私に語った方、そして私に誓った方、言って、あなたにこの地を与える、そしてあなたの子孫にと、彼自身が彼の使者をあなたの前に送るだろう、そしてあなたは私の息子のために妻をそこから取るだろう。 もしその女がお前と一緒にこの地へ行くことを望まないなら、お前は私の誓いから解放されるだろう。ただ私の息子をそこへ連れ戻してはならない。 そしてその子は自分の手を自分の主人アブラハムの腿の下に置き、この事について彼に誓った。 そしてそのしもべは彼の主人のらくだから十頭のらくだを取り、彼の主人のすべての良いものを自分と共に持って行った。そして立ち上がって彼はメソポタミアのナホルの町へ行った。 そして彼はラクダたちを町の外の水の井戸のそばに跪かせた、夕方頃、その時水を汲む女たちが出て来る時刻に。 そして彼は言った、主よ、私の主人アブラハムの神よ、今日私の前で成功を与えてください、そして私の主人アブラハムに憐れみを行ってください。 見よ、私は水の泉のそばに立っている。そして町に住んでいる者たちの娘たちは水を汲みに出て来る。 そして、私があなたの水がめを傾けて、私が飲めるようにと言う処女が、私にあなたは飲みなさい、そしてあなたのラクダたちにも私が飲ませましょう、彼らが飲むのをやめるまでと言うなら、この者があなたがあなたの子イサクのために備えた者となるでしょう。そしてこのことによって私は知るでしょう、あなたが私の主人アブラハムに憐れみをなしたことを。 そして彼が心の中で話し終える前に起こった、そして見よ、リベカが出て来た、ベトエルの娘で、ナホルの妻ミルカの息子の娘、アブラハムの兄弟の、彼女の肩に水がめを持って。 その処女は見た目が非常に美しかった。処女

だった、男は彼女を知らなかった。泉へ下って行って、彼女の水がめを満たして、上って行った。 その子供は彼女に会うために駆け寄り、そして言った、あなたの水がめから私に少しの水を飲ませてください。 彼女は言った、飲んでください、ご主人様と。そして急いで水がめを彼女の腕に下ろし、彼が飲むのをやめるまで彼に飲ませた。 そして彼女は言った、あなたのラクダたちにも水を汲みましょう、全部が飲むまで。 そして彼女は急いで水がめを水飲み場に空け、再び水を汲むために井戸へ走り、全てのラクダたちに水を汲んだ。 その男は彼女をじっと観察していた。そして主が彼の道を繁栄させたかどうかを知るために沈黙を保っていた。 すべてのラクダが飲むことをやめた時、その男は重さ一ドラクマの金の耳飾りと、重さ十ドラクマの金の二つの腕輪を彼女の手に取った。 そして彼は彼女に尋ねて言った、あなたは誰の娘ですか。 私に告げてください、あなたの父のもとに私たちが泊まる場所があるかどうかを。 彼女は彼に言った、私はベトエルの娘です。ミルカがナホルに産んだ子です。 そして彼女は彼に言った、わらも飼料もたくさん私たちのところにありますし、泊まる場所もあります。 そしてその男は喜んで主に礼拝した。そして言った、祝福されますように、私の主人アブラハムの神である主よ。その方は私の主人に対する彼の正義と真理を捨てなかった。そして主は私を私の主人の兄弟の家へ導いた。 そして、その娘は走って行って、これらの言葉通りに彼女の母の家に報告した。 リベカには兄弟がいて、その名前はラバンだった。そしてラバンは外の泉のところへその男に向かって走った。 そして彼が耳飾りを見た時、そして腕輪が彼の妹の手にあるのを見た時、そして彼が彼の妹リベカの言葉を聞いた時になった、彼女がこのように男が私に話したと言っていた、そして彼は男のところへ来た、彼がラクダのそばに泉のところに立っていた時に。 そして彼は彼に言っ

た、ここに入りなさい、主に祝福された者よ。なぜあなたは外に立っているのですか。 私は家を準備した、そしてラクダたちのための場所も準備した。 その男は家に入り、ラクダたちの荷を降ろした。そして彼はラクダたちに藁と飼料を与え、彼の足と彼と共にいる男たちの足を洗うための水を与えた。 そして彼は彼らの前に食べるためのパンを出した。そして彼は言った、私は食べない、私の言葉を話すまでは。そして彼は言った、話しなさい。 そして彼は言った、私はアブラハムの子です。 主は私の主人を非常に祝福し、彼は高められた。そして彼に羊と子牛と銀と金と僕たちと女奴隷とラクダとロバを与えた。 そして私の主人の妻サラは、私の主人に一人の息子を、彼が年老いた後に産んだ。そして彼に、彼にあったものすべてを与えた。 そして私の主人は私に誓わせて言った、お前は私の息子に妻を取ってはならない、カナン人たちの娘たちから、私が彼らの地に寄留しているその中において。 しかしあなたは私の父の家へ行き、私の部族へ行き、そしてそこから私の息子のために妻を迎えるだろう。 私は私の主に言いました、もしかしたらその女性は私と一緒に行かないかもしれません。 そして彼は私に言った、主なる神、私がその御前で喜ばれた方が、御自身の使者をあなたと共に送り出されるだろう。そして彼はあなたの道を繁栄させるだろう。そしてあなたは私の息子のために、私の部族から、そして私の父の家から妻を娶るだろう。 その時あなたは私の呪いから解放されるだろう。というのも、もしあなたが私の部族に来て、彼らがあなたに与えないなら、あなたは私の誓いから解放されるだろう。 そして今日泉のところに来て私は言いました、私の主人アブラハムの神である主よ、もしあなたが私の道を、その中を私が今行っているところの道を、繁栄させてくださるなら、見よ、私は水の泉のところに立っています。そして町の人々の娘たちが水を汲みに出て来ます。そして

私があなたの水がめから私に少しの水を飲ませてくださいと言う処女が、私にあなたも飲みなさい、そしてあなたのらくだたちにも私は水を汲んであげましょうと言うなら、この女が主がご自分のしもべイサクのために備えた女です。そしてこのことによって私は知るでしょう、あなたが私の主人アブラハムに憐れみをなさったことを。 そして私が心の中で話し終える前に、すぐにレベッカが水がめを肩に載せて出て来た。そして彼女は泉へ下って行き、水を汲んだ。そして私は彼女に言った、私に飲ませてください。 そして急いで彼女は水がめを自分の腕に下ろし、そして言った、あなたは飲みなさい、そしてあなたのらくだたちにも私は水を飲ませましょう、そして彼は飲んだ、そしてらくだたちにも彼女は水を飲ませた。 そして私は彼女に尋ねて言った、あなたは誰の娘ですか、私に告げなさい。すると彼女は言った、私はベトエルの娘です、ナホルの息子の娘で、ミルカが彼に産んだ者です。そして私は彼女に耳飾りをつけ、そして腕輪を彼女の手につけた。 そして喜んで私は主に礼拝し、私の主人アブラハムの神である主を祝福した。その方は真実の道において私を繁栄させ、私の主人の兄弟の娘を彼の息子のために迎えることができるようにしてくださった。 だからもしあなたたちが私の主人に対して慈悲と正義を行うなら。しかしもしそうでないなら、私に知らせなさい、私が右か左に向かえるように。 ラバンとベトエルは答えて言った、この事は主から出た。私たちはあなたに悪いとも良いとも言うことができないだろう。 見よ、リベカはあなたの前にいる。連れて行って出発せよ。そして彼女があなたの主人の息子の妻になるように、主が語られた通りに。 アブラハムの子供が彼らの言葉を聞いた時、地にひれ伏して主を礼拝した。 そしてその子は銀の器と金の器と衣服を持ち出して、リベカに与えた。そして贈り物を彼女の兄弟と彼女の母に与えた。 そして彼と彼と共にい

る男たちは食べて飲んで、眠った。そして朝起き上がって言った、私を送り出してください、私の主のところへ行けるように。 彼女の兄弟たちと母は言った、その娘を私たちと共に十日ほど留まらせてください、そしてその後に彼女は出発するでしょう。 彼は彼らに言った、私を引き止めないでください。主は私の道を繁栄させてくださいました。私を送り出してください、私の主人のところへ行けるように。 彼らは言った、その娘を呼んで、彼女自身に尋ねよう。そして彼らはリベカを呼んで、彼女に言った、あなたはこの男と一緒に行きますか。 彼女は行きますと言った。 そして彼らは彼らの妹リベカと、彼女の持ち物と、アブラハムのしもべと、彼と共にいる者たちを送り出した。 そして彼らはレベカを祝福し、彼女に言った、あなたは私たちの姉妹です、何千何万にもなりなさい、そしてあなたの子孫が敵対者たちの町々を受け継ぎますように。 リベカと彼女の侍女たちは立ち上がり、ラクダに乗り、そして男と共に行った。そして僕がリベカを連れて去った。 イサクは荒野を通って幻の井戸のところを通過していた。そして彼は南の方の土地に住んでいた。 そしてイサクは夕方に向かって平野へ瞑想するために出て行った、そして彼は目を上げて、来るラクダたちを見た。 そしてリベカは目を上げてイサクを見た。そして彼女はラクダから飛び降りた。そして彼は子供に言った、私たちに会うために野原を歩いて来るあの男は誰ですか。 子供は言った、この人は私の主人ですそして彼女はそのベールを取って身にまとった。 そしてその子はイサクに、彼がしたすべてのことを語った。 イサクは彼の母の家に入り、リベカを娶り、彼女は彼の妻となり、彼は彼女を愛した。そしてイサクは彼の母サラについて慰められた。

25

アブラハムは更に妻を娶った、その名はケトラであった。 彼女は彼にゾムブラン、イエザン、マダル、ミディアン、イエスボク、ソイエを産んだ。 ヨクシャンはシェバとデダンを生んだ。デダンの息子たちはアシュリム、レトゥシム、そしてレウミム。 ミディアンの息子たちはゲファル、エフェル、エノク、アビダ、そしてエルダア。これら全てはケトラの息子たちだった。 アブラハムは彼の全ての所有物を彼の息子イサクに与えた。 そして彼の側室たちの息子たちにアブラハムは贈り物を与え、彼がまだ生きている間に、彼らを彼の息子イサクから東へ、東の地へ送り出した。 これらはアブラハムが生きた生涯の日々の年である、百七十五年。 そしてアブラハムは衰えて、良い老年において老人として死んだ、そして日々に満ちて、そして彼は彼の民に加えられた。 そして彼の息子たちイサクとイシュマエルは彼を二重の洞穴に、ヒッタイト人ツォハルの息子エフロンの畑に葬った。それはマムレの前にある。その畑と洞穴をアブラハムはヘトの息子たちから獲得した。そこで彼らはアブラハムと彼の妻サラを葬った。 アブラハムが死んだ後に起こった。神は彼の息子イサクを祝福した。そしてイサクは幻の井戸のそばに住んだ。 これらはアブラハムの息子イシュマエルの系図である。彼はサラの女奴隷であるエジプト人ハガルがアブラハムに産んだ者である。 そしてこれらはイシュマエルの息子たちの名前で、彼の世代の名前による。イシュマエルの長子ネバヨテ、そしてケダル、そしてアドベエル、そしてミブサム、そしてミシュマ、そしてドマ、そしてマサ、そしてハダド、そしてテマ、そしてエトル、そしてナフィシュ、そしてケデマ。 これらはイシュマエルの息子たちであり、これらは彼らの

天幕と彼らの集落における彼らの名前である。彼らの部族に従った十二人の統治者たちである。 そしてこれらはイシマエルの生涯の年である、百三十七年。そして衰えて彼は死に、そして彼は彼の民族に加えられた。 彼はハビラからシュルまで住んだ、それはエジプトの前にあり、アッシリアに向かうまでである。彼は彼の兄弟たち全ての前に住んだ。 そしてこれらはアブラハムの息子イサクの系図である。アブラハムはイサクを生んだ。 イサクは四十歳だった、彼がレベッカを妻として娶った時、彼女はシリアのメソポタミア出身のシリア人ベトエルの娘で、シリア人ラバンの姉妹であった。 イサクは彼の妻リベカについて主に祈った、なぜなら彼女は不妊だったから。そして神は彼の祈りを聞き、彼の妻リベカは身ごもった。 子供たちが彼女の中で跳ねていた。そして彼女は言った、もしこのように私に起こることになるなら、どうして私にこれがあるのか。 彼女は主に尋ねるために行った。 そして主は彼女に言った、二つの国があなたの胎の中にいます、そして二つの民があなたの腹から分かれるでしょう。そして一方の民が他方の民を超えるでしょう、そしてより大きい者がより小さい者に仕えるでしょう。 そして彼女が出産する日が満ちた。そして双子が彼女の胎内にいた。 最初に生まれた子が出てきたが、赤みがかっていて、全体が毛皮のように毛深かった。そして彼の名前をエサウと名付けた。 そしてこの後、彼の兄弟が出て来た。そして彼の手はエサウのかかとをつかんでいた。そして彼の名前をヤコブと呼んだ。 イサクはリベカが彼らを産んだ時、六十歳だった。 その若者たちは成長した。そしてエサウは狩りを知っている男で、田舎者だった。しかしヤコブは素朴な男で、家に住んでいた。 イサクはエサウを愛した、なぜなら彼の狩りの獲物が彼の食べ物だったからである。しかしリベカはヤコブを愛した。 ヤコブは煮込み料理を煮た。そしてエサウは平野から疲れ果てて来

た。 そしてエサウはヤコブに言った、私にこの赤い煮物を味わわせてくれ、私は衰弱しているから。このため彼の名はエドムと呼ばれた。 ヤコブはエサウに言った、今日あなたの長子の権利を私に売りなさい。 そしてエサウは言った、見よ、私は死のうとしている。それで、この長子の権利が私に何の役に立つのか？ そしてヤコブは彼に言った、今日私に誓えと。そして彼は彼に誓った。そしてエサウは長子の権利をヤコブに売った。 ヤコブはエサウにパンとレンズ豆の煮込み料理を与えた。そして彼は食べて飲んだ。そして立ち上がって去って行った。そしてエサウは長子の権利を軽んじた。

26

その地に飢饉が起こった、以前の飢饉とは別に、それはアブラハムの時に起こったものである。そしてイサクはペリシテ人の王アビメレクのところへゲラルに行った。 主が彼に現れて言った、エジプトへ下るな。しかし私があなたに告げる地に住め。 そしてこの地に寄留しなさい、そして私はあなたと共にいるだろう、そしてあなたを祝福するだろう。というのもあなたとあなたの子孫に私はこの全ての地を与えるだろうから。そして私は私の誓いを確立するだろう、それを私はあなたの父アブラハムに誓った。 そして私はあなたの子孫を天の星のように増やすだろう。そして私はあなたの子孫にこの全ての地を与えるだろう。そしてあなたの子孫によって地の全ての国々は祝福されるだろう。 あなたの父アブラハムが私の声に従い、私の命令と私の戒めと私の掟と私の律法を守ったその代わりに。 イサクはゲラルに住んだ。 その地の男たちは彼の妻リベカについて尋ねた。そして彼は彼女は私の姉妹ですと言った。なぜなら彼は彼女

は私の妻ですと言うことを恐れたからである。その地の男たちがリベカのことで彼を殺すかもしれないと思ったのである。なぜなら彼女は見た目が美しかったからである。 彼はそこに長く住むようになった。そしてゲラルの王アビメレクが窓から覗き込んで、イサクが彼の妻レベカと戯れているのを見た。 アビメレクはイサクを呼んで、彼に言った、それでは確かに彼女はあなたの妻なのですか。 何故あなたは彼女は私の妹ですと言ったのか? イサクは彼に言った、私はそう言ったのです、なぜなら、私が彼女のために死ぬことがないようにと。 アビメレクは彼に言った、あなたは何を私たちにしたのか 私の一族の誰かがあなたの妻と寝るところだった、そしてあなたは私たちに罪をもたらすところだっただろう。 アビメレクは彼のすべての民に命じて言った、この男と彼の妻に触れる者は皆、死刑に処せられるだろう。 イサクはその地に種を蒔いた、そしてその年に百倍になる大麦を得た。そして主は彼を祝福した。 そしてその男は高められ、前進しながらより大きくなり、ついには非常に偉大になった。 彼には羊の家畜と牛の家畜と多くの耕作地ができた。 ペリシテ人たちは彼を妬んだ。 そして彼の父の時代に彼の父の子供たちが掘った全ての井戸を、ペリシテ人たちが塞ぎ、それらを土で満たした。 アビメレクはイサクに言った、私たちのもとから去れ、なぜならあなたは私たちよりも非常に強くなったからだ。 そしてイサクはそこから去って行った。そして彼はゲラルの谷に宿営し、そこに住んだ。 そしてまたイサクは水の井戸を掘った。それは彼の父アブラハムのしもべたちが掘ったものだった。そしてペリシテ人たちは彼の父アブラハムが死んだ後にそれらを塞いだ。そして彼はそれらに彼の父が付けた名前に従って名前を付けた。 そしてイサクのしもべたちはゲラルの谷で掘った、そして彼らはそこで湧き水の井戸を見つけた。 そしてゲラルの羊飼いたちはイサクの羊飼いたちと戦っ

た、その水は自分たちのものであると主張して。そして彼らはその井戸の名前を不正と呼んだ。というのも彼らは彼に不正を働いたからである。 そこから出発して、彼は別の井戸を掘った。そして彼らはそれについても争った。そして彼はその名をエクトリアと名付けた。 そこから出発して、彼は別の井戸を掘った。そして彼らはそれについて争わなかった。そして彼はその名を広い場所と名付けて、言った、なぜなら今、主が私たちのために広げてくださり、地の上で私たちを増やしてくださったからだと。 そして彼はそこから誓いの井戸へ上って行った。 そしてその夜、主が彼に現れて言った、私はあなたの父アブラハムの神である。恐れるな、私はあなたと共にいるから。そして私はあなたを祝福し、あなたの父アブラハムのゆえにあなたの子孫を増やす。 そして彼はそこに祭壇を建て、主の名を呼び求め、そこに彼の天幕を張った。そしてイサクの子らはそこのゲラルの谷に井戸を掘った。 そしてアビメレクはゲラルから彼のところへ行った、そして彼の友人アフザテと、彼の軍の最高司令官ピコルも。 そしてイサクは彼らに言った、何のためにあなたたちは私のところに来たのですか。 あなたたちは私を憎み、そして私をあなたたちのもとから追い払った。 彼らは言った、見よ、我々は主があなたと共におられたことを見た。それで我々は言った、我々の間とあなたの間に誓いがあるように、そして我々はあなたと契約を結ぼう、あなたが我々に悪をなさないように、我々があなたを敵対的に扱わなかったように、そして我々があなたをよく扱い、そして我々はあなたを平和のうちに送り出した。そして今あなたは主によって祝福されている。 彼は彼らのために宴会を開いた、そして彼らは食べて飲んだ。 そして朝起き上がって、それぞれが隣の者に誓った。そしてイサクが彼らを送り出した。そして彼らは無事に彼のもとから去って行った。 その日のことであったが、イサクの子供

たちが到着して、彼らが掘った井戸について彼に報告し、そして言った、私たちは水を見つけませんでした。 そして彼はそれを誓いと呼んだ。このために彼はあの町の名を誓いの井戸と呼んだ、今日に至るまで。 エサウは四十歳で、ヒッタイト人ベエリの娘ユディトと、ヒッタイト人エロンの娘バセマトを妻として娶った。 そして彼女たちはイサクとリベカにとって苦悩の種だった。

27

イサクが年老いた後のことになった。そして彼の目は見ることができないほど鈍くなった。そして彼は年上の息子エサウを呼んだ。そして彼に言った、私の息子よ。そして彼は言った、はい、ここにおります。 そして彼は言った、見よ、私は年老いた、そして私は自分の死の日を知らない。 さあ、だからあなたの道具を取れ、矢筒と弓を、そして野原へ出て行け、そして私のために獲物を狩れ。 そして私が好むように私のために料理を作り、私に持って来い、私が食べられるように、私が死ぬ前に私の魂があなたを祝福するように。 リベカはイサクがエサウ、彼の息子に話しているのを聞いた。そしてエサウは彼の父のために獲物を狩るために平原へ行った。 リベカは彼女の息子の若い方のヤコブに言った、見なさい、私はあなたの父があなたの兄弟のエサウに向かって話しているのを聞いた、こう言っていた、私に獲物を持って来なさい、そして私に料理を作りなさい、それを食べて、私が死ぬ前に主の前であなたを祝福しよう さあだから、私の息子よ、私の言うことを聞きなさい、私があなたに命じる通りに。 そして羊のところへ行って、そこから私に二匹の柔らかくて良い子山羊を取ってきなさい、そして私はそれらをあなた

の父のための料理にします、彼が好むように。 そしてあなたはあなたの父に運び入れるだろう、そして彼は食べるだろう、あなたの父が死ぬ前にあなたを祝福するように。 ヤコブは彼の母リベカに言った、私の兄弟エサウは毛深い男です、しかし私は滑らかな男です。父が私に触れるかもしれない、そうすれば私は彼の前で軽蔑する者のようになるだろう、そして私は自分自身に呪いをもたらすだろう、祝福ではなく。 母は彼に言った、あなたの呪いは私の上に来ますように、わが子よ。ただ私の声を聞きなさい、そして行って私に持って来なさい。 行って彼は取り、母に運んだ。そして彼の母は料理を作った、彼の父が愛したように。 そしてリベカは、家の中で彼女のそばにあった彼女の年上の息子エサウの良い衣を取って、それを彼女の年下の息子ヤコブに着せた。 そして彼女は若いヤギの皮を彼の腕に巻きつけ、そして彼の首の裸の部分に巻きつけた。 そして彼女は、自分が作った料理とパンを、息子ヤコブの手に渡した。 そして彼は彼の父のところに持って来た。そして言った、父よ。そして彼は言った、ここにいる。お前は誰だ、子よ。 ヤコブは父に言った、私はエサウ、あなたの長子です。私はあなたが私に話したとおりにしました。起き上がって座って、私の獲物を食べてください、あなたの魂が私を祝福するように。 イサクは彼の息子に言った、何だこれは、お前が早く見つけたのは、おお子よ？ そして彼は言った、あなたの主なる神が私の前に引き渡してくださったものです。 イサクはヤコブに言った、私に近づきなさい、そして私はあなたを触って確かめよう、子よ、あなたが私の息子エサウであるかどうかを。ヤコブは彼の父イサクに近づいた。そして彼に触れた。そして言った、声は、ヤコブの声だが、手は、エサウの手だ。 そして彼を認識しなかった。なぜなら彼の手は、彼の兄弟エサウの手のように、毛深かったからである。そして彼を祝福した。そして言った、あなた

は私の息子エサウか? 彼は言った、私です。 そして彼は言った、私に持って来なさい、そして私はあなたの獲物から食べよう、わが子よ、私の魂があなたを祝福するために。そして彼は彼に持って来た、そして彼は食べた。そして彼は彼にワインを持って来た、そして彼は飲んだ。 そして彼の父イサクが彼に言った、私に近づいて、私にキスしておくれ、わが子よ。 そして近づいて彼にキスした。そして彼の衣服の匂いを嗅いで、彼を祝福して、言った、見よ、私の息子の匂いは、主が祝福した実り豊かな畑の匂いのようだ。 そして神があなたに与えますように、天の露から、そして地の豊かさから、そして穀物とぶどう酒の豊富さを。 そして諸国民があなたに仕えるようにせよ、そして支配者たちがあなたを拝むようにせよ。そしてあなたの兄弟の主となれ、そしてあなたの父の息子たちがあなたを拝むであろう。あなたを呪う者は呪われた者、そしてあなたを祝福する者は祝福された者。 そしてイサクが彼の息子ヤコブを祝福することをやめた後に起こった、そしてヤコブが彼の父イサクの顔から出て行った時に起こった、そして彼の兄弟エサウが狩りから来た。 そして彼自身も料理を作り、彼の父に持って来た。そして父に言った、私の父よ起き上がってください、そしてあなたの息子の狩りの獲物を食べてください、あなたの魂が私を祝福しますように。そして彼の父イサクが彼に言った、お前は誰だ。 そして彼は言った、私はあなたの長子の息子エサウです。 イサクは非常に大きく驚いた。そして言った、それでは誰が私のために獲物を狩って、私に持って来たのか。そして私はお前が来る前に全てを食べてしまった。 そして私は彼を祝福した、そして彼は祝福されるだろう。 エサウが父イサクの言葉を聞いた時、彼は非常に大きく苦い声で叫び、そして言った、私も祝福してください、父よ。 彼は彼に言った、あなたの兄弟が欺きをもって来て、あなたの祝福を取った。 そして彼

は言った、正しく彼の名はヤコブと呼ばれた。というのも彼は私を出し抜いたのだ、見よ、これが二度目だ。私の長子の権利を彼は取り、そして今彼は私の祝福を取った。そしてエサウは彼の父に言った、あなたは私に祝福を残さなかったのですか、父よ。 答えてイサクはエサウに言った、もし私が彼をあなたの主人にしたならば、そして彼の兄弟たち全員を彼の僕たちにしたならば、穀物とぶどう酒で私が彼を支えたならば、しかしあなたに私は何をしようか、わが子よ。 エサウは自分の父に向かって言った、祝福は一つしかあなたにないのですか、父よ。 父よ、私も祝福してください。しかしイサクが深く悲しみに打たれると、エサウは声をあげて叫び、そして泣いた。 目覚めて、彼の父イサクは彼に言った、見よ、あなたの住まいは地の豊かさから存在するだろう、そして上からの天の露から。そしてお前は自分の剣によって生き、自分の兄弟に仕えるだろう。しかしいつかお前が彼のくびきを自分の首から取り下ろして緩めるならば、その時が来るだろう。 そしてエサウはヤコブに恨みを抱いていた、彼の父が彼を祝福した祝福について。そしてエサウは心の中で言った、私の父の喪の日々が近づくように。そうすれば私の兄弟ヤコブを殺そう。 そして彼女の年上の息子エサウの言葉がリベカに報告された。そして使いをやって彼女は彼女の年下の息子ヤコブを呼んだ。そして彼に言った、見よ、あなたの兄弟エサウがあなたを殺すためにあなたを脅している。 さあだから、子よ、私の声を聞きなさい、そして立ち上がってメソポタミアへ、私の兄弟ラバンのところへ、ハランへ逃げなさい。 そして彼と共に何日か住みなさい、あなたの兄弟の怒りと憤りがあなたから離れ去るまで、そして彼があなたが彼にしたことを忘れるまで。そして私は使いを送ってそこからあなたを呼び寄せるだろう、私が一日のうちにあなたたち二人から子を失うことが決してないように。 リベカはイサクに言っ

た、私はヘテの息子たちの娘たちのために私の命にうんざりしています。もしヤコブがこの地の娘たちから妻を娶るなら、私が生きることは何のためでしょうか。

28

イサクはヤコブを呼び寄せて、彼を祝福し、彼に命じて言った、あなたはカナン人の娘たちの中から妻を迎えてはならない。 立ち上がってメソポタミアへ逃げなさい、あなたの母の父ベトエルの家へ、そしてそこからあなたの母の兄弟ラバンの娘たちの中から自分のために妻を迎えなさい。 そして私の神があなたを祝福し、あなたを増やし、あなたを多くする。そしてあなたは諸国民の集まりとなるだろう。 そして彼があなたに与えますように、私の父アブラハムの祝福を、あなたとあなたの後のあなたの子孫に、あなたの寄留の地を相続させるために、その地を神がアブラハムに与えた。 そしてイサクはヤコブを送り出した。そして彼はメソポタミアへ、シリア人ベトエルの息子ラバンのところへ行った。ラバンはヤコブとエサウの母リベカの兄弟である。 エサウは見た、イサクがヤコブを祝福したことを、そして彼をシリアのメソポタミアへ送った、そこから彼自身のために妻を娶るために、彼を祝福する時に。そして彼に命じた、言って、あなたはカナン人の娘たちから妻を娶ってはならない、と。 そしてヤコブは父と母の言うことを聞いた。そして彼はシリアのメソポタミアへ行った。 エサウは、カナンの娘たちが彼の父イサクの前で悪いということを見て、イシュマエルのところへ行った。そして彼はアブラハムの息子イシュマエルの娘で、ナベオトの姉妹であるマエレトを、彼の妻たちに加えて妻として取った。 そし

てヤコブは誓いの井戸から出て行き、ハランへ行った。 そして彼はある場所に着いた、そして彼はそこで眠った、というのは太陽が沈んだから。そして彼はその場所の石を取った、そして彼の頭のところに置いた。そして彼はその場所で眠った。 そして彼は夢を見た。そして見よ、地に立てられた梯子があり、その頭は天に達していた。そして神の使者たちがそれの上を登ったり降りたりしていた。そして主はその上にしっかりと立っていた。そして言った、私はあなたの父アブラハムの神、そしてイサクの神である。恐れるな。あなたがその上で眠っている土地を、あなたに与えよう、そしてあなたの子孫に。 そしてあなたの子孫は地の砂のようになるだろう、そして海へ、南へ、北へ、そして東へと広がるだろう。そして地のすべての部族があなたによって祝福されるだろう、そしてあなたの子孫によって。 そして見よ、私はあなたと共にいる、あなたがどこへ行こうとも、すべての道であなたを守りながら。そして私はあなたをこの地へ戻すだろう。なぜなら私は決してあなたを見捨てないだろう、私があなたに語ったすべてのことを行うまで。 そしてヤコブは眠りから目覚めて言った、主はこの場所におられる、しかし私は知らなかった。 そして彼は恐れて言った、なんと恐ろしい場所だろう。ここは神の家に他ならない、そしてこれは天の門だ。 そしてヤコブは朝に起き上がり、そして彼はその石を取った、それを彼はそこに彼の頭のところに置いていた、そして彼はそれを柱として立て、そして彼は油をその先端の上に注いだ。 そして彼はその場所の名前を神の家と呼んだ。そしてウラムルズは以前その町の名前だった。 そしてヤコブは誓いを立てて言った、もし主なる神が私と共にいて、私が行くこの道において私を守り、私に食べるパンを与え、着る衣を与え、私を無事に私の父の家へ帰らせてくださるなら、主は私の神となるでしょう。 そして私が柱として立てたこの石は、私

にとって神の家となるだろう。そしてあなたが私に与えるすべてのものの十分の一を、私はあなたに捧げるだろう。

29

そしてヤコブは足を上げて東の地へ行った、シリア人ベトエルの息子ラバンのところへ、ヤコブとエサウの母リベカの兄弟のところへ。 そして彼は見た、そして見よ平原に井戸が。そしてそこに三つの羊の群れがその上で休んでいた。というのもその井戸から彼らは群れに水を飲ませていたからである。そして大きな石が井戸の口の上にあった。 そしてそこにすべての群れが集められていた。そして彼らは井戸の口から石を転がし離し、そして彼らは羊に水を飲ませ、そして彼らは石を井戸の口の上に、その元の場所に戻していた。 ヤコブは彼らに言った、兄弟たちよ、あなたたちはどこの出身ですか。 彼らは言った、私たちはハラン出身です。 彼は彼らに言った、あなたたちはナホルの息子ラバンを知っていますか。 彼らは言った、私たちは知っています。そして彼は彼らに言った、彼は健康ですか。 彼らは言った、彼は元気です。そして見なさい、彼の娘ラケルが羊たちと一緒に来ています。 そしてヤコブは言った、まだ日は長い。家畜を集める時ではまだない。羊に水を飲ませて、行って放牧しなさい。 彼らは言った、私たちにはできません、すべての羊飼いたちが集まるまでは。そうすれば彼らが井戸の口から石を転がして、私たちが羊に水を飲ませます。 彼がまだ彼らに話しているうちに、見よ、ラバンの娘ラケルが彼女の父の羊と共に来ていた。というのも、彼女は彼女の父の羊を飼っていたからである。 ヤコブが彼の母の兄弟ラバンの娘ラケルと、彼の母の兄弟ラバンの羊を見

た時、ヤコブは近づいて井戸の口から石を転がし去り、彼の母の兄弟ラバンの羊に水を飲ませた。 そしてヤコブはラケルにキスをし、声を上げて泣いた。 そして彼はラケルに、彼女の父の兄弟であること、そしてリベカの息子であることを報告した。そして彼女は走って、これらの言葉通りに彼女の父に報告した。 ラバンが彼の姉妹の息子ヤコブの名を聞いたとき、彼は彼に会うために走って来て、彼を抱きしめてキスし、彼を自分の家に連れて入った。そしてヤコブはラバンにこれらすべての言葉を語った。 そしてラバンは彼に言った、あなたは私の骨であり、私の肉だ。そして彼は彼と共に一ヶ月間いた。 ラバンはヤコブに言った、あなたは私の兄弟だから、無償で私に仕えるべきではない。私に告げなさい、あなたの報酬は何か。 ラバンには二人の娘がいた。年上の名前はレアで、年下の名前はラケルだった。 レアの目は弱かった。しかしラケルは姿が美しく、容貌が非常に美しかった。 ヤコブはラケルを愛した。そして彼は言った、私はあなたに七年間仕えます、あなたの若い方の娘ラケルのために。 ラバンは彼に言った、私が彼女を他の男に与えるよりも、あなたに与える方が良い。私と一緒に住みなさい。 ヤコブはラケルのために七年仕えた。そしてそれらは彼にとって少しの日々のようであった、彼が彼女を愛していたので。 ヤコブはラバンに言った、私に私の妻を与えてください、私が彼女のところに入るための日々が満たされたのですから。 ラバンはその場所の全ての男たちを集めて、婚礼を行った。 そして夕方になった、そして彼は彼の娘レアを連れて、ヤコブのところへ連れて来た、そしてヤコブは彼女のところへ入った。 ラバンは彼の娘レアに、彼の女奴隷ジルパを彼女の女奴隷として与えた。 朝になった、そして見よ、レアだった。ヤコブはラバンに言った、あなたは何をこれ私にしたのか。 ラケルのために私はあなたのもとで仕えなかったのか? なぜあなたは私を欺い

たのか? ラバンは答えた、しかし私たちの場所ではこのようではない、年上の者より先に年下の者を与えることは。 だからこの女の七日を完了しなさい、そうすれば私はあなたにこの女もあげよう、あなたが私のもとでさらに別の七年間働く仕事の代わりに。 ヤコブはそのようにした、そして彼はこの七日を満たした、そしてラバンは彼に自分の娘ラケルを妻として与えた。 ラバンは彼の娘に、彼の女奴隷ビルハを、彼女の女奴隷として与えた。 そして彼はラケルのところへ入った。そして彼はレアよりもラケルを愛した。そして彼は彼に別の七年間仕えた。 主なる神はレアが憎まれていたのを見て、彼女の胎を開いた。しかしラケルは不妊であった。 そしてレアは身ごもり、ヤコブに息子を産んだ。そして彼女は彼の名をルベンと呼んで、言った、主が私の屈辱を見て、私に息子を与えてくださったから。だから今、私の夫は私を愛するだろう。 そして彼女は再び身ごもり、ヤコブに二番目の息子を産んだ。そして彼女は言った、主が私が憎まれていることを聞いて、私にこの子も与えてくださったと。そして彼女は彼の名前をシメオンと呼んだ。 そして彼女はまた身ごもり、息子を産んで言った、今こそ私の夫は私のものになるだろう、なぜなら私は彼に三人の息子を産んだのだから。このゆえに彼女はその子の名をレビと呼んだ。 そして身ごもってまた息子を産んだ、そして彼女は言った、今度こそこれを主に感謝します、このゆえに彼女は彼の名前をユダと呼んだ、そして彼女は産むのを止めた。

30

ラケルは、彼女がヤコブに子を産んでいないことを見た。そしてラ

ケルは彼女の姉妹を妬んだ。そしてヤコブに言った、私に子供たちを与えなさい。もしそうでなければ、私は死ぬだろう。 怒ったヤコブはラケルに言った、私は神の代わりではない。あなたから胎の実を奪ったのは神ではないか。 ラケルはヤコブに言った、見よ、私の女奴隷ビルハを。彼女のところに入れ。そして彼女は私の膝の上で産むだろう、そして私もまた彼女から子を得るだろう。 そして彼女は彼にビルハを、彼女の女奴隷を、妻として与えた。そしてヤコブは彼女のところに入った。 そしてラケルの女奴隷ビルハは身ごもり、ヤコブに息子を産んだ。 そしてラケルは言った、神は私のために裁いてくださった、そして私の声を聞いてくださった、そして私に息子を与えてくださった。このゆえに彼女は彼の名前をダンと呼んだ。 そしてラケルの女奴隷ビルハはまた身ごもって、ヤコブに二番目の息子を産んだ。 そしてラケルは言った、神は私を助けてくれた、そして私は私の姉妹と争った、そして私は勝つことができた、そして彼女はその子の名前をナフタリと呼んだ。 レアは自分が子を産むことをやめたのを見た。そして彼女は自分の女奴隷ジルパを取り、彼女をヤコブに妻として与えた。そして彼は彼女のところに入った。 そしてレアの女奴隷ジルパは身ごもり、彼女はヤコブに息子を産んだ。 そしてレアは幸運だわと言った。そして彼女は彼の名前をガドと名付けた。 そしてレアの女奴隷ジルパはまた身ごもり、彼女はヤコブに二番目の息子を産んだ。 そしてレアは言った、幸いな私、なぜなら女たちは私を幸いと呼ぶから。そして彼女は彼の名前をアシェルと呼んだ。 ルベンは小麦の収穫の日に行った、そして畑でマンドラゴラの実を見つけた、そして彼の母レアのところへそれらを持って行った。そしてラケルは彼女の姉妹レアに言った、あなたの息子のマンドラゴラの実を私にください。 レアは言った、あなたが私の夫を取ったことでは十分ではないのですか。 私の息子の

マンドレイクも取るつもりではないでしょうね? ラケルは言った、そうではない。彼を今夜あなたと一緒に寝かせなさい、あなたの息子のマンドラゴラの代わりに。 ヤコブは夕方に畑から帰って来た。そしてレアは彼に会うために出て行った。そして言った、今日あなたは私のところに来るのです。なぜなら私はあなたを私の息子のマンドラゴラの代わりに雇ったのですから。そして彼はその夜彼女と共に寝た。 そして神はレアの声を聞いた。そして彼女は身ごもって、ヤコブに五番目の息子を産んだ。 そしてレアは言った、神は私に報酬を与えてくださった、私が私の女奴隷を私の夫に与えたことの代わりに。そして彼女はその子の名前をイッサカルと呼んだ、それは報酬という意味である。 そしてレアはまた身ごもり、ヤコブに六番目の息子を産んだ。 そしてレアは言った、神は私に良い贈り物を今の時に与えてくださった。私の夫は私を選ぶだろう、なぜなら私は彼に六人の息子たちを産んだから。そして彼女はその名前をゼブルンと呼んだ。 そしてこの後、彼女は娘を産んだ、そして彼女の名前を恐ろしいことと呼んだ。 神はラケルを思い出し、神は彼女の声を聞き、神は彼女の胎を開いた。 そして身ごもって彼女はヤコブに息子を産んだ。そしてラケルは言った、私の神は恥を取り去った。 そして彼女はその名前をヨセフと呼んで、言った、神が私にもう一人の息子を加えますように。 ラケルがヨセフを産んだ時、ヤコブはラバンに言った、私を行かせてください、私の場所へ、そして私の土地へ帰れるように。 私の妻たちと私の子供たちを返してください。彼らのために私はあなたに仕えてきたのです。私が去れるように。あなたは私があなたに仕えてきた奴隷の働きを知っているでしょう。 ラバンは彼に言った、もし私があなたの前に好意を見出したなら、私は占いをしたでしょう。なぜなら神はあなたの到来によって私を祝福したからです。 あなたの報酬を私に指定しなさい、そうす

れば私は与えよう。 ヤコブは言った、あなたは知っている、私があなたに仕えてきたことを、そしてあなたの家畜が私と共にどれほど多くいたかを。 というのも、私の前であなたに属していたものは小さかったが、それは多数へと増やされた。そして主なる神は私の足によってあなたを祝福した。だから今、いつ私も私自身のために家を作るだろうか? そしてラバンは彼に言った、何をあなたに与えようか。 ヤコブは彼に言った、あなたは私に何も与えなくてよい。もしあなたが私のためにこのことをしてくれるなら、私は再びあなたの羊を牧し、そして守ろう。 今日あなたのすべての羊を通り過ぎさせなさい、そして子羊の中のすべての灰色の羊をそこから分けなさい、そして山羊の中のすべての白い斑点のあるものとまだらのものを。それが私の報酬となるでしょう。 そして私の正義は明日の日に私のために証言するだろう、なぜなら私の報酬があなたの前にあるからです。山羊の中でぶちでなく白い縞でないすべてのもの、そして子羊の中で暗い色でないすべてのものは、私のところでは盗まれたものとなるだろう。 ラバンは彼に言った、あなたの言葉通りにしよう。 そして彼はその日に、斑点のある雄山羊たちと白い筋のある雄山羊たちを、そしてすべての斑点のある雌山羊たちと白い筋のある雌山羊たちを、そして子羊たちの中の暗い色をしたすべてのものを、そしてそれらの中の白いすべてのものを分け、そして彼の息子たちの手を通して与えた。 そして彼は三日の道のりを置いた、彼らとヤコブの間に。そしてヤコブはラバンの残された羊を飼っていた。 ヤコブは自分のために緑の樹脂の木の枝と胡桃の木とプラタナスの木の枝を取った。そしてヤコブはそれらを白く剥いだ。そして緑を剥ぎ取ると、彼が剥いだ白いものが枝の上にまだらに現れた。そして彼は皮を剥いた枝を、水の水飲み場の水槽の中に置いた。羊が飲みに来る時に、羊たちが飲みに来た枝の前で、羊が枝に向かっ

て孕むようにするためである。 そして私はその羊たちをその棒に向かって妊娠させていた。そしてその羊たちは白い縞模様のものと斑模様のものと灰色の斑点のあるものを産んでいた。 ヤコブはその子羊たちを分けた、そして羊たちの前に白い縞のある雄羊とすべてのまだらのものを子羊たちの中に置いた、そして自分のために群れを別々に分けた、そしてそれらをラバンの羊たちに混ぜなかった。 そして羊たちが胎内に受胎していた時に、ヤコブは羊たちの前の水飲み場に棒を置いた、それらが棒に従って受胎するように。 しかし羊が出産したときには、彼は置かなかった。そして印のないものはラバンのものとなり、印のあるものはヤコブのものとなった。 そしてその男は非常に非常に裕福になった。そして彼には多くの家畜と、牛と、男の召使いと、女の召使いと、ラクダと、ロバができた。

31

ヤコブはラバンの息子たちの言葉を聞いた、彼らが言っていた、ヤコブは私たちの父のすべてのものを取った、そして私たちの父のものからこのすべての栄光を作ったと。 ヤコブはラバンの顔を見た、そして見よ、それは昨日や一昨日のように彼に対するものではなかった。 そして主はヤコブに言った、あなたの父の地へ、そしてあなたの親族のもとへ帰りなさい、そして私はあなたと共にいる。 使いを送ってヤコブはレアとラケルを平野へ呼んだ、そこには群れがあった。 そして彼は彼女たちに言った、私はあなたたちの父の顔を見るが、それは昨日や一昨日のようには私に対してではない。しかし私の父の神は私と共にいた。 そしてあなたたち自身も知っている、私が私の全ての力をもってあなたたちの父に仕えてきたこと

を。 あなたたちの父は私を欺き、私の報酬を十回変えた、しかし神は彼が私を害することを許さなかった。 もし彼がそのように言うなら、まだらのものがあなたの報酬になるだろう、そしてすべての羊がまだらのものを産むだろう。しかしもし彼が白いものと言うなら、白いものがあなたの報酬になるだろう、そしてすべての羊が白いものを産むだろう。 そして神はあなたたちの父のすべての家畜を取り上げて、私にそれらを与えた。 そして羊たちが腹の中で受胎していた時にそれが起こった、そして私は眠りの中で私の目で見た。そして見よ、雄山羊たちと雄羊たちが羊たちと雌山羊たちの上に登っていた、白い縞のあるものと斑のあるものと灰色のまだらのあるものだった。 そして神の使者は夢の中で私にヤコブと言った。そして私は何ですかと言った。 そして彼は言った、あなたの目で見上げなさい、そして雄山羊たちと雄羊たちが羊たちと雌山羊たちの上に登っているのを見なさい、白い縞のあるものと様々な模様のものと灰色のまだらのものを。というのも私はラバンがあなたにしていることすべてを見たからだ。 私は神である、神の場所においてあなたに現れた者、そこであなたが私のために柱に油を注ぎ、そしてそこであなたが私に誓いを立てた。だから今、立ち上がり、そしてこの地から出て行き、そしてあなたの生まれの地へ去って行け、そして私はあなたと共にいるだろう。 そしてラケルとレアは答えて彼に言った、私たちの父の家に、まだ私たちの分け前や相続財産は残っていないのではありませんか。 私たちは彼によって外国人として見なされてきたのではないか。 彼は私たちを売ったし、私たちの銀を食い尽くしたのだから すべての富と栄光、それを神が私たちの父から取り去ったものは、私たちと私たちの子供たちのものになるだろう。だから今、神があなたに言ったことすべてを、行いなさい。 立ち上がって、ヤコブは彼の妻たちと彼の子供たちをラクダたちに乗

せた。そして彼は、彼に属する全ての所有物と、メソポタミアで彼が獲得した全ての荷物と、彼の全てのものを連れて行き、彼の父イサクのもとへ、カナンの地へ行くために出発した。 ラバンは自分の羊を刈るために去って行った。そしてラケルは自分の父の偶像を盗んだ。 ヤコブはシリア人ラバンから隠した、彼に報告しないために、自分が逃げ去ることを。 そして彼は自分の全てのものと共に逃げ、川を渡り、ギレアデの山へ急いだ。 そして三日目にシリア人ラバンにヤコブが逃げたと報告された そして彼は自分の兄弟たちを連れて、七日間の道のりを彼の後を追跡した。そして彼はギレアデの山で彼に追いついた。 神は夜の夢の中でシリア人ラバンのところに来て、彼に言った、気をつけよ、ヤコブに悪いことを決して話してはならない。 そしてラバンはヤコブに追いついた。ヤコブは自分の天幕を山に張った。ラバンは自分の兄弟たちをギレアデの山に配置した。 ラバンはヤコブに言った、あなたは何をしたのか なぜ秘密に逃げて、私を欺き、私の娘たちを剣による捕虜のように連れ去ったのか。 もしあなたが私に告げていたなら、私は喜びをもって、音楽家たちと、太鼓と、竪琴と共にあなたを送り出しただろうに。 そして私は私の子供たちと私の娘たちにキスすることを許されなかった。しかし今、あなたは愚かなことをした。 そして今、私の手はあなたに害を与えることができる。しかし、あなたの父の神は昨日私に言って言った、自分自身を守れ、ヤコブと悪いことを決して話さないようにと。 さて、だからあなたは去ってしまった。というのも、あなたはあなたの父の家へ帰ることを強く望んだのだから。なぜあなたは私の神々を盗んだのか。 ヤコブは答えてラバンに言った、私は恐れたからです。というのも私は思ったのです、あなたがあなたの娘たちを私から取り去り、そして私のすべてのものを取り去るのではないかと。 そしてヤコブは言った、あなたがあなたの神々

を見つける者は、私たちの兄弟たちの前で生きないだろう。私のところにあなたのものが何かあるか確認して、取れ。そして彼は彼のところで何も確認しなかった。しかしヤコブは知らなかった、彼の妻ラケルがそれらを盗んだことを。 入ってラバンはレアの家の中を探したが、見つけなかった。そしてレアの家から出て行き、ヤコブの家を探し、二人の女奴隷たちの家の中も探したが、見つけなかった。そしてラケルの家の中にも入った。 ラケルは偶像を取り、それらをラクダの鞍袋の中に入れ、その上に座った。 そして彼女は父に言った、お怒りにならないでください、ご主人様。あなたの前に立ち上がることができません。女の習わしが私にあるからです。ラバンは家中を探したが、偶像を見つけなかった。 ヤコブは怒り、ラバンと戦った。そしてヤコブは答えてラバンに言った、私の不正とは何ですか。 そして私の罪は何ですか、あなたが私の後を追いかけ、私の家の全ての物を調べたとは。 あなたはあなたの家のすべての器から何を見つけましたか。 あなたの兄弟たちと私の兄弟たちの前にここに置け、そして彼らに私たち二人の間を裁かせよ。 これら二十年、私はあなたと共にいる。あなたの羊とあなたの山羊は子を失わなかった。あなたの羊の雄羊を私は食べなかった。 獣に裂かれたものを私はあなたに持って来ませんでした。私は昼の盗難も夜の盗難も自分で償っていました。 私は昼の熱に焼かれ、夜の霜に焼かれた。そして私の眠りは私の目から離れ去った。 これで二十年私はあなたの家にいる。私はあなたに十四年仕えた、あなたの二人の娘の代わりに、そして六年あなたの羊において、そしてあなたは私の報酬を十回変えた。 もし私の父アブラハムの神、そしてイサクの恐れが、私と共にいなかったなら、今頃あなたは私を空手で追い払っていただろう。私の屈辱と、私の手の労苦を、神は見た。そして昨日あなたを責めた。 答えてラバンはヤコブに言った、その娘たちは私

の娘たちだ、そして息子たちは私の息子たちだ、そして家畜は私の家畜だ、そしてあなたが見るすべてのものは私のものだ、そして私の娘たちについて、私は今日これらに何をしようか、あるいは彼女たちが産んだ彼女たちの子供たちに。 さあ、だから、ここで契約を結ぼう、私とあなたが。そしてそれは証しとなるだろう、私とあなたの間に。そして彼は彼に言った、見よ、誰も私たちと共にいない。見よ、神が証人だ、私とあなたの間に。 ヤコブは石を取って、それを柱として立てた。 ヤコブは彼の兄弟たちに言った、石を集めなさい。そして彼らは石を集めた、そして彼らは丘を作った。そして彼らはそこでその丘の上で食べた。そしてラバンは彼に言った、この丘は今日私とあなたの間で証言する。 そしてラバンはそれを証言の丘と呼んだ。しかしヤコブはそれを証人の丘と呼んだ。 ラバンはヤコブに言った、見よ、この丘とこの柱を、私はそれを私とあなたの間に立てた。この丘は証しする、そしてこの柱は証しする。このゆえにその名は呼ばれた、丘は証しすると。 そして彼が言った幻を、神が私と汝の間で見るように。なぜなら私たちは互いから離れるだろうから。 もしお前が私の娘たちを卑しめるなら、もしお前が私の娘たちに加えて妻たちを娶るなら、見よ、誰も私たちと共にいて見ている者はいない。神が私とお前の間の証人である。 もし私があなたに向かって渡らないなら、そしてあなたも私に向かってこの丘とこの柱を悪意をもって越えないなら。 アブラハムの神とナホルの神が私たちの間を裁きますように。そしてヤコブは彼の父イサクへの畏れにかけて誓った。 そして彼は山で犠牲を捧げた。そして彼は彼の兄弟たちを呼んだ、そして彼らは食べて飲んで、山で眠った。

32

朝に起き上がって、ラバンは彼の息子たちと娘たちにキスをし、彼らを祝福した。そして背を向けて、ラバンは彼の場所へ去って行った。 そしてヤコブは自分の道へ出発した。そして見上げて、陣を張っている神の陣営を見た。そして神の使者たちが彼と出会った。ヤコブは言った、彼が彼らを見た時、これは神の陣営だ、そして彼はその場所の名前をマハナイムと呼んだ。 ヤコブは使者たちを自分の前にセイルの地、エドムの地にいる彼の兄弟エサウのところへ送った。 そして彼は彼らに命じて言った、このようにあなたがたは私の主人エサウに言いなさい。あなたのしもべヤコブはこのように言います。私はラバンのもとに寄留し、今まで滞在しました。 そして私には牛と驢馬と羊と子供たちと女奴隷たちができました。そして私は私の主人エサウに知らせるために使いを送りました、あなたの僕があなたの前で恵みを得るために。 そして使者たちはヤコブのところへ戻って言った、私たちはあなたの兄弟エサウのところへ行きました。そして見よ、彼はあなたに会いに来ます、そして四百人の男たちが彼と共にいます。 ヤコブは非常に恐れ、困惑した。そして彼は自分と共にいる人々と、牛たちと、ラクダたちと、羊たちを、二つの宿営に分けた。 そしてヤコブは言った、もしエサウが一つの陣営に来て、それを打つならば、二番目の陣営は救われることになるだろう。 ヤコブは言った、私の父アブラハムの神、そして私の父イサクの神、主よ、あなたは私にあなたの生まれの地へ帰れ、そして私はあなたを良くしようと言われた方です。あなたがあなたのしもべに行われたすべての義と、すべての真理から見れば、私には過ぎたことです。なぜなら私はこの私の杖でこのヨルダン川を渡

りましたが、今は二つの宿営になりました。 私を私の兄弟の手から、エサウの手から救い出してください。なぜなら私は彼を恐れています。彼が来て私を打ち、母を子供たちもろとも打つことがないように。 しかしあなたは言った、私はあなたをよくし、あなたの子孫を海の砂のようにする、それはその多さのために数えられないだろう。 そして彼はそこでその夜眠った。そして彼が運んでいたものの中から贈り物を取った。そして彼の兄弟エサウに送った、雌ヤギ二百、雄ヤギ二十、羊二百、雄羊二十、乳を飲ませているラクダとそれらの子供三十、雌牛四十、雄牛十、ロバ二十、そして子ロバ十を。 そして彼はそれらを彼の召使いたちに与えた、群れをそれぞれ別々に。そして彼は彼の召使いたちに言った、私の前を先に行け、そして群れと群れの間に間隔を作れ。 そして彼は最初の者に命じて言った、もし私の兄弟エサウがあなたに会って、あなたは誰のものかとあなたに尋ねたら そして、どこへ行くのですか? あなたの前を行くこれらのものは誰のものですか? あなたは言うでしょう、あなたのしもべヤコブが、贈り物を私の主エサウに送りました、そして見よ、彼は私たちの後ろにいます。 そして彼は命じた、最初の者に、そして二番目の者に、そして三番目の者に、そしてこれらの群れの後ろを行く全ての者に、言って、この言葉に従ってエサウに話せ、あなたたちが彼を見つける時に。そしてあなたたちは言え、見よ、あなたの僕ヤコブが私たちの後ろに来ますと。というのも彼は言った、私は彼の前を行く贈り物で彼の顔を宥めよう、そしてその後に私は彼の顔を見よう。というのももしかしたら彼は私の顔を受け入れるだろうから。 そしてその贈り物たちは彼に先立って進んだ。しかし彼自身はその夜宿営で眠った。 その夜立ち上がって、彼は二人の妻と二人の女奴隷と彼の十一人の子供たちを連れて、ヤボクの渡し場を渡った。 そして彼は彼らを連れて、急流を渡り、彼の全ての

物を渡らせた。 ヤコブは一人で残された。そして一人の男が彼と夜明けまで格闘した。 彼は、彼に対して勝てないことを見た。そして彼は彼の腿の付け根に触れた、そして、ヤコブの腿の付け根は彼が彼と格闘している時に麻痺した。 そして彼は彼に言った、私を行かせてくれ、夜明けになったから。 彼は言った、もしあなたが私を祝福しないなら、私は決してあなたを行かせない。 彼は彼に言った、あなたの名前は何ですか。 彼はヤコブと言った。 そして彼は彼に言った、あなたの名前はもうヤコブとは呼ばれないだろう、しかしイスラエルがあなたの名前になるだろう。なぜならあなたは神と共に勝ち取ったから、そして人間たちと共に強い者になるだろう。 ヤコブは尋ねて言った、私にあなたの名前を告げなさい。そして彼は言った、なぜあなたは私の名前を尋ねるのか。 そして彼はそこで彼を祝福した。 そしてヤコブはその場所の名を神の姿と呼んだ。なぜなら私は神を顔と顔とを合わせて見た、そして私の魂は救われたのだから。 そして太陽が彼に昇った、彼が神の姿のそばを通り過ぎた時、そして彼は彼の腿のために足を引きずっていた。 このゆえにイスラエルの子らは、麻痺した腱、すなわち腿の幅の上にあるものを、今日のこの日まで食べない。なぜなら、ヤコブの腿の幅の腱、麻痺したものに触れたからである。

33

ヤコブは彼の目で見上げて見た。そして見よ、彼の兄弟エサウが来ている、そして四百人の男たちが彼と共に。そしてヤコブは子供たちをレアの所に、そしてラケルの所に、そして二人の女奴隷たちの所に分けた。 そして彼は二人の女奴隷たちとその息子たちを最初に

配置し、レアと彼女の子供たちを後ろに、そしてラケルとヨセフを最後に配置した。 彼自身は彼らの前に進み出た。そして彼の兄弟に近づくまで七回地面にひれ伏した。 そしてエサウは彼に会うために走って来た。そして彼を抱きしめて彼の首に倒れかかった。そして彼にキスした。そして二人とも泣いた。 そして見上げて、エサウは女たちと子供たちを見た。そして言った、これらはあなたにとって何ですか。 彼は言った、子供たちです、神があなたの僕に憐れみをかけてくださった者たちです。 そして女奴隷たちと彼女たちの子供たちが近づき、お辞儀をした。 そしてレアと彼女の子供たちが近づいて、お辞儀をした。そしてその後にラケルとヨセフが近づいて、お辞儀をした。 そして彼は言った、私が出会ったこれらすべての宿営は、あなたにとって何なのですか。 そして彼は言った、あなたのしもべがあなたの前で恵みを得ますように、主よ。 エサウは言った、私には多くのものがある、兄弟よ。あなたのものはあなたのものとしてあれ。 ヤコブは言った、もし私があなたの前で恵みを見つけたのなら、私の手から贈り物を受け取ってください。そのために私はあなたの顔を見たのです、人が神の顔を見るように。そしてあなたは私を喜んでくれるでしょう。 私の祝福を受け取ってください、私があなたに持って来たものを、なぜなら神は私を憐れんでくださったからです、そして私には全てがあります、そして彼は彼を無理強いしました、そして彼は受け取りました。 そして彼は言った、出発して、まっすぐ進もう。 彼は彼に言った、私の主はご存知です、子供たちはより弱く、そして羊と牛は私のもとで出産しています。もしそれゆえ私が彼らを一日追うなら、すべての家畜は死ぬでしょう。 私の主が彼の僕の前を先に行かせてください。しかし私は私の前の旅の余裕に従って、そして子供たちの足に従って道を進みます、私がセイルの私の主のところへ来るまで。 エサウは言った、

私と一緒にいる民の中から何人かをあなたのもとに残しましょう。しかし彼は言った、なぜそんなことを。 私があなたの前で恵みを見つけたことで十分です、主よ。 そしてエサウはその日に彼の道を通ってセイルへと戻った。 ヤコブは天幕へ出発した。そして彼は自分のためにそこに家々を作った。そして彼の家畜のために彼は天幕を作った。このゆえに彼はあの場所の名前をスコテと呼んだ。 そしてヤコブはサレムに来た、シェケムの町、それはカナンの地にある、彼がメソポタミア・シリアから戻った時。そして彼はその町の前に野営した。 そして彼はその畑の部分を獲得した。そこに彼は彼の天幕を張った。シケムの父ハモルから、百アムノンで。 そして彼はそこに祭壇を設置し、イスラエルの神を呼び求めた。

34

レアがヤコブに産んだ娘であるディナが出て行った、その地の住民の娘たちを知るために。 そしてその地の支配者であるヒビ人ハモルの息子シェケムが彼女を見た。そして彼は彼女を連れて行き、彼女と寝て、彼女を辱めた。 そして彼はヤコブの娘ディナの魂に心を寄せた。そして彼はその処女を愛した。そして彼はその処女の心に従って彼女に語った。 シケムは自分の父ハモルに言った、私にこの娘を妻として取ってくれ。 ヤコブは聞いた、ハモルの息子が彼の娘ディナを汚したことを。しかし彼の息子たちは野原で彼の家畜と一緒にいた。それでヤコブは彼らが来るまで黙っていた。 シケムの父ハモルはヤコブのところへ彼と話すために出て行った。 ヤコブの息子たちは平野から来た。そして彼らが聞いたとき、その男たちは心を刺され、彼らにとって非常に悲痛だった。なぜなら彼がヤコブの

娘と寝たことによってイスラエルにおいて恥ずべきことをしたからである。そしてこのようであってはならない。 そしてハモルは彼らに話して言った、シェケム、私の息子は、心であなたたちの娘を選んだ。だから彼女を彼に妻として与えなさい、そして私たちと婚姻関係を結びなさい。あなたたちの娘たちを私たちに与えなさい、そして私たちの娘たちをあなたたちの息子たちのために取りなさい。そしてあなたたちは私たちのところに住みなさい。そしてその土地は見よ、あなたたちの前に広がっている。住みなさい、そしてその上で商売しなさい、そしてその中で財産を得なさい。 シェケムは彼女の父と彼女の兄弟たちに言った、私があなたがたの前で好意を得られますように、そしてあなたがたが言うことは何でも、私たちは与えましょう。 持参金を非常に増やしなさい、そしてあなたたちが私に言うとおりに私は与えるだろう、そしてあなたたちはこの娘を妻として私に与えるだろう。 ヤコブの息子たちはシェケムとその父ハモルに欺きをもって答え、彼らに話した。なぜなら彼が彼らの姉妹ディナを汚したからである。 そしてシメオンとレビ、ディナの兄弟たちは彼らに言った、私たちはこのことをすることができない、私たちの妹を割礼を受けていない男に与えることは。なぜならそれは私たちにとって恥辱だから。 ただこの点においてのみ私たちはあなたたちに似た者となるだろう、そして私たちはあなたたちの中に住むだろう、もしあなたたちのすべての男性が割礼を受けることによって、あなたたちが私たちのようになるならば。 そして私たちは私たちの娘たちをあなたたちに与え、あなたたちの娘たちから私たちのために妻たちを娶り、私たちはあなたたちと共に住み、私たちは一つの民族のようになるだろう。 もしあなたたちが割礼を受けることについて私たちの言うことを聞かないなら、私たちの娘を連れて私たちは去ります。 そしてその言葉はハモルと、ハモルの息子

シェケムの前で気に入られた。 そしてその若者はこのことをするのを遅らせなかった。というのも彼はヤコブの娘に夢中だったからである。そして彼は彼の父の家にいる全ての者の中で最も名誉ある者だった。 ハモルと彼の息子シェケムは彼らの町の門に来た。そして彼らの町の男たちに話して言った、これらの人々は平和的である。彼らを我々と共に地に住まわせよ、そしてそこで商売させよ。そして地は見よ彼らの前に広い。彼らの娘たちを我々は妻として取るだろう、そして我々の娘たちを彼らに与えるだろう。 この条件においてのみ、その人々は私たちに同化されるだろう、私たちと共に住むために、そして一つの民となるために、私たちのすべての男性が割礼を受けることによって、ちょうど彼ら自身も割礼を受けているように。 そして彼らの家畜、そして四つ足の動物、そして彼らの所有物は、私たちのものになるのではないか? ただこのことにおいて私たちが彼らのようにされるならば、彼らは私たちと共に住むでしょう。 そしてハモルと彼の息子シケムの言うことを聞いた、彼らの町の門で取引していた全ての者たちが。そして割礼を受けた、全ての男性が彼らの包皮の肉に。 そして三日目の日に起こった。彼らが苦痛の中にいた時、ヤコブの二人の息子たち、シメオンとレビ、ディナの兄弟たちが、各々自分の剣を取り、安全に町の中に入り、全ての男性を殺した。 彼らはハモルと彼の息子シェケムを剣の刃で殺した。そして彼らはディナをシェケムの家から連れ出して去って行った。 ヤコブの息子たちは負傷者たちのところに入って行き、彼らの姉妹ディナを汚した町を略奪した。 そして彼らの羊と彼らの牛と彼らのロバと、町の中にあったもの全てと平野の中にあったもの全てを取った。 そして彼らの全ての体と、彼らの全ての荷物と、彼らの女たちを捕虜にした。そして町の中にあった全てのものと、家々の中にあった全てのものを略奪した。 ヤコブはシメオンとレビに言っ

た、あなたがたは私を憎まれる者にした。その結果、私はこの地に住む全ての者たち、カナン人たちとペリジ人たちの間で悪い者となった。しかし私の数は少ない。そして彼らが私に対して集まって来て、私を打ち倒すだろう。そして私は滅ぼされるだろう、私も私の家も。 彼らは言った、しかし、私たちの姉妹を娼婦のように扱うのか?

35

神はヤコブに言った、立ち上がってベテルの地へ上って行き、そこに住め。そしてそこで、あなたがあなたの兄弟エサウの前から逃げていた時にあなたに現れた神に祭壇を作れ。 ヤコブは自分の家族と自分と共にいる全ての者たちに言った、あなたがたと共にある異国の神々をあなたがたの中から取り除きなさい、そして身を清めなさい、そしてあなたがたの衣を替えなさい。 そして立ち上がってベテルへ上って行こう、そしてそこで祭壇を作ろう、苦難の日に私の声を聞いた神に、その方は私と共にいて、私が歩いた道で私を救った。 そして彼らはヤコブに、彼らの手の中にあった異国の神々と、彼らの耳の中の耳飾りを与えた。そしてヤコブはそれらをシェケムのテレビンの木の下に隠した。そして彼はそれらを今日の日まで滅ぼした。 そしてイスラエルはシェケムから去った。そして神への恐れが彼らの周囲の町々に臨んだ。そして彼らはイスラエルの子らの後を追わなかった。 ヤコブはルザへ来た、それはカナンの地にあり、それはベテルである、彼自身と彼と共にいた全ての民が。 そして彼はそこに祭壇を建て、その場所の名をベテルと呼んだ。というのも彼が兄弟エサウの顔から逃げていた時に、そこで神が彼に現れ

たからである。 デボラ、リベカの乳母が死んだ、そして彼女はベテルの下方の樫の木のそばに葬られた、そしてヤコブはその名を嘆きの樫の木と呼んだ。 神はヤコブにルザで現れた、彼がシリアのメソポタミアから来た時。そして神は彼を祝福した。 そして神は彼に言った、あなたの名前はもうヤコブとは呼ばれない。イスラエルがあなたの名前になる。そして神は彼の名前をイスラエルと呼んだ。神は彼に言った、私はあなたの神である。増えなさい、そして増やしなさい。国々と国々の集会があなたから出るだろう、そして王たちがあなたの腰から出て行くだろう。 そして私がアブラハムとイサクに与えた土地を、あなたに私はそれを与えた。それはあなたのものになるだろう。そしてあなたの後のあなたの子孫に私はこの土地を与えるだろう。 そして神は、彼と話したその場所から昇って行った。 そしてヤコブは柱を立てた、神が彼と共に話したその場所に、石の柱を。そして彼はその上に注ぎの供え物を注ぎ、そして彼はその上に油を注いだ。 そしてヤコブは、神がそこで彼と共に話したその場所の名前を、ベテルと呼んだ。 ヤコブはベテルから出発して、ガデルの塔の向こうに天幕を張った。そして彼がエフラタに来るためにカブラタに近づいた時、ラケルが出産した。そして彼女はその出産において難産だった。 彼女が難産をしている時に、助産婦は彼女に言った、勇気を出しなさい、というのもこの子もあなたにとって息子だからです。 そして彼女が自分の魂を手放す時に起こった、というのも彼女は死にかけていたから、彼女は彼の名前を呼んだ、私の痛みの息子と。しかし父は彼の名前を呼んだ、ベニヤミンと。ラケルは死んだ。そして彼女はエフラタへの道に埋葬された。これはベツレヘムである。 そしてヤコブは彼女の墓の上に柱を立てた。これはラケルの墓の上の柱で今日までである。 イスラエルがあの地に住んだ時、ルベンは行って、彼の父ヤコブの側女ビルハと寝た。

そしてイスラエルはそれを聞いた、そしてそれは彼の目に悪と映った。 ヤコブの息子たちは十二人でした。 レアの息子たち、ヤコブの長子ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン。 ラケルの息子たちは、ヨセフとベニヤミン。 ラケルの女奴隷ビルハの息子たちは、ダンとナフタリ。 レアの女奴隷ジルパの息子たちはガドとアシェルである。これらはヤコブの息子たちであり、彼らはシリアのメソポタミアで彼に生まれた。 ヤコブは彼の父イサクのところへ、平原の町マムレへ来た。これはカナンの地にあるヘブロンである、そこにアブラハムとイサクが滞在した。 イサクが生きた日々は百八十年であった。 そして衰えてイサクは死んだ、そして彼は彼の民族に加えられた、年老いて日々に満ちて。そして彼の息子たちエサウとヤコブが彼を葬った。

36

これらはエサウの系図である。彼はエドムである。 エサウは自分のために妻たちをカナン人の娘たちから娶った。ヒッタイト人エロンの娘アダ、そしてヒビ人ツィブオンの息子アナの娘オホリバマである。 そしてバセマテを、イシュマエルの娘で、ネバヨテの姉妹を。アダは彼にエリファズを産み、バセマトはラグエルを産んだ。 そしてオホリバマはエウシュとエグロムとコラを産んだ。これらはエサウの息子たちで、彼らはカナンの地で彼に生まれた。 エサウは彼の妻たちと、彼の息子たちと、彼の娘たちと、彼の家の全ての者たちと、彼の全ての所有物と、全ての家畜と、彼が獲得した全てのものと、彼がカナンの地で自分のために獲得した全てのものを取った。そしてエサウは彼の兄弟ヤコブのもとからカナンの地から去って

行った。 彼らの所有物は、一緒に住むには多すぎたからである。そして彼らの滞在の地は、彼らの所有物の多さのために、彼らを支えることができなかった。 エサウはセイルの山に住んだ。エサウ自身はエドムである。 これらはエサウの系図である。エドムの父の、セイル山における。 そしてこれらはエサウの息子たちの名前である。エリファズ、エサウの妻アダの息子。そしてラグエル、エサウの妻バセマトの息子。 エリファズの息子たちは、テマン、オマル、ゼフォ、ガタム、そしてケナズであった。 ティムナはエサウの息子エリファズの側室であった。そして彼女はエリファズにアマレクを産んだ。これらはエサウの妻アダの息子たちである。 これらはラグエルの息子たちで、ナホテ、ザレ、ソメ、そしてモゼである。これらはエサウの妻バセマテの息子たちであった。 これらはオリベマスの息子たちで、セベゴンの息子アナの娘、エサウの妻である。そして彼女はエサウにイエウス、イエグロム、コレを産んだ。 これらはエサウの息子たちである指導者たちである。エサウの長子エリファズの息子たち。指導者テマン、指導者オマル、指導者ゼフォ、指導者ケナズ、指導者コラ、指導者ガタム、指導者アマレク。これらはエドムの地におけるエリファズの指導者たちである。これらはアダの息子たちである。 そしてこれらはエサウの息子ラグエルの息子たちである。族長ナハト、族長ゼラ、族長シャマ、族長ミザ。これらはエドムの地におけるラグエルの族長たちである。これらはエサウの妻バセマトの息子たちである。 これらはエサウの妻オホリバマの息子たちである。族長エウシュ、族長ヤラム、族長コラ。これらはエサウの妻でアナの娘オホリバマの族長たちである。 これらはエサウの息子たちで、これらは彼らの指導者たちである。これらはエドムの息子たちである。 これらはその地に住んでいたホリ人セイルの息子たちである。ロタン、ショバル、ツィブオン、アナ、そしてディション、

そしてエツェル、そしてディシャン。これらはエドムの地におけるセイルの息子のホリ人の族長たちである。 ロタンの息子たちはホリとヘマンであった、そしてロタンの姉妹はティムナであった。 これらはショバルの息子たちである。ゴラム、マナハテ、ガイベル、ゾファル、オマル。 そしてこれらはツィベオンの息子たちである、アイエとアナ。この者はアナである、彼は荒野でヤミンを見つけた、彼が彼の父ツィベオンの荷役動物を放牧していた時に。そしてこれらはアナの息子たちである、ディションと、オホリバマ、アナの娘。 これらはディションの息子たちである。アマダ、アスバン、イテラン、そしてハラン。 これらはアサルの息子たちである。バラアム、ズカム、イウカム。 これらはディシャンの息子たち、ウツとアランである。 これらはホリ人の族長である。族長ロタン、族長ショバル、族長ツィブオン、族長アナ、族長ディション、族長エツェル、族長ディシャン。これらはホリ人の族長であり、エドムの地における彼らの領地においてである。 そしてこれらの王たちはエドムで治めた、イスラエルに王が立つ前に。 そしてエドムでベオルの息子バラクが統治した。そして彼の町の名前はデンナバであった。 バラクは死んだ、そしてボツラ出身のゼラの息子ヨバブが彼の代わりに王となった。 ヨバブは死んだ、そしてテマンの地からのアソムが彼の代わりに王となった。 アソムは死んだ。そして、モアブの平原でミディアンを打ち破ったバラドの息子アダドが彼の代わりに王となった。そして彼の町の名前はゲタイムであった。 ハダデは死んだ。そしてマスレカ出身のサムラが彼の代わりに王となった。 サマダは死んだ、そして川のそばのレホボテ出身のサウルが彼の代わりに王となった。 サウルは死んだ、そしてアコボルの息子バレノンが彼の代わりに王となった。 アコボルの息子バレノンは死んだ、そしてバラドの息子アラドが彼の代わりに王となった、そして彼の町の名はポゴル

であった、そして彼の妻の名はメテベエルであった、マトライトの娘でマイゾブの孫であった。 これらはエサウの指導者たちの名前である、彼らの部族において、彼らの場所に従って、彼らの地域において、そして彼らの国々において。指導者ティムナ、指導者アルワ、指導者エテル、指導者オホリバマ、指導者エラ、指導者ピノン、指導者ケナズ、指導者テマン、指導者ミブザル、指導者マグディエル、指導者イラム。これらはエドムの指導者たちである、彼らの所有の地における定住地において。このエサウはエドムの父である。

37

ヤコブは、彼の父がカナンの地で寄留した、その地に住んでいた。そしてこれらはヤコブの子孫の記録である。 ヨセフは十七歳だった。彼は彼の兄弟たちと共に、彼の父の羊を牧していた。若くして、ビルハの息子たちと共に、そしてジルパの息子たちと共に、彼の父の妻たちの息子たちである。そしてヨセフは悪い非難を彼らの父イスラエルのところへ持って行った。 ヤコブは彼の全ての息子たちよりもヨセフを愛していた、なぜなら彼は彼にとって老年の子だったからである。そして彼は彼のために色とりどりの上着を作った。 彼の兄弟たちは、父が彼の息子たち全ての中から彼を愛していることを見て、彼を憎み、そして彼に何も平和的なことを話すことができなかった。 ヨセフは夢を見て、それを彼の兄弟たちに報告した。 そして彼は彼らに言った、私が夢見たこの夢を聞きなさい。 私は思った、あなたたちが野原の真ん中で束を縛っているのを。そして私の束が立ち上がり、まっすぐに立てられた。するとあなたたちの束は向きを変えて、私の束にひれ伏した。 彼の兄弟たちは彼に

言った、お前は本当に私たちの上に君臨するのか、それともお前は本当に私たちを支配するのかと、そして彼らは彼の夢のゆえに、そして彼の言葉のゆえに、さらに彼を憎むようになった。 彼は別の夢を見た。そして彼の父と彼の兄弟たちにそれを語った。そして彼は言った、見よ、私は別の夢を見た。太陽と月と十一の星たちが私にひれ伏していた。 そして彼の父は彼を叱責し、彼に言った、お前が見たこの夢は何だ? それでは確かに、私とあなたの母とあなたの兄弟たちが来て、地にひれ伏してあなたを拝むことになるだろうか? 彼の兄弟たちは彼を妬んだ。しかし彼の父はその言葉を心に留めた。 彼の兄弟たちは、彼らの父の羊を飼うためにシケムへ行った。 そしてイスラエルはヨセフに言った、あなたの兄弟たちはシェケムで羊を飼っているのではないか。 ここへ私はあなたを彼らのところへ送ろう。そして彼は彼に言った、ここに私がおります。 イスラエルは彼に言った、行って見よ、あなたの兄弟たちと羊たちが元気かどうか、そして私に報告せよ。そして彼をヘブロンの谷から送った。そして彼はシェケムに来た。 そしてある男が野原でさまよっている彼を見つけた。そしてその男は彼に尋ねて言った、何を探しているのか。 彼は言った、私は兄弟たちを探しています。彼らがどこで放牧しているか教えてください。 その男は彼に言った、彼らはここから出発しました。というのも私は彼らがドタンへ行こうと言っているのを聞きましたから。そしてヨセフは彼の兄弟たちの後を行き、彼らをドタンで見つけた。 彼らは彼を遠くから見た、彼が彼らに近づく前に。そして彼らは彼を殺すことを悪だくみした。 それぞれの者が自分の兄弟に言った、見よ、あの夢見る者が来る。 さあ、だから、来い、私たちは彼を殺そう、そして私たちは彼を穴の一つに投げ込もう。そして私たちは言うだろう、邪悪な獣が彼を食い尽くした、と。そして私たちは見るだろう、彼の夢がどうなるかを。 ルベ

ンは聞いて、彼を彼らの手から救い出した。そして言った、私たちは彼の魂を打つべきではない。 ルベンは彼らに言った、血を流すな。彼をこの荒野にある穴の一つに投げ込め。しかし手を彼に加えるな。彼を彼らの手から救い出して、彼を彼の父に返すために。 ヨセフが彼の兄弟たちのところへ来た時、兄弟たちはヨセフから彼が着ていた色とりどりの上着を剥ぎ取った。 そして彼を捕まえて、彼らは穴の中に投げ込んだ。その穴は空っぽで、水がなかった。 彼らはパンを食べるために座った。そして目を上げて見た、そして見よ、イシュマエル人の旅人たちがギレアデから来ていた。そして彼らのラクダは香料と樹脂と没薬で満ちていた。 彼らはエジプトへ連れて行くために行った。 ユダは彼の兄弟たちに言った、もし私たちが私たちの兄弟を殺して、彼の血を隠すとしたら、何の役に立つのか。 来い、彼をこれらのイシュマエル人たちに売ろう。しかし私たちの手を彼の上に置いてはならない、なぜなら彼は私たちの兄弟であり私たちの肉だから。 彼の兄弟たちは聞いた。 そしてミディアン人の商人たちが通りかかった。そして彼らはヨセフを穴から引き出して引き上げた。そして彼らはヨセフをイシュマエル人に金貨二十枚で売った。 そして彼らはヨセフをエジプトへ連れて行った。 ルベンは穴のところに戻ったが、ヨセフが穴の中にいるのを見なかった、そして彼は自分の衣を引き裂いた。 そして彼は兄弟たちのところへ戻って言った、あの子はいない。私はこれからどこへ行けばいいんだ。 ヨセフの上着を取って、彼らは山羊の子を屠り、その上着を血で汚した。 そして彼らはその多彩な上着を送り、彼らの父にそれを持って行った。そして彼らは言った、私たちはこれを見つけました。これがあなたの息子の上着かどうか確認してください。 そして彼はそれを認識して言った、私の息子の上着だ。邪悪な獣が彼を食い尽くした。獣がヨセフを奪った。 ヤコブは自分の衣を引き裂

き、荒布を自分の腰に着け、何日も自分の息子を嘆き悲しんだ。 彼の息子たち全員と娘たちが集まった、そして彼を慰めるために来た。しかし彼は慰められることを望まず、私は嘆きながらハデスへ私の息子のところへ下って行くだろうと言った。そして彼の父が彼のために泣いた。 ミディアン人たちはヨセフをエジプトへ、ファラオの宦官である料理長ポティファルに売った。

38

そしてその時に起こった。ユダは彼の兄弟たちから離れて下って行き、ヒラという名前のあるアドラム人のところまで到着した。 そしてユダはそこでカナン人の男の娘を見た。その名はシュアであった。そして彼は彼女をめとり、彼女のもとに入った。 そして妊娠して息子を産み、彼女は彼の名前をエルと名付けた。 そして妊娠して、彼女はまた息子を産み、そして彼女は彼の名前をオナンと呼んだ。 そして更に彼女は息子を産み、彼女は彼の名前をシェラと呼んだ。彼女が彼らを産んだ時、彼女はカズビにいた。 そしてユダは彼の長子エルのために妻を娶った、その名はタマルという。 ユダの長子エルは主の前で邪悪だった、そして神が彼を殺した。 ユダはオナンに言った、お前の兄弟の妻のところに入れ、そして彼女と義兄弟婚をしろ、そしてお前の兄弟に子孫を起こせ。 オナンは、その子孫が彼のものにならないことを知っていたので、彼の兄弟の妻のところに入る時はいつでも地の上に注ぎ出した、彼の兄弟に子孫を与えないために。 そしてそれは神の前に悪と見えた、なぜなら彼がこれをしたからである。そして神は彼をも殺した。 ユダは彼の嫁タマルに言った、あなたの父の家で未亡人として座っていなさい、私の息

子シェラが大きくなるまで。というのも彼は言ったからである、この者もまた彼の兄弟たちのように死ぬことがないように。 去って行って、タマルは彼女の父の家に座っていた。 日々は増やされ、そしてユダの妻シュアは死んだ。そして慰められて、ユダは彼の羊を刈る者たちのところへ上って行った、彼自身と彼の牧者アドラム人ヒラと共にティムナへ。 そしてタマル、彼の嫁に報告された、見よ、あなたの義父がティムナに上って行く、彼の羊を刈るためにと言いながら。 そして彼女は自分から未亡人の衣服を脱いで、ベールを身にまとい、自分を美しく飾り、エナンの門のところに座った。それはティムナへの通り道にある。というのも彼女はシェラが成人したのを見たが、彼は彼女を彼の妻として与えなかったからである。 そしてユダは彼女を見て、彼女が娼婦だと思った。というのも彼女は顔を覆っていたので、彼は彼女だとわからなかったからである。 彼は道から彼女に向かって曲がった。そして彼は彼女に言った、私があなたのところに入ることを許してください。なぜなら彼は知らなかったからである、彼女が彼の嫁であることを。そして彼女は言った、もしあなたが私のところに入るなら、あなたは私に何をくれるのですか。 彼は言った、私はあなたに私の羊の群れから山羊の子を送ります。そして彼女は言った、もしあなたが私に担保を与えるなら、あなたが送るまで。 彼は言った、どんな担保をあなたに与えようか。 そして彼女は言った、あなたの指輪と首飾りとあなたの手にある杖を。 そして彼は彼女に与え、彼女のところへ入った。そして彼女は彼によって身ごもった。 そして立ち上がって彼女は去り、自分のベールを脱ぎ、寡婦の衣服を着た。 ユダは山羊の子ヤギを彼のアドラム人の羊飼いの手によって送った、その女から質物を取り戻すために。そして彼は彼女を見つけなかった。 彼はその場所の男たちに尋ねた、道沿いのエナンにいた娼婦はどこにいます

か? そして彼らはここに娼婦はいませんでしたと言った。 そして彼はユダの方へ振り返って言った、見つけられませんでした。それにその場所の人々は、ここには娼婦はいないと言っています。 ユダは言った、彼女にそれらを持たせておけ。しかし私たちが笑われることがないように。私は確かにこの子山羊を送った、しかしあなたは見つけられなかった。 三ヶ月の後に起こった、ユダに報告された、言って、あなたの嫁タマルは淫行をしました、そして見よ彼女は淫行によって身ごもっています。そしてユダは言った、彼女を連れ出せ、そして焼かれよ。 彼女は連れて行かれながら、彼女の舅に使いを送って、言った、これらのものを持っている男によって、私は身ごもっています。そして言った、認識してください、この指輪と、この首飾りと、この杖が誰のものか。 ユダは認識した、そして言った、タマルは私よりも正しい。なぜなら私は彼女を私の息子シェラに与えなかったからだ。そして彼はもう彼女を知ることはなかった。 そして彼女が産む時になった、そして双子が彼女の胎内にいた。 彼女が出産している時に起こったが、一人が手を先に出した。そして助産婦が取って、彼の手に緋色のものを結んだ、こう言いながら、この者が先に出て来るだろう。 彼女が手を引っ込めると、すぐに彼の兄弟が出てきた。そして彼女は言った、どんな障壁があなたのために破られたのかと。 そして彼はその名をペレツと呼んだ。そしてこの後、その手に緋色があった彼の兄弟が出て来た、そして彼の名前をゼラと呼んだ。

39

ヨセフはエジプトへ連れて行かれた。そしてファラオの宦官で料理

長であるエジプト人の男ポティファルが、彼をそこへ連れて来たイシュマエル人たちの手から彼を買った。 そして主はヨセフと共にいた。そしてヨセフは成功する男だった。そして彼はエジプト人である彼の主人のもとで家の中にいた。 彼の主人は知っていた、主が彼と共にいたことを、そして彼が何をしようとも、主が彼の手において栄えさせることを。 そしてヨセフは彼の主の前で好意を得て、彼を喜ばせた。 そして彼は彼を自分の家の管理者に任命した。そして彼が持っていたすべてのものをヨセフの手に委ねた。 そして彼が彼の家の上に、そして彼にあったすべてのものの上に立てられた後に起こった。そして主はヨセフのゆえにエジプト人の家を祝福した。そして主の祝福は、家の中に、そして彼の畑の中に、彼にあるすべてのものの中に起こった。 そして彼は彼に属していた全てのものをヨセフの手に委ねた。そして彼は自分自身に関することを何も知らなかった、ただ彼自身が食べていたパンを除いて。 そしてヨセフは姿が美しく、見た目が非常に美しかった。 そしてこれらの言葉の後に起こった。そして彼の主人の妻が彼女の目をヨセフの上に向けた。そして言った、私と一緒に寝なさい。 しかし彼は望まなかった。そして彼は彼の主人の妻に言った、私の主人は私のゆえに彼の家の中で何も気にかけず、彼に属する全てのものを私の手に委ねました。この家の中で何も私より上にあるものはなく、何も私から取り去られていません、ただあなたを除いて、なぜならあなたは彼の妻だからです。どうして私はこの悪い事をして、神の前で罪を犯すことができるでしょうか。 そして彼女が日ごとにヨセフに話していた時、彼は彼女の言うことを聞かなかった、彼女と寝ることも、彼女と交わることも。 そのようなある日のことであった。そしてヨセフは彼の仕事をするために家の中に入った。そして家にいる者たちの誰も中にいなかった。 そして彼女は彼の衣服を引っ張って、私と

一緒に寝なさいと言った。そして彼は自分の衣服を彼女の手の中に残して逃げ、外に出て行った。 そして彼が彼の衣服を彼女の手の中に残して逃げたのを彼女が見たとき起こった、そして彼は外に出て行った、そして彼女は家の中にいる者たちを呼んだ、そして彼女は彼らに言った、言いながら、見なさい、彼は私たちにヘブライ人の子供を連れてきた、私たちを嘲るために、彼は私のところに入ってきた、言いながら、私と一緒に寝なさい、そして私は大きな声で叫んだ。 彼が、私が声を上げて叫んだということを聞いた時、彼は自分の衣服を私のそばに残して逃げ、そして外へ出て行った。 そして彼女は、主が彼の家に来るまで、衣服を自分のそばに残した。 そして彼女は彼にこれらの言葉に従って話した、言った、あなたが私たちのところに連れて来たあのヘブライ人の息子が私を嘲るために私のところに入って来た。そして彼は私に私はあなたと寝るだろうと言った 私が声を上げて叫んだと彼が聞いたとき、彼は自分の衣服を私のそばに残して逃げ、外へ出て行った。 そして起こったのは、主が彼の妻の言葉を聞いたときのことである、彼女が彼に向かって話したすべてのことを、あなたの息子は私にこのようにしたと言いながら、そして彼は怒りで激怒した。 そして主人はヨセフを捕らえて、王の囚人たちがそこの要塞の中で拘留されている場所である要塞に彼を投げ入れた。 そして主はヨセフと共にいた、そして彼に憐れみを注いだ、そして獄長の前で彼に恵みを与えた。 そして看守長はヨセフの手に牢獄を委ねた、そして牢獄にいる囚人たち全員を、そしてそこで行われる全てのことを、彼が行っていた。 牢獄の長は彼について何も気にかけていなかった。なぜなら全てのことはヨセフの手を通して行われていたからである、主が彼と共にいたために。そして彼が行っていたことの全てを、主は彼の手の中で繁栄させていた。

40

これらの言葉の後に起こった。エジプトの王の給仕長と、パン焼き長が、彼らの主人であるエジプトの王に対して罪を犯した。 そしてファラオは彼の二人の宦官たち、給仕長と料理長に対して怒った。そして彼は彼らを牢獄に、監獄に、ヨセフがそこに閉じ込められていた場所に入れた。 そして獄長はヨセフに彼らを任せた。そして彼は彼らに仕えた。そして彼らは牢獄に数日間いた。 そして両方とも一つの夜に夢を見た。そして牢獄にいたエジプトの王の給仕長とパン焼き長の夢の幻はこれであった。 ヨセフは朝、彼らのところへ入って彼らを見たが、彼らは動揺していた。 そして彼は、彼の主人のもとで彼と共に牢獄にいたファラオの宦官たちに尋ねて言った、なぜあなたがたの顔は今日憂鬱なのですか。 彼らは彼に言った、私たちは夢を見ましたが、それを解釈する者がいません。ヨセフは彼らに言った、それらの解釈は神によるものではありませんか。 それゆえ私に語りなさい。 そして給仕長は自分の夢をヨセフに語った。そして彼は言った、私の夢の中に一本のぶどうの木が私の前にありました。 そのぶどうの木には三つの枝があり、それ自身が繁茂して芽を出していた。ぶどうの房は熟していた。 そしてファラオのカップが私の手の中にあった。そして私はブドウを取り、それをカップの中に搾り出し、カップをファラオの手に渡した。 そしてヨセフは彼に言った、これがその解釈です。その三つの枝は三日間です。 あと三日で、ファラオはあなたの地位を思い出し、あなたを給仕長の職に復帰させるだろう。そしてあなたは、以前給仕であった時のように、あなたの以前の地位に従って、ファラオの杯を彼の手に渡すだろう。 しかし、あなたに良いことが起こるときには、あなた自身

を通して私を覚えていてください。そして私に憐れみを施してください。そしてファラオに私のことを思い出してください、そしてこの牢獄から私を連れ出してください。 私はヘブライ人の地から盗みによって盗まれたのです、そしてここでも私は何もしていません、しかし彼らは私をこの穴に投げ入れたのです。 そして料理長は正しく解釈されたのを見た。そしてヨセフに言った、私も夢を見た。私は三つのパンのかごを私の頭の上に運んでいると思った。上のかごの中にはファラオが食べるすべての種類のもの、パン職人の仕事があり、天の鳥たちが私の頭の上のかごからそれらを食べていた。 ヨセフは答えて彼に言った、これはその解釈です。三つのかごは三日です。あと三日で、ファラオはあなたの頭をあなたから取り去るでしょう。そしてあなたを木に吊るすでしょう。そして天の鳥たちがあなたの肉をあなたから食べるでしょう。 そして三日目の日に起こった。それはファラオの誕生日であった。そして彼は彼のすべての家来たちに宴会を開いた。そして彼は彼の家来たちの中で献酌官の職と料理長の職を思い出した。 そして彼は給仕長を彼の職に復帰させた。そして彼は杯をファラオの手に渡した。 そして料理長は吊るされた、ちょうどヨセフが彼らに解釈したとおりに。 そして給仕長はヨセフのことを思い出さなかったが、彼を忘れた。

41

二年の日々の後に起こったが、ファラオは夢を見た。彼は川のほとりに立っていると思った。 そして見よ、川から七頭の牛が上がって来た。姿が美しく、肉付きが良く、彼らは草地で草を食んでいた。他の七頭の雌牛がこれらの後に川から上がって来た、外見は醜く、

肉は痩せていて、そして川の岸辺で雌牛たちのそばに立っていた。そして醜くて肉が痩せた七頭の雌牛が、姿が美しくて肉が豊かな七頭の雌牛を食い尽くした。そしてファラオは目覚めた。 そして彼は二度目の夢を見た。そして見よ、選ばれた美しい七つの穂が一つの茎に生えていた。 そして見よ、七つの細くて風に枯らされた穂が、それらの後から生えていた。 そして七つの細くて風に傷んだ穂が七つの選ばれた満ちた穂を飲み込んだ。そしてファラオは目を覚ました、そしてそれは夢だった。 朝になった、そして彼の魂は乱された、そして使いを送って彼はエジプトの全ての解釈者たちと、その全ての賢者たちを呼んだ、そしてファラオは彼らに彼の夢を語った、そしてそれをファラオに告げる者はいなかった そして給仕長はファラオに話して言った、私は今日、私の罪を思い出します。 ファラオは彼の子供たちに怒り、私たちを料理長の家の牢獄に入れた、私と給仕長を。 そして私たち二人は同じ夜に夢を見た、私も彼も、それぞれ自分の夢を見た。 そしてそこに私たちと共に若い男がいた、料理長のヘブライ人の息子である。そして私たちは彼に話した、そして彼は私たちのために解釈した。 彼が私たちに解釈したちょうどそのように起こり実現した、私は私の地位に復帰させられ、彼は吊るされた。 ファラオは使いを送ってヨセフを呼んだ。そして彼らは彼を要塞から連れ出し、彼を剃り、彼の衣を替えた。そして彼はファラオのところへ来た。 ファラオはヨセフに言った、私は夢を見たが、それを解釈する者がいない。しかし私はあなたについて聞いた、あなたが夢を聞けば、それらを解釈すると。 ヨセフはファラオに答えて言った、神なしでは、ファラオに救いの答えは与えられないでしょう。 ファラオはヨセフに話して言った、私の夢の中で私は川の縁のそばに立っていると思った。 そして、川から七頭の雌牛が上がって来た、姿において美しく、肉において選ばれた、

そして彼らは葦の中で草を食んでいた。 そして見よ、七頭の他の雌牛が彼らの後ろから川から上がって来ていた、悪くて外見が醜く、そして肉が痩せていて、エジプトの全地でそのようなもっと醜いものを見たことがなかった。 そして七頭の醜くて痩せた雌牛たちが、最初の七頭の美しくて選ばれた雌牛たちを食い尽くした。 そして彼らはそれらの腹の中に入った。そしてそれらの腹の中に入ったということは明らかにならなかった。そしてそれらの外見は醜かった、ちょうど最初と同じように。しかし目覚めて、私は眠った。 そして私は再び私の眠りの中で見た。七つの穂が一つの茎に生えて上がっていた、満ちていて美しいものだった。しかし他の七つの穂は、細くて風に傷つけられたもので、それらに続いて生えていた。 そして七つの細くて風に傷んだ穂が、七つの美しくて満ちた穂を飲み込んだ。それで私は解釈者たちに言った、しかし私にそれを告げる者はいなかった。 ヨセフはファラオに言った、ファラオの夢は一つです。神がなさることが、ファラオに示されたのです。 その美しい七頭の雌牛は七年です。そしてその美しい七つの穂は七年です。ファラオの夢は一つです。 そして、その七頭の痩せた雌牛、それらの後に上がって来るものは、七年です。そして、その七つの痩せた穂、そして風に打たれたものは、七年です。七年の飢饉があるでしょう。私がファラオに話した言葉は、神が行うことをファラオに示したのです。 見よ、七年の大いなる豊作がエジプトの全ての地にやって来る。 そしてこれらの後に七年の飢饉が来るだろう。そして彼らはエジプト全土にあった満腹を忘れるだろう。そして飢饉がその地を消費するだろう。 そしてその豊かさは、これらの後に来ようとしている飢饉のために、地の上で認識されないだろう。なぜならそれは非常に強いだろうから。 ファラオの夢が二度繰り返されたことについては、それは神からの言葉が真実となるからである。そして神はそ

れを行うことを速めるだろう。 さあだから、賢明で知的な人を探しなさい、そして彼をエジプトの地に任命しなさい。 そしてファラオにそうさせよ、そして地の上に総督たちを任命させよ。そして彼らにエジプトの地の繁栄の七年のすべての産物の五分の一を徴収させよ、そして彼らに来たるこれらの良き七年のすべての食物を集めさせよ。そして穀物をファラオの手のもとに集めさせよ。食物を町々の中に保管させよ。 そして蓄えられた食糧は、エジプトの地に来る七年の飢饉のために、その地のものとなるだろう、そしてその地は飢饉によって滅ぼされないだろう。 その言葉はファラオと彼のすべての家臣たちを喜ばせた。 そしてファラオは彼の家臣たち全てに言った、私たちはこのような男を見つけられるだろうか、その中に神の霊を持っている者を。 ファラオはヨセフに言った、神があなたにこれらすべてのことを示したので、あなたより賢く理解力のある人間はいない。 あなたは私の家を治めるだろう、そしてあなたの命令に私の民は皆従うだろう。ただし玉座においては私があなたより上にいる。 ファラオはヨセフに言った、見よ、私は今日あなたをエジプトの全ての地の上に任命する。 そしてファラオは自分の手から指輪を外して、それをヨセフの手に着けた、そして彼に亜麻布の衣を着せた、そして金の首飾りを彼の首に着けた。 そして彼は彼を自分の第二の戦車に乗せた。そして布告者が彼の前で布告した。そして彼は彼をエジプト全土の統治者に任命した。 ファラオはヨセフに言った、私はファラオである。あなたなしでは、誰もエジプトの全ての地において自分の手を上げないだろう。 そしてファラオはヨセフの名をプソントムファネクと呼んだ。そして彼にヘリオポリスの祭司ペテフレの娘アセネトを妻として与えた。 ヨセフは三十歳だった、彼がエジプトの王ファラオの前に立った時。そしてヨセフはファラオの前から出て行った、そして彼はエジプトの全ての地を

通って行った。 そして地は豊作の七年の間に束を作った。 そして彼は、エジプトの地に繁栄があった七年間の全ての食物を集めた。そして彼は食物を町々に置いた。町の周りの平野の食物を、彼はその町の中に置いた。 そしてヨセフは穀物を海の砂のように非常に多く集めた、数えられることができなくなるまで、というのも数がなかったからである。 ヨセフには二人の息子が生まれた、七年の飢饉が来る前に、彼らをヘリオポリスの祭司ペテフレの娘アセネテが彼に産んだ。 ヨセフは長子の名前をマナセと呼んだ。なぜなら神が私にすべての労苦と私の父のすべてのことを忘れさせたからである。そして二番目の子の名前をエフライムと呼んだ。なぜなら神が私の苦しみの地で私を繁栄させたからである。 エジプトの地において起こった豊作の七年が過ぎ去った。 そして飢饉の七年が来始めた、ヨセフが言った通りに。そして飢饉がすべての地に起こった。しかしエジプトの全土にはパンがあった。 そしてエジプトの地すべてが飢えた。そして民はパンについてファラオに向かって叫んだ。そしてファラオはすべてのエジプト人たちに言った、ヨセフのところへ行け、そして彼があなたたちに言うことを何でも、しなさい。 そして飢饉は全ての地の面の上にあった。ヨセフは全ての穀物倉を開けて、全てのエジプト人たちに売っていた。 そしてすべての地方がエジプトへ来た、ヨセフから買うために。なぜなら飢饉がすべての地を支配していたからである。

42

ヤコブはエジプトに穀物が売られていることを知って、息子たちに言った、なぜお前たちは怠けているのか。 見よ、私は聞いた、エジ

プトに穀物があると。そこへ下って行け、そして私たちのために少しの食物を買え、私たちが生きて死なないために。 ヨセフの十人の兄弟たちはエジプトから穀物を買うために下って行った。しかしヨセフの兄弟ベニヤミンを彼の兄弟たちと一緒に送らなかった。というのは彼は言ったからである、災いが彼に起こるといけないと。 イスラエルの息子たちは来る人々と一緒に買いに来た。というのもカナンの地に飢饉があったからである。 ヨセフはその地の支配者だった。彼はその地のすべての民に売っていた。そしてヨセフの兄弟たちが来て、地に顔を伏せて彼にひれ伏した。 ヨセフは自分の兄弟たちを見て認識した。そして彼らに対してよそよそしく振る舞い、彼らに厳しく話した。そして彼らに言った、どこから来たのかと。 彼らは言った、カナンの地から食べ物を買うために。 ヨセフは自分の兄弟たちを認識した。しかし彼らは彼を認識しなかった。そしてヨセフは自分が見た夢を思い出した。そして彼は彼らに言った、あなたたちはスパイだ、この国の様子を調べるために来たのだ。 彼らは言った、いいえ、ご主人様。私たちあなたの僕は食べ物を買いに来たのです。 私たちは皆、一人の人の息子たちです。私たちは平和的です。あなたの子供たちはスパイではありません。 彼は彼らに言った、違う。あなたたちはその地の弱点を見るために来たのだ。 彼らは言った、私たちはカナンの地にいるあなたの子供で兄弟十二人です。そして見よ、その末の弟は今日私たちの父と共にいます。そしてもう一人は存在しません。 ヨセフは彼らに言った、これは私があなたたちに言ったことです、あなたたちはスパイだと。 このことによってあなたたちは明らかにされるだろう。ファラオの健康にかけて、あなたたちの弟がここに来ないならば、あなたたちは決してここから出ることはない。 あなたがたの中から一人を送って、あなたがたの兄弟を連れて来させなさい。あなたがたは拘束されなさい、

あなたがたの言葉が真実かどうか明らかになるまで。もしそうでなければ、ファラオの命にかけて、確かにあなたがたはスパイです。そして彼は彼らを三日間牢獄に入れた。 彼は三日目に彼らに言った、これをしなさい、そうすればあなたたちは生きるだろう。私は神を恐れるのだから。 もしあなたたちが平和的であるなら、あなたたちの兄弟の一人を牢獄に拘留させなさい。しかしあなたたち自身は行きなさい、そしてあなたたちの穀物の購入品を持ち帰りなさい。 そしてあなたたちの弟を私のところに連れて来なさい、そうすればあなたたちの言葉は信じられるだろう。しかしもしそうでなければ、あなたたちは死ぬだろう。 彼らはそのようにした。 そして各々が自分の兄弟に向かって言った、そうだ、なぜなら私たちは私たちの兄弟について罪の中にいるからだ、なぜなら私たちは彼の魂の苦しみを見過ごしたからだ、彼が私たちに懇願した時に、そして私たちは彼の言うことを聞かなかった。そしてこのために、この苦しみが私たちの上に来たのだ。 ルベンは答えて彼らに言った、私はあなたがたに話さなかったか、その子供を害してはならないと言って。そしてあなたがたは私の言うことを聞かなかった。 そして見よ、彼の血が求められている。 彼ら自身はヨセフが聞いていることを知らなかった。なぜなら通訳が彼らの間にいたからである。そしてヨセフは彼らから離れて向きを変えて泣いた。そして再び彼らに近づいて、彼らに言った。そして彼らからシメオンを取って、彼らの前で彼を縛った。 そしてヨセフは命じた、彼らの器を穀物で満たすこと、そして彼らの銀をそれぞれの袋の中へ返すこと、そして彼らに旅のための食糧を与えること。そしてそのように彼らになされた。 そして彼らは驢馬に穀物を載せて、そこから去った。 一人が宿泊したところで彼の袋を解いて彼のロバたちに飼料を与えようとしたとき、彼は彼の銀の束を見た、そしてそれは袋の口の上にあっ

た。 そして彼は彼の兄弟たちに言った、銀が私に返された、そして見よ、これが私の袋の中にある。そして彼らの心は驚き、そして彼らは互いに動揺して言った、神は私たちに何をしたのか。 彼らはカナンの地にいる父ヤコブのところに来た。そして彼らに起こった全ての事を彼に報告して言った、その地の主人である男が私たちに厳しく話し、私たちをその地をスパイする者として牢獄に入れました。 私たちは彼に言った、私たちは平和的な者です、私たちはスパイではありません。 私たちは十二人の兄弟で、私たちの父の息子たちです。一人はいません。そして末の弟は今日、私たちの父と共にカナンの地にいます。 その地の主である男は私たちに言った、このことによって私はあなたたちが平和的であることを知るだろう。一人の兄弟をここに私と共に残しなさい。そしてあなたたちの家の食糧供給の購入物を取って去りなさい。 そしてあなたたちの弟を私のところに連れて来なさい。そうすれば私はあなたたちがスパイではなく、平和的な者であることを知るだろう。そしてあなたたちの兄弟をあなたたちに返すだろう、そしてあなたたちはその地で商売するだろう。 彼らが袋を空にしていた時にそれが起こった、そして各々の銀の束が彼らの袋の中にあった、そして彼ら自身と彼らの父が彼らの銀の束を見た、そして彼らは恐れた。 彼らの父ヤコブは彼らに言った、お前たちは私から子供を奪った。ヨセフはいない、シメオンはいない、そしてベニヤミンをお前たちは連れて行くのか。これら全てのことが私の身に起こった。 ルベンは彼らの父に言った、もし私が彼をあなたのところへ連れて来ないなら、私の二人の息子たちを殺せ。彼を私の手に委ねよ、そうすれば私は彼をあなたのところへ連れて帰るだろう。 しかし彼は言った、私の息子はあなたたちと一緒に下って行かない、なぜなら彼の兄弟は死んで、彼だけが残されているからだ、そしてあなたたちが行く道で彼に害が及

べば、あなたたちは私の老いた身を悲しみと共に黄泉へ下らせることになるだろう。

43

その飢饉は地の上で強くなった。 彼らがエジプトから持ってきた穀物を食べ尽くし終えた時、彼らの父が彼らに言った、再び行って私たちのために少しの食べ物を買いなさい。 ユダは彼に言った、あの地の主である男が厳粛に私たちに証言しました、もしあなたたちの弟があなたたちと共にいるのでなければ、あなたたちは私の顔を見ることはないだろうと。 もしあなたが私たちの弟を私たちと一緒に送るなら、私たちは下って行くだろうし、あなたのために食べ物を買うだろう。 もしあなたが私たちの弟を私たちと一緒に送らないなら、私たちは行きません。というのも、その男が私たちに言ったのです、あなたたちの弟が一緒にいなければ、私の顔を見ることはできないと。 イスラエルは言った、なぜあなたたちは私にひどいことをしたのか、あなたたちには兄弟がいるとその男に告げて。 彼らは言った、その男は尋ねに尋ねて私たちと私たちの家族について質問し、あなたたちの父はまだ生きているか、あなたたちに兄弟がいるかと言いました。それで私たちはこの質問に従って彼に答えました。私たちは彼が私たちにあなたたちの兄弟を連れて来いと言うとは知らなかったのです。 ユダは彼の父イスラエルに言った、その子供を私と一緒に送ってください。そして立ち上がって私たちは行きましょう、私たちが生きて死なないために、私たちも、あなたも、私たちの家族も。 私は彼を受け取ります。私の手から彼を求めなさい。もし私が彼をあなたのところへ連れて来ず、そして彼をあなた

の前に立たせなければ、私はすべての日々あなたに対して罪を犯した者でいるでしょう。 もし私たちが遅れていなかったら、もう二度戻っていただろうに。 彼らの父イスラエルは彼らに言った、もしそうであるなら、これをしなさい。その地の果実からあなたたちの器に取りなさい、そしてその人に贈り物を持って行きなさい、樹脂と蜂蜜と香料と没薬とテレビンの実とナッツを。 そして二倍の銀をあなたたちの手に取りなさい。あなたたちの袋の中に返されていた銀を、あなたたちと共に返しなさい。それはもしかしたら間違いかもしれない。 そしてあなたたちの兄弟を連れて行きなさい。そして立ち上がってその男のところへ下って行きなさい。 私の神があなたたちにその人の前で恵みを与え、あなたたちのもう一人の兄弟とベニヤミンを送り返してくださいますように。私はまるで子供を失ったように、子供を失ったのだから。 そしてその男たちはこれらの贈り物と二倍の銀を取って、彼らの手にベニヤミンも受け取った。そして立ち上がって彼らはエジプトへ下って行った。そして彼らはヨセフの前に立った。 ヨセフは彼らを見た、そして同じ母の彼の兄弟ベニヤミンを。そして彼の家の執事に言った、その男たちを家の中に連れて来い、そして犠牲を屠り、そして準備せよ。というのはその男たちは正午に私と共にパンを食べるだろうから。 その男はヨセフが言った通りにした。そして彼はその男たちをヨセフの家に連れて入った。 男たちは、自分たちがヨセフの家に連れて行かれたのを見て言った、最初に私たちの袋の中に返された銀のために、私たちは連れて行かれているのだ、私たちを偽って訴え、私たちを攻撃し、私たちを奴隷として取り、私たちのロバを取るためだ。 彼らは近づいて、ヨセフの家を管理する男に、家の門で話しかけ、言った、お願いします、ご主人様。私たちは最初に食物を買うために下って来ました。 私たちが宿に着いた時、私たちの袋を開けると、それぞれ

の袋の中にその銀があった。私たちは私たちの銀を元の重さのまま今私たちの手に持ち帰ってきた。 そして私たちは食べ物を買うために別の銀を自分たちと共に持って来ました。私たちは誰が私たちの袋の中に銀を投げ入れたのかを知りません。 彼は彼らに言った、あなたたちに恵み深く、恐れるな。あなたたちの神、そしてあなたたちの父たちの神が、あなたたちの袋の中にあなたたちに宝を与えた。そしてあなたたちの銀を私は受け取った。そして彼は彼らのところへシメオンを連れ出した。 そして彼は彼らの足を洗うために水を運んだ、そして彼は彼らのロバに飼料を与えた。 彼らは贈り物を準備した、ヨセフが正午に来るまで。というのも彼らは、彼がそこで食事をするつもりであると聞いていたからだ。 ヨセフは家の中に入った、そして彼らは彼らの手に持っていた贈り物を家で彼に持って来た、そして彼らは顔を地に伏して彼に拝んだ。 彼は彼らに尋ねた、元気ですかと。 そして彼は彼らに言った、あなたたちが言っていたあの年老いた父親は元気ですか？ まだ生きているのか? 彼らは言った、あなたの息子である私たちの父は健康で、まだ生きています。 そして彼は言った、あの人は神に祝福されていると。そして彼らは身をかがめて彼を拝んだ。 ヨセフは彼の目を上げて見て、彼の同じ母の兄弟ベニヤミンを見た。そして言った、これはあなたがたの弟、あなたがたが私のところに連れて来ると言った者ですか。 そして彼は言った、神があなたを憐れみますように、子よ ヨセフは動揺した。というのも彼の内臓が彼の兄弟のことで掻き乱されていたからである、そして彼は泣くことを求めていた。そして部屋に入って、彼はそこで泣いた。 そして顔を洗って、出て行って自分を制御した。そして彼は言った、パンを出しなさい。 そして彼らは彼に一人で食事を出し、彼らには彼ら自身で、そして彼と一緒に食事をしているエジプト人たちには彼ら自身で出した。というのもエジプト

人たちはヘブライ人たちと一緒にパンを食べることができなかったからである。それはエジプト人たちにとって忌み嫌うべきものだからである。 彼らは彼の前に座った。長子は彼の年長の順に従って、そして若い者は彼の若さの順に従って。そして人々は驚いた、各々が自分の兄弟に向かって。 彼らは彼から分け前を受け取った。そしてベニヤミンの分け前は他の全ての者たちの分け前より五倍大きかった。そして彼らは彼と共に飲んで酔った。

44

そしてヨセフは彼の家を管理する者に命じて言った、その男たちの袋を食べ物で満たせ、彼らが運べるだけ多く、そして各々の銀を袋の口に入れよ。 そして私の銀の杯を若い者の袋の中に入れなさい、そして彼の穀物の代金も。そしてヨセフの言葉の通りになった、彼が言った通りに。 朝が明けた。そして人々は送り出された、彼らも彼らのロバたちも。 彼らが町を出て行ったが、遠くには離れていなかった。そしてヨセフは彼の家の執事に言った、立ち上がって人々の後を追いかけろ、そしてお前は彼らに追いつけ、そしてお前は彼らに言え、なぜお前たちは良いことの代わりに悪いことで返したのか。 なぜあなたたちは私の銀のコップを盗んだのですか? これは私の主人が飲むところのものではありませんか? しかし彼自身は自分の中で占いによって占いを行う。 あなたたちがしたことは悪いことで、それを完全に成し遂げた。 彼らを見つけて、彼はこれらの言葉を彼らに言った。 彼らは彼に言った、なぜ主はこのような言葉を話すのですか。 あなたの子供たちがこの言葉に従って行うことがありませんように。 もし私たちが私たちの袋の中で見つけた銀をカナン

の地からあなたに返したのなら、どうして私たちがあなたの主人の家から銀や金を盗めるでしょうか。 あなたの子供たちの中の誰のところでその杯を見つけるなら、その者は死ぬべし。そして私たちもまた私たちの主の僕となるだろう。 彼は言った、そして今、あなたたちが言う通り、そのようになるだろう。誰のところでそのカップが見つかろうとも、その者は私の奴隷となる。しかしあなたたちは潔白となる。 そして彼らは急いだ、そして各々が自分の袋を地面に下ろした。そして各々が自分の袋を開けた。 彼は年長者から始めて、年少者のところに来るまで捜索した。 そして彼はベニヤミンの袋の中にそのカップを見つけた。 そして彼らは自分たちの衣服を引き裂き、各々が自分の袋を自分のロバの上に載せ、そして町へ戻った。 ユダと彼の兄弟たちは、ヨセフがまだそこにいる時に、ヨセフのところへ入って来た。そして彼らは彼の前で地面にひれ伏した。 ヨセフは彼らに言った、あなたたちはなぜこの事をしたのか？ あなたたちは知らないのか、私のような人は占いで占うということを？ ユダは言った、私たちは主に何と答えればよいのか、あるいは何を話せばよいのか、あるいはどうやって潔白だと証明されればよいのか。 神があなたの子供たちの不正を見つけました。見なさい、私たちは私たちの主人の僕です、私たちも、そしてその杯が見つかった者も。 ヨセフは言った、私がこの事をするなど決してあってはならない。その杯が見つかった者、彼が私の奴隷となる。しかしあなたたちは無事にあなたたちの父のところへ帰って行きなさい。 ユダが彼に近づいて言った、お願いします、主よ。あなたのしもべに一言あなたの前で話させてください、そしてあなたのしもべを怒らせないでください、というのもあなたはファラオと同じだからです。 主よ、あなたはあなたの子供たちに、父か兄弟を持っているかと言って尋ねた。 そして私たちは主に言いました、私たちには年老いた父

がいます、そして彼には老年の頃の若い子供がいます、そして彼の兄弟は死にました、しかし彼だけが彼の母に残されました、そして父は彼を愛しました。しかしあなたはあなたの僕たちに言いました、彼を私のところに連れて来なさい、そして私は彼の世話をします。そして私たちは主に言いました、その子供は自分の父を離れることができないでしょう。しかしもし父を離れるなら、死ぬでしょう。あなたはあなたの子供たちに言った、もしお前たちの弟がお前たちと一緒に来なければ、お前たちは再び私の顔を見ることはないだろう。 私たちがあなたのしもべである私たちの父のところへ上って行った時、私たちは彼に私たちの主の言葉を報告しました。 私たちの父が言った、再び行って、私たちのために少しの食べ物を買いなさい。 私たちは言いました、私たちは下って行くことができません。しかしもし私たちの弟が私たちと共に下って行くなら、私たちは下って行くでしょう。なぜなら私たちの弟が私たちと共にいなければ、私たちはその人の顔を見ることができないからです。 あなたの子である私たちの父が私たちに言いました、あなたたちは知っているように、妻が私に二人を産んだ、そして一人が私のもとから出て行った、そしてあなたたちは野獣に食われたと言った、そして私は今まで彼を見ていない。 もしそれゆえあなたたちが私の前からこの者をも連れて行き、そして道中で彼に災いが起こるなら、あなたたちは悲しみとともに私の老いた身を黄泉へ下すことになるだろう。 だから今もし私があなたの息子、私たちの父のところへ入って行くとして、そしてその子供が私たちと共にいないなら、そして彼の魂がこの子の魂から吊り下がっているので、そして彼がその子供が私たちと共にいないのを見る時に、彼は死ぬだろう、そしてあなたの息子たちはあなたの息子、私たちの父の老齢を悲しみと共にハデスへ引き下ろすだろう。 というのも、あなたの息子は父からその

子供を受け取ったのです、こう言って、もし私が彼をあなたのところへ連れて行かず、そして彼をあなたの前に立たせなければ、私はすべての日々父に対して罪を犯した者となるでしょうと。 だから今、私はあなたのところにその子供の代わりに子として残ります、主の召使いとして。しかしその子供は彼の兄弟たちと一緒に上って行かせてください。 子供が私たちと一緒にいないのに、私はどうやって父のところへ行けるだろうか。 私の父を襲うであろう悪いことを、私が見ないために。

45

そしてヨセフは自分のそばに立っているすべての者たちに耐えることができなかった。しかし彼は言った、すべての者を私のもとから送り出せ。そして誰もヨセフのそばに立っていなかった、彼が自分の兄弟たちに自分を明かした時には。 そして彼は泣きながら声を上げた。そしてすべてのエジプト人たちがそれを聞いた、そしてそれはファラオの家にまで聞こえた。 ヨセフは彼の兄弟たちに向かって言った、私はヨセフである。まだ私の父は生きているか。 そして兄弟たちは彼に答えることができなかった。なぜなら彼らは動揺していたからだ。 ヨセフは彼の兄弟たちに言った、私に近づきなさい。そして彼らは近づいた。そして彼は言った、私はヨセフ、あなたたちの兄弟、あなたたちがエジプトに売った者です。 だから今、悲しまないでください、そしてあなたたちが私をここに売ったことを辛いと思わないでください。なぜなら神が命を救うためにあなたたちより先に私を送ったのですから。 これは二年目の飢饉がその地の上にあるからです、そしてまだ残りの五年があり、その中で耕作もな

く、収穫もないでしょう。というのも神が私をあなたたちの前に送ったのです、あなたたちの残りの者を地の上に残すために、そしてあなたたちの大いなる残存者を養うために。 だから今、あなたたちが私をここに送ったのではなく、神が送ったのです。そして神は私をファラオの父のようにし、彼の家全体の主とし、そしてエジプトの地全体の支配者としました。 急いで、それゆえあなたたちは私の父のところへ上って行き、そして彼に言いなさい、これらのことをあなたの息子ヨセフが言う。神が私をエジプトの全ての地の主にした。それゆえ私のところへ下って来なさい、そしてとどまるな。そしてあなたはアラビアのゴシェンの地に住むだろう。そしてあなたは私の近くにいるだろう、あなたと、あなたの息子たちと、あなたの息子たちの息子たちと、あなたの羊と、あなたの牛と、あなたに属する全てのものが。 そして私はあなたをそこで養うだろう。まだ五年の飢饉があるから。あなたとあなたの息子たちとあなたのすべての持ち物が滅ぼされないように。 見よ、あなたたちの目は見ている、そして私の兄弟ベニヤミンの目も見ている、私の口があなたたちに向かって話していることを。 だから私の父に、エジプトにおける私の全ての栄光と、あなたたちが見た全てのものを報告しなさい。そして急いで私の父をここに連れて来なさい。 そして彼の兄弟ベニヤミンの首に倒れかかって、彼の上で泣いた。そしてベニヤミンは彼の首の上で泣いた。 そして彼の兄弟たち全員に口づけして、彼は彼らのことで泣いた。そしてその後、彼の兄弟たちは彼に話しかけた。 そしてその知らせはファラオの家に伝えられた、ヨセフの兄弟たちが来たと言って。そしてファラオと彼の家臣たちは喜んだ。 ファラオはヨセフに言った、お前の兄弟たちに言え、これをしなさい。お前たちの運搬具を満たしなさい、そしてカナンの地へ去りなさい そしてあなたたちの父を連れて、あなたたちの持ち物も連

れて、私のところに来なさい。そして私はあなたたちにエジプトのすべての良いものを与えよう、そしてあなたたちはその地の髄を食べるだろう。 あなたはこれらのことを命じなさい。彼らがエジプトの地から荷馬車を取ることを、あなたたちの子供たちのために、そしてあなたたちの妻たちのために。そしてあなたたちの父を連れて来なさい。 そしてあなたたちの持ち物に目を惜しんではいけない。なぜならエジプトのすべての良いものがあなたたちのものになるからだ。 イスラエルの息子たちはそのようにした。そしてヨセフは王ファラオによって言われたことに従って、彼らに荷車を与えた。そして彼は彼らに旅のための食糧を与えた。そして全員に彼は二着の衣を与えた。しかしベニヤミンには彼は三百の金貨と五着の着替えの衣を与えた。 そして彼は彼の父に同じように送った。十頭のロバはエジプトのすべての良いものを運んでおり、十頭のラバは彼の父のために道中のパンを運んでいた。 彼は自分の兄弟たちを送り出し、彼らは行った。そして彼は彼らに言った、道中で怒ってはいけない。 そして彼らはエジプトから上って行き、彼らの父ヤコブのところへ、カナンの地へ来た。 そして彼らは彼に報告して言った、あなたの息子ヨセフは生きています、そして彼はエジプトの全ての地を治めていますと。そしてヤコブは心が動転した、というのも彼は彼らを信じなかったからです。 彼らは彼に、ヨセフによって語られた全てのこと、彼が彼らに言った全てのことを話した。 ヨセフが彼を連れて行くために送った馬車を見て、彼らの父ヤコブの霊が生き返った。 イスラエルは言った、私にとって大きなことだ、もし私の息子ヨセフがまだ生きているなら。私は死ぬ前に行って彼に会おう。

46

イスラエルは、彼自身と彼のすべてのものを連れて出発し、誓いの井戸に来た。そして彼は、彼の父イサクの神に犠牲を捧げた。 神はイスラエルに夜の幻の中で言った、ヤコブ、ヤコブと。そして彼は言った、何ですかと。 そして彼は彼に言う、私はあなたの父たちの神である。エジプトへ下ることを恐れるな。なぜなら私はそこであなたを大いなる民にするだろう。 そして私はあなたと共にエジプトへ下るだろう、そして私は最後にあなたを連れ上げるだろう。そしてヨセフはその手をあなたの目の上に置くだろう。 ヤコブは誓いの井戸から立ち上がった。そしてイスラエルの息子たちは彼らの父と荷物と彼らの妻たちを、ヨセフが彼を運ぶために送った荷車に乗せた。 そして彼らの持ち物を取り上げて、そして彼らがカナンの地から得た全ての財産を持って、ヤコブは彼の全ての子孫と共にエジプトへ入った。 息子たち、そして彼の息子たちの息子たちが彼と共にいた。娘たち、そして彼の娘たちの娘たち。そして彼は彼のすべての子孫をエジプトへ導いた。そしてこれらは彼らの父ヤコブと共にエジプトへ入ったイスラエルの息子たちの名前である。 ヤコブと彼の息子たち。ヤコブの長子、ルベン。 ルベンの息子たちは、エノク、ファロス、ヘツロン、カルミ。 シメオンの息子たちは、エムエル、ヤミン、エフデ、ヤキン、ツォハル、そしてカナン人の女の息子サウル。 レビの息子たちは、ゲルション、カハテ、そしてメラリ。ユダの息子たちは、エル、オナン、シェラ、ペレツ、ゼラ。エルとオナンはカナンの地で死んだ。ペレツの息子たちは、ヘツロンとイェムエルであった。 イッサカルの息子たちは、トラ、プア、アスム、シムロンである。 ゼブルンの息子たちは、セレド、エロン、そして

ヤフレエルである。 これらはレアの息子たちで、彼女がシリアのメソポタミアでヤコブに産んだ者たち、そして彼の娘ディナである。すべての魂は、息子たちと娘たちで、三十三人である。 ガドの息子たちは、ツェフォン、ハギ、シュニ、エツボン、アロディ、そしてアレリ。 アシェルの息子たちは、イエムナ、イエッスア、イエウル、バリア、そして彼らの姉妹サラ。 ベリアの息子たちはコボルとメルキイルである。 これらはジルパの息子たちである。ラバンが彼の娘レアに与えた彼女が、これらの者たちをヤコブに産んだ。十六の魂である。 ヤコブの妻ラケルの息子たちは、ヨセフとベニヤミンである。 ヨセフの息子たちはエジプトの地で生まれた。彼らをヘリオポリスの祭司ペテフレの娘アセネトが彼に産んだ、マナセとエフライムを。そしてマナセの息子たちが生まれた。彼らをシリア人の側室が彼に産んだ、マキルを。そしてマキルはギレアデを生んだ。そしてマナセの兄弟エフライムの息子たちは、シュテラとタアムである。そしてシュテラの息子たちは、エドムである。 ベニヤミンの息子たちは、バラとベケルとアシュベルです。 バラの息子たちとなったのは、ゲラ、そしてノエマン、そしてアンキス、そしてロシュ、そしてマムフィムであった。そしてゲラはアラドを生んだ。 これらはラケルがヤコブのために産んだ息子たちである。全ての人数は十八人。 ダンの息子はアソム。 そしてナフタリの息子たち、アシエル、グニ、イザハル、シレム。 これらはビルハの息子たちである。ラバンは彼女を自分の娘ラケルに与えた。彼女はこれらをヤコブに産んだ。全ての魂は七つである。 ヤコブと共にエジプトに入ったすべての魂、彼の腿から出た者たち、ヤコブの息子たちの妻たちを除いて、すべての魂は六十六人であった。そしてヨセフに、エジプトの地で生まれた息子たちは、九人の魂であった。 ヤコブと共にエジプトに入ったヤコブの家のすべての人々は、七十五人であった。 彼は

ユダを自分より先にヨセフのもとへ送った、ヘロオンの町で彼に会うために、ラメセスの地に。 ヨセフは自分の戦車を繋いで、父イスラエルとの会見のために英雄の町へ上って行った。そして彼に会うと、彼の首に抱きつき、激しく泣いた。 そしてイスラエルはヨセフに言った、私は今から死んでもよい、あなたの顔を見たのだから。あなたはまだ生きているのだから。 ヨセフは自分の兄弟たちに言った、上って行ってファラオに報告します、そして彼に言います、私の兄弟たちと私の父の家の者たちは、カナンの地にいましたが、私のところに来ました その男たちは羊飼いです。というのも男たちは家畜飼育者でしたから。そして彼らは家畜と牛と彼らのすべてのものを連れてきました。 もしファラオがあなたたちを呼んで、あなたたちの仕事は何ですかと言うならば。 あなたたちは言うでしょう、あなたの子供たちである私たちは、子供の頃から今まで家畜飼いです、私たちも私たちの父たちも。これはあなたたちがゴシェンの地に住むためです。なぜなら羊の羊飼いはすべてエジプト人たちにとって忌み嫌われるものだからです。

47

ヨセフは来てファラオに報告して言った、私の父と私の兄弟たちと家畜と彼らの牛と彼らの全てのものがカナンの地から来ました。そして見なさい、彼らはゴシェンの地にいます。 彼の兄弟たちの中から五人の男たちを連れて来て、彼らをファラオの前に立たせた。 そしてファラオはヨセフの兄弟たちに言った、あなたたちの仕事は何ですか。 彼らはファラオに言った、あなたの僕たちは羊の牧者です、私たちも私たちの父たちも。 彼らはファラオに言った、この地

に寄留するために私たちは来ました。なぜなら、あなたのしもべたちの家畜のための牧草地がないからです。というのも、飢饉がカナンの地で激しくなったからです。それで今、私たちはゴシェンの地に住みたいのです。 ファラオはヨセフに言った、彼らをゴシェンの地に住まわせなさい。もしあなたが彼らの中に有能な男たちがいることを知っているならば、彼らを私の家畜の支配者に任命しなさい。 ヤコブとその息子たちはエジプトのヨセフのところへ来た、そしてエジプトの王ファラオはそれを聞いた。 そしてファラオはヨセフに言った、あなたの父とあなたの兄弟たちがあなたのところに来ました。 見よ、エジプトの地はあなたの前にある。最良の地に、あなたの父とあなたの兄弟たちを住まわせなさい。 ヨセフは彼の父ヤコブを連れて来た、そしてファラオの前に彼を立たせた、そしてヤコブはファラオを祝福した。 ファラオはヤコブに言った、あなたの人生の年月は何年ですか。 ヤコブはファラオに言った、私が寄留している私の人生の年月は百三十年です。私の人生の年月は短く苦しいものでした。それらは私の父たちが寄留した彼らの人生の年月には達しませんでした。 そしてヤコブはファラオを祝福して、彼のもとから出て行った。 そしてヨセフは彼の父と彼の兄弟たちを定住させ、ファラオが命じた通りに、エジプトの地の最良の地、ラメセスの地に彼らに所有地を与えた。 そしてヨセフは彼の父と兄弟たちと彼の父の家の全員に、体に応じて穀物を量り与えた。 穀物は全ての地になかった。飢饉が非常に強くなったためである。エジプトの地とカナンの地は飢饉のために衰えた。 ヨセフは、エジプトの地とカナンの地で見つけられた全ての銀を、彼らが買っていた穀物の代金として集め、彼らに穀物を量って与え、ヨセフは全ての銀をファラオの家へ運び入れた。 そして、すべての銀がエジプトの地からとカナンの地から尽きた。そして、すべてのエジプト人たちがヨセフの

ところに来て言った、私たちにパンを与えてください。なぜ私たちはあなたの前で死ななければならないのですか。 私たちの銀が尽きてしまったのです。 ヨセフは彼らに言った、あなたたちの家畜を持って来なさい、そうすれば私はあなたたちにパンを与えよう、あなたたちの家畜の代わりに、もしあなたたちの銀が尽きたのなら。彼らは彼らの家畜をヨセフのところへ連れて来た。そしてヨセフは彼らにパンを与えた、馬と引き換えに、そして羊と引き換えに、そして牛と引き換えに、そしてロバと引き換えに。そして彼は彼らを養った、パンで、彼らのすべての家畜と引き換えに、その年に。 その年は過ぎ去った。そして彼らは二年目に彼のところに来た。そして彼らは彼に言った、私たちが私たちの主の前から滅ぼされることがありませんように。 もし私たちの銀が尽きてしまい、財産と家畜があなた主のもとへ行き、私たちの主の前に私たちに残されているのは、ただ私たち自身の体と私たちの土地だけならば、それゆえ私たちがあなたの前で死なないように、そして土地が荒れ果てないように、パンの代わりに私たちと私たちの土地を買ってください、そうすれば私たちと私たちの土地はファラオの僕になります。種をください、私たちが種を蒔けるように、そして生きて死なないように、そして土地が荒れ果てないように。 そしてヨセフはエジプト人たちの全ての土地をファラオのために獲得した。というのもエジプト人たちは彼らの土地をファラオに売ったからである。というのも飢饉が彼らを圧倒したからである。そして土地はファラオのものになった。 そして彼は民を彼のために奴隷にして僕たちとした、エジプトの境界の端から端まで、祭司たちの土地だけを除いて。ヨセフはこれを獲得しなかった。というのもファラオは祭司たちに贈り物を与えたからである、そして彼らはファラオが彼らに与えた贈り物を食べていた。このゆえに彼らは彼らの土地を売らなかった。 ヨセ

フはすべてのエジプト人たちに言った、見よ、私は今日あなたたちとあなたたちの土地をファラオのために手に入れた。自分たちのために種を取り、そして土地に蒔け。 そしてその産物があるだろう。そしてあなたたちは五分の一をファラオに与えるだろう。そして四つの部分はあなたたち自身のものになるだろう、土地への種のために、そしてあなたたちの食物のために、そしてあなたたちの家の中にいる全ての者のために。 そして彼らは言った、あなたは私たちを救ってくださった。私たちは我が主の前で恩恵を得ました、そして私たちはファラオの僕となるでしょう。 そしてヨセフは彼らのために命令を定めた、この日まで、エジプトの地において、ファラオに五分の一を納めること、祭司たちの地だけを除いて、それだけはファラオのものではなかった。 イスラエルはエジプトの地、ゴシェンの地に住み、彼らはそこを相続し、彼らは増え、非常に増し加えられた。 ヤコブはエジプトの地で十七年生きた。そしてヤコブの生涯の年は百四十七年となった。 イスラエルの死ぬ日が近づいた。そして彼は息子ヨセフを呼んで、彼に言った、もし私があなたの前に恵みを見つけたなら、あなたの手を私の腿の下に置いて、私に憐れみと真実を行ってくれ、私をエジプトに葬らないために。しかし私は私の父たちと共に眠るだろう。そしてあなたは私をエジプトから運び出して、私を彼らの墓に葬ってくれ。そして彼は言った、私はあなたの言葉に従って行います。 そして彼は言った、私に誓ってくれと。そして彼は彼に誓った。そしてイスラエルは彼の杖の先に寄りかかって礼拝した。

48

これらの言葉の後に起こった。そしてヨセフに報告された、あなたの父が苦しんでいると。そして彼の二人の息子たちマナセとエフライムを連れて、ヤコブのところに来た。 ヤコブに報告された、見よ、あなたの息子ヨセフがあなたのところに来ますと言って。そしてイスラエルは力を奮い起こして、寝台の上に座った。 そしてヤコブはヨセフに言った、私の神は私にカナンの地のルズで現れ、そして私を祝福し、そして私に言った、見よ、私はあなたを増やし、そしてあなたを増し加え、そしてあなたを諸国民の集会とし、そしてあなたにこの地を与え、そしてあなたの後のあなたの子孫に、永遠の所有として与える。 さて、それゆえ、あなたの二人の息子たち、私があなたのところへエジプトへ来る前にエジプトの地であなたに生まれた者たちは、私のものである。エフライムとマナセは、ルベンとシメオンのように私のものとなるであろう。 そしてその子孫たち、あなたがこの後に生む子供たちは、彼らの兄弟たちの名のもとになる。彼らはその者たちの相続地によって呼ばれる。 私がシリアのメソポタミアから来ていた時、お前の母ラケルはカナンの地で死んだ、私がエフラタに来るためにその地のカブラタの競馬場に近づいていた時に。そして私は競馬場の道に彼女を埋葬した。これはベツレヘムである。 イスラエルはヨセフの息子たちを見て、そして言った、これらはあなたの誰ですか ヨセフは彼の父に言った、彼らは私の息子たちです、神がここで私に与えてくださった者たちです。ヤコブは言った、彼らを私のところに連れて来なさい、私が彼らを祝福できるように。 イスラエルの目は老齢のために霞んでいた、そして彼は見ることができなかった、そして彼は彼らを自分の方へ近づけた、そして彼は彼らにキスをした、そして彼は彼らを抱きしめた。 そしてイスラエルはヨセフに言った、見よ、私はお前の顔を見ることを奪われなかった、そして見よ、神は私にお前の子孫をも見

せてくれた。 そしてヨセフは彼らを彼の膝から導き出した。そして彼らは地の上で顔を地につけて彼に礼拝した。 ヨセフは彼の二人の息子たちを連れて行った。エフライムを自分の右手に、イスラエルの左側から、そしてマナセを自分の左手に、イスラエルの右側から、彼らを彼に近づけた。 イスラエルは右手を伸ばして、エフライムの頭の上に置いた。この者は若い方だった。そして左手をマナセの頭の上に置いた。両手を交互にして。 そして彼は彼らを祝福し、そして言った、私の父たちアブラハムとイサクが御前で喜ばれた神、私を若い時から今日まで養ってくださった神、私をすべての悪から救い出してくださる使者よ、これらの子供たちを祝福してください。そして私の名と私の父たちアブラハムとイサクの名が彼らにおいて呼ばれるでしょう。そして彼らが地の上で大いなる群衆へと増やされますように。 ヨセフは、彼の父が自分の右手をエフライムの頭の上に置いたのを見て、それは彼にとって重く思われた。そしてヨセフは父の手を取って、それをエフライムの頭からマナセの頭の上に移そうとした。 ヨセフは彼の父に言った、そうではありません、父よ、この者が長子です。あなたの右手を彼の頭の上に置いてください。 そして彼は望まなかったが、言った、私は知っている、子よ、私は知っている。この者も一つの民となるだろう、そしてこの者も高められるだろう。しかし彼の弟である若い方が彼より大きくなるだろう、そして彼の子孫は多くの国民となるだろう。 そして彼はその日に彼らを祝福して言った、あなたがたによってイスラエルは祝福されるだろう、神があなたをエフライムのようにそしてマナセのようにしますようにと言って。そして彼はエフライムをマナセの前に置いた。 イスラエルはヨセフに言った、見よ、私は死のうとしている。そして神はあなたがたと共にいるだろう、そして神はあなたがたをあなたがたの父祖の地へ連れ戻すだろう。 私はあなた

にシケムを与える、あなたの兄弟たちよりも特別なものとして、それは私がアモリ人の手から私の剣と弓で取ったものである。

49

ヤコブは自分の息子たちを呼んで、彼らに言った、集まりなさい、終わりの日々にあなたたちに何が起こるかを告げよう。 集まりなさい、そして私の声を聞きなさい、ヤコブの息子たちよ。イスラエルよ、聞きなさい、あなたたちの父の声を聞きなさい。 ルベン、私の長子よ、あなたは私の力、そして私の子供たちの始まりだ、耐え難く厳しく、そして厳しく我が儘だ。 水のように傲慢に振る舞ったが、沸き立つな、なぜならお前は自分の父の寝床に上ったからだ。その時お前はその寝床を汚した、お前が上った所を。 シメオンとレビは兄弟で、彼らの選択による不正を完成した。彼らの会議に私の魂が入らないように、そして彼らの集会に私の肝臓が加わらないように。なぜなら彼らは怒りの中で人々を殺し、そして欲望の中で雄牛の腱を切ったからだ。 呪われているのは彼らの怒り、なぜならわがままだから。そして彼らの憤怒も呪われている、なぜならそれは硬くなったから。私は彼らをヤコブの中で分けるだろう、そして私は彼らをイスラエルの中で散らすだろう。 ユダよ、あなたの兄弟たちはあなたを賛美するだろう。あなたの手はあなたの敵の背の上にある。あなたの父の息子たちはあなたにひれ伏すだろう。 ユダの獅子の子よ。若枝から、わが息子よ、あなたは上った。横たわってあなたは眠った、獅子のように、そして若獅子のように。誰が彼を起こすのか。 ユダから支配者は絶えることなく、彼の腿から導く者も絶えない、彼のために蓄えられているものが来るまで。そして彼自

身が諸国民の期待である。 彼の子馬をぶどうの木に縛り、彼のろばの子馬をつるに縛り、彼の衣をぶどう酒で洗い、ぶどうの血で彼の外套を洗うだろう。 彼の目はぶどう酒より喜びに満ち、彼の歯は乳より白い。 ゼブルンは海岸に住むだろう、彼は船の停泊地のそばにいて、シドンまで延びるだろう。 イッサカルは良いものを欲した、相続地の間で休みながら。 そして休息が良いことを見て、そして土地が肥えていることを見て、彼は彼の肩を労働に差し出し、そして彼は農夫になった。 ダンは彼の民を裁くだろう、イスラエルにおける一つの部族のように。 そしてダンは蛇になれ、道の上に、小道の上に座って、馬の踵を噛む者となれ。そして騎手は後ろに落ちるだろう、主の救いを待ちながら。 ガドについては、略奪者の群れが彼を襲うだろう。しかし彼自身は、彼らの踵に迫って襲うだろう。 アシェル、彼のパンは豊かである。そして彼は支配者たちに美味を与えるだろう。 ナフタリは伸びやかな幹であり、その子孫に美しさを与える。 増やされた息子ヨセフ、私の増やされた羨まれる息子、私の最も若い息子よ、私のところへ戻りなさい。 彼らは相談しながら彼を罵っていた、そして弓矢の主人たちが彼に恨みを抱いていた。そして彼らの弓は力とともに砕かれた。そして彼らの手の腕の筋は解かれた、ヤコブの支配者の手によって。そこからイスラエルを打ち負かした者が、あなたの父の神のもとから来た。 そして私の神があなたを助けた、そしてあなたを祝福した、上からの天の祝福と、すべてのものを持つ地の祝福を、乳房と子宮の祝福のゆえに。あなたの父とあなたの母の祝福は、永続する山々の祝福を超えて勝った、そして永遠の丘の祝福の上に。それらはヨセフの頭の上にあるだろう、そして彼が導いた兄弟たちの頂の上に。 ベニヤミンは貪欲な狼、朝にはまだ食べ、そして夕方には食物を与える。 これら全てはヤコブの息子たち十二人である。そして彼らの父は彼らにこれら

のことを語った。そして彼は彼らを祝福した。彼は各々をその祝福に従って祝福した。 そして彼は彼らに言った、私は私の民に加えられる。私を私の父たちと共に洞穴に葬ってくれ、それはヒッタイ人エフロンの畑にある二重の洞穴、マムレの前にある、カナンの地にある洞穴だ。アブラハムがヒッタイ人エフロンから墓の所有として獲得した洞穴だ。 そこで彼らはアブラハムと彼の妻サラを葬った。そこで彼らはイサクと彼の妻レベッカを葬った。そこで彼らはレアを葬った。ヘテの息子たちからの、その中にある洞窟と畑の所有地において。 そしてヤコブは息子たちに命じることをやめた。そして彼は足を寝台の上に上げて、息絶えた。そして彼は自分の民のもとに加えられた。

50

そしてヨセフは父の顔に倒れ伏して泣き、父にキスをした。 そしてヨセフは彼の僕である防腐処理者たちに、彼の父を防腐処理するように命じた。そして防腐処理者たちはイスラエルを防腐処理した。そして彼らは彼のために四十日を満たした。なぜならこのように埋葬の日々は数えられるからである。そしてエジプトは七十日彼を嘆いた。 喪の日々が過ぎ去った後、ヨセフはファラオの高官たちに話しかけて言った、もし私があなたたちの前で恵みを見つけたなら、私について話してくださいファラオの耳に、こう言って、私の父は私に誓わせました、言って、私がカナンの地で私自身のために掘った墓に、そこに私を葬りなさいと。今だから上って行って、私の父を葬り、そして戻りますと。そしてファラオはヨセフに言った、
上って行け、あなたの父を葬れ、ちょうど彼があなたに誓わせたよ

うにと。 そしてヨセフは彼の父を葬るために上って行った。そして彼と共にファラオの家臣たち全員と彼の家の長老たちとエジプトの地の長老たち全員とヨセフの家族全員と彼の兄弟たちと彼の父の家全員と彼の親族が一緒に上って行った。そして羊たちと牛たちはゴシェンの地に残された。 そして彼と一緒に戦車と騎兵が上って行った。そして陣営は非常に大きくなった。 そして彼らはヨルダンの向こうにあるアタドの脱穀場に到着した。そして彼らは非常に大きく激しい嘆きをもって彼のために嘆いた。そして彼は彼の父のために七日間喪に服した。 そしてカナンの地の住民たちはアタドの脱穀場での嘆きを見た、そして彼らは言った、これはエジプト人たちにとって大きな嘆きであると。このゆえに彼はその名をエジプトの嘆きと呼んだ、それはヨルダンの向こうにある。 そして彼の息子たちは彼にこのようにした。 そして彼の息子たちは彼をカナンの地へ運び上げた。そして彼らは彼を二重の洞穴に葬った。その洞穴はアブラハムが墓の所有として、ヒッタイト人エフロンから獲得したもので、マムレの前にあった。 そしてヨセフはエジプトへ戻った、彼自身も彼の兄弟たちも、そして彼の父を葬るために一緒に行った人々も。 ヨセフの兄弟たちは、彼らの父が死んだのを見て言った、ヨセフが私たちに恨みを持ち、私たちが彼に行ったすべての悪事を私たちに報いとして返すことがありませんように。 そしてヨセフのところに来て彼らは言った、あなたの父は彼が死ぬ前に誓わせました、言って、このようにヨセフに言え、彼らの不正と彼らの罪を彼らに赦せ、なぜなら悪いことを彼らはあなたに示したから、そして今あなたの父の神の僕たちの不正を受け入れよそしてヨセフは彼らが彼に話している時に泣いた。 そして彼のところに来て、彼らは言った、私たちはあなたの僕です。 ヨセフは彼らに言った、恐れるな、わたしは神に仕える者だから。 あなたたちは私に対して悪いことを

計画したが、神は私について良いことを計画した、今日のようになるために、そして多くの民が養われるために。 そして彼は彼らに言った、恐れるな。私はあなたたちを養うだろう、そしてあなたたちの家族も。そして彼は彼らを励まし、彼らの心に語りかけた。 そしてヨセフはエジプトに住んだ、彼自身と彼の兄弟たちと彼の父の全ての家族が。そしてヨセフは百十年生きた。 そしてヨセフはエフライムの子供たちを第三世代まで見た。そしてマナセの息子マキルの息子たちがヨセフの膝の上に生まれた。 そしてヨセフは自分の兄弟たちに言った、私は死ぬ。しかし神は必ずあなたたちを顧みるだろう、そして神はあなたたちをこの地から、神が私たちの父祖アブラハム、イサク、そしてヤコブに誓った地へ導き上げるだろう。 そしてヨセフはイスラエルの息子たちに誓わせて言った、神があなたたちを訪れるその訪問の時に、あなたたちは私の骨をここからあなたたちと共に運び上げなさい。 そしてヨセフは百十歳で死んだ、そして彼らは彼を葬り、そして彼らは彼を棺の中に置いた、エジプトに。

出エジプト記

1

これらはエジプトに入ったイスラエルの息子たちの名前である、彼らの父ヤコブと共に、各々が自分の全家族と共に入った。 ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン、ベニヤミン、ダン、そしてナフタリ、ガド、そしてアシェル。 ヨセフはエジプトにいた。そしてヤコブに由来する全ての人々は、七十五人であった。 ヨセフは死に、彼の兄弟たち全員も、そしてあの世代全体も死んだ。イスラエルの子らは増やされ、増え広がり、おびただしくなり、非常に非常に強くなった。そして地は彼らを増やした。 そして別の王がエジプトに立ったが、その者はヨセフを知らなかった。 彼は彼の国民に言った、見よ、イスラエルの息子たちの種族は大きな群衆であり、そして私たちよりも強い。 さあ、だから、彼らに対して賢く対処しよう、彼らが増えないように、そして、私たちに戦争が起こる時には、彼らもまた敵対者たちに加わり、そして、私たちと戦って、その地から出て行くだろう。 そして彼は彼らに労働の監督者たちを置いた、労働において彼らを苦しめるために。 そして彼らはファラオのために要塞都市を建てた、ピトムと、ラメセスと、ヘリ

オポリスであるオンを。 彼らを卑しくすればするほど、それだけますます増え、そして非常に非常に強くなった。そしてエジプト人たちはイスラエルの子らを嫌悪した。 そしてエジプト人たちはイスラエルの子らを力ずくで圧迫した。 そして彼らは厳しい労働において彼らの生活を苦しめた、泥と煉瓦作りにおいて、そして平野におけるすべての労働において、彼らが力をもって彼らを奴隷にしたすべての労働に従って。 そしてエジプトの王はヘブライの助産婦たちに言った、彼女たちの一人の名はセフォラ、そして二人目の名はプア。そして言った、あなたたちがヘブライの女たちの出産を助ける時、そして彼女たちが出産しようとしている時、もし男であるならば、それを殺しなさい。しかしもし女ならば、それを生かしておきなさい。 しかし助産婦たちは神を恐れ、エジプトの王が彼女たちに命じた通りにはせず、男の子たちを生かしておいた。 エジプトの王は助産婦たちを呼んで、彼女たちに言った、なぜあなたたちはこのことをして、男の子たちを生かしておいたのか。 助産婦たちはファラオに言った、ヘブライの女たちはエジプトの女たちのようではありません。というのも彼女たちは助産婦たちが彼女たちのところへ入る前に産むからです。そして彼女たちは産んだ。 神は助産婦たちによくしてくださった。そして民は増え、非常に強くなった。 そして助産婦たちは神を恐れたので、彼女たちは自分たちのために家を作った。 ファラオは彼の全ての民に命じて言った、ヘブライ人に生まれる全ての男子は川に投げ込め、そして全ての女子はそれを生かしておけ。

2

レビの部族出身のある人がいて、彼はレビの娘たちの一人を妻に娶った。 そして身ごもり、男子を産んだ。そして彼らはそれが美しいのを見て、三ヶ月の間それを隠した。 彼らがもはやそれを隠すことができなくなったので、彼の母は籠を取り、それにアスファルトとピッチを塗り、その子供をその中に入れ、それを川のそばの沼地に置いた。 そして彼の姉妹は遠くから見張っていた、彼に起こるであろうことが何かを知るために。 ファラオの娘は川で身を洗うために下って行った、そして彼女の侍女たちは川のそばを歩いていた、そして沼地の中のかごを見て、侍女を遣わして、それを取り上げた。 開けると、彼女は籠の中で泣いている子供を見た。ファラオの娘は彼を憐れみ、そして言った、これはヘブライ人の子供です。 そして彼の姉妹はファラオの娘に言った、あなたは望みますか、私があなたのためにヘブライ人たちから乳を与えている女を呼びましょうか、そして彼女があなたのためにその子供に乳を与えるでしょう。 ファラオの娘は言った、行きなさい。そして若い女は行って、その子供の母を呼んだ。 ファラオの娘は彼女に向かって言った、私のためにこの子供を保ちなさい、そして私のためにそれを授乳しなさい、そして私はあなたに報酬を与えるだろう。そしてその女はその子供を取り、そしてそれを授乳した。 その子供が成長したとき、彼女はその子をファラオの娘のところへ連れて行った、そしてその子は彼女の息子になった。そして彼女は彼の名前をモーセと名付けて、私は水から彼を拾い上げたと言った。 そしてそれらの多くの日々において、モーセは大きくなって、彼の兄弟たちイスラエルの息子たちのところへ出て行った。そして彼らの労苦を見て、彼はエジプト人の男がある一人のヘブライ人を打っているのを見た、彼自身の兄弟たちイスラエルの息子たちの中の者を。 あちこちを見回したが、誰も見えなかった、そしてそのエジプト人を打って、彼を砂

の中に隠した。 出て行って、二日目に、喧嘩している二人のヘブライ人の男たちを見る。そして不正を行っている者に言う、なぜあなたは隣人を打つのか。 彼は言った、誰があなたを私たちの上の支配者と裁判官に任命したのか。 あなたは私を殺したいのですか、昨日あのエジプト人を殺したのと同じように? モーセは恐れて言った、もしこのようにこのことが明らかになったのなら。 ファラオはこの言葉を聞いた、そしてモーセを殺そうとした。 モーセはファラオの顔から退き、ミディアンの地に住んだ。そしてミディアンの地に来て、井戸のそばに座った。 ミディアンの祭司には七人の娘がいて、彼女たちは父イテロの羊の世話をしていた。そして彼女たちは到着すると水を汲み、貯水槽を満たして、父イテロの羊に水を飲ませた。 羊飼いたちがやって来て彼女たちを追い出した。しかしモーセは立ち上がって彼女たちを救い出し、彼女たちのために水を汲み、彼女たちの羊に飲ませた。 彼女たちは自分たちの父ラグエルのところへ来た。そして彼は彼女たちに言った、なぜあなたたちは今日来るのを急いだのか。 彼女たちは言った、エジプト人の男が私たちを羊飼いたちから救い出し、そして私たちのために水を汲み、そして私たちの羊に飲ませました。 彼は自分の娘たちに言った、それで彼はどこにいるのか? そしてなぜあなたたちはその男を置き去りにしたのですか だから彼を呼びなさい、彼がパンを食べるように。 モーセはその男のもとに住み着いた。そして彼は自分の娘ツィポラをモーセに妻として与えた。 胎内に宿して、その女は息子を産んだ。そしてモーセは彼の名をゲルショムと名付けて、私は異国の地で寄留者だからと言った。 そしてあの多くの日々の後、エジプトの王は死んだ、そしてイスラエルの息子たちは労働のゆえに深くうめいた、そして彼らは叫んだ、そして彼らの叫びは労働のゆえに神へと上った。 そして神は彼らのうめきを聞いた。そして神はアブラハムとイサクとヤ

コブに対しての彼の契約を思い出した。 そして神はイスラエルの子らを見た、そして神は彼らに御自身を知らせた。

3

そしてモーセは彼の義理の父イテロの、ミディアンの祭司の羊を飼っていた、そして彼は羊を荒野へ導いた、そして彼はホレブの山へ来た。 彼に主の使者が茨の藪から炎の火の中で現れた。そして彼は見る、その藪が火で燃えている、しかしその藪は焼き尽くされていなかった、ということを。 モーセは言った、近づいて行ってこの大いなる光景を見よう、その茂みが燃え尽きないからだ。 そして主が彼が見るために近づくのを見たとき、主は柴の中から彼を呼んで、言った、モーセよ、モーセよ。そして彼は言った、何ですか。 そして彼は言った、ここに近づくな。あなたの足からサンダルを脱げ、というのもその場所は。 あなたが立っているその場所は、聖なる地である。 そして言った、私はあなたの父の神である、アブラハムの神、そしてイサクの神、そしてヤコブの神。しかしモーセは自分の顔を背けた、なぜなら神の前を見つめることを恐れたからである。 主はモーセに言った、見て私はエジプトにいる私の民の苦しみを見た、そして監督者たちからの彼らの叫びを私は聞いた。というのも私は彼らの痛みを知っているからだ、そして私はエジプト人たちの手から彼らを救い出すために下って来た、そしてあの地から彼らを連れ出すために、そして良い広い地へ彼らを連れて行くために、乳と蜜が流れる地へ、カナン人たちとヒッタイト人たちとアモリ人たちとペリジ人たちとギルガシ人たちとヒビ人たちとエブス人たちの場所へ。 そして今、見よ、イスラエルの子らの叫びが私のところに

来た。そして私は、エジプト人たちが彼らを苦しめているその苦しみを見た。 そして今、私はあなたをエジプトの王ファラオのところへ送る、そしてあなたは私の民イスラエルの子らをエジプトの地から連れ出すだろう。 そしてモーセは神に言った、私は何者なのですか、私がエジプトの王ファラオのところへ行くとは、そして私がイスラエルの子らをエジプトの地から連れ出すとは。 神はモーセに言った、私はあなたと共にいるだろう。そしてこれがあなたへのしるしである、私があなたを送り出すということが。あなたが私の民をエジプトから導き出す時、あなたたちはこの山で神に仕えるだろう。 そしてモーセは神に言った、見よ、私はイスラエルの子らのところへ出て行きます、そして私は彼らに言います、私たちの父たちの神が私をあなたたちのところへ遣わしたと。彼らは私に尋ねるでしょう、その名前は何かと。 私は彼らに何と言おうか? そして神はモーセに言った、私は在る者であると。そして言った、このようにあなたはイスラエルの子らに言いなさい、在る者が私をあなたたちのもとに遣わしたと。 そして神はモーセに再び言った、このようにあなたはイスラエルの子らに言いなさい、主、私たちの父祖の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神が、私をあなたたちのところへ遣わした。これは私の永遠の名であり、代々への記念である。 来たので、それゆえイスラエルの息子たちの長老会議を集めなさい、そして彼らに言いなさい、我々の父たちの神である主が私に現れた、アブラハムの神、そしてイサクの神、そしてヤコブの神が、言って、確かに私はあなたたちを訪問した、そしてエジプトにおいてあなたたちに起こったことを。 そして言った、私はあなたたちをエジプト人の苦しみから連れ上がらせる、カナン人とヒッタイト人とアモリ人とペリジ人とギルガシ人とヒビ人とエブス人の地へ、乳と蜜が流れる地へ。 そして彼らはあなたの声を聞くだろう。

そしてあなたは、あなたとイスラエルの長老会議は、エジプトの王ファラオのところへ入るだろう。そしてあなたは彼に言うだろう、ヘブライ人の神が私たちを召した。だから私たちは三日の道を荒野へ行くだろう、私たちの神に犠牲を捧げるために。 私は知っている、エジプトの王ファラオは強い手によらなければあなたたちを行かせないだろう。 そして手を伸ばして、私はエジプト人たちを私のすべての不思議なわざをもって打つだろう、それらを私は彼らに対して行うだろう、そしてその後に彼はあなたたちを送り出すだろう。 そして私はこの民にエジプト人たちの前で好意を与えるだろう。そしてあなたたちが出発する時、あなたたちは空手で去らないだろう。しかし女が隣人から、そして彼女と共に住む者から銀の器、そして金の器、そして衣服を求めるだろう。そしてあなたたちはあなたたちの息子たちの上に、そしてあなたたちの娘たちの上にそれらを置くだろう。そしてあなたたちはエジプト人たちを略奪するだろう。

4

モーセは答えて言った、もし彼らが私を信じず、また私の声を聞かないなら、彼らは神はあなたに現れなかったと言うだろうから、私は彼らに何と言えばよいのか。 主は彼に言った、あなたの手の中にあるこれは何か？ 彼は杖ですと言った。 そして言った、それを地面に投げろ。そして彼はそれを地面に投げた、そしてそれは蛇になった。そしてモーセはそれから逃げた。 そして主はモーセに言った、手を伸ばして、尾をつかめ。それで彼は手を伸ばして尾をつかんだ。そしてそれは彼の手の中で杖になった。 彼らがあなたを信じる

ために、彼らの父たちの神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神があなたに現れたということを。 主は彼に再び言った、あなたの手をあなたの懐に入れなさい。そして彼は自分の手を自分の懐に入れた。そして彼は自分の手を自分の懐から出した。そして彼の手は雪のようになった。 そして再び言った、あなたの手をあなたの懐に入れなさい。そして彼は手を彼の懐に入れた。そして彼はそれを彼の懐から出した。そして再びそれはその肉の色に戻った。 もし彼らがあなたを信じず、最初のしるしの声を聞かないなら、彼らは二番目のしるしの声を信じるだろう。 そしてもし彼らがこれら二つのしるしによってあなたを信じず、またあなたの声を聞かないなら、あなたは川の水を取り、乾いた地の上に注ぐだろう。そしてあなたが川から取った水は、乾いた地の上で血となるだろう。 モーセは主に言った、お願いします、主よ。私は以前も、おとといも十分ではありませんでした。あなたの僕に話し始めた時からもそうです。私は声が弱く、舌が遅いのです。 主はモーセに言った、誰が人に口を与えたのか。 そして誰が難聴の者と聾唖の者、見える者と盲目の者を作ったのか? 私は神ではないのか? そして今行け、そして私はあなたの口を開くだろう、そして私はあなたが話そうとしていることをあなたに教えるだろう。 そしてモーセは言った、お願いします、主よ。あなたが遣わされる他の有能な者を任命してください。 そして主はモーセに対して怒りに燃え、言った、見よ、あなたの兄弟アロン、あのレビ人がいるではないか。 私は知っている、彼があなたに必ず話すだろうということを。そして見よ、彼はあなたに会うために出て行くだろう、そしてあなたを見て彼は心の中で喜ぶだろう。そしてあなたは彼に言うだろう、そしてあなたは私の言葉を彼の口に入れるだろう、そして私はあなたの口と彼の口を開くだろう、そして私はあなたたちがすることをあなたたちに教えるだろう。 そし

て彼自身があなたのために民に話すだろう、そして彼自身があなたの口になるだろう。しかしあなたは彼にとって神に向かうものになるだろう。 そしてあなたは、蛇に変わったこの杖を自分の手に取るだろう、それによってあなたはそのしるしたちを行うだろう。 モーセは行って、彼の義父イエテロのところへ戻り、そして言った、私は行ってエジプトにいる私の兄弟たちのところへ戻り、そして彼らがまだ生きているかどうか見よう、そしてイエテロはモーセに言った、健康で行け、そしてあの多くの日々の後、エジプトの王は死んだ。 主はミディアンでモーセに言った、行け、エジプトへ去れ。なぜなら、あなたの魂を求めていた者たち全員が死んだのだから。 モーセは妻と子供たちを連れて行き、彼らを荷物を運ぶ獣に乗せ、そしてエジプトへ戻った。そしてモーセは神からの杖を彼の手に取った。 主はモーセに言った、あなたが行ってエジプトへ帰るとき、私があなたの手に与えたすべての不思議を見よ。あなたはそれらをファラオの前で行うだろう。しかし私は彼の心を硬くするだろう、そして彼は民を送り出さないだろう。 あなたはファラオに言うでしょう、主はこう言われる、イスラエルは私の長子である。 私はあなたに言った、私の民を送り出せ、彼らが私に仕えるために。もしあなたが彼らを送り出すことを望まないなら、見よ、私はあなたの長子の息子を殺すだろう。 そして道中の宿泊所で、主の使いが彼に会い、彼を殺そうとした。 そしてツィポラは石を取って、彼女の息子の包皮を切り取った。そして彼の足元に倒れ伏して、言った、私の子供の割礼の血です。 そして彼女は彼から去った、なぜなら彼女は私の子供の割礼の血が止まったと言ったからである。 そして主はアロンに言った、モーセに会うために荒野へ行け。そして彼は行った、そして神の山で彼に会った、そして彼らは互いに口づけした。 そしてモーセはアロンに、主が送った全ての言葉と、主が彼に

命じた全ての言葉を報告した。 モーセとアロンは行き、イスラエルの子らの長老会議を集めた。 そしてアロンは、神がモーセに語ったこれらすべての言葉を語り、そして民の前でそのしるしを行った。そして民は信じ、喜んだ。なぜなら神がイスラエルの子らを訪れ、彼らの苦しみを見たからである。そして民は身をかがめて礼拝した。

5

そしてこの後、モーセとアロンはファラオのところへ入った。そして彼らは彼に言った。イスラエルの神である主がこう言われる。私の民を送り出せ。彼らが荒野で私のために祭りを祝えるように。 そしてファラオは言った、誰だというのか、その者の声を私が聞いて、イスラエルの子らを去らせねばならないとは。 私は主を知らないし、イスラエルを去らせることもしない。 そして彼らは彼に言う、ヘブライ人の神が私たちを召されました。ですから私たちは三日の道のりを荒野へ行きます、私たちの神である主に犠牲を捧げるために、死または殺戮が私たちに降りかからないように。 そしてエジプトの王は彼らに言った、モーセとアロン、なぜお前たちは民を仕事から背かせているのか? あなたたちの各々は自分の仕事へ行きなさい。 そしてファラオは言った、見よ、今や民は増えている。だから我々は彼らを労働から休ませてはならない。 ファラオは民の監督たちと書記たちに命じて言った、もはやお前たちは昨日と一昨日のように、煉瓦作りのために民に藁を与え続けてはならない。しかし彼ら自身を行かせ、そして彼ら自身のために藁を集めさせよ。 そして彼ら自身が作っているレンガ作りの割り当てを、毎日彼らに課す

だろう。何も減らさないだろう。というのも彼らは暇があるからだ。このために彼らは叫んだのだ、こう言って、立ち上がろう、そして私たちの神に犠牲を捧げよう、と。 これらの人々の仕事を重くせよ、そして彼らにこれらのことを心配させよ、そして彼らに空しい言葉を心配させるな。 監督たちと書記たちが彼らを急き立てていた、そして民に向かって言っていた、ファラオはこう言われる、もはや私はお前たちに藁を与えないと。 あなたたち自身が行って、自分たちのために藁を集めなさい、どこであれ見つけたところで。というのも、あなたたちの割り当てから何も減らされないからである。 そして民はエジプトの全土に散らされて、藁の代わりに刈り株を集めた。 監督たちは彼らを急き立てていた、こう言いながら、日ごとの義務である仕事を完成させよ、ちょうどあなたたちに藁が与えられていた時と同じように。 そしてイスラエルの子らの民の書記たち、彼らの上に任命された者たちが、ファラオの監督たちによって鞭打たれた、なぜあなたたちは昨日と一昨日のように、今日もあなたたちのレンガ作りの割り当てを完成させなかったのかと言われて。 イスラエルの息子たちの書記官たちが入って来て、ファラオに向かって叫び、なぜあなたはこのようにあなたの僕たちにするのかと言った。 藁はあなたの召使いたちに与えられていない、そして煉瓦を作れと彼らは私たちに言う。そして見よ、あなたの子供たちは鞭打たれている、だからあなたはあなたの民を不当に扱うことになる。 そして彼は彼らに言った、あなたたちは怠けている、怠け者である。だからこそ、あなたたちは行かせてくれ、我々の神に犠牲を捧げさせてくれと言うのだ。 さあ、だから行って働きなさい。わらはあなたたちに与えられないが、レンガ作りの割り当ては引き渡さなければならない。 イスラエルの息子たちの書記官たちは自分たち自身が悪い状況の中にいるのを見た、そして言った、あなたたちは

日ごとのレンガ作りの務めを減らされないだろう。 彼らはファラオのもとから出て来る時にモーセとアロンが彼らに会いに来るのに出会った、そして彼らに言った、神があなたたちを見て裁かれますように、なぜならあなたたちは私たちの匂いをファラオの前で、そして彼の家来たちの前で憎むべきものにし、彼の手に剣を与えて私たちを殺させるようにしたのだから。 モーセは主の方へ戻った。そして言った、お願いします、主よ。なぜあなたはこの民を苦しめたのですか。 そして何故あなたは私を送ったのですか。 そして私がファラオのところへ行った時から、あなたの名において話すために、彼はこの民を苦しめました。そしてあなたはあなたの民を救い出しませんでした。

6

そして主はモーセに言った、あなたは私がファラオに行うことをすぐに見るだろう。なぜなら強い手によって彼は彼らを送り出すだろう、そして高く上げた腕によって彼は彼らを彼の地から追い出すだろう。 神がモーセに話し、彼に言った、私は主である。 そして私はアブラハムとイサクとヤコブに、彼らの神として現れた。そして私の名である主を、私は彼らに明らかにしなかった。 そして私は彼らに対して私の契約を立てた、彼らが寄留したカナン人たちの地、彼らがその上に寄留したその地を彼らに与えるために。 そして私はイスラエルの息子たちのうめき声を聞いた、エジプト人たちが彼らを奴隷にしているそのうめき声を、そして私はあなたたちとの契約を思い出した。 行け、私はイスラエルの息子たちに言った、言って、私は主である、そして私はあなたたちをエジプト人たちの権力から

連れ出すだろう、そして私はあなたたちを奴隷状態から救い出すだろう、そして私はあなたたちを高い腕と大いなる裁きによって贖うだろう、そして私はあなたたちを私自身のために私の民として取るだろう、そして私はあなたたちの神となるだろう、そしてあなたたちは知るだろう、私が主であり、あなたたちの神であり、あなたたちをエジプト人たちの抑圧から連れ出した者であることを。 そして私はあなたたちをその地へ連れて行くだろう。その地へ私は私の手を伸ばした、それをアブラハムとイサクとヤコブに与えるために。そして私はあなたたちにそれを相続として与えるだろう。私は主である。 モーセはこのようにイスラエルの子らに語った。しかし彼らは気落ちのためと厳しい労働のためにモーセの言うことを聞かなかった。 主はモーセに言った、入って、エジプトの王ファラオに話せ、彼が自分の地からイスラエルの子らを送り出すように。 モーセは主の前で話して言った、見よ、イスラエルの子らは私の言うことを聞かなかった、そしてどうしてファラオが私の言うことを聞くだろうか。 しかし私は非理性的だ。 主はモーセとアロンに言い、エジプトの王ファラオのもとへ行くよう彼らに命じた、イスラエルの子らをエジプトの地から送り出させるために。 そしてこれらは彼らの父祖の家の指導者たちである。イスラエルの長子ルベンの息子たち、エノク、そしてパル、ヘツロン、そしてカルミ。これがルベンの一族である。 そしてシメオンの息子たち、エムエル、ヤミン、エフド、ヤキン、サアル、そしてカナン人女性からのサウル。これらはシメオンの息子たちの家族である。 そしてこれらはレビの息子たちの名前で、彼らの家族によるものである。ゲルション、ケハテ、そしてメラリ。そしてレビの生涯の年は百三十七であった。 そしてこれらはゲルションの息子たちである。リブニとシメイ。彼らの氏族による家々。 そしてカアテの息子たち、アムラム、イツハル、ヘブロ

ン、そしてウジエル。そしてカアテの生涯の年は百三十三年であった。 そしてメラリの息子たち、マフリとムシ。 これらはレビの父祖の家々であり、彼らの氏族によるものである。 そしてアムラムは彼の父の兄弟の娘ヨケベデを自分の妻として娶った。そして彼女は彼にアロンとモーセ、そして彼らの姉妹ミリアムを生んだ。そしてアムラムの生涯の年は百三十二年であった。 そしてイツハルの息子たち、コラとネフェグとジクリ。 ウジエルの息子たちは、ミシャエル、エリツァファン、セグレイ。 アロンはアミナダブの娘でナフションの姉妹であるエリシェバを妻として娶った。そして彼女は彼にナダブとアビウとエレアザルとイタマルを産んだ。 コレの息子たちは、アシル、エルカナ、そしてアビアサフ。これらがコレの子孫である。 そしてアロンの息子エレアザルはプティエルの娘たちの中から妻を娶った。そして彼女は彼にピネハスを産んだ。これらが彼らの世代によるレビ人の家族の長たちである。 このアロンとモーセは、神が彼らに、イスラエルの子らをその軍勢とともにエジプトの地から連れ出すように言った者たちである。 これらの者たちはエジプトの王ファラオに話しかけた者たちである。そして彼らはイスラエルの子らをエジプトの地から導き出した、アロンとモーセ自身が、主がエジプトの地でモーセに語られた日に。 そして主はモーセに話して言った、私は主である。ファラオ、エジプトの王に、私があなたに言うことすべてを話せ。 そしてモーセは主の前で言った、見よ私は弱い声です、そしてどのようにファラオは私の言うことを聞くでしょうか

7

そして主はモーセに言った、言って、見よ、私はあなたをファラオにとっての神として与えた、そしてあなたの兄弟アロンはあなたの預言者となるだろう。 あなたは私があなたに命じる全てのことを彼に話しなさい。そしてあなたの兄弟アロンがファラオに話し、彼がイスラエルの子らを彼の地から送り出すようにしなさい。 私はファラオの心を硬くし、エジプトの地で私のしるしと不思議を増やすだろう。 そしてファラオはあなたたちの言うことを聞かないだろう。そして私は私の手をエジプトの上に置くだろう。そして私は私の力をもって私の民、イスラエルの子らをエジプトの地から連れ出すだろう、大いなる復讐をもって。 そして全てのエジプト人たちは知るだろう、私が主であることを、私がエジプトの上に私の手を伸ばす時、そして私はイスラエルの子らを彼らの真ん中から連れ出す。 モーセとアロンは行った。主が彼らに命じたちょうどその通りに、そのように彼らは行った。 モーセは80歳で、彼の兄弟アロンは83歳だった、彼がファラオに話した時。 そして主はモーセとアロンに言った、もしファラオがあなたたちに私たちにしるしか不思議を見せよと言うなら、あなたはあなたの兄弟アロンに杖を取って、ファラオの前と彼の僕たちの前で地の上に投げなさいと言いなさい、そうすればそれは蛇になるだろう。 モーセとアロンはファラオの前に、そして彼の家来たちの前に入った。そして彼らは主が彼らに命じた通りにそのようにした。そしてアロンはファラオの前に、そして彼の家来たちの前に杖を投げた。そしてそれは蛇になった。 ファラオはエジプトの賢者たちと魔術師たちを呼び集めた、そしてエジプト人の呪術師たちも彼らの魔術で同様に行った。 そして彼らは各々自分の杖を投げた、そしてそれらは蛇になった、そしてアロンの杖はそれらの杖を飲み込んだ。 そしてファラオの心は頑なになり、彼は彼らの言うことを聞かなかった、ちょうど主が命じた通り

に。 主はモーセに言った、ファラオの心は頑なにされている、民を去らせないために。 朝にファラオのところへ行け。見よ、彼は水のところへ出て行く、そしてあなたは川の岸で彼に会うだろう。そして蛇に変わった杖をあなたの手に取れ。 そしてあなたは彼に言うだろう、ヘブライ人の神である主が私をあなたのところに遣わした、こう言って、私の民を送り出せ、彼らが荒野で私に仕えるために、と。そして見よ、あなたは今までこれを聞かなかった。 主はこれらのことを言う。このことによって、あなたは私が主であることを知るだろう。見よ、私は私の手の中にある杖で川の中の水を打つ、そしてそれは血に変わるだろう。 そして川の中の魚たちは死ぬだろう。そして川は悪臭を放つだろう、そしてエジプト人たちは川の水を飲むことができなくなるだろう。 主はモーセに言った、あなたの兄弟アロンに言え、あなたの杖をあなたの手に取れ、そしてあなたの手をエジプトの水の上に伸ばせ、そして彼らの川の上に、そして彼らの運河の上に、そして彼らの沼の上に、そして彼らの集まっている全ての水の上に、そしてそれは血になるだろうと。そして血になった、エジプトの全ての地において、木の中にも石の中にも。 そしてモーセとアロンは主が彼らに命じた通りにそのようにした。そして彼は杖を持ち上げてファラオの前で、そして彼の家来たちの前で川の中の水を打った。そして川の中のすべての水を血に変えた。そして川の中の魚たちは死んだ。そして川は悪臭を放った、そしてエジプト人たちは川から水を飲むことができなかった。そして血はエジプトの全ての地にあった。 そしてエジプトの魔術師たちも彼らの魔術で同じようにした。そしてファラオの心は頑なにされた、そして彼は彼らの言うことを聞かなかった、主が言われたとおりに。振り向いて、ファラオは自分の家に入った。そして彼はこのことに心を留めなかった。 そしてすべてのエジプト人たちは川の周りを

掘った、水を飲むために。そして彼らは川から水を飲むことができなかった。 そして七日が満たされた、主が川を打った後に。 そして主はモーセに言った、ファラオのところに入り、そして彼に言え、主はこう言う、私の民を送り出せ、彼らが私に仕えるように。 もしあなたが送り出すことを望まないなら、見よ、私はあなたのすべての領域をカエルで打つ。 そして川はカエルたちを吐き出すだろう。そして上がって来て、あなたの家々の中に入るだろう、そしてあなたの寝室の部屋の中に、そしてあなたの寝台の上に、そしてあなたの召使いたちの家々の中に、そしてあなたの民の中に、そしてあなたのこね鉢の中に、そしてあなたのかまどの中に。 そしてあなたの上に、あなたの召使いたちの上に、あなたの民の上に、蛙たちが上って来るだろう。

8

主はモーセに言った、あなたの兄弟アロンに言え、あなたの手にあなたの杖を持って川の上に、運河の上に、沼の上に伸ばして、カエルを上らせよと。 そしてアロンはエジプトの水の上に手を伸ばし、カエルたちを連れ上げた。そしてカエルが上がって来て、エジプトの地を覆った。 そして同様にエジプトの魔術師たちも彼らの魔術で行った、そして蛙たちをエジプトの地の上に連れて来た。 そしてファラオはモーセとアロンを呼んで言った、私のために主に祈ってくれ、そして蛙を私から、そして私の民から取り除いてくださるように。そうすれば私は彼らを送り出そう、そして彼らは主に犠牲を捧げるだろう。 モーセはファラオに言った、私に指定しなさい、いつ私があなたのために、そしてあなたの僕たちのために、そしてあ

なたの民のために祈るか、カエルたちをあなたから、そしてあなたの民から、そしてあなたがたの家々から滅ぼすために、ただし川の中には残されるだろう。 そして彼は言った、明日にと。それで彼は言った、あなたが言った通りに。あなたが知るために、主以外に他の者がいないことを。そしてカエルたちは取り除かれるだろう、あなたから、そしてあなたたちの家々から、そして住居から、そしてあなたの召使いたちから、そしてあなたの民から、しかし川の中にだけは残されるだろう。 モーセとアロンはファラオのもとから出て行った。そしてモーセは、ファラオが定めたカエルの約束について、主に向かって叫んだ。 そして主はモーセが言った通りに行った。そしてカエルたちは家々から、住居から、畑から死んだ。 そして彼らはそれらを山のように集めた、そして地は悪臭を放った。 ファラオは安堵が起こったのを見たが、彼の心は頑なになり、彼は彼らの言うことを聞かなかった、ちょうど主が語ったように。 主はモーセに言った、アロンに言え、あなたの手であなたの杖を伸ばし、地の土を打て。そうすればブヨが人々の中にも、四足獣の中にも、そしてエジプトの全ての地にも現れるだろう。 それでアロンは手に杖を伸ばして、地の土を打った。そしてブヨが人々の中に生じ、四つ足の動物の中に、そして地の全ての土の中にブヨが生じた。 そして魔術師たちも同様に彼らの魔術でブヨを出すことをしたが、できなかった。そしてブヨは人間にも四足獣にもいた。 それゆえ魔術師たちはファラオに言った、これは神の指です。そしてファラオの心は頑なにされた、そして彼は彼らの言うことを聞かなかった、ちょうど主が語られたように。 主はモーセに言った、朝早く起きなさい、そしてファラオの前に立ちなさい。見よ、彼は水のところへ出て行くだろう。そしてあなたは彼に言いなさい、主はこう言われる、私の民を送り出しなさい、彼らが荒野で私に仕えるために

もしあなたが私の民を去らせることを望まないなら、見よ、私はあなたの上に、そしてあなたの僕たちの上に、そしてあなたの民の上に、そしてあなたたちの家々の上に、犬蠅を送る。そしてエジプト人たちの家々は犬蠅で満たされるだろう、そして彼らがその上にいる地も。 そしてわたしはあの日にゴシェンの地を区別するだろう、その上にわたしの民がいる地を、その上にはそこにアブがいないだろう、あなたが知るために、わたしが主であり、全ての地の神であることを。 そして私は私の民とあなたの民の間に区別を与えるだろう。そして明日、このことは地上で起こるだろう。 主はそのようになした。そして犬蠅の大群がファラオの家々の中へ、そして彼の家来たちの家々の中へ、そしてエジプトの全ての地の中へやって来た。そして地は犬蠅によって滅ぼされた。 ファラオはモーセとアロンを呼んで言った、来て、あなたがたの神である主に、この地で犠牲を捧げなさい。 そしてモーセは言った、そのようになることは可能ではない。というのも、エジプト人たちの忌み嫌うものを私たちは主である私たちの神に犠牲として捧げるからだ。というのも、もし私たちがエジプト人たちの忌み嫌うものを彼らの前で犠牲として捧げるなら、私たちは石打ちにされるだろう。 我々は三日の道を荒野へ行くだろう。そして我々の神に犠牲を捧げるだろう、主が我々に言った通りに。 そしてファラオは言った、私はあなたたちを送る、そしてあなたたちの神に荒野で犠牲を捧げなさい。しかし遠くへ行ってはならない。だから私のことを主に祈りなさい。 モーセは言った、私はあなたのもとから出て行き、神に祈ります。そうすれば犬蠅はあなたの家来たちからも、あなたの民からも明日去るでしょう。ファラオよ、民を主に犠牲を捧げるために送り出さないことで、もう欺かないでください。 モーセはファラオのもとから出て行き、神に祈った。 主はモーセが言った通りに行った。そして犬蠅

をファラオと彼の僕たちと彼の民から取り除いた、そして一匹も残されなかった。 そしてファラオは彼の心を頑なにした、この時においても、そして彼は民を去らせることを望まなかった。

9

主はモーセに言われた、ファラオのところへ行き、彼に言え、ヘブライ人の神である主はこう言われる、わが民を去らせよ、彼らがわたしに仕えるために もしあなたが私の民を送り出すことを望まず、しかしまだ彼らを支配しているなら、見よ、主の手があなたの野にいる家畜、馬、荷役獣、ラクダ、牛、羊に臨むであろう、非常に大きな死が。 そして私はその時にエジプト人の家畜とイスラエルの子らの家畜の間に区別をするだろう。イスラエルの子らのものは全て一つも死ぬことはないだろう。 そして神は期限を定めて言った、明日、主はこのことを地上で行うだろう。 そして主はこの言葉を翌日に行った。そしてエジプト人のすべての家畜が死んだ。しかしイスラエルの子らの家畜からは一頭も死ななかった。 ファラオは、イスラエルの子らの家畜は一頭も死ななかったのを見たが、ファラオの心は頑なになり、彼は民を去らせなかった。 主はモーセとアロンに向かって言った、あなたたちは炉の煤で両手を満たして取れ、そしてモーセはファラオの前で、そして彼の僕たちの前で天に向かって撒き散らせ。 そして塵がエジプトの全ての地の上に生じるようにせよ。そしてそれは人間の上に、そして四つ足の獣の上にあるだろう、潰瘍、噴き出す水疱が、人間の中にも、そして四つ足の獣の中にも、エジプトの全ての地において。 そして彼はかまどのすすをファラオの前で取り、モーセはそれを天に向かって撒いた。すると

それは腫れ物となり、水ぶくれが吹き出して、人間にも四つ足の獣にも広がった。 そして魔術師たちは腫れ物のためにモーセの前に立つことができなかった。なぜなら腫れ物が魔術師たちに生じたからである、そしてエジプトの全ての地に。 主はファラオの心を頑なにした、そしてファラオは彼らの言うことを聞かなかった、主が命じた通りに。 主はモーセに言われた、朝早く起きて、ファラオの前に立ち、彼に言いなさい、ヘブライ人の神である主はこう言われる、私の民を去らせなさい、彼らが私に仕えるために 今の時において、私は私の全ての災いをあなたの心へ、そしてあなたの僕たちへ、そしてあなたの民へ送り出す、あなたが知るために、全ての地において私のような者は他にいないことを。 今、私は手を伸ばしてあなたを打ち、あなたの民を死なせるので、あなたは地から滅ぼされるだろう。 そしてこのために、あなたは保たれたのだ。私があなたにおいて私の力を示すため、そして私の名が全ての地において宣べ伝えられるためである。 それでもまだ、あなたは私の民を抑えつけているのか、彼らを去らせないために？ 見よ、私は明日この時に非常に激しい雹を降らせる、そのようなものはエジプトが建国された日から今日までエジプトにおいて起こったことがない。 だから今、急いであなたの家畜を集めなさい、そしてあなたのものである平野にあるすべてのものを。なぜなら平野で見つけられ、家に入らないすべての人々と家畜、それらの上に雹が降れば、死ぬだろうから。 主の言葉を恐れたファラオの家来は、自分の家畜を家の中に集めた。 しかし主の言葉に心を留めなかった者は、その家畜を野原に放置した。 主はモーセに言った、あなたの手を天に伸ばしなさい、そうすれば雹がエジプトの全ての地の上に、人々の上に、家畜の上に、そして地の上にある全ての植物の上に降るだろう。 モーセは手を天に伸ばした。そして主は音と雹を与えた。そして火は地の上を走っ

た。そして主は雹をエジプトの全ての地の上に降らせた。 雹があった、そして火が雹の中で燃えていた。そして雹は非常に大量だった、そのようなものはエジプトで起こったことがなかった、その上に国民が生まれた日以来。 雹はエジプトの全ての地において、人から獣まで打った。そして雹は平野にある全ての植物を打った。そして雹は平野にある全ての木々を砕いた。 ただし、イスラエルの息子たちがいたゴシェンの地では、雹は降らなかった。 使いを送って、ファラオはモーセとアロンを呼び、そして彼らに言った、私は今罪を犯した。主は正しい。しかし私と私の民は不敬虔である。 だから私のことを主に祈ってください、そして神の声と雹と火が起こるのをやめさせてください、そうすれば私はあなたたちを送り出します、そしてあなたたちはもはや留まることはないでしょう。 モーセは彼に言った、私が町を出て行くとすぐに、私は主に向かって私の手を広げるでしょう。そして声は止み、雹と雨はもはやなくなるでしょう。あなたが地は主のものであることを知るためです。 あなたもあなたの従者たちも、まだ主を恐れていないことを私は知っている。 亜麻と大麦は打たれた。というのも大麦は立っていて、亜麻は種をつけていたからだ。 しかし小麦とスペルト小麦は打たれなかった、それらは遅く育つものだったから。 モーセはファラオのもとから町の外へ出て行き、主に向かって両手を伸ばした。すると雷鳴は止み、雹と雨はもはや地上に降らなくなった。 ファラオは雨と雹と雷が止んだのを見たが、再び罪を犯し、自分の心と僕たちの心を頑なにした。 そしてファラオの心は頑なにされ、そして彼はイスラエルの息子たちを送り出さなかった、ちょうど主がモーセに語った通りに。

10

主はモーセに言った、ファラオのところに入れ。私は彼の心と彼の家来たちの心を硬くしたからだ。これらのしるしが次々に彼らの上に来るために。そしてあなたたちが自分の子供たちの耳に、そして自分の子供たちの子供たちに、私がエジプト人たちを嘲ったことと、私が彼らの中で行った私のしるしを語るために。そしてあなたたちは私が主であることを知るだろう。 モーセとアロンはファラオの前に入り、彼らは彼に言った、ヘブライ人の神である主はこう言われる、いつまであなたは私の前にへりくだることを望まないのか。 私の民を去らせよ、彼らが私に仕えることができるように。 もしあなたが私の民を送り出すことを望まないならば、見よ、私は明日この時刻に多くのいなごをあなたのすべての領土に持ってくる。そしてそれは地の外観を覆うだろう、そしてあなたは地を見ることができないだろう。そしてそれは雹があなたたちに残した、地の残された全ての余剰物を食い尽くすだろう。そしてそれは地の上であなたたちのために生えている全ての木を食い尽くすだろう。 そしてあなたの家々は満たされるだろう、そしてあなたの僕たちの家々、そしてエジプト人たちのすべての地におけるすべての家々が。それらはあなたの父たちが決して見たことがないもの、彼らの先祖たちも見たことがないもの、彼らが地の上に生まれた日から、この日まで。そして身を引いてモーセはファラオのもとから出て行った。 そしてファラオの家来たちは彼に言った、いつまでこれは私たちにとってわなとなるのでしょうか。 人々を送り出せ、彼らが彼らの神に仕えるように。それとも、エジプトが滅びたことを知りたいのか。 そして彼らはモーセとアロンをファラオのところへ戻した。そ

して彼は彼らに言った、行きなさい、そしてあなたたちの主なる神に仕えなさい。しかし誰と誰が行く者たちなのか。 そしてモーセは言う、若者たちと長老たちと共に私たちは行くだろう、息子たちと娘たちと共に、そして羊たちと牛たちと共に。というのは主の祭りだからだ。 そして彼は彼らに言った、主があなたたちと共にあるように。私があなたたちを送り出すように、あなたたちの荷物も一緒にではないか。 見よ、悪が汝らに付け加えられている。 そうではない。しかし男たちを行かせなさい、そして神に仕えさせなさい。なぜならこれはあなたたち自身が求めていることだから。そして彼らは彼らをファラオの面前から追い出した。 主はモーセに言った、あなたの手をエジプトの地の上に伸ばしなさい。そしていなごが地の上に上がって来るようにしなさい。そしてそれは地のすべての植物と、雹が残した木のすべての実を食い尽くすだろう。 そしてモーセは杖を天に向かって上げた、そして主は南風を地の上に、その日全体と、その夜全体もたらした。朝になった、そして南風はいなごを取り上げた、そしてそれをエジプトの地全体の上に運び上げた。そしてそれはエジプトの全ての境界の上に非常に大量に留まった。それ以前にそのようないなごは起こらなかった、そしてこれらの後にこのようにはならないだろう。 そしてそれは地の面を覆い、そして地は破壊された。そしてそれは地のすべての植物を食い尽くし、そして雹から残された木々のすべての実を食い尽くした。緑のものは何も残されなかった、木々の中にも、平野のすべての植物の中にも、エジプトのすべての地に。 ファラオはモーセとアロンを呼ぶために急いで、言った、私はあなたがたの神である主の前に、そしてあなたがたに対して罪を犯しました。 それゆえ、今もなお私の罪を受け入れてください、そしてあなたがたの神、主に向かって祈ってください、そして彼がこの死を私から取り除きますように。 モーセ

はファラオのもとから出て行き、神に祈った。 そして主は海から激しい風を起こし、いなごを巻き上げ、それを紅海に投げ込んだ。そしてエジプトの全土に一匹のいなごも残されなかった。 そして主はファラオの心を頑なにし、彼はイスラエルの子らを去らせなかった。 そして主はモーセに言った、あなたの手を天に伸ばしなさい、そしてエジプトの地の上に闇が生じるように、触れることができる闇が。 モーセは手を天に伸ばした。そして暗闇、闇、嵐がエジプトの全ての地の上に三日間生じた。そして誰も自分の兄弟を三日間見なかった。そして誰も自分の寝床から三日間起き上がらなかった。しかしイスラエルの息子たち全てには、彼らが住んでいた全ての所に光があった。 そしてファラオはモーセとアロンを呼んで言った、行け、あなたがたの神である主に仕えよ。ただし羊と牛は残せ。そしてあなたがたの子供たちはあなたがたと共に行かせよ。 そしてモーセは言った、しかしあなたは私たちに全焼のいけにえと犠牲を与えるだろう、それを私たちは私たちの神、主に行うだろう。 そして私たちの家畜は私たちと共に行くだろう、そして私たちは蹄一つ残さないだろう。なぜならそれらから私たちは私たちの神である主に仕えるために取るからだ。しかし私たちは私たちの神である主に何で仕えるべきか知らない、私たちがそこに着くまでは。 主はファラオの心を硬くした、そして彼は彼らを去らせることを望まなかった。 そしてファラオは言った、私から去れ。二度と私の顔を見ようとするな。お前が私の前に現れる日には、お前は死ぬだろう。 モーセは言う、あなたは言った。私はもうあなたの前に現れないだろう

11

主はモーセに言った、私はもう一つの打撃をファラオとエジプトの上に持って来るだろう、そしてこの後に彼はあなたたちをここから送り出すだろう。しかし彼があなたたちを完全に送り出す時、彼はあなたたちを追放によって追い出すだろう。 それゆえ秘密に民の耳に話せ、そして各々が隣人から銀の器と金の器と衣服を求めさせよ。 そして主は彼の民にエジプト人たちの前で恵みを与えた、そしてエジプト人たちは彼らに貸した。そしてモーセという人はエジプト人たちの前で、そしてファラオの前で、そして彼の僕たちの前で非常に偉大になった。 そしてモーセは言った、主はこう言われる、真夜中ごろ私はエジプトの真ん中に入る。そしてエジプトの地のすべての初子は死ぬだろう、玉座に座るファラオの初子から、石臼のそばの女奴隷の初子まで、そしてすべての家畜の初子まで。 そしてエジプト全土に大きな叫びが起こるだろう、そのようなものはかつて起こらなかった、そしてそのようなものは二度と起こらないだろう。 そしてイスラエルのすべての子らの中では、犬はその舌で吠えることはないだろう、人から獣まで。それはあなたが知るためである、主がエジプト人たちとイスラエルの間でどれほど驚くべき区別をなさるかを。 そして、あなたのこれらの子供たち全員が私のところに下って来て、私にひれ伏し、出て行け、あなたと、あなたが導くあなたの民全員と言うだろう。そしてその後に私は出て行くだろう。そしてモーセは怒りと共にファラオのところから出て行った。主はモーセに言った、ファラオはあなたがたの言うことを聞かないだろう。それは私が私のしるしと不思議をエジプトの地で増し加えるためである。 モーセとアロンはこれらすべてのしるしと不思議をエジプトの地でファラオの前で行った。しかし主はファラオの心を頑なにし、彼はイスラエルの子らをエジプトの地から送り出すことを聞き入れなかった。

12

主はエジプトの地でモーセとアロンに言った、この月はあなたがたにとって諸月の始まりである。それはあなたがたにとって年の諸月の中で第一のものである。 イスラエルの息子たち全ての集会に向かって話し、言え、この月の十日目に各々取らせよ、羊を父祖の家に従って、各々羊を家に従って。 もし家の中に少数の者がいて、それで羊のために十分でないならば、彼は自分と共に彼の近所の隣人を連れて来るだろう。魂の数に従って、各々は自分に十分なものを羊のために共に数えるだろう。 羊は完全で雄で一歳のものがあなたたちのものとなるだろう。子羊たちと子山羊たちの中から取るだろう。 そしてそれはあなたたちのためにこの月の十四日まで保たれているだろう。そしてイスラエルの子らの集会の全群衆が夕方にそれを屠るだろう。 そして彼らは血を取るだろう、そして彼らは二つの門柱の上と鴨居の上に置くだろう、彼らがそれらを食べる家々の中で。 そして彼らはその夜に火で焼いた肉を食べるだろう、そして種なしパンを苦菜と共に食べるだろう。 あなたたちはそれらから生のものを食べてはならない、水で煮たものも食べてはならない、しかし火で焼いたものだけを、頭を足と内臓と共に食べなさい。 それから朝まで何も残してはならない。そしてその骨を砕いてはならない。しかしそれから朝まで残ったものは火で焼き尽くさなければならない。 このようにしてあなたたちはそれを食べなさい。腰に帯を締め、足にサンダルを履き、手に杖を持ち、そして急いでそれを食べなさい。それは主の過越である。 そして私はこの夜にエジプトの地を通り抜けるだろう、そして私はエジプトの地のすべての初子を人から獣まで打つだろう。そしてエジプト人のすべての神々に私は

復讐をするだろう。私は主である。 そしてその血はあなたたちにとって、あなたたちがそこにいる家々の上でしるしとなるだろう。そして私はその血を見て、あなたたちを守るだろう。そして私がエジプトの地で打つとき、滅ぼすための打撃はあなたたちの中にないだろう。 そしてこの日はあなたがたにとって記念となるだろう、そしてあなたがたはそれを主への祭りとして祝うだろう、あなたがたのすべての世代にわたって。永遠の定めとしてあなたがたはそれを祝うだろう。 七日間、あなたたちは種なしパンを食べなさい。そして最初の日から、あなたたちはあなたたちの家からパン種を取り除きなさい。パン種を食べる者は誰でも、その魂はイスラエルから断ち切られるだろう、最初の日から七日目まで。 そして最初の日は聖なるものと呼ばれるだろう。そして七番目の日は、あなたたちにとって聖なるものと呼ばれるだろう。すべての奉仕の仕事をあなたたちはそれらの日にしてはならない。ただしすべての魂のためになされるものは除く。これだけがあなたたちのためになされるだろう。 そしてあなたたちはこの命令を守るだろう。なぜならこの日にわたしはあなたたちの軍勢をエジプトの地から導き出すだろうから。そしてあなたたちはこの日をあなたたちの世代に永遠の律法として行うだろう。第一の月の第十四日に始まって、夕方から種なしパンを食べるだろう、その月の第二十一日まで、夕方まで。 七日間、パン種はあなたがたの家々の中に見つけられないであろう。パン種を入れたものを食べる者は誰でも、その魂はイスラエルの集会から断ち切られるであろう、寄留者においても、その地の土着の者においても。 すべてのパン種入りのものを食べてはならない、そしてあなたがたのすべての住まいにおいて種なしパンを食べなさい。モーセはイスラエルの息子たちの全ての長老会議を呼び、そして彼らに言った、去って行ってあなたたちの家族に従ってあなたたち自

身のために羊を取り、そして過越の犠牲を捧げなさい。 あなたがたはヒソップの束を取り、戸口のそばにある血に浸して、鴨居と両方の柱に、戸口のそばにある血を塗りなさい。そしてあなたがたは、各々が自分の家の戸口から朝まで出て行ってはならない。 そして主はエジプト人たちを打つために通り過ぎ、鴨居の上と両方の柱の上に血を見て、主は戸を通り過ぎ、滅ぼす者があなたたちの家に入って打つことを許さないだろう。 そしてこの言葉を守りなさい、律法として、あなた自身のために、そしてあなたの息子たちのために、永遠に。 もしあなたたちが、主があなたたちに与えるであろう地に入るならば、主が語ったとおりに、この礼拝を守りなさい。 そしてもしあなたたちの息子たちがあなたたちにこの礼拝は何ですかと言うなら、そうなるでしょう。 そしてあなたたちは彼らに言いなさい、この過越の犠牲は主へのものです、主がエジプト人たちを打たれた時、エジプトにいたイスラエルの息子たちの家々を守られ、私たちの家々を救われたからです。そして民はかがんで礼拝した。 そして立ち去って、イスラエルの子らは行った。主がモーセとアロンに命じた通りに、そのように彼らは行った。 真夜中になった時、主はエジプトの地のすべての初子を打った、玉座に座っているファラオの初子から、牢の中にいる女捕虜の初子まで、そしてすべての家畜の初子までも。 そしてファラオが夜に起き上がり、彼の従者たちも、すべてのエジプト人たちも起きた。そして大きな叫び声がエジプト全土に起こった。というのも、死者がいない家は一軒もなかったからである。 そしてファラオは夜にモーセとアロンを呼んで、彼らに言った、立ち上がれ、そして私の民から出て行け、あなたたちも、そしてイスラエルの子らも。行って、あなたたちの神である主に仕えよ、あなたたちが言う通りに。 そしてあなたたちの羊と牛を連れて行きなさい。そして確かに私をも祝福しなさい。 そしてエジ

プト人たちは民を急いでその地から追い出そうと強く迫っていた。というのも彼らは私たち全員が死んでしまうと言ったからである。民は彼らの生地を、それが発酵させられる前に、彼らの衣服の中に包まれて肩の上に取り上げた。 イスラエルの息子たちは、モーセが彼らに命じた通りに行い、エジプト人たちから銀の器と金の器と衣服を求めた。 そして主は彼の民にエジプト人たちの前で恵みを与えた、そして彼らは彼らに貸した、そして彼らはエジプト人たちを略奪した。 イスラエルの息子たちはラメセスから出発してスコテへ向かった、六十万の徒歩の男たちは、荷物を除いて。 そして多くの混合した群衆が彼らと一緒に上って行き、羊と牛と非常に多くの家畜も一緒だった。 そして彼らはエジプトから持ち出した生地を種なしのパンに焼いた。それは発酵していなかったからである。というのもエジプト人たちが彼らを追い出したので、彼らは留まることができず、旅のための食料も用意できなかったからである。 イスラエルの息子たちの居住は、彼らがエジプトの地とカナンの地に住んだもので、四百三十年であった。 そして四百三十年の後、主の全ての力がエジプトの地から夜に出て行った。 守りは主にある、それは彼らをエジプトの地から導き出すためである。あの夜これは主への守りであり、それはイスラエルの息子たち全てに彼らの世代にわたってあるためである。 主はモーセとアロンに言われた、これが過越の律法である。いかなる外国人もそれから食べてはならない。しかしすべての僕または銀で買われた者を、あなたが割礼すれば、その者はそれから食べることができる。 寄留者または雇い人はそれを食べてはならない。 それは一つの家の中で食べられなければならない、そしてあなたたちはその家から肉を外へ運び出してはならない、そしてあなたたちはそれの骨を砕いてはならない。 イスラエルの子らの全ての集会がそれを行うでしょう。 もし誰か寄留者があなたたちの

ところに来て主のために過越を行おうとするなら、あなたは彼のすべての男性に割礼しなさい。そしてその時彼はそれを行うために来るだろう。そして彼はその地の生まれた者のようになるだろう。すべての割礼されていない者はそれから食べてはならない。 一つの律法が現地人のためにあるだろう、そしてあなたがたの中に近づいて来た改宗者のためにも。 そしてイスラエルの子らは、主がモーセとアロンに命じて彼らに伝えた通りに行った。そのように彼らは行った。 そしてその日に、主はイスラエルの子らをエジプトの地から彼らの軍勢とともに導き出した。

13

主はモーセに言った、私のために聖別せよ、すべての初子を、初めに生まれた者ですべての胎を開く者を、イスラエルの子らの中の、人から家畜まで、それは私のものである。 モーセは民に言った、この日を覚えなさい。その日にあなたがたはエジプトの地から、奴隷の家から出て来た。というのも力強い手で主があなたがたをそこから導き出したからである。そしてパン種は食べられてはならない。というのも今日、あなたたちは新月の月に出て行くのだから。 そして、あなたの神である主が、あなたをカナン人、ヒッタイト人、アモリ人、ヒビ人、エブス人、ギルガシ人、ペリジ人の地へ連れて入る時になったら、その地は彼があなたの父たちに誓って、あなたに与えるとした、乳と蜜の流れる地であるが、あなたはこの礼拝をこの月に行うことになる。 六日間あなたたちは種なしパンを食べなさい、そして七日目は主の祭りです。 あなたは種なしパンを七日間食べるでしょう。種入りのものはあなたに見られないでしょう、また

パン種はあなたのすべての境界の中にあなたにないでしょう。 そしてあなたはあの日にあなたの息子に告げるだろう、言って、これは主なる神が私がエジプトから出て行った時に私に行ったことの故である。 そしてそれはあなたの手の上にしるしとなり、あなたの目の前に記念となるだろう、主の律法があなたの口の中にあるようになるために。なぜなら力強い手で主なる神があなたをエジプトから導き出したからである。 そしてあなたたちはこの律法を守りなさい、定められた時に従って、毎日。 そして、あなたの主なる神があなたをカナン人の地へ連れて行く時、彼があなたの父たちに誓った通りに、彼はそれをあなたに与えるだろう。 そしてあなたは胎を開くすべてのもの、その雄を主に取り分けるだろう。牛の群れから、またはあなたの家畜の中で胎を開くすべてのもの、あなたに生まれるものすべて、その雄をあなたは主に聖別するだろう。 ロバの胎を開くすべてのものを、あなたは羊と交換しなければならない。もしあなたが交換しないなら、あなたはそれを贖わなければならない。あなたの息子たちのすべての初子を、あなたは贖わなければならない。もしあなたの息子がこの後であなたに尋ねるなら、これは何ですかと言って。 そしてあなたは彼に言うだろう、主が力強い手で私たちをエジプトの地から、奴隷の家から導き出したのだと。 ファラオが私たちを送り出すことを頑なに拒んだ時、彼はエジプトの地のすべての初子を、人間の初子から家畜の初子まで殺した。このゆえに私は胎を開くすべての雄を主に犠牲として捧げ、そして私の息子たちのすべての初子を贖う。 そしてそれはあなたの手の上にしるしとなるだろう、そしてあなたの目の前に揺るがないものとなるだろう。なぜなら力強い手で主があなたをエジプトから導き出したからだ。ファラオが民を送り出したとき、神は彼らをペリシテ人の地の道によって導かなかった、なぜならそれは近かったからである。という

のも神は言った、民が戦争を見て後悔して、エジプトへ引き返すといけないから、と。 そして神はその民を荒野への道、紅海への道で回らせた。そして五代目にイスラエルの子らはエジプトの地から上って行った。 そしてモーセはヨセフの骨を自分と共に取った。というのも彼は誓いによってイスラエルの子らに誓わせて、こう言ったからである。主は必ずあなたたちを訪れる、そしてあなたたちは私の骨をここからあなたたちと共に運び上げるだろう。 イスラエルの息子たちはスコトから出発し、荒野のそばのエタムに宿営した。神は彼らを導いていた、昼は雲の柱の中で彼らに道を示すために、そして夜は火の柱の中で。 雲の柱は昼に、火の柱は夜に、すべての民の前から絶えることはなかった。

14

そして主はモーセに向かって話した、言った、イスラエルの息子たちに話せ、そして引き返して野営地の前に、ミグドルと海の間に、バアル・ツェフォンの向かいに野営させよ、それの前に、あなたたちは海のそばに野営するだろう。 そしてファラオは自分の民に言うだろう、イスラエルの子らは地でさまよっている。荒野が彼らを閉じ込めたのだ。 私はファラオの心を頑なにする。そして彼は彼らの後を追う。そして私はファラオにおいて、そして彼の全軍において栄光を受ける。そして全てのエジプト人たちは私が主であることを知る。そして彼らはそのようにした。 そしてエジプトの王に民が逃げたと報告された。そしてファラオと彼の家来たちの心が民に対して変わった。そして彼らは言った、我々は何をしたのか、イスラエルの子らを去らせて、我々に仕えさせないようにするとは。 それゆ

えファラオは彼の戦車を繋ぎ、彼の全ての民を彼自身と共に集めて連れて行き、六百の選ばれた戦車と、エジプト人の全ての馬と、全ての上に三列目の兵士を取った。 そして主はエジプトの王ファラオの心と彼の家来たちの心を硬くし、彼はイスラエルの子らの後を追った。しかしイスラエルの子らは高く上げた手で出て行った。 そしてエジプト人たちは彼らを追跡し、彼らが海のそばに野営しているのを見つけた。そしてファラオのすべての馬と戦車と騎兵たちと彼の軍隊が野営地の向かい、バアル・ツェフォンの反対側にいた。そしてファラオは近づいた。そしてイスラエルの子らは目を上げて見ると、エジプト人たちが彼らの後ろに陣を張っていた。そして彼らは非常に恐れた。そしてイスラエルの子らは主に向かって叫んだ。 そして彼らはモーセに言った、エジプトの地に墓がないから、あなたは私たちを荒野で死なせるために連れ出したのか。エジプトから連れ出して、あなたは私たちに何をしたのか。 これではなかったのか、私たちがエジプトであなたに話した言葉は、私たちを放っておいてくれ、私たちがエジプト人に仕えられるようにと言った。私たちにとってエジプト人たちに仕える方が良い、この荒野で死ぬよりも。 モーセは民に言った、勇気を出しなさい、立ちなさい、そして主からの救いを見なさい。主が今日私たちのためになさる救いを。というのも、あなたがたが今日エジプト人たちを見たが、あなたがたは永遠に二度と彼らを見ることはないであろう。主があなたがたのために戦われるであろう、そしてあなたがたは沈黙するであろう。 主はモーセに言った、なぜ私に向かって叫んでいるのか。 イスラエルの息子たちに話せ、そして彼らを出発させよ。 そしてあなたはあなたの杖を持ち上げなさい、そしてあなたの手を海の上に伸ばしなさい、そしてそれを分けなさい。そしてイスラエルの子らを乾いた地を通って海の真ん中に入らせなさい。 そして見よ、私は

ファラオの心と全てのエジプト人の心を頑なにする、そして彼らは彼らの後を追って入るだろう。そして私はファラオにおいて、そして彼の全軍において、そして戦車において、そして彼の馬において栄光を受けるだろう。 そしてすべてのエジプト人たちは、私がファラオにおいて、そして彼の戦車と馬において栄光を受けるとき、私が主であることを知るだろう。 イスラエルの息子たちの陣営の前を行っていた神の使者は移動して、彼らの後ろへ行った。そして雲の柱も彼らの前から移動して、彼らの後ろに立った。 そして、それはエジプト人の陣営とイスラエルの陣営の間に入り、そして立った。そして暗闇と闇になった。そして夜が過ぎた。そして彼らは一晩中互いに交わらなかった。 モーセは手を海の上に伸ばした。そして主は激しい南風で一晩中海を押し戻し、海を乾いた地にした。そして水は分かれた。 そしてイスラエルの子らは海の真ん中に乾いた地を通って入った。そしてその水は彼らの右に壁、そして左に壁となった。 そしてエジプト人たちは追跡し、彼らの後ろに入った、そしてファラオのすべての馬と戦車と騎手たちが海の真ん中へ入った。 朝の見張りの時になった。そして主は火の柱と雲の中でエジプト人たちの陣営を見下ろした。そして主はエジプト人たちの陣営を混乱させた。そして主は彼らの戦車の車軸を縛った。そして主は彼らを力で導いた。そしてエジプト人たちは言った、イスラエルの前から逃げよう。なぜなら主は彼らのためにエジプト人たちと戦っているから。 主はモーセに言った、あなたの手を海の上に伸ばしなさい、そして水を戻らせなさい、そしてそれがエジプト人たちを、戦車たちと騎手たちの上に、覆うようにしなさい。 モーセは手を海の上に伸ばした、そして水は昼に地の上に戻った、そしてエジプト人たちは水から逃げた、そして主はエジプト人たちを海の真ん中で振り落とした。 そして引き返した水は戦車と騎手を覆い、ファラオの全軍

勢、彼らの後を追って海に入った者たちを覆った。そして彼らの中から一人も残されなかった。 イスラエルの息子たちは海の真ん中の乾いたところを通って行った。そして水は彼らにとって右からの壁、そして左からの壁だった。 そして主はその日にイスラエルをエジプト人たちの手から救い出した。そしてイスラエルは海の岸のそばで死んでいるエジプト人たちを見た。 イスラエルは、主がエジプト人たちに行った大いなる御業を見た。そして民は主を恐れた。そして彼らは神と、その僕モーセを信じた。

15

その時モーセとイスラエルの子らはこの歌を神に歌い、そして言った、主に歌おう、栄光に満ちて栄光を受けたから。馬と乗り手を海に投げ込んだ。 助け手と守護者が私にとって救いとなった。この方は私の神であり、私は彼に栄光を帰すだろう。私の父の神であり、私は彼を高く上げるだろう。 主は戦争を打ち砕く方、主がその名です。 ファラオの戦車と彼の軍勢を海に投げ込んだ、選ばれた乗り手たち、三列目の者たちを。彼らは紅海で飲み込まれた。海が彼らを覆った。彼らは石のように深みに沈んだ。 主よ、あなたの右手は力において栄光を受けました。主よ、あなたの右手は敵たちを打ち砕きました。 そしてあなたの栄光の大いなることによって、あなたは敵対者たちを打ち砕いた。あなたはあなたの怒りを送り、それは藁のように彼らを食い尽くした。 そしてあなたの怒りの息によって水は分かれた。水は壁のように固まった。波は海の真ん中で固まった。 敵は言った、追いかけて捕らえるだろう、戦利品を分けるだろう、私の魂を満たすだろう、私の剣で滅ぼすだろう、私の手が支配

するだろう。 あなたはあなたの霊を送った。海が彼らを覆った。彼らは激しい水の中に鉛のように沈んだ。 主よ、神々の中で誰があなたのようですか? 誰があなたに似ていますか。 聖なる者たちの中で栄光を受け、栄光において驚くべき方、不思議なわざを行う方。 あなたはあなたの右手を伸ばした。地が彼らを飲み込んだ。 あなたは義をもって、贖ったこの民を導いた。あなたは力をもって、聖なる住まいへ彼らを導いた。 諸国民は聞いた、そして怒った。陣痛がペリシテ人の住民たちを捕らえた。 その時エドムの指導者たちは急いだ、そしてモアブ人の支配者たちも。震えが彼らを捕らえた。カナンに住んでいる全ての者たちは溶けた。 彼らの上に震えと恐れが落ちますように。あなたの腕の大きさによって彼らが石に変えられますように、あなたの民が通り過ぎるまで、主よ。あなたが獲得したこの民、あなたの民が通り過ぎるまで。 彼らを導き入れて、あなたの相続の山に彼らをしっかり植えてください、あなたが準備した整えられた住まいの場所に、主よ、あなたの手が準備した聖所、主よ。 主は時代を支配し、時代を超えて、そしてなお。 ファラオの馬が戦車と騎手と共に海に入り、主が彼らの上に海の水をもたらした。しかしイスラエルの子らは海の真ん中の乾いた地を通って行った。 そして女預言者ミリアム、アロンの姉妹が、タンバリンを彼女の手に取り、そして全ての女たちがタンバリンと踊りと共に彼女の後ろに出て行った。 マリアムは彼らを率いて言った、主に歌おう、栄光に満ちて栄光を受けられたのだから。馬と乗り手を海に投げ込まれた。 モーセはイスラエルの息子たちを紅海から導き出し、彼らをシュルの荒野へ導いた。そして彼らは三日間荒野を旅したが、飲むための水を見つけられなかった。 彼らはマラに来たが、マラから飲むことができなかった。苦かったからである。このゆえに彼はその場所の名前を苦さと名付けた。 そして民はモーセに対して不平を

言っていた、私たちは何を飲めばいいのかと言って。 モーセは主に向かって叫んだ。そして主は彼に木を示し、そして彼はそれを水の中に投げ入れ、そして水は甘くなった。そこで主は彼に掟と裁きを定めた。そしてそこで主は彼を試し、そして言った、もしあなたがあなたの神である主の声を聞くことによって聞き、そして彼の前で喜ばしいことを行い、そして彼の命令に耳を傾け、そして彼のすべての掟を守るなら、私がエジプト人たちに下したすべての病を、私はあなたの上に下さない。なぜなら私は主、あなたを癒すあなたの神であるから。 そして彼らはエリムに来た。そしてそこには十二の水の泉と七十本のなつめやしの木があった。そして彼らはそこで水のそばに宿営した。

16

彼らはエリムから出発し、イスラエルの息子たちの全集会はシンの荒野に来た、それはエリムとシナイの間にある。 そして15日目に、2番目の月に、彼らがエジプトの地から出て来た後、イスラエルの息子たちの全集会がモーセとアロンに対して不平を言った。 そしてイスラエルの息子たちは彼らに向かって言った、私たちがエジプトの地で主によって打たれて死んでいたらよかったのに、あの時私たちは肉の鍋のそばに座り、満腹になるまでパンを食べていたのに。あなたたちは私たちをこの荒野に連れ出して、この全ての集会を飢饉で殺そうとしている。 主はモーセに言った、見よ、私はあなたたちに天からパンを降らせる。そして民は出て行き、日ごとにその日の分を集めるだろう、私が彼らを試すために、彼らが私の律法に従って歩むかどうかを。そして六日目には、彼らが持ち込むものを準備

するだろう。そしてそれは二倍になるだろう、彼らが日ごとに集めるものの。 そしてモーセとアロンはイスラエルの息子たち全員の集会に向かって言った、夕方にあなたたちは知るだろう、主があなたたちをエジプトの地から導き出したことを。そして朝にあなたたちは主の栄光を見るだろう、主があなたたちの不平を聞くので。しかし私たちは何者なのか、あなたたちが私たちに対して不平を言うとは。 そしてモーセは言った、主があなたたちに夕方には肉を食べさせ、朝にはパンを満腹になるまで与えてくださるのは、主があなたたちの不平を聞いてくださったからだ。あなたたちは私たちに対して不平を言っているが、私たちは一体何者なのか。 あなたたちの不平は私たちに対してではない、むしろ神に対してだからだ。 モーセはアロンに言った、イスラエルの息子たちの全ての集会に言え、神の前に近づけ、神はあなたたちの不平を聞いたのだから。 アロンがイスラエルの息子たち全員の集会に話していた時、彼らは荒野の方へ振り返った、そして主の栄光が雲の中に現れた。 そして主はモーセに語って言った、私はイスラエルの子らの不平を聞いた。彼らに語って言え、夕方にあなたたちは肉を食べ、朝にあなたたちはパンで満たされるだろう。そしてあなたたちは知るだろう、私が主、あなたたちの神であることを。 夕方になった。そしてウズラが上がってきて、宿営を覆った。朝、露が宿営の周りで止んだ時になった。そして見よ、荒野の表面の上に、白いコリアンダーの種のような、地の上の霜のような細かいものがあった。 それを見て、イスラエルの子らは、互いに言った、これは何か? 彼らはそれが何であるか知らなかったからである。そしてモーセは彼らに言った、これは主があなたたちに食べるために与えたパンである。 これは主が命じた言葉である。それから各自が適切な量のゴメルを集めなさい、頭ごとに、あなたたちの人数に従って、各自があなたたちの天幕の仲間と

共に集めなさい。 イスラエルの子らはそのようにした。そして多く集めた者も少なく集めた者もいた。 そしてゴモルで測ったところ、多く集めた者は余らなかった、そして少なく集めた者は不足しなかった。各々が自分に必要な分を集めた。 モーセは彼らに言った、誰もそれを朝まで残してはならない。 そして彼らはモーセの言うことを聞かなかった。しかし何人かはそれを朝まで残した。そしてそれは虫を湧かせ、臭くなった。そしてモーセは彼らに対して怒った。 そして彼らは毎朝それを集めた、各々自分にふさわしい分を。しかし太陽が熱くなると、それは溶けた。 六日目に起こった。彼らは必要なものを二倍集めた、一人につき二ゴメル。そして会衆の支配者たち全員が入って来て、モーセに報告した。 モーセは彼らに言った、これは主が語った言葉ではないのか。 安息日は主への聖なる休息が明日である。あなたがたが焼くものは何でも焼きなさい。そしてあなたがたが煮るものは何でも煮なさい。そしてすべての余るものを朝まで貯蔵庫に残しておきなさい。 そして彼らはそれを朝まで残した、モーセが彼らに命じた通りに。そしてそれは臭くならなかった、そして虫もそれの中に生じなかった。 モーセは言った、今日食べなさい。というのは今日は主への安息日だから。それは野原の中で見つけられないだろう。 六日間あなたたちは集めなさい。しかし七日目は安息日です、なぜならそれはその日には無いからです。 七日目に、民の中の何人かが集めるために出て行ったが、見つけなかった。 主はモーセに言った、いつまであなたたちは私の戒めと私の律法を聞くことを望まないのか。 見よ、なぜなら主はあなたたちにこの日を安息日として与えたのだから。このゆえに彼は六日目にあなたたちに二日分のパンを与えたのだ。各々あなたたちの家にとどまりなさい。誰も七日目に自分の場所から出て行ってはならない。 そして民は七日目に安息日を守った。 そしてイスラエルの息

子たちはそれをマナという名前で名付けた。それはコリアンダーの種のように白かった。そしてその味は蜂蜜入りのウエハースのようだった。 モーセは言った、これは主が命じられた言葉である。マナを一ゴモル満たして、あなたたちの世代のために貯蔵庫に入れなさい。それは、主があなたたちをエジプトの地から導き出された時に、あなたたちが荒野で食べたパンを彼らが見るためである。 そしてモーセはアロンに言った、金の壺を一つ取り、その中にマナを一ゴモル満たして入れ、それを神の前に置きなさい、あなたたちの世代のための保存として、主がモーセに命じた通りに。そしてアロンはそれを証しの前に保存のために置いた。 イスラエルの息子たちはマナを四十年間食べた、人の住む地に来るまでマナを食べた、フェニキアの地域に到着するまで。 ゴモルは三つの升の十分の一だった。

17

そしてイスラエルの息子たちの全ての集会はシンの荒野から彼らの宿営に従って主の言葉によって出発した。そして彼らはレフィディムに宿営した。しかし民が飲む水はなかった。 そして民はモーセに向かって非難していた、私たちに水を与えよ、私たちが飲めるようにと言いながら。そしてモーセは彼らに言った、なぜあなたたちは私に非難するのか、そしてなぜ主を試すのか。 そして民はそこで水に渇いた。そして民はそこでモーセに向かって不平を言った、言いながら、なぜこれを? あなたは私たちをエジプトから連れ上ったのは、私たちと私たちの子供たちと家畜を喉の渇きで殺すためか? モーセは主に向かって叫んで言った、私はこの民に何をすればよいのでしょ

うか。 もう少しで、彼らは私を石打ちにするだろう。 そして主はモーセに言った、この民の前を行け。そして民の長老たちの中から自分のために取れ。そしてあなたが川を打ったその杖を、あなたの手に取れ、そして行け。 見よ、私はあなたの前、ホレブの岩の上に立つ。あなたがその岩を打つと、そこから水が出て来て、民が飲む。 モーセはイスラエルの子らの前でこのようにした。 そして彼はその場所の名前を試みと非難と名付けた、イスラエルの息子たちの侮辱のゆえに、そして主を試したゆえに、主が私たちの中にいるのか、それともいないのかと言って。 アマレクが来て、レフィディムでイスラエルに戦争を仕掛けた。 モーセはヨシュアに言った、あなた自身のために力強い男たちを選べ、そして出て行って明日アマレクに対して戦列を敷け。そして見よ、私は丘の頂上に立つ、そして神の杖が私の手の中にある。 そしてヨシュアはモーセが彼に言った通りに行った、そして出て行ってアマレクに対して戦列を整えた。そしてモーセとアロンとフルは丘の頂上に登った。 そしてモーセが手を上げたときはいつでも、イスラエルが優勢になった。しかし手を下ろしたときはいつでも、アマレクが優勢になった。 モーセの手は重かった。そして彼らは石を取って彼の下に置き、彼はその上に座った。そしてアロンとホルは彼の手を支えた、一方から一人、もう一方から一人。そしてモーセの手は日の入りまで支えられた。 そしてヨシュアはアマレクとその民の全てを剣の殺戮によって敗走させた。 主はモーセに言った、これを記念として書に書き記せ、そしてヨシュアの耳に入れよ。なぜなら私はアマレクの記念を天の下から完全に消し去るからである。 そしてモーセは主のために祭壇を建てた。そして彼はその名を主は私の避難所と名付けた。 主は隠された手でアマレクに対して戦われる、代々にわたって。

18

ミディアンの祭司でモーセの義理の父であるエトロは、主がご自分の民イスラエルのためになさったすべてのことを聞いた。主がイスラエルをエジプトから導き出したからである。 モーセの義理の息子イェトロは、モーセの妻ツィポラを彼女の解放の後に引き取った、そして彼女の二人の息子たちも。彼らの一人の名前はゲルショムで、私は外国の地で寄留者だったと言っている。そして二番目の名前はエリエゼルで、なぜなら私の父の神は私の助け手であり、そして彼は私をファラオの手から救い出したと言っている。 そしてエトロ、モーセの義理の父と息子たちと妻が、モーセのところへ荒野へ出て行った、そこで彼は神の山のところに宿営していた。 モーセに報告された、言って、見よ、あなたの舅イエトロがあなたのところへ到着する、そしてあなたの妻とあなたの二人の息子たちが彼と共に。 モーセは義理の息子との会合に出て行き、彼に礼拝し、彼にキスし、彼らは互いに挨拶し合い、彼は彼らを天幕に連れて入った。そしてモーセは義理の息子に語った、主がイスラエルのゆえにファラオとすべてのエジプト人たちになさったすべてのこと、そして道中で彼らに降りかかったすべての苦難、そして主が彼らをファラオの手とエジプト人たちの手から救い出したことを。 エトロは、主が彼らにしたすべての良いことについて驚いた、なぜなら主が彼らをエジプト人の手からそしてファラオの手から救い出したからである。 そしてイェトロは言った、主は祝福されますように、主が彼らをエジプト人の手から、そしてファラオの手から救い出したのだから。 今、私は知った、主はすべての神々よりも偉大であることを、このことのゆえに、なぜなら彼らが彼らを攻撃したからである。 そ

してモーセの義理の父エトロは全焼のいけにえといけにえを神に捧げた。そしてアロンとイスラエルのすべての長老たちはモーセの義理の父と一緒にパンを食べるために神の前に来た。 そして翌日、モーセは民を裁くために座った。そして全ての民は早朝から夕方までモーセのそばに立っていた。 そしてエトロは、彼が民に対してすることを全て見て、言った、あなたが民に対してしているこれは何ですか。 なぜあなたは一人で座っているのか、そしてすべての民はあなたのそばに朝から夕方まで立っているのか。 モーセは義父に言った、民が神からの裁きを求めるために私のところに来るのです彼らに争いが起こるときはいつでも、彼らが私のところに来ると、私は各々を裁き、そして私は彼らに神の命令と彼の律法を教える。モーセの義理の息子は彼に言った、あなたはこの事を正しく行っていない。 破壊によって、あなたは完全に滅ぼされるだろう、耐えられないほどに、あなたも、そしてあなたと共にいるこの民すべても。この言葉はあなたにとって重すぎる。あなたは一人ではそれを行うことができないだろう。 さて、だから私の言うことを聞きなさい、そして私はあなたに助言しよう、そして神があなたと共にいるだろう。あなたは民のために神に対する者となりなさい、そしてあなたは彼らの言葉を神に持っていくだろう。 そしてあなたは彼らに神の命令とその律法を厳粛に証言するだろう、そしてあなたは彼らにその中を彼らが歩くべき道を示すだろう、そして彼らがするべき働きを。 そしてあなたは自分のために全ての民の中から有能な男たち、神を畏れる正しい男たち、傲慢を憎む者たちを選び、彼らの上に千人隊長と百人隊長と五十人隊長と十人隊長を任命しなさい。 そして彼らはいつも民を裁くだろう。しかし重大な事柄は彼らがあなたに持ち込むだろう。しかし小さな裁きは彼ら自身で裁くだろう。そして彼らはあなたの負担を軽くするだろう。そして彼らはあなた

を助けるだろう。 もしあなたがこのことを行うなら、神があなたを強くされるだろう、そしてあなたは立つことができるだろう、そしてこのすべての民は平和のうちに自分の場所へ帰るだろう。 モーセは義父の声を聞いた、そして彼が彼に言ったことを全て行った。 そしてモーセは有能な男たちを全イスラエルから選び、彼らを千人隊長と百人隊長と五十人隊長と十人隊長にした。 そして彼らは民を常に裁いた。しかしすべての重大な事柄は彼らはモーセのもとに持って行った。しかしすべての軽微な事柄は彼ら自身で裁いた。 モーセは自分の義理の息子を送り出した、そして彼は自分の地へ去って行った。

19

イスラエルの息子たちがエジプトの地から出発した第三の月のこの日に、彼らはシナイの荒野に来た。 そして彼らはレフィディムから出発し、シナイの荒野に来た。そしてイスラエルはそこでその山の前に宿営した。 そしてモーセは神の山へ上った。そして神は山から彼を呼んで、言った、これらのことをヤコブの家に言いなさい、そしてイスラエルの子らに告げなさい。 あなたたち自身は私がエジプト人たちにしたことをどれだけ多く見たか、そして私は鷲の翼に乗せるかのようにあなたたちを運んだ、そして私はあなたたちを私自身のもとへ連れて来た。 そして今、もしあなたたちが私の声を本当に聞いて、私の契約を守るなら、あなたたちはすべての国々の中から私にとって特別な宝の民となるだろう。というのも全地は私のものだからだ。 あなたたちは私にとって王である祭司また聖なる国民となるだろう。これらの言葉をあなたはイスラエルの子らに言うだ

ろう。 モーセは来て、民の長老たちを呼び、神が彼らに命じたこれらすべての言葉を彼らに示した。 そして全ての民は一致して答えて言った、神が言われた全てのことを、私たちは行い、そして聞き従います。そしてモーセはこれらの言葉を神に持って行った。 主はモーセに言った、見よ、私は雲の柱の中であなたのところに来る。民が私があなたに話すのを聞き、そしてあなたを永遠に信じるためである。そしてモーセは民の言葉を主に報告した。 主はモーセに言った、下って行って民に厳かに警告しなさい、そして今日と明日彼らを清めなさい、そして彼らに衣を洗わせなさい、そして三日目に備えができているようにさせなさい。というのは三日目に主はシナイの山に下るからである、すべての民の前で。 そしてあなたは民を周りに区別して、こう言いなさい。山に登ったり、それに触れたりしないように気をつけなさい。山に触れた者は皆、死ぬことになる。 手は彼に触れてはならない。なぜなら石で石打ちにされるか、または投げ石で射られるからである。獣であれ人であれ、生きてはならない。声とラッパと雲が山から去る時、彼らは山に登るだろう。 モーセは山から民のところへ降りて、彼らを聖別した。そして彼らは衣服を洗った。 そして彼は人々に言った、準備しなさい。三日間、女に近づいてはいけない。 三日目の日に夜明けになったとき、声々と稲妻々と暗い雲がシナイの山の上に起こった。ラッパの音が大きく鳴り響いた。そして宿営の中のすべての民が恐れおののいた。 そしてモーセは民を神との会見のために宿営から導き出した。そして彼らは山のもとに立った。 シナイ山は全体が煙を出していた、神が火の中でその上に降りて来たためである。そして煙が上がっていた、炉の煙のように。そしてすべての民は非常に驚いた。そして、そのトランペットの音は進むにつれて非常に強くなった。モーセは話した、そして神は声で彼に答えた。 主はシナイの山に、

その山の頂上に降りた。そして主はモーセをその山の頂上に呼んだ。そしてモーセは登った。 そして神はモーセに向かって言った、下って行って民に厳粛に警告しなさい、彼らが神に向かって近づいて理解しようとすることが決してないように、そして彼らの中から多数が倒れることがないように。そして主なる神に近づく祭司たちは聖別されなさい、主が彼らから離れることがないように。 そしてモーセは神に言った、民はシナイの山に登ることはできないでしょう。なぜならあなたは私たちに厳粛に警告して、その山を区別し、それを聖別しなさいと言われたからです。 主は彼に言った、行け、下れ、そしてあなたとアロンがあなたと共に上れ、しかし祭司たちと民は神に向かって上ることを無理に押し進めてはならない、主が彼らを滅ぼすことがないように。 モーセは民のところへ降りて行った、そして彼らに言った。

20

そして主はこれらすべての言葉を語って言った、私は主、あなたの神である。私はあなたをエジプトの地から、奴隷の家から導き出した者である。 あなたは私のほかに他の神々を持ってはならない。 あなたは自分自身のために偶像を作ってはならない、またいかなる似姿も作ってはならない、上の天にあるものの、そして下の地にあるものの、そして地の下の水の中にあるものの。 あなたはそれらを礼拝してはならない、そしてあなたはそれらに仕えてはならない。なぜなら私は主、あなたの神、熱心な神であり、父たちの罪を子供たちに返す者であるから、三代目と四代目の世代まで、私を憎む者たちに対して、そして憐れみを行う者である、千代まで、私を愛する

者たちと私の戒めを守る者たちに対して。 あなたの神である主の名をみだりに取ってはならない。なぜなら、主であるあなたの神は、その名をみだりに取る者を罰せずにはおかないからである。 安息日を覚えて、それを聖なるものとしなさい。 六日間働け、そしてあなたのすべての仕事をなせ。 そして第七の日は、あなたの神、主の安息日である。あなたはその日にいかなる仕事もしてはならない、あなたも、あなたの息子も、あなたの娘も、あなたの男の召使いも、あなたの女の召使いも、あなたの牛も、あなたの荷役獣も、あなたのすべての家畜も、あなたの中に住んでいる寄留者も。 というのも六日で主は天と地と海とそれらの中にあるすべてのものを作り、そして七日目に休まれた。このゆえに主はその七日目を祝福し、そしてそれを聖別された。 あなたの父を敬いなさい、そしてあなたの母を。それはあなたが良くなるために、そしてあなたが長生きするために、良い地の上で。その地をあなたの神である主があなたに与える。 姦淫するな。 盗むな。 殺してはならない。 あなたの隣人に対して偽りの証言をしてはならない。 あなたの隣人の妻を欲しがってはならない。あなたの隣人の家を欲しがってはならない、彼の畑も、彼の子供も、彼の女奴隷も、彼の牛も、彼のロバも、彼のすべての家畜も、あなたの隣人のものであるすべても。 そしてすべての民は声を見た、そして松明を、そしてラッパの声を、そして煙っている山を。しかしすべての民は恐れて、遠くに立った。 そして彼らはモーセに言った、あなたが私たちに話してください。神が私たちに話されないようにしてください、私たちが死なないために。 そしてモーセは彼らに言う、勇気を出しなさい。なぜならあなたがたを試すために神があなたがたのところに来られたのです、彼への恐れがあなたがたの中に生じるように、そしてあなたがたが罪を犯さないためなのです。 民は遠くに立っていた、そしてモーセは神がいる

暗闇の中に入った。 主はモーセに言った、あなたはヤコブの家にこれらのことを言い、イスラエルの子らに告げなさい。あなたたちは見た、私が天からあなたたちに語ったということを。 あなたたちは自分自身のために銀の神々を作ってはならない、そして金の神々をあなたたちは自分自身のために作ってはならない。 土から祭壇をあなたたちは私のために作りなさい、そしてあなたたちはその上であなたたちの全焼のいけにえと、あなたたちの和解のいけにえと、羊と、あなたたちの子牛を犠牲に捧げなさい、すべての場所で、もし私が私の名前をそこで記念させるならば、わたしはあなたのところに来るだろう、そしてわたしはあなたを祝福するだろう。 もしあなたが石で私に祭壇を作るなら、あなたはそれらを切り石で建ててはならない。なぜならあなたがそれらの上に刃物を当てたから、そしてそれらは汚されているのだ。 あなたは階段で私の祭壇に登ってはならない、それによってあなたがその上であなたの裸を露わにしないように。

21

そしてこれらが、あなたが彼らの前に示す法令である。 もしあなたがヘブライ人の奴隷を獲得するなら、六年間彼はあなたに仕えるだろう。そして七年目に彼は無償で自由人として去るだろう。 もし彼が一人で入るなら、一人で出て行くだろう。しかしもし妻が彼と一緒に入るなら、彼の妻も出て行くだろう。 そしてもし主が彼に妻を与え、そして彼女が彼に息子たちまたは娘たちを産むなら、その妻とその子供たちは彼の主のものとなり、しかし彼自身は一人で出て行くだろう。 もしその僕が答えて言うならば、私は私の主人を愛し

ました、そして妻を、そして子供たちを、私は自由な者として去りません、と、彼の主人は彼を神の裁きの場へ連れて行くでしょう、そしてその時彼を戸口の柱へ連れて行くでしょう、そして彼の主人は錐で彼の耳を刺し通すでしょう、そして彼は永遠に彼に仕えるでしょう。 もし誰かが自分の娘を女奴隷として売るならば、彼女は女奴隷たちが去るようには去らない。 もし彼女が、彼女を自分のために指定したその主人の気に入らないなら、彼は彼女を贖わせなければならない。しかし外国の民に彼は彼女を売る権利はない、なぜなら彼は彼女に対して不実を行ったからである。 もし彼が息子に彼女を婚約させるなら、彼は娘たちの定めに従って彼女を扱うだろう。 もし彼が自分自身のために別の女を取るならば、必要なものと衣服と彼女との交わりを奪わないだろう。 もし彼がこれらの三つのことを彼女にしないならば、彼女は銀を払わずに無償で出て行くだろう。 もし誰かがある人を打ち、その人が死ぬならば、必ず死刑に処せられるべし。 しかしそれが意図的にではなく、神が彼の手に引き渡したのであれば、私はあなたに場所を与えよう、そこへ殺した者が逃げるであろう。 もし誰かが隣人を欺きによって殺すために攻撃して、逃げるなら、私の祭壇から彼を連れ出して死刑にせよ。 自分の父または自分の母を打つ者は、必ず死刑に処せられなければならない。 自分の父または自分の母を悪く言う者は、必ず死ぬ。 もし誰かがイスラエルの息子たちの中のある者を盗み、そして彼を抑圧して彼を売り、そしてそれが彼のもとに見つけられるならば、死をもって死なせよ。 もし二人の男たちが口論して、隣人を石かまたは拳で打ち、彼が死なずにベッドに横たわったが、もしその人が起き上がって杖をついて外を歩くなら、打った者は無罪であるだろう。 ただし彼の働けなかった分を償い、そして治療費を払うだろう。 もし誰かが自分の子供または自分の女奴隷を杖で打ち、その者の手の

下で死ぬならば、裁きによって罰せられるだろう。 しかしもし一日か二日生き延びるなら、復讐されてはならない。というのもその者は彼の金だからである。 もし二人の男が争い、身ごもっている女を打ち、その子供が完全に形作られていない状態で出てきた場合、罰金を科せられる。その女の夫が課すところに従い、彼は裁定人と共に支払うものとする。 もし完全に形成されているならば、魂の代わりに魂を与えるだろう、目の代わりに目、歯の代わりに歯、手の代わりに手、足の代わりに足、火傷の代わりに火傷、傷の代わりに傷、打撲傷の代わりに打撲傷を。 もし誰かが自分の召使いの目を打つか、または自分の女召使いの目を打って、それを潰すなら、その目の代わりに彼らを自由にして送り出すだろう。 もしそして男奴隷の歯、または彼の女奴隷の歯を叩き抜くならば、彼らの歯の代わりに彼らを自由人として送り出すだろう。 もし雄牛が男または女を角で突いて、そして死ぬならば、その雄牛は石で石打ちにされるだろう、そしてその肉は食べられないだろう。しかしその雄牛の主人は無罪であるだろう。 もしその雄牛が一昨日と三日前に角で突く者であって、その飼い主に警告されていたのに、彼がそれを処分せず、しかし男または女を殺すならば、その雄牛は石打ちにされるであろう、そしてその飼い主も死刑にされるであろう。 もし身代金が彼に課せられるならば、彼は自分の魂の身代金を、彼らが彼に課すだけ、与えるだろう。 もし息子または娘を突くならば、この法令に従って彼に対してなすべきである。 もし雄牛が子供または女奴隷を角で突いたなら、その所有者はその主人に銀三十シェケルを与えなければならない、そしてその雄牛は石打ちにされなければならない。 もし誰かが穴を開けるか、または穴を掘って、それを覆わず、そして子牛またはロバがそこに落ちたなら、その穴の持ち主は償い、銀をそれらの持ち主に与えるだろう。そして死んだものは彼の

ものとなるだろう。 もしある人の雄牛が隣人の雄牛を突いて死んだならば、彼らは生きている雄牛を売り、その代金を分け、そして死んだ雄牛を分けるだろう。 もしその雄牛が角で突く者であることが一昨日と三日前より前に知られており、そして彼の主人に警告されていたが、彼がそれを処分しなかったならば、彼は雄牛の代わりに雄牛を支払うであろう、そして死んだものは彼のものとなるであろう。 もし誰かが子牛または羊を盗み、そしてそれを屠殺するか売るなら、その子牛の代わりに五頭の子牛を償い、そしてその羊の代わりに四頭の羊を償うだろう。

22

もし泥棒が侵入中に見つけられて、打たれて死んだならば、それは彼にとって殺人ではない。 もし太陽が彼の上に昇るならば、彼は有罪である、彼は代わりに死刑に処せられるだろう。しかしもし彼に財産が無いならば、彼は盗品の代償として売られよ。 もし盗品が残されて彼の手の中に見つけられて、ロバから羊まで生きているならば、彼はそれらを二倍に返済するだろう。 もし誰かが畑またはぶどう園を食い荒らし、そして彼の家畜を放って他の畑を食い荒らさせるなら、彼の畑からその産物に応じて償わなければならない。もしすべての畑を食い荒らすなら、彼の畑の最良のものと彼のぶどう園の最良のものを償わなければならない。 もし火が出て行って茨を見つけて、脱穀場または穀物の穂または平野を焼き尽くすならば、その火を燃やした者が償うだろう。 もし誰かが隣人に銀または器を保管のために渡し、そしてそれがその人の家から盗まれ、もし盗んだ者が見つかるならば、彼は二倍を支払うだろう。 もし盗んだ者が見

つからないなら、その家の主人は神の前に近づき、そして隣人の預かり物の全てについて自分が悪事を働いていないことを誓うだろう、あらゆる言われた不正について、子牛と荷役獣と羊と衣服と、訴えられている全ての損失について。それが何であれ、神の前に両者の裁きが来るだろう、そして神によって捕らえられた者は隣人に二倍を支払うだろう。 もし誰かが隣人に荷役獣または子牛または羊またはすべての動物を守らせるために与えて、そしてそれが壊されるか死ぬか捕虜になって、そして誰も知らないなら、神の誓いが両者の間にあるだろう、確かに彼が隣人の預かり物について全く悪く行動していないということを。そしてこのようにその持ち主が受け入れるだろう、そして彼は返済しないだろう。 もしそれが彼から盗まれるなら、彼は主に返済するだろう。もしそれが野獣に殺されたものになるなら、彼はそれを狩りの場所へ連れて行くだろう、そして返済しないだろう。 もし誰かが隣人から借りて、そしてそれが壊れるか、または死ぬか、または捕虜になるか、しかし持ち主が彼と共にいないなら、彼は償うだろう。 もし主が彼と共にいるなら、返済しない。しかしもし雇われ人であるなら、それは彼の賃金の代わりになる。 もし誰かが婚約していない処女を騙して、そして彼女と寝たならば、持参金を払って彼女を彼の妻としなければならない。もし彼が拒否して拒否するならば、そして彼女の父が彼女を彼に妻として与えることを望まないならば、彼は処女の持参金である分だけ銀を父に支払うだろう。 魔術師たちを生かしておいてはならない。 獣と寝る者は誰でも、必ず死刑に処さなければならない。 神々に犠牲を捧げる者は死によって滅ぼされるだろう、主のみに捧げる場合を除いて。 そして寄留者をあなたがたは虐待してはならない、またあなたがたは彼を圧迫してもならない。というのもあなたがたはエジプトの地で寄留者であったからである。 すべての未亡人と孤

児を虐待してはならない。 もしあなたたちが悪意で彼らを苦しめるなら、そして彼らが叫んで私に向かって大声で訴えるなら、私は必ず彼らの声を聞くだろう、そして私は激しく怒るだろう、そして私は剣であなたたちを殺すだろう、そしてあなたたちの妻たちは未亡人になるだろう、そしてあなたたちの子供たちは孤児になるだろう。 もしあなたがあなたのところにいる貧しい兄弟に銀を貸すなら、あなたは彼を急き立てる者とならないだろうし、彼に利息を課さないだろう。 もしあなたが隣人の衣を質物として質に取るならば、日の沈む前にそれを彼に返さなければならない。というのもこれは彼の覆いであり、ただこれだけが彼の裸体の衣だからである。何で彼は眠るだろうか。 もしそれゆえ彼が私に向かって叫ぶならば、私は彼の声を聞くだろう。私は憐れみ深いからだ。 神々を悪く言ってはならない、そしてあなたの民の支配者を悪く言ってはならない。 あなたの脱穀場とぶどう搾り場の初穂を遅らせてはならない。あなたの息子たちの初子を私に与えなさい。 このようにあなたはあなたの子牛とあなたの羊とあなたの荷役獣に対してするだろう。七日間それは母のもとにいるだろう、そして八日目にあなたはそれを私に返すだろう。 そしてあなたたちは私にとって聖なる者となるだろう。そして獣に引き裂かれた肉を食べてはならない、それを犬に投げ捨てなさい。

23

あなたは根拠のない噂を受け入れてはならない。あなたは不正な者と共に不正な証人となることに同意してはならない。 あなたは多数の者たちと共に悪事においてあってはならない。あなたは群衆に加

わって多数の者たちと共に逸れることで裁きを曲げてはならない。そして裁きにおいて、貧しい者を憐れんではならない。 もしあなたがあなたの敵の牛、またはさまよっている彼のろばに出会ったら、引き返してそれを彼に返しなさい。 もしあなたがあなたの敵の荷役獣がその荷物の下に倒れているのを見るならば、あなたはそれを通り過ぎてはならない、むしろあなたは彼と共にそれを起こすのを助けるであろう。 あなたは貧しい者の裁判において判決を曲げてはならない。 あらゆる不正な言葉から離れなさい。無実の者と正しい者を殺してはならない。そして贈り物のために不敬虔な者を正当化してはならない。 そしてあなたは贈り物を受け取ってはならない。なぜなら贈り物は見える者たちの目を盲目にし、そして正しい言葉を損なうからだ。 そしてあなたたちは寄留者を圧迫してはならない。というのもあなたたちは寄留者の魂を知っているからである。というのもあなたたち自身がエジプトの地で寄留者であったからである。 六年間あなたはあなたの土地に種を蒔くでしょう、そしてあなたはその産物を集めるでしょう。 そして七年目に解放をあなたは行うだろう、そしてあなたはそれを休ませるだろう、そしてあなたの民の貧しい者たちが食べるだろう。そして残されたものを野生の獣たちが食べるだろう。このようにあなたはあなたのぶどう園を扱うだろう、そしてあなたのオリーブ園を。 六日間あなたはあなたの仕事をするだろう、そして七日目は休息である。あなたの牛が休むために、そしてあなたの荷役獣が休むために、そしてあなたの女奴隷の息子と寄留者が元気を回復するために。 私があなたたちに言った全てのことを守りなさい。そして他の神々の名前を思い出してはならない、またそれがあなたたちの口から聞かれてはならない。 年に三度、私のために祭りを祝いなさい。 種なしパンの祭りを守って行いなさい。七日間、種なしパンを食べなさい、ちょうど私があなた

に命じたように、新しい穀物の月の時に従って。なぜならその時にあなたはエジプトから出たのだから。あなたは何も持たずに私の前に現れてはならない。 そしてあなたは、あなたの畑に蒔くあなたの働きの初穂の収穫の祭りを行うだろう、そして年の終わりに、あなたの畑からのあなたの働きを集める完成の祭りを。 年に三度、あなたのすべての男子は、あなたの神、主の前に現れなければならない。 私があなたの前から諸国民を追い出し、あなたの領土を広げる時、あなたは私のいけにえの血をパン種と共に捧げてはならず、私の祭りの脂肪を朝まで残してはならない。 あなたの土地の初穂を、あなたの神である主の家に持ち込みなさい。子羊をその母の乳で煮てはならない。 そして見よ、私は私の使者をあなたの前に送る、彼が道であなたを守るために、彼があなたを私があなたのために準備した地へ連れて行くために。 自分自身に注意を払いなさい、そして彼の言うことを聞きなさい、そして彼に不従順であってはならない。なぜなら彼はあなたを退かせることはないからである。なぜなら私の名が彼の上にあるからである。 もしあなたたちが聞くことによって私の声を聞き、そしてあなたが私があなたに命じるであろう全てのことを行い、そしてあなたたちが私の契約を守るなら、あなたたちは全ての国々の中から私にとって特別な宝の民となるであろう。なぜなら全ての地は私のものであるから。そしてあなたたちは私にとって王の祭司そして聖なる国民となるであろう。これらの言葉をあなたはイスラエルの子らに言うであろう。もしあなたたちが聞くことによって私の声を聞き、そしてあなたたちが私があなたに言うであろう全てのことを行うなら、私はあなたの敵たちに敵対し、そして私はあなたに対立する者たちに対抗するであろう。 というのも私の使者があなたを導いて行くだろう、そしてあなたをアモリ人とヒッタイ人とペリジ人とカナン人とギルガシ人とヒビ人とエ

ブス人のところへ連れて行くだろう、そして私は彼らを滅ぼすだろう。 あなたは彼らの神々を礼拝してはならない、またあなたは彼らに仕えてはならない。あなたは彼らの行いに従って行ってはならない。しかし徹底的に打ち壊さなければならない、そして完全に彼らの柱を粉砕しなければならない。 そしてあなたは主なるあなたの神に仕えるだろう。そして私はあなたのパンとあなたのぶどう酒とあなたの水を祝福するだろう。そして私はあなたがたから病を遠ざけるだろう。 あなたの地に子を産まない者はいないだろうし、不妊の者もいないだろう。あなたの日々の数を私は満たすだろう。 そして私はその恐怖をあなたの先導者として送るだろう、そして私はあなたが入って行くすべての国々を混乱させるだろう、そして私はあなたのすべての敵対者たちを逃亡者にするだろう。 そして私はそのスズメバチたちをあなたの前に送るだろう。そしてあなたはそのアモリ人たちと、そのヒビ人たちと、そのカナン人たちと、そのヘテ人たちをあなたから追い出すだろう。 私は彼らを一年では追い出さない。その地が荒れ果てたものにならないように、そして地の野獣たちがあなたに対して増えないように。 少しずつ私は彼らをあなたのところから追い出すだろう、あなたが増えてその地を相続するまで。 そして私はあなたの境界を紅海からペリシテ人の海まで、そして荒野から大河ユーフラテスまで定めるだろう。そして私はその地に住んでいる者たちをあなたたちの手に引き渡すだろう、そして私は彼らをあなたから追い出すだろう。 あなたは彼らおよび彼らの神々と契約を結んではならない。 そして彼らはあなたの地に住まないだろう、彼らがあなたを私に対して罪を犯させないために。もしあなたが彼らの神々に仕えるなら、これらはあなたにとってつまずきの石となるだろう。

24

そして彼はモーセに言った、主のもとへ上れ、あなたとアロンと、ナダブと、アビフと、イスラエルの長老たち七十人が。そして彼らは遠くから主を礼拝するだろう。 そしてモーセは一人で神に近づくだろう、しかし彼らは近づかないだろう、そして民は彼らと一緒に上らないだろう。 モーセは入り、民に神の全ての言葉と掟を語った。そして全ての民は一つの声で答えて言った、主が語られた全ての言葉を、私たちは行い、そして聞き従います。 そしてモーセは主の言葉を全て書いた。そしてモーセは朝早く起きて山のそばに祭壇を建て、イスラエルの十二部族のために十二の石を立てた。 そして彼はイスラエルの子らの若者たちを送り出し、彼らは全焼のいけにえを捧げ、彼らは神に和解のいけにえとして子牛を犠牲にした。 モーセは血の半分を取って、それを混ぜ鉢に注ぎ、そして血の半分を祭壇に向かって注いだ。 そして契約の書を取って、民の耳に読み聞かせた。そして彼らは言った、主が語られたことすべてを、私たちは行い、聞き従います モーセは血を取って、民に振りかけ、そして言った、見よ、これは契約の血である、主があなたがたに対してこれらすべての言葉について定めた。 そして、モーセとアロン、ナダブ、アビフ、そしてイスラエルの長老会議の七十人が登った。 そして彼らはイスラエルの神が立っていた場所を見た。そして彼の足の下のものは、サファイアのレンガ細工のようで、そして純粋さにおいては天の大空のようであった。 そしてイスラエルの選ばれた者たちの一人も滅びなかった。そして彼らは神の場所に現れた。そして彼らは食べ、そして飲んだ。 そして主はモーセに言った、私のところへ山に登って来なさい、そしてそこにいなさい。そして私はあ

なたに石の板、律法と戒めを与えよう、それらは私が彼らのために立法するために書いたものである。 そして立ち上がったモーセと彼のそばに立っていたヨシュアは、神の山へ登った。 そして長老たちに彼らは言った、私たちがあなたたちのところへ戻るまで、ここで静かにしていなさい。そして見よ、アロンとホルがあなたたちと共にいる。もし誰かに裁きが起こるなら、彼らのところへ行かせなさい。 そしてモーセとヨシュアは山へ登り、雲が山を覆った。 そして神の栄光がシナイの山の上に降りてきた、そして雲がそれを六日間覆った、そして主は七日目に雲の中からモーセを呼んだ。 主の栄光の姿は、まるで燃える火のように山の頂上にあり、イスラエルの子らの前にあった。 そしてモーセは雲の真ん中に入り、山に登った。そして彼はそこの山に四十日と四十夜いた。

25

そして主はモーセに語って言った、イスラエルの息子たちに言いなさい、そして心に思う者たち全員から初穂を取りなさい、そしてあなたたちは私の初穂を受け取るだろう。 そしてこれはその初穂です、それをあなたたちは彼らから受け取るでしょう:金、そして銀、そして青銅、そしてヒヤシンス、そして紫、そして二重の緋色、そして撚られた亜麻布、そして山羊の毛、そして赤く染められた雄羊の皮、そして青い皮、そして朽ちない木、そしてサルディウスの石、そして彫刻のための石を肩当てのために、そして長い衣のために。 そしてあなたは私のために聖所を作りなさい、そうすれば私はあなたたちの中に現れるだろう。 そしてあなたは私のために作るだろう、私があなたに山で示すすべてのことに従って、その幕屋の模

範と、そのすべての器具の模範に従って。このようにあなたは作るだろう。 そしてあなたは証しの箱を腐らない木から作るだろう、長さは二キュビトと半分、幅は一キュビトと半分、高さは一キュビトと半分。 そしてあなたはそれを純金で覆うだろう、内側と外側をあなたはそれを金で覆うだろう。そしてあなたはそれのために金のねじれた波模様を周りに作るだろう。 そしてあなたはそれに四つの金の環を打ち込み、四つの側面の上に置くだろう。二つの環を一つの側面の上に、そして二つの環を二番目の側面の上に。 あなたは腐らない木で運搬棒を作るでしょう、そしてあなたはそれらを金で覆うでしょう。そしてあなたは運搬棒を箱の側面にある環に入れるでしょう、それらでその箱を運ぶために。 運び棒は箱の環の中に動かないままであるだろう。 そしてあなたは、私があなたに与える証しを箱の中に入れるだろう。 そしてあなたは純金の贖いの座の蓋を作るだろう、長さは二キュビト半、幅は一キュビト半だ。 そしてあなたは打ち出し金細工の二つのケルビムを作り、それらを贖いの座の両側に置くことになる。 一つのケルブがこの側から作られるだろう、そして一つのケルブが贖いの座の第二の側から作られるだろう。そしてあなたは二つのケルビムを二つの側の上に作るだろう。ケルビムたちは翼を上方に伸ばして、彼らの翼で贖いの座の上を覆い、そして彼らの顔は互いに向かい合い、ケルビムたちの顔は贖いの座に向かうだろう。 そしてあなたは贖いの座を箱の上に上から置き、そしてあなたは私があなたに与える証しを箱の中に入れるだろう。 そして私はそこであなたに自分を知らせ、贖いの座の上から、証の箱の上にある二つのケルビムの間であなたに話し、私があなたに命じるすべてのことをイスラエルの子らに伝える。 そしてあなたは純金の黄金のテーブルを作るだろう、長さ二キュビト、幅一キュビト、高さ一キュビト半の。 そしてあなたはそれに金のねじれた波

模様を周りに作るだろう。そしてあなたはそれに手幅の縁を周りに作るだろう。そしてあなたはねじれた波模様をその縁の周りに作るだろう。 そしてあなたは四つの金の輪を作るだろう、そしてあなたはその四つの輪を縁の下のそれの足の四つの部分の上に置くだろう。 そして指輪たちは運搬棒のための入れ物になるだろう、それらでテーブルを運べるように。 そしてあなたは腐らない木から運搬棒を作り、純金でそれらを覆うだろう、そしてテーブルはそれらによって運ばれるだろう。 そしてあなたはその皿と香炉と注酒器と杯を作るだろう、あなたがそれらの中で注ぐところの、純金からあなたはそれらを作るだろう。 そしてあなたはテーブルの上に臨在のパンを私の前に常に置くことになる。 そしてあなたは純金から燭台を作るだろう、槌で打った作りで燭台を作るだろう。その軸と枝と鉢と節と百合はそれから出るものとなるだろう。 六本の枝が側面から出ていて、三本の枝が燭台の一方の側から、そして三本の枝が燭台の第二の側から出ている。 そして三つの鉢がアーモンドの花のように形作られている。一つの枝には球形の節と百合がある。このように燭台から出ている六つの枝にも。 そして燭台には四つの鉢がアーモンドの花のように形作られている。一つの枝には球飾りとその百合がある。 球形の節は二つの枝の下にそれから出ており、球形の節は四つの枝の下にそれから出ており、このように燭台から出ている六つの枝に対してであり、燭台には四つの杯がアーモンドの花の形に作られている。 その球飾りとその枝はそれから成るようにせよ。全体を一つの純金から打ち出し細工とせよ。 そしてあなたはそれの灯火を七つ作るだろう。そしてあなたはその灯火を置くだろう、そしてそれらは一つの面から照らすだろう。 そして、それの注ぎ器とそれの台を純金で作るだろう。 これら全ての器は純金一タラントだった。 見よ、あなたはその山であなたに示されたその形に従って

作るだろう。

26

そしてあなたはそのテントを作るだろう、撚られた亜麻布と青と紫と緋色の撚り糸でケルビムを織り込んだ十枚のカーテンを、織り手の仕事としてあなたはそれらを作るだろう。 一つの幕の長さは二十八キュビトで、一つの幕の幅は四キュビトとなるだろう。すべての幕に同じ寸法があるだろう。 五つの幕は一つが他のものと繋がれるだろう、そして五つの幕は一つが他のものと結び合わされるだろう。 そしてあなたはそれらに青色の留め金を作るだろう、一つの幕の縁の上に、一つの側から接合部へ。そしてこのようにあなたは作るだろう、外側の幕の縁の上に、二番目の接合部に向かって。 あなたは五十の鉤を一つの幕に作るだろう、そしてあなたは五十の鉤を第二の幕の接合における部分に作るだろう、それぞれが互いに向かい合って合わさるように。 そしてあなたは五十の金の環を作るだろう。そしてあなたはその幕を、一方を他方にその環で結合するだろう。そしてその天幕は一つになるだろう。 そしてあなたは幕屋の上の覆いとして毛の幕を作るだろう、あなたはそれらを十一の幕として作るだろう。 一つの幕の長さは三十キュビト、そして一つの幕の幅は四キュビト。十一の幕は同じ寸法になるだろう。 そしてあなたは五つの幕を一つに繋ぎ、そして六つの幕を一つに繋ぐ。そしてあなたは六番目の幕を天幕の前面で二重に折る。 そしてあなたは五十の鉤を一つの幕の縁の上に、接合部のところに作るだろう。そして五十の鉤を二番目の接合する幕の縁の上に作るだろう。 そしてあなたは青銅の輪を五十個作るだろう。そしてあなたは留め金に輪を繋

ぐだろう、そしてあなたは幕を繋ぐだろう、そしてそれは一つになるだろう。 そしてあなたは幕屋の皮の余分なものを置くだろう。残っている皮の半分を幕屋の皮の余分なものの上に覆い、幕屋の後ろに覆うだろう。 こちらから一キュビト、そしてあちらから一キュビト、幕屋の皮の覆いの長さの余っているものから、それは幕屋の側面の上にこちらとあちらを覆うものとなるであろう、覆うために。 そしてあなたはテントのために赤く染められた雄羊の皮の覆いを作るだろう、そしてその上に青い皮の覆いを。 そしてあなたは天幕の柱を腐らない木で作るだろう。 あなたは一つの柱を十キュビトで作るでしょう、そして一つの柱の幅は一キュビトと半分です。 二つの突起を一本の柱に、互いに対応するように。このようにあなたは幕屋のすべての柱を作るだろう。 そしてあなたは天幕のために柱を作るだろう、北側に二十の柱を。 そして四十の銀の台座を二十の柱のために作るであろう。二つの台座を一つの柱のためにその両方の部分に。そして二つの台座を一つの柱のためにその両方の部分に。 そして南に向かう第二の側面は、二十本の柱と、それらの四十個の銀の台座を持つ。一本の柱につきその両側に二つの台座、そして一本の柱につきその両側に二つの台座。 そして幕屋の後ろの海に向かう側には、六本の柱を作りなさい。 そしてあなたは天幕の後ろの角に二本の柱を作るだろう。 そして下から等しくあるだろう。同じように、それらは頭から一つの接合まで等しいだろう。このようにあなたは両方の二つの角に対して行うだろう。等しくあらせよ。そして8本の柱があるだろう、そしてそれらの銀の台座は16個である。1本の柱に対して2つの台座がそれの両方の側に、そして1本の柱に対して2つの台座が。 そしてあなたは腐らない木から横木を作るだろう。五つを幕屋の一方の側の一つの柱に、そして五つの横木を幕屋の第二の側の一つの柱に、そして五つの横木を海に向かう幕屋の

後ろの側の柱に。 そして真ん中の棒は柱の間を、一方の側から他方の側へ通らせよ。 そしてその柱を金で覆うだろう。そしてその環を金で作るだろう、それらの中にその横木を入れるだろう。そしてその横木を金で覆うだろう。 そして、あなたは山であなたに示された形に従って、その幕屋を立てるだろう。 そしてあなたは青、紫、ねじられた緋色、紡がれた亜麻布から幕を作るだろう。あなたはそれをケルビムの織られた仕事として作るだろう。 そしてあなたはそれを金で覆われた四つの朽ちない柱の上に置くだろう、そしてそれらの柱頭は金であり、そしてそれらの四つの台座は銀である。 そしてあなたは幕を柱の上に置くだろう。そしてあなたはそこに幕の内側に証の箱を運び入れるだろう。そして幕はあなたたちのために聖所と至聖所の間を分けるだろう。 そしてあなたは証言の箱を幕で覆うだろう、至聖所の中で。 そしてあなたはその机をそのベールの外に置くだろう、そしてその燭台をその机の向かいに幕屋の南側に置くだろう、そしてその机を幕屋の北側に置くだろう。 そしてあなたは幕屋の入口のためにカーテンを作るだろう、青と紫と緋色のより糸と亜麻のより糸から、刺繍職人の仕事で。 そしてあなたはその幕のために五つの柱を作り、それらを金で覆うだろう。それらの柱頭は金である。そしてあなたはそれらのために青銅の台座を五つ鋳造するだろう。

27

そしてあなたは腐らない木から祭壇を作るだろう、長さは五キュビト、そして幅は五キュビト。その祭壇は四角形であるだろう、そしてその高さは三キュビトである。 そしてあなたは四つの隅の上に角を

作るだろう。角はそれから出るだろう、そしてあなたはそれらを青銅で覆うだろう。 そしてあなたは祭壇に縁を作るだろう。そしてその覆いと、その鉢と、その肉鉤と、その火皿と、そしてそのすべての器具をあなたは青銅で作るだろう。 そしてあなたは彼のために網細工で青銅の火格子を作るだろう。そしてあなたはその火格子のために四つの青銅の環を四つの側面の下に作るだろう。 そしてあなたはそれらを祭壇の火格子の下に、下から置くだろう。そして火格子は祭壇の半分まであるだろう。 そしてあなたは祭壇のために運搬棒を腐らない木で作るだろう、そしてあなたはそれらを青銅で覆うだろう。 そしてあなたは運搬棒を環に差し込むでしょう。そしてそれを運ぶ時に、運搬棒が祭壇の側面にあるようにしなさい。 あなたはそれを中空で板を繋ぎ合わせたものとして作るだろう。山であなたに示されたものに従って、このようにあなたはそれを作るだろう。そしてあなたは幕屋のために中庭を作るだろう。南に向かう側には、中庭の幕は撚り合わせた亜麻布で作られる。長さは一つの側で百キュビトである。 そして彼らの柱は二十、そして彼らの台座は二十で青銅、そして彼らの環と留め金は銀。 このように東に向かう側には長さ百キュビトの幕があった。そしてそれらの柱は二十本、そしてそれらの台座は二十個で青銅製であった。そして柱の環と留め金、そしてそれらの台座は銀で覆われていた。 中庭の海側の幅は帆五十キュビト、その柱は十本、そしてその台座は十個。 そして南に向かう中庭の幅は五十キュビトの幕、それらの柱は十、そしてそれらの台座は十。 そして帆の高さは一方の側で十五キュビトであった。それらの柱は三本、そしてそれらの台座は三つであった。 そして第二の側面は掛け幕の高さが十五キュビトである。それらの柱は三本、そしてそれらの台座は三つ。 そして中庭の門の覆い、高さは二十キュビト、青と紫と緋色のより糸と亜麻のより糸で織り手の細

工で作られた。それらの柱は四本、そしてそれらの台座は四つ。 中庭の柱すべては周りに銀で覆われており、それらの柱頭は銀で、それらの台座は青銅である。 庭の長さは百に百、幅は五十に五十、高さは撚られた亜麻布で五キュビト、そしてそれらの台座は青銅製。そして、すべての建造物と、すべての道具と、中庭の杭は青銅である。 そしてあなたはイスラエルの息子たちに命じなさい、そして彼らにあなたのために、オリーブから搾った純粋で清い油を取らせなさい、光のために燃やすために、ランプが絶えず燃え続けるために、証しの幕屋の中で。契約の上の垂れ幕の外で、アロンと彼の息子たちがそれを燃やすだろう、夕方から朝まで、主の前で、永遠の掟として、あなたがたの世代のために、イスラエルの息子たちから。

28

そしてあなたは、あなたの兄弟アロンと彼の息子たちを、イスラエルの息子たちの中から、あなた自身のもとに近づけなさい、私に祭司として仕えさせるために、アロン、ナダブ、アビウ、エレアザル、イタマル、アロンの息子たちを。 そしてあなたは聖なる衣をあなたの兄弟アロンのために、名誉と栄光のために作るだろう。 そしてあなたは、心が賢いすべての者たちに話しなさい。私は彼らを知恵の霊と認識で満たした。そして彼らはアロンの聖なる衣服を聖なるもののために作るだろう。その中で彼は私に祭司として仕えるだろう。 そしてこれらは彼らが作る衣服である。胸当て、そして肩当て、そして足まで届く長い衣、そして織られた下着、そしてターバン、そして帯。そして彼らはアロンと彼の息子たちのために聖なる

衣服を作る、私に祭司として仕えさせるために。 そして彼ら自身は金と、ヒヤシンスと、紫と、緋色と、亜麻布を受け取るだろう。 そして彼らは撚られた亜麻布から、刺繍師の織られた仕事のエポデを作るだろう。 二つの肩当てが互いに繋ぎ合わされて彼のものとなるだろう、二つの端に取り付けられて。 そしてその肩当ての上にある帯は、その作りに従って、それと同じものから作られるだろう、純金と、青糸と、紫糸と、撚り合わせた緋色の糸と、撚り合わせた亜麻布から。 そしてあなたは二つの石、エメラルドの石を取り、それらにイスラエルの息子たちの名前を刻むだろう。 六つの名前を一つの石の上に、そして残りの六つの名前を二番目の石の上に、彼らの世代に従って。 石切りの技術の作品として。印章の彫刻のように、あなたはイスラエルの息子たちの名前をその二つの石に彫るだろう。 そしてあなたはその二つの石をエポデの肩の上に置くだろう。石はイスラエルの息子たちのための記念の石である。そしてアロンは主の前で彼の二つの肩の上にイスラエルの息子たちの名前を担ぐだろう、彼らについての記念として。 そして、あなたは純金から小さな盾を作るだろう。 そしてあなたは純金から二つのねじれた鎖を作るだろう、花と混ぜ合わされた編み込みの作品を。そしてあなたはその編まれたねじれた鎖をその留め金の上に置くだろう、それらの肩当てに、前面の方に。 そしてあなたは裁きの胸当てを作るだろう、刺繍職人の作品を。エポデの様式に従ってあなたはそれを作るだろう、金と青と紫と撚った緋色と撚った亜麻布で。 あなたはそれを正方形に作るでしょう。それは二重になるでしょう、その長さは一スパン、そして幅は一スパンです。 そしてあなたはその中に石をちりばめた布地を四列に織り込むだろう。石の列ができるだろう、紅玉髄、トパーズ、そしてエメラルド、これが第一の列である。 そして二番目の列は、紅玉髄とサファイアとジャスパー。 そして三番

目の列は、リグレ、メノウ、アメジストだ。 そして四番目の列は、貴橄欖石と緑柱石と縞瑪瑙であり、金で周りを覆われ、金で結び合わされている。それらはそれらの列に従ってあるべし。 そしてその石たちはイスラエルの息子たちの名前から十二となれ、彼らの名前に従って。印章の彫刻として、それぞれがその名前に従って十二の部族のためにあれ。 そしてあなたは神託の上に編み合わされた房を作るだろう、純金から鎖のような細工を。 そしてアロンはイスラエルの息子たちの名前を裁きの胸当てに胸の上に受け取るだろう、聖なる所に入る時に神の前での記念として。 そしてあなたは裁きの胸当ての上に顕示と真理を置くだろう。そしてそれはアロンの胸の上にあるだろう、彼が主の前に聖所に入る時。そしてアロンはイスラエルの子らの裁きを胸の上に主の前に絶えず運ぶだろう。 そしてあなたは青色の、足まで届く下着を作るでしょう。 そしてその開口部はその真ん中にあるだろう、開口部の周りに円形の縁を持ち、織られた仕事で、それから一緒に織られた接合部を持ち、破れないように。 そしてあなたは長衣の裾の下に下から、咲いているザクロのように、青と紫と緋色の撚り糸と撚った亜麻布からザクロの飾りを長衣の裾の周りに作るだろう。同じ形の金のザクロの飾りと、これらの間に鈴を周囲に作るだろう。 金の鈴とザクロの間に、そして花模様が下着の裾の周りに置かれる。そしてアロンが仕えるときに彼の声が聞こえるであろう、主の前の聖所に入るときと出るときに、彼が死なないために。 そしてあなたは純粋な黄金の板を作るだろう。そしてあなたはその中に印章の刻印を刻むだろう、主の聖所を。 そしてあなたはそれを青い撚り糸の上に置くだろう。そしてそれはターバンの上にあるだろう、ターバンの前面にそれはあるだろう。そしてそれはアロンの額の上にあるだろう。そしてアロンは、イスラエルの子らが聖別する彼らの聖なる贈り物の全てについて、聖な

るものの罪を取り除くだろう。そしてそれは、主の前で彼らに受け入れられるように、絶えずアロンの額の上にあるだろう。 そしてチュニックの房は亜麻布から作られる、そしてあなたは亜麻布のターバンを作るだろう、そしてあなたは帯を作るだろう、刺繍師の仕事を。 そしてアロンの息子たちのために、あなたは長衣と帯を作るだろう、そしてターバンを彼らのために作るだろう、名誉と栄光のために。 そしてあなたはそれらをあなたの兄弟アロンに着せるだろう、そして彼の息子たちを彼と共に。そしてあなたは彼らに油を注ぐだろう、そしてあなたは彼らの手を満たすだろう。そしてあなたは彼らを聖別するだろう、彼らが私に祭司として仕えるために。そしてあなたは彼らのために亜麻布の下着を作るだろう、彼らの肌の裸を覆うために、それは腰から腿まであるだろう。 そしてアロンとその息子たちはそれらを持つだろう、彼らが証しの幕屋に入る時はいつでも、または彼らが聖なる祭壇で仕えるために近づく時はいつでも。そして彼らは自分たち自身に罪を負わないだろう、彼らが死なないために。永遠の律法が彼に、そして彼の後の彼の子孫に。

29

そしてこれらは、あなたが彼らのためにするものである。あなたは彼らを聖別する、彼らが私に祭司として仕えるために。そしてあなたは牛から若い雄牛一頭を取り、そして傷のない雄羊二頭、そして油で混ぜられた種なしパン、そして油で塗られた種なしの薄焼きパン。小麦の細かい小麦粉で、あなたはそれらを作る。 そしてあなたはそれらを一つのかごの上に置くだろう。そしてあなたはそれらをそのかごと共に持って来るだろう。そして子牛と二匹の雄羊を。 そ

してアロンと彼の息子たちをあかしの幕屋の戸口に連れて来なさい、そして彼らを水で洗いなさい。 そしてその衣服を取って、あなたの兄弟アロンにその長い衣と、その肩当てと、その胸当てを着せなさい。そしてあなたは彼のためにその胸当てをその肩当てに結び付けなさい。 そしてあなたはそのターバンを彼の頭の上に置き、そしてあなたはその聖なる板をそのターバンの上に置くでしょう。 そしてあなたは聖別の油を取り、それを彼の頭に注ぎ、彼を聖別するだろう。 そしてあなたは彼の息子たちを連れて来て、彼らにチュニックを着せるだろう。 そしてあなたは彼らに帯を締めさせ、そして彼らにターバンを巻きつけるだろう。そして祭司職が永遠に彼らのものとなるだろう。そしてあなたはアロンの手を聖別し、そして彼の息子たちの手を聖別するだろう。 そしてあなたは子牛を証しの天幕の戸口に連れて来なさい。そしてアロンと彼の息子たちは主の前で、証しの天幕の戸口のそばで、彼らの手を子牛の頭の上に置くだろう。 そしてあなたは主の前で、証しの天幕の戸口のそばで、子牛を屠るだろう。 そしてあなたは若い雄牛の血を取り、あなたの指で祭壇の角の上に置くだろう。そして残りのすべての血を祭壇の土台のそばに注ぐだろう。 そしてあなたは腹の上の全ての脂肪と、肝臓の葉と、二つの腎臓と、それらの上の脂肪を取り、祭壇の上に置くだろう。 その若い雄牛の肉と、その皮と、その糞を、火で宿営の外で焼き尽くすだろう。それは罪のものだから。 そしてあなたは一匹の雄羊を取り、アロンと彼の息子たちは彼らの手をその雄羊の頭の上に置くだろう。 そしてあなたは彼を屠殺し、その血を取って、祭壇の周りに注ぐだろう。 そしてその雄羊を肢体に従って切り分けるだろう。そして内臓と足を水で洗うだろう。そして頭と共に切り分けた部分の上に置くだろう。 そしてあなたは雄羊全体を祭壇の上に捧げるだろう、主への全焼燔祭として芳香として、それは主への

香である。 そしてあなたは二番目の雄羊を取り、アロンと彼の息子たちはその雄羊の頭の上に彼らの手を置くだろう。 そしてあなたはそれを屠り、その血を取り、アロンの右の耳たぶの上に置き、右の手の先の上に、右の足の先の上に、そして彼の息子たちの右の耳たぶの上に、彼らの右の手の先の上に、彼らの右の足の先の上に置くだろう。 そしてあなたは祭壇の上にある血から取り、注ぎの油から取り、アロンの上に振りかけ、彼の衣の上に、彼の息子たちの上に、そして彼と共にいる彼の息子たちの衣の上に振りかけるだろう。そして彼自身と彼の衣、そして彼の息子たちと彼と共にいる彼の息子たちの衣は聖別されるだろう。そして雄羊の血をあなたは祭壇の周りに注ぐだろう。 そしてあなたは雄羊からその脂肪を取るだろう、そして腹を覆っている脂肪を、そして肝臓の葉を、そして二つの腎臓を、そしてそれらの上の脂肪を、そして右の前足を。というのもこれは奉献だからである。 そして油で作ったパン一つ、そして主の前に置かれた種なしパンの籠から薄焼きパン一つ。 そしてあなたはすべてのものをアロンの手の上に、そして彼の息子たちの手の上に置くだろう。そしてあなたはそれらを主の前で聖別の捧げ物として聖別するだろう。 そしてあなたはそれらを彼らの手から取り、全焼のいけにえの祭壇の上で、主の前で香ばしい香りとして捧げるだろう。それは主への捧げ物である。 そしてあなたはアロンのものである奉献の雄羊から胸の肉を取るだろう。そしてあなたはそれを主の前で聖別された捧げ物として聖別するだろう。そしてそれはあなたの分け前となるだろう。 そしてあなたは聖別するだろう、分離された胸当てを、そして奉納物の腕を、それらは分離され、そしてそれらは取り去られた、完成の雄羊から、アロンから、そして彼の息子たちから。 そしてアロンと彼の息子たちにとってイスラエルの息子たちからの永遠の定めとなるだろう。というのもこれは分

離された分だから。そして奉納物がイスラエルの息子たちから、イスラエルの息子たちの平安のいけにえから、主への奉納物となるだろう。 そしてその聖なる者の衣服、それはアロンのものであるが、彼の後に彼の息子たちのものになるだろう、彼らがそれにおいて油注がれるために、そして彼らの手を聖別するために。 七日間、彼の息子たちの中から彼の代わりとなる祭司がそれらを着るだろう、その者は聖なる場所で仕えるために証しの天幕に入る。 そして奉献の雄羊を取りなさい。そしてその肉を聖なる場所で煮なさい。 そしてアロンと彼の息子たちは、雄羊の肉と、かごの中のパンを、証しの天幕の戸口のそばで食べるだろう。 彼らは、彼らの手を聖別し完成させるために彼らが聖別されたそれらを食べるだろう。そして外国人はそれらを食べないだろう。なぜならそれは聖なるものだからである。 もし聖別の犠牲の肉とパンから朝まで残されるならば、あなたは残りを火で焼き尽くすだろう。それは食べられてはならない。なぜならそれは聖なるものだから。 そしてあなたはアロンと彼の息子たちにこのようにするだろう、私があなたに命じた全てのことに従って。七日間あなたは彼らの手を聖別するだろう。 そして罪の子牛を清めの日に作るだろう。そしてあなたがその上で聖別する時に、その祭壇を清めるだろう。そしてそれを聖別するために、それに油を注ぐだろう。 七日間あなたは祭壇を清め、そしてそれを聖別する。そして祭壇は聖なるものの中の聖なるものとなる。祭壇に触れる者すべては聖別される。 そしてこれらは、あなたが祭壇の上で行うべきものである。一歳の傷のない子羊二匹を、毎日祭壇の上で絶えず捧げよ。絶え間ない捧げ物として。 一匹目の子羊を朝に、二匹目の子羊を夕方に捧げなさい。 そして10分の1の細かい小麦粉が、4分の1ヒンの打たれた油で混ぜられたもの。そして注ぎの供え物は、1匹の子羊に4分の1ヒンのぶどう酒を。 そして二番目の子羊を夕

方に捧げなさい、朝の犠牲に従って、そしてその注ぎの供え物に従って。あなたはそれを香りの匂いの供え物として主に捧げなさい、あなたがたの世代のための絶え間ない犠牲として、証しの幕屋の入口で主の前で、そこで私があなたに自分を知らせ、あなたに語るために。 そして私はそこでイスラエルの子らと会うだろう、そして私は私の栄光によって聖別されるだろう。 そして私は証しの幕屋と祭壇を聖別するだろう。そしてアロンと彼の息子たちを私は聖別するだろう、私に祭司として仕えさせるために。 そして私はイスラエルの子らの間で呼ばれるだろう、そして私は彼らの神となるだろう。 そして彼らは知るだろう、私が主であり彼らの神であることを、彼らをエジプトの地から導き出した者であり、彼らのもとに住むため、そして彼らの神であるためである。

30

そしてあなたは腐らない木で香の祭壇を作るだろう。 そしてあなたはそれを長さ一キュビト、幅一キュビトに作るだろう。それは四角形であるだろう。そして高さは二キュビトであるだろう。その角はそれから出るだろう。 そしてあなたはその格子とその周りの壁とその角を純金で覆うだろう。そしてあなたはそれに金のねじれた縁を周りに作るだろう。 そしてあなたは二つの純金の指輪をそのねじれた縁の下に作るだろう。あなたはそれを二つの側面に、その両側に作るだろう。そしてそれらは棒のための留め具になるだろう、それらでそれを運ぶために。 そしてあなたは腐らない木から棒を作るだろう、そしてあなたはそれらを金で覆うだろう。 そしてあなたはそれを幕の前に置くだろう、その幕は証しの箱の上にあるものであ

る、そこで私はそこからあなたに自分を知らせるだろう。 そしてアロンはその上で合成の細かい香を毎朝焼くだろう。彼がランプたちを整えるとき、彼はその上で香を焼くだろう。 そしてアロンがランプを夕方に灯す時、彼はその上で香を焚くだろう。 絶えることのない香は、彼らの世代のために、常に主の前にある。 そして彼はその上に他の香を捧げてはならない。供え物、犠牲、そして注ぎの供え物をあなたはその上に注いではならない。 そしてアロンは年に一度、その角の上でそれについて贖いをするだろう。清めの血によって彼はそれを清めるだろう、彼らの世代のために。それは聖なるものの中の聖なるものである、主にとって。 そして主はモーセに向かって語って言った、もしあなたが彼らの人口調査においてイスラエルの息子たちの数え上げを取るならば、各々が自分の魂の贖い金を主に与えるだろう、そして彼らの人口調査において彼らの中に災いはないだろう。 そしてこれは、調査を通過する者たちが皆与えるであろうものである。ディドラクマの半分、それは聖なるディドラクマに従うものである。二十オボロスがディドラクマである。そしてディドラクマの半分が主への献納である。 検査を受けるために来るすべての者で二十歳以上の者は、主に貢ぎ物を納めるだろう。 富んでいる者は増やさないだろう、そして貧しい者は半ディドラクマから減らさないだろう、主に貢ぎ物を与える時に、あなたたちの魂のために贖罪をするために。 そしてあなたはイスラエルの息子たちから貢ぎ物の銀を取り、そしてあなたはそれを証しの幕屋の働きに与えるだろう。そしてそれはイスラエルの息子たちにとって主の前での記念となるだろう、あなたがたの魂のために贖いをするために。 そして主はモーセに向かって語って言った、青銅の洗盤を作れ、そしてそれに青銅の台を、洗うために。そしてお前はそれを証しの幕屋と祭壇の間に置くだろう。そしてお前はそれに水を注ぐだろう。

そしてアロンと彼の息子たちはそこで手と足を水で洗うだろう。 彼らが証しの幕屋に入る時、彼らは水で洗う、そうすれば彼らは決して死なない、彼らが祭壇に近づいて仕え、全焼のいけにえを主に捧げる時に。 彼らは手と足を水で洗うだろう、彼らが証しの幕屋に入る時、彼らは水で洗うだろう、彼らが死なないように、そしてそれは彼らに永遠の律法になるだろう、彼と彼の後の彼の世代たちに。 そして主はモーセに向かって語って言った、そしてあなたは香料を取れ、選ばれた没薬の花五百シェケル、そして芳香のシナモンこれの半分二百五十、そして芳香の葦二百五十、そして菖蒲五百シェケル聖なるものの、そしてオリーブの油一ヒン。 そしてあなたはそれを聖なる注ぎの油にするだろう、香油調合師の技による調合された香油を。それは聖なる注ぎの油となるだろう。 そしてあなたはそれからそれで証しの幕屋を油注ぎするだろう、そして証しの幕屋の箱を、そしてそれのすべての器具を、そして燭台を、そしてそれのすべての器具を、そして香の祭壇を、そして全焼のいけにえの祭壇を、そしてそれのすべての器具を、そして机を、そしてそれのすべての器具を、そして洗盤を。 そしてあなたはそれらを聖別しなさい。そしてそれは最も聖なるものとなるだろう。それらに触れる者は皆、聖別されるだろう。 そしてあなたはアロンと彼の息子たちに油を注ぎ、彼らを聖別して私に仕える祭司とするだろう。 そしてイスラエルの息子たちに話しなさい、言って、聖別の油の軟膏、これはあなたたちにとって代々にわたって聖なるものとなるだろう。 人の肉の上に、それは注がれてはならない。そしてこの調合に従って、あなたたちは同様に自分たちのために作ってはならない。それは聖なるものである、そしてそれはあなたたちにとって聖なるものとなるだろう。 誰でも同様にそれを作るならば、そして誰でもそれから外国人に与えるならば、彼は彼の民から完全に滅ぼされるであ

ろう。 そして主はモーセに言った、あなた自身のために香料を取りなさい、没薬、オニカ、香料のガルバヌム、そして透明な乳香を。それぞれ等量でなければならない。 そして彼らはそれで香を作るだろう、調香師の仕事で、調香師によって混ぜられた、清い、聖なる仕事を。 そしてあなたはこれらのものから細かく砕くだろう、そしてあなたは証しの天幕の中の証しの前にそれを置くだろう、そこで私はあなたに自分を知らせるだろう。その香はあなたたちにとって最も聖なるものとなるだろう。 この調合に従って、あなたたちは自分たち自身のために作ってはならない。それはあなたたちにとって主への聖なるものとなるだろう。同じように作って、それで香りを嗅ぐ者は誰でも、彼の民から滅ぼされるだろう。

31

そして主はモーセに語って言った、見よ、私は名指しで呼んだ、ユダの部族出身のフルの孫でウリの息子であるベツァレルを。 そして私は彼を神聖な霊で満たした、知恵と理解と知識の霊で、すべての仕事において考えるために、そして設計するために、金を加工するために、そして銀を、そして青銅を、そして青紫を、そして紫を、そして緋色の紡いだものを、そして石細工を、そして木の大工仕事の作品を、すべての作品に従って加工するために。 そして私は彼とダンの部族のアヒサマクの子エリアブを与えた。そして全ての賢い心に私は理解を与えた。そして彼らは私があなたに命じた全てのものを作るだろう、証しの幕屋と、契約の箱と、その上の贖いの座と、幕屋の備品と、祭壇と、机とその全ての器と、清い燭台とその全ての器と、洗盤とその台と、アロンの奉仕の衣服と、彼の息子た

ちが私に祭司として仕えるための衣服と、注ぎの油と、聖なる調合の香と。私があなたに命じた全てのことに従って、彼らは作るだろう。 そして主はモーセに語って言った、そしてあなたはイスラエルの子らに命じて言いなさい、見なさい、そして私の安息日をあなたたちは守りなさい。それは私とあなたたちの間のしるしである、あなたたちの世代において、あなたたちが知るために、私は主である、あなたたちを聖別する者であることを。 そしてあなたたちは安息日を守らなければならない、なぜならこれはあなたたちにとって主に対して聖なるものだからである。それを汚す者は、死をもって死に至らしめられる。その中で仕事をする者は誰でも、その魂は彼の民の中から断ち切られる。 六日間あなたは仕事をするだろう。しかし七日目は安息日、主への聖なる休息である。七日目に仕事をする者は誰でも死刑に処せられるだろう。 そしてイスラエルの子らは安息日を守り、それを彼らの代々に行うだろう。永遠の契約が私とイスラエルの子らの間にあり、それは私との間の永遠のしるしである。なぜなら六日間で主は天と地を造り、七日目に止まって休まれたからである。 そして、シナイの山で彼に話すことをやめた時、神はモーセに証しの二つの板、神の指で書かれた石の板を与えた。

32

そして民は、モーセが山から下ることが遅れているのを見て、民はアロンのところに集まり、彼らは彼に言った、立ち上がって、私たちのために神々を作ってくれ、私たちの前を行く神々を。というのも、このモーセという人、私たちをエジプトの地から導き出した人については、私たちは彼に何が起こったのか知らないのだから。 そ

してアロンは彼らに言う、あなたたちの妻たちと娘たちの耳にある金の耳飾りを外して、私のところへ持って来なさい そして、すべての民は彼らの耳にある金の耳飾りを取り外して、アロンのところへ持って行った。 そして彼は彼らの手からそれを受け取り、彫刻刀でそれを形作り、鋳造された子牛を作った。そして彼は言った、これらがあなたの神々だ、イスラエルよ、あなたをエジプトの地から連れ上った者たちが。 そしてアロンは見て、彼の前に祭壇を建てた。そしてアロンは宣言して言った、主の祭りは明日だ。 そして翌日早く起きて、彼は全焼のいけにえを捧げ、平和のいけにえを持ってきた。そして民は座って食べて飲み、立ち上がって遊んだ。 そして主はモーセに向かって語って言った、急いで行け、ここから下れ。というのは、あなたがエジプトの地から導き出したあなたの民が律法に背いたからだ。 彼らは速やかに道から逸れた、その道は私が彼らに命じたものである。彼らは自分たちのために子牛を作り、そしてそれを拝み、そしてそれに犠牲を捧げ、そして言った、これらがあなたの神々です、イスラエルよ、彼らがあなたをエジプトの地から連れ上った者たちです。 そして今、私を許せ、そして彼らに対して怒りをもって怒り、私は彼らを滅ぼす。そしてあなたを大いなる国民にする。 そしてモーセは主なる神の前に懇願して言った、主よ、なぜあなたの民に怒りをもって憤るのですか、あなたが大いなる力とあなたの高き腕とでエジプトの地から導き出した民に。 エジプト人たちが邪悪さをもって彼は彼らを導き出した、山々の中で殺すために、そして彼らを地から完全に滅ぼすためにと言うことが決してないように。 あなたの怒りの憤りを止めて、あなたの民の悪に対して慈悲深くなってください。あなたの僕たちであるアブラハムとイサクとヤコブを思い出して。あなたは彼らに、あなた自身にかけて誓い、彼らに語って言いました、私はあなたたちの子孫を天の星の

ように数において増やすだろう。そしてあなたが彼らに与えると言ったこの全ての地を、そして彼らはそれを永遠に所有するだろう。 そして主は自分の民を保つために宥められた。 そしてモーセは振り返って、山から降りた。そして証しの二つの板が彼の手の中にあった、石の板でそれらの両方の面に刻まれていた、こちらからもあちらからも書かれていた。そして板は神の作品であった、そして文字は神の文字で板に彫られていた。 そしてヨシュアは叫んでいる民の声を聞いて、モーセに向かって言う、戦争の声が宿営の中にある。 そして彼は言う、力による先導する者たちの声ではない、敗走の先導する者たちの声でもない、しかし葡萄酒の先導する者たちの声を私は聞く。 そして彼が宿営に近づいていた時、彼は子牛と踊りを見た。そして怒りで怒って、モーセは彼の手から二つの板を投げた、そして彼はそれらを山のふもとで砕いた。そして彼らが作った子牛を取って、彼は火でそれを焼いた、そして彼はそれを細かく砕いた、そして彼はそれを水に撒いた、そして彼はそれをイスラエルの息子たちに飲ませた。 そしてモーセはアロンに言った、この民はあなたに何をしたのか、あなたが彼らの上に大きな罪をもたらしたというのは。 そしてアロンはモーセに言った、怒らないでください、主よ。あなたはこの民の衝動を知っているのですから。 彼らは私に言うのだ、私たちのために神々を作れ、その神々が私たちの前を行くように。というのもこのモーセという人、彼が私たちをエジプトから導き出したが、私たちは何が彼に起こったのか知らないからだ。 そして私は彼らに言った、もし誰かが金の装飾品を持っているなら、取り外しなさいと。そして彼らは私に与えた。そして私はそれを火の中に投げ入れた。するとこの子牛が出て来た。 そしてモーセは民が散らされているのを見た。というのもアロンが彼らを散らして、彼らの敵対者たちへの笑いものにしたからである。そし

てモーセは宿営の門に立って、言った、誰が主のもとへ来るのか。彼を私のところへ行かせよう。 それゆえレビの息子たち全員が彼のところへ集まって来た。 そして彼は彼らに言う、イスラエルの神、主はこう言われる。各々自分の剣を腿に帯びよ、そして門から門へと陣営を通り抜けて戻れ、そして各々自分の兄弟を、各々自分の隣人を、各々自分の最も近い者を殺せ。 そしてレビの息子たちはモーセが彼らに語ったとおりに行った。そしてその日に民の中から三千人の男たちが倒れた。 そしてモーセは彼らに言った、あなたがたは今日、主に対してあなたがたの手を満たした、各々が自分の息子によって、または自分の兄弟によって、祝福があなたがたの上に与えられるために。 そして翌日の後に起こったことは、モーセが民に言った、あなたたちは大きな罪を犯した。そして今、私は神のもとへ上って行こう、あなたたちの罪について贖いをするために。 モーセは主のもとに戻った。そして言った、お願いします、主よ。この民は大きな罪を犯しました。そして彼らは自分たちのために金の神々を作りました。 そして今、もしあなたが彼らの罪を赦すなら、赦してください。しかしもしそうでないなら、あなたが書いたあなたの書物から私を消し去ってください。 そして主はモーセに言った、もし誰かが私の前で罪を犯したなら、私は彼らを私の書から消し去るだろう。 しかし今、行け、下れ、そしてこの民を私があなたに言った場所へ導け。見よ、私の使者があなたの前に先に行くだろう。しかし私が訪れる日に、私は彼らの上に彼らの罪を持って来るだろう。そして主は民を打った、アロンが作った子牛の製作について。

33

そして主はモーセに言った、先に進め、ここから上って行け、あなたとあなたの民、あなたがエジプトの地から導き出した者たちよ、その地へ、私がアブラハムとイサクとヤコブに誓った地へ、あなたがたの子孫にそれを与えると言って誓った地へ。 そして私は私の使者をあなたの前に遣わすだろう。そして彼はアモリ人とヒッタイ人とペリジ人とギルガシ人とヒビ人とエブス人とカナン人を追い出すだろう。 そして私はあなたを乳と蜜が流れる地へ連れて行くだろう。しかし私はあなたと一緒に上って行かない、あなたが頑固な民であるので、私が道中であなたを滅ぼさないために。 そして民はこの悪い言葉を聞いて、喪服を着て深く嘆き悲しんだ。 そして主はイスラエルの息子たちに言った、あなたたちは頑なな民である。注意せよ、私が別の打撃をあなたたちの上にもたらして、あなたたちを滅ぼすことのないように。だから今、あなたたちの栄光の衣服と飾りを取り去れ、そうすれば私はあなたに私があなたに行うことを示そう。 そしてイスラエルの子らは彼らの装飾品をホレブの山から取り外した。 そしてモーセは彼の天幕を取って、宿営の外に、宿営から遠く離れて、それを張った。そしてそれは証しの天幕と呼ばれた。そしてこうなった、主を求める者は皆、宿営の外にあるその天幕へ出て行った。 モーセが宿営の外の幕屋に入って行くときはいつでも、すべての民は各々が自分の天幕の戸口のそばで見張りながら立っていた。そして彼らはモーセが幕屋に入るまで、モーセが去って行くのを注意深く見ていた。 モーセが天幕の中に入ると、雲の柱が降りてきて、天幕の戸口の上に立ち、モーセに語った。そしてモーセに語った。 そして民は皆、雲の柱が幕屋の入口に立っているのを見た。そして民は皆立ち上がり、各々が自分の幕屋の入口から礼拝した。 そして主はモーセに語った、顔と顔を合わせて、人が自分の友人に語るように。そしてモーセは宿営に戻った。しかしヌン

の子ヨシュアという若い従者は天幕から出なかった。 そしてモーセは主に向かって言った、見よ、あなたは私にこの民を連れ上れと言うが、あなたは私に明らかにしていない、誰を私と共に送るのかを。しかしあなたは私に言った、私はすべての者の中からあなたを知っている、そしてあなたは私のもとで恵みを持っていると。 もし私があなたの前で恵みを見つけたのなら、あなた自身を私に現してください。はっきりとあなたを見ることができるように、私があなたの前で恵みを見つけた者となるために、そしてこの大いなる国民があなたの民であることを知るために。 そして彼は言う、私自身があなたの前を行くだろう、そして私はあなたを休ませるだろう。 そして彼は彼に言う、もしあなた自身が一緒に行かないなら、私をここから連れて行かないでください。 そして、私とあなたの民があなたのもとで恵みを見つけたということが、あなたが私たちと共に行くこと以外に、どのように本当に知られるでしょうか? そして私は栄光を受けるだろう、私もあなたの民も、地上に存在するすべての国々の間で。 そして主はモーセに言った、そしてあなたが言ったこの言葉を、私は行うだろう。なぜならあなたは私の前に恵みを見つけたからだ、そして私はすべての者の中からあなたを知っている。 そして彼は言う、あなた自身を私に現してください。 そして言った、私はあなたより先に私の栄光をもって通り過ぎるだろう、そして私の名である主をあなたの前で呼ぶだろう、そして私が憐れむ者を憐れむだろう、そして私が哀れむ者を哀れむだろう。 そして言った、あなたは私の顔を見ることができない。なぜなら人は私の顔を見て生きることはできないからだ。 そして主は言った、見よ、私のそばに場所がある。あなたは岩の上に立つだろう。私の栄光が通り過ぎる時、私はあなたを岩の穴の中に置き、私の手であなたの上を覆うだろう、私が通り過ぎるまで。 そして私は手を取り除く、そし

てその時お前は私の背中を見るだろう、しかし私の顔はお前には見られない。

34

そして主はモーセに言った、あなた自身のために二つの石の板を切り出せ、最初のもののように。そして山へ私のところへ登って来い。そして私はその板の上に言葉を書くだろう、あなたが砕いた最初の板の中にあった言葉を。 そして朝には準備ができた状態になれ、そしてシナイの山に登れ、そしてそこで山の頂上に私のために立て。 そして誰もあなたと一緒に登ってはならない、またその山全体で見られてはならない。そして羊と牛はあの山の近くで放牧してはならない。 そして彼は最初のもののように二つの石の板を切り出した。そして早く起きて、モーセはシナイの山に登った、主が彼に命じたとおりに。そしてモーセはその二つの石の板を取った。 そして主は雲の中を降りて来て、そこで彼のそばに立ち、主の名によって呼んだ。 そして主は彼の顔の前を通り過ぎた、そして主なる神は呼んだ、憐れみ深く、慈悲深く、忍耐強く、慈悲に富み、真実であり、正義を保ち、慈悲を千代まで保ち、不法と不正と罪を取り除き、有罪の者を清めず、父たちの不法を子らの上に、子らの子らの上に、三代目と四代目にもたらす。 そして急いでモーセは地に身をかがめて礼拝した。そして言った、もし私があなたの前に恵みを見出したなら、私の主が私たちと共に行ってください。なぜならこの民はうなじのこわい者だからです。そしてあなたが私たちの罪と私たちの不法を取り除いてください、そして私たちはあなたのものとなります。 そして主はモーセに言った、見よ、私はあなたの全ての

民の前であなたと契約を結ぶ。私は栄光あることをするだろう、それは全ての地においても全ての国においても起こったことがないものである。そしてあなたがその中にいる全ての民は、主の業を見るだろう。なぜならそれは素晴らしいものであるから、それを私はあなたのためにするだろう。 お前は私がお前に命じる全てのことに注意しろ。見よ、私はお前たちの前からアモリ人とカナン人とペリジ人とヘテ人とヒビ人とギルガシ人とエブス人を追い出す。 自分自身に注意せよ、あなたが入って行くその地の上に住んでいる者たちと決して契約を結ぶな、それがあなたがたの中でつまずきの石とならないように。 あなたたちは彼らの祭壇を取り壊し、彼らの柱を砕き、彼らの木立を切り倒し、彼らの神々の彫像を火で焼き尽くすだろう。 あなたがたは他の神々を拝んではならない。なぜなら主なる神は、その名は嫉妬深く、嫉妬深い神であるから。 その地に住んでいる者たちと決して契約を結んではならない、そうすれば彼らが彼らの神々を追って淫行をし、彼らの神々に犠牲を捧げ、あなたを招き、あなたが彼らのものを食べ、あなたが彼らの娘たちをあなたの息子たちのために娶り、あなたの娘たちを彼らの息子たちに与え、あなたの娘たちが彼らの神々を追って淫行をし、あなたの息子たちが彼らの神々を追って淫行をするかもしれないからだ。 そしてあなたは自分のために鋳造の神々を作ってはならない。 そしてあなたは種なしパンの祭りを守るだろう。七日間あなたは種なしパンを食べるだろう、ちょうど私があなたに命じたように、アビブの月の定められた時に。なぜならアビブの月にあなたはエジプトから出たからだ。 胎を開くすべての雄は私のものである、子牛の初子すべてと羊の初子。 そして荷役獣の初子を羊で贖うだろう。もしそれを贖わないなら、代価を払うだろう。 あなたの息子たちの初子を全て贖わなければならない。あなたは何も持たずに私の前に現れてはならな

い。 六日間働け、そして七日目には休め。種まきにも収穫にも休息がある。 そしてあなたは週の祭りを私のために行うだろう、小麦の収穫の始まりに。そして年の真ん中における集会の祭りを行うだろう。 年に三度、あなたのすべての男子は、イスラエルの神である主の前に現れるであろう。 というのも、私があなたの前から諸国民を追い出し、あなたの境界を広げる時、あなたがあなたの神である主の前に現れるために上って行く時、年に三度、誰もあなたの地を欲しがらないからである。 あなたは私の犠牲の血をパン種と共に屠ってはならない、そして過越の祭の犠牲は朝まで残してはならない。あなたの土地の初物をあなたの神である主の家に置きなさい。子羊をその母の乳で煮てはならない。 そして主はモーセに言った、あなた自身のためにこれらの言葉を書きなさい。なぜならこれらの言葉に基づいて私はあなたとイスラエルに契約を立てたからである。 そしてモーセはそこに主の前に四十日と四十夜いた。パンを食べず、水も飲まなかった。そして彼は板の上にこれらの契約の言葉、十の言葉を書いた。 モーセが山から降りていた時、二つの板がモーセの手の上にあった。彼が山から降りていた時、モーセは知らなかった、彼に話しかけられた時に、彼の顔の肌の外観が栄光を受けていたことを。 そしてアロンとイスラエルの全ての長老たちはモーセを見た、そして彼の顔の肌の外観は栄光を受けていた。 そして彼らは彼に近づくことを恐れた。 そしてモーセは彼らを呼んだ、そしてアロンと集会の全ての支配者たちは彼のもとへ戻った、そしてモーセは彼らに話した。 そしてこの後、イスラエルの子ら全員が彼のもとに近づいた。 そして彼は、主がシナイの山で彼に命じたすべてのことを、彼らに命じた。 彼らに話すことをやめると、彼は自分の顔にベールをかけた。 モーセが主の前で主に話すために入って行く時はいつでも、そのベールは出て行くまで取り除かれていた。そして出

て行って、主が彼に命じたすべてのことをイスラエルのすべての子らに話していた。 そしてイスラエルの子らはモーセの顔が栄光を受けていたのを見た。そしてモーセは自分の顔の上に覆いを置いた、彼が入って彼と語り合うまで。

35

そしてモーセはイスラエルの子ら全員の集会を集めて言った、これらは主がそれらを行うように言った言葉である。 六日間あなたは仕事をしなさい。しかし七日目は休息である。聖なる安息日、主への休息である。その日に仕事をする者は全て死ななければならない。あなたたちは安息日に、あなたたちのすべての住居で火を燃やしてはならない。私は主である。 そしてモーセはイスラエルの息子たち全ての集会に向かって言った、これは主が命じられた言葉である。あなたたち自身の中から主への捧げ物を取りなさい。心で受け入れる者は皆、主に初穂を運ぶだろう。金、銀、青銅、ヒヤシンス、紫、二重に紡がれた緋色、そして紡がれた亜麻布、そして山羊の毛、そして赤く染められた雄羊の皮、そしてヒヤシンス色の皮、そして腐らない木、そして紅玉髄の石、そして彫刻のための石を肩当てと長い衣のために。 そしてあなたがたの中で心に知恵のあるすべての者は、来て、主が命じたすべてのものを作らせよ。幕屋と、幕と、覆いと、幕と、かんぬきと、柱と、証しの箱と、それの運び棒と、それの贖いの座と、垂れ幕と、机とそれのすべての器と、光の燭台とそれのすべての器と、祭壇とそれのすべての器と、祭司アロンの聖なる衣服と、彼らがそれらで仕えるところの衣服と、アロンの息子たちのための祭司職の長服と、注ぎの油と、調合の香を。 そ

してイスラエルの息子たちの全集会がモーセのもとから出て行った。 そして彼らは各々、自分の心が運んだものを持ってきた、そして自分の魂に良いと思われた者たちは捧げ物を持ってきた。そして彼らは主に捧げ物を持ってきた、証しの幕屋のすべての働きのために、そしてそれのすべての備品のために、そして聖なるもののすべての衣服のために。 そして男たちは女たちから持って来た。心に良いと思われたすべての者は、印章と、耳飾りと、指輪と、組紐飾りと、腕輪を持って来た、すべての金の器を。 そして金の捧げ物を主に持って来た者全員、そして亜麻布を持っていた者、そして青い皮と赤く染められた雄羊の皮を持って来た者全員がいた。 そして捧げ物を取り除くすべての者は、銀と青銅を主への捧げ物として持って来た。そして腐らない木が見つかった者たちのもとからも、準備のすべての働きへと持って来た。 そして心において賢いすべての女は手で紡ぎ、紡がれたヒヤシンス色と紫色と緋色と亜麻布を持ってきた。 そして全ての女たち、その心に知恵において良いと思われた者たちは、山羊の毛を紡いだ。 そして支配者たちはエメラルドの石々と充填の石々をエポデと胸当てのために、そして注ぎの油のためと香の調合物のために持って来た。 そしてすべての男とすべての女で、その心が彼らを導いて、主がモーセを通して行うように命じたすべての働きを行うために来させた者たち、イスラエルの子らは主への捧げ物を持って来た。 そしてモーセはイスラエルの息子たちに言った、見よ、神はユダの部族から、フルの子ウリの子ベツァルエルを名指しで呼び出し、そして彼を神聖な霊で満たした、知恵と理解と全ての知識の霊で、全ての職人技の作品を設計し、金と銀と青銅を作り、石を切り、木を加工し、全ての知恵の仕事を行うために。 そして確かに彼は進ませることを心の中に彼自身とダン族のアヒサマクの子エリアブに与えた。そして彼は彼らを知恵と理解と思

慮で満たした、すべてを理解し聖なるものの働きを行うために、そして織られたものと刺繍されたものを緋色と亜麻布で織るために、職人技と多様性のすべての働きを行うために。

36

そしてベザレルとエリアブ、そして心において賢いすべての者で、その者たちに知恵と知識が彼ら自身の中に与えられた者たちは、すべての働きを理解して行った、聖なる務めに従って、主が命じられたすべてのことに従って。 そしてモーセはベツァルエルとエリアブと、知恵を持っているすべての者たち、神が心の中に知識を与えた者たちと、自発的にその仕事に近づくことを望んでいるすべての者たちを呼んだ、それらを完成するために。 そして彼らはモーセから、イスラエルの子らが聖なるものの全ての仕事を行うために持って来た全ての捧げ物を受け取った。そして彼らはまだ朝に運んで来る者たちから捧げられるものを受け取っていた。 そして聖なるものの仕事を作っている全ての賢い者たちが来ていた、各々が自分たちが働いていた自分の仕事に従って。 そして彼はモーセに言った、民は主が行うように命じた働きに従って多くのものを運んでいる、と。 そしてモーセは命令し、宿営で宣言して言った、男も女ももはや聖なるもののための初穂に働いてはならない。そして民はそれ以上捧げることを妨げられた。 そして材料は彼らが建設を行うのに十分であり、余りが残った。 そして働く者たちの中の全ての賢い者が聖なるものの衣を作った、それらは祭司アロンのためのものである、主がモーセに命じた通りに。 そして彼は肩当てを金と、青と、紫と、紡がれた緋と、撚られた亜麻布から作った。そして金の薄片

が髪の毛のように切られた、青と、紫と、徹底的に紡がれた緋と、撚られた亜麻布と共に織り合わせるために。彼らはそれを織られた作品として作った。両方の部分から結合する肩当てであり、互いに織り込まれた織られた作品をそれ自体に従って作った。 彼らはそれを彼の作り方に従って作った、金と青と紫と撚られた緋色と撚られた亜麻布から、主がモーセに命じた通りに。そして彼らは両方のエメラルドの石を作った、留め金で留められ金で囲まれ刻まれ彫り出されて印章の彫刻でイスラエルの息子たちの名前を。そして彼はそれらをエポデの肩の上に置いた、イスラエルの息子たちの記念の石を、主がモーセに命じた通りに。 そして彼らは胸当てを作った、織られた細工で、エポデの細工に従って、金と、青と、紫と、撚られた緋色と、撚られた亜麻布から。彼らは胸当てを四角く二重に作った。長さは一スパン、そして幅は一スパンで、二重であった。 そして石で飾られた四列の布地がそれに織り込まれた。石の列、赤縞瑪瑙と黄玉と緑玉、これが第一の列。そして第二の列、紅玉と青玉と碧玉。そして第三の列、風信子石と瑪瑙と紫水晶。そして第四の列、貴橄欖石と緑柱石と縞瑪瑙で、金で囲まれ、そして金で結び合わされた。 そしてその石たちはイスラエルの息子たちの名前による十二であった、それらの名前から印章に刻まれて、各々は自分自身の名前で十二の部族のために。 そして彼らは胸当ての上に編み合わされた鎖を、編み紐の細工で、純金から作った。 そして彼らは二つの金の小盾と二つの金の環を作った。そして彼らはその二つの金の環を胸当ての両端に置いた。 そして彼らは金の組紐を胸当ての両側の環の上に置いた。そして二つの組紐を二つの留め金に置いた。 そして彼らはそれらを二つの小さな盾の上に置いた。そして彼らはそれらをエポデの肩の上に、正面に向かい合って置いた。 そして彼らは二つの金の輪を作り、胸当ての端の二つの翼の上に置き、そして

エポデの後ろの端の内側に置いた。そして彼らは二つの金の輪を作り、エポデの両方の肩の上に、それの下の方に、前面に、エポデの織り帯の上の接合部に置いた。そして胸当てをそれの上の輪からエポデの輪へと結び合わせた、青い糸で保たれて、エポデの織物へと織り込まれて、胸当てがエポデから緩まないために、主がモーセに命じた通りに。 そして彼らはエポデの下に長衣を作った、織られた作品で、全体が青色だった。そして長衣の開口部は真ん中で織り込まれ組み合わされていて、開口部の周りに縁があり破れないものだった。そして彼らは長衣の裾の下側に、咲いているザクロのようなザクロを作った、青と紫と紡がれた緋色と撚られた亜麻布から。そして彼らは金の鈴を作り、その鈴を長衣の裾の周りのザクロの間に置いた。金の鈴とザクロが長衣の裾の周りに、仕えるために、主がモーセに命じた通りに。 そして彼らは亜麻布のチュニックを作った、織られた仕事を、アロンと彼の息子たちのために、そして亜麻布からターバンを、そして亜麻布からターバンを、そして撚られた亜麻布から下着を、そして彼らの帯を亜麻布から、そして青と紫と紡がれた緋色から、刺繍者の仕事を、主がモーセに命じた方法で。そして彼らは金の板を作った、聖なるものの分離された部分を、純粋な金で。そして彼はその上に刻まれた文字を書いた、印章のように、主への聖所と。そして彼らはそれを青い紐の上に置いた、ターバンの上に上から載せられるように、主がモーセに命じた方法で。

37

そして彼らは幕屋のために十枚の幕を作った。一枚の幕の長さは二十八キュビトだった。それは全てに同じだった。そして一枚の幕の

幅は四キュビトだった。 そして彼らは幕を青と紫と緋色の紡がれたものと撚られた亜麻布から作った、ケルビムの織物の作品。そして彼らはそれを金で覆われた腐らない四本の柱の上に置いた。そしてそれらの柱頭は金で、そしてそれらの台座は四つで銀だった。 そして彼らは証しの幕屋の入口の垂れ幕を、青色と紫色と緋色の撚った糸と撚り合わせた亜麻布から、ケルビムの織物の細工で作った。そしてそれらの柱五本と環、そしてそれらの柱頭とそれらの留め金を金で覆った。そしてそれらの台座五つは青銅製だった。 そして彼らは中庭の南側を作った。中庭の幕は撚り合わせた亜麻布で百キュビト、その柱は二十本、その台座は二十個だった。 そして北に向かう側は、百に百。そして南に向かう側は、百に百。そしてそれらの柱は二十、そしてそれらの台座は二十。そして海に向かう側は幕五十キュビト。それらの柱は十、そしてそれらの台座は十。そして東に向かう側は五十キュビトの幕、背面に従って十五キュビト。そしてそれらの柱は三、そしてそれらの台座は三。そして第二の背面の上に、あちらとこちらから、庭の門に従って、幕十五キュビト。それらの柱は三、そしてそれらの台座は三。天幕のすべての幕は撚られた亜麻布から。 そしてそれらの柱の台座は青銅で、それらの鉤は銀で、それらの柱頭は銀で覆われており、柱は銀で覆われていた、庭のすべての柱が。そして庭の門の幕は刺繍職人の作品で、青と紫と緋色の紡がれたものと撚られた亜麻布からできていた。長さは二十キュビト、そして高さと幅は五キュビトで、庭の幕に対応していた。そしてそれらの柱は四本で、それらの台座は四つで青銅製、それらの鉤は銀製、そしてそれらの柱頭は銀で覆われていた。 そして中庭の周りの全ての杭は青銅で、そしてそれら自身は銀で覆われている。 そしてこれは証しの幕屋の配置である、モーセに命じられた通りに、祭司アロンの息子イタマルを通してレビ人たちが奉仕する

ためのものである。 そしてベツァルエル、ウリの息子、ユダの部族から来た者は、主がモーセに命じた通りに作った。そしてエリアブ、アヒサマクの息子、ダンの部族から来た者は、織られたものと刺繍されたものと多彩なものを統括した、緋色と亜麻布で織った。

38

そしてベツァルエルは箱を作った、そして彼は純金でそれを内側と外側に覆った。そして彼はそれに四つの金の環を鋳造した。二つは一つの側に、そして二つは二番目の側に、運搬棒のために広く、それらでそれを運ぶために。 そして彼は贖いの座を箱の上に純金から作り、二つの金のケルビムを作った。一つのケルブを贖いの座の一方の端の上に、一つのケルブを贖いの座の二つ目の端の上に置き、それらは翼で贖いの座の上を覆っていた。 そして彼は純粋な金から供えの机を作り、それに四つの環を鋳造した。二つは一方の側の上に、そして二つは二番目の側の上に、広く、それらの中の棒でそれを持ち上げるために。 そして彼は箱の棒と机の棒を作った、そして彼はそれらを金で覆った。 そして彼はテーブルの器具、すなわち鉢と香炉と杯と注酒器を作った。それらはその中で注酒するための金の器具であった。 そして彼は照らす燭台を作った、金の、固い茎と、そしてそれの両方の側からの枝を。それの枝からの芽、それの枝からの芽が突き出ている。三つはこちらから、そして三つはこちらから、互いに等しくされている。 そしてそれらの燭台は、端の上にあるもので、それらからアーモンド形である。そしてそれらからの装飾的な挿入物は、ランプがそれらの上にあるためのものである。そして七番目の装飾的な挿入物は、燭台の端の上にあり、頂上

の上に上から置かれ、全体が固体の金である。そしてそれの上に七つの金のランプがあり、そしてそれの金のトングがあり、そしてそれらの金の芯切り皿がある。 この者は柱を銀で覆い、柱に金の輪を鋳造し、横木を金で金張りし、幕の柱を金で金張りし、金の鉤を作った。 彼は幕屋の金の環と、庭の環と、上から覆いを張るための青銅の環を作った。彼は幕屋の銀の柱頭と、幕屋の扉の青銅の柱頭と、庭の門を鋳造した。そして彼は柱のための銀の鉤を作り、柱の上で彼はそれらに銀を被せた。彼は幕屋の杭と庭の青銅の杭を作った。彼はコラの集団と共に反逆した者たちのものであった青銅の火皿から青銅の祭壇を作った。彼は祭壇のすべての器具と、その火皿と、台と、鉢と、青銅の肉鉤を作った。彼は祭壇のために格子を作り、火皿の下からそれ自体の半分まで下から網細工を作った。そして彼は祭壇の格子の四つの部分から四つの青銅の環を、棒のために広く置いた、それらで祭壇を運ぶために。彼は聖なる注ぎの油と、香の調合物を純粋な調香師の作品として作った。彼は青銅の洗盤と、その青銅の台を、断食した女たちの鏡から作った、彼女たちは証しの幕屋の扉のそばで断食した、彼がそれを立てた日に。 そして彼は洗盤を作った、モーセとアロンと彼の息子たちが証しの幕屋に入る時、あるいは祭壇に仕えるために近づく時に、彼らの手と足をそれから洗うために。彼らはそれから洗った、ちょうど主がモーセに命じた通りに。

39

すべての金、聖なるものたちのすべての仕事に従って働きのために作られた金は、初穂の金となった、二十九タラント、そして七百二

十シェケル、聖なるシェケルに従って。そして銀の捧げ物は、集会の数えられた人々から、百タラント、そして千七百七十五シェケル。一人の頭につきドラクマ一つ、シェケルの半分、聖なるシェケルに従って。調査を通過するすべての者、二十歳以上の者は、六十万三千五百五十人であった。 そして百タラントの銀が幕屋の百の台座と垂れ幕の台座の鋳造に用いられた。百の台座が百タラントに、一タラントが一つの台座に。そして千七百七十五シェケルで柱のための鉤を作った。そしてそれらの柱頭を金で覆い、それらを飾った。 そして奉納物の青銅は七十タラントと千五百シェケルだった。そして彼らはそれから証しの幕屋の扉の台座と、庭の周りの台座と、庭の門の台座と、幕屋の杭と、庭の周りの杭と、祭壇の青銅の格子と、祭壇のすべての器具と、証しの幕屋のすべての道具を作った。そしてイスラエルの子らは、主がモーセに命じたとおりに、そのように作った。そして奉納物の残りの金から、彼らは主の前でそれらで仕えるための器具を作った。そして残された青色の布と紫の布と緋色の布から、彼らはアロンのための祭司の衣服を作った、それらを着て聖所で仕えるために。そして彼らは衣服をモーセのところに持って来た、そして幕屋と、その器具と、その台座と、その横木と、その柱と、そして祭壇と、そのすべての器具を。 そして注ぎの油、そして調合の香、そして清い燭台、そしてそれのランプ、燃焼のランプ、そして光の油。そして供えのパンのテーブル、そしてそれのすべての器、そして前に置かれたパン。そして聖なるものの衣服、それらはアロンのものである、そして彼の息子たちの衣服、祭司職のための。そして庭の幕、そして柱、そして幕屋の扉の幕、そして庭の門の幕。そして幕屋のすべての器、そしてそれのすべての道具、そして皮、赤く染められた雄羊の皮、そして青い覆い、そして残りの覆い、そして杭、そしてすべての道具、証しの幕屋の働きのため

の。主がモーセに命じたすべてのもの、このようにイスラエルの息子たちはすべての仕事を作った。そしてモーセはすべての働きを見た、そして彼らはそれらを作っていた、主がモーセに命じた方法で、このように彼らはそれらを作った、そしてモーセは彼らを祝福した。

40

そして主はモーセに語って言った、第一の月の新月の一日に、あなたは証しの幕屋を立てるだろう。 そしてあなたは証しの箱を置き、その箱を幕で覆うだろう。 そしてあなたはそのテーブルを持ち込み、そしてそれの供え物を並べなさい。そしてあなたはその燭台を持ち込み、そしてそれのランプを置きなさい。 そしてあなたは金の祭壇を、香を焚くために、箱の前に置くだろう。そしてあなたは幕の覆いを証しの幕屋の戸の上に置くだろう。 そして、あなたは供え物の祭壇を証しの幕屋の戸口のそばに置くであろう。そして、あなたは幕屋を周りに配置するであろう。そして、あなたはそれのすべてのものを周りに聖別するであろう。 そしてあなたは注ぎの油を取り、その幕屋とその中にあるすべてのものを注ぎ、それとそのすべての器を聖別し、そしてそれは聖なるものとなるだろう。 そしてあなたは捧げ物の祭壇とそのすべての器に油を注ぐだろう。そしてあなたは祭壇を聖別するだろう。そして祭壇は最も聖なるものになるだろう。 そしてあなたはアロンと彼の息子たちを証しの幕屋の戸口に連れて来て、彼らを水で洗うでしょう。 そしてあなたはアロンに聖なる衣を着せ、彼に油を注ぎ、彼を聖別し、彼は私に祭司として仕える。 そしてあなたは彼の息子たちを連れて来て、彼らにチュ

ニックを着せるだろう。 そしてあなたは彼らに油を注ぐだろう、あなたが彼らの父に油を注いだ方法で、そして彼らは私に祭司として仕えるだろう。そしてそれは、彼らに祭司職の油注ぎが永遠に、彼らの世代にわたってあるためになるだろう。 そしてモーセは、主が彼に命じたすべてのことを、そのように行った。 そして、彼らがエジプトから出て行った二年目の最初の月の新月に、幕屋が立てられた。 そしてモーセは天幕を立て、柱頭を置き、横木を通し、柱を立てた。 そして彼は幕を天幕の上に張り広げ、天幕の覆いをその上に上から置いた、主がモーセに命じた通りに。 そして証しの板を取って箱に入れた。そして棒を箱の下に取り付けた。そして箱を幕屋に運び入れた。そして垂れ幕の覆いを掛けた。そして証しの箱を覆った、主がモーセに命じた通りに。そして机を証しの幕屋に置いた、幕屋の垂れ幕の外側の北側に。 そして彼はその上に供えのパンを主の前に置いた、主がモーセに命じた方法で。 そして彼は燭台を証しの幕屋の中に、幕屋の南に向かう側に置いた。 そして彼はそのランプを主の前に置いた、主がモーセに命じた方法で。 そして彼は金の祭壇を証の幕屋の中の垂れ幕の前に置き、その上で調合の香を焚いた、ちょうど主がモーセに命じたように。 そして彼は供え物の祭壇を幕屋の戸口のそばに置いた。 そして彼は庭を幕屋と祭壇の周りに設置した。そしてモーセはすべての仕事を完成させた。 そして雲が証しの幕屋を覆った。そして幕屋は主の栄光で満たされた。 そしてモーセは証しの幕屋の中に入ることができなかった、なぜなら雲がその上を覆っていたから、そして幕屋は主の栄光で満たされた。 雲がその幕屋から上がった時、イスラエルの子らは彼らの荷物と共に出発した。 もしその雲が上らなかったならば、彼らはその雲が上った日まで出発しなかった。 というのも、雲が昼間は幕屋の上にあり、火が夜にはその上にイスラエル全体の前にあったからである、

彼らの全ての旅立ちにおいて。

民数記

1

そして主はモーセに語った、シナイの荒野で、証しの幕屋で、第二の月の一日に、彼らがエジプトの地から出た第二の年に、言って、イスラエルの全ての集会の始まりを取れ、家族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名前から数に従って、彼らの頭に従って、全ての男性、二十歳以上、イスラエルで軍に出て行く全ての者、彼らを彼らの軍と共に数えよ、あなたとアロンは彼らを数えよ。 そしてあなたたちと共に、各部族から一人ずつ支配者がいるだろう、彼らは父祖の家の長たちだろう。 そしてこれらは、あなたたちと共に立つであろう男たちの名前である。ルベン族の者は、シェデウルの息子エリツル。シメオン族の者は、ツリシャダイの息子シェルミエル。 ユダの、ナアソンはアミナダブの息子。 イッサカルから、ナタナエル、ツアルの息子。ゼブルンから、エリアブ、ヘロンの息子。ヨセフの息子たちから、エフライムから、エリシャマ、アミフデの息子。マナセから、ガマリエル、ペダツルの息子。 ベニヤミンの、アビダンはギデオニの息子。 ダンの、アヒエゼル、アミシャダイの息子。 アシェルの、パギエル、オクランの息子。 ガドの者たちから

は、ラグエルの息子エリアサフ。 ナフタリからは、エナンの息子アヒラ。 これらは集会に召集された者たちで、彼らの家族ごとの部族の支配者たち、イスラエルの千人隊長たちである。 そしてモーセとアロンは名によって呼ばれたこれらの男たちを連れて行った。 そして彼らは全ての集会を第二年の第二の月の一日に集めた。そして彼らは彼らの氏族によって、彼らの家族によって、彼らの名前の数によって、二十歳以上の全ての男性を一人一人登録した、主がモーセに命じた方法で。そして彼らはシナイの荒野で数えられた。 そしてイスラエルの長子ルベンの息子たちは、彼らの親族に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名の数に従って、彼らの頭ごとに、すべての男性、二十歳以上、すべての軍隊に出て行く者たちについて、彼らの登録はルベンの部族から四万六千五百人であった。 シメオンの息子たちについて、彼らの親族ごとに、彼らの氏族ごとに、彼らの父祖の家ごとに、彼らの名前の数ごとに、彼らの頭数ごとに、すべての男性、二十歳以上、軍務に出るすべての者、シメオンの部族からの彼らの登録は、五万九千三百であった。 ユダの息子たちについて、彼らの血縁によって、彼らの氏族によって、彼らの父祖の家によって、彼らの名前の数によって、彼らの頭数によって、全ての男性、二十歳以上、軍隊に出て行く全ての者、ユダの部族からの彼らの人口調査は、七万四千六百であった。 イッサカルの息子たちについて、彼らの氏族ごとに、彼らの部族ごとに、彼らの父祖の家ごとに、彼らの名前の数ごとに、彼らの頭数ごとに、すべての男性で、二十歳以上の、軍隊に出て行くすべての者、イッサカルの部族からの彼らの登録数は、五万四千四百であった。 ゼブルンの息子たちについて、彼らの親族によって、彼らの氏族によって、彼らの父祖の家によって、彼らの名前の数によって、彼らの頭数によって、すべての男性、二十歳以上、軍隊に出て

行くすべての者、ゼブルンの部族からの彼らの人口調査は、五万七千四百であった。 ヨセフの息子たちであるエフライムの息子たちについて、彼らの家族に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名前の数に従って、彼らの頭数に従って、全ての男性、二十歳以上、軍隊に出て行く全ての者、エフライムの部族からの彼らの人口調査は、四万五百人であった。 マナセの息子たちについて、彼らの親族によって、彼らの氏族によって、彼らの父祖の家によって、彼らの名前の数によって、彼らの頭数によって、すべての男性、二十歳以上、すべての軍隊に出て行く者、マナセの部族からの彼らの登録は、三万二千二百であった。 ベニヤミンの息子たちについて、彼らの親族ごとに、彼らの氏族ごとに、彼らの父祖の家ごとに、彼らの名前の数ごとに、彼らの頭数ごとに、すべての男性、二十歳以上、軍隊に出て行くすべての者、ベニヤミンの部族からの彼らの登録は、三万五千四百であった。 ガドの息子たちについて、彼らの血縁に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名の数に従って、彼らの頭数に従って、すべての男性、二十歳以上、すべての軍隊に出て行く者、彼らの人口調査は、ガドの部族から、四万五千六百五十であった。 ダンの息子たちについて、彼らの血縁によって、彼らの氏族によって、彼らの父祖の家によって、彼らの名前の数によって、彼らの頭数によって、すべての男性、二十歳以上、軍隊に出て行くすべての者、ダンの部族からの彼らの登録は、六万二千七百であった。 アシェルの息子たちについて、彼らの家族に従って、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、彼らの名前の数に従って、彼らの頭ごとに、すべての男性、二十歳以上、軍隊に出て行くすべての者、彼らの登録は、アシェルの部族から、四万千五百であった。 ナフタリの息子たちについて、彼らの血縁によって、彼らの氏族によって、彼らの父祖の

家によって、彼らの名前の数によって、彼らの頭数によって、全ての男性、二十歳以上、軍務に出る全ての者、ナフタリの部族からの彼らの人口調査は、五万三千四百であった。 これは人口調査であり、モーセとアロンとイスラエルの指導者たち十二人の男たちがそれを調査した。一人の男が一つの部族ごとに、父祖の家の部族ごとに彼らはいた。 そしてイスラエルの息子たちの全ての人口調査が彼らの軍隊と共に行われ、二十歳以上の者で、イスラエルにおいて戦列を組むために出て行く全ての者は、六十万三千五百五十人となった。 しかしレビ人は彼らの父祖の部族からイスラエルの子らの中で数えられなかった。 主はモーセに語って言った、見よ、レビの部族をイスラエルの子らの中で一緒に数えてはならない、そして彼らの数を取ってはならない。 そしてあなたはレビ人たちを証しの幕屋と、そのすべての器具と、その中にあるすべてのものの上に任命しなさい。彼らがその幕屋とそのすべての器具を運ぶ。そして彼らがその中で仕える、そして幕屋の周りに彼らは宿営する。 そしてそのテントを取り除く時に、レビ人たちはそれを取り壊すだろう、そしてそのテントを設営する時に、彼らはそれを立てるだろう。そして近づく外国人は死ななければならない。 そしてイスラエルの子らは野営するだろう、各人は自分の部隊に、そして各人は自分の指揮に従って、彼らの軍勢とともに。 レビ人たちは証しの幕屋の周りに宿営させなさい、そしてイスラエルの子らの中に罪はないだろう。 そしてレビ人たち自身が証しの幕屋を守るだろう。 そしてイスラエルの息子たちは行った。主がモーセとアロンに命じた全てのことに従って、そのように彼らは行った。

2

そして主はモーセとアロンに向かって語って言った、人はそれぞれ自分の部隊に従って、旗に従って、彼らの父祖の家に従って宿営させよ、イスラエルの子らを向かい合って、証しの幕屋の周りにイスラエルの子らは宿営するであろう。 そして東に従って最初に宿営する者たちは、彼らの軍勢と共にユダの宿営の部隊であり、そしてユダの息子たちの支配者は、アミナダブの息子ナアソンである。 彼の召集された軍勢は七万四千六百人である。 そしてイッサカル族に続いて宿営する者たち、そしてイッサカルの息子たちの支配者、ツアルの息子ナタナエル。 彼の軍勢で数えられた者たちは、五万四千四百人である。 そしてゼブルンの部族に続いて宿営する者たち、そしてゼブルンの息子たちの支配者は、ヘロンの息子エリアブ。 彼の軍勢で点呼された者は、五万七千四百人であった。 ユダの陣営から数えられた者たち全て、十八万六千四百人は、彼らの軍勢と共に最初に出発するだろう。 ルベンの宿営の部隊は南に向かい、彼らの軍勢があり、ルベンの息子たちの支配者はシェデウルの息子エリツルである。 彼の軍勢で召集された者たちは、四万六千五百人である。 そして彼に続いて陣を張る者たちはシメオンの部族であり、そしてシメオンの子らの支配者は、ツリシャダイの子シェルミエルである。 彼の軍勢で点呼された者たちは、五万九千三百人である。 そして彼に続いて宿営する者たちはガドの部族であり、ガドの息子たちの支配者はラグエルの息子エリサフである。 彼の軍勢で点呼された者は、4万5千6百50人である。 ルベンの宿営の点呼された者たち全員は、十五万千四百五十人であり、彼らの軍勢と共に二番目に出発するであろう。 そして証しの幕屋は取り去られるだろう、そしてレビ人の宿営は諸宿営の真ん中に。彼らが宿営するように、そのように彼らは出発するだろう、各々が指導に従って次々と。 エフライムの陣営の部隊は海のそばに彼らの軍勢と共にあり、そしてエフライム

の子らの支配者はアミフデの子エリシャマである。 彼の召集された兵力は、四万五百人。 そしてマナセの部族に続いて宿営する者たち、そしてマナセの息子たちの支配者はペダツルの息子ガマリエル。 彼の軍勢で数えられた者たちは、三万二千二百。 そしてベニヤミンの部族に続いて宿営する者たち、そしてベニヤミンの息子たちの支配者、ギデオニの息子アビダン。 彼の力として点呼された者たちは、三万五千四百人。 エフライムの陣営の召集された者たち全ては、十万八千百である。彼らの軍勢と共に三番目に出発するだろう。 ダンの陣営の軍団は北に向かって彼らの軍勢と共にあり、ダンの息子たちの支配者はアミシャダイの息子アヒエゼルである。 彼の軍勢で召集された者たちは、六万二千七百人である。 そして彼に続いて宿営する者たちはアシェルの部族、そしてアシェルの息子たちの支配者はオクランの息子パギエル。 彼の軍勢で点呼された者は、四万千五百人である。 そしてナフタリの部族に続いて宿営する者たち、そしてナフタリの息子たちの支配者はエナンの息子アヒラ。 彼の軍勢で数えられた者たちは、五万三千四百人である。 ダンの陣営の数えられた者たち全員は、十五万七千六百である。彼らは最後に彼らの部隊に従って出発するだろう。 これはイスラエルの息子たちの彼らの父祖の家による人口調査である。彼らの軍隊を伴う宿営全体の人口調査は、六十万三千五百五十である。 しかしレビ人たちは彼らの中では一緒に数えられなかった、主がモーセに命じた通りに。 そしてイスラエルの子らは、主がモーセに命じたすべてのことを行った。このように彼らはその部隊ごとに宿営し、このように各々がその氏族ごとに、その父祖の家ごとに従って出発した。

3

そしてこれらはアロンとモーセの系図である、主がシナイ山でモーセに語った日の。 そしてこれらはアロンの息子たちの名前である。長子ナダブ、アビフ、エレアザル、イタマル。 これらはアロンの息子たちの名前である、油注がれた祭司たち、祭司として仕えるために彼らの手が聖別された者たちである。 そしてナダブとアビフは、シナイの荒野で主の前に異なる火を捧げた時、主の前で死んだ、そして彼らには子供がいなかった、そしてエレアザルとイタマルは彼らの父アロンと共に祭司として仕えた。 そして主はモーセに向かって語って言った、レビの部族を取れ、そして彼らを祭司アロンの前に立たせよ、そして彼らは彼に仕えるだろう、そして彼らは彼の務めと、イスラエルの子らの務めを証しの幕屋の前で守るだろう、幕屋の働きを働くために。 そして彼らは証しの幕屋のすべての器具を守り、幕屋のすべての働きに従ってイスラエルの息子たちの守りを守るだろう。 そしてあなたはレビ人たちをアロンと彼の息子たちである祭司たちに与えるだろう。これらはイスラエルの子らから私に与えられた贈り物である。 そしてあなたはアロンと彼の息子たちを証しの幕屋の上に任命するだろう。そして彼らは彼らの祭司職と祭壇に関するすべてのものと垂れ幕の内側を守るだろう。そして触れる外国人は死ぬだろう。 そして主はモーセに向かって語って言った、見よ、私はイスラエルの息子たちの中から、胎を開く全ての初子の代わりに、レビ人たちをイスラエルの息子たちから取った。彼らは彼らの贖いとなるだろう、そしてレビ人たちは私のものとなるだろう。 私にとってすべての初子は私のものだから。私がエジプトの地ですべての初子を打った日に、私はイスラエルにおいてすべての初子を私のために聖別した。人から獣まで、彼らは私のものとなる。私は主である。 そして主はシナイの荒野でモーセに語って言った、レビの息子たちを彼らの父祖の家ごとに、彼らの氏族ごとに数

えなさい。一ヶ月以上のすべての男性を数えなさい。 そしてモーセとアロンは、主が彼らに命じた方法で、主の声を通して彼らを調べた。 そして、これらは彼らの名前によるレビの息子たちだった。ゲルション、コハト、そしてメラリ。 そしてこれらは、彼らの氏族によるゲルションの息子たちの名前で、リブニとシムイである。 そしてコハトの息子たちは、彼らの氏族によると、アムラムとイツハル、ヘブロンとウジエルである。 そしてメラリの息子たちは彼らの氏族によれば、モオリとムシ。これらは彼らの父祖の家によるレビ人の氏族である。 ゲルションには、リブニの民とシムイの民。これらはゲルションの諸氏族。 彼らの人口調査は、一ヶ月齢以上のすべての男性の数によると、彼らの人口調査は七千五百であった。 そしてゲルションの息子たちは天幕の後ろ、海のそばに宿営するだろう。 そしてゲルション族の家族の家の支配者は、ダエルの息子エリサフである。 そしてゲルションの息子たちの守りは証しの幕屋において、幕屋と覆いと証しの幕屋の入口の覆いと庭の幕と幕屋の上にある庭の門の垂れ幕とそのすべての働きの残りのものである。 コハテには民アムラム一つ、そして民イツハル一つ、そして民ヘブロン一つ、そして民ウジエル一つ。これらはコハテの氏族たちである、数に従って。 一ヶ月以上のすべての男性、八千六百人が、聖なるものの守りを守っていた。 コハトの息子たちの氏族は幕屋の南側に宿営するだろう。 そしてコハトの民族の父祖の家の支配者は、ウジエルの息子エリツァファンである。 そして彼らの守りは契約の箱と机と燭台と祭壇と聖なるものの器でそれらにおいて仕えるだけのものと覆いと彼らの全ての働きです。 そして祭司アロンの息子エレアザルは、レビ人たちの支配者たちを統べる支配者であり、聖なるものの守りを守るために任命された者である。 メラリには、マフリの氏族とムシの氏族がいる。これらがメラリの諸氏族である。 彼らの人

口調査は数によれば、一ヶ月齢以上の全ての男性で、六千五十人であった。 そしてメラリの民の父祖の家の支配者はアビハイルの息子ツリエルである。彼らは幕屋の側面の北に宿営するだろう。 メラリの息子たちの守りの任務は、幕屋の柱頭と、その横木と、その柱と、その台座と、それらの全ての器具と、それらの作業と、周りの庭の柱と、それらの台座と、杭と、それらの綱である。 証しの幕屋の前に東から宿営する者たちは、モーセとアロンと彼の息子たちで、イスラエルの子らのために聖所の守りを守っていた。そして触れる外国人は死ぬだろう。 レビ人の全ての人口調査、モーセとアロンが主の声によって彼らの氏族に従って調査した者たち、一ヶ月以上の全ての男性は、二万二千であった。 そして主はモーセに言った、イスラエルの息子たちの初子の男を全て、一ヶ月齢以上を調べなさい、そして名前ごとにその数を取りなさい。 そしてあなたはレビ人たちを私のために取るだろう、私は主である、イスラエルの息子たちの全ての初子の代わりに、そしてレビ人たちの家畜をイスラエルの息子たちの家畜の全ての初子の代わりに。 そしてモーセは、主が命じた通りに、イスラエルの子らの中のすべての初子を調べた。 そして全ての初子の男性たちは、名前による数に従って、一ヶ月齢以上から、彼らの調査によって、二万二千二百七十三人になった。 そして主はモーセに語って言った、レビ人たちを取れ、イスラエルのすべての初子の息子たちの代わりに、そしてレビ人たちの家畜を彼らの家畜の代わりに、そしてレビ人たちは私のものとなるだろう。私は主である。 そして二百七十三人の身代金、レビ人を超える者たちの、イスラエルの息子たちの初子からの。そしてあなたは一人の頭ごとに五シェケルを取るだろう、聖なるディドラクマに従ってあなたは取るだろう、一シェケルは二十オボルである。 そしてあなたは、彼らの中の超過している者たちの贖い金として、その

銀をアロンと彼の息子たちに与えるだろう。 そしてモーセは、レビ人たちによる贖いから超過している者たちの贖い金の銀を取った。 彼はイスラエルの息子たちの長子たちから銀を取った、千三百六十五シェケル、聖なるシェケルに従って。 そしてモーセは超過した者たちの贖い金をアロンと彼の息子たちに与えた、主の声を通して、主がモーセに命じたとおりに。

4

そして主はモーセとアロンに語って言った、レビの息子たちの中からカアトの息子たちの総数を取れ、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、二十五歳以上から五十歳まで、証しの幕屋においてすべての働きを行うために仕えるために入るすべての者を。 そしてこれらはコハテの息子たちの働きである、証しの幕屋における。 至聖なるもの。 そして宿営が出発する時、アロンと彼の息子たちが入って来て、覆っている幕を取り下ろし、それで証の箱を覆い、その上に青い皮の覆いを置き、その上に全体が青い布を上から掛け、運搬棒を通すだろう。 そして前に置かれているテーブルの上に、彼らは全紫の衣を掛けるだろう、そして鉢と香炉と杯と注ぐための注ぎの器と、絶えずその上にあるパンを。 そして彼らはその上に緋色の衣を掛け、青い革の覆いでそれを覆い、それを通して運搬棒を差し込むだろう。 そして彼らは青い衣を取り、光を与える燭台とそのランプとそのトングとその芯切り皿と、それらで仕える油の全ての器を覆うだろう。 そして彼らはそれとそのすべての器具を青い革の覆いの中に入れ、そしてそれを運搬棒の上に置くだろう。 そして金の祭壇の上に彼らは青い衣を掛けるだろう、そして彼らは青い革の

覆いでそれを覆うだろう、そして彼らはその運搬棒を差し込むだろう。 そして彼らは、聖なる場所で奉仕するために用いる全ての奉仕用の器を取り、それらを青い布に入れ、青い革の覆いでそれらを覆い、運搬棒の上に置くだろう。 そして彼は覆いを祭壇の上に置くだろう、そして彼らはその上に全紫の衣を被せるだろう。 そして彼らはその上に置くだろう、それを用いて仕えるすべての器を、それらの中で、そして火皿を、そして肉鉤を、そして鉢を、そして覆いを、そして祭壇のすべての器を。そして彼らはその上に掛けるだろう、青い革の覆いを、そして彼らは挿入するだろう、その運搬棒を。そして彼らは取るだろう、紫の衣を、そして彼らは覆うだろう、洗盤とその台を、そして彼らは入れるだろう、それを青い革の覆いの中に、そして彼らは置くだろう、運搬棒の上に、そしてアロンと彼の息子たちは完了するだろう、聖なるものとすべての聖なる器を覆うことを、宿営を移動させる時に。そしてその後にケハテの息子たちは入るだろう、運ぶために、そして彼らは触れないだろう、聖なるものに、死なないために。これらをケハテの息子たちは運ぶだろう、証しの幕屋の中で。 監督者エレアザル、祭司アロンの息子には、光の油、調合の香、日ごとの犠牲、注ぎの油、幕屋全体の監督職、そしてその中にあるもの全て、聖なる所において、全ての働きにおいてがある。 そして主はモーセとアロンに話しかけて言った、レビ人たちの中からコハトの部族の民を滅ぼしてはならない。 これを彼らにしなさい、そうすれば彼らは生きるだろうし死なないだろう、彼らが至聖所に近づく時。アロンと彼の息子たちが近づいて、彼らを各人その務めに従って任命しなさい、そうすれば彼らは突然聖なるものを見るために入ることはないだろう、そして死ぬことはないだろう。 そして主はモーセに向かって語って言った、ゲルションの息子たちの数を取れ、彼らを父祖の家によって、氏族

によって、二十五歳以上から五十歳まで調べよ、会見の幕屋において仕えるために入る者すべてを、その働きを行うために。 これはゲルションの民の奉仕である、仕えることと運ぶことが。 そして彼は幕屋の幕、証しの幕屋、その覆い、その上に上から掛けられている青い覆い、証しの幕屋の入口の覆い、庭の幕、証しの幕屋の上にあるものすべて、その付属品、そしてすべての奉仕用の器具、それらを用いて奉仕するものすべてを運ぶだろう。 アロンの口によって、そして彼の息子たちの口によって、ゲルションの息子たちの奉仕が行われるだろう、彼らのすべての奉仕において、そして彼らのすべての働きにおいて。そしてあなたは名によって彼らを監督し、彼らによって運ばれるすべてのものを監督するだろう。 これはゲルション族の息子たちの証しの幕屋における奉仕であり、彼らの守りは祭司アロンの息子イタマルの手にある。 メラリの息子たちを、彼らの氏族ごとに、彼らの父祖の家ごとに調べなさい。二十五歳以上から五十歳までの者たちを調べなさい。証しの幕屋の働きに仕えるために入るすべての者を。 そして、これらは証しの幕屋における彼らのすべての働きに従って、彼らによって運ばれるものの務めである。幕屋の柱頭と横木と柱とその台座と覆い、それらの台座とそれらの柱と幕屋の入口の覆い、庭の周りの柱とそれらの台座、庭の門の幕の柱とそれらの台座とそれらの杭とそれらの綱、それらのすべての器具とそれらのすべての奉仕。名によって彼らを数えよ、そして彼らによって運ばれるものの守りのすべての器具を。 これはメラリの息子たちの奉仕である、彼らのすべての働きにおいて、証しの幕屋において、祭司アロンの息子イタマルの手の下で。 そしてモーセとアロンとイスラエルの支配者たちはコハトの息子たちを、彼らの氏族に従って、彼らの父祖の家に従って、二十五歳以上から五十歳まで、証しの幕屋において仕え働くために入る全ての者を調べた。 そ

して彼らの点呼が彼らの氏族に従って行われた、二千七百五十人。これはコハテの民の召集である、証しの幕屋で仕えるすべての者の、モーセとアロンが主の声を通して召集したとおり、モーセの手によるものである。 そしてゲルションの息子たちは、彼らの氏族ごとに、彼らの父祖の家ごとに、二十五歳以上から五十歳まで、証しの幕屋において仕え、その働きをするために入るすべての者が数えられた。 そして彼らの人口調査が行われた、彼らの氏族ごとに、彼らの父祖の家ごとに、二千六百三十であった。 これはゲルションの息子たちの民の召集である、証しの幕屋で仕える全ての者たち、彼らをモーセとアロンが主の声によって、モーセの手で召集した。 メラリの息子たちの民も数えられた、彼らの氏族ごとに、彼らの父祖の家ごとに、二十五歳以上から五十歳まで、証しの幕屋の働きに仕えるために入るすべての者が。 そして彼らの点呼が彼らの氏族ごとに、彼らの父祖の家ごとに行われた、三千二百であった。 これはメラリの子らの民の点呼である、モーセとアロンが主の声によって彼らを点呼した、モーセの手を通して。 全ての数えられた者たち、モーセとアロンとイスラエルの指導者たちが数えたレビ人たち、彼らの氏族と彼らの父祖の家によって、二十五歳以上から五十歳まで、仕事の働きに入る全ての者、そして証しの幕屋において運ばれる仕事。 そして登録された者たちは八千五百八十人になった。 主の声を通して、彼はモーセの手によって彼らを訪れた、一人一人を彼らの働きについて、そして彼ら自身が運ぶものについて。そして彼らは数えられた、主がモーセに命じた通りの方法で。

5

そして主はモーセに向かって語って、言った、イスラエルの息子たちに命じよ、そして彼らに宿営から全てのらい病人と、全ての漏出のある者と、そして魂について全ての汚れた者を送り出させよ。 男性から女性まで、宿営の外へ送り出せ、そうすれば彼らは彼らの宿営を汚さないであろう、私がその中に住んでいる所を。 そしてイスラエルの子らはそのようにした、そして彼らを宿営の外へ送り出した。主がモーセに語ったように、そのようにイスラエルの子らはした。 そして主はモーセに向かって語って言った、イスラエルの息子たちに語って言え、男または女、誰でも人間のすべての罪のうちから行い、そして見過ごして見過ごし、そしてあの魂が罪を犯すなら、その者は自分が行った罪を告白し、その違反を償うであろう、元金とその五分の一をそれに加え、そして自分が罪を犯した相手に償うであろう。 もしその人に、彼に罪を返すための近親者がいない場合、主に返されるその罪は祭司のものとなる。ただし贖いの雄羊は除く。それによって彼について贖いがなされる。 そしてすべての初穂、イスラエルの子らの中で聖別されるすべてのものについて、彼らが主に捧げるものは何でも、その祭司のものとなる。そして各人の聖別されたものは、彼のものとなる。そして人が祭司に与えるものは、彼のものとなる。 そして主はモーセに語って言った、イスラエルの息子たちに語れ、そして彼らに言え、もしある男の妻が背いて、そして見下して彼を軽視して、そして誰かが彼女と種の床を共にして、そしてそれが彼女の夫の目から逃れて、そして隠されて、彼女自身は汚されているが、証人が彼女と共にいなくて、そして彼女自身は捕まえられていなくて、そして彼に嫉妬の霊が来て、そして彼の妻を嫉妬して、彼女自身は汚されている、または彼に嫉妬の霊が来て、そして彼の妻を嫉妬して、彼女自身は汚されていない、そしてその男は彼の妻を祭司のところへ連れて行くだろう、そ

して彼女について贈り物を持って来るだろう、エパの十分の一の大麦の粉を、彼はそれの上に油を注がない、そしてそれの上に乳香を置かない、それは嫉妬の犠牲である、記念の犠牲、罪を思い起こさせるものである。 そして祭司は彼女を連れて来て、彼女を主の前に立たせるだろう。 そして祭司は土の器の中に清い生きている水を取るだろう、そして証しの幕屋の地面の上にある土を、そして祭司はそれを取って水の中に入れるだろう。 そして祭司はその女を主の前に立たせるだろう、そして彼はその女の頭の覆いを取るだろう、そして彼は彼女の手の上に記念の捧げ物を、嫉妬の捧げ物を置くだろう。そして祭司の手の中にはこの呪いをもたらす試みの水があるだろう。 そして祭司は彼女に誓わせ、その女に言うだろう、もし誰もあなたと共に寝ていないなら、もしあなたがあなた自身の夫に対して汚されて背いていないなら、この呪いをもたらす試しの水から無罪であれ。 もしあなたが夫のある身でありながら道を踏み外したか、または汚れて、あなたの夫以外の誰かがあなたに彼の床を与えたなら。そして祭司はこの呪いの誓いによってその女に誓わせ、祭司はその女に言う、主があなたの民の中であなたを呪いと誓いの中に置きますように、主があなたの腿を落ちさせ、あなたの腹を膨らませる時に。 そしてこの呪いをもたらす水はあなたの腹に入り、腹を膨らませ、あなたの腿を痩せさせるだろう。そしてその女は言うだろう、そうなりますように、そうなりますように。 そして祭司はこれらの呪いを書に書き、呪いをもたらす試しの水の中へそれを消し去るだろう。 そして彼はその女に呪いをもたらす試しの水を飲ませるだろう。そして試しの呪いをもたらす水は彼女の中に入るだろう。 そして祭司は女の手から嫉妬の捧げ物を受け取り、主の前にその捧げ物を置き、それを祭壇に持って行くだろう。 そして祭司はその犠牲からその記念の部分を一握り取るだろう、そして彼はそれを

祭壇の上に捧げるだろう、そしてその後。 この水が女にこれらのものを飲ませるだろう。 そしてもし彼女が汚されていて、彼女の夫が気づかなかったならば、試しの水、呪いをもたらす水が彼女の中に入り、彼女の腹が膨れ、彼女の腿が落ち、その女は彼女の民にとって呪いとなるだろう。 もしその女が汚されておらず、清ければ、無実であるだろうし、種を宿すだろう。 これは嫉妬の律法である、妻が夫のもとにある者でありながら違反し、汚される場合についての。 あるいは、もし嫉妬の霊が男の上に来て、彼が彼の妻を嫉妬し、彼の妻を主の前に立たせるならば、祭司が彼女にこの律法の全てを行い、その男は罪から無罪となり、あの妻は彼女の罪を受けるだろう。

6

そして主はモーセに向かって語って言った、イスラエルの息子たちに語れ、そして彼らに言え、男または女で、誰が主に清さを清めるために誓いを大いに誓うなら、ぶどう酒と強い飲み物から清められるだろう、そしてぶどう酒からの酢と強い飲み物からの酢を飲まないだろう、そしてぶどうから作られるものを飲まないだろう、そして新鮮なぶどうと干しぶどうを食べないだろう、彼の誓いのすべての日々、ぶどうの木から作られるすべてのものから、ぶどうの皮からぶどうの種までを食べないだろう、清めのすべての日々、剃刀は彼の頭の上に来ないだろう、彼が主に誓った日々が満たされるまで、聖なる者であるだろう、頭の髪を育てて、主への誓いのすべての日々、すべての死んだ魂のところに入らないだろう、父と母のところに、そして兄弟と姉妹のところに、彼らが死んだ時彼らによっ

て汚されないだろう、なぜなら彼の神の誓いが彼の頭の上にあるから、彼の誓いのすべての日々、主に聖なる者であるだろう。 もし誰かが彼のそばで突然死ぬならば、すぐに彼の誓約の頭は汚されるだろう。そして彼は清められる日に彼の頭を剃るだろう。七日目に剃られるだろう。 そして八日目に、彼または彼女は二羽の山鳩、または二羽の鳩の雛を、祭司のところへ、証しの幕屋の入口に持って来るだろう。 そして祭司は一つを罪について行い、一つを全焼のいけにえへと行う。そして祭司は彼について、彼が魂について罪を犯したことについて贖いをする。そして彼はその日に彼の頭を聖別する、その日に彼が主に聖別された誓願の日々を。そして彼は一歳の子羊を違反のために捧げる。そして以前の日々は無効となる、なぜなら彼の誓願の頭が汚されたからである。 そしてこれは誓願をした者の律法である。彼が彼の誓願の日々を満たす日に、彼は証しの幕屋の戸口のそばに自ら捧げ物を持って来るだろう。 そして彼は彼の贈り物を主に持って来るだろう、一歳の傷のない子羊一匹を全焼のいけにえとして、そして一歳の傷のない雌の子羊一匹を罪のいけにえとして、そして傷のない雄羊一匹を和解のいけにえとして、そして種なしパンの籠を、小麦粉のパンを油で混ぜたものを、そして種なしの薄焼きパンを油で塗ったものを、そしてそれらの穀物のささげ物を、そしてそれらの注ぎのささげ物を。 そして祭司は主の前に持って来るだろう、そして彼の罪についてのものを行うだろう、そして彼の全焼のいけにえを行うだろう。 そして彼は雄羊を平和の捧げ物の犠牲として主に種なしパンの籠の上で行うだろう。そして祭司は彼の犠牲と彼の注ぎの捧げ物を行うだろう。 そして誓いを立てた者は証しの幕屋の入口のそばで彼の誓願の頭を剃り、そして彼はその髪の毛を火の上に置くだろう、それは和解のいけにえの下にある火である。 そして祭司は雄羊から茹でた腕を取り、籠から種なし

パン一つと種なしの薄焼きパン一つを取り、誓願を立てた者が彼の誓願を剃った後に彼の手の上に置き、祭司はそれらを主の前に奉納物として持って行く。それは奉納物の胸の上と奉納物の腕の上で祭司にとって聖なるものとなる。そしてこれらの後に誓願を立てた者はぶどう酒を飲む。 これは誓いをした者の律法である。主に彼の贈り物を主に誓う者の、彼の手が見つけるものを除いて、彼の誓いの力に従って、清めの律法に従って彼が誓うであろうところのものについての。 そして主はモーセに語って言った、アロンと彼の息子たちに語って言え、このようにあなたがたはイスラエルの息子たちを祝福せよ、彼らに言って、主があなたを祝福し、そしてあなたを守るように 主が御顔をあなたの上に照らし、あなたを憐れみますように。 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。 そして彼らは私の名をイスラエルの子らの上に置くだろう、そして私、主は彼らを祝福するだろう。

7

そしてモーセが幕屋を建てることを完了した日に起こった。そして彼はそれに油を注ぎ、それを聖別し、それのすべての器具と祭壇とその祭壇のすべての器具に油を注ぎ、それらを聖別した。 そしてイスラエルの指導者たち、彼らの父祖の家の十二人の指導者たちが捧げ物を持って来た。これらは部族の指導者たちである。これらは監督の任に立っている者たちである。 そして彼らは彼らの贈り物を主の前に持って来た、六つの覆いのある荷車と、十二頭の雄牛を。荷車は二人の統治者につき一台、そして子牛は各々につき一頭。そして彼らはそれらを幕屋の前に持って来た。 そして主はモーセに言っ

た、彼らから取れ、そしてそれらは証しの幕屋の奉仕の働きのためになるだろう。そしてあなたはそれらをレビ人たちに与えるだろう、各人にその奉仕に応じて。 そしてモーセは荷車と牛を受け取って、それらをレビ人たちに与えた。 そして二つの荷車と四頭の雄牛を、ゲルションの息子たちに彼らの奉仕に従って与えた。 そして四つの荷車と八頭の牛を、メラリの息子たちに彼らの奉仕に従って、祭司アロンの息子イタマルを通して与えた。 そしてコハテの息子たちには彼は与えなかった、なぜなら彼らは聖なるものの奉仕を持っているから。肩の上で彼らは運ぶ。 そして支配者たちは、それを聖別した日に、祭壇の奉献のために捧げ物を持って来た。そして支配者たちは彼らの贈り物を祭壇の前に持って来た。 そして主はモーセに言った、一人の支配者が日ごとに、支配者が日ごとに彼らの贈り物を祭壇の奉献のために捧げるだろう。 そして最初の日に贈り物を捧げたのは、アミナダブの息子ナフション、ユダ族の長であった。 そして彼は彼の贈り物を持って来た。一つの銀の鉢、その重さは百三十。一つの銀の碗、七十シェケル、聖なるシェケルによる。両方とも油で混ぜられた小麦粉で満たされている、いけにえのために。 金の香炉一つ、重さ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして救いの犠牲として雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭。これはアミナダブの息子ナアソンの贈り物。 二日目に、ツアルの息子ナタナエル、イッサカル族の支配者が捧げた。 そして彼は彼の贈り物を持って来た。銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルによる。両方とも油で混ぜられた小麦粉で満たされていた、犠牲のために。 金の香炉一つ、重さ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけ

にえに、そして山羊から雄山羊一頭を罪のいけにえに。 そして救いの犠牲として雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭。これはツアルの息子ナタナエルの贈り物である。 三日目には、ゼブルンの息子たちの支配者は、ヘロンの息子エリアブであった。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、聖なるシェケルによって七十シェケル、両方とも油で混ぜられた小麦粉で満たされている、捧げ物のために、金の香炉一つ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして平和の捧げ物の犠牲として、雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭。これはヘロンの息子エリアブの贈り物である。 四日目には、ルベンの息子たちの支配者は、シェデウルの息子エリツルであった。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルによる、両方とも油で混ぜられた小麦粉で満たされている、犠牲のために、金の香炉一つ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして救いの犠牲として雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭。これはシェデウルの息子エリツルの捧げ物。 五日目には、シメオンの息子たちの支配者は、ツリシャダイの息子サラミエルである。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルによる、両方とも油で混ぜられた小麦粉で満たされている、犠牲のために。 金十枚の香炉一つ、香で満たされた。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして救いの犠牲として雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭。これはツリシャダイの息子シェルミエルの贈

り物である。 六日目には、ガドの息子たちの支配者、ラグエルの息子エリアサフ。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルによる、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉でいっぱい、捧げ物のために。 金の香炉一つ、重さ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして和解の犠牲のために雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌子羊五頭。これはラグエルの息子エリサフの捧げ物である。 七日目には、エフライムの息子たちの支配者、アミフデの息子エリシャマ。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉でいっぱい、犠牲のために。 金の香炉一つ、重さ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして平和の捧げ物の犠牲のために雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭。これはアミフデの息子エリシャマの贈り物である。 八日目には、マナセの息子たちの支配者、ペダツルの息子ガマリエル。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉でいっぱいで、犠牲のためのものである。 金の香炉一つ、重さ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえのために、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。そして平和のいけにえのために雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌子羊五頭。これはペダツルの息子ガマリエルの捧げ物。 九日目に、ベニヤミンの息子たちの支配者、ギデオニの息子アビダン。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、聖な

るシェケルによって七十シェケル、両方とも油で混ぜられた小麦粉でいっぱい、犠牲のために、金十シェケルの香炉一つ、香でいっぱい。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして平和の捧げ物の犠牲のために雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌子羊五頭。これはギデオニの息子アビダンの贈り物である。 十日目に、ダンの息子たちの支配者、アミシャダイの息子アヒエゼル。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルによる、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉でいっぱい、捧げ物のために。 金の香炉一つ、重さ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして救いの犠牲のために雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭。これはアミシャダイの息子アヒエゼルの捧げ物。 十一日目に、アシェルの息子たちの支配者、オクランの息子パギエル。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉でいっぱいで、犠牲のためのものである。 金の香炉一つ、重さ十シェケル、香で満たされている。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえのために、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして平和の捧げ物の犠牲のために雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌羊五頭。これはエクランの息子パギエルの贈り物である。 十二日目には、ナフタリの息子たちの支配者は、エナンの息子アヒラだった。 彼の贈り物は、銀の皿一つ、その重さは百三十、銀の鉢一つ、七十シェケル、聖なるシェケルに従って、両方とも油で混ぜられた細かい小麦粉でいっぱい、犠牲のために。 金の香炉一つ、重さ十シェケル、香で満たされてい

る。 牛から子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊一頭を全焼のいけにえとして、そして山羊から雄山羊一頭を罪のために。 そして平和の捧げ物の犠牲のために雌牛二頭、雄羊五頭、雄山羊五頭、一歳の雌子羊五頭。これはエナンの息子アヒラの贈り物である。 これは祭壇の奉献である、それに油を注いだ日に、イスラエルの子らの指導者たちから:銀の皿十二、銀の鉢十二、金の香炉十二。 一つの皿は百三十シケル、一つの鉢は七十シケル。器のすべての銀は二千四百シケル。聖なるシケルで。 黄金の香炉十二個、香で満ちている。その香炉たちのすべての黄金は、百二十シェケルの黄金である。 全焼のいけにえのための全ての牛は、子牛十二頭、雄羊十二頭、一歳の子羊十二頭、そしてそれらのささげ物、そしてそれらの注ぎのささげ物、そして罪のための山羊の雄山羊十二頭。 全ての牛は救いの犠牲のために、雌牛二十四頭、雄羊六十頭、一歳の雄山羊六十頭、一歳の傷のない雌子羊六十頭。これは祭壇の奉献である、彼の手を満たした後、そして彼に油を注いだ後に。 モーセが証しの幕屋に入って彼に話すときに、彼は主の声が彼に向かって話しているのを贖いの座の上から聞いた、それは証しの箱の上にある、二つのケルビムの間である、そして彼に向かって話した。

8

そして主はモーセに語って言った、アロンに語ってこう言え、あなたがランプを設置する時、七つのランプがランプ台の前面に向かって光を与えるように。 そしてアロンはこのようにした。燭台の一つの部分から、その前面に従って、彼はその燭台のともし火を灯した、主がモーセに命じた通りに。そしてこれがその燭台の造りであ

る。堅固な金の、その軸、そしてその百合、全体が堅固である。主がモーセに示した形に従って、このように彼は燭台を作った。 そして主はモーセに語って言った、レビ人たちをイスラエルの子らの中から取り、彼らを清めなさい。 そしてこのようにあなたは彼らのために彼らの清めを行うだろう。あなたは彼らに清めの水を振りかけるだろう。そして剃刀が彼らの体の全てに当てられるだろう。そして彼らは彼らの衣服を洗うだろう。そして彼らは清くなるだろう。そして彼らは牛の群れから一頭の子牛を取るだろう、そしてこれのために油で混ぜられた細かい小麦粉の捧げ物を、そして牛の群れから一歳の子牛をあなたは罪のために取るだろう。 そしてあなたはレビ人たちを証しの天幕の前に連れて来なさい。そしてあなたはイスラエルの息子たちの全ての集会を集めなさい。そしてあなたはレビ人たちを主の前に連れて来なさい、そしてイスラエルの息子たちは彼らの手をレビ人たちの上に置くだろう。そしてアロンはレビ人たちをイスラエルの息子たちからの捧げ物として主の前に分けるだろう。そして彼らは主の働きを働くためにあるだろう。 そしてレビ人たちは子牛たちの頭の上に手を置くだろう。そしてあなたは一頭を罪のためにし、一頭を主への全焼のいけにえにするだろう、彼らのために贖いをするために。 そしてあなたはレビ人たちを主の前に、そしてアロンの前に、そして彼の息子たちの前に立たせるだろう、そしてあなたは彼らを主の前に捧げ物として献げるだろう。そしてあなたはレビ人たちをイスラエルの息子たちの真ん中から分けるだろう。そして彼らは私のものになるだろう。 そしてその後、レビ人たちは証しの幕屋の働きをするために入るだろう。そしてあなたは彼らを清め、そしてあなたは主の前に彼らを捧げるだろう。 なぜならば、捧げ物として引き渡されたこれらの者たちは、イスラエルの息子たちの中から私に属しているからである。すべての胎を開く者

たち、イスラエルの息子たちのすべての初子たちの代わりに、私は彼らを私のために取った。 イスラエルの息子たちの中の人から獣まで、すべての初子は私のものである。エジプトの地ですべての初子を私が打った日に、私は彼らを私のために聖別した、そして私はイスラエルの息子たちの中のすべての初子の代わりにレビ人たちを取った。 そして私はレビ人たちを贈り物として与えられた者たちとしてアロンと彼の息子たちにイスラエルの息子たちの中から返した、証しの幕屋でイスラエルの息子たちの働きを働くために、そしてイスラエルの息子たちについて贖罪をするために。そしてイスラエルの息子たちの中に聖なるものたちに近づく者はいないであろう。 そしてモーセとアロンとイスラエルの息子たちの全ての集会は、レビ人たちに対して、主がモーセにレビ人たちについて命じた通りに行った。そのようにイスラエルの息子たちは彼らに対して行った。 そしてレビ人たちは自分自身を清め、衣服を洗った。そしてアロンは彼らを主の前に捧げ物として献げ、アロンは彼らを清めるために彼らについて贖いをした。 そしてこれらの後、レビ人たちは証しの幕屋において彼らの奉仕を仕えるために入った、アロンの前で、そして彼の息子たちの前で。主がモーセにレビ人たちについて命じたように、そのように彼らに対してなされた。 そして主はモーセに語って言った、これはレビ人たちについてのことである。二十五歳以上から、彼らは証しの幕屋において働くために入るであろう。そして五十歳から彼は奉仕から退くであろう、そして彼はもはや働かない。 そして彼の兄弟は証しの幕屋で仕え、番を守るが、しかし仕事はしない。このようにあなたはレビ人たちを彼らの番において扱うだろう。

9

そして主はモーセに語った、シナイの荒野で、第二の年に、彼らがエジプトの地から出た後、第一の月に、言って、言え、そしてイスラエルの子らに過越を行わせよ、その定めの時に従って、第一の月の第十四日に夕方に向かって、あなたはそれを定められた時に従って行え、その律法に従って、そしてその規定に従ってあなたはそれを行え。 そしてモーセはイスラエルの子らに、シナイの荒野で月の十四日目の始まりに過越祭を行うように話した。 主がモーセに命じたとおりに、イスラエルの子らはそのように行った。 そして人の魂によって汚れていた男たちが来た、そして彼らはその日に過越を行うことができなかった。そして彼らはその日にモーセとアロンの前に近づいた。そしてその男たちは彼に言った、私たちは人の魂によって汚れています。それゆえ私たちはイスラエルの息子たちの真ん中でその時に従って主に贈り物を捧げることを奪われるべきではないでしょうか。 そしてモーセは彼らに言った、ここに立て、そして私は主があなたたちについて何を命じるのか聞こう。 そして主はモーセに向かって語って言った、イスラエルの息子たちに語って言え、もし人が人の魂によって汚れた者となるか、またはあなたたちから遠い道にいるか、またはあなたたちの世代においてであっても、その人は第二の月の十四日目に主のために過越を行うであろう、夕方に向かって彼らはそれを行い、種なしパンと苦い草と共にそれを食べるであろう。 彼らはそれから朝まで何も残さず、そして彼らはそれから骨を砕かないだろう。過越の律法に従って彼らはそれを行うだろう。 そして、もし清い人であって、遠い道にいるのではなく、そして過越を行うことを怠るならば、その魂はその民から

断ち切られるであろう、なぜならその人は主への贈り物をその時に従って持って来なかったからである。その人は自分の罪を受けるであろう。 もしあなたがたの地に寄留者があなたがたのところに来て、主に過越を行うならば、過越の律法に従って、そしてその定めに従ってそれを行うであろう。一つの律法があなたがたと寄留者と地の土着の者にあるであろう。 そしてその幕屋が立てられた日に、その雲がその幕屋を、その証の家を覆った。そして夕方には火の形のようなものがその幕屋の上にあった、朝まで。 このようにして絶えず起こっていた。雲が昼間それを覆っていた、そして火の形が夜にそれを覆っていた。 そして雲が幕屋から上がった時、その後イスラエルの子らは出発した。そして雲が立ち止まった場所に、そこでイスラエルの子らは宿営した。 主の命令によってイスラエルの子らは宿営し、主の命令によって彼らは出発する。雲が幕屋の上に影を投げかけるすべての日々において、イスラエルの子らは宿営する。そして雲が幕屋の上に多くの日の間とどまる時、イスラエルの子らは神の務めを守り、そして彼らは出発しないだろう。 そして雲が幕屋の上を数日の間覆う時はいつでも、主の声によって彼らは宿営し、主の命令によって彼らは出発するだろう。 そして、雲が夕方から朝までになるときはいつでも、そして雲が朝に上がったら、彼らは昼であろうと夜であろうと出発するだろう。 月の日数が増えて雲がその上に影を作っている時、イスラエルの子らは宿営するだろう、そして彼らは決して出発しないだろう。 主の命令によって彼らは出発する。彼らは主の守りを守った、モーセの手を通しての主の命令によって。

10

そして主はモーセに向かって語って言った、あなた自身のために二つの銀のラッパを作れ。打ち出したものをあなたは作らなければならない。そしてそれらはあなたが集会を呼び集めるため、そして宿営を移動させるためのものとなるだろう。 そしてあなたはそれらでラッパを吹くだろう、そして全ての集会は証しの天幕の入口に集められるだろう。しかしもし一つのラッパで吹くなら、イスラエルの全ての支配者たち指導者たちがあなたのところに来るだろう。 そしてあなたたちは合図をラッパで吹くだろう、そして東に宿営している者たちが出発するだろう。そしてあなたたちは二番目の合図をラッパで吹くだろう、そして南に宿営している宿営地が出発するだろう。そしてあなたたちは三番目の合図をラッパで吹くだろう、そして海のそばに宿営している宿営地が出発するだろう。そしてあなたたちは四番目の合図をラッパで吹くだろう、そして北に向かって宿営している宿営地が出発するだろう。彼らの出発において合図でラッパを吹くだろう。 そしてあなたがたが集会を集めるときは、ラッパを吹きなさい、しかし合図としてではなく。 そしてアロンの息子たち、祭司たちがラッパを吹くだろう。そしてそれはあなたたちの世代にとって永遠の律法となるだろう。 もしあなたがたがあなたがたの地において、あなたがたに立ち向かった敵対者たちに向かって戦争に出て行くならば、ラッパで合図しなさい、そうすれば主の前で思い出され、あなたがたの敵から救われるであろう。 そしてあなたがたの喜びの日々に、そしてあなたがたの祭りに、そしてあなたがたの新月に、あなたがたはラッパを吹け、ラッパで全焼のいけにえの上で、そしてあなたがたの平和のいけにえの上で。そしてそれはあなたがたにとって記念となるだろう、あなたがたの神の前で。わたしは主、あなたがたの神である。 そして第二の年の第二の月の二十日に、雲が証の幕屋から上った。 イスラエルの子らは彼

らの荷物と共にシナイの荒野で出発した。そして雲はパランの荒野で止まった。 そして彼らは最初に、主の声に従って、モーセを通して出発した。 そしてユダの子らの陣営の部隊が彼らの軍勢と共に最初に出発した。そして彼らの軍勢の上にアミナダブの息子ナフションがいた。 そしてイッサカルの子らの部族の軍隊の上には、ツアルの子ナタナエルがいた。 そしてゼブルンの子らの部族の軍の上には、ヘロンの子エリアブ。 そして彼らはその天幕を取り壊すだろう、そしてゲルションの息子たちとメラリの息子たち、その天幕を運ぶ者たちが出発するだろう。 そしてルベンの陣営の部隊は彼らの軍勢と共に出発した。そして彼らの軍勢の上にはシェデウルの子エリツルがいた。そしてシメオンの子らの部族の軍勢の上にはツリシャダイの子シェルミエルがいた。 そしてガドの息子たちの部族の軍隊の上には、ラグエルの息子エリサフ。 そしてコハトの息子たちは聖なるものを運んで出発するだろう。そして彼らが到着するまでに天幕を立てるだろう。 そしてエフライムの陣営の部隊は彼らの軍勢と共に出発するだろう。そして彼らの軍勢の上にはアミフデの息子エリシャマがいる。 そしてマナセの子らの部族の軍隊の上には、ペダツルの子ガマリエル。 そしてベニヤミンの息子たちの部族の軍隊の上に、ギデオニの息子アビダン。 そして彼らは出発するだろう、ダンの息子たちの宿営の部隊が、すべての宿営の最後に、彼らの軍勢と共に。そして彼らの軍勢の上に、アミシャダイの息子アヒエゼルが。 そしてアシェルの息子たちの部族の軍隊の上には、オクランの息子パギエル。 そしてナフタリの子らの部族の軍隊の上には、エナンの子アヒラがいた。 これらはイスラエルの息子たちの軍隊である。そして彼らは彼らの力とともに出発した。 そしてモーセは、ラグエルの息子でミディアン人でモーセの義理の息子であるホバブに言った、私たちは主が言われた場所へ出発しています、これ

をあなたたちに与えようと。私たちと一緒に来てください、そして私たちはあなたを良くするでしょう、なぜなら主がイスラエルについて良いことを語られたからです。 そして彼に言った、私は行きません。私の土地へ、私の親族のもとへ行きます。 そして彼は言った、私たちを見捨てないでください、なぜならあなたは荒野で私たちと一緒にいたからです、そしてあなたは私たちの中で長老になるでしょう。 もしあなたが私たちと一緒に行くなら、主が私たちに良いことをしてくださるその良いものすべてを、私たちはあなたにも良くしてあげましょう。 そして彼らは主の山から三日の道のりを出発した。そして主の契約の箱は彼らより先に三日の道のりを進んで行った、彼らのために休息の場所を見つけるために。 そして契約の箱を取り除く時になった。そしてモーセは言った、起き上がってください主よ、そしてあなたの敵たちが散らされますように、あなたを憎む者たち全てが逃げますように。 そして休息において彼は言った、主よ、戻ってください、何千何万をイスラエルに。 そして雲が彼らの上に影を作るようになったのは昼間で、彼らを陣営から連れ出す時だった。

11

そして民は主の前で悪いことをつぶやいていた。そして主は聞いた、そして怒りをもって怒った。そして主からの火が彼らの中で燃え上がった、そしてそれは宿営のある部分を焼き尽くした。 そして民はモーセに向かって叫んだ。そしてモーセは主に向かって祈った。そして火は止んだ。 そしてその場所の名前は燃焼と呼ばれた。なぜなら主によって彼らの中で火がつけられたからである。 そして

彼らの中にいた寄せ集めの民は欲望を抱いた。そして座り込んで、イスラエルの子らも泣いた。そして彼らは言った、誰が私たちに肉を食べさせてくれるのか。 私たちはエジプトで無料で食べていた魚を思い出した。 そしてひょうたんと、メロンと、ネギと、玉ねぎと、ニンニク。 しかし今、私たちの魂は乾ききっている。私たちの目にはマナ以外何もない。 そのマナはコリアンダーの種のようであり、その形は水晶の形である。 そして民は通り抜けていた、そして彼らはそれを集めていた、そして彼らはそれを臼で挽いた、そして彼らはそれを乳鉢で砕いていた、そして彼らはそれを鍋で煮ていた、そして彼らはそれを菓子に作っていた、そしてその喜びは油から作った菓子の味のようであった。 そして、夜に露が宿営の上に降りる時はいつでも、マナもその上に降りていた。 そしてモーセは、彼らが氏族ごとに、各々自分の戸口で泣いているのを聞いた。そして主は激しく怒りに燃えられた。そしてそれはモーセの目に悪であった。 そしてモーセは主に向かって言った、なぜあなたはあなたのしもべを苦しめられたのですか、そしてなぜ私はあなたの前に恵みを見出していないのですか、この民の重荷を私の上に置かれるとは。 私がこの民全員を胎内に宿したのではないでしょう、または私が彼らを産んだのでもないでしょう。 あなたが私に、彼をあなたの懐に取れ、乳母が乳飲み子を抱き上げるように、あなたが彼らの父祖たちに誓った地へ、と言うのですか。 私はどこから肉を（得られるだろうか）、このすべての民に与えるための？ 彼らが私に向かって泣いているのは、私たちに肉を与えてください、私たちが食べられるようにと言っているからだ。 私は一人ではこの民を担うことができない、なぜならこのことは私にとって重すぎるからである。 もしあなたが私にこのようにするなら、もし私があなたから憐れみを得ているなら、私が私の苦しみを見ないように、私を殺してくださ

い。 そして主はモーセに言った、私のために七十人の男たちをイスラエルの長老たちから集めなさい、あなた自身が知っている者たちを、なぜならこれらの者たちは民の長老たちであり書記たちでもあるからだ。そしてあなたは彼らを証しの幕屋へ連れて行きなさい、そして彼らはそこであなたと共に立つだろう。 そして私は下って行き、そこであなたと話すだろう。そして私はあなたの上にある霊から取り去り、彼らの上に置くだろう。そして彼らはあなたと共に民の重荷を担い、あなたは一人でそれを担わないだろう。 そして、その民に、あなたは言うだろう、明日のために自分たちを清めなさい、そして、あなたたちは肉を食べるだろう。なぜなら、あなたたちは主の前で泣いたからだ、言いながら、誰が私たちに肉を食べさせてくれるのか。 エジプトにいることが私たちにとって良かったということ。そして主はあなたたちに肉を与えて食べさせるだろう、そしてあなたたちは肉を食べるだろう。 あなたたちは一日食べるのではない、二日でもない、五日でもない、十日でもない、二十日でもない、一ヶ月の間あなたたちは食べる、それがあなたたちの鼻の穴から出て来るまで。そしてそれはあなたたちにとって吐き気となるだろう、なぜならあなたたちは主に従わなかった、その方はあなたたちの中にいる、そしてあなたたちは彼の前で泣いた、言って、なぜ私たちはエジプトから出たのか。 そしてモーセは言った、六十万の徒歩の者がこの民であり、その中に私はいる。そしてあなたは言った、肉を私は彼らに与えて食べさせる、そして彼らは一ヶ月の間食べるだろうと。羊と牛が彼らのために屠られるのか、そしてそれは彼らに十分だろうか それとも海のすべての魚が彼らのために集められて、彼らに十分だろうか? そして主はモーセに言った、主の手は十分でないというのか？ あなたはすでに知るだろう、私の言葉があなたに追いつくかどうかを。 そしてモーセは出て行った、そして

彼は民に向かって主の言葉を話した。そして彼は民の長老たちの中から七十人の男たちを集めた、そして彼は彼らを天幕の周りに立たせた。 そして主は雲の中を降りて来て、彼に語った。そして彼の上にある霊から取り去り、七十人の長老たちの上に置いた。そして霊が彼らの上に留まると、彼らは預言したが、もはや続けなかった。そして二人の男たちが宿営に残された。一人の名前はエルダデ、そして二人目の名前はモダデ。そして霊が彼らの上に留まった。そしてこれらの者たちは登録された者たちの中にいた。そして彼らは天幕に来なかった。そして彼らは宿営で預言した。 そして走り寄ったその若者は、モーセに報告した。そして言った、エルダデとモダデは宿営の中で預言しています。 そしてヌンの子ヨシュア、モーセのそばに立っている者、選ばれた者が答えて言った、わが主モーセよ、彼らを止めてください。 そしてモーセは彼に言った、あなたは私のことを妬んでいるのか? そして誰が主の民全てを預言者にするだろうか、主が彼の霊を彼らに与える時に。 そしてモーセは宿営へ行った、彼とイスラエルの長老たちが。 そして霊が主から出て行き、うずらを海から運び越した。そしてそれを宿営の上に投げた、こちらから一日の道のり、そしてこちらから一日の道のり、宿営の周りに、地から二キュビトほどであった。 そして民は立ち上がって、その日全体と、その夜全体と、その次の日全体、ウズラを集めた。少なく集めた者でも十コロスを集めた。そして彼らは宿営の周りに自分たちのためにそれらを広げた。 その肉はまだ彼らの歯の中にあった、尽きる前に、そして主は民に対して怒り、そして主は民を非常に大きな打撃で打った。 そしてその場所の名前は欲望の墓と呼ばれた、なぜならそこで彼らは欲望を抱いた民を埋葬したからである。 欲望の墓から民は出発してハゼロテへ行った。そして民はハゼロテにいた。

12

そしてミリアムとアロンはモーセに対して話した、モーセが娶ったそのエチオピア人の妻のゆえに、なぜならエチオピア人の妻を娶ったから、そして彼らは言った、主はモーセだけに話されたのではないのか。 彼は私たちにも話さなかったのか? そして主は聞いた。 そして、その人モーセは地上にいるすべての人々の中で非常に穏やかだった。 そして主は直ちにモーセとアロンとミリアムに言った、あなたたち三人は証しの天幕へ出て行け。 そして三人は証しの天幕へ出て行った。そして主は雲の柱の中を降りて来て、証しの天幕の戸口の上に立った。そしてアロンとミリアムが呼ばれた。そして二人とも出て行った。 そして彼は彼らに向かって言った、私の言葉を聞きなさい。もしあなたがたの預言者が主のものとなるならば、幻の中で私は彼に自分を知らせ、そして眠りの中で私は彼に語るだろう。 私の僕モーセはそのようではない、彼は私の家全体において忠実である。口と口を合わせて私は彼に語る、直接に、謎を通してではなく、そして彼は主の栄光を見た。それなのになぜあなたがたは私の僕モーセに対して悪口を言うことを恐れなかったのか。 そして主の怒りの憤りが彼らの上にあり、そして彼は去った。 そして雲は幕屋から離れ去った。そして見よ、ミリアムは雪のようにらい病にかかっていた。そしてアロンはミリアムを見た、そして見よ、らい病にかかっていた。 そしてアロンはモーセに向かって言った、お願いします、主よ、私たちに罪を負わせないでください。なぜなら私たちは愚かなことをしました、私たちが罪を犯したことについて。死と等しいものにならないように、母の子宮から出てくる流産のように、その肉の半分を食い尽くすもののように。 そしてモーセは主

に向かって叫んで言った、神よ、あなたに懇願します、彼女を癒してください。 そして主はモーセに言った、もし彼女の父が彼女の顔に唾を吐いたなら、彼女は七日間恥じることにならないだろうか。七日間宿営の外に隔離されるべきである、そしてその後に入るだろう。 そしてミリアムは宿営の外に七日間隔離された。そして民は出発しなかった、ミリアムが清められるまで。 そしてこれらの後、民はハゼロテから出発した、そして彼らはパランの荒野に宿営した。

13

そして主はモーセに向かって話して言った、あなた自身のために男たちを送れ、そして彼らにカナン人の地を偵察させよ、その地を私はイスラエルの息子たちに所有として与える、部族ごとに一人の男を、彼らの父祖の氏族ごとにあなたは彼らを送れ、彼らの中から全て指導者を。 そしてモーセは主の声によって彼らをパランの荒野から送り出した。これら全員はイスラエルの子らの指導者である男たちである。 そしてこれらが彼らの名前である。ルベン部族からは、ザクルの息子サムエル。 シメオンの部族から、スリの息子シャファテ。 ユダ族からは、エフネの子カレブ。 イッサカル族からは、ヨセフの息子イラル。 エフライム部族の、ナウェの息子アウセ。 ベニヤミン族の、ラフの息子パルティ。 ゼブルン族の、ソディの息子ガディエル。 ヨセフの部族のマナセの息子たちから、スシの息子ガディ。 ダン族からは、ガマリエルの息子アミエル。 アシェル部族からは、ミカエルの息子サトゥル。 ナフタリ部族の者、サビの息子ナビ。 ガド族の、マキの息子グディエル。 これらはモーセが地を偵察するために送った男たちの名前である。そしてモーセはヌンの息子

ホセアをヨシュアと名付けた。 そしてモーセは彼らをカナンの地を偵察するために送った、そして彼らに言った、この荒野を登りなさい、そしてあなたたちは山に登るだろう、そしてあなたたちはその地がどんなものであるかを見るだろう、そしてその上に住んでいる民が強いか弱いか、または少ないか多いかを。 そして彼らが住んでいるその土地はどのようなものか、良いものか悪いものか。そして彼らが住んでいるその都市たちはどのようなものか、城壁のある所か城壁のない所か。 そしてその土地はどうか、肥えているか荒れているか。もしその中に木々があるか、ないか。そして忍耐してその土地の果実を受け取るだろう。 そして、その日々は春の日々で、ぶどうの先駆けだ。 そして登って行って、彼らはシンの荒野からレホブまで、ハマテに入るところまで、その地を偵察した。 そして彼らは荒野を通って上って行き、ヘブロンまで行った。そしてそこにアヒマン、シェシャイ、タルマイというアナクの子孫がいた。そしてヘブロンはエジプトのタニスより七年前に建てられた。 そして彼らは房の谷まで来て、それを偵察した。そして彼らはそこから枝と葡萄の房一つをそれに付けたまま切り取り、それを棒に載せて運んだ、そしてザクロとイチジクも。 そして彼らはあの場所をぶどうの房の谷と名付けた、イスラエルの子らがそこから切り取ったぶどうの房のゆえに。 そして彼らはその地を調査して、四十日後にそこから帰った。 そして行って、彼らはモーセとアロンとイスラエルの息子たちの全ての集会のところへ、パランの荒野のカデシュへ来た。そして彼らは彼らに言葉を答え、そして全ての集会に答え、そして彼らはその地の果実を見せ、そして彼らは彼に報告し、そして彼らは言った、私たちはあなたが私たちを送った地へ来ました、乳と蜜が流れる地です。そしてこれがその果実です。 しかし、そこに住んでいる民族は大胆であり、城壁に囲まれた要塞化された都市は非常に

大きい。そして私たちはそこでエナクの子孫を見た。 そしてアマレクは南に向かう地に住んでいる。そしてヘテ人、そしてヒビ人、そしてエブス人、そしてアモリ人は山地に住んでいる。そしてカナン人は海のそばに、そしてヨルダン川のそばに住んでいる。 そしてカレブはモーセのところで民を黙らせて、彼に言った、いや、そうではなく、上って行って我々は上って行こう、そしてそれを我々は所有しよう、なぜなら我々は彼らに対して十分に力があるからだ。 そして彼と一緒に上って行った人々は言った、私たちは上って行かない、なぜなら私たちはその民族のところへ上って行くことができないからだ、なぜならそれは私たちよりも強いからだ。 そして彼らは、彼らが偵察したその地についての恐怖をイスラエルの息子たちに持ち出して言った、私たちが通り過ぎてそれを偵察したその地は、その上に住んでいる者たちを食い尽くす地である。そして私たちがその中で見たすべての民は、非常に背の高い男たちである。 そして私たちはそこで巨人たちを見た、そして私たちは彼らの前ではイナゴのようだった。しかしこのように私たちは彼らの前にいた。

14

そして全ての集会が声を上げ、民はその夜ずっと泣いていた。 そしてイスラエルの息子たち全員がモーセとアロンに対して不平を言っていた。そして全ての集会が彼らに向かって言った、ああ私たちがエジプトの地で死んでいたらよかったのに、あるいはこの荒野で死んでいたら。そしてなぜ主は私たちをこの地に導き入れて戦争で倒れさせるのか。 私たちの女たちと子供たちは略奪されるだろう。だから今、エジプトへ引き返す方が良い。 そして彼らは互いに言っ

た、指導者を立てよう、そしてエジプトへ帰ろう。 そしてモーセとアロンは、イスラエルの子ら全員の集会の前で、顔を地に伏せた。ヌンの子ヨシュアと、エフネの子カレブは、その地を偵察した者たちであったが、彼らは自分たちの衣を引き裂き、そしてイスラエルの子らの全集会に向かって言った、私たちが偵察したその地は、非常に非常に良い地です。 もし主が私たちを選ぶなら、彼は私たちをこの地に導き入れるだろう、そして彼はそれを私たちに与えるだろう。それは乳と蜜が流れている地である。 しかし主から反逆者になってはいけない。あなたがたはその地の民を恐れてはいけない。なぜなら彼らはあなたがたの食物だからである。というのも時は彼らから離れ去ったからである。そして主は私たちの中におられる。彼らを恐れてはいけない。 そして全ての集会は石で彼らを石打ちにすると言った。そして主の栄光が雲の中に、証しの幕屋の上で、イスラエルの全ての息子たちに現れた。 そして主はモーセに言った、いつまでこの民は私を怒らせるのか。 そしていつまで彼らは私を信じないのか、私が彼らの間で行ったすべてのしるしがあるのに。 私は彼らを死で打ち、そして彼らを滅ぼす。そして私はあなたとあなたの父の家を大いなる国民にする、そしてこれよりもはるかに大きく。 そしてモーセは主に言った、そしてエジプトは聞くでしょう、なぜならあなたはあなたの力でこの民を彼らから連れ上げたのだから。 しかし、この地に住んでいるすべての者たちは聞きました、あなたがこの民の中に主であること、主よ、あなたは目と目を合わせて現れる方であり、あなたの雲が彼らの上に立っており、そしてあなたは昼間は雲の柱の中で彼らより先に行き、夜は火の柱の中で行くことを。 そしてあなたはこの民を一人の人のように滅ぼし尽くすでしょう。そしてあなたの名を聞いたすべての国々は言うでしょう、主がこの民を彼らに誓った地に連れて行くことができなかった

ので、彼は荒野で彼らを打ち倒したと。 そして今、あなたの力が高められますように、主よ、あなたが言った通りに、こう言いました、主は忍耐強く、憐れみ豊かで、真実であり、不法と不正と罪を取り除くが、清めによって有罪の者を清いとはせず、父たちの罪を子供たちに返して三代目と四代目の世代まで。 この民の罪を赦してください、あなたの大いなる憐れみに従って、ちょうどあなたがエジプトから今まで彼らに恵み深くあられたように。 そして主はモーセに言った、私はあなたの言葉通りに彼らに恵み深くある。 しかし私は生きる、そして私の名は生きている、そして主の栄光が全地を満たすだろう。 私の栄光を見て、私がエジプトと荒野で行ったしるしを見た全ての男たちは、私を十回試し、私の声を聞かなかったので、確かに彼らは私が彼らの父たちに誓った土地を見ることはないだろう。しかし、ここで私と共にいる彼らの子供たち、善も悪も知らない全ての若い未経験の者たち、これらの者に私はその土地を与えるだろう。しかし私を怒らせた全ての者たちは、それを見ることはないだろう。 しかし私の息子カレブは、別の霊が彼の中にあり、そして私に従ったので、私は彼をそこに彼が入った地に連れて行くだろう、そして彼の子孫はそれを相続するだろう。 アマレクとカナン人は谷に住んでいる。明日あなたたちは引き返して、荒野へ出発しなさい、紅海への道を。 そして主はモーセとアロンに言った、いつまでこの邪悪な集会はと言って。 彼ら自身が私の前で不平を言っていること、イスラエルの息子たちがあなたたちについて不平を言ったその不平を、私は聞いた。 私は彼らに言った、わたしは生きていると主は言われる。まことに、あなたがたがわたしの耳に語ったその通りに、わたしはあなたがたにそのようにする。 この荒野にあなたがたの死体は倒れるだろう。あなたがたの全ての点呼された者、あなたがたの数えられた者たち、二十歳以上の者で私に対して

呟いた者たち全て。あなたがたは、私があなたがたをその上に住まわせるために私の手を伸ばした地に入ることはない。ただしエフネの子カレブとヌンの子ヨシュアは除く。 そしてあなたたちが略奪されるだろうと言ったその子供たちを、私はその地に連れて行くだろう。そして彼らはあなたたちがそれから離れたその地を相続するだろう。 そして、あなたたちの死体はこの荒野で倒れるだろう。 あなたたちの息子たちは荒野で四十年間住むことになるだろう。そして彼らはあなたたちの淫行を負うだろう、あなたたちの体が荒野で消費されるまで。あなたたちがその地を偵察した日数に従って、四十日間、一日を一年として、あなたたちは四十年間あなたたちの罪を受けるだろう。そしてあなたたちは私の怒りの憤りを知るだろう。私は主である。私は語った。まことに私はこのようにする、私に逆らって立ち上がるこの邪悪な集会に対して。この荒野で彼らは完全に滅ぼされ、そしてそこで彼らは死ぬだろう。 そして、モーセがその地を偵察するために送った人々は、到着して会衆に向かってその地についてつぶやき、その地について悪い言葉を持ち出した。そして、その地に対して悪いことを語った人々は、主の前で打撃によって死んだ。 そしてヌンの息子ヨシュアとエフネの息子カレブは、その地を偵察しに行ったあの人々の中から生き残った。 そしてモーセはこれらの言葉をすべてのイスラエルの息子たちに話した、そして民は非常に嘆いた。 そして朝早く起きて、彼らは山の頂上へ登った。こう言いながら、見よ、私たちはここにいる。私たちは主が言われた場所へ登ろう、私たちは罪を犯したのだから。 そしてモーセは言った、なぜあなたたちは主の言葉を破るのですか？ あなたたちに繁栄はないだろう。 登るな、主はあなたたちと共にいないのだから。あなたたちは敵の前に倒れるだろう。 アマレク人とカナン人があそこであなたがたの前にいるので、あなたがたは剣によって倒れ

るだろう。あなたがたが主に従わずに背を向けたためである。そして主はあなたがたの中にはおられないだろう。 そして無理に進んで、彼らはその山の頂上に登った。しかし主の契約の箱とモーセは宿営から動かなかった。 そしてアマレクとあの山に住んでいたカナン人が降りてきて、彼らを敗走させ、ホルマまで彼らを切り倒し、そして陣営へ引き返した。

15

そして主はモーセに向かって言った、イスラエルの息子たちに話せ、そして彼らに言え、あなたたちが私があなたたちに与えるあなたたちの住居の地に入るとき、そしてあなたが主に全焼燔の供え物を作るとき、全焼燔の供え物または犠牲を、誓いを果たすため、または自発的なものとして、またはあなたたちの祭りにおいて主に香ばしい匂いを作るために、もし牛からまたは羊からならば。 そして捧げる者は彼の贈り物を主に持って来るだろう、エファの十分の一の細かい小麦粉の犠牲を、ヒンの四分の一の油で混ぜられたものを。 そして、ぶどう酒を注ぎの供え物のために、ヒンの四分の一を、全焼のいけにえの上で、または犠牲の上で、あなたがたは行うでしょう。一匹の子羊のために、あなたはこれほどのことを行うでしょう、主のためのかぐわしい香りの供え物を。 そして雄羊について、あなたがたがそれを全焼のいけにえ、またはいけにえにする時はいつでも、あなたは小麦粉十分の二を油ヒンの三分の一で混ぜたものをいけにえとして作るでしょう。そしてぶどう酒をヒンの三分の一、注ぎのささげ物として、あなたがたは主への心地よい香りとして捧げるでしょう。 もしあなたたちが牛から全焼のいけにえにす

るか、または誓いを果たすためのいけにえにするか、または主への平安のいけにえにするならば、若い雄牛に小麦粉十分の三を油半ヒンで混ぜたいけにえを持って来るであろう。 そして、ぶどう酒をヒンの半分、注ぎの供え物として、主への香ばしい香りの供え物として捧げる。 このようにあなたは一頭の子牛に、または一頭の雄羊に、または羊の中から一頭の子羊に、またはヤギの中から一頭に行うでしょう。あなたがたが行うものの数に従って、このようにあなたがたは一頭ごとに、それらの数に従って行うでしょう。 すべての土着の者は、このようにそのような供え物を香ばしい香りとして主に捧げるだろう。 もし寄留者があなたがたの地であなたがたの中に加わるならば、あるいはあなたがたの世代の中であなたがたの間に生まれる者があるならば、そして主に香ばしい香りの捧げ物をするならば、あなたがたがする方法で、そのように会衆は主にするであろう。 一つの律法があなたがたにあるだろう、そしてあなたがたの中に住んでいる寄留者たちにも、永遠の律法があなたがたの世代へと。あなたがたのように、その寄留者も主の前にあるだろう。 律法は一つであるだろうし、掟は一つであるだろう、あなたがたにとっても、あなたがたの中に住んでいる寄留者にとっても。 そして主はモーセに向かって語って言った、イスラエルの息子たちに語れ、そして彼らに向かって言え、あなたたちが私があなたたちをそこに導き入れるその地に入る時、そしてあなたたちがその地のパンから食べる時、あなたたちは奉納物、分離された部分を主に取り分けよ、あなたたちの練り粉の初穂を。 あなたたちはパンを捧げ物として分けるだろう。脱穀場からの捧げ物のように、このようにあなたたちはそれを取り分けるだろう、あなたたちの生地の初穂を、そしてあなたたちの世代において主に捧げ物を与えるだろう。 あなたがたが過ちを犯して、これらすべての戒めを行わない時、主がモーセに語

られたそれらを、主があなたがたにモーセの手によって命じられた通りに、主があなたがたに命じられた日から、そしてその後あなたがたの世代に至るまで、そしてもしそれが会衆の目から意図せずに起こったならば、全会衆は牛の群れから傷のない一頭の子牛を全焼のいけにえとして主への香ばしい香りのためにささげ、そしてその穀物のささげ物とその注ぎのささげ物を規定に従って、そして山羊の群れから一頭の雄山羊を罪のためにささげるであろう。 そして祭司はイスラエルの息子たちの全ての集会について贖いをするだろう、そして彼らは赦されるだろう、なぜならそれは無意識的であるから。そして彼ら自身は彼らの贈り物を主への捧げ物として、彼らの罪について、彼らの無意識的なことについて、主の前に持ってきた。 そしてそれはイスラエルの子ら全ての集会において赦されるだろう、そしてあなたがたのもとに住む寄留者にも、なぜなら全ての民にとって無意識的なことだからだ。 もし一つの魂が意図せずに罪を犯すならば、その者は罪のための一歳の雌山羊一匹を連れて来るだろう。 そして祭司は、意図せずに罪を犯し、主の前で意図せずに罪を犯した魂について、彼のために贖罪をするだろう。 イスラエルの息子たちの中の現地生まれの者にも、彼らの中に住んでいる寄留者にも、一つの律法が彼らにあるだろう、誰かが意図せずに行う場合には。 そして傲慢の手で行う魂は、土着の者たちからであれ改宗者たちからであれ、この者は神を怒らせる。その魂はその民から滅ぼされるであろう。なぜなら主の言葉を軽蔑し、そして彼の戒めを散らしたからである。その魂は完全に滅ぼされるであろう。その罪はその中にある。 そしてイスラエルの息子たちは荒野にいた、そして彼らは安息日の日に木を集めている男を見つけた。 そして見つけた者たちは、安息日の日に木を集めていた彼を、モーセとアロンのもとへ、そしてイスラエルの息子たちの全集会のもとへ連れて来

た。 そして彼らは彼を監視下に置いた。なぜなら彼らは彼に何をすべきか決めていなかったからである。 そして主はモーセに向かって語って言った、その男を必ず死なせよ。全ての集会が石で彼を石打ちせよ。 そして全ての集会が彼を宿営の外へ連れ出した。そして全ての集会が宿営の外で彼を石で石打ちした、主がモーセに命じた通りに。 そして主はモーセに言った、イスラエルの子らに話し、彼らに言いなさい、彼らの世代にわたって彼らの衣服の裾に房を作らせなさい、そして裾の隅の房の上に青い紐を付けなさい。 そしてそれはあなたたちの房の中にあるだろう、そしてあなたたちはそれらを見るだろう。そしてあなたたちは主のすべての戒めを思い出すだろう、そしてあなたたちはそれらを行うだろう。そしてあなたたちはあなたたちの思いの後を追って迷い去ることはないだろう、そしてあなたたちがそれらの後を追って淫行する目の後を追って迷い去ることはないだろう、あなたたちが私のすべての戒めを思い出して行うために、そしてあなたたちはあなたたちの神に対して聖なる者となるだろう。 私はあなたがたの主なる神、あなたがたをエジプトの地から導き出した者であり、あなたがたの神である。私はあなたがたの主なる神である。

16

そしてコラ、イツハルの息子、ケハトの息子、レビの息子が話した。そしてダタンとアビラム、エリアブの息子たち、そしてオン、ペレトの息子、ルベンの息子が、モーセの前に立ち上がった。そしてイスラエルの息子たちの男たち二百五十人、集会の指導者たち、評議会に召集された者たち、そして名高い男たちも立ち上がった。

彼らはモーセとアロンに対して一緒に立ち上がり、そして言った、もう十分だ。全ての集会の者は皆聖なる者たちであり、主は彼らの中におられるのだから。それなのになぜあなたたちは主の集会の上に自分たちを高く置くのか。 そしてモーセはそれを聞くと、顔を地に伏せた。 そして彼はコラと彼のすべての集会に向かって語って言った、神は彼に属する者たちと聖なる者たちを訪れて認め、そして自分のもとに引き寄せた。そして彼が自分のために選んだ者たちを、自分のもとに引き寄せた。 これをしなさい。コラとその全ての集会の者たちよ、あなたたち自身のために火皿を取りなさい、そしてそれらの上に火を置きなさい、そしてそれらの上に香を明日主の前に置きなさい。そして主が選んだ男、この者が聖なる者となるでしょう。レビの息子たちよ、あなたたちにはこれで十分としなさい。 そしてモーセはコラに言った、私の言うことを聞きなさい、レビの息子たちよ。 あなたがたにとってこれは小さなことではないのか、なぜならイスラエルの神があなたがたをイスラエルの集会から分け、そしてあなたがたを自分自身のもとに引き寄せて主の幕屋の奉仕を仕えさせ、そして幕屋の前に立って彼らに仕えさせたからである。 そして彼はあなたを近づけた、そしてあなたと共にあなたの兄弟たち全員、レビの息子たちを、そしてあなたたちは祭司として仕えることをも求めるのか? このようにあなたとあなたのすべての集会は神に向かって集められている。そしてアロンとは誰なのか、あなたたちが彼に対して不平を言うとは。 そしてモーセはエリアブの息子たちダタンとアビラムを呼ぶために人を送った。そして彼らは言った、私たちは行きません。 これは小さなことではないのか、あなたが私たちを乳と蜜が流れる地に連れて来たことが、そして荒野で私たちを殺すために、あなたが私たちを支配していることが。 支配者だというのか?あなたは私たちを乳と蜜が流れる地へ導き入れ、

私たちに畑とぶどう園の相続地を与えたとでも言うのか? あなたはあの人々の目をえぐり出しただろうか? 私たちは登らない。 そしてモーセは非常に深く悲しみ、主に向かって言った、彼らの犠牲に注意を払わないでください。私は彼らの誰からも何も取っていないし、彼らの誰も害していません。 そしてモーセはコラに言った、あなたの集会を聖別しなさい、そして主の前で準備ができた状態になりなさい、あなたとアロンと彼ら、明日。そして各々自分の香炉を取りなさい、そしてあなたたちはそれらの上に香を置き、そしてあなたたちは主の前に各々自分の香炉を運ぶだろう、二百五十の香炉を、そしてあなたとアロン、各々自分の香炉を。 そして各々は自分の火皿を取り、彼らはそれらの上に火を置き、彼らはそれらの上に香を載せた。そしてモーセとアロンは証しの天幕の戸口のそばに立った。 そしてコラは彼の全ての集会を彼らに対して証しの天幕の戸口のそばに集めた。そして主の栄光が全ての集会に現れた。 そして主はモーセとアロンに向かって話して言った、この集会の真ん中から離れなさい、そして私は彼らを一度に滅ぼすだろう。 そして彼らは自分たちの顔の上に倒れた。そして彼らは言った、神よ、霊たちと全ての肉の神よ、もし一人の人が罪を犯したなら、全ての集会の上に主の怒りが来るのですか。 そして主はモーセに語って言った、集会に語って言え、コラの集会の周りから離れよ。 そしてモーセは立ち上がり、ダタンとアビラムのところへ行き、イスラエルのすべての長老たちが彼と一緒に行った。 そして彼は集会に向かって話した、言った、これらの頑なな人々のテントから離れなさい、そして彼らに属する全てのものに触れるな、彼らの全ての罪の中で共に滅びないように。 そして彼らはコラの天幕の周りから離れた。そしてダタンとアビラムは出て来て、彼らの天幕の戸口のそばに立っていた、そして彼らの妻たちと、彼らの子供たちと、彼らの荷物

も。 そしてモーセは言った、このことによってあなたたちは知るだろう、主が私を遣わしてこれらすべての業をなさせたのであり、私自身からではないことを。 もしこれらの者たちがすべての人間の死に従って死ぬなら、もしすべての人間の調査に従って彼らへの監督があるなら、主は私を遣わしていない。 しかし主は幻の中で示されるだろう、そして地がその口を開いて彼らを飲み込むだろう、そして彼らの家々を、そして彼らの天幕を、そして彼らに属する全てのものを、そして彼らは生きたまま黄泉に下るだろう、そしてあなたがたは知るだろう、これらの人々が主を怒らせたということを。 彼がこれらすべての言葉を話すことをやめたとき、大地が彼らの下で裂けた。 そして地が開かれ、彼らと彼らの家々と、コラと共にいたすべての人々と、彼らの家畜を飲み込んだ。 そして彼ら自身が下って行き、そして彼らに属する生きているすべてのものがハデスへ下って行き、そして地が彼らを覆い、そして彼らは集会の中から滅びた。 そして彼らの周りにいた全てのイスラエル人は、彼らの叫び声を聞いて逃げた、地が私たちを飲み込むかもしれないと言いながら。 そして火が主から出て、香を捧げていた二百五十人の男たちを焼き尽くした。

17

そして主はモーセに、そしてアロンの息子である祭司エレアザルに言った、焼かれた者たちの真ん中から青銅の火皿を取り上げなさい、そしてこの異質な火をそこに撒きなさい、なぜならこれらの罪人たちの火皿は彼らの魂において聖別されたから。そしてそれらを打ち延ばした板にして祭壇の覆いにしなさい、なぜならそれらは主

の前に運ばれて聖別されたから。そしてそれらはイスラエルの息子たちへのしるしとなった。 そして祭司アロンの息子エレアザルは、焼き殺された者たちが捧げた青銅の火皿を取り、それらを祭壇の覆いとして付け加えた。これはイスラエルの息子たちへの記念であり、アロンの子孫でない異邦人が誰も主の前で香を焚くために近づくことがないようにするためである。そしてコラとその反逆のようにならないためである。主がモーセの手によって彼に語られた通りである。 そしてイスラエルの息子たちは次の日にモーセとアロンに対して不平を言った、あなたたちは主の民を殺したと。 そして集会がモーセとアロンに対して集まった時にそれは起こった、そして彼らは証しの天幕に突進した。そしてそれを雲が覆った、そして主の栄光が現れた。 そしてモーセとアロンは証しの幕屋の前に入った。そして主はモーセとアロンに向かって話して言った、この集会の真ん中から離れなさい、そして私は彼らを一度に滅ぼすだろう、そして彼らはその顔の上に倒れた。 そしてモーセはアロンに言った、火皿を取れ、そしてその上に祭壇からの火を置け、そしてその上に香を投げろ、そして速やかにそれを宿営に運べ、そして彼らのために贖いをしろ。なぜなら怒りが主の御顔から出て行った、民を打ち砕くことが始まったからだ。 そしてアロンはモーセが彼に話したとおりに受け取り、集会の中へ走った。そして既に疫病が民の中で始まっていた。そして香を投げ入れ、民のために贖いをした。 そして彼は死んだ者たちと生きている者たちの間に立った、そして災いは止んだ。 そして災いで死んだ者たちは一万四千七百人になった、コラのゆえに死んだ者たちを除いて。 そしてアロンは証しの幕屋の入口でモーセのところへ戻り、災いは止んだ。 そして主はモーセに向かって語った、言って、イスラエルの息子たちに語れ、そして彼らから杖を取れ、父祖の家ごとに杖を、彼らの支配者たち全員から、

彼らの父祖の家ごとに、十二の杖を、そして各々の彼の名前をその杖の上に書け。 そしてアロンの名をレビの杖に書きなさい。それは一本の杖だから。彼らは父祖の家の部族ごとに差し出すのだ。 そしてあなたはそれらを証しの幕屋の中、証しの前に置くだろう、そこで私があなたに自分を知らせる。 そして私が選ぶ男がその人になるだろう、彼の杖は芽を出すだろう。そして私はイスラエルの息子たちが、あなたがたに対して不平を言っている不平を、私から取り除くだろう。 そしてモーセはイスラエルの子らに語った。そして彼らの指導者たち全員が彼に杖を与えた。一人の指導者に一本の杖を、指導者ごとに、彼らの父祖の家ごとに、十二本の杖を。そしてアロンの杖は彼らの杖の間にあった。 そしてモーセは杖たちを主の前の証しの幕屋の中に置いた。 そして翌日になった。モーセとアロンは証しの幕屋に入った。すると見よ、レビの家のためのアロンの杖が芽を出し、若枝を出し、花を咲かせ、実を結んだ。 そしてモーセは全ての杖を主の御前からイスラエルの全ての子らのもとへ持ち出した。そして彼らは見た、そして各々が自分の杖を受け取った。 そして主はモーセに言った、アロンの杖を証の前に保存のために置きなさい、不従順な者たちの子らへのしるしとして。そして彼らの不平を私から止ませなさい、そして彼らが死なないように。 モーセとアロンは行った。主がモーセに命じた通りに、そのように彼らは行った。 そしてイスラエルの子らはモーセに言った、見よ、私たちは完全に滅ぼされた、私たちは滅びた、私たちは完全に滅ぼされた。 主の幕屋に触れる者は皆死ぬ。私たちは終わりまで死に続けるのか。

18

そして主はアロンに向かって言った、あなたとあなたの息子たちとあなたの父の家は聖なるものの罪を受けるだろう、そしてあなたとあなたの息子たちはあなたたちの祭司職の罪を受けるだろう。 そしてあなたの兄弟たち、レビの部族、あなたの父の民を、あなた自身のもとに近づけなさい。そして彼らがあなたに加えられるようにしなさい。そして彼らがあなたに仕えるようにしなさい。そしてあなたとあなたの息子たちは、あなたと共に証しの幕屋の前にいなさい。 そして彼らはあなたの務めを守るだろう、そして幕屋の務めを。 ただし聖なる器と祭壇には彼らは近づいてはならない、そうすれば彼らもあなたたちも死なないだろう。 そして彼らはあなたに加えられ、証しの天幕の守りを守り、天幕のすべての奉仕に従う。そして外国人はあなたに近づかない。 そしてあなたたちは聖なるものの守りを守り、祭壇の守りを守る。そうすれば怒りはイスラエルの息子たちの中に起こらない。 そして私はあなたたちの兄弟であるレビ人たちをイスラエルの子らの中から取った、主に与えられた贈り物として、証しの幕屋での奉仕を行わせるために。 そしてあなたとあなたと共にいるあなたの息子たちは、あなたたちの祭司職を守るだろう、祭壇のすべての方法について、そして垂れ幕の内側について、そしてあなたたちはあなたたちの祭司職の賜物の奉仕を行うだろう、そして近づく外国人は死ぬだろう。 そして主はアロンに向かって語った、そして見よ、私はあなたたちにイスラエルの息子たちから私に聖別された全てのものからの初穂の保管を与えた。私はそれらをあなたに特権として与えた、そしてあなたの後のあなたの息子たちに永遠の法として。 そしてこれはあなたたちのものとなれ、聖別された聖なるものの供え物から、彼らのすべての贈り物から、そして彼らのすべての犠牲から、そして彼らのすべての罪過から、そして彼らのすべての罪から、彼らがすべての聖なるものから

私に返すものは、あなたとあなたの息子たちのものとなるだろう。至聖所で、あなたたちはそれらを食べなければならない。すべての男子がそれらを食べるだろう。あなたとあなたの息子たちだ。それはあなたにとって聖なるものとなるだろう。 そしてこれはあなたたちのものとなるだろう、彼らの贈り物の初穂として、イスラエルの子らのすべての奉納物から。私はそれらをあなたに、そしてあなたの息子たちに、そしてあなたの娘たちに、あなたと共に与えた、永遠の定めとして。あなたの家の中のすべての清い者がそれらを食べるだろう。 すべての油の初穂、そしてすべてのぶどう酒の初穂、穀物の初穂、彼らが主に与えるであろうだけのもの、それらを私はあなたに与えた。 彼らの地にあるすべての初物、彼らが主に持って来るであろうすべてのものは、あなたのものになる。あなたの家のすべての清い者がそれらを食べる。 イスラエルの子らの中で奉納されたすべてのものは、あなたのものとなる。 そしてすべての肉から胎を開くもの、人から獣まで彼らが主に捧げるすべてのものは、あなたのものになるだろう。しかし人の初子は贖い金で贖われるだろう、そして汚れた家畜の初子をあなたは贖うだろう。 そして彼の贖いは生後一ヶ月からで、その評価額は五シェケルであり、聖なるシェケルによれば二十オボルである。 ただし子牛の初子と羊の初子と山羊の初子はあなたは贖わない。それらは聖なるものである。そしてそれらの血をあなたは祭壇に注ぎ、そして脂肪をあなたは芳香の香りへの捧げ物として主に捧げる。 そしてその肉はあなたのものになるだろう、ちょうど奉納物の胸肉がそうであるように。そして右の腕も、あなたのものになるだろう。 聖なるもののすべての捧げ物、イスラエルの子らが主に取り分けるものすべてを、私はあなたとあなたと共にいるあなたの息子たちとあなたの娘たちに与えた、永遠の定めとして。それは永遠の塩の契約である、主の前で、あな

たとあなたの後のあなたの子孫に。 そして主はアロンに向かって話した、あなたは彼らの地において相続しないだろう、そして分け前は彼らの中であなたにないだろう、なぜなら私がイスラエルの息子たちの真ん中であなたの分け前そして相続だから。 そしてレビの息子たちに、見よ、私はイスラエルにおける全ての十分の一を相続として与えた、彼らが証しの幕屋において奉仕する奉仕の代わりに。 そしてイスラエルの息子たちはもう証しの幕屋に近づかないだろう、死をもたらす罪を受けることがないように。 そしてレビ人自身が証しの幕屋の奉仕を務めるだろう。そして彼ら自身が彼らの罪を負うだろう、これは彼らの世代への永遠の律法である。そしてイスラエルの息子たちの中で彼らは相続財産を相続しないだろう。 イスラエルの息子たちの十分の一税、彼らが主に捧げるだけのものを、私はレビ人たちに相続として与えた。このゆえに私は彼らに言った、イスラエルの息子たちの中で彼らは相続を受け継がないだろうと。 そして主はモーセに語って言った、あなたはレビ人たちに語って彼らに言いなさい、もしあなたたちがイスラエルの子らから十分の一を受け取るなら、それは私があなたたちに彼らから相続財産として与えたものだが、あなたたちはそれから主への奉納物を取り分けなさい、その十分の一から十分の一を。 そしてあなたたちのささげ物は、あなたたちに脱穀場からの穀物として、そしてぶどう搾り場からのささげ物として数えられるだろう。 このようにあなたがたもそれらを取り分けるであろう、主のすべての奉納物から、あなたがたがイスラエルの子らから受け取るあなたがたのすべての十分の一から。そしてあなたがたはそれらから奉納物を主に、祭司アロンに与えるであろう。 あなたがたのすべての贈り物から、主への捧げ物を取り分けるであろう、すなわちすべての初穂から、その聖別されたものを。 そしてあなたは彼らに言うだろう、あなたたちがそれ

から初穂を取り除く時、それはレビ人たちに脱穀場からの産物として、そしてぶどう搾り場からの産物として数えられるだろう。 そしてあなたたちはそれをどこででも食べてよい、あなたたちもあなたたちの家族も、なぜならこれはあなたたちへの報酬だからである、証しの幕屋におけるあなたたちの奉仕に対する。 そしてあなたがたはそれによって罪を受けないだろう、もしあなたがたがその初穂をそれから取り除くならば。そしてあなたがたはイスラエルの子らの聖なるものを汚してはならない、あなたがたが死なないように。

19

そして主はモーセとアロンに語って言った、これは主が命じた律法の規定である、言って、イスラエルの子らに語れ、そして彼らにあなたのところへ赤い傷のない雌牛を取らせよ、それはその中に傷を持たず、そしてそれの上にくびきが置かれたことがないものである。 そしてあなたはそれを祭司エレアザルに与えるだろう。そして彼らはそれを宿営の外の清い場所へ連れ出すだろう、そして彼らは彼の前でそれを屠るだろう。 そしてエレアザルはその血を取り、証しの天幕の前でその血を七回振りかけるだろう。 そして彼らはそれを彼の前で焼き尽くすだろう。そしてその皮とその肉とその血がその糞と共に焼き尽くされるだろう。 そして祭司は杉の木とヒソップと緋色のものを取り、それらを雌牛を焼く火の真ん中に投げ入れるだろう。 そして祭司は自分の衣服を洗い、自分の体を水で洗い、その後宿営に入るだろう、そして祭司は夕方まで汚れた者であるだろう。 そしてそれを燃やす者は自分の衣服を洗い、自分の体を洗い、夕方まで汚れた者となる。 そして清い人が雌牛の灰を集めるだろ

う、そして宿営の外の清い場所に置くだろう。そしてそれはイスラエルの子らの集会のために保管されるだろう。振りかけの水、それは清めである。 そして雌牛の灰を集める者は自分の衣服を洗い、夕方まで汚れたままである。そしてこれはイスラエルの子らと彼らの間に住む寄留者たちにとって永遠の掟となる。 死んだ人間の魂に触れる者は、七日間汚れたものとなるだろう。 この者は三日目と七日目に清められるであろう、そして清いであろう。しかしもし三日目と七日目に清められないならば、清くないであろう。 人間の魂から死んだ者に触れる全ての者は、もし死に、そして清められないならば、主の幕屋を汚したことになる。その魂はイスラエルから断ち切られるであろう、なぜなら振りかけの水が彼の上に振りかけられなかったからである。彼は汚れている。まだ彼の汚れが彼の中にある。 そしてこれがその律法である。人がもし家の中で死ぬならば、その家に入る者すべて、そしてその家の中にあるものすべては、七日間汚れたものとなるだろう。 そして開かれたすべての器で、その上に結び目が結ばれていないものは、汚れている。 そして野の面で負傷者または死者または人間の骨または墓に触れる全ての者は七日間汚れた者となるであろう。 そして彼らは汚れた者のために清めの焼かれた灰を取るだろう、そして彼らはその上に生きている水を器に注ぐだろう。 そして清い男がヒソプを取り、それを水の中に浸し、家の上に、器の上に、そこにいるすべての人々の上に、人間の骨に触れた者の上に、または傷ついた者の上に、または死んだ者の上に、または墓の上に振りかけるだろう。 そして清い者は汚れた者の上に三日目に、そして七日目に振りかけるだろう、そして七日目に清められるだろう。そして彼は彼の衣を洗うだろう、そして水で身を洗うだろう、そして夕方まで汚れた者であるだろう。 そして汚される人で、清められない者は、その魂は会衆の中から断ち切られ

るであろう。なぜなら主の聖なるものを汚したからである。なぜなら振りかけの水が彼の上に振りかけられなかったからである。彼は汚れている。 そしてそれはあなたたちにとって永遠の律法となるだろう。そして清めの水を振りかける者は自分の衣を洗うだろう。そして清めの水に触れる者は夕方まで汚れたものとなるだろう。 そして汚れた者が触るすべてのものは汚れたものになるだろう。そして触れる魂は夕方まで汚れたものになるだろう。

20

そしてイスラエルの息子たち、全ての集会が、最初の月にシンの荒野に来た。そして民はカデシュに留まった。そしてミリアムはそこで死に、そしてそこで葬られた。 そして集会には水がなかった。そして彼らはモーセとアロンに対して集まった。 そして民はモーセに向かって非難した、こう言いながら、ああ、私たちの兄弟たちが主の前で滅びた時に、私たちも死んでいたらよかったのに。 そしてなぜあなたたちは主の集会をこの荒野に導き上げて、私たちと私たちの家畜を殺すのか。 そしてなぜこれなのか? あなたたちは私たちをエジプトから連れ上って、この悪い場所に来させた。種が蒔かれない場所、いちじくの木もなく、ぶどうの木もなく、ざくろもなく、飲む水もない。 そしてモーセとアロンは集会の前から証しの天幕の入口へ来て、顔を伏せて倒れた。そして主の栄光が彼らに現れた。そして主はモーセに語って言った、あなたの杖を取れ、そしてあなたとあなたの兄弟アロンは集会を集めよ、そして彼らの前で岩に語れ、そうすればそれはその水を与えるだろう、そしてあなたたちは岩から彼らのために水を運び出すだろう、そしてあなたたちは集会

と彼らの家畜に飲ませるだろう。 そしてモーセは、主が命じた通りに、主の前から杖を取った。 そしてモーセとアロンは集会を岩の前に集めた、そして彼は彼らに言った、聞け、不従順な者たちよ、この岩から我々はあなたたちのために水を出すのか そしてモーセは自分の手を上げて、杖で岩を二回打った。そして大量の水が出てきた。そして会衆が飲み、彼らの家畜も飲んだ。 そして主はモーセとアロンに言った、あなたたちはイスラエルの子らの前で私を聖別すると信じなかったので、このゆえにあなたたちはこの集団を私が彼らに与えた地へ導き入れないだろう。 これは論争の水である、なぜならイスラエルの子らが主の前で争ったからであり、そして彼は彼らの中で聖別された。 そしてモーセはカデシュからエドムの王に使者たちを送って言った、あなたの兄弟イスラエルはこう言う。あなたは私たちに降りかかったすべての苦難を知っている。 そして私たちの父たちはエジプトへ下って行き、私たちはエジプトに長い間滞在し、エジプト人たちは私たちと私たちの父たちを虐げた。 そして私たちは主に向かって叫んだ、そして主は私たちの声を聞いた、そして使者を送って、彼は私たちをエジプトから導き出した。そして今私たちはカデシュの町にいる、あなたの境界の一部に。 私たちはあなたの地を通り過ぎるでしょう。私たちは畑を通り抜けないでしょうし、ぶどう園も通り抜けないでしょうし、あなたの井戸から水を飲まないでしょう。王の道を私たちは行くでしょう。私たちは右にも左にも曲がらないでしょう、私たちがあなたの境界を通り過ぎるまで。 そしてエドムは彼に言った、お前は私の領土を通って通過することはできない。もしそうするなら、私は戦争でお前を迎え撃つために出て行くだろう。 そしてイスラエルの子らは彼に言う、山のそばを私たちは通り過ぎるでしょう。もしあなたの水を私と私の家畜が飲むなら、私はあなたに代価を払いましょう。しかしその

事は何でもありません。山のそばを私たちは通り過ぎるでしょう。そして彼は言った、お前は私の領土を通過することはできない。そしてエドムは大軍と強力な武力で彼を迎え撃つために出て来た。 そしてエドムはイスラエルが自分の領土を通過することを許すことを望まなかった。そしてイスラエルは彼から離れて向きを変えた。 そして彼らはカデシュから出発した。そしてイスラエルの子ら全集会がホル山に到着した。 そして主はエドムの地の境界にあるホル山でモーセとアロンに言った、アロンは彼の民に加えられよ、なぜならあなたたちは私がイスラエルの子らに与えた地に入らないからだ、あなたたちが争いの水のところで私を怒らせたからだ。 アロンと彼の息子エレアザルを連れて、全会衆の前でホル山へ彼らを登らせよ。そしてアロンから彼の衣を脱がせ、彼の息子エレアザルに着せよ。そしてアロンはそこで召されて死ぬであろう。 そしてモーセは主が彼に命じた通りに行った、そして彼を全ての会衆の前でホル山に登らせた、そしてアロンの衣服を脱がせた、そしてそれらを彼の息子エレアザルに着せた、そしてアロンは山の頂上で死んだ、そしてモーセとエレアザルは山から降りた。 そして全会衆はアロンが死んだことを知った、そしてイスラエルの全家はアロンのために三十日間泣いた。

21

そして荒野に住んでいるカナン人の王アラドは、イスラエルがアタリムの道を来たと聞いた。そしてイスラエルに向かって戦い、彼らから捕虜を取った。 イスラエルは主に誓いを立てて言った、もしあなたがこの民を私の支配下に引き渡してくださるなら、私は彼らと

その町々を完全に滅ぼします。 そして主はイスラエルの声を聞いた、そしてカナン人を彼の支配下に引き渡した、そして彼を滅ぼしに捧げた、そして彼の町々を、そして彼らはその場所の名前をホルマと呼んだ。 そしてホルの山から出発して紅海への道を進み、エドムの地を迂回した。そして民は道中で落胆した。 そして民は神に対して、そしてモーセに対して不平を言った、言いながら、なぜこれを? あなたは私たちをエジプトから連れ出したのは荒野で殺すためなのか? パンがない、水もない。しかし私たちの魂はこの空虚なパンにうんざりした。 そして主は民の中へ死をもたらす蛇たちを送った、そして彼らは民を噛んでいた、そしてイスラエルの子らの多くの民が死んだ。 そして民がモーセのところに来て、彼らは言った、私たちは罪を犯しました。私たちは主に逆らって語り、あなたに逆らって語りました。だから主に祈ってください。そして彼が私たちから蛇を取り除きますように。 そしてモーセは民について主に祈った。そして主はモーセに言った、あなた自身のために蛇を作り、それを標の上に置け。そうすれば、蛇が人を噛んでも、噛まれた者は皆それを見て生きるだろう。 そしてモーセは青銅の蛇を作り、それを標の上に立てた。そして蛇が人を噛んだ時、その人がその青銅の蛇を見上げると、その人は生きた。 そしてイスラエルの息子たちは出発し、オボテに宿営した。 そして彼らはオボテから出発して、向こう側の荒野の中のイエアバリムに宿営した、それはモアブの前方、太陽の昇る方向にある。 そして彼らはそこから出発し、ザレデの谷に宿営した。 そしてそこから出発して、彼らは荒野の中のアルノンの向こう側に野営した、アモリ人の境界から突き出ているところに。というのもアルノンはモアブの境界だからである、モアブとアモリ人との間の。 このゆえに書物の中で言われている、主の戦争がゾオブを燃やし、アルノンの急流を燃やした。 そしてエルはその急流に

住まわせることを定めた。そしてそれはモアブの境界に接している。 そしてそこからその井戸へ。この井戸は、主がモーセに言ったものである、民を集めよ、そうすれば私は彼らに飲む水を与えよう。 その時イスラエルはこの歌を井戸について歌った、井戸よ、始まれ、支配者たちがそれを掘った、諸国の王たちが彼らの王国において、彼らが支配する時にそれを切り出した。そして井戸からマタナへ、そしてマタナからナハリエルへ、そしてナハリエルからバモテへ、そしてバモテからヤハズへ、それはモアブの平野にある、切り出された場所の頂上から、荒野の面に向かって見ている。 そしてモーセは使者たちをアモリ人の王シホンに向けて送った、平和な言葉で、言って、私たちはあなたの地を通って通過します、その道を私たちは行きます。私たちは曲がりません、畑にも、ぶどう園にも。私たちはあなたの井戸から水を飲みません。王の道を私たちは通ります、私たちがあなたの境界を通過するまで。 そしてシホンはイスラエルに彼の領土を通過することを許さなかった。そしてシホンは彼の民全てを集め、イスラエルに対して戦うために荒野へ出て行った。そしてヤハツへ来て、イスラエルに対して戦列を組んだ。そしてイスラエルは剣の殺戮で彼を打ち、そして彼の地を占領した、アルノンからヤボクまで、アンモンの子らのところまで、なぜならヤゼルはアンモンの子らの境界だからである。 そしてイスラエルはこれら全ての町を取り、イスラエルはアモリ人の全ての町に住んだ、ヘシュボンとそれに属する全ての周辺の村に。 というのもヘシュボンはアモリ人の王シホンの町であるから。そしてこの者は以前にモアブの王と戦った。そして彼らは彼の全ての土地をアロエルからアルノンまで取った。 このゆえに謎かけ師たちは言うだろう、ヘシュボンに来なさい、シホンの町が建てられ整えられるために。なぜなら火がヘシュボンから出て行った、炎がシホンの町から出

た、そしてモアブまで食い尽くした、そしてアルノンの柱を飲み込んだ。 モアブよ、お前に災いあれ、ケモシュの民よ、お前は滅びた。彼らの息子たちは救われるために引き渡され、そして彼らの娘たちはアモリ人の王シホンに捕虜として引き渡され、そして彼らの子孫はヘシュボンからディボンまで滅びるだろう。そして女たちはさらにモアブの上に火を燃やした。 イスラエルはアモリ人の全ての町々に住んだ。 そしてモーセはヤゼルを偵察するために人を送った。そして彼らはそれを占領し、その村々を占領した。そして彼らはそこに住んでいたアモリ人を追い出した。 そして引き返して、彼らはバシャンへの道を上った。そしてバシャンの王オグが彼らに会うために出て来た、そして彼の民全てが戦いのためにエドレイへ来た。 そして主はモーセに言った、彼を恐れるな、なぜならあなたの手に私は彼を引き渡したから、そして彼のすべての民を、そしてすべての彼の地を。そしてあなたは彼にするだろう、ちょうどあなたがシホンにしたように、アモリ人の王、ヘシュボンに住んでいた者に。 そして彼を打ち、彼の息子たちと彼の民全てを、彼の生存者を残さないまで打ち、そして彼らは彼の地を相続した。

22

そしてイスラエルの子らは出発して、モアブの西、ヨルダンのほとり、エリコの近くに野営した。 そしてツィポルの息子バラクは、イスラエルがアモリ人に行ったすべてのことを見た。そしてモアブはその民を非常に恐れた、なぜなら彼らは多かったからである。そしてモアブはイスラエルの息子たちのゆえに苦悩した。 そしてモアブはミディアンの長老会議に言った、今この集団は我々の周りの全て

を舐め尽くすだろう、まるで子牛が平原から青い物を舐め尽くすように。そしてバラクはツィポルの息子でモアブの王であった、その時に。 そして彼は使節たちをベオルの息子バラムのところへ、ペトルへ送った。それは川のそばの彼の民の息子たちの地にある。彼を呼ぶために、言って、見よ、民がエジプトから出て来た。そして見よ、それは地の表面を覆った。そしてこの者は私に隣接して座っている。 そして今ここに来て私のためにこの民を呪ってください、なぜならこの者は私たちより強いから、もし私たちが彼らを打つことができるなら、そして私は彼らをその地から追い出すでしょう。なぜなら私は知っているからです、あなたが祝福する者たちは祝福されており、そしてあなたが呪う者たちは呪われているということを。 モアブの長老会議とミディアンの長老会議が、神託を手に持って行った。そして彼らはバラムのところへ来て、彼にバラクの言葉を告げた。 そして彼は彼らに言った、ここで夜を過ごしなさい、そして主が私に語られる事柄をあなたたちに答えましょう。そしてモアブの支配者たちはバラムのもとに留まった。 そして神はバラムのところに来て、彼に言った、これらの人々は何だ、あなたのところにいるのは? そしてバラムは神に言った、ツィポルの息子バラク、モアブの王が、彼らを私のところに送って来て、こう言いました、見よ、民がエジプトから出て来て、地の面を覆っている、そしてこの者が私の隣に座っている、だから今ここに来て私のために彼を呪ってくれ、そうすれば私は彼を打つことができるだろう、そして私は彼を地から追い出すだろうと。 そして神はバラムに言った、あなたは彼らと一緒に行ってはならない、またその民を呪ってはならない。なぜならその民は祝福されているからだ。 そして朝起き上がって、バラムはバラクの支配者たちに言った、あなたがたの主のところへ去りなさい。神は私があなたがたと共に行くことを許さないの

です。 そしてモアブの支配者たちは立ち上がって、バラクのところへ来て、言った、バラムは私たちと一緒に行くことを望みません そしてバラクはさらに支配者たちを送ることを加えた、より多くの、そしてこれらよりもより名誉ある者たちを。 そして彼らはバラムのところへ来て、彼に言った、ツィポルの息子バラクがこう言っています、私のところへ来ることをためらわないようあなたに求めます。というのも、私は名誉をもってあなたを敬うだろう、そしてあなたが言うことは何でも私はあなたのためにするだろう。そしてここに来て私のためにこの民を呪ってくれ。 そしてバラムは答えて、バラクの使者たちに言った、たとえバラクが私に彼の家を銀と金で満たして与えたとしても、私は主なる神の言葉を破ることはできない、私の考えで小さいことでも大きいことでもそれを行うことは。 そして今、あなたたちもここでこの夜を過ごしなさい、そして私は主が私に何を更に語るかを知るだろう。 そして神は夜にバラムのところに来て、彼に言った、もしこれらの人々があなたを呼ぶために来ているなら、立ち上がって彼らについて行け。しかし私があなたに話す言葉を、あなたは行え。 そしてバラムは朝起き上がって、彼のろばに鞍をつけ、モアブの支配者たちと一緒に行った。 そして神は彼が行ったことに怒って怒られた。そして神の使者は彼を妨げるために立ち上がった。そして彼は自分のろばに乗っていた、そして彼の二人の従者が彼と共にいた。 そしてそのロバは神の使者が道に立ちはだかり、彼の手に剣が抜かれているのを見て、そのロバは道から外れて平野へ行った。そして彼はそれを道にまっすぐにするために、彼の杖でそのロバを打った。 そして神の使者はぶどう畑の畝に立った、こちらに柵、あちらに柵。そして雌ロバは神の使者を見て、自分自身を壁に押し付けた、そしてバラムの足を壁に押しつぶした。そして彼はさらに彼女を打った。 そして神の使者は更に進

み、去って行って狭い場所に立った、そこは右にも左にも避けることができない場所だった。 そしてそのロバは神の使者を見て、バラムの下で座り込んだ。そしてバラムは怒った。そしてバラムはそのロバを杖で打った。 そして神はロバの口を開けた、そしてバラムに言う、私はあなたに何をしたのか、あなたは私をこれで三度打ったではないか。 そしてバラムはそのロバに言った、お前は私を嘲笑した、もし私が手に剣を持っていたら、もうお前を刺し通していただろう。 そしてロバはバラムに言う、私ではないのか、あなたの若い時から今日まであなたが乗っていたあなたのロバは。 見下して軽蔑したから、私はあなたにこうしたのではないでしょうか? しかし彼はいいえと言った。 神はバラムの目を開いた、そして彼は主の使いが道に立ちはだかり、剣が彼の手に抜かれているのを見た、そして身をかがめて顔を地につけて礼拝した。 そして神の使者は彼に言った、なぜあなたはこの三度目にあなたのろばを打ったのか。 見よ、私は出て行った、あなたに敵対するために、なぜならあなたの道は私の前で正しくないから、そしてロバは私を見て、私から離れて向きを変えた、これで三度目だ。 もしそれが脇に逸れなかったなら、今頃お前は殺していたが、あれは保っていただろう。 そしてバラムは主の使者に言った、私は罪を犯しました、というのも私は知らなかったのです、あなたが道で会うために私に立ち向かっていたことを。そして今もしあなたが満足しないなら、私は引き返します。 そして神の使者はバラムに言った、その男たちと一緒に行け。ただし私があなたに言う言葉、これをあなたは話すように守れ。 そしてバラムはバラクの支配者たちと一緒に行った。 そしてバラクはバラムが来たと聞いて、彼に会うために出て行った、モアブの町へ、それはアルノンの境界の上にあり、それは境界の端の部分にある。 そしてバラクはバラムに言った、私はあなたを呼ぶためにあなたのとこ

ろへ使いを送ったではないか。 なぜあなたは私のところへ来なかったのですか? 本当に私はあなたを敬うことができないのか? そしてバラムはバラクに言った、見よ、私は今あなたのところに来た。私は何かを話すことができるだろうか? 神が私の口に入れる言葉を、私は話すだろう。 そしてバラムはバラクと共に行き、彼らは田舎の住居の町々に来た。 そしてバラクは羊と子牛を犠牲に捧げ、バラムと彼と共にいる支配者たちに送った。 そして朝になった。そしてバラクはバラムを連れて行って、彼をバアルの柱の上に登らせた。そして彼にそこから民の一部を見せた。

23

そしてバラムはバラクに言った、私のためにここに七つの祭壇を建てなさい、そして私のためにここに七頭の子牛と七頭の雄羊を準備しなさい。 そしてバラクはバラムが彼に言った方法を行った。そして彼は子牛と雄羊を祭壇の上に捧げた。 そしてバラムはバラクに言った、あなたの犠牲のそばに立っていなさい、そして私は行こう、もし神が私との会見に現れるなら、そして神が私に示す言葉を、私はあなたに告げよう。そしてバラクは彼の犠牲のそばに立った。 そしてバラムは神に尋ねるために行った。そして彼はまっすぐに行った。そして神がバラムに現れた。そしてバラムは神に言った、私は七つの祭壇を準備しました、そして私は子牛と雄羊を祭壇の上に捧げました。 そして神は言葉をバラムの口の中に入れた、そして神は言った、バラクの方へ振り向いて、このように話しなさい。 そして彼に向かって振り返った。そして彼は彼の全焼のいけにえのそばに立っていた、そしてモアブの支配者たち全員が彼と共に

いた。そして神の霊が彼の上に臨んだ。 そして彼はそのたとえを取り上げて言った、メソポタミアから、東の山々から、モアブの王バラクが私を召喚して言った、来て私のためにヤコブを呪え、そして来て私のためにイスラエルを呪え 主が呪わない者を、私は何を呪おうか。 あるいは私は神が呪わない者を何のために呪おうか？ 山々の頂から私は彼を見るだろう、そして丘から私は彼を注意深く見るだろう。見よ、民は独りで住むだろう、そして諸国民の中で数えられないだろう。 誰がヤコブの子孫を正確に数えたか、そして誰がイスラエルの部族を数えるだろうか。 私の魂が義人たちの魂の中で死にますように、そして私の子孫がこれらの者たちの子孫のようになりますように。 そしてバラクはバラムに向かって言った、あなたは私に何をしたのか。 私の敵を呪うためにあなたを呼んだのに、見よ、あなたは祝福してしまった。 そしてバラムはバラクに向かって言った、神が私の口に入れるものすべて、それを私は話すように守らないだろうか。 そしてバラクは彼に言った、さあ、まだ私と一緒に別の場所へ来なさい。そこからあなたは彼を見ないだろう、しかしあなたは彼の一部を見るだろう、しかし全部はあなたは見ないだろう。そしてそこから私のために彼を呪いなさい。 そして彼は彼を、切り出された頂の上の野の見張り台へ連れて行った。そして彼はそこに七つの祭壇を建てた。そして彼は子牛と雄羊を祭壇の上に捧げた。 そしてバラムはバラクに言った、あなたのいけにえのそばに立っていなさい、私は神に尋ねに行くから。 そして神はバラムに会い、彼の口の中に言葉を入れ、そして言った、バラクのところへ戻れ、そしてこれらのことを話せ。 そして彼は彼の方へ向きを変えた。そして彼は自分の全焼のいけにえの傍に立っていた、そして全てのモアブの支配者たちが彼と共にいた。そしてバラクは彼に言った、主は何を語られたか。 そして彼のたとえを取り上げて、彼は

言った、立ち上がれバラク、そして聞け、耳を傾けよツィポルの息子よ。 神は人間のように嘘をつくことはなく、また人の子のように脅されることもない。彼が言ったのに、それを行わないだろうか。 彼は語るだろう、そしてそれを守らないだろうか? 見よ、私は祝福するよう命じられた。私は祝福する、そして決して引き返さない。 ヤコブの中に労苦はないだろう、イスラエルの中に苦痛も見られないだろう。主、彼の神が彼と共にいる、支配者たちの栄光が彼の中にある。 神は彼をエジプトから導き出した方である、彼には一角獣の栄光がある。 ヤコブの中に占いはないから、イスラエルの中に神託もない。時が来ればヤコブに告げられるだろう、そしてイスラエルに、神が何を成し遂げるのか。 見よ、民は若獅子のように立ち上がり、ライオンのように誇らしくなるだろう。獲物を食べ、傷ついた者の血を飲むまで、眠らないだろう。 そしてバラクはバラムに言った、あなたは私のために彼を呪いで呪うこともなく、また祝福して彼を祝福することもしてはならない。 そしてバラムは答えて、バラクに言った、私はあなたに話さなかったか、神が語られる言葉、それを私はするだろうと言って? そしてバラクはバラムに言った、来い、私はあなたを別の場所へ連れて行こう、もし神がお喜びになるなら、そしてそこから私のために彼を呪ってくれ。 そしてバラクはバラムを荒野へ延びているペオルの頂上へ連れて行った。 そしてバラムはバラクに向かって言った、私のためにここに七つの祭壇を建てなさい、そして私のためにここに七頭の若い雄牛と七頭の雄羊を準備しなさい。 そしてバラクは、バラムが彼に言った通りに行った、そして子牛と雄羊を祭壇の上に捧げた。

24

そしてバラムは、主の前でイスラエルを祝福することが良いことであると見たので、彼はいつもの習慣通りに前兆との会合へ行かず、そして彼の顔を荒野へ向けた。 そしてバラムは彼の目を上げて、イスラエルが部族ごとに宿営しているのを見た。そして神の霊が彼の上に臨んだ。 そして彼のたとえを取り上げて、言った、ベオルの息子バラムが言う、真実に見る人が言う、力強い者の言葉を聞く者が言う、神の幻を眠りの中で見た者、彼の目は開かれている。 ヤコブよ、あなたの家々はなんと美しいことか、イスラエルよ、あなたの天幕は。影を作る谷のように、そして川のほとりの園のように、そして主が張った天幕のように、そして水のほとりの杉の木のように。 彼の子孫から一人の男が出るだろう、そして多くの国々を支配するだろう、そしてゴグの王国が高められるだろう、そして彼の王国が増大するだろう。 神は彼をエジプトから導いた。彼には一角獣の栄光がある。彼は敵である国々を食い尽くし、その骨の髄を吸い出し、その矢で敵を射落とすだろう。 横たわって、彼は獅子のように休んだ、そして若い獅子のように。誰が彼を起こすのか。あなたを祝福する者たちは祝福され、そしてあなたを呪う者たちは呪われている。 そしてバラクはバラムに対して怒り、彼は手を打ち鳴らし、バラクはバラムに向かって言った、私の敵を呪うために私はあなたを呼んだのに、見よ、あなたは祝福に祝福を重ねた、これで三度目だ。 さて、だから、あなたの場所へ逃げなさい。私は、あなたを尊ぶだろうと言った。そして今、主があなたから栄光を奪った。そしてバラムはバラクに言った、あなたが私に送ったあなたの使者たちにも私は話したではないか、もしバラクが私に彼の家いっぱいの銀と金を与えても、私は主の言葉を破って自分の判断で善いことか悪いことをすることはできない。神が言われることは何でも、それを私は言うだろうと そして今見よ、私は私の場所へ逃げ去る。来

い、私はあなたに助言しよう、この民が終わりの日々にあなたの民に何をするかを。 そして彼のたとえを取り上げて、言った、ベオルの息子バラムが言う、真に見る者が言う、神の言葉を聞き、いと高き方からの知識を知り、そして神の幻を眠りの中で見た者、彼の目は開かれている。 私は彼に示すだろう、しかし今ではない。私は祝福する、しかしそれは近づかない。星がヤコブから昇るだろう、人がイスラエルから立ち上がるだろう。そして彼はモアブの指導者たちを打ち砕くだろう、そして彼はセトの全ての息子たちを略奪するだろう。 そしてエドムは相続地となるだろう、そしてエサウ、その敵は相続地となるだろう、そしてイスラエルは力をもって行った。そしてヤコブから起き上がる者が現れ、町から逃れた者を滅ぼすだろう。 そしてアマレクを見て、彼はそのたとえを取り上げて言った、アマレクは諸国民の始まりだが、彼らの子孫は滅びるだろう。そしてケナイ人を見て、彼の譬えを取り上げて、言った、あなたの住まいは強い。そしてもしあなたが岩にあなたの巣を置くなら、そしてもしベオルに狡猾さの巣ができるなら、アッシリア人たちがあなたを捕虜にするだろう。 オグを見て、彼の譬えを取り上げて、言った、ああ、ああ、神がこれらのことをなさる時、誰が生きるだろうか。 そして彼はキティムの手から出て行くだろう、そして彼らはアッシリアを苦しめるだろう、そして彼らはヘブライ人を苦しめるだろう、そして彼ら自身は一致して滅びるだろう。 そしてバラムは立ち上がって去って行った、自分の場所へ向きを変えて。そしてバラクは自分のところへ去って行った。

25

そしてイスラエルはシッテムに留まり、民はモアブの娘たちと淫行を犯して汚された。 そして彼らは彼らを彼らの偶像への犠牲に招いた。そして民は彼らの犠牲を食べ、彼らの偶像を拝んだ。そしてイスラエルはバアル・ペオルに献げられた。そして主は怒りをもってイスラエルに対して怒られた。 そして主はモーセに言った、民の指導者たち全員を捕らえ、太陽の前で主のために彼らを見せしめにせよ、そうすれば主の激しい怒りがイスラエルから去るであろう。 そしてモーセはイスラエルの部族たちに言った、各々、バアル・ペオルに身を捧げた自分の者を殺しなさい。 そして見よ、イスラエルの子らの一人の男が来て、モーセの前で、そしてイスラエルの子ら全ての集会の前で、ミディアン人の女を彼の兄弟たちのところへ連れて来た。しかし彼らは証しの天幕の入口のそばで泣いていた。 そして祭司アロンの子エレアザルの子ピネハスが見て、集会の真ん中から立ち上がり、槍を手に取って、イスラエル人の男の後ろについて天幕に入り、両方を、すなわちイスラエル人の男とその女を彼女の子宮を通して刺し貫いた。そして災いがイスラエルの子らから止んだ。 そして、その災いで死んだ者は2万4千人であった。 そして主はモーセに言われた、祭司アロンの子エレアザルの息子ピネハスが、彼らの中で私の熱意を示したことによって、イスラエルの子らから私の怒りを静めた、そして私は私の熱意においてイスラエルの子らを滅ぼさなかった。 このように言った、見よ、私は彼に平和の契約を与える、そしてそれは彼と彼の後の彼の子孫に永遠の祭司職の契約となるだろう、彼が彼の神に熱心であったことの報いとして、そして彼がイスラエルの子らについて贖罪をしたことの報いとして。 そして打たれたイスラエル人の男の名前は、彼はミディアン人の女と共に打たれた者だが、ジムリ、サルモンの息子、シメオンの一族の家の支配者である。 そして打たれたミディアン人の女の名前はコ

ズビで、ツルの娘であり、オモテ民族の支配者の家系で、ミディアムの一族の家のものである。 そして主はモーセに向かって語った、言って、イスラエルの息子たちに語れ、言って、ミディアン人たちに敵対せよ、そして彼らを打て、なぜなら彼ら自身があなたがたに欺きをもって敵対するから、彼らがペオルのゆえにあなたがたを欺く多くのことによって、そしてカズビのゆえに、ミディアンの支配者の娘、彼らの姉妹、ペオルのゆえの打撃の日に打たれた者。

26

そしてその打撃の後に起こった。そして主はモーセと祭司エレアザルに語って言った、イスラエルの息子たちの全集会の人口調査を取れ、二十歳以上の者を、彼らの父祖の家ごとに、イスラエルにおいて戦列を整えるために出て行くすべての者を。 そしてモーセと祭司エレアザルがヨルダンのほとりのエリコに近いモアブの平原で語った、言って、二十歳から上の者について、主がモーセに命じた方法に従って。そしてエジプトから出て来たイスラエルの息子たち、ルベンはイスラエルの長子。そしてルベンの息子たちはエノク、そしてエノクの民、パルに、パルイの民。 ヘツロンには、アスロネイの民。カルミには、カルミの民。 これらはルベンの氏族である。そして彼らの人口調査が行われ、四万三千七百三十人であった。 そしてパルの息子たち、エリアブ。 そしてエリアブの息子たち、ネムエル、そしてダタン、そしてアビラム。これらは集会の召集された者たちである。これらはモーセとアロンに立ち上がった者たちである、コラの集会において、主への反逆において。 そして地がその口を開いて、彼らとコラを飲み込んだ。彼の集会の死において、その

時火が二百五十人を焼き尽くした。そして彼らはしるしとなった。しかしコラの息子たちは死ななかった。 そしてシメオンの息子たち、シメオンの息子たちの民族。ネムエルには、ネムエル族の民族。ヤミンには、ヤミン族の民族。ヤキンには、ヤキン族の民族。ゼラには、ゼラ族の民族。サウルには、サウル族の民族。 これらはシメオンの氏族で、彼らの調査によると、二万二千二百人である。ユダの息子たちは、エルとオナンであった。そしてエルとオナンはカナンの地で死んだ。 そしてユダの息子たちは彼らの氏族ごとになった。シェラには、シェラ人の氏族。ペレツには、ペレツ人の氏族。ゼラには、ゼラ人の氏族。 ペレツの息子たちは、ヘツロンにはヘツロン人の民、ハムルにはハムル人の民となった。 これらはユダの氏族で、その調査によれば、七万六千五百人である。 そしてイッサカルの息子たちは彼らの氏族によって：トラには、トラ族の民；プアには、プア族の民；ヤシュブには、ヤシュブ族の民；シムロンには、シムロン族の民。 これらはイッサカルの氏族で、彼らの調査によると、六万四千四百。 ゼブルンの息子たち、彼らの氏族ごとに。サレドには、サレド人の氏族。アロンには、アロン人の氏族。ヤレエルには、ヤレエル人の氏族。 これらはゼブルンの氏族で、彼らの人口調査によると、六万五百人である。 ガドの息子たちは彼らの氏族によって、ツェフォンには、ツェフォン人の氏族、ハギには、ハギ人の氏族、シュニには、シュニ人の氏族、オズニには、オズニ人の氏族、アディには、アディ人の氏族、アロディには、アロアド人の氏族、アリエルには、アリエル人の氏族。 これらはガドの息子たちの氏族で、彼らの人口調査によると、四万四千五百人である。 アシェルの息子たち、彼らの氏族によって：ヤミンに、ヤミン人の氏族；イエスに、イエス人の氏族；ベリアに、ベリア人の氏族。 ヘベルには、ヘベル人の民。マルキエルには、マルキエル人の民。 そし

て、アシェルの娘の名前はサライ。 これらの氏族はアシェルに属し、その登録によると、四万三千四百人である。 ヨセフの息子たちは、彼らの部族によって、マナセとエフライム。 マナセの息子たち。 マキルには、マキル人の民がいた。そしてマキルはギレアデを生んだ。ギレアデには、ギレアデ人の民がいた。 そしてこれらはギレアデの息子たちである。アヒエゼル、アヒエゼル族の民。ヘレクに、ヘレク族の民。 エスリエルには、エスリエル人の民、シェケムには、シェケム人の民、シェマエルには、シェマエル人の民、そしてオフェルには、オフェル人の民。 そしてヘフェルの息子ツェロフハドには息子たちが生まれなかったが、娘たちだけだった。そしてこれらがツェロフハドの娘たちの名前である。マーラ、ノア、ホグラ、ミルカ、そしてティルツァ。 これらはマナセの部族で、彼らの調査によると、五万二千七百人である。 そしてこれらはエフライムの息子たちである。シュテラには、シュテラ人の民。タハンには、タハン人の民。 これらはシュテラの息子たちである。エデンには、エデン人の民。 これらはエフライムの氏族で、彼らの調査によると三万二千五百である。これらはヨセフの息子たちの氏族で、彼らの氏族ごとのものである。 ベニヤミンの息子たち、彼らの氏族によって:バラには、バリ族の民;アシュベルには、アシュベリ族の民;アヒラムには、アヒラム族の民。 ソパンに、ソパンの人々より。 そしてバレの息子たちはアダルとノエマンになった。アダルには、アダリ人の民。そしてノエマンには、ノエマニ人の民。 これらはベニヤミンの息子たちで、彼らの氏族ごとに、彼らの検査によると、三万五千五百人である。 そしてダンの息子たちは彼らの氏族によって。サマに、サマイ人の氏族。これらはダンの氏族たちである、彼らの氏族によって。 すべてのシャメ人の氏族たち、彼らの監督によれば、六万四千四百人。 ナフタリの息子たち、彼らの氏族によって。アシ

エルには、アシエル人の氏族。グニには、グニ人の氏族。 イエセルには、イエセリ人の民がいる。シャルムには、シャルミ人の民がいる。 これらはナフタリの氏族で、彼らの調査によると四万三百人である。 これはイスラエルの息子たちの人口調査である、六十万一千七百三十人。 そして主はモーセに向かって話して言った、これらの者に土地は分けられるだろう、名前の数によって相続するために。より多い者たちには相続地を増やし、より少ない者たちには彼らの相続地を減らす。各々に、彼らが数えられた通りに、彼らの相続地が与えられるだろう。 くじによってその土地は名前に分けられるだろう。彼らの父祖の部族に従って彼らは相続するだろう。 くじによって、あなたは彼らの相続財産を多い者と少ない者の間で分けるだろう。 そしてレビの息子たちは彼らの氏族によって、ゲルションにはゲルション族、コハテにはコハテ族、メラリにはメラリ族である。 これらはレビの息子たちの氏族である。リブニの氏族、ヘブロンの氏族、コラの氏族、そしてムシの氏族。そしてコハテはアムラムを生んだ。 彼の妻の名はヨケベデで、レビの娘であり、彼女はこれらの者をレビにエジプトで産み、そして彼女はアムラムにアロンとモーセとその姉妹マリアムを産んだ。 そしてアロンに生まれたのは、ナダブと、アビフと、エレアザルと、イタマルだった。 ナダブとアビフは、シナイの荒野で主の前に異なる火を捧げた時に死んだ。 そして彼らの調査から、生後一ヶ月以上のすべての男性は二万三千人になった。なぜなら彼らはイスラエルの子らの中で一緒に数えられなかったからである。それは彼らにはイスラエルの子らの中で相続地が与えられないからである。 そしてこれはモーセと祭司エレアザルの人口調査であり、彼らはモアブの平原でヨルダン川のほとり、エリコの近くでイスラエルの子らを調査した。 そしてこれらの中には、モーセとアロンがシナイの荒野でイスラエルの子らを調

べた時に数えられた者たちの中の人はいなかった。 主が彼らに言った、彼らは荒野で死ぬだろう。そして彼らから一人も残されなかった、エフネの息子カレブとヌンのヨシュアを除いて。

27

そしてツェロフハデの娘たちが近づいてきた。ツェロフハデはヘフェルの息子、ヘフェルはギレアデの息子、ギレアデはマキルの息子、マナセの民の、ヨセフの息子たちの。そして彼女たちの名前はこれらである、マアラ、そしてノア、そしてホグラ、そしてミルカ、そしてティルツァ。そして証しの幕屋の入口で、モーセの前に、そしてエレアザル祭司の前に、そして指導者たちの前に、そして全会衆の前に立って、言った、私たちの父は荒野で死にました、そして彼は主の前に集まった会衆の中にいませんでした、コラの会衆で。なぜなら彼は自身の罪によって死んだからです、そして息子たちは彼に生まれませんでした。私たちの父の名前が彼の民の中から消し去られませんように、なぜなら彼に息子がいないからです。私たちに所有地を与えてください、私たちの父の兄弟たちの中に。 そしてモーセは彼らの裁きを主の前に持って来た。 そして主はモーセに語って言った、ツェロフェハドの娘たちは正しく語った。あなたは彼女たちに、彼女たちの父の兄弟たちの間で、相続の所有を贈り物として与えるだろう、そしてあなたは彼女たちの父の相続を彼女たちに移すだろう。 そしてイスラエルの子らにあなたは話すだろう、言って、もし男が死んで、そして息子が彼にいないなら、あなたたちは彼の相続財産を彼の娘に移すだろう。しかしもし娘が彼にいないなら、あなたたちは相続財産を彼の兄弟に与えるだろう。 もし彼

に兄弟たちがいないならば、あなたたちは相続財産を彼の父の兄弟に与えなさい。 もし彼の父の兄弟たちがいないならば、あなたたちは相続財産を彼の部族から彼の最も近い親族に与えなさい、彼のものを相続させるために。そしてこれはイスラエルの子らにとって裁きの定めとなるであろう、主がモーセに命じられた通りに。 そして主はモーセに言った、ヨルダンの向こうにある山、このネボ山に登れ、そしてカナンの地を見よ、それを私はイスラエルの子らに所有として与える。 そしてあなたはそれを見るだろう、そしてあなたもあなたの民に加えられるだろう、ちょうどあなたの兄弟アロンがホル山で加えられたように。 あなたたちはシンの荒野で私の言葉に背いたから、会衆が反抗した時に私を聖別するべきだったのに、あなたたちは彼らの前で水において私を聖別しなかった。これはシンの荒野のカデシュにおける争いの水である。 そしてモーセは主に言った、霊たちと全ての肉の神である主がこの集会の上に人を任命しますように、彼らの前に出て行く者、そして彼らの前に入る者、そして彼らを導き出す者、そして彼らを導き入れる者を、そして主の集会が羊飼いがいない羊のようにならないように。 そして主はモーセに向かって語って言った、あなた自身のもとにナンの息子ヨシュア、自分の中に霊を持つ男を取れ、そしてあなたの手を彼の上に置け。そしてあなたは彼を祭司エレアザルの前に立たせ、そして全ての集会の前で彼に命じ、そして彼らの前で彼について命じるだろう。 そしてあなたはあなたの栄光を彼に与えるだろう、それでイスラエルの子らが彼に聞き従うように。 そして彼は祭司エレアザルの前に立つだろう、そして彼らは主の前でウリムの判断を彼に尋ねるだろう。彼の言葉によって彼らは出て行くだろう、そして彼の言葉によって彼とイスラエルの子らは心を一つにして入るだろう、そしてすべての会衆も。 そしてモーセは主が彼に命じた通りに行った。

そしてヨシュアを連れて行って、彼を祭司エレアザルの前と全会衆の前に立たせた。そして彼の手を彼の上に置いた。そして主がモーセに命じた通りに彼を任命した。

28

そして主はモーセに語って言った、イスラエルの息子たちに命じて、彼らに言いなさい、私の贈り物、私の贈り物、芳香の香りとなる私の捧げ物を、あなたたちは私の祭りにおいて私に捧げることを守りなさい。 そしてあなたは彼らに言うだろう、これらの捧げ物で、あなたたちが主に捧げるものは、一歳の傷のない子羊二匹を、毎日全焼の捧げ物として絶えず捧げよ。 あなたは一匹の子羊を朝に行い、そして二匹目の子羊を夕方に行うだろう。 そしてあなたはエファの十分の一の上質な小麦粉を、ヒンの四分の一の油で混ぜられた供え物にするでしょう。 継続的な全焼燔祭、シナイの山においてなされたもの、主への芳香の香りとなった。 そしてその注ぎの供え物は一匹の子羊につき一ヒンの四分の一。聖なる場所で主に強い飲み物の注ぎの供え物を注ぐ。そして二匹目の子羊を夕方に向かって作る。その犠牲に従って、そしてその注ぎの供え物に従って、あなたたちは主への芳香の香りとして作る。 そして安息日の日に、あなたがたは二匹の一歳の傷のない子羊と、油で混ぜられた小麦粉の十分の二を犠牲と注ぎの供え物のために捧げなさい、これは安息日ごとの常供の全焼のいけにえに加えての安息日の全焼のいけにえと、その注ぎの供え物である。 そして新月にあなたがたは主に全焼のいけにえを捧げなさい、牛から若い雄牛二頭、そして雄羊一頭、一歳の子羊七頭、傷のないものを。油で混ぜられた小麦粉十分の三を若

い雄牛一頭につき、そして油で混ぜられた小麦粉十分の二を雄羊一頭につき。油で混ぜられた小麦粉十分の一を子羊一頭につき、いけにえ、香ばしい香り、主への捧げ物として。 彼らの注ぎの供え物は一頭の若い雄牛にヒンの半分となるだろう。そして一頭の雄羊にヒンの三分の一となるだろう。 そして一匹の子羊にヒンの四分の一のぶどう酒があるだろう。この全焼のいけにえは、年の月々に月ごとにある。 そして山羊から一匹の雄山羊が罪のために主に捧げられるだろう、絶えず行われる全焼の捧げ物に加えて、そしてその注ぎの捧げ物も。 そして第一の月の第十四日に、主への過越祭。 そしてこの月の十五日に祭りがある。七日間、あなたたちは種なしパンを食べなさい。 そして最初の日はあなたたちにとって聖なる集会となる。いかなる労働もあなたたちはしてはならない。 そしてあなたたちは全焼のいけにえを捧げ物として主に捧げるでしょう、牛から若い雄牛二頭、雄羊一頭、一歳の子羊七頭。それらはあなたたちにとって傷のないものでなければなりません。 そして彼らの供え物は油で混ぜられた小麦粉である。一頭の若い雄牛に十分の三、そして一頭の雄羊に十分の二。 あなたは十分の一を、一匹の子羊に対して、七匹の子羊たちに対して作るだろう。 そして山羊から雄山羊一匹を罪のために、あなたたちのために贖罪をするために。ただし朝の絶えず続く全焼燔の捧げ物を除いて、それは絶え間ない全焼燔の捧げ物である。 あなたがたはこれらのことをこれらに従って七日の間、一日ごとに行うであろう。贈り物、供え物を芳香の香りとして主へ。絶えず続く全焼燔祭の上で、あなたはその注ぎの供え物を行うであろう。 そして七日目はあなたたちにとって聖なる日と呼ばれるものとなるだろう。いかなる労働もその日にしてはならない。 そして新しい穀物の日に、あなたたちが週の祭りの時に主に新しい犠牲を捧げる時、聖なる召集があなたたちにある。すべての労働の仕

事をあなたたちはしてはならない。 そしてあなたたちは全焼のいけにえを香ばしい香りとして主に捧げるでしょう、牛の中から若い雄牛二頭、雄羊一頭、一歳の子羊七頭、傷のないものを。 彼らの供え物は油で混ぜられた小麦粉である。一頭の若い雄牛に十分の三、そして一頭の雄羊に十分の二。 十分の一を一匹の子羊に、七匹の子羊たちに。そして山羊から一匹の雄山羊を罪について、あなたがたのために贖いをするために。ただし絶えず捧げる全焼のいけにえを除いて。そしてそれらの犠牲をあなたがたは私のためになすであろう、それらはあなたがたにとって傷のないものであるであろう、そしてそれらの注ぎの供え物を。

29

そして第七の月の一日に、聖なる召集があなたがたにある。いかなる労働の仕事もあなたがたはしてはならない。ラッパの日があなたがたにある。 そしてあなたがたは全焼のいけにえを主への香ばしい香りとして捧げるでしょう、牛の子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊七頭、傷のないものを。 彼らの穀物の捧げ物は油で混ぜられた小麦粉である。一頭の若い雄牛に十分の三、一頭の雄羊に十分の二。一頭の子羊に十分の一ずつ、七頭の子羊に。そして罪のために山羊の中から一頭の雄山羊を、あなたがたのために贖いをするために。新月の全焼の捧げ物を除いて。そしてそれらの穀物の捧げ物、そしてそれらの注ぎの捧げ物、そして絶えざる全焼の捧げ物。そしてそれらの穀物の捧げ物とそれらの注ぎの捧げ物はそれらの規定に従って、香ばしい香りとして主に。 そしてこの月の十日目は、あなたがたにとって聖なる集会となる。そしてあなたがたは自分たちの魂を

苦しめなければならない。そしてあなたがたはいかなる仕事もしてはならない。 そしてあなたたちは全焼のいけにえを主への香ばしい香りとして捧げるでしょう、主への供え物を、牛の子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊七頭を。それらはあなたたちにとって傷のないものでなければなりません。 彼らの供え物は油で混ぜられた小麦粉である。一頭の若い雄牛に十分の三、一頭の雄羊に十分の二。一頭の子羊に十分の一を、七頭の子羊のために。そして山羊から一頭の雄山羊を罪のために、あなたがたのために贖いをするために。ただし贖いの罪についてのものと、常にある全焼燔の供え物を除いて。それの供え物とそれの注ぎの供え物を規定に従って芳香の香りとして主への捧げ物とする。 そしてこの第七の月の第十五日に、あなたたちにとって聖なる召集となるだろう。いかなる労働もしてはならない。そしてそれを主への祭りとして七日間祝いなさい。 そしてあなたたちは全焼のいけにえを、香りの芳香として主に捧げるだろう。最初の日に、牛の若い雄牛を十三頭、雄羊を二頭、一歳の子羊を十四頭。それらは傷のないものでなければならない。 彼らの穀物の捧げものは油で混ぜられた小麦粉である。一頭の若い雄牛につき十分の三、十三頭の若い雄牛たちに。そして一頭の雄羊につき十分の二、二頭の雄羊たちに。一頭の子羊につき十分の一、十四頭の子羊たちに。そして罪のために山羊から一頭の雄山羊。常供の全焼のいけにえを除いて。彼らの穀物の捧げものと彼らの注ぎの捧げもの。そして二番目の日に十二頭の子牛、二頭の雄羊、傷のない一歳の子羊十四頭。 彼らの犠牲と彼らの飲み物の捧げ物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちのために、それらの数に従い、それらの規定に従う。 そして山羊から一匹の雄山羊を罪のために捧げる。ただし絶えず続く全焼のいけにえを除いて。それらのいけにえとそれらの注ぎのささげ物も捧げる。 三日目に、子牛十一頭、雄羊二頭、一歳の子

羊十四頭、傷のないもの。 彼らの犠牲と彼らの飲み物の捧げ物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちのために、それらの数に従い、それらの規定に従う。 そして山羊から一匹の雄山羊を罪のために捧げよ。ただし絶えず続く全焼のいけにえを除いて、それらのいけにえとそれらの注ぎのささげ物と共に。 四日目には、子牛十頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭、傷のないものを。 彼らの犠牲と彼らの飲み物の捧げ物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちのために、それらの数に従い、それらの規定に従う。 そして山羊から一匹の雄山羊を罪のために捧げる。ただし絶えず行われる全焼のいけにえを除いて、それらのいけにえとそれらの注ぎのささげ物と共に。 五日目に、子牛九頭、雄羊二頭、一歳の子羊十四頭、傷のないもの。 彼らの犠牲と彼らの飲み物の捧げ物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちのために、それらの数に従い、それらの規定に従う。 そして山羊から一匹の雄山羊を罪について、絶えず続く全焼の捧げ物を除いて。それらの犠牲とそれらの注ぎの捧げ物。 六日目に、八頭の子牛、二頭の雄羊、傷のない一歳の子羊十四頭。 彼らの犠牲と彼らの飲み物の捧げ物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちのために、それらの数に従い、それらの規定に従う。 そして山羊から一匹の雄山羊を罪のために。ただし絶えず行われる全焼のいけにえを除いて。それらのいけにえとそれらの注ぎのささげ物。 七日目に、七頭の子牛、二頭の雄羊、傷のない一歳の子羊十四頭。 彼らの犠牲と彼らの飲み物の捧げ物は、子牛たちと雄羊たちと子羊たちのために、それらの数に従い、それらの規定に従う。 そして山羊から一匹の雄山羊を罪のために。ただし絶えず行われる全焼のいけにえを除いて。それらのいけにえとそれらの注ぎのささげ物。 そして八日目はあなたたちにとって聖会となる。いかなる労働もあなたたちはその日に行ってはならない。 そしてあなたたちは全焼のいけにえを香りの匂いとして、さ

さげものを主に捧げるでしょう、子牛一頭、雄羊一頭、一歳の子羊七頭、傷のないものを。 彼らの犠牲と彼らの飲み物の捧げ物は、子牛と雄羊と子羊たちのために、それらの数に従い、それらの定めに従って行われる。 そして山羊から一匹の雄山羊を罪のために。ただし絶えず捧げる全焼のいけにえを除いて。それらのいけにえとそれらの注ぎの供え物。 これらのことをあなたがたはあなたがたの祭りにおいて主に行うだろう、あなたがたの誓願以外に、そしてあなたがたの自発的なささげもの、そしてあなたがたの全焼のいけにえ、そしてあなたがたのいけにえ、そしてあなたがたの注ぎのささげもの、そしてあなたがたの和解のいけにえ。

30

そしてモーセは、主がモーセに命じたすべてのことに従って、イスラエルの子らに話した。 そしてモーセはイスラエルの子らの部族の長たちに話して言った、これは主が命じられた言葉である。 人よ、主に誓願を誓うか、あるいは誓いを立てるか、あるいは自分の魂について拘束をもって自らを縛る人は、自分の言葉を汚してはならない。自分の口から出るすべてのことを、彼は行わなければならない。 もし女が主に誓願を誓うか、または彼女の父の家で彼女の若い時に義務を負うならば、そして彼女の父が彼女の誓願と、彼女が自分の魂に対して負った義務を聞いて、そして彼女の父が彼女について沈黙を守るならば、彼女のすべての誓願が立つであろうし、彼女が自分の魂に対して負ったすべての義務が彼女に残るであろう。しかしもし彼女の父が、彼女のすべての誓願と彼女が自分の魂に対して負った義務を聞くその日に、拒否して拒否するならば、それらは

立たないであろう。そして主は彼女を清めるであろう、なぜなら彼女の父が拒否したからである。 もし彼女が男に属するようになった後で男のものとなり、そして彼女の祈りが彼女の上にあり、彼女の唇の発言に従って、それを彼女は自分の魂に対して縛ったものであり、そして彼女の夫が聞き、そして彼が聞くその日に彼女に対して沈黙を保つならば、そのように彼女のすべての祈りが立つであろう、そして彼女の縛りの義務が、それを彼女は自分の魂に対して縛ったものであるが、立つであろう。 もしだが、彼女の夫が聞くどの日にでも拒否して拒否するならば、彼女の全ての祈りと、彼女が自分の魂に対して定めた彼女の義務は残らない、なぜなら夫が彼女を拒否したからである。そして主が彼女を清めるであろう。 そして未亡人と追い出された女の誓いは、彼女が自分の魂について誓うものは何でも、彼女に対して有効となる。 もし彼女の夫の家の中で彼女の誓願、または誓いを伴う彼女の魂に対する拘束があり、そして彼女の夫が聞いて、そして彼女に対して沈黙を保ち、そして彼女に対して拒否しなければ、彼女のすべての誓願が立つであろう、そして彼女の魂に対して彼女が拘束したすべての拘束が彼女に対して立つであろう。 もしそして彼女の夫が聞いた日に取り除くならば、彼女の唇から出るすべてのもの、彼女の祈りによるものも、彼女の魂に対する義務によるものも、彼女には残らない。彼女の夫がそれを取り除いたのであり、主が彼女を清めるであろう。 すべての祈りとすべての魂を害する束縛の誓いを、彼女の夫が彼女のために立てるであろう、そして彼女の夫がそれを取り除くであろう。しかしもし沈黙して彼女に対して日ごとに黙っているなら、彼は彼女のためにすべての彼女の祈りを立てるであろう、そして彼女の上にある義務を彼女のために立てるであろう、なぜなら彼が聞いた日に彼女に対して沈黙したからである。 もし彼女の夫が聞いた日の後に取り除い

て取り除くならば、彼は彼の罪を負うだろう。 これらの掟は主がモーセに命じたものであり、男と彼の妻の間、そして父と娘の間、娘が若くて父の家にいる時のものである。

31

そして主はモーセに語って言った、ミディアン人からイスラエルの子らのために復讐せよ、そしてその後あなたはあなたの民に加えられるだろう。 そしてモーセは民に向かって言った、あなたがたの中から男たちを武装させなさい、そして主の御前でミディアンに対して陣を敷きなさい、主の復讐をミディアンに返すために。 千人を部族から、千人を部族から、イスラエルの子らの全ての部族から、戦いの陣を組ませるために送れ。 そして彼らはイスラエルの数千から部族ごとに千人ずつを数えた、一万二千人が戦列のために武装した。 そしてモーセは彼らを送った、部族から千人ずつ、部族から千人ずつを、彼らの軍勢と共に、そして祭司アロンの息子エレアザルの息子ピネハスを、そして聖なる器具と合図のラッパを彼らの手に。 そして彼らはミディアンに対して戦列を整えた、主がモーセに命じた通りに。そして彼らはすべての男性を殺した。 そして彼らはミディアンの王たちを彼らの負傷者たちと同時に殺した。そしてエビ、そしてレケム、そしてツル、そしてフル、そしてレバ、ミディアンの五人の王たち。そしてベオルの息子バラムを彼らの負傷者たちと共に剣で殺した。そして彼らはミディアンの女たちと彼らの荷物と彼らの家畜と彼らのすべての所有物を略奪した。そして彼らの軍勢を略奪した。そして彼らの居住地にある彼らのすべての町々と彼らの村々を火で焼いた。 そして彼らは彼らの全ての略奪品を取っ

た、そして人から獣まで彼らの全ての戦利品を取った。 そして彼らはモーセと祭司エレアザルとイスラエルの全ての子らのもとへ、捕虜たちと戦利品と略奪品を、ヨルダン川のほとりのエリコの向かいにあるモアブの平野の宿営へ連れて来た。 そしてモーセとエレアザル祭司と会衆の全ての指導者たちが、彼らに会うために宿営の外へ出て行った。 そしてモーセは軍隊の監督者たち、すなわち戦いの戦列から来た千人隊長たちと百人隊長たちに対して怒った。 そしてモーセは彼らに言った、なぜあなたたちはすべての女を生かしておいたのか。 これらは、イスラエルの子らにとって、バラムの言葉に従って、主の言葉から離れさせ、軽視させるためのものであった、ペオルのゆえに。そして災いが主の集会の中に起こった。 そして今、すべての荷物の中のすべての男性を殺せ、男性の床を知ったすべての女性を殺せ。 そして男の床を知らないすべての女たちを生かしておけ。 そしてあなたたちは宿営の外に七日間宿営しなさい。殺した者すべてと傷つけられた者に触れる者は三日目に清められるだろう、そして七日目にあなたたちとあなたたちの捕虜も。 そして、すべての覆いと、すべての革の器と、山羊で作られたすべての物と、すべての木の器を、あなたたちは清めなければならない。 そして祭司エレアザルは戦いの戦列から来る軍隊の男たちに言った、これは主がモーセに命じた律法の掟である。 金と銀と青銅と鉄と鉛と錫を除いて、火の中を通るすべてのものは清められるであろう、しかしまたは清めの水で清められるであろう。そして火を通らないすべてのものは水を通るであろう。 そしてあなたたちは七日目に衣服を洗い、清められるだろう。そしてその後にあなたたちは陣営に入るだろう。 そして主はモーセに向かって語って言った、捕囚の戦利品の総計を取れ、人から獣まで、あなたとエレアザル祭司と会衆の父祖たちの長たちで。 そして、あなたたちは戦利品を、戦いに出て

行った戦士たちと全集会との間で分けなさい。 そしてあなたがたは主への貢ぎ物を取り分けるだろう、戦いの陣に出て行った戦士たちから、五百につき一つの魂を、人間から、そして家畜から、そして牛から、そして羊から、そしてロバから。そしてあなたがたはそれらの半分から受け取るだろう。 そしてあなたは祭司エレアザルに主の初穂を与えるだろう。 そしてイスラエルの子らの半分から、あなたは五十につき一つを取るだろう、人々から、そして牛から、そして羊から、そしてロバから、そしてすべての家畜から。そしてあなたはそれらを主の幕屋の守りを守っているレビ人たちに与えるだろう。 そしてモーセと祭司エレアザルは、主がモーセに命じた通りに行った。 そして戦士たちが略奪した戦利品の余剰はこうなった。羊から、六十七万五千。そして牛、七万二千。そしてロバ、六万一千。そして男の床を知らなかった女たちからの人間の魂、すべての魂、三万二千。 そして、戦争へ出て行った者たちの取り分の半分は、羊の数で三十三万七千五百頭となった。 そして羊から主への貢ぎ物は六百七十五になった。そして牛は三万六千で、主への貢ぎ物は七十二。そしてろばは三万五百で、主への貢ぎ物は六十一。そして人間の魂は一万六千で、それらの主への貢ぎ物は三十二の魂。 そしてモーセは神への捧げ物を祭司エレアザルに主に与えた、ちょうど主がモーセに命じたように。イスラエルの子らの半分から、それをモーセが戦士たちから分けた。 そして集会からの羊の半分の取り分が生じた、三十三万七千五百。そして牛、三万六千。ロバ、三万五百。そして人間の魂、一万六千。 そしてモーセはイスラエルの子らの半分から五十分の一を、人々からも家畜からも取り、それらを主の幕屋の務めを守っているレビ人たちに与えた、主がモーセに命じた通りに。 そして軍隊の千人隊長職に任命された者たち全員、千人隊長たちと百人隊長たちがモーセのところに近づいて来て、そし

てモーセに言った、あなたのしもべたちは私たちのもとにいる戦士である男たちの総数を取りました、そして彼らから一人も欠けていません。 そして私たちは主に贈り物を捧げた。それは各人が見つけた黄金の器と腕輪と腕飾りと指輪と腕輪と編み紐であり、主の前で私たちのために贖いをするためである。 そしてモーセと祭司エレアザルは、彼らからすべての細工された器である金を受け取った。 そして主に取り除いた捧げ物の全ての金は、千人隊長たちと百人隊長たちからの一万六千七百五十シェケルになった。 そして、その戦士である男たちは、それぞれが自分自身のために略奪した。 そしてモーセと祭司エレアザルは千人隊長たちと百人隊長たちから金を受け取り、それらを証しの幕屋の中に持ち込んだ、主の前でイスラエルの子らの記念として。

32

ルベンの息子たちとガドの息子たちには家畜の群れがあった、非常に多くの群れが。そして彼らはヤゼルの地とギレアデの地を見た。そしてその場所は家畜のための場所だった。そしてルベンの息子たちとガドの息子たちが近づいて来て、モーセと祭司エレアザルと会衆の指導者たちに言った、アタロテとディボンとヤゼルとニムラとヘシュボンとエレアレとセバムとネボとベオン、主がイスラエルの息子たちの前に引き渡された地は、家畜を養う地です。そしてあなたのしもべたちには家畜があります。 そして彼らは言った、もし私たちがあなたの前で恵みを見つけたなら、この地があなたのしもべたちに所有として与えられますように、そして私たちをヨルダン川を渡らせないでください。 モーセはガドの子らとルベンの子らに

言った、あなたたちの兄弟たちは戦争に行くのに、あなたたちはここに座っているつもりか。 そしてなぜあなたたちはイスラエルの息子たちの心を曲げて、主が彼らに与える地に渡らせないようにしているのか。 あなたたちの父たちは、私が彼らをカデシュ・バルネアからその地を見定めるために送った時、そのようにしたではないか? そして彼らは房の谷に登り、その地を観察し、イスラエルの息子たちの心を離反させた、主が彼らに与えた地に彼らが入らないように。 そして主はその日に怒りをもって怒られた、そして誓って言われた、もしこれらの人々、エジプトから上って来た者たち、二十歳以上の者たち、善と悪を知っている者たちが、私がアブラハムとイサクとヤコブに誓った地を見るならば。なぜなら彼らは私の後に完全に従わなかったから。ただしエフネの子カレブ、分けられた者、そしてヌンの子ヨシュアは除く、なぜなら彼は主の後に完全に従ったから。 そして主は怒りをもってイスラエルに対して怒られ、荒野で彼らを四十年間さまよわせた、主の前で悪を行った世代すべてが滅びるまで。 見よ、あなたがたはあなたがたの父たちの代わりに立ち上がった、罪人である人間たちの子孫よ、主の怒りの憤りをイスラエルの上にさらに加えるために。 あなたたちが彼から背を向けることは、さらに彼を荒野に置き去りにすることを加えることであり、そしてあなたたちはこの全集会に対して不法を行うことになる。 そして彼らは彼に近づいて、言った、私たちはここに私たちの家畜のための羊の牧場を建てます、そして私たちの荷物のための町を。 そして私たちは武装して前衛としてイスラエルの子らより先に行く、私たちが彼らを彼ら自身の場所へ導くまで。そして私たちの家族は城壁のある町々に住むだろう、その地に住んでいる者たちのために。 私たちは自分たちの家に帰らない、イスラエルの子らが各々自分の相続地に分配されるまで。 そして私たちはもはやヨルダ

ンの向こう側とその先では彼らと共に相続しません、なぜなら私たちはすでに私たちの相続地をヨルダンの向こう側の東の方で受け取っているからです。 そしてモーセは彼らに言った、もしあなたたちがこの言葉に従って行うなら、もしあなたたちが主の前で戦争のために武装するなら、そしてあなたたちのすべての武装兵が主の前でヨルダンを渡るなら、彼の敵が彼の前から滅ぼされるまで、そして地が主の前で征服されるまで、そしてその後あなたたちは帰るだろう、そしてあなたたちは主の前でそしてイスラエルに対して無罪であるだろう、そしてこの地はあなたたちに主の前で所有としてあるだろう。 もしあなたたちがこのようにしないならば、あなたたちは主の前に罪を犯すでしょう。そしてあなたたちは自分たちの罪を知るでしょう、災いがあなたたちを襲う時に。 そしてあなたたちは自分たちの荷物のために自分たちのために都市を建て、自分たちの家畜のために農場を建てるでしょう。そしてあなたたちの口から出ることをあなたたちは行うでしょう。 ルベンの息子たちとガドの息子たちはモーセに言った、あなたのしもべたちは、私たちの主が命じられる通りに行います。 私たちの荷物と、私たちの妻たちと、私たちのすべての家畜は、ギレアデの町々にあるだろう。 そしてあなたの子供たちは全員が武装して整列して主の前を戦争へと進むだろう、主が言う通りに。 そしてモーセは彼らのために祭司エレアザルとヌンの息子ヨシュアとイスラエルの部族の父祖の長たちを任命した。 そしてモーセは彼らに言った、もしルベンの息子たちとガドの息子たちがあなたがたと共にヨルダンを渡り、すべての者が武装して主の前で戦いに行き、そしてあなたがたがあなたがたの前の地を征服するなら、あなたがたは彼らにギレアデの地を所有地として与えなさい。 もし彼らが武装してあなたがたと共に主の前で戦争に渡って行かないなら、あなたがたは彼らの荷物と彼らの妻たちと彼

らの家畜をあなたがたより先にカナンの地へ渡らせなさい、そして彼らはあなたがたと共にカナンの地で相続を受けるだろう。 そしてルベンの息子たちとガドの息子たちは答えて言った、主が僕たちに言われることを、そのように私たちはいたします。 私たちは武装して主の前でカナンの地へ渡ります、そしてあなたたちはヨルダンの向こう側で私たちに所有地を与えてください。 そしてモーセは彼らに与えた、ガドの息子たちと、ルベンの息子たちと、ヨセフの息子たちのマナセ部族の半分に、アモリ人の王シホンの王国と、バシャンの王オグの王国を、その土地とその境界と共にある町々を、周囲の土地の町々を。 そしてガドの息子たちはディボンとアタロテとアロエルとソファルとヤゼルを建て、それらを高くし、そしてニムラとベテハラン、要塞の町々と羊の農場を建てた。 そしてルベンの息子たちはヘシュボンとエルアレとキリアタイムと囲まれたバアル・メオンとシブマを建てた。そして彼らは彼らが建てた町の名前を彼らの名前に従って名付けた。 そしてマナセの息子マキルの息子はギレアデへ行き、それを取り、その中に住んでいたアモリ人を滅ぼした。 そしてモーセはギレアデをマナセの息子マキルに与え、彼はそこに住んだ。 そしてマナセの息子ヤイルは行って、彼らの村々を取り、それらをヤイルの村々と名付けた。 そしてネボは行って、コハテとその村々を取り、それらを自分の名からナボテと名付けた。

33

そしてこれらはイスラエルの子らの宿営地である、彼らがエジプトの地から出て行った時の、彼らの軍勢を率いて、モーセとアロンの指導のもとで。 そしてモーセは彼らの出発と彼らの宿営地を主の言

葉によって書いた。そしてこれらは彼らの旅の宿営地である。 彼らはラメセスから第一の月の十五日目に出発した。過越の翌日にイスラエルの子らは高く上げた手をもって全てのエジプト人の前で出て行った。 そしてエジプト人たちは、主が打った死者全員、エジプトの地のすべての初子を彼らの中から埋葬していた。そして主は彼らの神々に対して復讐をなした。 そしてイスラエルの子らはラメセスから出発して、スコトに野営した。 そしてスコテから出発して、彼らはエタムに宿営した。それは荒野のある部分である。そして彼らはエタムから出発して、エイロテの口に宿営した。それはバアル・ツェフォンの前である。そして彼らはミグドルの前に宿営した。 そして彼らはエイロテの前を出発し、海の真ん中を横切って荒野へ入った。そして彼ら自身は荒野を通って三日の道を行き、ピクリアイスで野営した。 そして彼らはピクリアから出発し、エリムに来た。エリムには十二の水の泉と七十本のなつめやしの木があり、彼らはそこで水のそばに野営した。 そして彼らはエリムから出発し、紅海のほとりに野営した。 そして彼らは紅海から出発し、シンの荒野に宿営した。 そして彼らはシンの荒野から出発し、レフィディムに宿営した。 そして彼らはレフィディムから出発し、エリムに宿営した。 そして彼らはエリムから出発し、レフィディムに宿営した。そしてそこには民が飲む水がなかった。 そして彼らはレフィディムから出発し、シナイの荒野に宿営した。 そして彼らはシナイの荒野から出発し、欲望の墓に宿営した。 そして彼らは欲望の墓から出発し、アセロテで野営した。 そして彼らはアセロテから出発し、ラタマに宿営した。 そして彼らはラタマから出発し、リモン・ペレツに宿営した。 そして彼らはリモン・ペレツから出発し、レボナに宿営した。 そして彼らはレボナから出発し、リサに野営した。 そして彼らはレサンから出発し、マケラテに野営した。 そして彼らはマケラ

テから出発し、サファルに宿営した。 そして彼らはサファルから出発し、カラダテに野営した。 そして彼らはカラダテから出発し、マケロテに野営した。 そして彼らはマケロテから出発し、カタアテに宿営した。 そして彼らはカタアトから出発し、タラトに野営した。 そして彼らはタラトから出発し、マテカに野営した。 そして彼らはマテカから出発し、セルモナに野営した。 そして彼らはセルモナから出発し、マスロテに宿営した。 そして彼らはマスロテから出発し、ベナヤに宿営した。 そして彼らはベナヤから出発し、ガデガデの山に宿営した。 そして彼らはガドガドの山から出発し、エテバタに野営した。 そして彼らはエテバタから出発し、エブロナに宿営した。 彼らはエブロナから出発し、エジオン・ガベルに宿営した。 そして彼らはエジオン・ゲベルから出発した、そして彼らはシンの荒野に宿営した。そして彼らはシンの荒野から出発した、そして彼らはパランの荒野に宿営した。これはカデシュである。 そして彼らはカデシュから出発し、エドムの地の近くのホル山に宿営した。 そして祭司アロンは主の命令によって登り、イスラエルの子らがエジプトの地から出た第四十年目の第五の月の一日に、そこで死んだ。 そしてアロンは百二十三歳だった、彼がホル山で死んだ時。 そしてカナン人の王アラドが聞いた、そしてこの者はカナンの地に住んでいた、イスラエルの子らが入って来ていた時。そして彼らはホル山から出発した、そして彼らはセルモナに宿営した。 そして彼らはセルモナから出発し、フィノに野営した。 そして彼らはフィノから出発し、オボテに宿営した。 そして彼らはオボテから出発し、モアブの境界の向こう側のガイに宿営した。 そして彼らはガイから出発し、ディボン・ガドに宿営した。 そして彼らはディボン・ガドから出発し、ゲルモン・デブラタイムに宿営した。 そして彼らはゲルモン・デブラタイムから出発し、ネボの前のアバリムの山々に宿営した。

そして彼らはアバリムの山々から出発し、エリコに面したヨルダン川のほとり、モアブの西に野営した。 そして彼らはヨルダンのそばに、アイシモテからモアブの西方にあるベルサまでの間に陣を張った。 そして主は以前に語った。 モーセに、モアブの西において、ヨルダンのそばで、エリコに従って、言って、イスラエルの息子たちに話せ、そして彼らに向かってあなたは言え、あなたたちはヨルダンをカナンの地へ渡る。 そしてあなたたちはあなたたちの前の地に住んでいる全ての住民を滅ぼし、彼らの見張り台を取り除き、彼らの全ての鋳造された偶像を滅ぼし、彼らの全ての柱を取り除くだろう。 そしてあなたたちはその地に住んでいる者たち全員を滅ぼすでしょう、そしてあなたたちはその中に住むでしょう、というのもあなたたちに私は彼らの地を相続地として与えたからです。 そしてあなたたちはくじによってあなたたちの部族に従って彼らの地を相続するだろう。より多い者たちにはその所有地を増やし、より少ない者たちにはその所有地を減らすだろう。その名が出る所に、そこにそれがあるだろう。あなたたちの父祖の部族に従ってあなたたちは相続するだろう。 もしあなたがたがその地に住んでいる者たちをあなたがたの前から滅ぼさないなら、あなたがたが彼らの中から残す者たちは、あなたがたの目の中のとげとなり、あなたがたの脇腹の中の矢となり、あなたがたが住むその地の上であなたがたに敵対するだろう。 私が彼らにしようと決めていたことを、あなたたちにする。

34

そして主はモーセに語って言った、イスラエルの子らに命じて、彼

らに言いなさい、あなたたちはカナンの地に入る。これはその境界と共にあなたたちの相続地となるだろう、カナンの地は。 そしてあなたたちにとって南に向かう側はシンの荒野からエドムに接するところまでとなり、そしてあなたたちにとって南に向かう境界は東の方の塩の海の端からとなる。 そして境界は南からアクラビンの登りに向かってあなたたちを囲むだろう、そしてエンナクを通過するだろう、そしてその終点は南のカデシュ・バルネアに向かうだろう、そしてアラドの住居へ出て行くだろう、そしてアセモナを通過するだろう。 そしてその境界はアセモナからエジプトの急流まで囲み、その終点は海になるだろう。 そして海の境界はあなたたちのものとなるだろう、大いなる海が境界を定めるだろう、これがあなたたちにとっての海の境界となるだろう。 そしてこれはあなたたちの北の境界となるだろう。大いなる海からあなたたちは自分たち自身のために山から山へと測るだろう。 そして山から山を彼らのために測り出すだろう、ハマテに入る者たちのところで、そしてその出口の境界はサラダクになるだろう。 そして境界はデフロナから出て行き、その終点はアルセナインになるだろう。これはあなたたちにとって北からの境界になるだろう。 そしてその境界はセペファマルからベラへ東から泉へ下るだろう、そしてその境界はベラから東からキネレテの海の背へ下るだろう。 そしてその境界はセファマルから東の泉へベラへ下り、そしてその境界はベラから東のキネレテの海の背へ下るだろう。 そして境界はヨルダンへ下り、その終点は塩の海となるだろう。これがあなたたちにとっての土地とその周囲の境界となるだろう。 そしてモーセはイスラエルの子らに命じて言った、これはあなたたちがくじによって相続する地である、主が九つの部族とマナセの半部族にそれを与えるよう命じた方法で。 ルベンの息子たちの部族とガドの息子たちの部族が彼らの父祖の家に従って取

り、そしてマナセの部族の半分が彼らの相続地を受け取った。 二つの部族と半分の部族は、ヨルダンの向こう、エリコのあたりで、南から東にかけて、彼らのくじを受け取った。 そして主はモーセに向かって話して言った、これらはその男たちの名前である、彼らはあなたたちのためにその地を相続するだろう。祭司エレアザルとヌンの子ヨシュアである。 そしてあなたたちは部族から一人の支配者を受け取るだろう、あなたたちにその地を相続させるために。 そしてこれらが男たちの名前である。ユダの部族からは、エフネの息子カレブ。 シメオン部族からは、セミウドの息子サラミエル。 ベニヤミン部族の者は、カスロンの息子エルダデ。ダン部族の支配者は、エグリの息子バキル。 ヨセフの息子たちの、マナセの息子たちの部族の支配者は、スフィの息子アニエル。 エフライムの息子たちの部族の支配者、サバタンの息子ケムエル。 ゼブルン族の支配者は、パルナクの息子エリツァファンである。 イッサカルの息子たちの部族の支配者は、ウザの息子パルティエル。 アシェルの息子たちの部族の支配者、セレミの息子アキオル。 ナフタリ部族の支配者は、アミフデの息子ペダヘル。 主はこれらの者に命じた、イスラエルの息子たちにカナンの地を分け与えるように。

35

そして主はモアブの荒野でヨルダン川のほとり、エリコの近くでモーセに語って言った、イスラエルの子らに命じよ、そして彼らは自分たちの相続の割り当て地から町々をレビ人たちに住むために与えなさい、そして町々の周りの放牧地をレビ人たちに与えなさい。そして彼らには住むための都市があるだろう、そして彼らの放牧地

は彼らの家畜のためにあるだろう、そして彼らのすべての四つ足の獣のために。 そして、あなたたちがレビ人たちに与える町々の隣接地は、町の壁から外へ周囲に二千キュビトです。 そしてあなたは町の外を測るだろう、東に向かう側面を二千キュビト、そして南に向かう側面を二千キュビト、そして海に向かう側面を二千キュビト、そして北に向かう側面を二千キュビト。そして町はあなたたちにとってこれの真ん中にあるだろう、そして町々の境界地が。 そしてあなたたちはその町々をレビ人たちに与えるだろう、その六つの逃れの町々を、それらをあなたたちは殺した者がそこに逃げるために与えるだろう、そしてこれらに加えて四十二の町々を。 あなたたちはすべての町をレビ人に与えるだろう、四十八の町を。これらを、そしてそれらの郊外を。 そしてあなたがたがイスラエルの息子たちの所有から与える町々を、多くを持つ者たちからは多く、そして少ない者たちからは少なく、各々が自分の相続地に従って、彼らが相続するその相続地に応じて、町々をレビ人たちに与えるだろう。 そして主はモーセに語って言った、イスラエルの子らに語れ、そして彼らに言え、あなたたちはヨルダンを渡ってカナンの地に入る。 そしてあなたたちはあなたたち自身のために町々を指定しなさい。それらはあなたたちにとって避難所となるだろう、意図せずに魂を打ったすべての者、その殺人者がそこへ逃げるために。 そしてその町々はあなたたちにとって血の復讐者からの避難場所となるだろう、そして殺人者は会衆の前に立って裁きを受けるまで死ぬことはないだろう。 そしてあなたたちが与えるその町々、その六つの町は、あなたたちにとって逃れの場所となるだろう。 三つの町をヨルダンの向こうに与え、三つの町をカナンの地に与えるだろう。 避難所はイスラエルの息子たちのためにあるだろう、そして改宗者のために、そしてあなたがたの中にいる寄留者のために。これらの町は避難所にな

るだろう、意図せずに魂を打った全ての者がそこへ逃げるために。もし鉄の道具で彼を打ち、そして彼が死ぬなら、殺人者である。死によってその殺人者を死なせよ。 もし手の中の石で、それによって人が死ぬであろうところの石で彼を打ち、そして彼が死んだならば、彼は殺人者である。その殺人者は死によって死なされるべし。もし人がそれによって死ぬであろうところの木製の道具を手に持って彼を打ち、そして彼が死ぬならば、殺人者である。死によってその殺人者は殺されるべし。 血の復讐者、この者が殺人者を殺すだろう。この者が彼に会う時、この者は彼を殺すだろう。 もし敵意によって彼を押し、そして待ち伏せからあらゆる器を彼の上に投げつけ、そして彼が死ぬならば、あるいは怒りによって手で彼を打ち、そして彼が死ぬならば、死によって打った者は死なせられるべきである、殺人者である。死によって殺す者は死なせられるべきである。血の復讐者は彼に会う時に殺人者を殺すであろう。 もし突然に、敵意によってではなく彼を押したならば、または待ち伏せからではなく彼の上にあらゆる器を投げたならば、または知らずに、その中で彼が死ぬであろうところのあらゆる石で彼の上に落ちて、そして彼が死んだならば、しかし彼自身は彼の敵ではなかった、そして彼を害することを求めてもいなかった、そして会衆は打った者と血の復讐者との間でこれらの裁きに従って裁くであろう。 そして会衆は殺人者を血の復讐者から救い出すだろう、そして会衆は彼を彼が逃げた彼の避難の町へ戻すだろう、そして彼はそこに住むだろう、彼らが聖なる油で油を注いだ大祭司が死ぬまで。 もしその殺人者が彼がそこに逃げた町の境界を出て行き、そして血の復讐者が彼の避難の町の境界の外で彼を見つけ、そして血の復讐者がその殺人者を殺すなら、彼は有罪ではない。 というのも、避難の町の中に、大祭司が死ぬまで住まわせよ。そして大祭司が死んだ後、殺人者は

彼の所有の地へ帰るであろう。 そして、これらのことはあなたたちにとって裁きの法令となるだろう、あなたたちの世代において、あなたたちのすべての住まいにおいて。 魂を打った全ての者について、証人たちによってその殺した者を殺すだろう。そして一人の証人は魂を死なせることについて証言しないだろう。 そしてあなたたちは身代金を受け取ってはならない、魂について、殺人を犯した者から、その者は有罪であり殺されるべきである、なぜならその者は死によって死刑にされるだろうから。 あなたたちは、逃れの町に逃げた者が大祭司が死ぬ前に再びその地に住むための身代金を受け取ってはならない。 そしてあなたたちが住んでいる土地を殺人で汚してはならない。なぜならこの血は土地を汚すからである。そして土地はその上に注がれた血によっては贖われず、ただその血を注ぐ者の血によってのみ贖われる。 そしてあなたたちは汚してはならない、あなたたちがその上に住んでいるその地を、その上に私があなたたちの中に住んでいる地を。なぜなら私は主だからである、イスラエルの子らの真ん中に住んでいる。

36

そしてヨセフの息子たちの部族からマナセの息子マキルの息子ギレアデの息子たちの部族の支配者たちが近づいて来て、モーセの前で、そして祭司エレアザルの前で、そしてイスラエルの息子たちの父祖の家々の支配者たちの前で語り、そして言った、主は私たちの主にくじによってイスラエルの息子たちに相続の地を与えることを命じられました、そして主は私たちの主に私たちの兄弟ツェロフハデの相続を彼の娘たちに与えることを命じられました。 そして彼女

たちはイスラエルの息子たちの部族の一つの妻になるだろう。そして彼女たちの相続地は私たちの父たちの所有から取り去られるだろう、そしてそれは部族の相続地に加えられるだろう、彼女たちがその妻になる部族に、そして私たちの相続地の相続分から取り去られるだろう。 もしイスラエルの息子たちの解放が起こるならば、彼女たちが妻となる部族の相続財産に彼らの相続財産が加えられるだろう、そして私たちの父祖の部族の相続財産から彼らの相続財産が取り去られるだろう。 そしてモーセは主の命令によってイスラエルの子らに命じて言った、ヨセフの子らの部族はこのように言っている。 これは主がツェロフェハデの娘たちに命じた言葉である、言って、彼女たちの前で喜ばれる者に、彼女たちは妻となれ、しかし彼女たちの父の民から彼女たちは妻となれ。 そしてイスラエルの息子たちの相続財産は部族から部族へ移されないであろう、なぜならイスラエルの息子たちは各々が彼の父の家族の部族の相続財産に固く結ばれるであろうから。 そしてイスラエルの息子たちの部族から相続財産を受け継ぐすべての娘は、彼女の父の民の中の一人の妻となるだろう、イスラエルの息子たちがそれぞれ自分の父祖の相続財産を受け継ぐために。 そして相続地は部族から他の部族へ移されない、しかしイスラエルの子らは各々自分の相続地に固く結ばれる。 主がモーセに命じた通りに、ツェロフハデの娘たちは行った。 そしてツェルフハデの娘たちティルツァとホグラとミルカとノアとマフラは、ヨセフの子孫マナセの民から彼女たちのいとこたちの妻になった。そして彼女たちの相続地は彼女たちの父の民の部族のものとなった。 これらの戒めと律法と裁きは、主がモーセの手によって命じたものである、モアブの西のヨルダンのほとりのエリコの近くで。

申命記

1

これらの言葉をモーセが全イスラエルに語った、ヨルダンの向こうで、荒野で、西に向かって、紅海の近くで、パランとトフェルとロボンとアウロンとディザハブの間で。 ホレブからセイル山を経てカデシュ・バルネアまでは十一日の道のりである。 そして第四十年の第十一の月の一日に起こった。モーセはイスラエルの全ての息子たちに、主が彼に彼らに向かって命じた全てのことに従って語った。ヘシュボンに住んでいたアモリ人の王シホンを打った後、そしてアシュタロテとエデレイに住んでいたバシャンの王オグを打った後、ヨルダンの向こうのモアブの地で、モーセはこの律法を説明し始めた、言って、主我らの神はホレブで我らに語った、言って、この山に住むことはあなたがたに十分である。 あなたたちは向きを変えて出発し、アモリ人の山に入りなさい、そしてすべての隣人たちのところへ、アラバへ、山へ、そして平野へ、そして南へ、そしてカナン人の海岸の地へ、そしてアンチレバノンへ、大きい川まで、ユーフラテス川まで。 見よ、彼はあなたがたの前にその地を引き渡した。入って行ってその地を相続せよ、それは私があなたがたの父た

ちアブラハムとイサクとヤコブに、彼らと彼らの後の彼らの子孫に与えると誓った地である。 そして私はあの時、あなたたちに言った、私は一人ではあなたたちを担うことができない。 あなたがたの主なる神はあなたがたを増やされた、そして見よ、あなたがたは今日、天の星のようにその数において多い。 あなたがたの父たちの神である主が、あなたがたに今あるままで千倍を加えられますように、そしてあなたがたに語られたとおりにあなたがたを祝福されますように。 私一人でどうやってあなたたちの労苦とあなたたちの重荷とあなたたちの争いを負うことができるだろうか。 あなたたちの部族の中に、自分たちのために賢い男たちと知識のある男たちと分別のある男たちを与えなさい、そして私は彼らをあなたたちの上に、あなたたちの指導者として任命するだろう。 そしてあなたたちは私に答えて言った、あなたが話した言葉を実行するのは良いことです。 そして私はあなたがたの中から賢く知識があり聡明な男たちを受け取り、そして私は彼らをあなたがたの上に導く者として千人隊長と百人隊長と五十人隊長と十人隊長とあなたがたの裁判官たちのための書記官として任命した。そして私はあなたがたの裁判官たちにあの時に命じて言った、あなたがたの兄弟たちの間で聞き、そして男と兄弟と彼の寄留者の間で正しく裁け。 あなたは裁きにおいて人を偏り見てはならない、小さい者も大きい者も同じように裁かなければならない、あなたは人の顔を恐れて退いてはならない、なぜなら裁きは神のものだからである。そしてもしあなたたちにとって難しい事柄があれば、あなたたちはそれを私のもとに持って来なさい、そうすれば私はそれを聞くであろう。 そして私はその時にあなたたちに、あなたたちが行うべきすべての言葉を命じた。 そして私たちはホレブから出発して、あなたがたが見たあの大きくて恐ろしい荒野のすべてを、アモリ人の山への道を、私たちの神である主

が私たちに命じられた通りに旅して、カデシュ・バルネアまで来た。 そして私はあなたたちに言った、あなたたちは私たちの主なる神があなたたちに与えるアモリ人の山まで来た。 見よ、主、あなたがたの神が、あなたがたの前に、その地を、あなたがたに渡された。上って行って、主、あなたがたの父たちの神が、あなたがたに言われた通りの方法で、相続せよ。恐れるな、またおじけづくな。 そしてあなたたち全員が私に近づいて来て、そして言った、私たちより先に男たちを送りましょう、そして彼らに私たちのためにその地を偵察させましょう、そして彼らに私たちに答えを報告させましょう、私たちがそれを通って上って行く道と、私たちが入って行く町々について。 そしてその言葉は私を喜ばせた。そして私はあなたたちから十二人の男たちを取った、各部族から一人ずつ。 そして引き返して彼らは山へ登り、ぶどうの房の谷まで来て、それを偵察した。 そして彼らはその地の果実を彼らの手に取り、あなたたちのところへ運び下ろし、そして彼らは言っていた、我々の主なる神が我々に与えるその地は良い地だ。 そしてあなたたちは上って行くことを望まなかった、しかしあなたたちは私たちの神である主の言葉に従わなかった。 そしてあなたたちはあなたたちの天幕の中で不平を言っていた、そしてあなたたちは言った、主が私たちを憎んでいるために、彼は私たちをエジプトの地から導き出した、私たちをアモリ人の手に引き渡すために、私たちを完全に滅ぼすために。 私たちはどこへ登っているのですか。 あなたたちの兄弟たちはあなたたちの心を離反させた、言って、民族は大きくて多くて私たちよりも強い、そして都市たちは大きくて天まで城壁で囲まれている。しかもまた巨人たちの息子たちを私たちはあそこで見た。 そして私はあなたたちに言った、恐れるな、また彼らを怖がってはいけない。 あなたがたの神である主、あなたがたの前を進んで行く方、彼自身が

あなたがたと共に彼らと戦うだろう、エジプトの地においてあなたがたのためになしたすべてのことに従って、そしてあなたがたが見たこの荒野において、アモリ人の山への道において。主あなたの神があなたを養い育てたように、ちょうど人が自分の息子を養い育てるように、あなたがたが歩いたすべての道において、あなたがたがこの場所に来るまで。 そしてこの言葉において、あなたたちは私たちの主なる神を信頼しなかった。その方はあなたたちより先に道を行き、あなたたちのために場所を選び、夜には火であなたたちを導き、あなたたちが行くべき道を示し、昼には雲で導いた。 そして主はあなたたちの言葉の声を聞いた、そして怒って誓って言った、エフネの息子カレブを除いて、これらの男たちの誰かが私が彼らの父たちに誓ったこの良い地を見ることがあるだろうか、この者がそれを見るだろう、そしてこの者に私は彼が踏んだ地を与えるだろう、そして彼の息子たちに、彼が主に専心したことのゆえに。 そして主は私に対してあなたたちのことで怒り、あなたもそこに入ることはないと言われた。 ヌンの息子ヨシュア、あなたのそばに立っている者、この者がそこに入るだろう。彼を強くしなさい、なぜなら彼がそれをイスラエルに相続させるだろうから。 そして今日善か悪を知らないすべての幼い子供たち、彼らはそこに入るだろう、そして私は彼らにそれを与えるだろう、そして彼ら自身がそれを相続するだろう。 そしてあなたたちは引き返して荒野に野営した、紅海の方へ向かう道を通って。 そしてあなたたちは答えて言った、私たちは私たちの神である主の前に罪を犯した。私たちは登って行って、私たちの神である主が私たちに命じたすべてのことに従って戦おう。そして各自が自分の武器を取り上げて、集まって、あなたたちは山へ登る。 そして主は私に言った、彼らに言え、あなたたちは上って行ってはならない、また戦ってはならない、なぜなら私はあなたた

ちと共にいないからだ、そうすればあなたたちはあなたたちの敵の前で打ち砕かれることはないだろう。 そして私はあなたたちに話した、しかしあなたたちは私の言うことを聞かなかった。そしてあなたたちは主の言葉に背いた。そして無理に進んであなたたちは山に登った。 そして、あの山に住んでいたアモリ人が、あなたたちに向かって出て来て、蜂がするように、あなたたちを追いかけ、セイルからホルマまで、あなたたちを打ち負かした。 そして座って、あなたたちは私たちの神である主の前で泣いていた、そして主はあなたたちの声を聞かなかった、またあなたたちに注意を払わなかった。そしてあなたたちはカデシュに多くの日々滞在した、かつてあなたたちが滞在した日々と同じくらい多くの日々を。

2

そして振り返って、私たちは荒野へ出発した、紅海への道を、主が私に語った通りに、そして私たちは多くの日々セイル山を囲んだ。そして主は私に言った、あなたがたがこの山を回ることは十分である。だから北へ向きを変えなさい。そして民に命じなさい、言って、あなたがたはセイルに住んでいるあなたがたの兄弟たちエサウの息子たちの境界を通って進む、そして彼らはあなたがたを恐れるだろう、そして彼らはあなたがたを非常に警戒するだろう 彼らに対して戦争を仕掛けるな。なぜなら私はあなたたちに彼らの土地から足の踏み場さえも与えないからだ。それは私が相続地としてエサウの息子たちにセイルの山を与えたからである。 銀で食べ物を彼らから買いなさい、そして食べなさい。そして水を量りで彼らから銀で受け取りなさい、そして飲みなさい。 というのも、主である我々の

神があなたの手のすべての働きにおいてあなたを祝福したからである。あなたがあの大きくて恐ろしい荒野をどのように通り抜けたか、よく知りなさい。見よ、四十年間、主であるあなたの神があなたと共にいた。あなたは何も欠くことがなかった。 そして私たちは、セイルに住んでいる私たちの兄弟たちエサウの子孫のそばを、アラバの道に沿って、エイラトとエツヨン・ゲベルから通り過ぎた。そして向きを変えて、私たちはモアブの荒野の道を通って行った。 そして主は私に言った、モアブ人たちに敵対するな、そして彼らに向かって戦争を仕掛けるな。というのも私は彼らの地からあなたたちに相続地として与えないからだ、というのもロトの息子たちにアロエルを相続させるために与えたからだ。 エミム人が以前そこに住んでいた。大きくて数が多くて強い民族で、ちょうどアナキム人のようだった。 これらの者たちもアナキムと同じようにレファイムと数えられるだろう。そしてモアブ人たちは彼らをエミムと呼ぶ。 そしてセイルにはホリ人が以前住んでいた、そしてエサウの息子たちが彼らを滅ぼし、そして彼らを彼らの面前から滅ぼした。 そして彼らは彼らの代わりに定住させられた、イスラエルが彼の相続の地にしたやり方と同じように、それを主が彼らに与えた。 さあ、だからあなたたちは立ち上がって出発しなさい、そしてザレデの谷を通過しなさい。 そして私たちがカデシュ・バルネアから旅をして、ザレデの谷を通り過ぎるまでの日々は、三十八年であった、すべての世代の戦士の男たちが宿営から死んで滅びるまで、主なる神が彼らに誓ったとおりに。 そして神の手は、彼らが倒れるまで、陣営の真ん中から彼らを完全に滅ぼすために、彼らの上にあった。 そして、すべての戦士である男たちが民の中から死んで倒れたとき、それが起こった。そして主は私に語って言った、あなたは今日モアブの境界アロエルのそばを通り過ぎるだろう。そしてあなたたちは

アンモンの子らの近くに近づくだろう。彼らに敵対してはならない、また彼らと戦争に加わってはならない。なぜなら私はアンモンの子らの地からあなたに相続地として与えないからである。なぜなら私はそれをロトの子らに相続地として与えたからである。 その地はレファイムの地と見なされるだろう、というのもかつてその地にレファイム人が住んでいたからである、そしてアンモン人は彼らをザムズミムと呼ぶ。 偉大で多くてあなたたちよりも強力な民族、ちょうどアナキム人のように。そして主は彼らの前で彼らを滅ぼし、そして彼らの代わりに所有して定住した、この日まで。 エサウの息子たちがセイルに住んでいる者たちに対してしたのと同じように、彼らは彼らの前からホリ人を滅ぼし、そして彼らを追い出して所有し、そして彼らの代わりに定住した、この日まで。 そしてアシュドドからガザまで住んでいたアビ人を、カッパドキアから出て来たカッパドキア人が滅ぼし、彼らの代わりに定住した。 さあ、だから立ち上がれ、そして出発しろ、そしてあなたたちはアルノンの谷を通過しろ。見よ、私はあなたの手にヘシュボンの王シホン、そのアモリ人と彼の地を引き渡した。受け継ぐことを始めろ。この日に彼に向かって戦争を仕掛けろ。 始めよ、あなたの震えとあなたの恐れを天の下のすべての国々の面前に与えることを。彼らはあなたの名を聞いて動揺するであろう、そして彼らはあなたの面前から産みの苦しみを持つであろう。 そして私はケデモテの荒野から使節たちをヘシュボンの王シホンへ平和的な言葉で送った、言って、私はあなたの地を通過するでしょう。道の中を私は行くでしょう。私は右にも左にも曲がらないでしょう。 食べ物を銀で私に売ってくれ、そして私は食べるだろう。そして水を銀で私に売ってくれ、そして私は飲むだろう。ただ私が足で通り過ぎることだけだ。セイルに住んでいるエサウの息子たちが私にしたように、そしてアロエルに住

んでいるモアブ人たちがしたように。私がヨルダンを通り過ぎて、主である私たちの神が私たちに与える地に入るまで。 そしてヘシュボンの王シホンは私たちが彼の地を通って通過することを望まなかった、なぜなら私たちの主なる神が彼の霊を頑なにし、そして彼の心を強くしたからである、彼があなたの手に引き渡されるために、この日のように。 そして主は私に言った。見よ、私はあなたの前にヘシュボンの王シホン、アモリ人と彼の地を引き渡すことを始めた。そして彼の地を相続することを始めよ。 そしてヘシュボンの王シホンは私たちとの戦いのために出て来た、彼自身と彼の全ての民が、ヤハツへ。 そして私たちの主なる神は彼を私たちの前に引き渡した。そして私たちは彼と彼の息子たちと彼のすべての民を打った。 そして我々はあの時に彼の全ての都市を奪った、そして我々は全ての都市を次々と完全に滅ぼした、そして彼らの女たちと彼らの子供たちも。我々は生存者を残さなかった。 ただし家畜は略奪し、町々の戦利品を取った。アルノン川の岸辺にあるアロエルから、谷にある町、そしてギレアデの山まで。私たちから逃れた町は一つも存在しなかった。 すべてのものを私たちの神である主が私たちの手に引き渡した。 ただし、アンモンの子らの近くには我々は近づかなかった。ヤボク川に接するすべてのものと、山地にある町々も、我々の主なる神が我々に命じたとおりに。

3

そして引き返して、私たちはバシャンへの道を登った。そしてバシャンの王オグが私たちに会うために出て来た、彼自身と彼のすべての民が戦いのためにエドレイへ。 そして主は私に言った、彼を恐

れるな、なぜなら私はあなたの手に彼を引き渡したからだ、そして彼のすべての民と、そして彼のすべての地を。そしてあなたは彼にするだろう、ちょうどあなたがヘシュボンに住んでいたアモリ人の王シホンにしたように。 そして私たちの主なる神は彼を私たちの手に引き渡した、そしてバシャンの王オグと彼のすべての民を。そして私たちは彼を打った、彼の子孫を残さないまでに。 そして我々はその時に彼のすべての町々を奪った。我々が彼らから取らなかった町は一つもなかった。六十の町々、バシャンにおけるオグ王のアルゴブのすべての周辺地域。すべての町々は要塞化されていた、高い壁、門と閂。非常に多いペリジ人の町々を除いて。 私たちは完全に破壊した、ちょうど私たちがヘシュボンの王シホンにしたように、そして私たちは次々にすべての町を、そして女たちを、そして子供たちを、そしてすべての家畜を完全に破壊した。そして町々の戦利品を私たち自身のために略奪した。 そして私たちはあの時にその地をアモリ人の二人の王たちの手から取った。彼らはヨルダンの向こうにいた、アルノンの急流からヘルモンまで。フェニキア人たちはヘルモンをサニオルと呼ぶ、そしてアモリ人はそれをサニルと名付けた。ミソルのすべての町々、そしてすべてのギレアデ、そしてすべてのバシャン、エルカとエドライムまで、バシャンにおけるオグの王国の町々。なぜならオグ、バシャンの王だけがレファイムから残されたから。見よ、彼のベッドは鉄のベッドだ、見よ、これはアンモンの子らの城塞にある。その長さは九キュビト、そしてその幅は四キュビト、人のキュビトで。 そして私たちはあの時にあの土地を相続した、アルノン川の岸辺にあるアロエルから、そしてギレアデ山の半分、そしてその町々を私はルベンとガドに与えた。 そしてギレアデの残りと、すべてのバシャン、オグの王国を、私はマナセ部族の半分に与えた。そしてアルゴブの周辺地域全体、あのバシャン

全体は、レファイムの地と見なされるだろう。 そしてマナセの息子ヤイルはアルゴブのすべての周辺地域をゲシュルとマアカの境界まで取った。彼はそれらを彼の名によってバシャン・ハボテ・ヤイルと名付けた、今日まで。 そして、マキルにギレアデを与えた。 そして私はルベンとガドにギレアデからアルノンの急流まで、急流の真ん中が境界、そしてヤボクまでを与えた。その急流はアンモンの子らへの境界である。そしてアラバとヨルダンが境界でキネレテ、そしてアラバの海まで、塩の海、東のピスガのアシュドテのもとまで。 そして私はあの時にあなたたちに命じて言った、主あなたたちの神はあなたたちにこの地を相続として与えた。武装して、あなたたちの兄弟たちイスラエルの子らの前を進め、力ある者たちよ。 ただし、あなたたちの妻たちとあなたたちの子供たちとあなたたちの家畜は、私はあなたたちに多くの家畜があることを知っているが、私があなたたちに与えたあなたたちの町々に住まわせなさい、あなたたちの神である主が、あなたたちと同じようにあなたたちの兄弟たちにも休息を与え、そして彼らも私たちの神である主がヨルダンの向こうで彼らに与えている土地を相続するまで。そしてあなたたちは各々、私があなたたちに与えた自分の相続地へ戻るであろう。 そして私はあの時ヨシュアに命じて言った、あなたがたの目は、私たちの主なる神がこれら二人の王たちになさったすべてのことを見た。私たちの主なる神は、あなたがそこへ渡って行くすべての王国に対しても、同じようになさるだろう。 あなたがたは彼らを恐れてはならない。なぜなら、主である私たちの神ご自身があなたがたのために戦われるからである。 そして私はあの時に主に祈り求めて、言った、主なる神よ、あなたはあなたのしもべにあなたの力とあなたの権能とその力強い手とその高い腕を示し始めました。というのも天においてまたは地の上において、あなたがなさったように行

い、あなたの力に従って行うことができる神が誰かいるでしょうか。 渡るので、それゆえ私はヨルダンの向こう側にあるこの良い土地、この良い山、そしてアンチレバノンを見るだろう。 そして主はあなたたちのゆえに私を顧みず、私の言うことを聞かなかった。そして主は私に言った、それはあなたに十分である。この言葉をもう語るな。 切り出された岩の頂上に登れ、そしてあなたの目を海と北と南と東に向けて見上げて、あなたの目で見よ、なぜならあなたはこのヨルダン川を渡らないからだ。 そしてヨシュアに命じて、彼を強くし、彼を励ませ。なぜならこの者がこの民の前を渡るだろうし、この者が彼らにあなたが見た全ての地を相続させるだろうからだ。 そして私たちはペオルの家の近くの谷に陣を張った。

4

そして今、イスラエルよ、聞け、その掟と裁きを、私が今日あなたたちに教える多くのものを行うために、あなたたちが生きるために、そしてあなたたちが増え広がるために、そして入って行ってその地を受け継ぐために、主、あなたたちの父たちの神が、あなたたちに与える地を。 私があなたがたに命じる言葉に、あなたがたは付け加えてはならず、またそれから取り除いてもならない。私が今日あなたがたに命じるすべてのことである、私たちの神、主の戒めを守りなさい。 あなたがたの目は、私たちの主なる神がバアル・ペオルに対して行ったすべてのことを見た。なぜなら、バアル・ペオルに従って行ったすべての人を、あなたがたの主なる神があなたがたの中から滅ぼしたからである。 しかしあなたたちの神である主に献身しているあなたたちは、皆今日生きている。 見よ、私はあなたた

ちに掟と裁きを示した、主が私に命じたとおりに、あなたたちが入って行ってそれを相続する地においてそのようにするように。 そしてあなたたちは守り、そして行うだろう。なぜならこれはあなたたちの知恵であり、そしてすべての国々の前での理解であるから、これらすべての律法を聞くであろう者たちがどれだけ多くても。そして彼らは言うだろう、見よ、賢く知識のある民、この偉大な国を。 どんな偉大な国民に、私たちが彼を呼び求めるすべてのことにおいて私たちの主なる神がそうであるように、神が近づいているのか。 そしてどんな偉大な国民が、法令と正しい裁きを持っているのか、このすべての律法に従って、それを私が今日あなたたちの前で与える。 自分自身に注意を払い、あなたの魂を非常に守れ。あなたの目が見たすべての言葉を忘れるな、そしてそれらがあなたの人生のすべての日々あなたの心から離れないようにせよ。そしてあなたの息子たちとあなたの孫たちに教えよ、あなたたちがホレブにおいて集会の日に私たちの神である主の前に立った日のことを。その時主は私に言われた、私のもとに民を集めよ、そして彼らに私の言葉を聞かせよ、彼らが地の上で生きるすべての日々私を恐れることを学ぶために、そして彼らは自分たちの息子たちを教えるであろう。そしてあなたたちは近づいて来て、山のそばに立った。そして山は天まで火で燃えていた。暗闇、闇、嵐。 そして主はあなたたちに火の真ん中から言葉の声を語った、それをあなたたちは聞いた。そしてあなたたちは似姿を見なかった、ただ声だけを。そして彼はあなたたちに彼の契約を告げた、それを彼はあなたたちに行うように命じた、十の言葉を、そして彼はそれらを二つの石の板の上に書いた。 そしてその時に主は私に命じた、あなたたちに掟と裁きを教えることを、あなたたちがそれらを行うために、あなたたちがそこに入って行って相続するその地の上で。 そしてあなたたちは非常にあ

なたたちの魂を守りなさい、なぜなら主があなたたちに向かってホレブの山で火の真ん中から語った日に、あなたたちは何の似姿も見なかったからだ。 不法なことをするな、そしてあなたがた自身のために彫刻された像、すなわちすべての像、男の像または女の像、地上にいるすべての獣の像、天の下を飛ぶすべての翼のある鳥の像、地上を這うすべての這うものの像、地の下の水の中にいるすべての魚の像を作るな。 天を見上げて、太陽と月と星々を見て、天の全ての世界を見て、迷わされてそれらを拝み、それらに仕えることがないように。それらはあなたの神である主が天の下の全ての国々に割り当てたものである。 しかし神はあなたたちを取り、あなたたちをエジプトの地から、鉄の炉から、エジプトから導き出した、この日のように、彼のものである相続の民となるために。 そして主なる神は、あなたがたによって言われたことについて私に怒り、私がこのヨルダンを渡らないように、そして主なるあなたの神があなたに相続地として与える地に私が入らないように誓われた。 私はこの地で死ぬのだから、このヨルダン川を渡らない。しかしあなたたちは渡って、この良い地を相続するだろう。 あなたがたは自分自身に注意しなさい、私たちの神である主の契約を忘れてはならない、その契約は主があなたがたに対して結ばれたものである、そして不法を行ってはならない、そしてあなたがたの神である主があなたに命じられたすべてのものの彫刻された似姿をあなたがた自身のために作ってはならない。 なぜなら、あなたの主なる神は焼き尽くす火であり、嫉妬深い神だからである。 もしあなたが息子たちとあなたの息子たちの息子たちを生み、その地の上に長く留まり、不法を行い、すべてのものの彫像の似姿を作り、あなたがたの神である主の前で悪を行って彼を怒らせるなら、私は今日あなたがたに天と地を証人として呼ぶ。なぜならあなたがたは滅びをもって滅びるであろ

うからだ、その地から、あなたがたがヨルダンを渡ってそこで相続するその地から。あなたがたはその上で長く日々を過ごさないであろう、しかし完全に滅ぼされるであろう。 そして主はあなたたちをすべての国々の中に散らすだろう、そしてあなたたちは、主があなたたちをそこに導き入れるすべての国々の中に、数において少数で残されるだろう。 そしてあなたたちはそこで他の神々、人間の手の作品である木と石に仕えるだろう、それらは見ることもなく、聞くこともなく、食べることもなく、匂いを嗅ぐこともない。 そしてあなたがたはそこであなたがたの神である主を求めるだろう、そしてあなたがたは彼を見つけるだろう、あなたがあなたの心の全てから、そしてあなたの魂の全てから、あなたの苦難の中で彼を探し求める時。そしてこれらの全ての言葉があなたを見つけるだろう、日々の終わりに、そしてあなたはあなたの神である主に立ち返るだろう、そしてあなたは彼の声を聞くだろう。なぜならあなたの神である主は憐れみ深い神だから。彼はあなたを見捨てないだろう、そして彼はあなたを滅ぼさないだろう。彼はあなたの父たちの契約を忘れないだろう、主が彼らに誓ったものを。 あなたより前にあった昔の日々について尋ねなさい、神が地の上に人を創造した日から、そして天の端から天の端まで、このような偉大な言葉に従って起こったことがあるか、このようなことが聞かれたことがあるか、民族が火の真ん中から語る生ける神の声を聞いたことがあるか、あなたが聞いて生きたように、神が入って来て試練と、しるしと、不思議と、戦争と、力強い手と、高い腕と、偉大な幻によって、民族の真ん中から自分のために民族を取ろうと試みたことがあるか、主である私たちの神がエジプトであなたが見ている前で行ったすべてのことに従って。それはあなたが知るためである、主であるあなたの神、この方が神であり、そして彼以外にはいないと。 天から彼の声

が聞こえるようになった、あなたを教えるために、そして地の上で彼はあなたに彼の大いなる火を見せた、そしてあなたは火の真ん中から彼の言葉を聞いた。 彼があなたの父たちを愛したことのゆえに、彼は彼らの後の子孫であるあなたたちを選び、そして彼は自らその大いなる力でエジプトからあなたを導き出した、あなたの前であなたより大きくて強い国々を完全に滅ぼすために、あなたを導き入れて彼らの地をあなたに与えて相続させるために、今日あなたが持っているように。 そしてあなたは今日知るだろう、そしてあなたは心に立ち返るだろう、主あなたの神この方は天において上に、そして地の上に下に神であり、彼を除いて他にいないことを。 そして彼の戒めを守りなさい、そして彼の掟を、私が今日あなたに命じる限りのものを、それはあなたにとって良くなるため、そしてあなたの後のあなたの息子たちにとって、あなたたちが主あなたの神があなたに与える地の上で長生きする者となるため、すべての日々の間。 その時モーセはヨルダンの向こう、太陽の昇る方に三つの町を分け隔てた。そこへ殺人者が逃げるために、その者が隣人を知らずに殺した者で、そしてこの者が昨日と一昨日の前に彼を憎んでいなかった者、そして彼はこれらの町の一つへ逃げ込むであろう、そして生きるであろう。ルベンのための平地の地の荒野にあるボソル、そしてガドのためのギレアデにあるラモテ、そしてマナセのためのバシャンにあるゴラン。 これはモーセがイスラエルの子らの前に示した律法である。 これらの証と掟と裁きは、モーセがイスラエルの子らに語ったものである、彼らがエジプトの地から出た後、ヨルダンの向こうの谷で、ペオルの家の近くで、ヘシュボンに住んでいたアモリ人の王シホンの地で、モーセとイスラエルの子らが彼を打った、彼らがエジプトの地から出た後。 そして彼らは彼の地と、バシャンの王オグの地を相続した、アモリ人の二人の王たちの地を、

彼らはヨルダンの向こう側の太陽の昇る東にいた、アルノンの急流の岸の上にあるアロエルから、そしてシホンの山の上に、それはヘルモンである、ヨルダンの向こう側の太陽の昇る東のすべてのアラバを、切り出された岩のアシドテのもとまで。

5

そしてモーセは全イスラエルを呼び、そして彼らに言った、聞けイスラエルよ、その掟とその裁きを、私が今日あなたがたの耳に語るものを、そしてあなたがたはそれらを学び、そしてあなたがたはそれらを行うように守るであろう。 主なるあなたがたの神は、ホレブにおいてあなたがたと契約を結ばれた。 主はあなたがたの父たちとこの契約を結んだのではなく、今日ここで生きているあなたがたすべてと結んだのだ。 顔と顔を合わせて、主は山で火の真ん中からあなたたちに語った。 そして私はあの時、主とあなたがたの間に立っていた。主の言葉をあなたがたに告げるためである。なぜならあなたがたは火の前を恐れて、山に登らなかったからである。私は言った、私はあなたの神、主である。エジプトの地から、奴隷の家からあなたを導き出した者である。 あなたは私の前に他の神々を持ってはならない。 あなたは自分自身のために偶像を作ってはならない、またいかなる似姿も作ってはならない、上の天にあるものの、そして下の地にあるものの、そして地の下の水の中にあるものの。 あなたは彼らを礼拝してはならない、また彼らに仕えてはならない。なぜなら私は主、あなたの神、嫉妬深い神であり、父たちの罪を子供たちに報いる者、第三と第四の世代に、私を憎む者たちに。そして憐れみを千代に行う者である、私を愛する者たちと私の戒めを守る

者たちに。 あなたの神である主の名をみだりに唱えてはならない。主であるあなたの神は、その名をみだりに唱える者を罰せずにはおかないからである。 安息日の日を守り、それを聖別せよ、あなたの神、主があなたに命じた通りに。 六日間働き、そしてあなたのすべての仕事をするだろう。しかし七日目の日は安息日、あなたの神である主のものである。その日にはいかなる仕事もしてはならない、あなたも、あなたの息子も、あなたの娘も、あなたの召使いも、あなたの女召使いも、あなたの牛も、あなたの荷役獣も、あなたのすべての家畜も、あなたのもとに寄留している寄留者も。それはあなたの召使いとあなたの女召使いとあなたの荷役獣が休むためである、ちょうどあなたと同じように。 そしてあなたは思い出すだろう、あなたがエジプトの地で奴隷であったことを、そしてあなたの神である主が力強い手と高く上げられた腕であなたをそこから導き出したことを。このゆえにあなたの神である主はあなたに命じられた、安息日を守りそれを聖別するようにと。 あなたの父とあなたの母を敬いなさい、あなたの神である主があなたに命じた通りに、それはあなたが幸せになるため、そしてあなたが長生きするため、あなたの神である主があなたに与える地の上で。 殺してはならない。姦淫するな。 盗むな。 あなたの隣人に対して偽りの証言をしてはならない。 あなたの隣人の妻を欲しがってはならない。あなたの隣人の家を欲しがってはならない、彼の畑も、彼の子供も、彼の女奴隷も、彼の牛も、彼のろばも、彼のすべての家畜も、あなたの隣人のものであるすべてのものも。 主はこれらの言葉をあなたがたの全集会に向かって、山で火の真ん中から語った。暗闇、闇、嵐、大きな声で。そして付け加えなかった。そしてそれらを二つの石の板の上に書いて、私に与えた。 そしてあなたたちが火の真ん中から声を聞いたとき、そして山が火で燃えていたとき、こうなった。そしてあ

なたたちの部族の指導者たち全員と、あなたたちの長老会議が私のところに近づいてきた。そしてあなたたちは言った。見よ、私たちの主なる神が私たちに彼の栄光を示した。そして私たちは火の真ん中から彼の声を聞いた。この日に私たちは、神が人に語りかけ、そして彼は生きるということを見た。 そして今、私たちは死なないようにしよう。なぜならもし私たちが私たちの神である主の声をさらに聞き続けるなら、この大きな火が私たちを焼き尽くし、私たちは死ぬだろうから。 誰が肉体であって、火の真ん中から話している生ける神の声を、私たちのように聞いて、生きるだろうか。 あなたが近づいて、主である私たちの神が言われるであろう全てのことを聞きなさい。そしてあなたが私たちに、主である私たちの神があなたに話されるであろう全てのことを話してください。そうすれば私たちは聞いて、行います。 そして主はあなたたちが私に向かって話している言葉の声を聞いた。そして主は私に言った、私はこの民があなたに話した言葉の声をすべて聞いた。彼らが話したことはすべて正しい。 誰が彼らにこのような心を与えるだろうか、私を恐れ私の戒めの全てを日々守るために、彼らと彼らの息子たちが永遠に幸せであるために。 行け、私は彼らに言った、あなたたちはあなたたちの家へ帰れ。しかしあなたはここで私と共に立て、そして私はあなたに戒めと掟と裁きを語ろう、あなたが彼らに教える全てのものを、そして彼らにそのようにさせよ、私が彼らに相続地として与える地において。 そしてあなたがたは主なるあなたがたの神があなたに命じた方法を行うことを守るだろう。あなたがたは右にも左にも曲がらないだろう。主なるあなたがたの神があなたに命じたすべての道に従って、あなたがたはその中を歩くだろう。それは彼があなたを休ませるため、そしてあなたに良くあるため、そしてあなたがたがあなたがたが相続するその地の上で長く生きるためである。

6

そしてこれらの戒めと律法と裁きは、私たちの神である主があなたがたに教えて行わせるよう命じられたものです、このように、あなたがたがそこに入って行ってそれを相続するその地において。 あなたがたが自分たちの神である主を恐れるために、彼のすべての掟と彼の戒めを守りなさい、それらを私が今日あなたに命じる、あなたとあなたの息子たちとあなたの孫たちがあなたの人生のすべての日々において、そうすればあなたがたは長く生きるだろう。 そしてイスラエルよ聞け、そして守って行え、あなたにとって良くあるように、そしてあなたたちが非常に増えるように、ちょうど主、あなたの父たちの神が語ったように、あなたに乳と蜜が流れる地を与えると。そしてこれらの掟と裁き、主がイスラエルの子らに荒野で命じたもの、彼らがエジプトの地から出て来た時に。 聞けイスラエルよ、主、私たちの神、主は唯一である。 そしてあなたはあなたの主なる神を、あなたの思いの全てから、そしてあなたの魂の全てから、そしてあなたの力の全てから愛するだろう。 そして、これらの言葉、私が今日あなたに命じるすべてのものは、あなたの心の中に、そしてあなたの魂の中にあるだろう。 そしてあなたはそれらをあなたの息子たちに熱心に教えるだろう、そしてあなたはそれらについて話すだろう、家に座っている時に、そして道を行く時に、そして横たわる時に、そして起き上がる時に。 そしてあなたはそれらをあなたの手の上にしるしとして結びつけるだろう、そしてそれはあなたの目の前で揺るがないものになるだろう。 そしてあなたたちはそれらをあなたたちの家の門柱と門に書くだろう。 そしてそれは起こるだろう、あなたの主なる神があなたをその地に連れて入る

時、その地を彼はあなたの父たちに、アブラハムに、そしてイサクに、そしてヤコブに誓った、あなたに与えるために、大きくて良い町々を、それらをあなたは建てなかった、すべての良いもので満ちた家々を、それらをあなたは満たさなかった、掘られた貯水槽を、それらをあなたは掘らなかった、ぶどう園とオリーブ園を、それらをあなたは植えなかった、そして食べて、そして満たされて、あなた自身に注意しなさい、忘れないように、あなたの主なる神を、あなたをエジプトの地から、奴隷の家から連れ出した方を。 あなたの主なる神を恐れ、彼だけに仕え、彼にすがり、彼の名によって誓うだろう。 あなたがたの周りの国々の神々の中から他の神々の後を行ってはならない、なぜならあなたの神である主なる神は熱心な神であってあなたがたの中におられるから。あなたの神である主があなたがたに対して怒りをもって怒り、あなたがたを地の面から滅ぼすことがないように。 あなたの神である主を試してはならない、あなたたちがあの試練において試したように。 守りながら、あなたはあなたの神である主の戒めと証と掟を守るでしょう、彼があなたに命じたすべてのものを。 そしてあなたはあなたの神である主の前で喜ばしいことと良いことを行うだろう、それはあなたに良くなるために、そしてあなたが入り、その良い地を相続するために、それを主があなたたちの父たちに誓った、主が語ったように、あなたの全ての敵たちをあなたの顔の前から追い出すことを。 そしてそうなるだろう、いつかあなたの息子があなたに明日尋ねる時、その証しと、その掟と、その裁きとは何であるか、我らの神である主が我らに命じたものはと言いながら。 そしてあなたは自分の息子に言うだろう、私たちはエジプトの地でファラオの僕だった、そして主は力強い手と高い腕で私たちをそこから導き出した。 そして主はしるしと不思議、大きくて悪いものをエジプトにおいて、ファラオと彼の

家において私たちの前で与え、そして私たちをそこから導き出した、私たちにこの地を与えるために、それを私たちの父たちに与えると誓った地を。 そして主は私たちに命じられた、これらすべての掟を行うことを。私たちの神である主を恐れることを、私たちにとって良くあるために、すべての日々において、私たちが生きるために、ちょうど今日のように。 そして、もし私たちが私たちの神である主の前でこれらすべての戒めを守り行うならば、私たちに憐れみがあるだろう、ちょうど彼が私たちに命じたとおりに。

7

もしあなたの主なる神があなたをその地に導き入れ、あなたがそこに入って行ってそれを相続し、そして神があなたの前から大いなる国々を取り除く、ヒッタイト人とギルガシ人とアモリ人とカナン人とペリジ人とヒビ人とエブス人、あなたがたより多くて強い七つの国々を。そしてあなたの主なる神が彼らをあなたの手に渡し、あなたが彼らを打つ。滅ぼしをもって彼らを滅ぼせ。彼らと契約を結んではならない、また彼らを憐れんではならない、また彼らと婚姻を結んではならない。あなたの娘を彼の息子に与えてはならない、そして彼の娘をあなたの息子のために娶ってはならない。 なぜなら彼女はあなたの息子を私から引き離すだろう、そして彼は他の神々に仕えるだろう。そして主は怒りをもってあなたたちに対して怒られるだろう、そして速やかにあなたを滅ぼすだろう。 しかしこのようにあなたがたは彼らに対してするだろう。彼らの祭壇をあなたがたは取り壊すだろう、そして彼らの柱をあなたがたは砕くだろう、そして彼らの聖なる木立をあなたがたは切り倒すだろう、そして彼ら

の神々の彫像をあなたがたは火で焼き尽くすだろう。 あなたは主なるあなたの神にとって聖なる民である。そして主なるあなたの神はあなたを選んだ、彼にとって宝の民となるために、地の面の上にあるすべての国々の中から。 あなたたちがすべての国民の中で数が多いから、主があなたたちを選び、主があなたたちを選んだのではない。あなたたちはすべての国民の中で少ないのだから。 しかし主があなたがたを愛することによって、そして主があなたがたの父たちに誓った誓いを守ることによって、主はあなたがたを力強い手で導き出し、そして主はあなたを奴隷の家から、エジプトの王ファラオの手から贖った。 そしてあなたは知るだろう、主あなたの神、この方が神であることを。神は忠実な方、契約と憐れみを守る方、彼を愛する者たちと彼の戒めを守る者たちに千の世代へと、そして憎む者たちには面と向かって報いて彼らを完全に滅ぼす。そして憎む者たちには遅れない。面と向かって彼らに報いるだろう。 そしてあなたは、その戒めと、その掟と、その裁き、これらを守るだろう、私が今日あなたに行うように命じるものすべてを。 そしてあなたがたがこれらの掟を聞き、守り、それらを行うとき、あなたの神である主は、彼があなたがたの父たちに誓った契約と憐れみをあなたのために守るだろう。 そして彼はあなたを愛し、あなたを祝福し、あなたを増やし、主があなたの父たちにあなたに与えると誓った地の上で、あなたの胎の子孫と、あなたの地の実、あなたの穀物と、あなたのぶどう酒と、あなたの油と、あなたの牛の群れと、あなたの羊の群れを祝福するだろう。 あなたはすべての国々の中で祝福されるだろう。あなたがたの中に子のない者はいないだろうし、不妊の者もいないだろう、そしてあなたの家畜の中にも。 そしてあなたの主なる神はあなたからすべての病とエジプトのすべての邪悪な病気、あなたが見たもの、そしてあなたが知ったすべてのものを取り除く

だろう。それらをあなたの上に置かないだろう。そしてそれらをあなたを憎むすべての者たちの上に置くだろう。 そしてあなたは、あなたの神である主があなたに与える諸国民の全ての戦利品を食べるだろう。あなたの目は彼らを憐れんではならない、そしてあなたは彼らの神々に仕えてはならない。なぜならこれはあなたにとって罠だからである。 もしあなたが心の中でこの民族は私よりも大きい、どうやって私は彼らを完全に滅ぼすことができるだろうかと言うなら あなたは彼らを恐れないだろう。あなたは必ず思い出すだろう、あなたの神である主がファラオと全てのエジプト人たちに行ったことを。あなたの目が見た大いなる試練を、あの大いなるしるしと不思議を、力強い手と高き腕を。あなたの神である主があなたを導き出したように、そのようにあなたがたの神である主は全ての国々に行うだろう、あなたが彼らを前にして恐れているところの。 そして主あなたの神はスズメバチの群れを彼らに送るだろう、あなたから残された者たちと隠れた者たちが完全に滅ぼされるまで。あなたは彼らによって傷つけられることはない、なぜなら主あなたの神があなたの中にいるからだ、偉大で力強い神が。 そしてあなたの神である主は、これらの国々をあなたの前から少しずつ滅ぼすだろう。あなたは彼らを速やかに完全に滅ぼすことはできないだろう、その地が荒れ地にならないように、そして野の獣があなたに対して増えないように。 そして主なるあなたの神は彼らをあなたの手に引き渡すだろう、そしてあなたは彼らを大いなる滅びで滅ぼすだろう、あなたが彼らを完全に滅ぼすまで。そして彼は彼らの王たちをあなたたちの手に引き渡すだろう、そしてあなたたちは彼らの名をその場所から滅ぼすだろう。誰もあなたの前に立ち向かわないだろう、あなたが彼らを完全に滅ぼすまで。 あなたたちは彼らの神々の彫像を火で焼きなさい。あなたは銀を欲しがってはならない、金もそれらか

ら自分のために取ってはならない、それによってつまずかないように、なぜならそれはあなたの神である主にとって忌まわしいものだからである。 そしてあなたは忌まわしいものをあなたの家の中に持ち込んではならない、そうすればあなたはこれと同じように聖絶のものとなるだろう。徹底的に忌み嫌わなければならない、そして忌み嫌わなければならない、なぜならそれは聖絶のものだから。

8

私が今日あなたたちに命じるすべての戒めを、あなたたちは守って行いなさい。それは、あなたたちが生き、増え広がり、そして入って行って、主あなたたちの神があなたたちの父祖たちに誓った地を受け継ぐためである。 そしてあなたは、あなたの神である主があなたを荒野で導いたすべてのその道を思い出すだろう、あなたを苦しめ、あなたを試し、あなたが彼の戒めを守るか守らないか、あなたの心の中にあるものを知るために。 そして彼はあなたを苦しめた、そして彼はあなたを飢えさせた、そして彼はあなたにそのマナを食べさせた、そのマナをあなたの父たちは知らなかった、彼があなたに知らせるために、人はパンだけで生きるのではなく、神の口を通して出て来るすべての言葉で人は生きるということを。 あなたの衣服はあなたの身から古くならなかった、あなたのサンダルはあなたの身から擦り切れなかった。あなたの足はたこができなかった、見よ、四十年間。 そしてあなたは自分の心で知るだろう、人が自分の息子を訓練するように、そのようにあなたの神である主があなたを訓練するということを。 そしてあなたはあなたの神である主の戒めを守り、彼の道を歩み、そして彼を恐れるだろう。 なぜならあなた

の主なる神はあなたを良い地、そして豊かな地へ導き入れるだろう。そこには水の急流、そして深淵の泉が平野を通ってそして山を通って流れ出ている。小麦と大麦の地、ぶどうの木、いちじくの木、ざくろ。オリーブの木のオリーブ油と蜂蜜の地。貧困と共にあなたのパンを食べることがない地、そしてその上で何も欠くことがないだろう。その石が鉄である地、そしてその山からあなたは青銅を採掘するだろう。 そしてあなたは食べて満たされるだろう、そしてあなたは彼があなたに与えた良い地の上で、あなたの神である主を祝福するだろう。 あなた自身に注意しなさい、あなたの神である主を忘れて、彼の戒めと裁きと掟を守らないことのないように、それらを私が今日あなたに命じるものを。食べて満たされ、良い家々を建ててそれらに住み、あなたの牛とあなたの羊があなたのために増やされ、銀と金があなたのために増やされ、あなたにあるすべてのものがあなたのために増やされたとき、心において高ぶって、あなたの神である主を忘れることのないように、エジプトの地から、奴隷の家からあなたを導き出した方を。あの大きくて恐ろしい荒野を通してあなたを導いた方を、そこには噛む蛇とサソリと渇きがあり、そこには水がなかった。切り立った岩からあなたのために水の泉を出した方を。荒野であなたにマナを食べさせた方を、それをあなたは知らなかったし、あなたの父たちも知らなかった、あなたを苦しめ、あなたを試み、あなたの日々の最後にあなたを良くするために。 あなたの心の中で言ってはいけない、私の力と私の手の強さが私にこの大いなる力をもたらしたと。 そしてあなたはあなたの神である主を思い出すだろう、なぜなら彼自身があなたに力を得る強さを与えるからである、そして彼の契約を確立するために、主があなたの父たちに誓ったその契約を、今日のように。 もしもあなたがあなたの神である主を忘れ忘れて、そして他の神々の後ろを行き、

そして彼らに仕え、そして彼らを拝むならば、そうなるだろう。私は今日あなたたちに天と地を証人として呼ぶ、あなたたちは滅びによって滅びるだろうということを。 主なる神があなたがたの前で滅ぼす他の多くの国々と同じように、あなたがたも滅ぼされるだろう、あなたがたの神である主の声に聞き従わなかったゆえに。

9

聞けイスラエルよ。あなたは今日ヨルダンを渡って入り、あなたたちよりも大きくて強い国々を、天まで届く城壁のある大きな町々を、大きくて多くて背の高い民を、アナクの子らを相続する。彼らをあなたは知っている、そしてあなたは聞いた、誰がアナクの子らの前に立ち向かえるだろうか。 そしてあなたは今日知るだろう、主、あなたの神であるこの方があなたの前に先に行かれることを。焼き尽くす火である。この方は彼らを完全に滅ぼし、この方は彼らをあなたの前から追い払い、そして速やかに彼らを滅ぼすだろう、ちょうど主があなたに言われたように。 あなたの神である主が、あなたの前でこれらの国々を完全に滅ぼす時に、あなたの心の中で言ってはならない。私の義のゆえに、主は私を導き入れて、この良い地を相続させたのだと。 あなたの義のゆえではなく、またあなたの心の聖さのゆえでもなく、あなたは彼らの地を相続するために入るのである。しかしこれらの国々の不敬虔のゆえに、主はあなたの前から彼らを滅ぼし尽くすのであり、そして主が私たちの父祖たち、アブラハムとイサクとヤコブに誓った契約を立てるためである。 そしてあなたは今日知るだろう、主あなたの神があなたにこの良い地を相続させるために与えるのは、あなたの正義のゆえにでは

ないということを、なぜならあなたは頑なな民だからである。 覚えよ、忘れるな、あなたがあなたの神である主を荒野において怒らせたことがどれほど多いかを。あなたたちがエジプトから出た日から、そしてあなたたちがこの場所に来るまで、あなたたちは主に対して不従順であり続けた。 そしてホレブであなたがたは主を怒らせた、そして主はあなたがたを滅ぼすためにあなたがたに対して怒った。私が山に登っていた時、石の板、主があなたがたと立てた契約の板を受け取るために。そして私は山に四十日と四十夜留まった。パンを私は食べず、水を私は飲まなかった。 そして主は私に、神の指で書かれた二つの石の板を与えた。そしてそれらの上には、主が集会の日に山であなたたちに語ったすべての言葉が書かれていた。そして四十日と四十夜を通して、主は私に二つの石の板、契約の板を与えた。 そして主は私に言った、立ち上がれ、ここから急いで下れ、なぜならあなたの民、あなたがエジプトの地から連れ出した者たちが不法を行ったからだ。彼らは急いであなたが彼らに命じた道から外れた、そして彼らは自分たちのために鋳像を作った。 そして主は私に向かって言った、私はあなたに一度も二度も話した。私はこの民を見た、そして見よ、民はうなじのこわい者である。そして今、私に彼らを完全に滅ぼすことを許せ、そして私は彼らの名を天の下から消し去るだろう、そして私はあなたをこれよりも大いなる、そして強い、そしてずっと多い国にするだろう。 そして振り返って、私は山から降りた。そして山は天まで火で燃えていた。そして証しの二つの板が私の両手の上にあった。 そして、あなたがたがあなたがたの神である主の前に罪を犯したこと、そして、あなたがたがあなたがた自身のために鋳造像を作ったこと、そして、主があなたがたに行うように命じた道から外れたことを見て、そして、二つの板を掴んで、私はそれらを私の二つの手から投げ、そして、

あなたがたの前でそれらを砕いた。 そして私は主の前で二度目に祈り求めた、ちょうど以前のように四十日と四十夜、パンを食べず水も飲まなかった、あなたがたが主なる神の前で悪を行い彼を怒らせて犯したあなたがたのすべての罪について。 そして私は怖れている、その怒りと憤りのために、なぜなら主があなたがたに対して激怒したからだ、あなたがたを完全に滅ぼすために。そして主は私の声を聞いた、この時にも。 そしてアロンに対して怒りが起こり彼を完全に滅ぼそうとしたが、私はあの時アロンのためにも祈った。 そしてあなたたちの罪、あなたたちが作ったその子牛を私は取った、そして私はそれを火で焼いた、そして私はそれを非常に細かくなるまですり潰しながら砕いた、そしてそれは塵のようになった、そして私はその塵を山から下ってくる急流の中に投げた。 そしてその燃焼において、そしてその試練において、そしてその欲望の墓において、あなたたちは主を挑発していた。 そして主があなたたちをカデシュ・バルネアから送り出した時、上って行きなさい、そして私があなたたちに与える地を相続しなさいと言ったが、あなたたちはあなたたちの神である主の言葉に従わず、彼を信じず、彼の声を聞かなかった。 あなたたちが知った日から、主に対して不従順であった。 そして私は主の前で四十日と四十夜祈った、私が祈っただけの日数を。というのも主はあなたたちを完全に滅ぼすと言ったからだ。 そして私は神に祈り、そして言った、主よ、神々の王よ、あなたの民とあなたの分け前を完全に滅ぼさないでください、あなたが贖った者たちを、あなたがエジプトの地から連れ出した者たちを、あなたの大いなる力によって、そしてあなたの強い手によって、そしてあなたの高い腕によって。 あなたのしもべであるアブラハムとイサクとヤコブを思い出してください、あなたが彼らに対してあなた自身にかけて誓った。この民の頑なさと不敬虔な行いと彼らの罪を見な

いでください。 あなたが私たちをそこから連れ出した地に住んでいる者たちが、主が彼らに約束した地に彼らを連れて入ることができなかったから、そして彼らを憎んだから、彼らを荒野に連れ出して殺したのだと言わないように。 そしてこれらはあなたの民でありあなたの相続地であり、あなたがエジプトの地から連れ出した者たちです、あなたの大いなる力によって、そしてあなたの強い手によって、そしてあなたの高く上げられた腕によって。

10

その時、主は私に言われた、あなた自身のために二つの石の板を最初のもののように切り出しなさい、そして山の私のところへ登りなさい、そしてあなた自身のために木の箱を作りなさい。 そしてあなたは、あなたが砕いた最初の板にあった言葉を、その板に書くだろう、そしてあなたはそれらをその箱に入れるだろう。 そして私は朽ちない木から箱を作り、石の板を最初のもののように削り、二つの板を私の手に持って山に登った。 そして彼はその板の上に、最初の書き方に従って、その十の言葉を書いた。それを主があなたたちに向かって、その山でその火の真ん中から語った。そして主はそれらを私に与えた。 そして振り返って私は山から下りた、そして私はその板たちを私が作った箱の中に投げ入れた、そしてそれらはそこにあった、ちょうど主が私に命じた通りに。 そしてイスラエルの息子たちはヤアキムの息子たちのベエロテ・ミサダイから出発した。そこでアロンは死に、そこで葬られ、そして彼の息子エレアザルが彼の代わりに祭司として仕えた。 そこから彼らはガデガデへ出発した。そしてガデガデからエテバタへ、それは水の急流の地である。

あの時、主はレビの部族を区別した。主の契約の箱を運び、主の前に立ち、仕え、そして彼の名によって祈るために、この日まで。 このゆえにレビ人たちには彼らの兄弟たちの中に分け前と相続地がない。主ご自身が彼らの相続地である、主が彼に言ったとおりに。 そして私は山に四十日と四十夜立っていた。 そして主は私の言うことを聞いた、この時にも。そして主はあなたたちを完全に滅ぼすことを望まれなかった。 そして主は私に言った、行け、この民の前に出発せよ、そして彼らを入らせ、彼らに土地を相続させよ。その土地を私は彼らの父たちに与えると誓ったのだ。 そして今、イスラエルよ、主あなたの神はあなたに何を求めているのか、ただ主あなたの神を恐れること、そして彼のすべての道を歩むこと、そして彼を愛すること、そして主あなたの神にあなたの心の全てから、そしてあなたの魂の全てから仕えること、主あなたの神の戒めと彼の定めを守ること、私が今日あなたに命じるすべてのものを、あなたが良くあるために。 見よ、あなたの神である主のものは天と天の天、地とその中にあるすべてのものである。 ただ、主はあなたがたの父たちを愛することを選び、そして彼らの後の彼らの子孫、すなわちあなたがたを、すべての国民の中から選んだ、今日あるとおりに。 あなたたちの心の頑なさに割礼を施しなさい、そしてあなたたちの首を硬くしてはならない。 というのも、あなたがたの主なる神、この方は神々の神であり、主たちの主であり、偉大で強く恐るべき神であり、人を偏り見ることなく、賄賂も取らず、寄留者と孤児と寡婦のために正義を行い、寄留者を愛してその者にパンと衣を与える方だからである。 そしてあなたたちはその寄留者を愛しなさい。というのもあなたたちはエジプトの地で寄留者だったのだから。 あなたの主なる神を恐れ、彼に仕え、彼に結びつき、彼の名において誓いなさい。この方はあなたの誇りであり、この方はあなたの神であり、

あなたの目が見たこれらの偉大で栄光あることをあなたにおいて行った方である。 七十の魂でお前の父たちはエジプトへ下った。しかし今、主お前の神はお前を天の星のような多数にした。

11

そしてあなたはあなたの主なる神を愛し、彼の守るべきことと、彼の掟と、彼の戒めと、彼の裁きを全ての日々に守るだろう。 そしてあなたがたは今日知るであろう、それはあなたがたの子供たちではないことを、知らずまた見なかった者たち、主なるあなたの神の訓練を、そして彼の偉大な業を、そして力強い手を、そして高く上げられた腕を、そして彼のしるしを、そして彼の不思議を、彼がエジプトの真ん中でエジプトの王ファラオに対して行ったすべてのことを、そして彼のすべての地に対して、そして彼がエジプト人の軍勢に対して行ったすべてのことを、そして彼らの戦車に対して、そして彼らの馬に対して、そして彼らの軍勢に対して、紅海の水が彼らの顔の上に溢れた時のように、彼らがあなたがたの後ろから追跡していた時、そして主が彼らを今日の日まで滅ぼしたことを、そして彼が荒野で私たちに行ったすべてのことを、あなたがたがこの場所に来るまで、そして彼がダタンとアビラムに行ったすべてのことを、ルベンの子エリアブの息子たちに、地がその口を開いて彼らを飲み込んだ、そして彼らの家を、そして彼らの天幕を、そして彼らと共にある彼らのすべての持ち物を、全イスラエルの真ん中で。なぜならあなたがたの目が主のすべての偉大な業を見たからである、彼が今日あなたがたに対して行ったすべてのことを。 そしてあなたたちは彼のすべての戒めを守るだろう、私が今日あなたに命じるす

べての戒めを、あなたたちが生き、そして増え広がり、そして入って行ってその地を受け継ぐために、あなたたちがヨルダンを渡ってそこで受け継ぐその地を。あなたたちがその地の上で長く生きるために、主があなたたちの父たちに、彼らとその後の彼らの子孫に与えると誓った地、乳と蜜が流れる地を。 というのは、あなたがそこへ入っていってそれを相続する土地は、エジプトの土地のようではないからである、あなたたちがそこから出てきたところの、そこでは彼らが種を蒔くとき、彼らが自分たちの足で水をやる、野菜の畑のように。しかしあなたがそこへ入っていってそれを相続する土地は、山の多い土地と平らな土地である。天の雨から水を飲む。 その地は、あなたの神である主が絶えず見守っており、あなたの神である主の目が年の始めから年の終わりまでその上にある。 もしあなたがたが私が今日あなたに命じるすべての戒めを、すなわち主なるあなたの神をあなたの心の全てとあなたの魂の全てから愛し、彼に仕えることを、よく聞くならば、彼はあなたの地に季節に従って早い雨と遅い雨を与え、あなたはあなたの穀物とあなたのぶどう酒とあなたの油を取り入れ、彼はあなたの畑にあなたの家畜のために飼料を与えるだろう。そして食べて満たされたとき、あなた自身のために注意せよ、あなたの心が広げられて、あなたがたが背いて他の神々に仕え、それらを拝むことのないように。そうでなければ主があなたがたの上に怒りをもって怒られ、彼が天を閉ざし、雨がなくなり、その地はその実を与えず、あなたがたは主があなたがたに与えたその良い地から速やかに滅びるだろう。 そしてあなたがたはこれらの言葉をあなたがたの心の中とあなたがたの魂の中に入れなさい、そしてあなたがたはそれらをあなたがたの手の上にしるしとして結びなさい、そしてそれはあなたがたの目の前で動かないものとなるでしょう。そしてあなたがたはあなたがたの子供たちにそれら

を話すことを教えなさい、あなたが家の中に座っている時、そしてあなたが道を行く時、そしてあなたが眠っている時、そしてあなたが起き上がる時に。 そしてあなたがたはそれらをあなたがたの家々の門柱の上に、そしてあなたがたの門の上に書くであろう、あなたがたが長く生きるために、そしてあなたがたの息子たちの日々が、主があなたがたの父たちに彼らに与えると誓った地の上に続くために、天の日々が地の上にあるように。 そしてもしあなたがたが本当に聞いて、私が今日あなたに命じるこれらすべての戒めを行い、主である私たちの神を愛し、彼のすべての道において歩み、彼にすがりつくならば、主はこれらすべての国々をあなたがたの前から追い出し、あなたがたはあなたがたよりも大きくて強い国々を受け継ぐだろう。 あなたがたの足の跡が踏むであろうすべての場所が、あなたがたのものになるであろう。荒野とアンティレバノンから、そして大いなる川、ユーフラテス川から、そして西の海まで、あなたの境界になるであろう。 誰もあなたたちの前に立ち向かうことはないだろう。そしてあなたたちの主なる神が、あなたたちへの恐れとあなたたちへの震えを、あなたたちが足を踏み入れる全ての地の上に置くだろう、彼があなたたちに語った通りに。 見よ、私は今日あなたたちの前に祝福と呪いを与える。祝福を、もしあなたたちが私が今日あなたたちに命じる限りのあなたたちの神である主の戒めを聞くなら。そして呪いを、もしあなたたちが私が今日あなたたちに命じる限りのあなたたちの神である主の戒めを聞かず、私があなたたちに命じた道から迷い出て、行ってあなたたちが知らない他の神々に仕えるなら。 そしてあなたの神である主があなたをその地へ連れて入る時、あなたがそこへ渡って行ってそれを相続するその地へ、あなたは祝福をゲリジム山の上に与え、そして呪いをエバル山の上に与えるだろう。 これらはヨルダンの向こう、日の入りの道の後

方、カナンの地において、西に住み、ギルガルに接し、高い樫の木の近くにあるのではないか。 あなたがたはヨルダンを渡って入り、主である私たちの神が相続地としてあなたがたに永久に与える地を相続し、そしてあなたがたはその中に住むでしょう。 そしてあなたたちは彼のすべての命令とこれらの裁きを行うことを守るだろう、私が今日あなたたちの前に与えるすべてのものを。

12

そしてこれらの命令と裁きは、あなたがたがその地において行うために守るべきものである。その地を、あなたがたの父たちの神である主が、相続地としてあなたがたに与える。あなたがたがその地の上で生きるすべての日々の間。 破壊をもって、あなたがたはすべての場所を破壊するだろう、その中で彼らが彼らの神々に仕えた場所を、あなたがたが相続するそれらを、高い山々の上で、そして丘の上で、そして茂った木の下で。そしてあなたがたは彼らの祭壇を取り壊すだろう、そしてあなたがたは彼らの柱を砕くだろう、そしてあなたがたは彼らの木立を切り倒すだろう、そしてあなたがたは彼らの神々の彫像を火で焼くだろう、そしてあなたがたは彼らの名をあの場所から破壊するだろう。 あなたがたは、あなたがたの神である主に、このようにしてはならない。 むしろ、あなたの神である主があなたがたの町々の一つの中から選び、そこに御名を置いて住まわせるその場所を、あなたがたは尋ね求めて、そこに行かなければならない。 そしてあなたたちはそこに運ぶでしょう、あなたたちの全焼のいけにえを、そしてあなたたちのいけにえを、そしてあなたたちの初穂を、そしてあなたたちの祈りを、そしてあなたたちの自

発的ないけにえを、そしてあなたたちの誓いを、あなたたちの牛の初子を、そしてあなたたちの羊の初子を。 そしてあなたがたはそこであなたがたの神である主の前で食べるでしょう、そしてあなたがたが手をかけるすべてのものについて喜ぶでしょう、あなたがたも、あなたがたの家族も、あなたの神である主があなたを祝福したとおりに。 あなたがたは私たちが今日ここでしているすべてのこと、各人が自分の目の前で良いと思うことを、してはならない。なぜならあなたがたは今まで、主である私たちの神があなたがたに与える安息と相続地に、まだ来ていないからである。 そしてあなたたちはヨルダンを渡り、私たちの主なる神があなたたちに相続地として割り当てる土地に住むだろう、そして彼はあなたたちを周りのすべての敵から休ませるだろう、そしてあなたたちは安全に住むだろう。 そしてその場所は、主なるあなたの神が彼の名をそこに呼ばれるために選ぶであろうところ、そこにあなたたちは私が今日あなたたちに命じるすべてのものを持って来るだろう。あなたたちの全焼のいけにえ、そしてあなたたちのいけにえ、そしてあなたたちの十分の一、そしてあなたたちの手の初物、そしてあなたたちの贈り物のすべての選ばれたもの、あなたたちがあなたたちの神である主に誓願するであろうすべてのもの。 そしてあなたたちはあなたたちの神である主の前で喜ぶであろう、あなたたちとあなたたちの息子たちと、あなたたちの娘たちと、あなたたちのしもべたちと、あなたたちの女奴隷たちと、あなたたちの門にいるレビ人と。なぜなら彼にはあなたたちと共に分け前も相続地もないからである。 自分自身に注意しなさい、あなたが目にするどの場所でもあなたの全焼のいけにえを捧げてはならない。 しかし、主あなたの神があなたの部族の一つの中から選ぶ場所へ、そこであなたがたはあなたがたの全焼のいけにえを捧げ、そこであなたは私が今日あなたに命じるすべて

のことを行うであろう。 しかし、あなたはあなたのすべての欲望において犠牲を捧げ、あなたの神である主があなたにすべての町で与えた祝福に従って肉を食べるだろう。あなたの中の汚れた者も清い者も同じようにそれを食べるだろう、ガゼルや鹿のように。 ただし、その血は食べてはならない。それを地の上に、水のように注ぎ出しなさい。 あなたはあなたの町々の中で、あなたの穀物の十分の一と、あなたのぶどう酒と、あなたの油と、あなたの牛の初子と、あなたの羊と、あなたたちが誓うであろう全ての祈願と、あなたたちの誓約と、あなたの手の初物を食べることができないであろう。しかし、あなたの神である主の前でそれを食べなければならない、主なるあなたの神が選ぶ場所で、あなたとあなたの息子とあなたの娘、あなたの僕とあなたの女僕、そしてあなたがたの町々にいる寄留者が。そしてあなたは喜ぶであろう、あなたの神である主の前で、あなたが手をかけるすべてのことについて。 あなたが地の上に生きている限り、ずっとレビ人を見捨てないように、自分自身に注意しなさい。 もし主なるあなたの神があなたの境界を広げるならば、ちょうど彼があなたに語ったように、そしてあなたは私は肉を食べようと言うだろう、もしあなたの魂が肉を食べることを欲するならば、あなたの魂のすべての欲望をもってあなたは肉を食べるだろう。 もしあなたの主なる神がそこに彼の名を呼ばれるために選ぶであろう場所があなたから遠く離れているならば、あなたは神があなたに与えるであろうあなたの牛とあなたの羊から、私があなたに命じた方法で犠牲を捧げ、そしてあなたの魂の欲望に従ってあなたの町々で食べるであろう。 ガゼルと鹿が食べられるように、そのようにあなたはそれを食べなさい。あなたの中の汚れた者も清い者も同様に食べるだろう。 強く注意せよ、血を食べないように、なぜならその血は魂だから。魂は肉と共に食べられてはならない。 あなた

たちはそれを食べてはならない。地の上にそれを水のように注ぎなさい。 あなたはそれを食べてはならない。それはあなたにとって、そしてあなたの後のあなたの息子たちにとって良くなるためである、もしあなたがあなたの神である主の前で良いことと喜ばれることを行うならば。 ただしあなたの聖なるものがあなたに生じるならば、あなたの誓願を携えてあなたはその場所へ来るだろう、主があなたの神がそこに彼の名を呼ばれるために選ぶその場所へ。 そしてあなたはあなたの全焼のいけにえを行うだろう、その肉をあなたの神である主の祭壇の上に捧げるだろう。そしてあなたのいけにえの血をあなたの神である主の祭壇の土台に向かって注ぐだろう、そして肉をあなたは食べるだろう。 守りなさい、そして聞きなさい、そしてあなたは私があなたに命じるすべての言葉を行うだろう、あなたとあなたの息子たちに永遠によくあるために、もしあなたが主なるあなたの神の前で喜ばれることと良いことを行うなら。 もしあなたの神、主が、あなたがそこへ入って行ってその土地を相続するところの諸国民を、あなたの前から滅ぼし、そしてあなたがそれを相続し、そして彼らの土地に住むならば、あなた自身に注意せよ、彼らがあなたの前から滅ぼされた後に彼らに従うことを求めないように、これらの諸国民は彼らの神々にどのようにするのかと言って。私もそうします。 あなたの神にこのようにしてはならない。というのも、主が憎んだ忌まわしいことを、彼らは自分たちの神々のために行ったからである。なぜなら、彼らは自分たちの息子たちと自分たちの娘たちを、自分たちの神々のために火で焼いているからである。

13

私が今日あなたたちに命じるすべての言葉、これを守って行わなければならない。あなたはそれに付け加えてはならないし、それから取り去ってもならない。 もしあなたの中に預言者または夢を見る者が起こり、そしてあなたに印または不思議を与え、そして彼があなたに語った印または不思議が来て、行こう、そして他の神々に仕えよう、あなたがたが知らない神々にと言っても、あなたがたはその預言者の言葉またはその夢を見る者の言葉を聞いてはならない。なぜなら主あなたの神があなたがたを試しているからである、あなたがたがあなたがたの神を心の全てから、そして魂の全てから愛しているかどうかを知るために。 あなたがたの神である主に従って行きなさい、そしてこの方を恐れなさい、そして彼の声を聞きなさい、そして彼に付き従いなさい。 そしてあの預言者、またはあの夢を見る者は死ぬだろう。なぜなら、エジプトの地からあなたを導き出し、奴隷状態からあなたを贖った、あなたの神である主からあなたを迷わせるために語ったからだ、主あなたの神があなたに命じてその中を歩むようにされたその道からあなたを追い出すために。そしてあなたたちはあなたたちの中から悪を取り除くだろう。 もしあなたの父からの兄弟、またはあなたの母からの兄弟、またはあなたの息子、または娘、またはあなたの胸にいるあなたの妻、またはあなたの魂と等しい友人が、密かにあなたを誘って、行って他の神々に仕えようと言うなら、あなたもあなたの父たちも知らなかった
神々、あなたがたの周りの国々の神々から、あなたに近い者たちまたはあなたから遠い者たち、地の果てから地の果てまでの神々に、あなたは彼に同意してはならない、そしてあなたは彼の言うことを聞いてはならない、そしてあなたの目は彼を憐れんではならない、あなたは彼を哀れんではならない、そしてあなたは彼を隠してはならない。あなたは彼について報告しなければならない、そしてあな

たの手は彼を殺すために最初に彼の上になければならない、そしてすべての民の手は最後に。 そして彼らは彼を石で石打ちし、彼は死ぬだろう、なぜなら彼はあなたをあなたの神である主から引き離そうとしたからだ、エジプトの地から、奴隷の家からあなたを導き出した主から。 そして全イスラエルは聞いて恐れるだろう、そして彼らはもうこの悪い事をあなたがたの中で再び行わないだろう。 もしあなたが、主あなたの神があなたに与えてそこに住まわせる町の一つで、不法な者たちが私たちの中から出て行って、その町の住民全員を反逆させ、行って、私たちが知らなかった他の神々に仕えようと言ったという噂を聞き、そしてあなたが調べ、尋問し、非常に徹底的に調査して、見よ、その言葉が真実で明らかであり、この忌まわしいことがあなたがたの中で起こったならば、あなたは必ずその町に住んでいる者たち全員を剣で殺し、あなたがたはそれとその中にある全てのものを完全に滅ぼし尽くさなければならない。 そしてお前はそのすべての戦利品をその広場に集め、その町を火で焼き払い、そのすべての戦利品を全民と共にお前の神である主の前に捧げる。そしてそれは永遠に無人となり、もはや再建されることはない。 そしてその奉納物から何もあなたの手にくっつかないだろう、それは主が彼の激しい怒りから離れ、そしてあなたに憐れみを与え、そしてあなたを憐れみ、そしてあなたを増やすためである、彼があなたの父たちに誓った通りに、もしあなたがあなたの神である主の声を聞き、彼の戒めを守り、私が今日あなたに命じる全てのことを守り、あなたの神である主の前で良いことと喜ばしいことを行うならば。

14

あなたたちはあなたたちの神、主の息子たちです。死者のために目の間に禿げを作ってはいけません。 あなたはあなたの神、主にとって聖なる民であり、あなたの神、主は地の面の上のすべての国々の中からあなたを選んで、あなたを彼の宝の民とした。 あなたたちはすべての忌まわしいものを食べてはならない。 これらはあなたがたが食べる家畜である。牛の子牛、羊の子羊、山羊の雄山羊、鹿、ガゼル、白尻の鹿、オリックス、キリン。 すべての獣のうち、ひづめが分かれていて、二つに裂けた爪を持ち、獣の中で反芻するもの、これらをあなたがたは食べなさい。 そしてあなたたちはこれらを食べてはならない、反芻するものたちと蹄が分かれているものたちと爪が裂けているものたちの中から。ラクダと野兎と岩狸。なぜならそれらは反芻するが蹄が分かれていないから、これらはあなたたちにとって汚れたものである。 そして豚については、これはひづめを分けるが、ひづめの爪を持つが、これは反芻を反芻しない、これはあなたたちにとって汚れている。それらの肉をあなたたちは食べてはならない、それらの死体にあなたたちは触れてはならない。 そしてこれらのものをあなたがたは食べるだろう、水の中のすべてのものから、それらの中にひれとうろこがあるすべてのものを、あなたがたは食べるだろう。 そして、それらにひれとうろこがないすべてのものを、あなたがたは食べてはならない。それらはあなたがたにとって汚れたものである。 清い鳥はすべて食べてよい。 そしてこれらのものをあなたたちは食べてはならない。鷲と、ハゲワシと、ミサゴと、ハゲタカと、トビと、それに似たものと、ダチョウと、フクロウと、カモメと、サギと、白鳥と、トキと、鵜と、鷹と、それに似たものと、ヤツガシラと、夜鴉と、ペリカンと、チドリと、それに似たものと、紫バンと、コウモリ。 全ての鳥の這うものはあなたたちにとって汚れたものである。あなたたちはそれらから食べて

はならない。 清い鳥はすべて食べてよい。 すべての死骸をあなたがたは食べてはならない。あなたの町々にいる寄留者にそれは与えられるであろうし、そして彼は食べるであろう、またはあなたは外国人に売るであろう、なぜならあなたは主なるあなたの神にとって聖なる民だからである。 子羊をその母親の乳で煮てはならない。 あなたはあなたの種のすべての産物の十分の一を十分の一税として納めるでしょう、あなたの畑の産物を年ごとに。 そしてあなたはそれをその場所で食べるだろう、主あなたの神が彼の名をそこで呼ばれるために選ぶ場所で。あなたはあなたの穀物の十分の一、そしてあなたのぶどう酒の、そしてあなたの油の、あなたの牛の初子、そしてあなたの羊の初子を運ぶだろう、あなたがすべての日々主あなたの神を恐れることを学ぶために。 もしあなたから道が遠くなるならば、そしてあなたがそれらを運ぶことができないならば、なぜならあなたから場所が遠いから、主なるあなたの神がそこに彼の名を呼ばれるために選ぶであろうその場所が、なぜなら主なるあなたの神があなたを祝福するであろうから、そしてあなたはそれらを銀と引き換えに売るであろう、そしてあなたはその銀をあなたの手の中に取るであろう、そしてあなたは主なるあなたの神が選ぶであろうその場所へ行くであろう。 そしてあなたは銀を使うだろう、あなたの魂が欲するすべてのものに、牛に、または羊に、またはワインに、または強い飲み物に、または強い飲み物に、またはあなたの魂が欲するすべてのものに、そしてあなたはそこで食べるだろう、主なるあなたの神の前で、そしてあなたは喜ぶだろう、あなたとあなたの家族、そしてあなたの町々にいるレビ人も、なぜなら彼にはあなたと共に分け前も相続地もないからである。 三年後、あなたはあなたの産物の全ての十分の一を運び出すでしょう。その年に、あなたはそれをあなたの町々に置くでしょう。 そしてレビ人が来るだろう、

なぜなら彼にはあなたと共に分け前も相続地もないから、そして寄留者と孤児とあなたの町々にいる寡婦が来て、彼らは食べて満たされるだろう、主なるあなたの神があなたの行うすべての業においてあなたを祝福するために。

15

七年ごとに解放を行わなければならない。 そしてこのように免除の命令である。あなたは隣人があなたに負っているすべての自分の負債を免除するであろう、そしてあなたの兄弟に要求しないであろう。なぜなら免除があなたの神である主に対して宣言されたからである。 外国人には、彼のもとにあるあなたのものがどれだけあっても要求するだろう、しかしあなたの兄弟には、あなたの負債の免除をするだろう。 あなたの中に欠乏している者はいないだろう、なぜなら主なるあなたの神があなたを祝福に祝福するからである、その地において、主なるあなたの神があなたに相続地として与える地、あなたがそれを受け継ぐために。 もしあなたがたがあなたがたの神である主の声をよく聞いて、私が今日あなたに命じるこれらすべての戒めを守り行うならば、主であるあなたの神があなたに語ったその方法であなたを祝福したので、あなたは多くの国々に貸すであろうが、あなたは借りないであろう。そしてあなたは多くの国々を治めるであろうが、彼らはあなたを治めないであろう。 もしあなたの神である主があなたに与える地の中のあなたの町の一つで、あなたの兄弟たちの中から欠乏している者があなたのところになるならば、あなたはあなたの心を冷たくしてはならないし、必要としているあなたの兄弟からあなたの手を閉じてはならない。 あなたは必ず

あなたの手を彼に開くだろう、そしてあなたは彼が欠乏しているだけ、彼が必要とするだけ、彼に貸し付けを貸すだろう。 あなた自身に注意しなさい、隠れた言葉が不法なものとしてあなたの心の中に生じないように、第七の年、免除の年が近づいていると言って、そしてあなたの目があなたの困っている兄弟に対して悪くなり、そしてあなたは彼に与えず、そして彼は主に向かってあなたに対して叫び、そして大きな罪があなたの中にあることになるだろう。 与えながらあなたは彼に与えるだろう、そしてあなたは彼が必要としているだけ、彼が欠いているように、彼に貸すだろう。そしてあなたが彼に与える時、あなたの心で悲しまないだろう、なぜならこの言葉のゆえに、あなたの神である主があなたを祝福するだろうから、すべての業においてそしてあなたがあなたの手を置くすべてのことにおいて。 貧しい者があなたの地から絶えることはないだろう。このゆえに私はあなたにこの言葉を行うことを命じる、言って、開いてあなたの手をあなたの兄弟、貧しい者と必要としている者、あなたの地の上にいる者に開くだろう。 もしあなたの兄弟であるヘブライ人、またはヘブライ人女性があなたに売られるなら、彼は六年間あなたに仕えるだろう。そして七年目にあなたは彼を自由の身としてあなたのもとから送り出すだろう。 あなたが彼を自由にしてあなたのもとから送り出すとき、あなたは彼を何も持たせずに送り出してはならない。 旅の糧をあなたの羊から、あなたの穀物から、あなたのぶどう酒から彼に与えなさい。主あなたの神があなたを祝福したように、あなたは彼に与えなさい。 そしてあなたは思い出すだろう、あなたはエジプトの地で奴隷だったことを、そして主、あなたの神があなたをそこから贖ったことを。このゆえに私はあなたにこのことを行うように命じる。 もしそして彼があなたに向かって言うなら、私はあなたから出て行かない、なぜなら私はあなたとあなた

の家を愛したからです、なぜなら私にとってあなたのもとで良いからです。 そしてあなたは錐を取り、彼の耳を扉に向かって刺し通すだろう。そして彼は永遠にあなたの僕となるだろう。そしてあなたの女奴隷も同様にするだろう。 彼らがあなたから自由な者として送り出される時、それはあなたにとって厳しいことではないだろう、なぜなら雇い人の年ごとの賃金の二倍を彼はあなたに六年間仕えたからである。そしてあなたの神である主は、あなたが行うすべてのことにおいてあなたを祝福するだろう。 あなたの牛の中でとあなたの羊の中で生まれるすべての初子、その雄たちをあなたの神である主に聖別しなさい。あなたの初子の子牛を使って働いてはならない、そしてあなたの羊の初子を毛刈りしてはならない。 あなたは主の前でそれを年ごとに食べなさい、主あなたの神が選ぶ場所で、あなたとあなたの家が。 もしそれに傷があるなら、足が不自由か目が見えないか、悪い傷があるなら、あなたの神である主にそれを犠牲として捧げてはならない。 あなたの町々の中でそれを食べなさい。あなたの中の汚れた者も清い者も同様にそれを食べるでしょう、かもしかや鹿のように。 ただし血は食べてはならない。それを水のように地の上に注ぎ出しなさい。

16

新しい月を守れ、そしてあなたの神である主に過越を行え、なぜならあなたは新しい月にエジプトから夜に出たからである。 そしてあなたは、主であるあなたの神に過越の羊と牛を犠牲として捧げるだろう、主であるあなたの神が彼の名をそこで呼ばれるために選ぶ場所で。 それと一緒にパン種を食べてはならない。七日間それと一緒

に種なしパン、苦しみのパンを食べなさい、なぜならあなたたちは急いでエジプトから出て来たからである、あなたたちの人生のすべての日々の間、エジプトの地からあなたたちが出発した日を覚えるために。 パン種は七日間、あなたの全ての領土内であなたに見られることはないであろう、そしてあなたが最初の日の夕方に犠牲として捧げる肉は朝まで残ることはないであろう。 あなたは過越を犠牲にすることができないだろう、主、あなたの神があなたに与える町のどれにおいても。しかし、主、あなたの神が彼の名をそこで呼ばれさせるために選ぶ場所で、あなたは過越を犠牲にするだろう、夕方に、太陽の西に向かって、あなたがエジプトから出た時に。 そしてあなたは煮て、焼いて、主であるあなたの神が選ぶ場所で食べるだろう。そしてあなたは朝に引き返して、あなたの家々へ行くだろう。 六日間、あなたは種なしパンを食べなさい。そして七日目には、あなたの神である主への厳粛な集会の祭りがある。あなたはその日にいかなる仕事もしてはならない。ただ魂のためになされるものは除く。 あなたは自分のために七週間を数えなさい。あなたが収穫に鎌をかけ始めたら、七週間を数え始めなさい。 そしてあなたは週の祭りをあなたの神である主に行うだろう、あなたの手が及ぶだけ、あなたの神である主が与えるだけ多く。 そしてあなたは喜ぶだろう、あなたの神である主の前で、あなたとあなたの息子とあなたの娘、あなたの僕とあなたの女僕、そしてレビ人と寄留者と孤児とあなたがたの中にいる寡婦が、主あなたの神が彼の名をそこに呼ばれるために選ぶその場所で。 そしてあなたは、あなたがエジプトの地で奴隷であったことを思い出すだろう、そしてあなたはこれらの戒めを守り、行うだろう。 あなたの脱穀場からとあなたの酒ぶねから集めるときに、あなたは自分のために天幕の祭りを七日間行うでしょう。 そしてあなたは喜ぶだろう、あなたの祭りにおいて、あな

たとあなたの息子、そしてあなたの娘、あなたの僕、そしてあなたの女僕、そしてレビ人、そして寄留者、そして孤児、そしてあなたの町々にいるやもめが。 七日間、あなたは主であるあなたの神に祭りを祝うだろう、主であるあなたの神が彼のために選ぶ場所で。もし主であるあなたの神があなたを祝福するなら、あなたのすべての産物において、そしてあなたの手のすべての働きにおいて、あなたは喜んでいるだろう。 年に三度、あなたのすべての男子は、主が選ぶ場所で、あなたの神である主の前に現れなければならない。種なしパンの祭りに、そして週の祭りに、そして仮庵の祭りに。あなたは、あなたの神である主の前に空手で現れてはならない。 各々はあなたがたの手の力に応じて、あなたの神である主があなたに与えた祝福に応じて。 あなたは裁判官たちと書記官たちをあなたの町々の中に、あなた自身のために任命するだろう。それらの町々を主、あなたの神が部族ごとにあなたに与える。そして彼らは民を正しい裁きで裁くだろう。 彼らは裁きを曲げず、贈り物も受け取らないだろう。なぜなら贈り物は賢い者たちの目を盲目にし、正しい者たちの言葉を取り除くからだ。 正しく正義を追い求めよ、そうすればあなたがたは生き、そして入って行ってあなたの主なる神があなたに与える地を受け継ぐであろう。 あなたは自分のために木立を植えてはならない。あなたの神の祭壇のそばのどんな木もあなたは自分のために作ってはならない。 あなたは自分自身のために柱を立ててはならない、それはあなたの神である主が憎まれたものである。

17

あなたの神である主に、その中に傷があるもの、何か悪い欠陥があ

る子牛または羊を犠牲として捧げてはならない。なぜならそれはあなたの神である主にとって忌まわしいものだからである。 もしあなたの神である主があなたに与える町の一つの中に、あなたの神である主の前で悪を行う男または女が見つかるなら、彼の契約を破って、そして来て他の神々に仕えて、そしてそれらを拝むなら、太陽に、または月に、または天の万象に、私があなたに命じなかったものに、そしてそれがあなたに報告されて、そしてあなたが徹底的に調査して、そして見よ、真実にその言葉が起こった、この憎むべきことがイスラエルの中で起こったなら、そしてあなたはその男またはその女を連れ出して、そしてあなたたちは石で彼らを石打ちにして、そして彼らは死ぬだろう。 二人の証人の証言によって、または三人の証人の証言によって死刑に処せられる。死刑に処せられる者は一人の証人の証言によって死刑に処せられることはない。 そして証人たちの手が最初に彼を死に至らしめるために彼の上にあるだろう、そして民の手が最後にあるだろう、そしてあなたはその悪をあなたたち自身から取り除くだろう。 もしあなたの町々で裁きにおいて言葉が不可能になるならば、血と血の間、そして裁きと裁きの間、そして触れと触れの間、そして争いと争いの間の裁きの言葉が、そしてあなたは立ち上がって、主があなたの神がそこで選ぶであろう場所へ上って行き、そしてあなたはレビ人である祭司たちの方へ、そしてその日々にいるであろう裁き人の方へ来て、そして彼らは尋ね求めてあなたにその裁きを告げ知らせるだろう。 そしてあなたは、主あなたの神が選ぶ場所から彼らがあなたに告げる事柄に従って行い、あなたに法として定められる全てのことを行うよう守らなければならない。 その律法に従って、そして彼らがあなたに言うその判決に従って、あなたは行わなければならない。あなたは彼らがあなたに告げるその言葉から、右にも左にも逸れてはならな

い。 そして、もし人が傲慢に行動して、あなたの神である主の名において仕えるために立っている祭司に従わないか、またはその時の裁判官に従わないならば、その人は死ななければならない。そしてあなたは悪をイスラエルから取り除くであろう。 そして全ての民は聞いて恐れ、もはや不敬虔に行動しないだろう。 もしあなたがあなたの神である主があなたに与える地に入り、それを相続し、そこに住み、そして私の周りの他の国々のように、私は自分の上に支配者を任命しようと言うなら、あなたは自分の上に支配者を任命することになるだろう、主である神が選ぶ者を。あなたの兄弟たちの中からあなたは自分の上に支配者を任命するだろう。あなたは自分の上に外国の人を任命することはできないだろう、なぜなら彼はあなたの兄弟ではないからである。 彼は自分のために馬を増やさず、また民をエジプトへ連れ戻さない、自分のために馬を増やさないように。しかし主は言った、あなたたちはもうこの道によって戻ることを繰り返さないであろう。 そして彼は自分のために女たちを増やさないだろう、彼の心が変わらないように。そして銀と金を彼は自分のために非常に増やさないだろう。 そして彼が彼の統治の座につく時、彼はレビ人の祭司たちからこの第二の律法を書物に書き写すだろう、そしてそれは彼と共にあるだろう、そして彼は彼の人生の全ての日々においてそれを読むだろう、彼があなたの神である主を恐れることを学ぶために、そしてこれら全ての戒めを守るために、そしてこれらの掟を行うために、彼の心が彼の兄弟たちよりも高ぶらないために、彼が戒めから右にも左にも逸れないために、彼が彼の統治において長く続くために、彼自身も彼の息子たちもイスラエルの子らの中で。

18

レビ人の祭司たち、レビの部族全体には、イスラエルと共に分け前も相続地もないだろう。主の捧げ物が彼らの相続地である。彼らはそれらを食べるだろう。 相続地は彼らの兄弟たちの中で彼らにはないだろう。主ご自身が彼の相続地である、彼に言ったように。 そしてこれは祭司たちの判決である、民から、犠牲を捧げる者たちから受け取る犠牲についての、それが子牛であれ、羊であれ。そしてあなたは腕を祭司に与えなければならない、そして頬を、そして胃を、そしてあなたの穀物の初物を、そしてあなたのぶどう酒の初物を、そしてあなたの油の初物を。そしてあなたの羊の毛刈りの初物をあなたは彼に与えなければならない。 主があなたのすべての部族の中から彼を選んだのは、主なる神の前に立ち、仕え、その御名によって祝福するためであり、彼自身と彼の息子たちがイスラエルの子らの中でそうするのである。 もしレビ人がイスラエルの息子たち全ての都市の一つから来るならば、そこで彼が寄留しているところから、彼の魂が望むように、彼が選ぶ場所へ、彼は彼の神である主の名において仕えるであろう、ちょうど彼の兄弟たち全て、そこであなたの神である主の前に立っているレビ人たちのように。 彼は分割された分け前を食べるだろう、父の家による売却分を除いて。 もしあなたがあなたの神である主があなたに与える地に入るならば、あなたはそれらの国々の忌まわしいことに従って行うことを学んではならない。 あなたの中には見つけられないだろう、火で自分の息子と自分の娘を清める者、占いを行う者、前兆を解釈する者、前兆を取る者、薬で呪文を唱える者、腹話術師、前兆の解釈者、死者に尋ねる者が。 というのは、これらのことを行う者すべては、あなた

の神である主にとって忌み嫌われるものだからである。というのは、これらの忌み嫌われることのゆえに、主は彼らをあなたの前から滅ぼし尽くすからである。 あなたはあなたの神である主の前で完全でなければならない。 というのも、あなたが追い払うこれらの国々、これらの者たちは前兆と占いに聞くだろう。しかしあなたには、あなたの神、主は、そのようには与えなかった。 あなたの兄弟たちの中から、私のような預言者を、主あなたの神があなたに立てるだろう。あなたがたは彼の言うことを聞くだろう。集会の日にホレブであなたの神である主に求めたすべてのことに従って、言った、私たちはあなたの神である主の声をこれ以上聞きません、そしてこの大いなる火を私たちはもう見ません、そうでなければ私たちは死にます。 そして主は私に言った、彼らがあなたに話したことはすべて正しい。 私は彼らのために、彼らの兄弟たちの中から預言者を起こすだろう、ちょうどあなたのように。そして私は彼の口に言葉を与えるだろう、そして彼は私が彼に命じることすべてに従って彼らに語るだろう。 そして、あの預言者が私の名において話すことを聞かない人がいれば、私はその人を罰するだろう。 ただし、預言者が私の名において私が語れと命じなかった言葉を不敬虔にも語るなら、また他の神々の名において語るなら、その預言者は死ぬであろう。 もしあなたが心の中で私たちはどのようにして主が語らなかった言葉を知ることができるだろうかと言うなら。 あの預言者が主の名において語るすべてのことがもし起こらず、そして実現しないなら、これは主が語らなかった言葉である。あの預言者は不敬虔のうちに語ったのだ。あなたがたは彼を恐れてはならない。

19

もしあなたの神である主が、神があなたに地を与えるその諸国民を滅ぼし、そしてあなたたちが彼らを相続し、そしてあなたたちが彼らの町々に住み、そして彼らの家々に住むならば、あなたの神である主があなたに与えるその地の真ん中で、三つの町をあなた自身のために区別しなさい。 あなたのために道を考えなさい、そしてあなたの主なる神があなたに分配する地の境界を三つに分けなさい、そしてそれはすべての殺人者に避難所となるでしょう。 これは殺人者についての命令である、そこへ逃げる者は生きるであろう、知らずに彼の隣人を打った者、そしてこの者はその前の昨日と一昨日に彼を憎んでいなかった。 そしてもし誰かが隣人と共に森に入って薪を集め、木を切っている時に斧で彼の手が振り外され、鉄の部分が柄から外れて隣人に当たり、そして死ぬならば、この者はこれらの町の一つに逃げ込むであろう、そして生きるであろう。 血の復讐者が殺人者の後ろを追いかけて、心が熱くなっているので、もし道が長ければ彼に追いつき、彼の魂を打つことがないように。そしてこの者には死の裁きはない、なぜなら彼は昨日の前にも三日目の前にも彼を憎んでいなかったからである。 このゆえに私はあなたにこの言葉を命じる、三つの町をあなた自身のために区別せよと。 もしあなたの神である主が、あなたの父祖たちに誓った通りにあなたの境界を広げ、そして主が、あなたの父祖たちに与えると言った全ての土地をあなたに与えるならば、もしあなたが、私が今日あなたに命じるこれら全ての戒めを行うことを聞き、あなたの神である主を愛し、全ての日々彼の全ての道を歩むならば、あなたは自分自身のために、これら三つの町に加えて、さらに三つの町を加えるであろう。 そして罪のない血は、主なるあなたの神があなたに相続地として与える地において注がれないだろう、そしてあなたは血について有罪にならないだろう。 もしあなたの中に隣人を憎む人がいて、彼

を待ち伏せし、彼に対して立ち上がり、彼の魂を打ち、彼が死に、これらの町の一つに逃げたなら、彼の町の長老会議が送り、彼らはそこから彼を取り、彼を血の復讐者たちの手に引き渡し、彼は死ぬだろう。 あなたの目は彼を惜しまず、あなたは罪のない血をイスラエルから清め、あなたには良くあるだろう。 あなたは隣人の境界を動かしてはならない。それはあなたの父たちが、あなたが相続として与えられた相続地において立てたものである、主なるあなたの神がくじによってあなたに与える地において。 一人の証人は、人に対して、すべての不正について、そしてすべての罪について、そしてその者が犯すすべての罪について証言するために残ることはないだろう。二人の証人の口によって、そして三人の証人の口によって、すべての言葉は立てられるだろう。 もし不正な証人が人に対して立ち、彼の不敬虔を列挙するならば、争いがある二人の人々は主の前に、そして祭司たちの前に、そしてその日々にいる裁き人たちの前に立つであろう。そして裁き人たちが詳しく調査し、そして見よ、不正な証人が不正に証言し、彼の兄弟に対して立ち向かったならば、あなたたちは彼に対して、彼が彼の兄弟に対して行おうと邪悪に企てた通りのことを行い、そしてあなたたちはあなたたち自身の中から悪を取り除くであろう。 そして残りの者たちは聞いて恐れるだろう、そして彼らは二度とこの悪い事をあなたたちの間で行うことはないだろう。 あなたの目は彼を容赦しないだろう。魂には魂、目には目、歯には歯、手には手、足には足。

20

もしあなたがあなたの敵に対して戦争に出て行き、そして馬と騎手

とあなたより多い民を見ても、あなたは彼らを恐れてはならない、なぜならあなたの神である主があなたと共にいるからだ、その方はエジプトの地からあなたを導き上げた方である。 そしてあなたが戦争に近づく時があるだろう、そして祭司が近づいて民に話すだろう、そして彼は彼らに向かって言うだろう、聞けイスラエルよ、あなたたちは今日あなたたちの敵たちに対して戦争へ行く、あなたたちの心を弱らせるな、恐れるな、打ち砕かれるな、彼らの顔から離れて向きを変えるな。 あなたがたの主なる神が、あなたがたと共に先立って行き、あなたがたのためにあなたがたの敵と戦い、あなたがたを救うからである。 そして律法学者たちは民に向かって話すだろう、言って、新しい家を建てて、それを奉献しなかった人は誰か。 彼を行かせよ、そして彼を彼の家へ帰らせよ、彼が戦争で死ぬことがないように、そして別の男がそれを奉献することになる。 そしてぶどう園を植えたのにそれを楽しまなかった人とは誰なのか？彼を行かせよ、そして彼を彼の家へ帰らせよ、彼が戦争で死んで、別の男がそれによって喜ぶことがないように。 そして女と婚約したがまだ彼女を娶っていない男は誰かいるか。 彼を行かせて彼の家へ帰らせよ、彼が戦争で死んで別の男がそれを取ることがないように。 そして書記たちは民に向かって話すことを続けるだろう、そして彼らは言うだろう、恐れていて心が臆病な人は誰か? 彼を行かせ、彼の家へ帰らせよ。彼の兄弟の心を、自分の心のように臆病にさせないために。 そして、書記たちが民に向かって話すことをやめる時、それが起こるだろう、そして彼らは民を率いる軍の指揮官たちを任命するだろう。 もしあなたが彼らに対して戦争をするために都市に近づくならば、平和をもって彼らを呼び出しなさい。 もし彼らがあなたに平和的に答えて、あなたに開くならば、その中で見つけられた全ての民はあなたに貢ぎ物を納める者たちとなり、あなたの

従属民となるだろう。 もし彼らがあなたに従わず、あなたに対して戦争をするなら、あなたはそれを包囲するだろう、主あなたの神がそれをあなたの手に引き渡すまで。そしてあなたはそのすべての男性を剣の殺戮で打つだろう、女たちと荷物を除いて。そしてすべての家畜、そして都市にあるすべてのもの、そしてすべての戦利品をあなた自身のために略奪するだろう。そしてあなたの敵の略奪物すべてを食べるだろう、それらを主あなたの神があなたに与える。 このようにあなたは行うであろう、あなたから非常に遠くにあるすべての都市に対して、あなたの神である主があなたに相続させるこれらの国民の都市からのものではなく。 息をするもの全てを生かしておいてはならない、しかし呪いをもって彼らを完全に滅ぼさなければならない、ヒッタイト人、そしてアモリ人、そしてカナン人、そしてペリジ人、そしてヒビ人、そしてエブス人、そしてギルガシ人を、あなたの神である主があなたに命じた方法で、彼らがその神々に行った全ての忌まわしいことをあなたたちが行うように彼らが教えないために、そしてあなたたちはあなたたちの神である主の前で罪を犯すことになる。 もしあなたが一つの町を包囲して多くの日々それに対して戦争を仕掛けてそれを占領するならば、あなたはその木々を滅ぼしてはならない、それらに斧を振り下ろすことによって、むしろあなたはそれから食べてもよいが、それを切り倒してはならない。野の木は人間なのか、あなたに包囲されて包囲陣の中へ入るために? しかし、実を結ばないとあなたが知っている木は、これをあなたは破壊し、切り倒すだろう。そしてあなたはあなたに対して戦争をしているその町に対して攻囲柵を建てるだろう、それが引き渡されるまで。

21

もしあなたの神である主があなたに相続させる地で、負傷者が野原に倒れているのが見つけられて、打った者を彼らが知らないなら、あなたの長老会とあなたの裁判官たちが出て行き、負傷者の周りの町々まで測るだろう。そして負傷者に最も近い町となり、その町の長老会が牛の中から雌の子牛を取るだろう、それは働かされておらず、軛を引いていないものである。そしてその町の長老会はその雌の子牛を荒い谷へ連れ下り、それは耕されておらず種も蒔かれていない所であり、彼らはその雌の子牛の首を谷で折るだろう。 そしてレビ人の祭司たちが近づいて来るだろう、なぜなら主なる神が彼らを選んだからである、彼の前に立つために、そして彼の名において祝福するために。そして彼らの口によってすべての争いが決まり、そしてすべての触れることも決まるだろう。 そしてあの町の全ての長老会議の、その負傷者に近づく者たちは、谷間で腱を切られた雌牛の頭の上で手を洗うだろう。そして答えて、彼らは言うだろう、私たちの手はこの血を流さなかった、そして私たちの目は見なかった。 あなたの民イスラエルに恵み深くなってください、あなたが贖った者たちに、主よ、無実の血があなたの民イスラエルの中に生じないように。そして血は彼らのために贖われるでしょう。 あなたは罪のない血をあなたたち自身から取り除くだろう、もしあなたがあなたの神、主の前で良いことと喜ばれることを行うならば。 もしあなたが出て行って、あなたの敵たちに対して戦争に入り、そして主あなたの神が彼らをあなたの手の中に引き渡し、そしてあなたが彼らの戦利品を略奪し、そしてあなたが戦利品の中に容姿が美しい女を見て、そしてあなたが彼女を望み、そしてあなたが彼女をあな

た自身のために妻として取り、そしてあなたが彼女をあなたの家の中に連れて入り、そしてあなたが彼女の頭を剃り、そしてあなたが彼女の爪を切り、そしてあなたが捕囚の衣服を彼女から取り除き、そして彼女はあなたの家の中に座り、そして彼女は父と母を一ヶ月の間泣き、そしてその後にあなたは彼女のところに入り、そしてあなたは彼女と共に住み、そして彼女はあなたの妻となるだろう。 そしてもしあなたが彼女を望まないなら、あなたは彼女を自由な者として送り出すだろう、そして売買によって彼女は銀のために売られないだろう、あなたは彼女を不当に扱わないだろう、なぜならあなたは彼女を辱めたからだ。 もし一人の男に二人の妻ができて、彼女たちの一人は愛されている者で、彼女たちの一人は憎まれている者で、そして愛されている者と憎まれている者が彼に子を産んで、そして憎まれている者の長子の息子ができたならば。そしてその日に彼が彼の息子たちに彼の所有物を相続として分ける時、彼は憎まれている者の長子の息子を見過ごして、愛されている者の息子を長子として扱うことができないであろう。しかし憎まれている者の長子の息子を認めて、彼に見つかる全てのものから二倍を彼に与えるであろう、なぜならこの者は彼の子供たちの始まりであり、そしてこの者に長子の権利が当然のものだからである。 もしある人に息子がいて、その息子が不従順で反抗的で、父の声と母の声に従わず、そして彼らが彼を懲らしめても、彼が彼らに聞き従わないなら。そして彼の父と彼の母が彼を捕らえて、彼を彼の町の長老会議へと、そしてその場所の門へと連れ出すだろう。そして彼らは彼らの町の男たちに言うだろう、この我々の息子は不従順で挑発的で、我々の声に従わず、放蕩して大酒飲みです。 そして彼の町の男たちは石で彼を石打ちにするだろう、そして彼は死ぬだろう。そしてあなたはあなたたち自身の中から悪を取り除くだろう。そして残りの者たちは

聞いて恐れるだろう。 もしある人に罪があって、死の判決があり、そして死に、そしてあなたがたが彼を木の上に掛けるなら、彼の体は木の上に横たわってはならない。しかし埋葬によってあなたがたはそれをその日に葬らなければならない。なぜなら木の上に掛けられている者は皆神によって呪われているからである。そしてあなたがたはその地を汚してはならない。その地を主であるあなたの神が相続としてあなたに与えるのである。

22

あなたの兄弟の子牛、または彼の羊が道で迷っているのを見て、それらを見過ごしてはならない。あなたは必ずそれらをあなたの兄弟のところに連れ戻し、そして彼に返さなければならない。 もしあなたの兄弟があなたに近づかず、またあなたが彼を知らないなら、あなたは彼の物をあなたの家の中に集めなさい、そして彼の物はあなたと共にあるだろう、あなたの兄弟がそれらを探すまで、そしてあなたは彼にそれを返しなさい。 このようにあなたは彼のろばに対してするだろう、そしてこのようにあなたは彼の衣に対してするだろう、そしてこのようにあなたはあなたの兄弟のすべての失われたものに対してするだろう。彼から失われるかもしれないものすべて、そしてあなたがそれを見つけるならば、あなたは見過ごすことができないだろう。 あなたの兄弟のロバまたは彼の子牛が道に倒れているのを見たら、彼らを見過ごすな、必ず彼と共に起こしなさい。 男の道具が女の上にあってはならないし、男が女の衣服を着てもならない。なぜなら、これらのことをする者すべては、あなたの主なる神にとって忌まわしいものだからである。 もしあなたが道で、ある

いはどの木の上で、あるいは地面で、雛か卵のある鳥の巣に出会い、そして母が雛の上か卵の上で温めているなら、あなたは子供たちと一緒に母を取ってはならない。 必ず母を送り去り、子供たちを自分のために取りなさい。そうすればあなたに良いことが起こり、長生きするだろう。 もしあなたが新しい家を建てるなら、あなたの屋根に縁を作りなさい、そうすれば落ちる者がそこから落ちても、あなたの家で殺人を引き起こさないだろう。 あなたのぶどう畑に異なるものを蒔いてはならない、その産物と、あなたが蒔く種とが、あなたのぶどう畑の産物と共に聖別されないために。 子牛とロバを一緒にして耕してはならない。 羊毛と亜麻を一緒にした偽物を着てはいけない。 あなたは房飾りを作りなさい、あなたが身に着ける衣服の四つの隅に。 もし誰かが妻を娶り、彼女と同居し、そして彼女を憎み、そして彼女に言いがかりの言葉をかけ、そして彼女の悪い名をもたらし、そして言う、この妻を私は娶った、そして彼女に近づいて、私は彼女の処女性を見出さなかったと。そして娘の父と母が娘の処女性を取って、門のところで長老会へ運び出すであろう。そしてその子の父は長老会議に言うだろう、私はこの私の娘をこの男に妻として与えた。そして彼女を憎んで、今この者は彼女に言いがかりの言葉を負わせている、私はあなたの娘に処女性を見つけなかったと言って。そしてこれらが私の娘の処女性である。 そして彼らはその衣を町の長老会議の前で広げるだろう。 そしてあの町の長老会議はあの男を捕らえ、彼らは彼を懲らしめ、彼らは彼に百シェケルの罰金を科し、彼らはそれをその若い女の父に与えるだろう、なぜなら彼はイスラエル人の処女に悪い名をもたらしたからである、そして彼女は彼の妻となるだろう、彼は生涯彼女を離縁することができないだろう。 もしこの言葉が真実となるならば、そしてその若い女に処女性が見出されないならば、彼らはその若い女を彼女

の父の家の戸口に連れ出し、彼らは彼女を石で石打ちにし、彼女は死ぬだろう、なぜなら彼女はイスラエルの息子たちの中で愚行をなして彼女の父の家を淫行させたからである、そしてあなたはその悪をあなたたち自身から取り除くだろう。 もし男が夫と結婚している女と寝ているのが見つかったならば、両方を殺しなさい、その女と寝ている男と、そしてその女を。そしてあなたはイスラエルから悪を取り除くであろう。 もし男に婚約している処女の娘がいて、ある男が彼女を町の中で見つけて彼女と寝たなら、あなたたちは両者を彼らの町の門に連れ出し、彼らは石で石打ちにされて死ぬだろう。その若い女は、町の中で叫ばなかったからである。そしてその男は、隣人の妻を辱めたからである。そしてあなたはあなたたち自身の中から悪を取り除くだろう。 もし男が平野で婚約した娘を見つけて、力づくで彼女と寝たならば、あなたたちは彼女と寝た者だけを殺すであろう。 そしてその若い女には死の罪はない。もし人が隣人に対して立ち上がって、その魂を殺すように、この事柄もそのようである、なぜなら野原で彼女を見つけたから。婚約された若い女は叫んだが、彼女を助ける者はいなかった。 もし誰かが婚約していない処女の少女を見つけて、力づくで彼女と寝て、見つけられたならば、彼女と寝たその男は、その若い女の父に銀五十ディドラクマを与えなければならない。そして彼女は彼の妻となるであろう、彼が彼女を辱めたことの代わりに。彼は生涯、彼女を去らせることができないであろう。

23

人は自分の父の妻をめとってはならず、自分の父の覆いを露わにし

てはならない。 睾丸を潰された者も、切り取られた者も、主の集会に入ることはない。 娼婦から生まれた者は主の集会に入ることはない。 アンモン人とモアブ人は主の集会に入らないであろう、そして十代目まで主の集会に入らないであろう、そして永遠に至るまで。 あなたたちがエジプトから出て行った時に、彼らがあなたたちにパンと水をもって道で会わなかったことのゆえに、そしてあなたをのろうためにメソポタミアからベオルの息子バラムを彼らがあなたに対して雇ったからである。 そしてあなたの神である主はバラムの言うことを聞こうとしなかった。そしてあなたの神である主はその呪いを祝福に変えた、なぜならあなたの神である主はあなたを愛したからである。 あなたは彼らに平和なことと彼らに有益なことを呼びかけてはならない、あなたのすべての日々において永遠に。 エドム人を憎んではならない、なぜなら彼はあなたの兄弟だからである。 エジプト人を憎んではならない、なぜならあなたは彼の地で寄留者となったからである。 もし息子たちが彼らに生まれるなら、三代目に彼らは主の集会に入るだろう。 もしあなたが敵に対して陣を張るために出て行くなら、あなたはすべての邪悪な言葉から身を守りなさい。 もしあなたの中に男がいて、その者が夜の彼の流出から清くないならば、彼は陣営の外へ出て行き、陣営の中へ入らないだろう。 そして夕方になったら彼は自分の体を水で洗い、太陽が沈んだら彼は陣営に入るだろう。 そしてあなたのための場所が陣営の外にあるだろう、そしてあなたはそこへ外に出て行くだろう。 そして杭があなたの帯の上にあるだろう。そしてあなたが外で用を足す時、あなたはそれで掘るだろう、そして戻ってあなたの排泄物を覆うだろう。なぜなら主であるあなたの神があなたを救い出しあなたの敵をあなたの前に引き渡すためにあなたの陣営の中を歩き回るからだ。そしてあなたの陣営は聖なるものになるだろう、そして不浄な

物があなたの中に見られないだろう、そして彼はあなたから離れるだろう。 あなたは子供を彼の主人に引き渡してはならない。その子供は彼の主人のもとからあなたのもとに加えられた者である。 あなたと共に彼は住むだろう、あなたたちの中に住むだろう、彼が喜ぶところに。あなたは彼を苦しめてはならない。 イスラエルの娘たちの中に娼婦はいてはならない、そしてイスラエルの息子たちの中に男娼はいてはならない。イスラエルの娘たちの中に神殿娼婦はいてはならない、そしてイスラエルの息子たちの中に神殿男娼はいてはならない。 あなたは娼婦の賃金も犬の交換物も、あなたの神である主の家に持って来てはならない、どんな誓願のためにも、なぜならそれら両方ともあなたの神である主にとって忌まわしいものだからである。 あなたの兄弟に、銀の利子、食物の利子、そしてあなたが貸すすべての物の利子を課してはならない。 外国人には利子を取って貸すが、あなたの兄弟には利子を取って貸してはならない。それは、あなたが入って行ってそれを相続する地の上で、あなたの神である主があなたのすべての働きにおいてあなたを祝福するためである。 もしあなたがあなたの神、主に誓願を立てるなら、あなたはそれを果たすことを遅らせてはならない、なぜならあなたの神、主は必ずあなたに求めるだろうから、そしてそれはあなたの中で罪となるだろう。 もしあなたが祈ることを望まないなら、あなたの中に罪はない。 あなたの唇から出ることを守り、そしてあなたが主なる神に誓った通りに行いなさい、あなたが自分の口で語った贈り物を。 もしあなたが隣人の収穫場に入るなら、手で穂を集めてもよいが、隣人の収穫場に鎌を入れてはならない。 もしあなたがあなたの隣人のぶどう園に入るなら、ぶどうを食べなさい、あなたの魂が満たされるだけ、しかし器には入れてはならない。

24

もし誰かが妻を娶り、彼女と共に住み、もし彼が彼女の内に何か恥ずべきことを見つけたために、彼女が彼の前で好意を見出さないならば、彼が彼女に離縁状を書き、彼女の手に渡し、彼女を彼の家から送り出し、去って行った彼女が別の男のものとなり、その後の男が彼女を憎み、彼女に離縁状を書き、彼女の手に渡し、彼女を彼の家から送り出し、その後の男、彼女を自分の妻として娶った者が死んだならば、彼女を送り出した最初の男は、彼女が汚された後に、戻って来て彼女を自分の妻として娶ることはできない。なぜならそれはあなたの神である主の前で忌むべきことであり、あなたがたの神である主があなたに相続地として与える地を汚してはならないからである。 もし誰かが最近妻を娶ったなら、彼は戦争に出て行かないだろう、そして何の用事も彼に課されないだろう。彼は自分の家で自由の身であるだろう、一年間彼は自分が娶った妻を喜ばせるだろう。 あなたは臼を質に取ってはならない、上臼も質に取ってはならない、なぜならそれは魂を質に取っているからである。 もし人が、彼の兄弟たちの中から、イスラエルの息子たちの中から、魂を盗んでいるところを捕らえられ、そして彼を抑圧して売るなら、その泥棒は死ぬだろう。そしてあなたはその悪をあなたたち自身の中から取り除くだろう。 ハンセン病に触れることについて自分自身に注意を払え。レビ人の祭司たちがあなたたちに告げるすべての律法に従って行うことを非常に守れ。私があなたたちに命じた方法を守って行え。 あなたの神である主が、あなたたちがエジプトから出て行く途中で、ミリアムに行ったすべてのことを思い出しなさい。もしあなたの隣人に何らかの借金があるなら、あなたは彼の担保を

取るために彼の家に入ってはならない。 あなたは外に立つだろう、そしてあなたが貸している人は、あなたに担保を外に運び出すだろう。 もしその人が貧しいなら、あなたは彼の質物を持って寝てはならない。 あなたは必ず彼の質物を日の沈む頃に返すであろう、そして彼は自分の衣の中で眠るであろう、そして彼はあなたを祝福するであろう、そしてそれはあなたにとって主なるあなたの神の前で憐れみとなるであろう。 あなたの兄弟たちの中から、またはあなたの町々の中にいる改宗者たちの中から来た、貧しく欠乏している者の賃金を不正に奪ってはならない。 その日のうちにあなたは彼の賃金を支払わなければならない、太陽が沈む前に、なぜなら彼は貧しい人であり、それに希望をかけているから、そして彼は主にあなたのことを訴えるだろう、そしてそれはあなたの罪となるだろう。 父たちは子供たちのために死ぬことはない、そして息子たちは父たちのために死ぬことはない。各人は自分自身の罪において死ぬのである。 あなたは寄留者と孤児と寡婦の裁きを曲げてはならない。あなたは寡婦の衣服を質に取ってはならない。そしてあなたはエジプトの地であなたが奴隷であったことを思い出すであろう。そして主あなたの神がそこからあなたを贖った。このゆえに私はあなたにこの言葉を行うことを命じる。 もしあなたがあなたの畑で収穫を刈り取り、そしてあなたの畑で束を忘れたなら、あなたはそれを取るために戻ってはならない。それは寄留者と孤児と寡婦のものとなるだろう、あなたの神である主があなたの手のすべての業においてあなたを祝福するために。 もしあなたがオリーブを収穫するなら、あなたの後ろを拾い集めるために戻ってはいけません。それは寄留者と孤児と寡婦のものになるでしょう。そしてあなたはあなたがエジプトの地で奴隷であったことを思い出すでしょう。このゆえに私はあなたにこの言葉を行うことを命じます。 もしあなたがあなたのぶどう

園を収穫するなら、あなたはその後ろをもう一度拾い集めてはならない。それは寄留者と孤児と寡婦のものとなる。そしてあなたはあなたがエジプトの地で奴隷であったことを思い出すだろう。このゆえに私はあなたにこの言葉を行うことを命じる。

25

もし人々の間に争いが生じて、彼らが裁きに来て、裁いて、正しい者を正当化し、不敬虔な者を非難するならば、そしてもし不敬虔な者が打撃に値するならば、あなたは裁判官たちの前で彼を伏させ、彼らは彼の前で彼の不敬虔に従って彼を鞭打つであろう。 そして四十回の数で彼らは彼を鞭打つであろう、それ以上は加えないであろう。しかしもしあなたがこれらの打撃より多く鞭打つことを加えるならば、あなたの兄弟はあなたの前で不名誉を受けるであろう。 脱穀している牛に口輪をはめてはならない。 もし兄弟たちが同じところに住んでいて、そして彼らのうちの一人が死に、しかし彼に子がなかったなら、死んだ者の妻は親族でない男のものとならないだろう。彼女の夫の兄弟が彼女のところに入り、そして彼女を自分の妻として取り、そして彼女と共に住むだろう。 そして、彼女が産む子供は、死んだ者の名前によって立てられるだろう、そして彼の名前はイスラエルから消されないだろう。 もしその男が彼の兄弟の妻を受け取ることを望まないなら、その妻は門の長老会議へ上って行き、そして言うだろう、私の夫の兄弟は彼の兄弟の名をイスラエルにおいて起こすことを望みません、私の夫の兄弟は望みませんでした。 そして彼の町の長老会議が彼を呼び、彼に言うだろう。そして立って彼が言う、私は彼女を受け取ることを望まない、と。そして

彼の兄弟の妻が長老会議の前に近づいて、彼の足から彼の片方のサンダルを脱がせ、彼の顔に唾を吐き、そして答えて彼女は言うだろう、イスラエルにおいて彼の兄弟の家を建てない男にはこのようにするだろう、と。 そして彼の名はイスラエルにおいて呼ばれるだろう、サンダルを脱がされた者の家と。 もし人々が互いに喧嘩して、ある人が彼の兄弟と、そして彼らの一人の妻が近づいて彼女の夫を彼を打っている者の手から救い出すために、そして手を伸ばして彼の陰部を掴んだら、あなたはその手を切り落とさなければならない。あなたの目は彼女を惜しんではならない。 あなたの袋の中に、大と小の、重りと重りがあってはならない。 あなたの家の中に、大きいものか小さいもの、二つの升があってはならない。 真実で正しい重さがあなたのものとなるであろう、そして真実で正しい量りがあなたのものとなるであろう、あなたが長く生きる者となるために、その土地の上で、それを主であるあなたの神が相続地としてあなたに与える土地の上で。 なぜなら、これらのことを行う者すべて、不正を行う者すべては、あなたの神である主にとって忌み嫌われるものだからである。 思い出せ、あなたがエジプトの地から出て行った時に、アマレクが道であなたにしたことの全てを、どのように彼が道であなたに立ち向かい、あなたの後衛を、あなたの後ろで疲れていた者たちを切り倒したかを、あなたは飢えていて疲れていたのに、そして彼は神を恐れなかった。 そして、もしあなたの主なる神が、あなたの周りのすべての敵からあなたに休息を与える時、あなたの主なる神が相続するためにあなたに与えるその地において、あなたは天の下からアマレクの名を消し去るだろう。そして忘れてはならない。

26

そしてもしあなたがその地へ入るならば、それをあなたの神である主が相続するためにあなたに与える地へ、そしてあなたがそれを取得し、そしてあなたがその上に住み、そしてあなたがあなたの地の果実の初物から取り、それをあなたの神である主があなたに与える地の初物を、そしてあなたがそれを籠の中に入れ、そしてあなたがその場所へ行くならば、それをあなたの神である主が彼の名がそこで呼ばれるために選ぶであろう場所へ。 そしてあなたはその時代にいる祭司のところへ行き、彼に言うでしょう、私は今日、私の神である主に宣言します、私は主が私たちの父祖たちに私たちに与えると誓われた地に入りましたと。 そして祭司はあなたの手から籠を受け取り、それをあなたの神、主の祭壇の前に置くだろう。 そして答えて、あなたの神、主の前で言うでしょう、私の父はシリアを失い、そしてエジプトへ下り、そしてそこに少ない数で寄留し、そしてそこで大いなる国と多くの群衆になりました。 そしてエジプト人たちは私たちを虐げ、私たちを卑しめ、私たちに厳しい労働を課した。そして私たちは私たちの神である主に向かって叫び、主は私たちの声を聞き、私たちの屈辱と、私たちの苦労と、私たちの苦しみを見た。 そして主は私たちをエジプトから導き出した、彼自身が彼の大いなる力で、そして強い手で、そして高い腕で、そして大いなる幻で、そしてしるしで、そして不思議で。 そして彼は私たちをこの場所に連れて来て、私たちにこの土地を、乳と蜜が流れる土地を与えた。 そして今、見よ、私は主よ、あなたが私に与えた地、乳と蜜が流れる地の産物の初物を持って来ました。そしてあなたはそれをあなたの神、主の前に置くでしょう、そしてあなたはあなたの

神、主の前で礼拝するでしょう、そしてあなたの神、主があなたに与えたすべての良いもので、あなたとあなたの家とレビ人とあなたの中にいる寄留者は喜ぶでしょう。 もしあなたが第三の年にあなたの収穫物の全ての十分の一を十分の一税として納めることを完了するならば、その第二の十分の一をあなたはレビ人と寄留者と孤児と寡婦に与えるだろう、そして彼らはあなたの町々で食べるだろう、そして彼らは喜ぶだろう。 そしてあなたはあなたの神である主の前で言うだろう、私は聖なるものを私の家から清め出した、そして私はそれらをレビ人と寄留者と孤児と寡婦に与えた、あなたが私に命じたすべての戒めに従って。私はあなたの戒めを破らなかった、そして私は忘れなかった。 そして私はそれらを私の苦しみの中で食べなかった、私はそれらを汚れたものとして取り分けなかった、私はそれらを死んだ者に与えなかった。私は私たちの神である主の声に従った、私はあなたが私に命じた通りに行った。 あなたの聖なる家から、天から見下ろしてください、そしてあなたの民イスラエルを祝福してください、そしてあなたが彼らに与えた地を、あなたが私たちの父たちに誓ったとおりに、私たちに乳と蜜が流れる地を与えると誓ったとおりに。 この日に、主なるあなたの神が、すべての掟と判決を行うことをあなたに命じた。そしてあなたがたは、あなたがたの心の全てから、そしてあなたがたの魂の全てから、それらを守り、行うであろう。 あなたは今日、神があなたの神であることを選び、彼のすべての道において歩み、掟と裁きを守り、彼の声に従うことを選んだ。 そして主は今日あなたを選んだ、あなたが彼にとって特別な所有の民となるために、ちょうど彼が言ったように、彼の戒めを守るために、そしてあなたがすべての国々の上にいるために、彼があなたを有名な者と誇りと栄光ある者としたように、あなたがあなたの神である主にとって聖なる民となるために、ちょう

ど彼が語ったように。

27

そしてモーセとイスラエルの長老会議は命じて言った、私が今日あなたたちに命じるこれらすべての戒めを守れ。 そしてあなたがヨルダンを渡ってあなたの神である主があなたに与える地に入る日に、あなたは自分のために大きな石を立て、そしてそれらを石灰で塗るだろう。 そしてあなたはヨルダンを渡る時、主あなたの父たちの神があなたに与える地、乳と蜜が流れる地に入る時、これらの石の上にこの律法のすべての言葉を書くだろう、主あなたの父たちの神があなたに言った通りに。 そして、あなたがたがヨルダンを渡るとき、私が今日あなたに命じるこれらの石を、ガイバル山に立てなさい、そしてそれらを石灰で塗りなさい。 そしてあなたはそこにあなたの神である主に祭壇を建てなければならない、石の祭壇を。あなたはそれの上に鉄を置いてはならない。完全な石であなたはあなたの神である主に祭壇を建てなければならない、そしてあなたはその上であなたの神である主に全焼のいけにえを捧げなければならない。 そしてあなたはそこで救いの犠牲を捧げるだろう。そしてあなたは食べ、満たされ、あなたの神である主の前で喜ぶだろう。 そしてあなたは石の上にこの律法のすべてを非常に明瞭に書くだろう。 そしてモーセと祭司たちであるレビ人たちは全イスラエルに語って言った、静まって聞けイスラエルよ。この日にあなたはあなたの神である主の民となった。そしてあなたはあなたの神である主の声を聞き、彼の全ての戒めと彼の掟、私が今日あなたに命じる全てのものを行うだろう。 そしてモーセはその日に民に命じて言った、これ

らの者たちはヨルダンを渡った後、ゲリジム山で民を祝福するために立つであろう。シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ヨセフ、そしてベニヤミン。 そしてこれらの者たちは呪いのためにゲバル山に立つだろう、ルベン、ガド、アシェル、ゼブルン、ダン、そしてナフタリ。 そして答えてレビ人たちは全イスラエルに大きな声で言うだろう、呪われた人間だ、彫刻と鋳造の像を作り、主への忌み嫌われるもの、職人たちの手の作品を、秘密の場所に置く者は誰でも。そして答えて全ての民は言うだろう、そうなりますように。 呪われよ、自分の父または自分の母を軽んじる者は。そして全ての民は言うだろう、その通りになりますように。 呪われよ、隣人の境界を移す者は。そして全ての民は言うだろう、そのとおりになれ。 呪われよ、道で盲人を迷わせる者は。そして全ての民は言うだろう、その通りに。 呪われよ、改宗者と孤児と寡婦の裁きを曲げる者は。そして全ての民は言うであろう、そうなれ。 呪われよ、自分の父の妻と寝る者は、なぜなら彼は自分の父の覆いを露わにしたからである。そして全ての民は言うであろう、然り、と。 呪われよ、すべての獣と寝る者は。そして民はみな言うだろう、その通りになりますように。彼の父からまたは母からの姉妹と寝る者は呪われている。 そしてすべての民は言うだろう、そうなりますように。 呪われよ、自分の花嫁と寝る者は。そして全ての民は言うだろう、その通りに。呪われよ、自分の妻の姉妹と寝る者は。そして全ての民は言うだろう、その通りに。 呪われよ、隣人を欺きで打つ者は。そして全ての民は言うだろう、その通りになりますように。 呪われているのは、無実の血の魂を打つために贈り物を受け取る者である。そして全ての民は言うだろう、そうなりますように。 呪われているのは、この律法のすべての言葉に留まらず、それらを行わないすべての人間である。そして民のすべてが言うだろう、そうなりますように。

28

もしあなたがあなたの神である主の声を確かに聞き、私が今日あなたに命じるこれらのすべての戒めを守り行うならば、あなたの神である主はあなたを地のすべての国々の上に高く置くであろう。そしてこれらのすべての祝福があなたの上に来て、あなたに及ぶであろう。もしあなたがあなたの神である主の声を確かに聞くならば、あなたは町で祝福され、あなたは畑で祝福される。 祝福されたあなたの腹の子孫、そしてあなたの地の産物、そしてあなたの牛の群れ、そしてあなたの羊の群れ。 あなたの倉庫とあなたの残り物は祝福されています。 あなたは入る時に祝福され、そしてあなたは出て行く時に祝福される。 あなたの神、主が、あなたに立ち向かったあなたの敵たちを、あなたの顔の前に砕かれた者として引き渡すように。彼らは一つの道であなたに向かって出て行くだろう、そして七つの道であなたの顔から逃げるだろう。 主はあなたの倉庫の中に祝福を送り、あなたが手を置くすべてのものの上に、あなたの神である主があなたに与える地の上に祝福を送る。 主はあなたを彼自身のために聖なる民として立ち上がらせる、彼があなたの父たちに誓った方法で。もしあなたがあなたの神である主の声を聞き、そして彼のすべての道を歩むなら、地のすべての国々があなたを見るだろう、主の名があなたに呼ばれているので、そして彼らはあなたを恐れるだろう。 そして主なるあなたの神は、あなたの胎の子孫において、あなたの家畜の子孫において、そしてあなたの地の産物において、あなたを良いことのために増やすだろう。主があなたの父祖たちにあなたに与えると誓ったあなたの地の上で。 主があなたに彼の良い宝物庫である天を開き、あなたの地に時に応じて雨を与え、あなたの

手のすべての働きを祝福する。そしてあなたは多くの国々に貸すが、あなたは借りない。 そしてあなたは多くの国々を支配するだろう、しかし彼らはあなたを支配しないだろう。 あなたの神である主があなたを頭に任命し、尾にではない、そしてあなたはその時上になり、下にはならない、もしあなたがあなたの神である主の声を聞き、私が今日あなたに命じることを守るなら。 あなたは、私が今日あなたに命じるすべての戒めから、右にも左にも違反せず、他の神々の後ろに行って彼らに仕えることはないだろう。 もしあなたが主なるあなたの神の声を聞かず、私が今日あなたに命じる彼のすべての戒めを守らないなら、これらすべての呪いがあなたの上に来て、あなたに追いつくだろう。 あなたは町で呪われ、畑で呪われる。 あなたの倉庫は呪われており、あなたの残り物も呪われている。 呪われているのはあなたの胎の子孫、そしてあなたの地の産物、あなたの牛の群れ、そしてあなたの羊の群れ。呪われているのは入る時のあなた、そして呪われているのは出て行く時のあなた。主はあなたの上に欠乏と飢饉と消耗を送るだろう、あなたが手を置くすべてのものの上に、彼があなたを滅ぼすまで、そして彼があなたを速やかに滅ぼすまで、あなたの邪悪な行いのゆえに、なぜならあなたは私を見捨てたから。 主があなたに死を付着させるだろう、主があなたを完全に滅ぼすまで、あなたがそこに入って行ってそれを相続するその地から。 主があなたを欠乏と熱と震えと炎症と疫病と黄疸で打ち、そしてそれらはあなたを滅ぼすまであなたを追う。そしてあなたの頭の上の天は青銅になるだろう、そしてあなたの下の地は鉄になるだろう。 あなたの主なる神があなたの地の雨を塵として与えますように、そして土が天から降ってくるだろう、それがあなたを滅ぼし尽くすまで、そしてそれが速やかにあなたを滅ぼすまで。 主があなたを敵たちの前での打撃に引き渡しますように。一

つの道で彼らに向かって出て行くが、七つの道で彼らの前から逃げるでしょう。そしてあなたは地のすべての王国で離散となるでしょう。 そしてあなたたちの死者は天の鳥と地の獣の餌食となり、追い払う者はいないだろう。 主があなたをエジプトの腫れ物と野生の疥癬と痒みで打つ、あなたが癒されることができないように。 主が狂気と盲目と心の混乱であなたを打つ。 そしてあなたは真昼に手探りするだろう、まるで盲人が暗闇の中で手探りするかのように、そしてあなたの道々は栄えないだろう。そしてあなたはその時不正を受け、そして全ての日々略奪され、そして助ける者はいないだろう。あなたは妻を娶るだろう、そして別の男が彼女を持つだろう。あなたは家を建てるだろう、そしてあなたはその中に住まないだろう。あなたはぶどう園を植えるだろう、そしてあなたは決してそれを収穫しないだろう。 あなたの子牛があなたの目の前で屠られるが、あなたはそれから食べることはない。あなたのロバがあなたから奪われるが、それはあなたに返されることはない。あなたの羊があなたの敵たちに与えられるが、あなたを助ける者はいないだろう。 あなたの息子たちとあなたの娘たちは他の国に与えられ、あなたの目は彼らを見ながら衰えるだろう、あなたの手は力を持たないだろう。あなたの土地の産物と、あなたのすべての労苦を、あなたが知らない国民が食べるだろう。そしてあなたはすべての日々、不正を受ける者となり、打ち砕かれた者となるだろう。 そして、あなたが見るであろう光景のために、あなたは恐怖に打たれるだろう。 主があなたを悪性の腫れ物で膝と脛に打ち、それであなたは足の裏から頭の頂まで癒されることができない。 主があなたと、あなたが自分の上に立てるであろうあなたの支配者たちを、あなたもあなたの父たちも知らない国へ連れ去られるように。そしてあなたはそこで他の神々、木と石に仕えるであろう。 そしてあなたは、主があなたをそ

こへ連れて行くすべての国々で、謎と例えと物語になるだろう。 種を多く野原に運び出すだろう、そして少ししか運び入れないだろう、なぜならイナゴがそれらを食い尽くすからだ。ぶどう園を植えて耕すだろう、そしてぶどう酒を飲まないだろうし、それから喜ばないだろう、なぜなら虫がそれらを食い尽くすからだ。 オリーブの木々はあなたのすべての領土にあるだろう、しかし油をあなたは塗らないだろう、なぜならあなたのオリーブの木は実が落ちてしまうだろうから。 あなたは息子たちと娘たちを生むだろう、そして彼らは存在しないだろう。なぜなら彼らは捕囚として去って行くだろうから。 あなたの全ての木製のものと、あなたの土地の産物を、いなごが食い尽くすだろう。 あなたの中にいる寄留者は、上へ上へと上って行くだろう、しかしあなたは下へ下へと下って行くだろう。この者はあなたに貸すだろう、しかしあなたはこの者に貸さないだろう。この者は頭になるだろう、しかしあなたは尾になるだろう。そしてこれらすべての呪いがあなたの上に来て、あなたを追跡し、あなたを捕らえるだろう、それがあなたを滅ぼすまで、そしてそれがあなたを滅ぼすまで。なぜならあなたはあなたの神である主の声を聞かず、彼の戒めと彼があなたに命じたすべての掟を守らなかったからである。 そしてあなたの中にしるしがあるだろう、そしてあなたの子孫の中に不思議が永遠まであるだろう、あなたがすべての豊かさのゆえに喜びと良い心をもってあなたの神主に仕えなかったことの代わりに。 そしてあなたは、主があなたに対して送り出すあなたの敵たちに、飢饉と渇きと裸とすべてのものの欠乏の中で仕えるだろう。そして彼はあなたの首に鉄の首輪を置くだろう、彼があなたを滅ぼすまで。 主はあなたの上に、遠くから地の果てから、鷲の襲撃のように民族を連れて来るだろう、あなたがその声を聞かない民族を、顔が厚かましい民族を、老人の顔を尊敬せず、そして若

者を憐れまない者を。 そしてそれはあなたの家畜の子を食い尽くし、あなたの土地の産物を食い尽くして、あなたに穀物も、ぶどう酒も、油も、あなたの牛の群れも、あなたの羊の群れも残さないようにし、あなたを滅ぼすまで続くだろう。 そして彼はあなたをあなたの町々の中で徹底的に滅ぼすだろう、高い壁と堅固な壁が打ち倒されるまで、それらはあなたがそれらの上に信頼してきたものであり、あなたの全ての地においてである。そして彼はあなたをあなたの町々の中で苦しめるだろう、彼があなたに与えた町々を。 そしてあなたはあなたの腹の子孫を食べるだろう、あなたの息子たちとあなたの娘たちの肉を、与えられたすべてのものを、あなたの苦難の中でそしてあなたの苦悩の中で、あなたの敵があなたを苦しめるその苦悩の中で。 あなたの中にいる柔らかい者と非常に繊細な者は、彼の目で彼の兄弟を妬み、彼の胸の中にいる妻を妬み、そして彼に残された子供たちを妬むだろう。それは彼が彼らの誰にも彼の子供たちの肉から与えないためである、その肉を彼が食べるだろう、なぜなら彼に何も残されないからである、あなたの苦難の中で、そしてあなたの苦悩の中で、その中であなたの敵たちがあなたを苦しめるだろう、あなたのすべての町々の中で。 あなたがたの中の柔らかくて優雅な女、その優雅さと柔らかさのために彼女の足が地面を歩く経験をしなかった女は、彼女の目で彼女の夫、彼女の懐にいる夫、そして彼女の息子と彼女の娘、そして彼女の股の間から出た彼女の後産、そして彼女が産む彼女の子供を妬むだろう。なぜなら彼女はすべてのものの欠乏のために、あなたの苦難の中で、そしてあなたの苦悩の中で、密かにそれらを食べるだろうから。あなたの敵があなたの町々であなたを苦しめる苦悩の中で。もしあなたがこの律法のすべての言葉、この書物に書かれたものを行うために聞かず、この栄誉ある驚くべき名、主、あなたの神を恐れないならば。

そして主はあなたの災いを驚くべきものにし、あなたの子孫の災いも、大きくて驚くべき災いと、邪悪で確実な病とを。 そして彼はエジプトのすべての邪悪な苦痛を戻すだろう、あなたが彼らのゆえに恐れていたものを、そしてそれらはあなたにまとわりつくだろう。そしてすべての病と、書かれていないすべての災いと、この律法の書の中に書かれているすべてのものを、主はあなたの上に下すだろう、彼があなたを滅ぼすまで。 そしてあなたがたは少ない数で残されるだろう、あなたがたが天の星のように多数であったことの代わりに、なぜならあなたがたはあなたがたの神である主の声を聞かなかったからだ。 そして主があなたたちに良いことをし、あなたたちを増やすことを喜んだその方法と同じように、主はあなたたちを完全に滅ぼすことを喜ぶだろう。そしてあなたたちは、そこに入ってそれを相続する土地から、速やかに引き抜かれるだろう。 そしてあなたの神、主が、あなたをすべての国々へ散らすだろう、地の端から地の端まで、そしてあなたはそこで他の神々に仕えるだろう、木と石に、それらをあなたもあなたの父たちも知らなかった。 しかし、それらの国々の中でもあなたを休ませないだろうし、あなたの足の裏に安定が生じることもないだろう。そして主はそこであなたに不従順な別の心と、衰えていく目と、溶けていく魂を与えるだろう。 そしてあなたの命はあなたの目の前に吊るされているだろう。そしてあなたは昼も夜も恐れるだろう、そしてあなたは自分の命を信じないだろう。 朝にあなたは言うだろう、どうやって夕方になるだろうか。そして夕方にあなたは言うだろう、どうやって朝になるだろうか。あなたが恐れるであろうあなたの心の恐れから、そしてあなたが見るであろうあなたの目の光景から。 そして主はあなたを船でエジプトへ連れ戻すだろう。その道について私は言った、あなたはもう二度とそれを見ることはないと。そしてあなたたちはそこ

であなたたちの敵に男奴隷と女奴隷として売られるだろう。しかし買う者はいないだろう。 これらは契約の言葉である、主がモーセに命じてイスラエルの子らとモアブの地で立てさせたもので、ホレブで彼らと結んだ契約とは別のものである。

29

そしてモーセはイスラエルの息子たち全員を呼んで、彼らに向かって言った、あなたたちは、エジプトの地であなたたちの前で、ファラオと彼の僕たちと彼の地全てに対して主がなした全てのことを見た。あなたたちの目が見た大きな試練たち、あの大きなしるしと不思議たちを。 そして主なる神は、あなたたちに知るための心と、見るための目と、聞くための耳を、この日まで与えなかった。 そして彼はあなたたちを四十年間荒野で導いた。あなたたちの衣服は古くならなかった、そしてあなたたちのサンダルはあなたたちの足で擦り切れなかった。 あなたたちはパンを食べず、ぶどう酒と強い酒を飲まなかった。それはあなたたちが知るためである、わたしがあなたたちの神、主であることを。 そしてあなたたちはこの場所まで来た。そしてヘシュボンの王シホンとバシャンの王オグが私たちと戦うために出て来た。 そして私たちは彼らを打ち、そして私たちは彼らの地を取り、そして私はそれを相続地としてルベンに、そしてガドに、そしてマナセ部族の半分に与えた。 そしてあなたたちはこの契約のすべての言葉を守って行いなさい、あなたたちが行うすべてのことを理解するために。 あなたがたは皆、今日、あなたがたの神である主の前に立っている。あなたがたの部族の長たち、そしてあなたがたの長老会議、そしてあなたがたの裁判官たち、そしてあな

たがたの書記たち、イスラエルのすべての男、あなたがたの女たち、そしてあなたがたの子孫、そしてあなたがたの宿営の真ん中にいる寄留者、あなたがたの木こりからあなたがたの水汲みまで、あなたがたの神である主の契約に入るために、そして彼の呪いに、主あなたの神が今日あなたに対して定めるすべてのものに。彼があなたを彼のために民として立てるために、そして彼があなたの神となるために、彼があなたに言った方法で、そして彼があなたの父祖たちアブラハムとイサクとヤコブに誓った方法で。 そして私はあなたがただけにこの契約とこの呪いを定めるのではなく、今日ここであなたがたの主なる神の前であなたがたと共にいる者たちにも、そして今日ここであなたがたと共にいない者たちにも定める。 あなたたちは知っている、私たちがエジプトの地にどのように住んだか、そしてあなたたちが通過した諸国民の真ん中を私たちが通過したことを。 そしてあなたたちは彼らの忌まわしいものを見なさい、そして彼らの偶像を、木と石、銀と金を、それらは彼らのところにあるものです。 あなたがたの中に、男、女、家族、部族で、その心があなたがたの神である主から離れて、それらの国々の神々に仕えに行った者がいないか。あなたがたの中に、胆汁と苦味の中で上に生えている根がいないか。そして、もしこの呪いの言葉を聞いて、彼の心の中で自分を祝福して、私の心の迷いの中を行くので、罪人が罪のない者を共に滅ぼさないために、私には聖なることがあるようにと言うなら、神は彼に恵みを与えることを望まない。しかし、その時、主の怒りと彼の熱情がその人の中で燃え上がる。そして、この書物の中に書かれているこの契約のすべての呪いが彼の中に結びつく。そして、主は天の下から彼の名を消し去る。 そして主は、この律法の書に書かれた契約のすべての呪いに従って、彼をイスラエルのすべての息子たちから災いのために区別するだろう。 そして次の

世代、あなたがたの後に立ち上がるあなたがたの息子たちと、遠い地から来る異邦人が言うだろう、そして彼らはその地の災いとその病気を見るだろう、それらを主がその地の上に送った、硫黄と塩が焼かれている、その地のすべては蒔かれず、また芽生えず、またすべての緑のものがその上に生えないだろう。 ちょうどソドムとゴモラ、アドマとゼボイムが破壊されたように、それらを主が怒りと憤りで破壊した。そして全ての国々が言うだろう、なぜ主はこの地にこのようにしたのか。 この大きな憤りの怒りとは何ですか。 そして彼らは言うだろう、彼らは彼らの父たちの神である主の契約を捨てた、それは彼が彼らの父たちに立てたもので、彼が彼らをエジプトの地から導き出した時のものである、そして行って彼らは他の神々に仕えた、彼らが知らなかった神々に、そして彼が彼らに分け与えなかった神々に、そして主は怒りをもって怒った、あの地に対して、それの上にもたらすために、すべての呪いを、この律法の書の中に書かれた呪いを。 そして主は彼らを彼らの地から、怒りと憤りと非常に大きな激怒をもって取り除き、そして彼らを別の地へ今のように追い出した。 隠されたことは私たちの神である主のものであり、明らかなことは永遠に私たちと私たちの子供たちのものである、この律法のすべての言葉を行うために。 隠されたことは私たちの神である主のものであり、明らかなことは永遠に私たちと私たちの子供たちのものである、この律法のすべての言葉を行うために。

30

そしてこれらすべての言葉、祝福と呪い、私があなたの前に与えたものが、あなたの上に来る時、それは起こるだろう。 そしてあなた

は心の中に受け入れるだろう、すべての国々の中で、主があなたをそこに散らすところで、そしてあなたはあなたの神である主に立ち返るだろう、そしてあなたは彼の声を聞くだろう、すべてのことに従って、私が今日あなたに命じることに従って、あなたの心の全体から、そしてあなたの魂の全体から、そして主はあなたの罪を癒すだろう、そして主はあなたを憐れむだろう、そして再び主はあなたを集めるだろう、すべての国々から、主があなたをそこに散らした国々から。 もしあなたの離散が天の果てから天の果てまででであっても、そこからあなたの神、主があなたを集め、そこからあなたの神、主があなたを連れて行くだろう。 そしてあなたの神はそこからあなたを、あなたの父たちが相続した地へ導き入れ、あなたはそれを相続し、神はあなたを良くし、あなたをあなたの父たちより豊かにするだろう。 そして主はあなたの心を徹底的に清め、そしてあなたの子孫の心を清めて、あなたがあなたの神である主を、あなたの心の全てから、そしてあなたの魂の全てから愛するようにする、あなたが生きるために。 そしてあなたの神である主は、これらの呪いを、あなたの敵たちの上に、そしてあなたを憎んであなたを追い出した者たちの上に与えるだろう。 そしてあなたは立ち返り、あなたの神である主の声を聞き、私が今日あなたに命じる全ての彼の戒めを行うだろう。 そして主なるあなたの神はあなたを祝福するだろう、あなたの手のすべての働きにおいて、あなたの胎の子孫において、そしてあなたの家畜の子孫において、そしてあなたの地の産物において、なぜなら主なるあなたの神は再び帰って来て、あなたの上に良いことのために喜ぶだろう、ちょうど彼があなたの父たちの上に喜んだように。もしあなたが主なるあなたの神の声を聞き、彼の戒めと彼の掟と彼の裁きを守るならば、この律法の書に書かれたものを。もしあなたが主なるあなたの神に立ち帰るならば、あなた

の心の全てから、そしてあなたの魂の全てから。 私が今日あなたに命じるこの戒めは、過度なものではなく、またあなたから遠くにあるものでもない。 それは上の天にあるのではない、誰が私たちのために天に上り、私たちのためにそれを取ってくるだろうか、そしてそれを聞いて私たちはそれを行うだろうかと言って。 それは海の向こうにあるのでもなく、誰が私たちのために海の向こうに渡って、私たちのためにそれを取り、私たちのためにそれを聞こえるようにするのか、そうすれば私たちはそれを行うだろうと言っているのでもない。 その言葉はあなたにとても近い、あなたの口の中に、そしてあなたの心の中に、そしてあなたの手の中に、それを行うことができるように。 見よ、私は今日あなたの前に生命と死、善と悪を与えた。 もしあなたがあなたの神である主の命令を聞くなら、私が今日あなたに命じるその命令を、あなたの神である主を愛し、彼のすべての道を歩き、そして彼の掟を守り、そして彼の裁きを守ることを、そしてあなたたちは生きるだろう、そしてあなたたちは多くなるだろう、そしてあなたの神である主はあなたを祝福するだろう、すべての地で、あなたがそこに入ってそれを相続する地で。 もしあなたの心が離れ、あなたが聞かず、迷わされて他の神々を拝み、それらに仕えるなら、私は今日あなたに宣言する。あなたがたは滅びによって滅び、あなたがたがヨルダンを渡ってそこでそれを相続するために入って行くその地の上で、決して長く生きる者とはならないであろう。 私は今日あなたたちに厳かに証言する、天と地を証人として。命と死を私はあなたたちの前に置いた、祝福と呪いを。命を選べ、あなたとあなたの子孫が生きるために、主なるあなたの神を愛し、彼の声を聞き、そして彼に堅く結びつくことを。なぜならこれがあなたの命でありあなたの日々の長さだから、主があなたの父祖たちアブラハムとイサクとヤコブに彼らに与えると誓った地に

住むことが。

31

そしてモーセはこれらすべての言葉をイスラエルのすべての息子たちに話すことを完了し、彼らに言った、私は今日百二十歳である。私はもはや出入りすることができない。そして主は私に言われた、あなたはこのヨルダンを渡らないと。 あなたの神である主、あなたの前を進む者、この方があなたの前からこれらの国々を滅ぼすだろう、そしてあなたは彼らを相続するだろう。そしてヨシュアがあなたの前を進む、主が語ったように。 そしてあなたの主なる神は、彼らに対して、ヨルダンの向こうにいたアモリ人の二人の王、シホンとオグ、そして彼らの地に対して行ったように行うだろう、彼が彼らを完全に滅ぼしたように。 そして主は彼らをあなたたちに引き渡した。そしてあなたたちは、私があなたたちに命じた通りに彼らに行うだろう。 勇気を持て、そして強くあれ、恐れるな、怯むな、彼らの前でおびえるな。なぜならあなたの神である主が、あなたがたと共に進む者であり、あなたがたの中にいて、あなたを決して見放さず、あなたを決して見捨てないからだ。 そしてモーセはヨシュアを呼んで、全イスラエルの前で彼に言った、勇気を持て、そして強くあれ。なぜならあなたはこの民の先頭に立ってその地へ入るだろう、主があなたがたの父祖たちに彼らに与えると誓われたその地へ、そしてあなたは彼らにそれを相続させるだろう。 そして、あなたと共に旅している主は、あなたを離さないし、あなたを見捨てることもない。恐れるな、臆病になるな。 そしてモーセはこの律法の言葉を書物に書き、主の契約の箱を運ぶレビの息子たちである祭司

たちと、イスラエルの息子たちの長老たちに与えた。 そしてモーセはその日に彼らに命じて言った、七年の後、解放の年の時、仮庵の祭りに、全イスラエルが集まって行き、あなたがたの神である主の前に現れるために主が選ぶ場所で、あなたがたはこの律法を全イスラエルの前で彼らの耳に読まなければならない。民を集めなさい、男たちと女たちと子孫と、あなたがたの町々にいる寄留者を。彼らが聞くために、そして彼らがあなたがたの神である主を恐れることを学ぶために。そして彼らはこの律法のすべての言葉を行うことに聞き従うであろう。 そして知らない彼らの息子たちは聞くだろう、そして学ぶだろう、あなたの神なる主を恐れることを、彼ら自身が地の上に生きているすべての日々、あなたたちがヨルダンを渡ってそこでそれを相続するその地の上に。 そして主はモーセに向かって言った、見よ、あなたの死の日々が近づいた。ヨシュアを呼べ、そして証しの天幕の戸口のそばに立て、そして私は彼に命じるだろう。そしてモーセとヨシュアは証しの天幕へ行った、そして彼らは証しの天幕の戸口のそばに立った。 そして主は雲の中を降りて来て、証しの天幕の戸口のそばに立った。そして雲の柱が証しの天幕の戸口のそばに立った。 そして主はモーセに言った、見よ、あなたはあなたの父たちと共に眠るだろう、そしてこの民は立ち上がって、彼らが入るその地の異なる神々の後を追って淫行をするだろう、そして彼らは私を見捨てるだろう、そして彼らは私が彼らと結んだ私の契約を破るだろう。 そして私はその日に彼らに対して怒りをもって怒るだろう、そして私は彼らを見捨てるだろう、そして私は私の顔を彼らから背けるだろう、そして彼は食い物になるだろう。そして多くの災いと苦難が彼を見つけるだろう。そしてその日に彼は言うだろう、主である私の神が私の中にいないから、これらの災いが私を見つけたのだと。 しかし私は、その日に、彼らが行っ

たすべての悪のゆえに、私の顔を彼らから必ず背けるだろう、なぜなら彼らが異国の神々へ向きを変えたからである。 そして今、この歌の言葉を書きなさい、そしてそれをイスラエルの子らに教えなさい、そしてそれを彼らの口に置きなさい、この歌が私のために証人としてイスラエルの子らの前にあるようになるために。 私は彼らを良い地に連れて行くだろう、その地を私は彼らの父祖たちに誓った、彼らに乳と蜜が流れる地を与えると。そして彼らは食べて、満たされて満足するだろう。そして彼らは異国の神々のもとに立ち返り、彼らに仕え、私を怒らせ、私の契約を破るだろう。 そしてこの歌は彼らに対して証言として立つだろう。なぜならそれは彼らの口から忘れられることはないだろうし、彼らの子孫の口からも忘れられることはないだろう。なぜなら私は彼らの邪悪を知っているからだ、私が彼らをかの良い地に連れて入る前に、彼らが今日ここで行っているすべてのことを、その地を私は彼らの父たちに誓ったのだ。 そしてモーセはその日にこの歌を書いた、そしてそれをイスラエルの子らに教えた。 そして彼はヨシュアに命じて言った、勇気を持て、そして強くあれ。なぜならあなたがイスラエルの子らを、主が彼らに誓われたその地に導き入れるのだ。そして彼自身があなたと共にいるだろう。 モーセがこの律法のすべての言葉を書物に最後まで書き終えた時、そして主の契約の箱を運ぶレビ人たちに命じて言った、この律法の書物を取って、あなたがたの神である主の契約の箱の脇に置きなさい。そしてそれはそこであなたの中に証しとしてあるだろう。 私はあなたの反抗を知っている、そしてあなたの頑固な首を。なぜなら私がまだあなたたちと共に生きている今日でさえ、あなたたちは神に対して反抗していたのだから。私の死の後はなおさらではないか。 私のもとにあなたたちの部族の長たちと、あなたたちの長老たちと、あなたたちの裁判官たちと、あなたたちの

書記たちを集めよ、私が彼らの耳にこれらの言葉すべてを語るために。そして私は彼らに天と地を証人として呼ぶ。 私は知っている、なぜなら私の死の後に、あなたたちは不法を行うだろう、そして私があなたたちに命じた道から外れるだろう、そして終わりの日にあなたたちに災いが降りかかるだろう、なぜならあなたたちは主の前で悪を行い、あなたたちの手の業によって彼を怒らせるからだ そしてモーセは全集会の耳に、この歌の言葉を最後まで語った。

32

天よ、注意を払え、そして私は話そう、そして地よ、私の口からの言葉を聞け。 私の格言は雨として待たれよ、そして私の言葉は露として降りよ、草の上の雨のように、そして草の上の雪のように。 私は主の名を呼んだので、私たちの神に偉大さを与えなさい。 神よ、その業は真実であり、その全ての道は裁きである。神は忠実であり、不正義はない。主は正しく聖なる方である。 彼らは罪を犯した。彼の子供たちではなく、非難されるべき者たちが。曲がって歪んだ世代が。 これらのことで主に報いるのか? このように愚かで賢くない民なのか? あなたの父であるこの人自身があなたを獲得し、あなたを造り、あなたを形造ったのではないか? 永遠の日々を思い出せ、代々の世代の年月を理解せよ。 あなたの父に尋ねなさい、そうすれば彼はあなたに告げるでしょう。あなたの長老たちに尋ねなさい、そうすれば彼らはあなたに言うでしょう。 いと高き者が諸国民を分けた時、アダムの息子たちを散らしたように、神の使者たちの数に従って諸国民の境界を定めた。 そして主の分は彼の民ヤコブとなった。彼の相続の測られた分はイスラエルである。 彼は荒野で、

渇きと熱の中で、水のない地で彼を満足させた。彼は彼を囲み、彼を教育し、彼を守った、目の瞳のように。鷲が自分の巣を覆うように、自分の雛たちの上で舞い、翼を広げて彼らを受け取り、自分の肩の上で彼らを引き上げた。 主が一人で彼らを導いた。彼らと共に異国の神はいなかった。 彼は彼らを地の力の上に上らせた。彼は彼らに畑の産物を食べさせた。彼らは岩から蜜を吸い、固い岩から油を吸った。 牛のバター、そして羊の乳、子羊と雄羊の脂肪と共に、雄牛の息子たちと山羊、小麦の腎臓の脂肪と共に、そして葡萄の血を飲んだ、ワインを。 そしてヤコブは食べて満たされた、そして愛された者は蹴り、太り、厚くなり、広くなり、そして彼を造った神を見捨て、そして彼の救い主である神から離れた。 彼らは異国のものによって私を怒らせた。彼らの憎むべきもので私を苦々しくさせた。 彼らは悪霊たちに犠牲を捧げ、神には捧げなかった。彼らが知らなかった神々に、新しく最近来た者たちに、彼らの父たちが知らなかった者たちに。 あなたを生んだ神をあなたは見捨て、そしてあなたを養う神を忘れた。 そして主は見た、そして嫉妬した。そして彼の息子たちと娘たちへの怒りによって激怒した、そして言った、私は私の顔を彼らから背けるだろう、そして私は終わりの日々に彼らに何が起こるかを示すだろう。なぜならこの世代は堕落しているから、息子たちは彼らの中に信仰がない者たちである。 彼ら自身は神でないものによって私を嫉妬に駆り立て、彼らの偶像によって私を怒らせた。そして私は民でないものによって彼らを嫉妬に駆り立て、愚かな民によって彼らを怒らせる。 火が私の怒りから燃え上がった、ハデスの下まで燃えるだろう、地とその産物を食い尽くすだろう、山々の基礎を燃やすだろう。 私は彼らに災いを集め、私の矢を彼らと共に戦わせるだろう。 飢饉によって、そして鳥に食われることによって衰弱し、そして治癒不可能な後屈の痙攣。野獣の歯

を私は彼らに送り込むであろう、地上を這うものたちの怒りと共に。 外では剣が彼らの子供を奪い、内では恐怖が襲う。若者も処女も、乳飲み子も老人も同様に。 私は言った、私は彼らを散らし、人々の間から彼らの記憶を絶やすだろうと。 もし敵の怒りによるのでなければ、彼らが長く続かないように、敵対者たちが一緒に攻撃しないように、彼らが私たちの高い手が、主ではなく、これら全てのことをしたと言わないように。 国民は助言を失ってしまったのであり、彼らの中に知識はない。 彼らは理解しようと思わなかった。彼らにこれらのことを来たる時に受け取らせよ。 どのようにして一人が千人を追うだろうか、そして二人が万人を追い散らすだろうか、もし神が彼らを売り渡し、そして主が彼らを引き渡さなかったならば? 彼らの神々は私たちの神のようではない。そして私たちの敵たちは愚かである。 というのも彼らのぶどうの木はソドムのぶどうの木からで、そして彼らの枝はゴモラから。彼らのぶどうは胆汁のぶどう、苦さの房が彼らのもの。 彼らのぶどう酒は蛇の憤怒であり、コブラの憤怒は癒しがたい。 見よ、これらのことは私のもとに集められているではないか、そして私の宝庫の中に封印されているではないか。 復讐の日に私は報復する、彼らの足がつまずく時に。なぜなら彼らの滅びの日は近く、そして準備されたものがあなたたちに用意されているから。 主は彼の民を裁き、そして彼の僕たちについて慰められるだろう。というのも彼は彼らが弱められ、捕囚の中で見捨てられ、そして弱められているのを見たからである。そして主は言った、彼らの神々はどこにいるのか、彼らがそれらに信頼していた神々、その犠牲の脂肪をあなたがたは食べ、そしてその注ぎの酒をあなたがたは飲んでいた。 彼らに立ち上がらせよ、そして彼らにあなたたちを助けさせよ、そして彼らをあなたたちの保護者にならせよ。 見よ見よ、私は私である、そして私を除いて神はいな

い。私は殺し、そして生かすだろう。私は打つだろう、そして私は癒すだろう。そして私の手から救い出す者はいない。 私は天へ私の手を上げる、そして私の右手にかけて誓う、そして私は言う、私は永遠に生きると。私は稲妻のように私の剣を研ぐ、そして私の手は裁きを固く保つ、そして私は敵たちに罰を返す、そして私を憎む者たちに報いを返す。 私は私の矢を血で酔わせるだろう、そして私の剣は肉を食べるだろう、傷ついた者たちの血と捕囚から、敵の支配者たちの頭から。 喜べ、天よ、彼と同時に、そして神のすべての使者たちは彼を礼拝せよ。喜べ、諸国民よ、彼の民と共に、そして神のすべての息子たちは彼を強めよ、なぜなら彼の息子たちの血は復讐されるから。そして彼は復讐し、そして敵たちに罰を報い、そして憎む者たちに報いる。そして主は彼の民の地を清める。 そしてモーセはその日にこの歌を書き、そして彼はそれをイスラエルの子らに教えた。そしてモーセは入り、そして彼はこの律法のすべての言葉を民の耳に語った、彼自身とヌンの子ヨシュアが。 そしてモーセは、すべてのイスラエルに話すことを完了した。 そして彼は彼らに言った、あなたたちはこれらすべての言葉に心を注ぎなさい。それらを私は今日あなたたちに厳かに証言する。あなたたちはあなたたちの息子たちに命じなさい、この律法のすべての言葉を守り、そして行うことを。 これはあなたたちにとって空しい言葉ではないからである。これはあなたたちの命であり、そしてこの言葉のゆえにあなたたちはその地の上で長く生きるであろう、あなたたちがヨルダンを渡ってそこを相続するために入って行くその地の上で。 そして主はこの日にモーセに語って言った、アバリムの山に登れ、このネボ山は、エリコの向かいのモアブの地にある。そしてカナンの地を見よ、それを私はイスラエルの子らに与える。そしてあなたが登るその山で死に、あなたの民に加えられよ。あなたの兄弟アロンが

ホル山で死んで、彼の民に加えられたその方法のように。 あなたたちがイスラエルの子らの中で、シンの荒野のカデシュにある争いの水のところで、私の言葉に従わなかったので、なぜならあなたたちがイスラエルの子らの中で私を聖としなかったからである。 向かい側からその地を見るだろうが、そこへは入らないだろう。

33

そしてこれは祝福である、それを神の人モーセが彼の死の前にイスラエルの息子たちに与えた。 そして彼は言った、主はシナイから来られ、セイルから私たちに現れ、パランの山から急ぎ来られた。カデシュの幾万と共に、その右には使者たちが共にいる。 そして彼は彼の民を惜しんだ、そしてすべての聖別された者たちはあなたの手のもとにあり、そしてこれらの者たちはあなたのもとにある、そして彼の言葉から律法を受けた、それはモーセが私たちに命じたもので、ヤコブの集会への相続である。 そして愛された者の中に支配者がいるだろう、民の支配者たちがイスラエルの部族と共に集められた時に。 ルベンよ生きよ、そして死んではならない、そして数において多くあれ。 そしてこれはユダについて。主よ、ユダの声を聞いてください、そしてあなたが彼の民のところに来てくださいますように。彼の手は彼のために戦うでしょう、そしてあなたは敵に対する助け手となるでしょう。 そしてレビに言った、レビに彼の明らかなものを与えよ、そして彼の真理をその聖なる人に、彼らが試練で彼を試した者に。彼らは争いの水のところで彼を罵った。父と母にあなたを見たことがないと言う者、そして彼の兄弟たちを認めず、そして彼の息子たちを見捨てた。彼はあなたの言葉を守り、そして

あなたの契約を保った。 彼らはあなたの掟をヤコブに明らかにし、あなたの律法をイスラエルに明らかにするでしょう。彼らはあなたの祭壇の上に、あなたの怒りの中で絶えず香を置くでしょう。 主よ、彼の力を祝福し、彼の手の働きを受け入れてください。彼に対して立ち上がった敵の腰を打ち砕き、彼を憎む者たちが立ち上がりませんように。 そしてベニヤミンに彼は言った、主に愛された者は信頼して住むであろう、そして神は彼の上にすべての日々影を投げかける、そして彼の肩の間に休まれた。 そしてヨセフに彼は言った、主の祝福から彼の地は、天の時から、そして露から、そして深淵の泉から下から、そして太陽の道の産物の季節によって、そして月の会合から、山の頂から始まりの、そして丘の頂から永遠の、そして地の満たしの季節によって。そして柴の中で現れた者に受け入れられるものがヨセフの頭の上に来ますように、そして兄弟たちの間で栄光を受けた者の頂の上に。 初子の雄牛が彼の美しさ、一角獣の角が彼の角。それらで国々を突き刺すだろう同時に、地の果てまで。これらはエフライムの幾万、そしてこれらはマナセの幾千。 そしてゼブルンに言った、ゼブルンよ、あなたの出て行くことにおいて喜べ、そしてイッサカルよ、その天幕において喜べ。 諸国民は完全に滅ぼされるだろう。そしてあなたがたはそこで呼び求めるだろう、そしてあなたがたはそこで義の犠牲を捧げるだろう。なぜなら海の富があなたを養うだろうし、沿岸に住む者たちの交易もそうするからだ。 そしてガドについて彼は言った、ガドを広げる者は祝福されている。ライオンのように彼は休んだ、腕と支配者を砕いて。そして彼は彼の初穂を見た、なぜならそこで、民の指導者たちと共に集められた支配者たちの地が分けられたからである。主は義を行い、そして彼の裁きをイスラエルと共に行った。 そしてダンについて言った、ダンはライオンの子である、そして彼はバシャンから飛

び出すだろう。 そしてナフタリに言った、ナフタリは受け入れられるものの満ち足りた者、そして主からの祝福で満たされよ。海と南を相続するだろう。 そしてアシェルに言った、アシェルは子供たちによって祝福され、そして彼は彼の兄弟たちに受け入れられるだろう。彼は油の中に彼の足を浸すだろう。 鉄と青銅が彼の履物となるだろう。あなたの日々に応じて、あなたの力も。 愛された者の神のような者はいない、天に乗るあなたの助け手、そして大空において壮麗な方。 そして神の力があなたを覆い、永遠の腕の力の下にいるだろう。そして彼はあなたの前から敵を追い出すだろう、滅びよと言いながら。 そしてイスラエルは信頼して住むだろう、一人でヤコブの地の上に、穀物とぶどう酒の上に。そして天はあなたのために露で曇るだろう。 祝福されたあなた、イスラエルよ。誰があなたのような民だろうか、主によって救われている民は。 あなたの助け手が守るだろう、そしてあなたの剣があなたの誇りだ。そしてあなたの敵たちがあなたに嘘をつくだろう。そしてあなたは彼らの首を踏むだろう。

34

そしてモーセはモアブのアラボテから登った、ネボ山の上へ、ピスガの頂上の上へ、それはエリコの面の上にある。そして主は彼に見せた、すべてのギレアデの地をダンまで、そしてすべてのナフタリの地を、そしてすべてのエフライムの地を、そしてマナセを、そしてすべてのユダの地を最果ての海まで、そして荒野を、そしてエリコの周辺地域を、なつめやしの町をゾアルまで。 そして主はモーセに言った、これはわたしがアブラハムとイサクとヤコブに、あなた

たちの子孫にわたしはそれを与えると言って誓った地である。そしてわたしはあなたの目にそれを見せた。しかしそこにあなたは入らないだろう。 そして主の僕モーセは、主の言葉によって、モアブの地で死んだ。 そして彼らは彼をガイのペオルの家の近くに埋葬した。そして誰も彼の埋葬の場所をこの日まで見なかった。 モーセは彼が死ぬ時に百二十歳だった。彼の目は暗くならず、彼の歯茎も損なわれなかった。 そしてイスラエルの子らは、ヨルダン川のほとり、エリコの近くのモアブの平原で、モーセのために三十日間泣いた。そしてモーセの嘆きと喪の日々は終わった。 そしてヌンの子ヨシュアは理解の霊で満たされた。というのもモーセが彼の上に彼の手を置いたからである。そしてイスラエルの子らは彼の言うことを聞いた。そして彼らは主がモーセに命じた通りに行った。 そしてモーセのような預言者はイスラエルにもはや起こらなかった。主は彼を顔と顔とを合わせて知った。すべてのしるしと不思議において、主が彼を遣わしてそれらをエジプトの地でファラオと彼のしもべたちと彼のすべての地に行わせた。その大いなる不思議と力強い手を、モーセがすべてのイスラエルの前で行った。

ヨシュア記

1

そしてモーセの死の後に起こった。主はモーセの助手であるヌンの息子ヨシュアに言った、私の僕モーセは死んだと。 さあだから立ち上がって、ヨルダンを渡れ、あなたとこのすべての民は、私が彼らに与える地へ。 あなたがたがあなたがたの足の裏で踏むすべての場所を、私がモーセに言った通りに、私はあなたがたにそれを与えるだろう。荒野とアンチレバノン、大きい川まで、ユーフラテス川、そして最後の海まで。太陽の沈むところからが、あなたがたの境界となるだろう。 人間はあなたの前に立ち向かわないだろう、あなたの人生のすべての日々において。そして、ちょうど私がモーセと共にいたように、そのように私はあなたと共にいるだろう、そして私はあなたを見捨てないし、あなたを軽蔑しない。 強くあれ、そして勇敢であれ。なぜならあなたがこの民にその地を分け与えるだろう、その地を私はあなたたちの父祖たちに与えると誓ったのだ。 だから強くあれ、そして勇敢であれ、私のしもべモーセがあなたに命じた通りに守り、そして行え。そしてあなたはそれらから右にも左にも曲がってはならない、あなたが行うすべてのことにおいて成功

するために。 そしてこの律法の書はあなたの口から離れないだろう、そしてあなたはそれを昼も夜も黙想するだろう、書かれたすべてのことを行うことを知るために。そのときあなたは栄えるだろう、そしてあなたはあなたの道を栄えさせるだろう、そしてそのときあなたは理解するだろう。 見よ、私はあなたに命じた。強くあれ、そして勇敢であれ、臆病になるな、恐れるな、なぜならあなたの神である主があなたと共にいるからだ、あなたが行くすべてのところへ。そしてヨシュアは民の書記官たちに命じて言った、民の陣営の真ん中に入れ、そして民に命じよ、言って、食糧を準備せよ、なぜならまだ三日でお前たちはこのヨルダン川を渡るからだ、入って行って土地を占領するために、お前たちの父祖たちの神である主がお前たちに与える土地を。 そしてルベンとガドとマナセ部族の半分にヨシュアは言った、主のしもべモーセがあなたがたに命じた言葉を覚えなさい、主あなたがたの神があなたがたを休ませ、そしてあなたがたにこの地を与えたと言って。 あなたがたの妻たちとあなたがたの子供たちとあなたがたの家畜は、彼があなたがたに与えたその地に住まわせよ。しかしあなたがたは武装してあなたがたの兄弟たちより先に渡るであろう、すべての強い者は。そしてあなたがたは彼らと共に戦うであろう、我らの主なる神があなたがたの兄弟たちにもあなたがたと同じように安息を与え、そして彼らもまた我らの主なる神が彼らに与える地を相続するまで。そしてあなたがたは各々、モーセがあなたがたに与えた彼の相続地へ、ヨルダンの向こう側、日の昇る方角へ去るであろう。 そして、ヨシュアに答えて彼らは言った、あなたが私たちに命じることは何でも、私たちは行います。そして、あなたが私たちを送る場所へはどこでも、私たちは行きます。 私たちがモーセに聞き従ったすべてのことに従って、私たちはあなたに聞き従うでしょう。ただし、主なる私たちの神が

あなたと共にいてくださいますように、モーセと共にいたのと同じように。 あなたに逆らう人、そしてあなたが彼に命じる通りにあなたの言葉を聞かない者は、死ななければならない。しかし強くあれ、そして勇敢であれ。

2

そしてヌンの息子ヨシュアはシッティムから二人の若者たちを偵察のために送り、言った、上って行ってその地とエリコを見なさい。そして行った後、その二人の若者たちはエリコに入った。そして彼らはラハブという名の遊女の家に入った。そして彼らはそこに泊まった。 そしてエリコの王に報告された、イスラエルの息子たちの男たちが、この地を偵察するためにここに入って来ましたと。 エリコの王は使いを送り、ラハブに言った、昨夜あなたの家に入って来た男たちを連れ出せ。彼らはこの土地を偵察するために来たのだから。 そしてその女は二人の男たちを連れて行き、彼らを隠した。そして彼女は言った、その男たちは私のところに来ました。しかし門が暗闇の中で閉められていた時、その男たちは出て行きました。私は彼らがどこへ行ったか知りません。彼らの後を追いなさい、そうすればあなたたちは彼らに追いつくでしょう。 この女は彼らを屋根の上に連れて行き、屋根の上に積み上げられていた亜麻の茎の中に彼らを隠した。 そして男たちは彼らの後を、ヨルダンへ向かう道を、渡し場まで追跡した、そして門は閉められた。 そして追跡する者たちが彼らを追って出て行き、そして彼らが眠る前に、彼女は屋根の上の彼らのところへ上って行って、彼らに言った、私は知っています、主があなたがたにその地を与えたことを。というのもあな

たがたへの恐れが私たちの上に落ちたからです。 私たちは聞きました、主なる神があなたたちがエジプトの地から出て来た時にあなたたちの前から紅海を干上がらせたことを、そして神がヨルダンの向こうにいたアモリ人の二人の王たち、シホンとオグに行ったこと、あなたたちが彼らを完全に滅ぼしたことを。 そして私たちはそれを聞いて心で恐れおののき、あなたがたの前からもはや私たちの誰の中にも霊は残らなかった、なぜならあなたがたの主なる神は、上の天においても下の地においても神であるから。 そして今、私に主なる神にかけて誓ってください。私はあなたたちに慈悲を行うので、あなたたちも私の父の家に慈悲を行ってください。そして私の父の家を、私の母を、私の兄弟たちを、私の家全体を、そして彼らに属する全てのものを生かしておいてください。そして私の魂を死から救い出してください。 そして男たちは彼女に言った、私たちの魂はあなたたちの代わりに死へ。そして彼女は言った、主があなたたちに町を引き渡す時には、あなたたちは私に慈悲と真実を行ってください。 そして彼女は窓を通して彼らを降ろした。そして彼らに言った、山地へ行きなさい。追跡者たちがあなたたちに出会わないように。そしてそこに三日間隠れなさい、追跡者たちがあなたたちの後ろから引き返すまで。そしてその後、あなたたちは自分たちの道へ出発するでしょう。 そして男たちは彼女に言った、私たちはあなたのこの誓いについて無罪です。 見よ、私たちは町の一部へ入って行く、そしてあなたは印を置くだろう、この緋色の紐をあなたは窓に結ぶだろう、その窓を通してあなたは私たちを降ろした、そしてあなたの父を、そしてあなたの母を、そしてあなたの兄弟たちを、そしてあなたの父の家の全てをあなたはあなた自身のところへあなたの家に集めるだろう。 そしてあなたの家の戸を外に出て行く者は誰でも彼自身に対して有罪となるだろう、しかし私たちはあなたのこ

の誓いに対して無罪である。そしてあなたと共にあなたの家の中にいる者たちは誰でも、私たちが有罪となるだろう。 もし誰かが私たちに害を与えるか、または私たちのこれらの言葉を明らかにするなら、私たちはあなたのこの誓いから無罪となるだろう。 そして彼は彼らに言った、あなたたちの言葉の通りになれ。そして彼は彼らを送り出し、彼らは行った。 そして彼らは山地に来て、そこに三日間留まった。そして追跡者たちはすべての道を探し求めたが、見つけなかった。 そして二人の若者たちは戻り、山から下った。そして彼らはヌンの子ヨシュアのところへ渡り、彼らに起こった全ての事を彼に語った。 そして彼らはヨシュアに言った、主が全ての地を私たちの手にお渡しになりました、そしてあの地に住んでいる全ての者が私たちのことで恐れおののいています。

3

ヨシュアは朝早く起き、シッティムから出発し、彼らはヨルダン川まで来て、渡る前にそこに留まった。 そして三日の後に書記たちは宿営を通り抜けた、そして彼らは民に命じて言った、あなたたちが私たちの神である主の契約の箱と、私たちの祭司たちと、それを運んでいるレビ人たちを見る時、あなたたちはあなたたちの場所から出発して、それの後ろを行きなさい。 しかしあなたたちとそれの間を遠く離しておけ、二千キュビトほど距離を置け。それに近づくな、あなたたちが行くべき道を知るために。なぜならあなたたちは昨日からも三日前からもその道を行ったことがないからだ。 そしてヨシュアは民に言った、明日のために自分たちを清めなさい。なぜなら明日、主はあなたたちの中で素晴らしいことをなさるからです。

そしてヨシュアは祭司たちに言った、主の契約の箱を持ち上げなさい、そして民の前を進みなさい。そして祭司たちは主の契約の箱を持ち上げ、民の前を進んだ。 そして主はヨシュアに言った、この日に私はすべてのイスラエルの息子たちの前であなたを高く上げ始める、彼らが知るために、私がモーセと共にいたように、私はあなたと共にいるだろうということを。 そして今、契約の箱を運ぶ祭司たちに命じなさい、こう言って、あなたたちがヨルダンの水の端に入ったら、ヨルダンの中に立ちなさいと。 そしてヨシュアはイスラエルの子らに言った、ここに近づいて、そして私たちの神、主の言葉を聞きなさい。 このことによってあなたたちは知るだろう、生ける神があなたたちの中におられ、そして私たちの前からカナン人とヘテ人とペリジ人とヒビ人とアモリ人とギルガシ人とエブス人を完全に滅ぼされることを。 見よ、全地の主の契約の箱がヨルダンを渡る。 あなたたちのために十二人の男たちをイスラエルの息子たちから選びなさい、各部族から一人ずつ。 そして、全地の主の契約の箱を運ぶ祭司たちの足がヨルダンの水の中で休むとき、ヨルダンの水は絶たれ、そして下ってくる水は立ち止まるだろう。 そして民は彼らの天幕からヨルダンを渡るために出発した。そして祭司たちは主の契約の箱を民より先に持ち上げた。 契約の箱を運ぶ祭司たちがヨルダンに入って行った時、そして主の契約の箱を運ぶ祭司たちの足がヨルダンの水の一部に浸された時、ヨルダンは小麦の収穫の日々のように、その土手全体に満ちていた。そして上から降りて来る水は立ち止まった、一つの塊が非常に非常に遠く離れて立ち止まった、キリアト・エアリムの地域まで。しかし降りて来るものはアラバの海、塩の海へと降りて行った、終わりまで尽きた。そして民はエリコの向かいに立っていた。 そして主の契約の箱を運んでいる祭司たちはヨルダン川の真ん中の乾いた地の上に立った。そしてイス

ラエルのすべての子らは乾いた地を通って渡っていた、すべての民がヨルダン川を渡り終えるまで。

4

そしてすべての民がヨルダンを渡り終えた時、主はヨシュアに言って言った、民から男たちを取れ、各部族から一人ずつ。彼らに命じろ。そしてヨルダンの真ん中から準備された十二の石を取り上げろ。そしてこれらをあなたたち自身と一緒に運んで、あなたたちの陣営に置け、そこであなたたちがその夜に宿営する所に。 そしてヨシュアはイスラエルの息子たちから名高い十二人の男たちを、各部族から一人ずつ召し出して、彼らに言った、主の御前で私の前にヨルダン川の真ん中へ近づいて来なさい。そしてそこから各々石を取り上げて、イスラエルの十二部族の数に従って彼の肩の上に持ち上げなさい、これらがあなたたちにとって常に置かれている印となるために。あなたの息子が明日あなたに尋ねて言う時に、これらの石は私たちにとって何ですかと。 そしてあなたはあなたの息子に告げるだろう、言って、全ての地の主の契約の箱の前からヨルダン川が引いたと、それが渡っていた時に。そしてこれらの石はあなたたちイスラエルの子らにとって永遠の記念となるだろう。 そしてイスラエルの子らはそのようにした、主がヨシュアに命じた通りに。そして彼らは十二の石をヨルダン川の真ん中から取り上げた、主がヨシュアに命じた通りに、イスラエルの子らの渡河の完了において。そして彼らはそれらを自分たちと共に宿営へ運んで、そしてそこに置いた。 ヨシュアは別の十二の石をヨルダン川の中に、主の契約の箱を運んでいた祭司たちの足の下にあった場所に立てた。そしてそ

れらは今日までそこにある。 契約の箱を運んでいる祭司たちはヨルダンに立っていた、ヨシュアが主が民に告げるように命じた全てのことを完了するまで。そして民は急いで渡った。 そして、すべての民が渡り終えたとき、主の契約の箱が渡り、そして石たちが彼らの前にあった。 そしてルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセの部族の半分が、武装してイスラエルの息子たちの前を渡った、ちょうどモーセが彼らに命じたように。 四万人の軽装備の者たちが、主の前で戦いのために渡り、エリコの町への戦争に向かった。 その日に主はイスラエルの全ての民の前でヨシュアを高めた。そして彼らは、モーセを恐れたのと同じように、彼が生きている間ずっと彼を恐れた。 そして主はヨシュアに言った、主の証の契約の箱を運んでいる祭司たちに、ヨルダン川から出て来るように命じなさいと。 そしてヨシュアは祭司たちに命じて言った、ヨルダンから出て来なさい。 そして、主の契約の箱を運んでいる祭司たちがヨルダンから出て来て、彼らが足を地の上に置いた時になった、ヨルダンの水は元の場所へ急いで流れ出し、そして以前のように全ての土手を通って流れていった。 そして民は第一の月の十日にヨルダンから上がった。そしてイスラエルの子らはエリコの東側のギルガルに野営した。 そしてヨシュアは、ヨルダンから取ったこれらの十二の石を、ギルガルに立てて、言った、いつかあなたたちの息子たちがあなたたちに尋ねて言う時、これらの石は何ですかと。 あなたがたの息子たちに告げなさい、イスラエルがこのヨルダン川を乾いた地の上で渡ったことを、私たちの主なる神がヨルダン川の水を彼らの前で乾かされたので、彼らが渡るまで。ちょうど私たちの主なる神が紅海になさったように、それを私たちの主なる神が私たちの前で乾かされた、私たちが通り過ぎるまで。地のすべての国民が知るために、主の力が強いことを、そしてあなたがたが私たちの主なる神をすべ

ての業において畏れるために。

5

そしてこうなった、ヨルダンの向こう側にいたアモリ人の王たちと、海のそばにいたフェニキアの王たちが、主なる神がイスラエルの子らの前でヨルダン川を彼らが渡る時に干上がらせたことを聞いた時、彼らの心は溶け、彼らは恐れおののき、イスラエルの子らの前で彼らの中には何の思慮もなくなった。 この時に主はヨシュアに言った、あなた自身のために鋭い岩から石の剣を作れ、そして座ってイスラエルの息子たちに再び割礼をしなさい。 そしてヨシュアは石の鋭い剣を作り、包皮の丘と呼ばれるその場所でイスラエルの息子たちに割礼を施した。 ヨシュアがイスラエルの息子たちを清めた方法は次の通りである。道中でかつて生まれた者たち全員と、エジプトから出て来た者たちの中でかつて割礼を受けていなかった者たち全員に、ヨシュアは割礼を施した。というのもイスラエルは四十二年間マブダリティスの荒野で過ごしていたからである。 それゆえ、エジプトの地から出て来た戦士たちの大部分は割礼を受けていなかった。彼らは神の戒めに従わなかった者たちであり、主が彼らの父祖たちに乳と蜜の流れる地を与えると誓われたその地を、彼らが見ないように定められた者たちである。 これらの代わりに、彼は彼らの息子たちを任命した。ヨシュアはその者たちに割礼を施した。なぜなら彼らが旅の途中で割礼されていない者として生まれたからである。 割礼を受けて、彼らはそこで陣営の中に座って静かにしていた、癒されるまで。 そして主はヌンの子ヨシュアに言った、今日の日にわたしはエジプトの恥辱をあなたがたから取り除いた。

そして彼はその場所の名をギルガルと呼んだ。 そしてイスラエルの息子たちは、月の十四日目の夕方から、ヨルダンの向こう側のエリコの西の平野で、過越を行った。 そして彼らはその地の穀物から種なしパンと新しいものを食べた。 この日に、彼らがその地の穀物を食べた後、マナは絶えた。そしてもはやイスラエルの子らにマナは存在しなかった。そして彼らはその年にフェニキア人の地を収穫した。 そしてヨシュアがエリコにいた時のことになった。そして目を上げて見ると、人が彼の前に立っていて、剣が抜かれて彼の手にあった。そして近づいてヨシュアは彼に言った、あなたは我々の味方か、それとも敵の味方か。 彼は彼に言った、私は主の軍の最高司令官だ。今来た。 そしてヨシュアは地の上に顔を伏せて倒れ、そして彼に言った、主よ、あなたはあなたのしもべに何を命じるのですか。 そして主の最高司令官はヨシュアに向かって言う、あなたの足からサンダルを脱げ、なぜならあなたが今立っているその場所は聖なるものであるから。

6

そしてエリコは閉ざされていて要塞化されていて、誰もそこから出て行かず、入って行くこともなかった。 そして主はヨシュアに言った、見よ、私はあなたにエリコとその中にいるその王と力において強い者たちを支配下に引き渡す。 あなたはその周りに戦士たちを円形に配置しなさい。 そしてあなたたちがラッパを吹くとき、すべての民は同時に大声で叫びなさい、そして彼らが叫ぶと、その町の城壁はひとりでに倒れるだろう、そしてすべての民は突進して各々まっすぐに町の中へ入るだろう。 そしてヌンのヨシュアは祭司たち

のところへ入って行き、彼らに言った、民に命じなさい、周りを行って町を囲むように。そして戦士たちには武装して主の前を通り過ぎさせなさい。 そして七人の祭司たちが七つの聖なるラッパを持って、同様に主の前を通り過ぎさせよ。そして力強く吹き鳴らさせよ。そして主の契約の箱を後に従わせよ。 戦士たちは前を通り過ぎよ、そして祭司たちは主の契約の箱の後ろで後衛をしながらラッパを吹け。 そして民にヨシュアは命じて言った、叫ぶな、そして誰もあなたがたの声を聞くな、彼が叫ぶべき日を告げるまで、そしてその時あなたがたは叫ぶであろう。そして神の契約の箱は回ってすぐに陣営へ去り、そしてそこに留まった。 そして二日目の朝にヨシュアは立ち上がった、そして祭司たちは主の契約の箱を持ち上げた。 そして七人の祭司たちが七つのラッパを運んで主の前を進んで行った。そしてその後に戦士たちが入って行った。そして残りの群衆が主の契約の箱の後ろにいた。そして祭司たちがラッパを吹いた。そして残りの群衆全員が町を六回近くから囲んだ。そして再び陣営に戻って行った。このように六日間行った。 そして七日目に彼らは夜明けに起き上がり、その日に七回その町の周りを回った。 そして七回目の周回の時、祭司たちがラッパを吹いた。そしてヨシュアはイスラエルの子らに言った、叫べ、主があなたがたにその町を引き渡されたのだから。 そして、その町は捧げ物となるだろう、それ自身とその中にあるすべてのものが、万軍の主に。ただし遊女ラハブは生かしておけ、彼女と彼女の家の中にあるすべてのものを。しかしあなたたちはその聖絶の物から非常に気をつけなさい、あなたたち自身が欲を起こしてその聖絶の物から取ることがないように、そしてイスラエルの子らの陣営を聖絶の物にしないように、そして私たちを滅ぼさないように。 そして、すべての銀または金、または青銅または鉄は、主に対して聖なるものとなるだろう。それは

主の宝物庫に運び込まれるだろう。 そして祭司たちはラッパを吹き鳴らした。そして民がラッパの音を聞いたとき、すべての民は大きくて力強い鬨の声と共に同時に叫んだ。そしてすべての城壁が周りに倒れた。そしてすべての民は町の中へ上って行った。 そしてヨシュアはそれを破壊に捧げた、そしてその町にあった男から女まで、若者から老人まで、子牛から荷役獣まで、すべてのものを剣の刃で。 そして偵察した二人の若い男たちにヨシュアは言った、その女の家に入れ、そして彼女をそこから連れ出せ、そして彼女のものである全てを。 そして町を偵察した二人の若者たちが女の家に入り、遊女ラハブと彼女の父と彼女の母と彼女の兄弟たちと彼女の親族と彼女のものであったすべてのものを連れ出し、彼女をイスラエルの陣営の外に置いた。 そしてその町は火で焼かれた、その中にある全てのものと共に。しかし銀と金と青銅と鉄は、主の宝物庫に運び入れられるために彼らが与えた。 そしてヨシュアは遊女ラハブと彼女の父方の家の全てを生かしておいた。そして今日の日までイスラエルに住まわせた、なぜならば彼女はそのスパイたちを隠したから、ヨシュアがエリコを偵察するために送ったスパイたちを。 そしてヨシュアはその日に主の前で誓わせて言った、呪われよ、あの町を建てる男は。彼は自分の長子によってその基礎を据え、自分の末の子によってその門を立てるだろう。 そしてこのようにベテル出身のホザンはそれを行った。長子アビロンにおいて彼はその基礎を据え、そして保たれた最も小さい者において彼はその門を立てた。 主はヨシュアと共におられ、彼の名はすべての地に広まった。

7

そしてイスラエルの子らは大きな罪を犯し、奉納物から横領した。そしてユダ族のゼラの子ザンブリの子カルミの子アカルが奉納物から取った。そして主は怒りをもってイスラエルの子らに対して怒られた。 そしてヨシュアは男たちをガイに送った。それはベテルの近くにある。彼は言った、ガイを偵察しなさい。そして男たちは上って行って、ガイを偵察した。そして彼らはヨシュアのところに戻って、彼に言った、全ての民を上らせないでください。しかし二千か三千ほどの男たちを上らせて、町を攻め取らせてください。全ての民をそこに連れて行かないでください。なぜなら敵は少ないからです。 そして三千人ほどの男たちが上って行ったが、ガイの男たちの前から逃げた。 そしてガイの男たちは彼らのうちから三十六人の男たちを殺し、彼らを門から追跡し、彼らを急な下り坂のところで打ち砕いた。そして民の心は恐れおののき、水のようになった。 そしてヨシュアは彼の衣を裂いた。そしてヨシュアは主の前に地に顔を伏せて夕方まで倒れた、彼自身もイスラエルの長老たちも。そして彼らは塵を彼らの頭の上にかけた。 そしてヨシュアは言った、お願いします、主よ。なぜあなたの僕はこの民をヨルダン川を渡らせて、彼らをアモリ人に引き渡し、私たちを滅ぼすのですか。 もし私たちが残っていて、ヨルダンのそばに定住していたら。 そして私は何を言おうか、イスラエルがその敵の前で背を向けてしまったのだから。 カナン人が聞いて、その地に住んでいる全ての者たちが、私たちを包囲し、私たちをその地から滅ぼすでしょう。そしてあなたはあなたの偉大な名をどうなさるのですか。 そして主はヨシュアに言った、立ち上がれ、なぜあなたは顔を地につけて倒れているのか。 民は罪を犯し、私が彼らと結んだ契約を破り、聖絶の物から盗んで彼らの器の中に入れた。 そしてイスラエルの息子たちは彼らの敵の前に立ち向かうことができないだろう。彼らは彼らの敵の前で

背を向けるだろう、なぜなら彼らは呪われたものとなったから。私はもうあなたたちと共にいることはないだろう、もしあなたたちがその呪われたものをあなたたちの中から取り除かないなら。 立ち上がって民を聖別せよ、そして言え、明日聖別されよと。イスラエルの神、主がこれらのことを言われる、奉納物があなたがたの中にある。あなたがたの敵の前に立ち向かうことはできないであろう、あなたがたがあなたがたの中から奉納物を取り除くまでは。 そしてあなたがたは皆、朝に部族ごとに集められるであろう。そして主がお示しになるであろう部族を、氏族ごとに進み出させるであろう。そして主がお示しになるであろう氏族を、家ごとに進み出させるであろう。そして主がお受け取りになるであろう家を、人ごとに進み出させるであろう。 そして示される者は火で焼かれるであろう、そして彼にあるすべてのものも。なぜなら主の契約を破ったから、そしてイスラエルにおいて不法を行ったから。 そしてヨシュアは早く起きて、民を部族ごとに進み出させた、するとユダの部族が示された。 そして彼は氏族ごとに連れて来られ、ゼラフ人の氏族が示された。 そして男ごとに連れて来られた、そしてザラの息子ザンブリの息子アカルが示された。 そしてヨシュアはアカルに言った、今日、イスラエルの主なる神に栄光を帰しなさい、そして告白をしなさい、そして何をしたのか私に告げなさい、そして私から隠してはならない。 そしてアカルはヨシュアに答えて言った、本当に私はイスラエルの神である主の前に罪を犯しました。私はこのようにこのようにしました。 私は戦利品の中に美しい外套を見ました、そして銀二百シェケルを、そして金の延べ棒一つ五十シェケルのを、そしてそれらを欲しく思って私は取りました、そして見てくださいそれらは私の天幕の中に隠してあります、そして銀はそれらの下に隠してあります。 そしてヨシュアは使者たちを送った、そして彼らは宿営

の天幕へ走った。そしてこれらのものは彼の天幕に隠されていた、そして銀はそれらの下にあった。 そして彼らはそれらをそのテントから運び出し、ヨシュアとイスラエルの長老たちのところへ運び、それらを主の前に置いた。 そしてヨシュアはゼラの息子アカルを取り、彼をアコルの谷へ連れて行った、そして彼の息子たちと、彼の娘たちと、彼の子牛たちと、彼の荷役獣たちと、すべての彼の羊と、彼の天幕と、すべての彼の所有物を、そしてすべての民が彼と共に。そして彼らをエメカコルへ連れて行った。 そしてヨシュアはアカルに言った、なぜあなたは私たちに災いをもたらしたのか。 主があなたを完全に滅ぼされますように、ちょうど今日そうであるように。 そしてイスラエルの全員が彼を石で石打ちにし、彼の上に大きな石の山を立て、そして主は怒りの憤りをやめた。 このゆえに彼はそれをエメカコルと名付けた、この日まで。

8

そして主はヨシュアに言った、恐れるな、またおじけるな。すべての戦士たちをあなたと共に連れて行け、そして立ち上がってアイに上って行け。見よ、私はあなたの手にアイの王と彼の地を与えた。そしてお前はアイにするだろう、お前がエリコにした方法を、そしてその王に。そして家畜の略奪品をお前は自分のために略奪するだろう。しかしお前は自分のために町の後ろに伏兵を配置せよ。 そしてヨシュアと全ての戦士の民は立ち上がり、ガイへ上って行くためであった。 ヨシュアは力において強力な男たち三万人を選び、夜に彼らを送った。 そして彼は彼らに命じて言った、あなたたちは町の後ろに待ち伏せしなさい。町から遠く離れるな、そしてあなたたち

は皆準備ができているようにしなさい。 そして私と私と共にいる全ての者たちはその町へ近づくだろう。そしてガイに住んでいる者たちが私たちに会うために出て来る時、ちょうど以前のように、私たちは彼らから逃げるだろう。 そして彼らが私たちの後を追って出て来たら、私たちは彼らを町から引き離すだろう。そして彼らは言うだろう、これらの者たちは私たちから逃げている、前と同じようにと。 あなたたちは待ち伏せから立ち上がり、町へ行くだろう。 この言葉に従ってあなたたちは行いなさい。見よ、私はあなたたちに命じたのだ。 そしてヨシュアは彼らを送り、彼らは待ち伏せ場所へ行った。そして彼らはベテルとアイの間、アイの西側に陣取った。そしてヨシュアは朝早く起きて、その民を訪れた。そして彼と長老たちは民の前でアイへ上って行った。 そして彼と共にすべての戦士の民が上って行った。そして進んで行って東から町の向かいに来た。 そして町の伏兵は海の方から来た。そしてアイの王が見たとき、彼は急いで彼らとの戦いに出て行った、まっすぐに戦争へ、彼自身と彼と共にいるすべての民が。そして彼自身は知らなかった、伏兵が町の後ろに彼に対しているということを。 そして彼は見た、そしてヨシュアとイスラエルは彼らの前から退いた。 そして彼らはイスラエルの子らの後を追跡した。そして彼ら自身は町から離れた。 ガイには誰も残されなかった、イスラエルの後を追わなかった者は。そして彼らは町を開いたまま残して、イスラエルの後を追った。そして主はヨシュアに言った、あなたの手にある槍を持って、あなたの手を町に向けて伸ばせ、なぜなら私はそれをあなたの手に渡したから。そして伏兵は速やかに彼らの場所から立ち上がるだろう。 そしてヨシュアは彼の槍を街に向かって伸ばした。そして伏兵たちは素早く彼らの場所から立ち上がった。そして彼が手を伸ばした時、彼らは出て行った、そして彼らは街に入った、そして彼らは

それを占領した。そして急いで彼らは街を火で焼いた。 そしてガイの住民たちが彼らの後ろを振り返って見回すと、煙が町から天へ昇っているのを見た。そして彼らはもはやあちらへもこちらへも逃げる場所を持っていなかった。 そしてヨシュアとすべてのイスラエルは、伏兵が町を取ったこと、そして町の煙が天に上ったことを見た。そして向きを変えて、ガイの男たちを打った。 そしてこれらの者たちは町から出て行った、迎え撃つために。そして彼らは陣営の間に空になった、これらの者たちはこちらから、そしてこれらの者たちはあちらから。そして彼らは彼らを打った、彼らのうち救われた者も逃げた者も残されないまでに。 そして彼らはアイの王を生きたまま捕らえ、彼をヨシュアのところへ連れて行った。 そしてイスラエルの息子たちがアイにいる全ての者たちと平野にいる者たちと山の下り坂にいる者たちを殺すことをやめた時、そこで彼らは彼らをそこから終わりまで追跡した、そしてヨシュアはアイに戻った、そして彼は剣の刃でそれを打った。 そしてその日に倒れた者たちは、男から女まで一万二千人になった、ガイに住んでいた全ての者たちだった。 その町の中の戦利品を除いて、イスラエルの子らが自分たちのために略奪したすべてのものは、主がヨシュアに命じた方法による主の命令に従ったものであった。 そしてヨシュアはその町を火で焼いた。彼はそれを永遠に無人の丘とした、この日まで。 そしてガイの王を二本の木に吊るした。そして彼は夕方まで木の上にあった。そして太陽が沈む時、ヨシュアは命令し、彼らは彼の体を木から降ろした。そして彼らはそれを穴に投げ込んだ。そして彼らは彼の上に石の山を立てた、この日まで。

9

ヨルダンの向こう側にいるアモリ人の王たち、山地にいる者たち、そして平地にいる者たち、そして大いなる海の全ての海岸にいる者たち、そしてアンチレバノンの方にいる者たち、そしてヒッタイト人、そしてカナン人、そしてペリジ人、そしてヒビ人、そしてアモリ人、そしてギルガシ人、そしてエブス人が聞いた時、彼らはヨシュアとイスラエルに対して戦争をするために、全員が同時に一か所に集まった。 そしてギベオンに住んでいる者たちは、主がエリコとアイに行ったすべてのことを聞いた。 そして彼ら自身も狡猾さをもって行動した。そして来て自分たちに食糧を備え、準備した。そして古い袋を彼らの肩の上に取り、古くて破れて縛られたぶどう酒の皮袋と、彼らのサンダルのくぼみと、彼らの足に履いた古くて継ぎ当てされたサンダルと、彼らの上に着た古くなった衣服と、乾いてカビてぼろぼろになった彼らの食糧のパンを取った。 そして彼らはギルガルにあるイスラエルの宿営のヨシュアのところへ来て、ヨシュアとイスラエルに言った、私たちは遠くの地から来ました。
今、私たちと契約を結んでください。 そしてイスラエルの子らはホリ人に言った、もしかしてあなたは私たちの中に住んでいるのではないか。そうだとしたら、どうやってあなたと契約を結べばよいのか。 そして彼らはヨシュアに言った、私たちはあなたの僕です。そしてヨシュアは彼らに言った、あなたたちはどこの者か、そしてどこから来たのか。 そして彼らは言った、あなたのしもべたちは、あなたの神、主の名において、非常に遠くの地から来ました。というのも私たちは、彼の名と、彼がエジプトで行ったすべてのこと、そして彼がヨルダンの向こうにいたアモリ人の王たち、すなわちアモリ人の王シホンと、アシュタロテとエデレイに住んでいたバシャンの王オグに行ったすべてのことを聞いたからです。 そして聞いて、私たちの長老たちと私たちの地に住んでいる全ての者たちが私たち

に言った、あなたたち自身のために旅のための食糧を取れ、そして彼らとの会見へ行け、そして彼らに言え、私たちはあなたのしもべです、そして今私たちと契約を結んでくださいと。 これらのパンは、私たちがあなたたちのところへ来るために出発した日に、熱いうちに旅の糧として準備したものです。しかし今、それらは乾ききってカビてしまいました。 そしてこれらのワインの革袋は、私たちが新しいときに満たしたものですが、これらは破れてしまいました。そして私たちの衣服と私たちのサンダルは、非常に長い道のりのせいで古くなってしまいました。 そして支配者たちは彼らの食糧を受け取ったが、主に尋ねなかった。 そしてヨシュアは彼らと平和を結び、彼らを生かしておくために彼らと契約を結んだ、そして集会の支配者たちは彼らに誓った。 そして彼らと契約を結んだ三日後に、彼らは聞いた、彼らが近くにいることを、そして彼らが自分たちの中に住んでいることを。 そしてイスラエルの子らは出発し、彼らの町々へ来た。彼らの町々はギベオンとケフィラとベエロト、そしてヤリンの町々であった。 そしてイスラエルの息子たちは彼らと戦わなかった、なぜなら支配者たち全員が彼らにイスラエルの神である主にかけて誓ったからである。そして全ての会衆は支配者たちに対して不平を言った。 そして指導者たちはすべての集会に言った、私たちはイスラエルの神である主にかけて彼らに誓った、そして今私たちは彼らに触れることができない。 私たちはこれをするだろう、彼らを生け捕りにして、そして私たちは彼らを保護するだろう。そして私たちが彼らに誓った誓いのゆえに、私たちに対する怒りはないだろう。 彼らは生きるだろう、そして彼らはすべての集会のための木こりと水運び人になるだろう、ちょうど支配者たちが彼らに言ったように。 そしてヨシュアは彼らを呼び集めて、彼らに言った、なぜあなたたちは私を欺いて、私たちはあなたから非常に

遠くにいますと言ったのか。しかしあなたたちは私たちの中に住んでいる地元民ではないか。 そして今、あなたたちは呪われている。あなたたちから奴隷が絶えることはない、薪割りも水汲みも私と私の神のために絶えることはない。 そして彼らはヨシュアに答えて言った、主であるあなたの神が、彼のしもべモーセに命じられたすべてのことが私たちに報告されました。すなわち、あなたたちにこの地を与えること、そして私たちとその上に住んでいるすべての者たちをあなたたちの前から完全に滅ぼすことです。それで私たちはあなたたちの前で自分たちの命について非常に恐れ、このことをしたのです。 そして今見よ、私たちはあなたたちに従属している。あなたたちが喜ぶように、そしてあなたたちに良いと思われるように、私たちにしなさい。 そして彼らは彼らにそのようにした。そしてヨシュアはその日に彼らをイスラエルの子らの手から救い出した、そして彼らは彼らを殺さなかった。 そしてヨシュアはその日に彼らを薪割りと水汲みに任命した、すべての集会のために、そして神の祭壇のために。このゆえにギベオンに住む者たちは神の祭壇の薪割りと水汲みになった、今日の日まで、そして主が選ぶ場所において。

10

エルサレムの王アドニベゼクは聞いた、ヨシュアがアイを取り、それを完全に滅ぼしたことを、彼らがエリコとその王にしたやり方で、そのように彼らはアイとその王にもしたことを、そしてギベオンに住む者たちがヨシュアとイスラエルに寝返ったことを、そして彼は彼らを非常に恐れた。なぜなら彼は知っていた、ギベオンは大

きな都市であり、主要都市の一つのようであり、そしてその男たち全員は強いことを。 そしてエルサレムの王アドニベゼクはヘブロンの王エラムへ、そしてヤルムトの王ピドンへ、そしてラキシュの王エフタへ、そしてアドラムの王ダベインへ使いを送って言った、来い、私のところへ上って来い、そして私を助けよ、そして私たちはギベオンと戦おう、なぜなら彼らはヨシュアとイスラエルの子らに寝返ったからだ。 そしてエブス人の五人の王たちが上って行った、エルサレムの王と、ヘブロンの王と、ヤルムテの王と、ラキシュの王と、アドラムの王、彼ら自身と彼らのすべての民が。 そして彼らはギベオンを包囲し、それを攻囲した。 そしてギベオンに住んでいる者たちはギルガルのイスラエルの陣営にいるヨシュアに使いを送って言った、あなたのしもべたちから手を引かないでください。速く私たちのところに上って来て、私たちを助けて救い出してください。なぜなら山地に住んでいるアモリ人の王たち全員が私たちに対して集まっているからです。 そしてヨシュアはギルガルから上って行った、彼自身と彼と共にいるすべての戦士の民、力において強いすべての者。 そして主はヨシュアに言った、彼らを恐れるな。なぜなら私は彼らをあなたの手に引き渡したから。彼らの中から誰一人あなたがたの前に残されないだろう。 ヨシュアが彼らを突然襲ったが、それは一晩中ギルガルから行進して来たからである。 そして主は彼らをイスラエルの子らの前で混乱させた。そして主はギベオンで彼らを大いなる打撃で打ち砕いた。そして彼らはベテ・ホロンの登り道を彼らを追跡した。そして彼らはアゼカまでそしてマケダまで彼らを切り倒した。 彼らがイスラエルの子らの前からホロンの下り坂で逃げている時、主は天から彼らの上に雹の石を投げつけた、アゼカまで。そして雹の石によって死んだ者たちは、イスラエルの子らが戦いにおいて剣で殺した者たちよりも多かった。 その時

ヨシュアは主に向かって語った、神がアモリ人をイスラエルの支配下に引き渡した日に、彼がギベオンで彼らを打ち砕いた時、そして彼らがイスラエルの子らの前から打ち砕かれた時。そしてヨシュアは言った、太陽よギベオンの上に留まれ、そして月よアヤロンの谷の上に。 そして太陽は止まり、月も止まった、神が彼らの敵を討つまで。そして太陽は天の真ん中に止まった。それは西へ進まなかった、丸一日の間。 そしてそのような日は存在しなかった、以前にも、その後にも、神が人の声を聞くほどの日は、なぜなら主がイスラエルと共に戦ったからである。 そしてこれらの五人の王たちは逃げ、マケダにある洞窟に隠れた。 そしてヨシュアに報告された、言って、五人の王たちがマケダの洞窟に隠れているのが見つかった。 そしてヨシュアは言った、洞窟の口に石を転がせ、そしてそれらを見張る男たちを任命せよ。 あなたたちは立ち止まってはならない。あなたたちの敵たちの後ろを追撃しながら、彼らの後衛を捕らえなさい。そして彼らが彼らの町々に入ることを許してはならない。なぜなら主、私たちの神が彼らを私たちの手に引き渡したからである。 そしてヨシュアとイスラエルの全ての息子が彼らを非常に大きな殺戮で完全に切り終えた時になった、そして生き残った者たちは要塞の町々の中へ救われた。 そして全ての民はマケダのヨシュアのところへ無事に帰った。そしてイスラエルの子らの誰一人として自分の舌で不平を言わなかった。 そしてヨシュアは言った、その洞窟を開けなさい、そしてこれらの五人の王たちをその洞窟から連れ出しなさい。 そして彼らは五人の王たちを洞窟から連れ出した。エルサレムの王と、ヘブロンの王と、ヤルムテの王と、ラキシュの王と、アドラムの王を。 そして彼らが彼らをヨシュアのところへ連れ出したので、ヨシュアは全イスラエルと、彼と共に行く戦争の指導者たちを呼び集めて、彼らに言った、前に進んであなたがたの足

を彼らの首の上に置け。そして近づいて彼らは彼らの足を彼らの首の上に置いた。 そしてヨシュアは彼らに言った、彼らを恐れるな、また臆病になるな、勇敢であれ、そして強くあれ。なぜなら主は、あなたがたが戦っているすべての敵たちに、このようにするだろうから。 そしてヨシュアは彼らを殺し、彼らを五つの木に吊るした。そして彼らは夕方まで木に吊るされていた。 そして日没になった時、ヨシュアは命じ、彼らは彼らを木から取り下ろし、彼らがそこに逃げ込んだその洞窟の中に彼らを投げ込み、そして彼らは洞窟の上に石を転がした、今日の日まで。 そして彼らはその日にマケダを取り、剣の刃でそれを殺し、その中にいたすべての息をするものを完全に滅ぼした。そしてその中に救われた者も逃げた者も一人も残されなかった。そして彼らはマケダの王に、エリコの王にしたのと同じ方法でした。 そしてヨシュアは去り、全イスラエルが彼と共にマケダからリブナへ行き、リブナを包囲した。 そして主はそれをイスラエルの手に引き渡した。そして彼らはそれと、その王を取り、剣の刃でそれを殺し、その中のすべての息をするものを殺した。そしてその中には救われた者も逃げた者も残されなかった。そして彼らはその王に、エリコの王にしたのと同じように行った。 そしてヨシュアは全イスラエルと共にリブナからラキシュへ去り、そしてそれを包囲し、そしてそれを攻囲した。 そして主はラキシュをイスラエルの手に引き渡した。 そして彼はそれを二日目に取り、彼らは剣の刃でそれを殺し、彼らがリブナにしたのと同じやり方でそれを完全に滅ぼした。 その時、ゲゼルの王エラムがラキシュを助けるために上って来た。そしてヨシュアは剣の刃で彼を打ち、また彼の民を、彼らの中に生き残った者も逃れた者も残されないまでに打った。 そしてヨシュアは去り、全イスラエルは彼と共にラキシュからアドラムへ行き、彼はそれを包囲し、それを攻略した。 そして主は

それをイスラエルの手に引き渡した。そして彼らはその日にそれを取った。そして彼らは剣の刃でそれを殺した。そしてその中のすべての生き物を彼らは殺した、彼らがラキシュにしたのと同じやり方で。 そしてヨシュアと全イスラエルが彼と共に去って行ってヘブロンへ行き、そしてそれを包囲した。 そして彼らはそれを剣の刃で打ち、その中にいたすべての息をするものを打った。助かった者はいなかった。彼らがアドラムにしたのと同じやり方で、彼らはそれを完全に滅ぼし、その中にいたすべてのものを滅ぼした。 そしてヨシュアと全イスラエルはデビルへ引き返した。そして彼らはそれを包囲して、それとその王とその村々を取った。そして彼はそれを剣の刃で打った。そして彼らはそれとその中の全ての息をするものを完全に滅ぼした。そして彼らはそれに誰も生き残った者を残さなかった。彼らがヘブロンとその王にしたように、そのように彼らはデビルとその王にした。 そしてヨシュアは山地の全ての地とネゲブと低地とアシュドテとその王たちを打った。彼らはその中から救われた者を残さなかった。そして命の息をする全てのものを完全に滅ぼした、主イスラエルの神が命じた方法で、カデシュ・バルネアからガザまで、全てのゴシェンからギベオンまで。 そして彼らの王たち全員と彼らの地を、ヨシュアは一度に打った。なぜなら主、イスラエルの神がイスラエルと共に戦ったからである。

11

ハゾルの王ヤビンが聞いたとき、彼はマロンの王ヨバブへ、そしてシムロンの王へ、そしてアクシャフの王へ、そして大シドンに従う王たちへ、山地へそしてキンネロテの向かいのアラバへ、そして平

野へ、そしてフェナエドルへ、そして東からの沿岸のカナン人たちへ、そして沿岸のアモリ人たちへ、そしてヘテ人たちへ、そしてペリジ人たちへ、そして山にいるエブス人たちへ、そしてヒビ人たちへ、そしてヘルモンの下にいる者たちへマッシマの地へ使者を送った。 そして彼ら自身とその王たちが共に出て行った、海の砂のような多数で、そして馬たちと戦車たちが非常に多かった。 そしてすべての王たち自身が集まって来て、同じ場所に到着し、メロムの水のほとりに陣を張った、イスラエルと戦うために。 そして主はヨシュアに言った、彼らを恐れるな。なぜなら明日この時に私は彼らを敗走させてイスラエルの前に引き渡すからだ。お前は彼らの馬の腱を切り、彼らの戦車を火で焼き尽くすだろう。 そしてヨシュアと全ての戦士の民がメロムの水のところで突然彼らを襲いに来た。そして彼らは山地で彼らに襲いかかった。 そして主は彼らをイスラエルに従属させて引き渡した。そして彼らを打ちながら大シドンまで、そしてマセロンまで、そして東のマソクの平野まで追跡した。そして彼らのうち生き残った者が一人も残されないまで彼らを打ち倒した。 そしてヨシュアは主が彼に命じた方法で彼らに対して行った。彼は彼らの馬の腱を切り、彼らの戦車を火で焼いた。 そしてヨシュアはその時に引き返し、ハツォルとその王を占領した。ハツォルは以前はこれらすべての王国を支配していた。 そして彼らはその中のすべての息をするものを剣で殺し、すべてを完全に滅ぼした。その中に息をするものは残されなかった。そして彼らはハゾルを火で焼いた。 そしてすべての王国の都市とそれらの王たちをヨシュアは取り、剣の刃で彼らを殺し、主のしもべモーセが命じた方法で彼らを完全に滅ぼした。 しかし要塞化されていたすべての町々をイスラエルは焼かなかった。ただハゾルだけをイスラエルは焼いた。そしてその町のすべての戦利品をイスラエルの子らは自分たちのために略

奪した。しかし彼らすべてを剣の刃で完全に滅ぼした、彼らを滅ぼし尽くすまで。彼らは彼らの中から息をするものを何一つ残さなかった。 主がそのしもべモーセに命じた方法で、モーセも同様にヨシュアに命じた。そしてそのようにヨシュアは行った。モーセが彼に命じたすべてのことから何一つ違反しなかった。 そしてヨシュアは全ての山地の地を、そして全てのネゲブの地を、そして全てのゴシェンの地を、そして低地を、そして西に向かうものを、そしてイスラエルの山を、そしてハラク山から山に向かう低い所を、そしてセイルへ上って行くものを、そしてバアル・ガドまでを、そしてヘルモン山のもとのレバノンの平野を取った。そして彼らの全ての王たちを取り、そして殺し、そして殺した。 そしてヨシュアは長い日々、これらの王たちに対して戦争をした。 そしてイスラエルが取らなかった都市はなかった。彼らは戦争で全てを取った。 主によって彼らの心が強くされ、イスラエルに向かって戦争に臨むようになったのは、彼らが完全に滅ぼされるため、彼らに憐れみが与えられないように、そして彼らが完全に滅ぼされるためであった、主がモーセに言われた通りに。 そしてヨシュアはその時に来て、山地からアナキム人を滅ぼした。ヘブロンから、デビルから、アナボテから、そして全ユダから彼らの町々と共に。そしてヨシュアは彼らを滅ぼした。 アナキム人はイスラエルの子らのところには残されなかったが、ガザとガテとアシュドドには残された。 そしてヨシュアは全ての地を取った、主がモーセに命じた通りに。そしてヨシュアはそれをイスラエルに相続として与えた、彼らの部族に従った分割で。そして地は戦われることをやめた。

12

そしてこれらはその地の王たちであり、イスラエルの息子たちが殺し、その地を受け継いだ。ヨルダンの向こう、日の出の方、アルノンの谷からヘルモンの山まで、そして東のアラバの全ての地である。 シホンはアモリ人の王で、ヘシュボンに住んでいた者で、アルノンから支配していた、それは谷の中にある谷の一部分であり、そしてギレアデの半分からヤボクまで、アンモンの子らの境界まで。そしてアラバはキネレテの海まで東に従って、そしてアラバの海まで、すなわち塩の海、東からアセイモテに従う道、テマンから、アセドテ・ピスガの下にあるものから。 そしてバシャンの王オグは巨人たちから残された者で、アシュタロテとエデレイに住んでいた者、ヘルモン山からとサルカからの支配者、そしてゲシュル人の境界までのすべてのバシャンと、マアカと、ヘシュボンの王シホンの境界のギレアデの半分を支配していた。 主のしもべモーセとイスラエルの子らは彼らを打った。そしてモーセはそれをルベン、ガド、そしてマナセ部族の半分に相続地として与えた。 そしてこれらのアモリ人の王たち、ヨシュアとイスラエルの息子たちがヨルダンの向こう、レバノンの平野のバアルガドの海のそばで殺した者たち、そしてセイルへ登って行く者たちのハラク山まで。そしてヨシュアはそれをイスラエルの部族たちに彼らのくじに従って相続させるために与えた、山で、そして平野で、そしてアラバで、そしてアシドテで、そして荒野で、そしてネゲブで。ヘテ人、そしてアモリ人、そしてカナン人、そしてペリジ人、そしてヒビ人、そしてエブス人を。 エリコの王、そしてベテルの近くにあるアイの王、エルサレムの王、ヘブロンの王、ヤルムテの王、ラキシュの王、エラムの王、ゲゼルの王、デビルの王、ゲデルの王、ホルマの王、アデルの王、リブナの王、アドラムの王、エラテの王、タプアの王、ヘフェルの王、シャロンのアフェクの王、アソムの王、シムロンの王、マドン

の王、アクシャフの王、カデシュの王、ヨクネアムの王、カルメルのゴイムの王、タアナクのアドラムの王、ガリラヤのガイの王、ティルツァの王、これら全ての王は二十九人である。

13

そしてヨシュアは年老いて日々が進んでいた。そして主はヨシュアに言った、あなたは日々が進んだ、そして地は多く相続のために残されている。 そしてこの地は残されている。ペリシテ人の境界、ゲシュル人、そしてカナン人、エジプトに面した無人の地から、エクロンの境界まで、カナン人の左側から、ペリシテ人の五つの太守領に数えられる、ガザ人、そしてアシュドド人、そしてアシュケロン人、そしてガテ人、そしてエクロン人、そしてアビ人、テマンから、そしてガザの前のカナンの全ての地、そしてシドン人はアフェクまで、アモリ人の境界まで、そしてペリシテ人のガリアテの全ての地、そして日の出からの全てのレバノン、ヘルモン山の下のギルガルから、ハマテの入口まで、レバノンからマセレテ・メムフォマイムまでの山地に住む全ての者。 すべてのシドン人を、私は彼らをイスラエルの前から滅ぼし尽くすだろう。しかし、それをくじによってイスラエルに分け与えよ、私があなたに命じた通りに。 そして今、この地を九つの部族と、マナセの半分の部族に、相続として分けなさい。 ヨルダンから日の入る方角の大海まで、あなたはそれを与えるだろう。大海が境界となるだろう。 二つの部族、そしてマナセの半部族、ルベンとガドに、モーセはヨルダンの向こうで与えた。太陽の東に従って、主の僕モーセは彼らに与えた、アロエルから、それはアルノンの急流の岸の上にある、そして谷の真ん中にあ

る町、そしてメデバからミソル全体を。アモリ人の王シホンの全ての町、彼はヘシュボンで治めてアンモンの子らの境界まで及んだ。そしてギレアデ、そしてゲシュルの境界、そしてマアカ人、ヘルモン山全体、そしてサレカまでのバシャン全体を。バシャンでのオグの王国全体、彼はアシュタロテとエデレイで治めた。この者は巨人たちの生き残りであった、そしてモーセは彼を打ち、そして滅ぼした。 そしてイスラエルの子らはゲシュル人とマアカ人とカナン人を完全に滅ぼさなかった。そしてゲシュルの王とマアカ人はイスラエルの子らの中に今日まで住んでいた。 レビの部族を除いて、相続地は与えられなかった。イスラエルの神である主、この方が彼らの相続地である、主が彼らに言われた通りに。そしてこれが、モーセがイスラエルの子らにモアブの平野において、ヨルダンの向こう、エリコの近くで分配した分配地である。 そしてモーセはルベンの部族に彼らの氏族に従って与えた。 そして彼らの境界はアロエルから、それはアルノンの谷の前にある、そしてアルノンの谷の中にある町、そして全てのミソルをヘシュボンまで、そしてミソルの中にある全ての町々、そしてディボン、そしてバイモン・バアル、そしてメエルボトの家、そしてバシャン、そしてバケドモト、そしてマイファアド、そしてカリタイム、そしてセバマ、そしてセラダ、そしてエナブの山の中のシオン、そしてベテペオル、そしてアセドト・ファスガ、そしてバイトタセイノト、そしてミソルの全ての町々、そしてアモリ人の王シホンの全ての王国になった、モーセは彼とミディアンの指導者たち、そしてエビ、そしてロボク、そしてスル、そしてウル、そしてロベ、シオンの戦利品の支配者、そしてシオンに住んでいる者たちを打った。 そして彼らはベオルの子である占い師バラムを戦いで殺した。 ルベンの境界が定められた、ヨルダンが境界である。これがルベンの息子たちの相続地である、彼らの氏族ごと

に、彼らの町々とその村々である。 モーセはガドの息子たちに、彼らの氏族に従って与えた。 そして彼らの境界はヤゼルとなった。ギレアデの全ての町々、そしてアンモンの子らの地の半分、アラバまで、それはアラデの前にある。 そしてヘシュボンからアラボテまでミツパに従って、そしてボタニム、そしてマアンからディボンの境界まで、そしてエナドム、そしてオタルガイ、そしてバインタナブラ、そしてスコテ、そしてシャファン、そしてヘシュボンの王シホンの残りの王国。そしてヨルダンが境界を定める、ヨルダンの向こう側、東から、ケネレテの海の部分まで。 これはガドの息子たちの相続地である、彼らの氏族によって、そして彼らの町々によって。彼らの氏族によって彼らは彼らの敵たちの前で首を向けるだろう、なぜなら彼らの氏族によって彼らの町々が成ったから、そして彼らの農場が。 そしてモーセは、彼らの氏族に従って、マナセ部族の半分に与えた。 そして彼らの境界は、マアンから、そしてバシャンの全ての王国、そしてバシャンの王オグの全ての王国、そしてヤイルの全ての村々、それらはバシャンにある六十の町々となった。 そしてギレアデの半分、そしてアシュタロテとエドレイにおける、バシャンにおけるオグの王国の町々を、マナセの子マキルの子らに、そしてマナセの子マキルの子らの半分に、彼らの氏族に従って。 これらはモーセがヨルダンの向こうで、モアブのアラボテで、エリコに面したヨルダンの向こうで、東の方から相続として割り当てた者たちである。

14

そしてこれらは、イスラエルの子らがカナンの地で相続として割り

当てられた土地である。祭司エレアザルとヌンの子ヨシュアとイスラエルの子らの部族の父祖の長たちが、彼らに相続として割り当てた。 彼らはくじに従って相続した、主がヨシュアの手によって九つの部族とヨルダンの向こうからの半分の部族に命じた方法を。 そしてレビ人たちには彼らの中で相続地を与えなかった、なぜならヨセフの息子たちは二つの部族、マナセとエフライムだったからである。そしてレビ人たちには地の中で分け前は与えられなかった、ただ住むための町々と、彼らの家畜のための放牧地だけである。 主がモーセに命じた方法で、イスラエルの息子たちはそのように行い、土地を分割した。 そしてユダの息子たちはギルガルでヨシュアのもとに近づいた。そしてエフネの子ケナズ人カレブは彼に言った、あなたは主がカデシュ・バルネアで私とあなたについて神の人モーセに語った言葉を知っている。 というのも、神のしもべモーセが私をカデシュ・バルネアからその地を偵察するために送った時、私は四十歳だった。そして私は彼の心に従って彼に答えた。 私と一緒に上って行った私の兄弟たちは民の心を変えたが、私は私の神である主に従い続けた。 そしてモーセはその日に誓って言った、あなたが踏んだ土地は、あなたとあなたの子供たちに永遠に相続としてあるだろう、なぜならあなたは私たちの神である主の後に従うことに専念したからだ。 そして今、主は私を養ってくださった、彼が言った通りに。これは四十五年目、主がこの言葉をモーセに語ってからである。そしてイスラエルは荒野を行った。そして今、見よ、私は今日八十五歳である。まだ私は今日強い、モーセが私を送った時のように、同じように私は今出て行くことと戦争に入ることができる。そして今、私はあなたにこの山を求めます、主があの日に言った通りに、なぜならあなたはあの日にこの言葉を聞いたからです。しかし今、アナキム人がそこにいます、要塞化された町々と大きな町々

が。それゆえもし主が私と共にいるなら、私は彼らを完全に滅ぼすでしょう、主が私に言った通りに。 そしてヨシュアは彼を祝福し、ヘブロンをエフネの息子ケナズの息子カレブに相続地として与えた。 このゆえに、ヘブロンはケナズ人エフネの子カレブの相続地となった、今日のこの日まで、なぜなら彼がイスラエルの神、主の命令に従ったからである。 ヘブロンの名前は以前はアルゴブの町だった、これはアナキム人の母都市である。そして地は戦争から休んだ。

15

そしてユダ部族の境界は、彼らの氏族によって、イドゥメアの境界から、シンの荒野から、カデシュまで、南に向かって、となった。そして彼らの境界は南から塩の海の部分まで、南へ向かう尾根から成った。 そしてアクラビンの登り坂の前を通り過ぎる。そしてセナを迂回し、そして南からカデシュ・バルネアへ登る。そしてアソロンを出て、そしてサラダへ登る。そしてカデシュの西の方を出て、そしてセルモナへ出て、そしてエジプトの谷まで延びる。そしてその境界の終点は海になるだろう。これは南からの彼らの境界である。 そして東の境界は、ヨルダンまでの全ての塩の海である。 そして彼らの境界は北から、そして海の尾根から、そしてヨルダンの部分から。 境界線はベト・ハグラアムに上る。そして北からベト・アラバに沿って進み、そして境界線はルベンの子ボハンの石に上る。そして境界線はアコルの谷の四分の一に上り、そしてギルガルに下る、それはアダミンの上り坂の向かいにあり、それは谷の南にあり、そして太陽の泉の水に延びる。そしてその出口はロゲルの泉に

なる。そして境界線はヒノムの谷に上り、南からエブス人の背後に至る。これはエルサレムである。そして境界線は山の頂上に延びる、それはヒノムの谷の前面で海に向かってあり、それはレファイムの地の部分から北にある。そして境界線は山の頂上からナフトの水の泉に延び、そしてエフロン山に延びる。そして境界線はバアルに導く。これはヤリムの町である。 そして境界はバアルから海へと回り、アッサル山へ北からイアリンの町の背後へと通り過ぎる。これはカスロンである。そして太陽の町へと下り、リバへと通り過ぎる。そして境界はエクロンの背後に従って北へと延び、境界はソコトへと延び、境界はリバへと通り過ぎ、レブナへと延び、境界の終点は海の上にあるだろう。そして彼らの境界は海から、大いなる海が境界を定めるだろう。 これらは彼らの氏族に従った、ユダの息子たちの周囲の境界である。 そしてエフネの息子カレブに、神の命令によって、ユダの息子たちの真ん中に分け前を与えた。そしてヨシュアは彼にアルバの町、アナクの母なる町を与えた。これはヘブロンである。 そしてエフネの息子カレブはそこからアナクの三人の息子たち、シェシャイとタルマイとアヒマンを完全に滅ぼした。 そしてカレブはそこからデビルの住民たちのところへ攻め上った。デビルの名は以前は書物の町であった。 そしてカレブは言った、誰でも書物の町を取って打ち倒してそれを支配するならば、私は彼に私の娘アクサを妻として与えるだろう。 そしてカレブの兄弟ケナズの息子オテニエルが彼女を取った。そして彼は彼にその娘アクサを妻として与えた。 そして彼女が出て行く時にそれが起こった、そして彼女は彼に助言した、言って、私は私の父に畑を求めるでしょう。そして彼女はろばから叫んだ。そしてカレブは彼女に言った、あなたに何があるのですか。 そして彼女は彼に言った、私に祝福を与えてください、なぜならあなたは私をネゲブの地に与えたのですか

ら。私にボタニスを与えてください。そして彼は彼女に上のゴナイトランと下のゴナイトランを与えた。 これはユダの子らの部族の相続地である。 彼らの町々はユダの子らの部族に向かって、エドムの境界上の荒野にあった、そしてバイセレエル、そしてアラ、そしてアソル、そしてイカム、そしてレグマ、そしてアルエル、そしてカデシュ、そしてアソリオナイン、そしてマイナム、そしてバルマイナン、そしてそれらの村々、そしてアセロンの町々、これはアソル、そしてセン、そしてサルマア、そしてモラダ、そしてセリ、そしてバイファラト、そしてコラセオラ、そしてベエルシェバ、そしてそれらの村々、そしてそれらの農場、バラ、そしてバコク、そしてアソム、そしてエルボウダド、そしてベテル、そしてホルマ、そしてジクラグ、そしてマカリム、そしてセテンナク、そしてラボス、そしてサレ、そしてエロモト、二十九の町々、そしてそれらの村々。 平地にはアシュタオル、ラア、そしてアッサがある。 そしてラメン、そしてタノ、そしてイルトス、そしてマイアニ、そしてイエルムス、そしてアドラム、そしてメンブラ、そしてサオコ、そしてイアゼカ、そしてサカリム、そしてガデラ、そしてその農場、十四の町、そしてそれらの村。 セナ、そしてアダサン、そしてマグダルガド、そしてダラド、そしてミツパ、そしてイアカレエル、そしてバセドス、そしてイデアダレア、そしてカブラ、そしてマケス、そしてマアコス、そしてゲドル、そしてバガディエル、そしてノマン、そしてマケダン。十六の町々、そしてそれらの村々。レブナ、そしてイタク、そしてアノク、そしてイアナ、そしてナシブ、そしてケイラム、そしてアキエジ、そしてケジブ、そしてバテサル、そしてアイロム。十の町々、そしてそれらの村々。エクロン、そしてその村々、そしてそれらの農場、エクロンからゲムナまで。そしてアシュドドの近くにある全てのもの。そしてそれらの村々、アシエドス、そしてその

村々、そしてその農場。ガザ、そしてその村々、そしてその農場、エジプトの川まで、そして大いなる海が境界を定める。 そして山地にサミル、そしてイエテル、そしてソカ、そしてレンナ、そして文字の町、これはダビル、そしてアノン、そしてエス、そしてマン、そしてアイサム、そしてゴソム、そしてカルー、そしてカンナ、そしてゲロム。十一の町々、そしてそれらの村々。アイレム、そしてレムナ、そしてソマ、そしてイエマイン、そしてバイタクー、そしてパクア、そしてエウマ、そしてアルボクの町、これはヘブロンである、そしてソライト。九つの町々、そしてそれらの農場。マオル、そしてカルメル、そしてオジブ、そしてイタン、そしてイアリエル、そしてアリカム、そしてザカナイム、そしてガバア、そしてタムナタ。九つの町々、そしてそれらの村々。アイルア、そしてベトスル、そしてゲドン、そしてマガロト、そしてバイタナム、そしてテクーム。六つの町々、そしてそれらの村々。カリアトバアル、これはイアリムの町、そしてソテバ。二つの町々、そしてそれらの農場。そしてバダルゲイス、そしてタラバアム、そしてアイノン、そしてアイオキオザ、そしてナプラゾン、そしてサドンの町々、そしてアルカデス。七つの町々、そしてそれらの村々。 そしてそのエブス人はエルサレムに住んでいた、そしてユダの子孫は彼らを滅ぼすことができなかった、そしてそのエブス人たちはエルサレムにこの日まで住んでいる。

16

そしてヨセフの息子たちの境界は、東からエリコに沿ったヨルダン川からとなった。そしてエリコから山地の荒野を上って、ベテル・

ルザへ至る。 そしてそれはベテルへ出て行き、アカタロティの境界を通り過ぎるだろう。 そしてそれはアプタリムの境界のところで海へと通り抜けるだろう、下のベテホロンの境界まで、そして彼らの終点は海のところになるだろう。 そしてヨセフの息子たち、エフライムとマナセが相続した。 そしてエフライムの子孫の境界が彼らの氏族ごとに定められた。そして彼らの相続地の境界は東からアタロテとエロクを経て上ベテホロンまで、そしてガザラまでとなった。そしてその境界は海の上にイカスモンへ来るだろう、北のテルマから、東の上にテナサへ回るだろう、そしてセレス、そして東からイアノカへ、そしてマコへ、そしてアタロテへ、そしてそれらの村々へ通り過ぎるだろう、そしてエリコの上に来るだろう、そしてヨルダンの上に出て行くだろう。 そしてタフォスから境界は海へ、ケルカナへと進むだろう。そしてそれらの終点は海になるだろう。これはエフライム部族の相続地である、彼らの氏族によって。 そしてマナセの息子たちの相続地の間でエフライムの息子たちに分け与えられた町々、すべての町々とそれらの村々。 そしてエフライムはゲゼルに住んでいるカナン人を滅ぼさなかった。そしてカナン人はエフライムの中にこの日まで住んでいた、エジプトの王ファラオが上って来るまで、そして彼はそれを取った、そして彼はそれを火で焼いた。そしてカナン人たちとペリジ人たちとゲゼルに住んでいる者たちを彼らは刺し殺した。そしてファラオは彼の娘に持参金としてそれを与えた。

17

そしてマナセの息子たちの部族の境界が定まった、なぜならこの者

はヨセフの長子だったからである、マナセの長子マキル、ギレアデの父に対して、というのも彼は戦士だったからである、ギレアデにおいてそしてバシャンにおいて。 そして残りのマナセの息子たちに彼らの氏族に従って与えられた。イエジの息子たち、そしてケレズの息子たち、そしてイエジエルの息子たち、そしてシケムの息子たち、そしてシュマリムの息子たち、そしてオフェルの息子たち。これらは彼らの氏族に従った男子である。 そしてオフェルの息子ツェロフハドには息子たちはいなかったが、娘たちはいた。そしてこれらがツェロフハドの娘たちの名前である:マアラ、ノア、ホグラ、ミルカ、そしてティルツァ。 そして彼女たちは祭司エレアザルの前に、そしてヨシュアの前に、そして支配者たちの前に立って、言った、神はモーセの手を通して、私たちの兄弟たちの間で私たちに相続財産を与えるよう命じました。そして主の命令によって、彼女たちに彼らの父の兄弟たちの間で相続地が与えられた。 そして彼らの割り当てはアナッサから落ちた、そしてラベクの平原はギレアデの地から来た、それはヨルダンの向こう側にある。なぜならマナセの息子たちの娘たちは彼らの兄弟たちの真ん中で相続を受け継いだからである。しかしギレアデの地は残されたマナセの息子たちのものとなった。 そしてマナセの息子たちの境界はデラナテになった、それはアナテの息子たちの前にあり、そしてヤミンとヤシブへの境界へ進み、タフトテの泉へ進む。 マナセのものとなるだろう。そしてマナセの境界上のタプアは、エフライムの息子たちのものである。そしてその境界はカラナの谷へ南へ下るだろう、ヤリエルの谷に沿って。テレビンの木はエフライムのもので、マナセの町の間にある。そしてマナセの境界は北へ、急流へ向かう。そしてその出口は海になるだろう、南からエフライムのもので、そして北へマナセのもの。そして海は彼らの境界になるだろう。そして北でアシェルと

接するだろう、そして東からイッサカルと。 そしてマナセには、イッサカルとアシェルにおいて、ベト・シェアンとその村々、ドルの住民たちとその村々、メギドの住民たちとその村々、ナファトの三分の一とその村々があるだろう。 そしてマナセの息子たちはこれらの町を完全に滅ぼすことができなかった。そしてカナン人はこの地に住み始めた。 そして、イスラエルの息子たちが勝つことができた時、彼らはカナン人たちを従属民にしたが、彼らを完全に滅ぼすことはしなかった。 ヨセフの息子たちはヨシュアに反対して言った、なぜあなたは私たちに一つの相続地と一つの測量された土地を割り当てたのですか。 私は大いなる民である、そして神は私を祝福した。 そしてヨシュアは彼らに言った、もしあなたたちが大きな民であるなら、森へ登って行きなさい、そしてもしエフライムの山地があなたたちにとって狭すぎるなら、そこを自分たちのために切り開きなさい。 そして彼らは言った、エフライムの山は私たちには十分ではない。そしてそこに住んでいるカナン人は選ばれた馬と鉄を持っている、ベテシャンとその村々に住んでいる者も、イズレエルの谷に住んでいる者も。 ヨシュアはヨセフの息子たちに言った、もしあなたが多くの民であり、大きな力を持っているなら、一つの相続地はあなたのものにならないだろう。なぜなら森があなたのものになるだろう、それは森であるから、そしてあなたはそれを切り開くだろう、そしてそれはあなたのものになるだろう。そしてあなたがカナン人を滅ぼす時、選ばれた馬が彼にあるけれども、あなたは彼より強いからだ。

18

そしてイスラエルの息子たちの全ての集会がシロに集められた、そして彼らはそこに証しの天幕を張った、そしてその地は彼らによって征服された。 そして、相続しなかったイスラエルの息子たち七つの部族が残された。 ヨシュアはイスラエルの子らに言った、いつまであなたたちは怠けているのか、主なる我らの神が与えた地を相続するのを。 あなたがたの中から部族ごとに三人の男たちを出しなさい、そして立ち上がって彼らにその地を通らせなさい、そして私の前でそれを記述させなさい、それを分割することが必要となるように。 そして彼らは彼のところへ行った。そして彼は彼らに七つの部分を分けた。ユダは南から彼らのために境界を定めるだろう、そしてヨセフの息子たちは北から彼らのために定めるだろう。 あなたたちはその土地を七つの部分に分けなさい、そしてここに私のところへ持って来なさい、そして私はあなたたちのために私たちの神である主の前でくじを投げるでしょう。 レビの息子たちには、あなたがたの中に分け前がない。なぜなら主の祭司職が彼の分け前だからである。そしてガドとルベンとマナセ部族の半分は、彼らの相続地をヨルダンの向こう、東の方で受け取った。それを主のしもべモーセが彼らに与えたのである。 そして男たちは立ち上がって行った。そしてヨシュアは行く男たちに、その地を測量するように命じて言った、行って、その地を測量せよ。そして私のところに来い。そしてここシロで、私は主の前であなたたちのためにくじを投げよう。 そして彼らは行った、そして彼らはその地を踏破した。そして彼らはそれを見た、そして彼らはそれを町々に従って七つの部分に本に書いた、そして彼らはヨシュアのところへ持って来た。 そしてヨシュアは彼らのためにシロで主の前でくじを投げた。 そしてベニヤミン部族のくじが彼らの氏族ごとに最初に出た。そして彼らのくじの境界がユダの子らとヨセフの子らの間に出た。 そして彼らの境界は北

から定められた。ヨルダンから境界は北からエリコの背後に上って行き、そして山へ海へと上って行き、そしてその終点は荒野のベト・アベンになるだろう。 そして境界はそこからルザを通過するだろう、ルザの背の上に、その南側から。これはベテルである。そして境界はマアタロブ・オレクから山地へ下るだろう、それは下ベトホロンの南にある。 そして境界を通り抜け、南から海の側を見る部分へ、山から南のベテホロンの前へ通り過ぎるだろう。そしてその終点はキリアテ・バアルになるだろう。これはユダの子らの町キリアテ・エアリムである。これが海に向かう部分である。 そして南の方の部分は、キリアテ・バアルの部分から、そして境界はガシンへ通り抜けるだろう、ナフトの水の泉へ。 そして境界は一部分へと下るだろう、これはシュネムの谷の面に従ってである、それは北からのレファイムのエメクの部分からである。そしてゲヘナは南からエブス人の背へと下るだろう。ロゲルの泉へと下るだろう。そしてベト・シェメシュの泉を通過するだろう。そしてガリロトを通り過ぎるだろう、それはアドミムの登りに向かって反対側にある。そしてルベンの息子たちのボハンの石へと下るだろう。そしてベト・アラバの背に従って北から通過するだろう。そして北から海の背の上の境界へと下るだろう。 そして境界の終点は、塩の海の尾根の上に、北に、南からヨルダンの部分へ至るであろう。これらの境界は南からである。 そしてヨルダンは東の側から境界となる。これがベニヤミンの子らの相続地で、その境界は氏族ごとに周囲を囲んでいる。そしてベニヤミンの息子たちの町々は彼らの氏族に従ってエリコ、そしてベテガイオ、そしてアメカシス、そしてバイタバラ、そしてサラ、そしてベサナ、そしてアイエイン、そしてファラ、そしてエフラタ、そしてカラファ、そしてケフィラ、そしてモニ、そしてギベア、十二の町々、そして彼らの村々、ギベオン、そしてラマ、そしてベエ

ロタ、そしてマッセマ、そしてミロン、そしてアモケ、そしてフィラ、そしてカファン、そしてナカン、そしてゼレカン、そしてタレエラ、そしてエブス、これはエルサレムである、そしてガバオト、ヤリム、十三の町々、そして彼らの村々、これはベニヤミンの息子たちの相続地である彼らの氏族に従って。

19

そしてシメオンの息子たちの二番目のくじが出た。そして彼らの相続地はユダの息子たちの相続地の間になった。 そして彼らの相続地はベエルシェバ、サマア、カラダム、アルソラ、ボラ、イアソン、エルトウラ、ブウラ、ヘルマ、シケラク、ベトマケレブ、サルスシン、バタロト、そしてそれらの畑となった。十三の町々とその村々。 エレモン、タルカ、イエテル、アサン。四つの町とそれらの村々、それらの町々の周りに、バレクまで、南西のバメトへ行く者たちまで。これはシメオンの息子たちの部族の相続地である、それらの氏族に従って。 シメオンの息子たちの部族の相続地はユダのくじから与えられた、なぜならユダの息子たちの分け前が彼らのものより大きくなったからである。そしてシメオンの息子たちは彼らのくじの中で相続した。 そして三番目のくじが彼らの氏族に従ってゼブルンに出た。彼らの相続地の境界はエセデクゴラであるだろう、彼らの境界、海とマゲルダ、そしてイエクマンの面に従っている渓谷の中へベタラバの上で合流するだろう。 そしてセドゥクから、ベト・シェメシュの東の反対側から、カセロタイトの境界へ戻り、そしてダビロトを通過し、そしてパンガイへ上るだろう。 そしてそこから反対側から東へ、ゲベレへ、カタセムの町へ回り込み、そしてレンモ

ナ・マタラオザへ通り抜けるだろう。 そして境界は北のアモテへ回るだろう、そしてそれらの終点はガイファエルとカタナテとナバアルとシムロンとエリコとバイトマンになるだろう。 これはゼブルンの息子たちの部族の相続地である、彼らの氏族に従った、町々とそれらの村々。 そしてイッサカルに四番目のくじが出た。 そして彼らの境界はヤゼル、そしてケサロト、そしてシュネム、そしてアギン、そしてシオナ、そしてレエロト、そしてアナケレト、そしてダビロン、そしてキション、そしてレベス、そしてレンマス、そしてイエオン、そしてトンマン、そしてアイマレク、そしてベルサフェスとなった。 そして境界はガテヘフェル、そして海に従ってサレム、そしてベテシェメシュに結ばれるだろう。そして境界の終点はヨルダンになるだろう。 これはイッサカルの息子たちの部族の相続地である、彼らの氏族によるもので、彼らの町々と彼らの村々である。 そして五番目のくじが彼らの氏族に従ってアシェルに出た。 そして彼らの境界はエクセレケテとアレフとバイトクとケアフとエリメレクとアミエルとマアサになった。そしてそれは海沿いでカルメルとシオンとラバナトに接するだろう。 そして太陽の東から戻り、バイテゲネテへ、そしてゼブルンとエクガイに結び、そしてプタイエルは北に従って、そしてサプタイバイトメの境界に入り、そしてイナエルへ、そしてコバマソメルへ通り抜け、そしてエルボン、そしてラハブ、そしてエメマオン、そしてカンタンを経て大いなるシドンまで。 そしてその境界はラマに戻るだろう、そしてマスファサトの泉まで、そしてツロ人の地まで。そしてその境界はイアシフへ戻るだろう、そしてその終点は海になるだろう、そしてアポレブ、そしてエコゾブ、そしてアルコブ、そしてアフェク、そしてラアウ。 これはアシェルの息子たちの部族の相続地である、彼らの氏族に従って、町々とそれらの村々。 そしてナフタリに六番目のくじが出た。

そして彼らの境界はモーラム、モラ、ベセミイン、アルメ、ナボク、イエフタマイとなった、ドダムまで。そしてその出口はヨルダンとなった。 そしてその境界はアスタボルにおいて海へ戻るだろう、そしてそこからイアカナを通過するだろう、そしてゼブルンに南から結合するだろう、そしてアシェルは海に沿って結合するだろう、そしてヨルダンは太陽の昇る東から結合するだろう。 そしてティルス人の城壁のある町々は、ティルス、オマタダケト、ケネレト、アルマイト、アラエル、ハゾル、カデス、アッサリ、アソルの泉、ケロエ、メガラアリム、バイトタメ、そしてテッサミスである。 これはナフタリの息子たちの部族の相続地である。 そしてダンに七番目のくじが出た。そして彼らの境界はサラテ、そしてアサ、そしてサンマウスの町々、そしてサラミン、そしてアンモン、そしてシラタ、そしてエロン、そしてタムナタ、そしてエクロン、そしてアルカタ、そしてベゲトン、そしてゲベエラン、そしてアゾル、そしてバナイバカト、そしてゲトレンモン、そして海からのヒエラコンの境界はヨッパの近くになった。 これはダンの息子たちの部族の相続地である、彼らの地区に従って、彼らの町々と彼らの村々。そしてダンの息子たちは行って、ラキシュと戦った、そしてそれを奪った、そしてそれを剣の刃で打った。そしてそこに住んだ、そしてその名前をラセンダンと呼んだ。そして彼らは行って、彼らの境界に従って土地を占領した。そしてイスラエルの息子たちは、ヌンの息子ヨシュアに、彼らの中で、神の命令によって、相続地を与えた、そして彼に町を与えた、それを彼が求めた、タムナサラク、それはエフライムの山にある。そして彼は町を建てた、そしてそこに住んだ。 これらの分割地は、祭司エレアザルとヌンの子ヨシュアとイスラエルの部族における父祖たちの長たちが、くじによってシロにおいて主の前で、証しの幕屋の戸口のそばで相続地として分配したものである。そして彼

らはその地を占領するために行った。

20

そして主はヨシュアに語って言った、イスラエルの子らに語って言え、避難所の町々を与えよ、それらを私はモーセを通してあなたたちに言ったものである。 避難所は、意図せずに魂を打った殺人者のためのものである。そして、その町々はあなたがたのための避難所となるであろう。そして、殺人者は血の復讐者によって死ぬことはないであろう、彼が会衆の前に裁きのために立つまでは。 そして彼はガリラヤのナフタリの山にあるカデシュと、エフライムの山にあるシケムと、ユダの山にある町アルボク、これはヘブロンである、を区別した。 そしてヨルダンの向こうの荒野の平原にルベンの部族からベゼルを与え、ギレアデにガドの部族からラモテを、そしてバシャンにマナセの部族からゴランを与えた。 これらの町は、イスラエルの息子たちと彼らの中に住んでいる寄留者のために指定されたもので、意図せず魂を打った者すべてがそこに逃げるためであり、会衆の前に立って裁きを受けるまで、血の復讐者の手によって死なないようにするためである。

21

そしてレビの息子たちの族長たちが祭司エレアザルとヌンの子ヨシュアとイスラエルの部族からの父祖の部族長たちのところに近づいた。そして彼らはカナンの地のシロで彼らに言った、主はモーセ

の手によって私たちに住むための町々と私たちの家畜のための放牧地を与えるよう命じられましたと。 そしてイスラエルの子らは、相続の際に主の命令によって、レビ人たちに町々とその放牧地を与えた。 そしてそのくじはコハテの民に出た。そしてユダの部族とシメオンの部族とベニヤミンの部族から、くじによって、アロンの息子たちである祭司であるレビ人たちに十三の町が与えられた。 そしてコハトの残された息子たちに、エフライムの部族とダンの部族とマナセの半部族から、くじによって、十の町々が与えられた。 そしてゲルションの息子たちに、イッサカルの部族から、そしてアシェルの部族から、そしてナフタリの部族から、そしてマナセの部族の半分から、バシャンにおいて、十三の町々が与えられた。 そしてメラリの息子たちには、彼らの氏族に従って、ルベンの部族から、ガドの部族から、ゼブルンの部族から、くじによって、十二の町が与えられた。 そしてイスラエルの子らはレビ人たちに町々とその放牧地を与えた、主がモーセに命じた方法で、くじによって。 そしてユダの息子たちの部族とシメオンの息子たちの部族とベニヤミンの息子たちの部族がこれらの町々を与えた。そしてそれらはレビの息子たちのコハテの民からのアロンの息子たちに与えられた、なぜならこれらに相続地が割り当てられたからである。 そして彼は彼らにアナクの母なる都市カリアタルボクを与えた。これはユダの山地にあるヘブロンである。そしてその周りの牧草地と、その都市の畑と、その村々を、ヨシュアはエフネの子カレブの子らに所有地として与えた。 そしてアロンの息子たちに殺人者のための避難の町ヘブロンとそれと共にある分離された土地を与えた。そしてレムナとそれに向かってある分離された土地を。そしてアイロムとそれにある分離された土地を。そしてテマとそれにある分離された土地を。そしてゲラとそれにある分離された土地を。そしてデビルとそれにある分離

された土地を。そしてアサとそれにある分離された土地を。そしてタヌとそれにある分離された土地を。そしてバイトサムスとそれにある分離された土地を。これらの二つの部族からの九つの町を。 そしてベニヤミンの部族から、ギベオンとそれに割り当てられた放牧地、ガテとそれに割り当てられた放牧地、アナトテとそれに割り当てられた放牧地、ガマラとそれに割り当てられた放牧地、四つの町。 祭司であるアロンの子孫の都市は全部で13である。 そしてカハテの息子たちの民、レビ人たち、カハテの息子たちから残された者たちに、そして彼らの祭司たちの町がエフライムの部族から与えられた。そして彼らに逃れの町、殺人者のための町、シケムとそれに割り当てられた土地を与えた。そしてガザラとそれに向かう土地とそれに割り当てられた土地。そしてベテホロンとそれに割り当てられた土地。四つの町。 そしてダン部族から、エルコタイムとそれに割り当てられた放牧地、そしてゲテダンとそれに割り当てられた放牧地、そしてアイヤロンとそれに割り当てられた放牧地、そしてガテリモンとそれに割り当てられた放牧地、四つの町。 そしてマナセ部族の半分から、タナクとそれに割り当てられた放牧地、そしてイエバタとそれに割り当てられた放牧地、二つの町。 すべての町は十で、そしてそれらに属する分離された牧草地は、残されたカハテの息子たちの民に。 そしてレビ人であるゲルションの息子たちに、マナセの半部族から、殺人者たちのために区別された町々、すなわちバシャンにあるゴランとそれに付属する放牧地、そしてボソラとそれに付属する放牧地、二つの町を与えた。 そしてイッサカル部族から、キションとその放牧地、ダベラテとその放牧地、ラモテとその放牧地、エン・ガニムとその放牧地、四つの町。 そしてアシェルの部族からバセラとそれに付属する牧草地、そしてダボンとそれに付属する牧草地、そしてヘルカテとそれに付属する牧草地、そしてラ

ハブとそれに付属する牧草地、四つの町。 そしてナフタリの部族から、殺人者のために区別された町、ガリラヤのカデシュとそれに区別されたもの、そしてハンモテとそれに区別されたもの、そしてカルタンとそれに区別されたもの、三つの町。 ゲルションの全ての町は彼らの氏族によって、13の町である。 そして残りのレビ人メラリの子らに、ゼブルン部族から、マアンとその放牧地、カデシュとその放牧地、ジラとその放牧地、三つの町。 そしてエリコに沿ったヨルダンの向こう側、ルベンの部族から、殺人者の逃れの町、荒野のベゼル、ミソとその放牧地、ヤゼルとその放牧地、デクモンとその放牧地、メファアトとその放牧地、四つの町。 そしてガドの部族から、殺人者の逃れの町、そしてギレアデのラモテとその放牧地、カミンとその放牧地、そしてヘシュボンとその放牧地、そしてヤゼルとその放牧地、全ての町四つ。 すべての町は、レビの部族から残されたメラリの息子たちに、彼らの氏族に従って与えられた。そしてその町は十二であった。 レビ人のすべての町はイスラエルの息子たちの所有地の真ん中にあり、四十八の町で、それらの放牧地はこれらの町の周りにあった。町とその放牧地は町の周りに、これらすべての町にあった。そして主はイスラエルに、彼らの父たちに与えると誓ったすべての地を与えた。そして彼らはそれを相続し、その中に住んだ。 そして主は、彼らの父たちに誓ったとおりに、彼らを周りに休ませた。彼らの全ての敵の中から彼らの前に立ち上がる者は誰もいなかった。主は彼らの全ての敵を彼らの手に引き渡した。 主がイスラエルの子らに語った良い言葉のすべてから、一つも失われなかった。すべてが実現した。

22

その時ヨシュアはルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセの部族の半分を呼び集めて、彼らに言った、あなたたちは主の僕モーセがあなたたちに命じた全てのことを聞いた、そして私があなたたちに命じた全てのことに従って私の声に従った。 あなたがたはあなたがたの兄弟たちをこれらの多くの日々見捨てなかった。今日の日まであなたがたはあなたがたの神、主の命令を守った。 さて、私たちの神である主が私たちの兄弟たちを休ませた、彼が彼らに言った通りに。それで今、引き返して、あなたたちの家々へ行きなさい、そしてあなたたちの所有の地へ、それをモーセがあなたたちにヨルダンの向こうで与えた。 しかし、主の僕モーセが私たちに行うよう命じた戒めと律法を行うことを非常に守りなさい。私たちの神である主を愛すること、彼のすべての道を歩むこと、彼の戒めを守ること、そして彼に付き従うこと、そしてあなたたちの全ての心から、あなたたちの全ての魂から彼に仕えること。 そしてヨシュアは彼らを祝福し、彼らを送り出した。そして彼らは自分たちの家へ行った。 そしてマナセ族の半分にモーセはバシャンで与え、そして半分にはヨシュアが彼の兄弟たちと共にヨルダンの向こう側の海のそばで与えた。そしてヨシュアが彼らを彼らの家々へ送り出した時、彼らを祝福した。 そして彼らは多くの財産と共に自分たちの家へ去った。そして彼らは非常に多くの家畜と銀と金と鉄と多くの衣服、敵の略奪品を自分たちの兄弟たちと分けた。 そしてルベンの子孫とガドの子孫とマナセ部族の半分は、カナンの地のシロにいるイスラエルの子孫のもとから、ギレアデの彼らの所有地へ向かって出発した。その地を彼らはモーセを通じた主の命令によって相続したのである。 そして彼らはヨルダンのギレアデに来た、それはカナンの地にある。そしてルベンの息子たちと、ガドの息子たちと、マナセの部族の半分がそこでヨルダンの上に祭壇を建てた、見るための大き

な祭壇を。 そしてイスラエルの子らは聞いた、見よ、ルベンの子らとガドの子らとマナセの部族の半分が祭壇を建てた、カナンの地の境界の上に、ヨルダンのギレアデの上に、イスラエルの子らの向こう側に、と言われていることを。 そしてイスラエルの息子たち全員がシロに集められた、彼らに対して戦争をするために上って行くためであった。 そしてイスラエルの息子たちはルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセの半部族の息子たちのところへ、ギレアデの地へ、大祭司アロンの息子エレアザルの息子ピネハスと、彼と共に十人の指導者たちを送った。一人の指導者が父祖の家から、イスラエルのすべての部族から。父祖の家々の指導者たちはイスラエルの千人隊長たちである。 そして彼らはルベンの息子たちのところへ、そしてガドの息子たちのところへ、そしてマナセの部族の半分のところへギルアデの地に到着した。そして彼らは彼らに向かって話して言った、主の全ての集会はこう言う、あなたたちがイスラエルの神の前に犯したこの違反は何か、今日主から離れ去り、あなたたち自身のために祭壇を建てて、あなたたちが主からの反逆者となることは。 ペオルの罪は私たちにとって小さくないのではないか、なぜなら私たちはこの日まで今日それからきよめられていないのだから。 そして、主の集会に打撃が起こった。 そしてあなたがたは今日主から背き去った。そしてもしあなたがたが今日主から離れるならば、明日全イスラエルの上に怒りがあるだろう。 そして今、もしあなたがたの所有の地が小さいなら、主の所有の地へ渡れ、そこに主の幕屋が住んでいる。そしてあなたがたは私たちの中で相続せよ。そして神に対する反逆者になるな、そしてあなたがたも主から離れるな、あなたがたが私たちの神である主の祭壇の外に祭壇を建てることによって。 ゼラの子アカルは聖絶の物について違反で罪を犯したではないか、そしてイスラエルの全集会の上に怒りが来たではな

いか そしてこの者は一人で自分自身の罪によって死んだ。 そしてルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセの部族の半分が答えて、イスラエルの千人隊長たちに語って言った、神なる神、主である、そして神なる神、彼自身が知っている、そしてイスラエル、彼自身が知るだろう。もし反逆において私たちが主の前に罪を犯したなら、この日に私たちを救わないように。 もし私たちが自分たちのために祭壇を建てたなら、私たちの神である主から離れるために、その上に全焼のいけにえを捧げるために、その上に和解のいけにえを行うために建てたなら、主が追及されるだろう。 しかし言葉への慎重さのために私たちはこれをしました、こう言いながら、明日あなたたちの子供たちが私たちの子供たちにあなたたちにイスラエルの神である主と何の関係があるのかと言わないように。 そして主は私たちとあなたたちの間にヨルダンを境界として置いた、そしてあなたたちには主の分け前がない。そしてあなたたちの息子たちは私たちの息子たちを遠ざけるだろう、彼らが主を礼拝しないように。 そして私たちは言った、このようにすることを、この祭壇を建てることは供え物のためでもなく犠牲のためでもなく、しかしこれが証となるために私たちとあなたたちの間に、そして私たちの後の私たちの世代の間に、主の奉仕を仕えるために彼の前で、私たちの供え物において、そして私たちの犠牲において、そして私たちの平和の犠牲において。そしてあなたたちの子供たちは私たちの子供たちに明日言わないだろう、あなたたちには主の分け前がないと。 そして私たちは言った、もしいつかそれが起こり、彼らが私たちに、または明日私たちの世代に話すなら、そして彼らは言うだろう、主の祭壇の似姿を見よ、それを私たちの父たちが作った、供え物のためではなく、また犠牲のためでもなく、しかしそれはあなたたちと私たちの間、そして私たちの息子たちの間の証しである。 私たちが今日と

いう日に主から背を向けて主から離れることがないように、それで私たちが全焼の捧げ物と犠牲とサラミンと平和の捧げ物の犠牲のために祭壇を建てることがないように、ただし彼の幕屋の前にある主の祭壇は除く。 そして祭司ピネハスと彼と共にいたイスラエルの集会の全ての指導者たちが、ルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセ部族の半分が話した言葉を聞いて、それは彼らを喜ばせた。 そして祭司ピネハスはルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセの部族の半分に言った、今日私たちは知った、主が私たちと共におられることを。なぜならあなたたちは主の前で罪を犯さなかったからであり、そしてあなたたちはイスラエルの息子たちを主の手から救い出したからである。 そして祭司ピネハスと指導者たちはルベンの子孫とガドの子孫とマナセの半部族のもとからギレアデからカナンの地へイスラエルの子孫のところへ帰った。そして彼らに言葉を報告した。 そしてそれはイスラエルの息子たちを喜ばせた。そして彼らはイスラエルの息子たちに話した。そしてイスラエルの息子たちの神を祝福した。そして彼らは、もはや彼らに向かって戦争へ上って行ってルベンの息子たちとガドの息子たちとマナセの半分の部族の地を完全に滅ぼさないと言った。そして彼らはその上に住んだ。そしてヨシュアはルベンとガドとマナセの半部族の祭壇を名付けた、そして言った、それは彼らの間の証である、なぜなら主が彼らの神であるから、と。

23

そして多くの日々の後に起こった、主がイスラエルをその周りのすべての敵から休ませた後に、そしてヨシュアは年老いて齢を重ねて

いた。 そしてヨシュアはイスラエルの全ての息子たちと彼らの長老会議と彼らの支配者たちと彼らの裁判官たちと彼らの書記たちを召集し、そして彼らに向かって言った、私は年老いて日々を重ねた。しかしあなたたちは我々の主なる神がこれらの全ての国々に我々の面前でしたことの全てを見た、なぜなら主なるあなたたちの神があなたたちのために戦った方だからである。 見よ、私はヨルダンからのすべての諸国民、私が滅ぼした諸国民、そして大いなる海から日の沈む方角に至るまでの境界にある、これらあなたたちに残された諸国民を、くじによってあなたたちの部族への相続地として投げ与えたのだ。 主なる我らの神であるこの方は、彼らが滅びるまで、彼らを我らの前から滅ぼし尽くされるだろう。そして彼は彼らに野獣を送り、彼が彼らと彼らの王たちをあなたがたの前から滅ぼし尽くすまで続けられるだろう。そしてあなたがたは彼らの地を相続するだろう、主なる我らの神があなたがたに語られた通りに。 それゆえ、モーセの律法の書に書かれている全てのことを守り行うために非常に強くなりなさい。右にも左にも曲がらないために、これらの残された異邦の民の中に入らないために。そして彼らの神々の名はあなたがたの中で唱えられず、あなたがたは仕えず、あなたがたは彼らを拝まない。しかし私たちの主なる神にあなたがたはしがみつくであろう、ちょうどあなたがたが今日までそうしてきたように。 そして主はあなたたちの前から偉大で強い諸国である彼らを滅ぼすだろう。そして誰も私たちの前にこの日まで立ち向かわなかった。 あなたがたの一人が千人を追った。なぜなら私たちの神である主が、あなたがたのために戦われたからである、ちょうど私たちに言われた通りに。 そしてあなたたちは私たちの神、主を愛することを非常に守りなさい。 もしあなたがたが背を向けて、あなたがたと共にいるこれらの残された民族に加わり、彼らと婚姻を行い、彼らと混じ

り合い、彼らもあなたがたと混じり合うなら、知りなさい、主はこれらの民族をあなたがたの前から完全に滅ぼすことを続けないであろうことを。そして彼らはあなたがたにとって罠となり、つまずきの石となり、あなたがたの踵の中の釘となり、あなたがたの目の中の矢となるであろう、あなたがたがこの良い地から滅びるまで、その地を主なるあなたがたの神があなたがたに与えたのである。 私はしかし去り行く、その道を、ちょうど地の上のすべての者たちのように。そしてあなたたちは知るだろう、あなたたちの心とあなたたちの魂で、なぜなら一つの言葉も落ちなかったから、すべての言葉の中から、それらを主なる私たちの神が私たちに属するすべてのことについて言った、それらから一つも違わなかった。 そして主があなたがたに語ったすべての良い言葉が私たちに来たその方法と同じように、そのように主なる神はあなたがたの上にすべての悪い言葉をもたらすだろう、主があなたがたに与えたこの良い地からあなたがたを滅ぼすまで、あなたがたが私たちの神である主の契約を、それを彼が私たちに命じたものを、破り、行って他の神々に仕え、それらを拝むときに。

24

そしてヨシュアはイスラエルのすべての部族をシロに集め、彼らの長老たちと書記たちと裁判官たちを呼び集め、彼らを神の前に立たせた。 そしてヨシュアは全ての民に向かって言った、イスラエルの神、主はこう言われる、あなたがたの父たちは初めから川の向こうに住んでいた、テラ、アブラハムの父とナホルの父が、そして彼らは他の神々に仕えた。 そして私はあなたたちの父アブラハムを川の

向こうから連れ出し、彼を全ての地で導いた。そして私は彼の子孫を増やし、私は彼にイサクを与え、イサクにヤコブとエサウを与えた。そして私はエサウにセイルの山を彼が相続するために与えた。そしてヤコブと彼の息子たちはエジプトへ下って行き、そこで大きくて多くて強い国民になった。そしてエジプト人たちは彼らを苦しめた。 そして私は、それらの中で行ったしるしによって、エジプトを打った。 そしてこれらの後、彼は私たちの父たちをエジプトから導き出した、そしてあなたたちは紅海に入った。そしてエジプト人たちは私たちの父たちの後を戦車と馬で紅海まで追跡した。 そして私たちは主に向かって叫んだ。そして彼は雲と暗闇を私たちとエジプト人たちの間に与えた、そして彼は海を彼らの上に持ってきた、そして彼は彼らを覆った。そしてあなたたちの目は主がエジプトの地でしたことを見た。そしてあなたたちは荒野で多くの日々を過ごした。 そして彼は私たちをヨルダンの向こうに住んでいるアモリ人の地へ導いた。そして主は彼らを私たちの手に引き渡した。そしてあなたたちは彼らの地を相続した。そしてあなたたちは彼らをあなたたちの前から完全に滅ぼした。 そしてツィポルの息子バラク、モアブの王が立ち上がり、イスラエルに対して戦列を敷き、使いを送ってバラムを呼んで私たちを呪わせた。 そして、あなたの主なる神はあなたを滅ぼすことを望まなかった。そして祝福をもって私たちを祝福し、彼らの手から私たちを救い出し、彼らを引き渡した。そしてあなたたちはヨルダン川を渡り、エリコに到着した。そしてエリコに住んでいる者たち、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人、ヘテ人、ギルガシ人が私たちに向かって戦った。そして主は彼らを私たちの手に引き渡した。 そして彼はあなたたちより先にスズメバチを送り出した。そして彼は私たちの前から彼らを、アモリ人の十二人の王たちを追い払った、あなたの剣によって

ではなく、またあなたの弓によってでもなく。 そして彼はあなたたちに、あなたたちがその上で労働しなかった土地を与え、あなたたちが建てなかった都市を与え、あなたたちはそれらに住み、あなたたちが植えなかったぶどう園とオリーブ園を食べている。 そして今、主を恐れなさい、そして正直さと義をもって彼に仕えなさい、そして異国の神々を取り除きなさい、その神々に私たちの父たちが川の向こうとエジプトで仕えました、そして主に仕えなさい。 もしあなたがたが主に仕えることを喜ばないなら、今日あなたがた自身で選びなさい、誰に仕えるかを、川の向こうにいたあなたがたの父祖の神々か、それともあなたがたがその地に住んでいるアモリ人の神々か。しかし私と私の家は主に仕えます、なぜなら彼は聖なる方だからです。 そして答えて、その民は言った、私たちが主を見捨てて、他の神々に仕えるようになることがありませんように。 主である私たちの神、その方こそが神です。その方が私たちと私たちの父たちをエジプトから導き上げ、私たちが旅したすべての道において私たちを守り、私たちが通り過ぎたすべての国々において私たちを守りました。 そして主はアモリ人とその地に住んでいたすべての民族を私たちの前から追い出した。しかし私たちも主に仕えよう、この方こそ私たちの神だから。 そしてヨシュアは民に向かって言った、あなたがたは主に仕えることができない、なぜなら神は聖なる方だから。そしてこの方は熱心な方で、あなたがたが主を捨てて他の神々に仕えるときには、あなたがたの罪とあなたがたの不法な行いを赦さないだろう。そして来て、あなたがたを害し、あなたがたを滅ぼすだろう、あなたがたに良くしてくださったことへの報いとして。 そして民はヨシュアに言った、いいえ、我々は主に仕えます。 そしてヨシュアは民に向かって言った、あなたたちはあなたたち自身に対して証人である、なぜならあなたたちは主に、彼に仕え

ることを選んだからだ。 そして今、あなたがたの中にいる異国の神々を取り除きなさい、そしてあなたがたの心をイスラエルの神、主に向けてまっすぐにしなさい。 そして民はヨシュアに言った、私たちは主に仕え、その声に聞き従います。 そしてヨシュアはその日に人々と契約を結び、シロでイスラエルの神の幕屋の前で彼に律法と裁きを与えた。 そして彼はこれらの言葉を神の律法の書に書いた。そして彼は大きな石を取った。そしてヨシュアはそれを主の前のテレビンの木の下に立てた。 そしてヨシュアは民に向かって言った、見よこの石はあなたがたの中に証拠となるだろう、なぜならそれ自身が主によってそれに語られた全てのことを聞いたからである。なぜなら主は今日あなたがたに向かって語ったからである、そしてこれは最後の日々においてあなたがたの中に証拠となるだろう、その時あなたがたが主である私の神に偽りを言うかもしれない時に。 そしてヨシュアは民を送り、彼らはそれぞれ自分の場所へ行った。 そしてイスラエルは主に仕えた、ヨシュアのすべての日々、そしてヨシュアの後に時を延ばした長老たちのすべての日々、そして主がイスラエルのために行ったすべての業を見た者たちのすべての日々。 そしてそれらの後に起こった。そして主の僕、ヌンの息子ヨシュアが百十歳で死んだ。 そして彼らは彼を彼の相続地の境界に、ティムナト・セラに、エフライムの山地に、ガラアデの山の北に葬った。そしてイスラエルの子らはヨセフの骨をエジプトから運び上げた、そして彼らはシケムに、ヤコブがシケムに住んでいたアモリ人から百匹の子羊で獲得した畑の一部に、それを埋葬した、そして彼はそれをヨセフに一部として与えた。 そしてこれらの後に起こった。そしてアロンの息子である大祭司エレアザルは死んだ。そして彼は彼の息子ピネハスのギブアに葬られた。それはエフライムの山で彼に与えられたものであった。